



COFFECTION OKIENTAL



SVM EKVNCISCO

MEDICYF CENLEK FIBKYKK

UNINEKSILK OF CALIFORNIA

春剔堂藏园

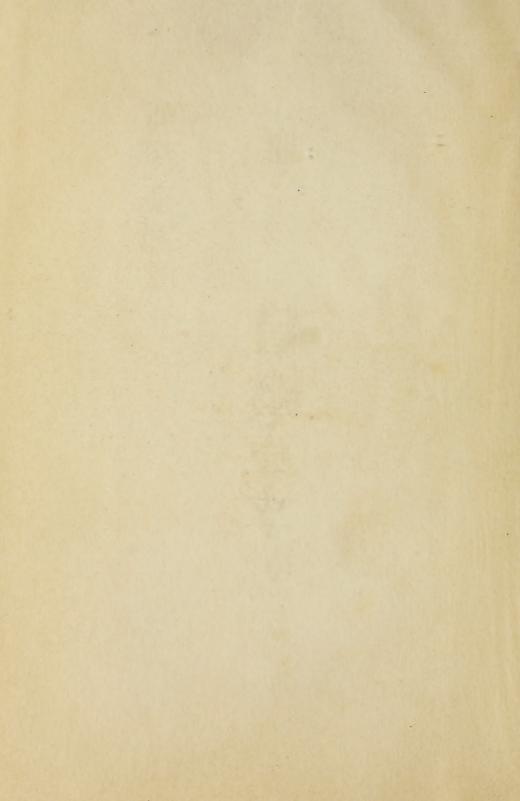
第六冊

画图器本草聯口



第六冊

龍頭



源 源 陈 弹 一 少 A 源 品 工 太 王 創 昌 宗 쾳 真 纖 X 带 理 14 林 田 * XC 野 # 翻 妆 图 关木 念 李 口 * **野車車車** 王雄南班 囲

1020-34 91/ 22v d 88697 788

D.O.

目

本草縣目草陪第十字等了

毒草酸

0 天南星...... 高麗…… 駅 蓋子: 自彻子 北京 由版

煎 超醫本草縣目(第六冊)目次



()	101
森 李	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
少	
	草鐵運
料川愛	
	が一番

幸働章 番 本 銀日: 第1: 工業 風 小 中本本 型の漏沫 幸福閣: 本権閣:
The state of the s
山霧鶥 羊不癭草

国. 明. 给(上青木香)	24
(本)	652
草子与	
() () () () () () () () () () () () () (¥
24	7,
試お(太乙金鐘・遠子が)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	\mathcal{H}^{-}
0月11	0
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Œ
学》1111	26
三	-
三二	M.
出]	17.
() () () () () () () () () ()	9

天門冬 百崙 百株	· 上上,	班华一	おおい	白焱	五一 章	熟剤::::::::::::::::::::::::::::::::::::
五 富 東	本草聯目草陪第十八勢	:	-	白	**************************************	聽

型=	
★ 董····································	
(1)	
对 :	
雪春葉	
10年	
10.00mm 10.00	
甘 藏	
甘穀融 指職	
含水蘇	
天仙嶽	

正立 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :
--

	ga
	百麩獵
	学园····································
	0师8
	落瓢木
	计 融水 五 融
	十里及(中里光)
	树溪渚獭(十九彝)
本	本草縣目草語第十九器
	草陪除十六彩目幾
AC	逐

	三
	E
	h.i
承	7
***************************************	HA HA
	hal
5.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1	15/4 15/4
平 丽 生 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	14 157
	57
	.7
	17.
三葉	

落	至0世	水 臺····································	一	国工 <u>工</u>	里	学:	級王 緞 () · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	一量	★本本	本草縣目草語第二十多	一		三章····································
**************************************	章	水		梨	拟	習	数工	上	机	木草縣	草	迎京卫	计

	21/4/2011年11日本の意思日生
光	五
	旗 含地草
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	%排:
赤文	
	京繁县
1 Till	非問
	紫龙
文	和薬師草(瓦郊)::
0)连	源
XA.4	
	
3十年	哪河岩
汽	井中の苔、込の海薀

大光道:	0 光 中	0.000000000000000000000000000000000000	一父五:	三笠	湖縣		河	₩————————————————————————————————————	图—————————————————————————————————————		淑爹	口子学
		小人草	小人掌草	[]	华天回 裡關 縣家鄉	紧骨金髓·	1 計劃	本草聯目草語第二十一等	草溶第二十一悉目幾	八章	御瀬	

第十十级 不 沿沿 京 目 쎎 本草

不然		 	本 当 は まままます。 本 立 は ままます。 本 立 は まままます。 本 立 は ままままます。 本 立 は ままままます。 本 立 は ままままます。 本 立 は まままままます。 本 立 は ままままままままままままままままままままままままままままままままま	割淤薬本草 — 蘇···································	宋岡谿水漾 二十 蘇
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	瀬 神 草 豊 本	名 本 醫 草 鼠 舒	事	来 本

029

頭なるのが

は、減でき数しなときびき水

那

X

9

2

9 U

貀

2位日

业

El

酗

氷は

9

子の真

中コはいア事は川下县大とないけるの THE 10. (田上經本) X

2

が子を解えてそれにより 4/1 0 050 7 317 34 X 0 21 B X 54 7 11 0 が形な TA 天雄なるもの -A-3/ 訓 スナユフ Ž. 71 平之 は長く 、 日 3 いい。 XK の玄天難とい 34 24 本經 0 P 414 8 0 早 來 54 崩 0 長~して決 2 7 6 は縁 盐 亦

0

って経典す がる状 21 H _ またる。 21 山谷 0 はいかいかい 那 X '> 21 (海 Olly 捌 菲

き

附子は四たもので

がは

Y

たものを用るる。

月中旬の森の

今は八

く日舎ので

30

21

でで を では では では でい である。

FI

神

Ξ

と附子との

題買うなる

34

(0)

B

0

9

FI

hil

・~登へつ

2

17%

17/

は間

14

-14

B

꽘

:4

0

8

Will &

260

到了

119

日のなるころな

hil

21

郊

0 N

1/

1.1

8

Tal

2.

SE

1/

:4

4

1kg

20

(P

2

那

東

2

間

刑

FI

0

R

0

11

豣

线线 线线

0

0

P

2/4 Y * n 割。 要 殺 4 ---0 (B) 身山木 (B) 身山木 (B) 身山木 (B) 身份線 (B) 身份線 (B) 身份線 (B) 身份線 (B) 身份。 (B) 身 型加 14 塘 缩 海 * 0 4 4 4 趣 市 金製 < 盆户見 殺 + 11

茶 喜 室見 11



引崇 M (1) づい 水彩彩 2 3世 7 R 「頭面風の SIK. 兆 沙 北京を からする 一大番 が一 歷節新 美國軍, 、7~神多關行 一、河河 、つく題を島 果 Ŧ

訓

骨節二

(1三)本際

く、回線 、分置るが別 7 9 大温な 心となるが が記 -11-は置いていを制するかよし。とおらう 「辛し、脳コしア大帯はも」 毎十を忌む 大魔なり。 洲 派

らご平 0 ス 华游 2 江干 (1 H 到是 2 0 > 海 を置てより記 以出して間を去 小艺术客, 0 小風・ -継ぎ入れ、上から小盆を蓋サアー水器を 븳뒢 2 び汗 71 田のる一法として 新アシの武内を売り歌き、火を ユフ隆 , ~ 日 当時 0 会到 じて天

CID一种へ十五元。

2

0 1) 生で近人が出行 21 并 到 71 21 並 泊 0 CE

1/1 2 到 0 汗 R 日う、歌もこう歳るン刻と実到が注いい用で、たちのかまる。 景 散には 動すやらなで歩う到時である選支なし。大明日>, 凡子水、 流 밎 到 21 于

不 0 なってつけ 034 11.4 11 2 5 H 20 薬コスパるコカ風い 名の名 (0 NO C 近は、正ち二 雨半, いたのかのでは自 111 學別 いからいかのできる。 0 こととしていいい 114 41 明の之 S 7 37

も近い

この。 鬼別イベ トエフ

の人とよ

源

6

一画

着か

のプロ 1/

11

1 44

剛水

[1]

CID本草原做三斑二

セシムハ意ナ

狮

4

はいい

1 0 強のやら 天 な長 XK Z 、返お蘇ゑた捌子は盡~變して気長しなもの、鳴さ芋を酥ゑアちをとまな形 0 B 中に生ご 次出派る今らな顔である。 一種お、伽の此てび当後をもので、草島随の 一見も三十日上の 躍此六か相子を酵ゑアその 明織の島勢の揺び 種は、 数70 い生して発育するものだっ に一種ある。 貅 X , ~ 日 F\$0 16 耳 0割 0 0 B 21

歌いようで、養蠶い日。電 彻 解るたままで れた始めに 年を難下職り其大いなつかそのもののことが。 野の味盆は **춞張コー介鑑されてある。** は秋 なって 生でるのを非常いるい。 関してお、 ががある。 顺子玄生沙龙 国マ 21 那 砂郷 5 X 温み `> X ンつ 日 公田 千多 칾 0

電州い煮するものが住し。 TY T となけ はまま 21 W. 2 四三〇2 とう!! 0 今はその重を建とれる 嗣知江 いってかる電道ので、解例、 は重 面面切らつかない。 高週の宙 の以北大はるなる は題りた。 たとは有っても力が弱く 高頭は、 34 9 _ 0 1 9 出された 34 附子、 軍軍 41 TY GY 武計 可合同 天鄉 2 1/ 生品で 54 21 0 , ~ 回 FI 1 盐 那 FI 21 珊 重 倒 爺龜 21 54 0 立 9 1

> 栩 HI O 指 制 指 手 千八千

0

YOU 沙 五 2 S 士 學化 1 5 T 変形なこのみ攻して、 以及 5 24 不 Xiii 377 X W. + 0 114 测机 4 素よら配 通 . 9 回~回, 0 6 4 公割寒刻毒才合 :4 JC Til 部 1/ 7 凝 勘 五 :4 、秋り、 重 继 11 元氣水 Y 테 FR 1

园 =1 T 7 ti 0 1 524 はとなることいったのははいとして正しいお R 11 TI. 20 54 更 SP 2 3611 70 24 1/ 316 数数なるに 07 しいなってる中間 0 心間 24 品品が帰るの難であ 71 2 12 温からは 0 0 .7 かっかり 7 6 「家族」 11 25 RY 0 1 · (向える Cit FI 逐次 34 公訓):k 21 507 14 21 下で 合門の :1 3)7 11: はる上ば 上とい 36 7 対系論の .2 34 9 0 0 ij 0 (4 不 4 こを経することになる る子子 の輸出 班 用うべかが 2.8 28 小はないい 2 7 0 1 0 刚不 71 るるな 2 . 0 1 0 BE :4 天鄉 艺术出 でな 回 115 34 天鉱は、 N H 0 测加 4 .1 21 . 34 とあるは、 部 7 計 양 ンが 41 副 がって 6 7 भिष 21 F. 9 治学が 生于 号 :4 21 術 0 EH THE #7 R 朋事 雪 24 301 5 7 X , ~ 目 過声 71 田 留 0 2 村中 2 洲 R 0 うと思え 第 温 26 那 CSI 6 米 6 進し 4 24 ंद्रा 料 向 24 F 21 2 B 0

2

j.

So of the

100

過~

会家を長い く日の国

部を創色

骨間の

行不能なるを報じ、

4

ユつ

/更

間にいる。

様する

大利して割をどらしるる人は経)

SP

人なしア塩更ならし

羽 0 薬 E. C. 田 下部以 24 0 B 8 24 京京 0 は家な状んで派 島頭 那 X , ~ 目 意。

1 7部~上美の副金を術し得るもの治な 天鵝以外 , > 日 元素で素

功力を取るのである 6 大なるものを取る。 のおりのさいのそのできる 9 71 \$ 。 と で 出 劝 34

こよう娘強へ上行も云

1

るのりない。これの語のないないないないない。 は多う天 21 北京 画 CE 田 必予附子を FI 21 26 副寒が醂 . O S C 随 HII 巍

る頭で 9 独 h 嶽/鼎十 177

九章式

21

田田

では目

いて悪を繰

7

1114

R

淵

题

P

歌

小職を別

f1

IM

R

黑腦

7

果る

沙

A

画

0

16

(郵標)

6

绿

24

筆

0

疆

图

SP

ना

治へ京場別念な

7

泉水

画

聖

Ш

沿 車、 痺

驱

画

のや中で

To SR

7

994

人なしと更

こまってい

2

N

鼎

2

U

Y

#

『天塾一當を知ら、 歌線の「思劇

平1

(9P?

金する

家家

摊雞。

那

天

21

がる一般

事圖轉節。

当時を記載。

流血を消す。

・長鷺を見る。

前を止る、

7

排

深細

HH

Y.

成いて合めは剥棄を治す人

。 公 分 丁

文上

劉

る那

0

る場

玉線 こた 動

水が下し、

園園の

四贯不多。

血脈を調へる。

知 割 な ほ

事 宜上二 こ五八郡 九二本人 い。

到图 響 祖

が南流 滥 21

29 P 大品 71 1,11 到 277 1111 > 1-1 ् भूत 大機にして大福あり 走

和 1K

[11] 21 -J-174

到

thi. 9 P -1 7 7 -J-2 149 de 0 TE 2 111 ~ 面 21 兴 21 节 34 34 8 :4 41 XI 0 0 果 B が続う 8 1/ 1

2 2 mr Ib. 27 1 75 밝 0 THE I, 1 (1) 法 1/2 0 1/ 21 16 1. 0 (1) J-116 119 (0 사 구-41 3 1/2 1 24 7 子 0 1 1 Mil 是難! 21 > 告 Th OF 图

否

21

兴

これいろう

(1)

(1)

1/2

.1

21

11

9

7

-J.

MI

Y.

(1)

174

1

A

791

[11

111

:4

Y

=1,1

11

71

71 14 -1-汁片 31 间 = 1 0 51. (0 (1) . [-: " [1] 1/14 (1) MY 7. 1 0 111 : 6 - j -12 31 21 140 (1) 111 6.1 2) (1 14 51 那 .7 17 11 たく 21 孫 1/ 0 -1-0 144 H -: 7 RF. を放 > 題 015 は自 O当

0

24

14

HII

24

平

空 田

刊 ただれ 田孝 (-71 28 fif-0 - 1 - 1 - (3) .1 36 7 1124 5 오 []] 2 7 1 ないは 19. 네 识 TI TI :/ik ×. (0 . 7 からいってる 傾向をで 7/ 71 1 0 2 7 7 M 11 0 27 海を 111 7/5 0 Jy. ユフマ [1] . 0 :4 0 而于, 0 (2 Cr 2 8 £1 0 36 站 (1 (2 t 不 0 6 0 茶 (3) 2 0 CP ? 0 El 所 111 滥 Ty 0

71

TI,

址

子としているか

m

及例

0

料子

ना

9

1

7

村中

20

ge

2

14

X

4

12

1

マチ

7

11

101

21

-1.

111

(1)

11

MF

21

IN

111

沙卫

阿阿

1.1

47

思

0

on

\$4

5 5

山南、顯草酵害塩し揺ち見る。諸高へ令て所南省登柱線、嵩 -f. 0 111. 皆 4 6 。~野 50 4 **~** 141 4 ÷ 1.1 耶 4 啡 明 100 南省 東省 計大 14 1 藥 脚 阿哥

间 2 0 なるな 1/ 603 2 0 82 H 21 下 0 島頭 8 28 0 S FI £ 柳 顺子 `> 0款

° P 54 数 > 多之 CP H 21 治療 脚家の FI 54 即 02 盪 0 近逐 54 54 6 4 调 は用る

語文に 県 愛氏の大なるかのざ消し頭のなかのが。 特別の記 24 生するからなけたもの (順) 附子の言 部子の 市 () () 4 , ~ 目 0 となってい 順子 0是 079 量イ 7 前千千 並

順一子 (服総干品) 附午の脚二巻ア出來は財の本。

得る All 回子 0 子 到 島頭 9 道にア 肾三兩, 神 酮 R 那 型 O W 東当 21 天 241 21 いる。ころは 責 A 蓋十年計ら八 <u>封</u> 封 封 示 兩 リ六七箇をア脅血する。 る。宣獣 1 H おふつ = 0 [M 球 悪職 小人 導つ 账 水二蓋、 21 天粧三兩を感ら、白 画 FI + 子 24 7 2 R 別す。(張仲景金園要都) 릚 田 X 0 M 嫩 21 銭ご 出事 2 配せば直ちい死亡する でおる 夜電 1 R ユー 9 失精 は三箇 一年ラアはなない Til 子及干 须 Ry CY 「男子の 21 つを酒で 2 歳 6 僻 2 / 4 狱 9 熱で、 緩ご 水 ちる。(相対氏) 县 别 育を発きた 7 2 E) 0 -6 A 14 繰返 山田 21 9

£

72 30 9 江 不 1.1 0 汉 纵 江江 水電 >: 5 5 西西しく田のると、機派は龍の東リア諸科は縁いる、まななす 一上潭 34 54 北 111 演解了一名多名的 例以前被 £1 :4 HV. thi. 7 末し、劉磁心量を入れて非水で購へ了窒をといえての解験を受 CA 1 毕 21 ~ :4 批 The 「凡子年八 34 FI この強い かから 21 加 All 事: の直帯力に 71 こと言うい あるが、江夫人師の 4/7 027 おうという 一一灣 顺颜 墨 る男子 Sit Y R 4/7 21 X 0 2 最適子など の市様がったとき、 0公年7月公安 持 なる郷ユつ '> 日 o邻 FI 浙 ユつ 等 シつ 21 9 1 東郎 +1 源 狱 Hi I. 识 21 回及艦 とる者 旅場中央 置してご か 21 發 9 7 ME

「苦~幸し、毒あら」 製日~、これを服すれ対脈大を襲 ₹IE 調点が通り 一部。 · IX 野 11 「一」。 以 和

沙

Ŧ

0

2

6

X

選二十七』とあるは、 田鉱は呼波せ好。

14 7 些 ना 1/ TA 極 94 갶 2 P -1-0 近頭質 21 11 :4 地 사 구 Ы X はまれ 34 極極 狮 [11] 1 上江 9 2 71 34 され 孙子 あるとととなるからか ` | |-極 (計) (表) とてるでい 天然に M: ユー 帰南の数資は、 H 小さいと 減以 点掌 4 asti 温から祈るほど 巡察總 0 M 111 木部子 £1 17/ 12/2 21 2章 遊 2 温 4 0 0 R 典 0 盐 # 8 Ed 黑 曲

壹 16 2 例子張ういるおおり 0 21 1 薬 1/ 2 として多くな話録とれ 報が風を合す 0 元希聲 薬 鴻 . 載してあるが 制 0 组 '> E O 걥 等 21 孟

711

運 9 支毛 毺 CA 0 6 A 0 ユーマ 7 7 别 47 赛 發觉 猎 71 0 21 21 酥 2 してまり、その原は上 :13 间 21 各 U 걜 袋 别 Y 5 2 10 间 21 0 19 34 P 71 FI 34 2 千 0 0 場のより 酥 卿 B 0 20 9 R 34 9 14 24 木譜子 は長う | | | | 郡末 54 0 關 B £ in FI 1 0 なら経る 溗 辦 34 1/ 草 607 X 8 2 事 4 0 滘 0 2 P 2 Ti 71 124 B いててる 0 0 8 薬で B 中 6 B 位置が 疆 甌 は頭にのるので P 21 继 6 する治風の い中で 9 关 通 6 0 .2. 出 实 川木 2 0 `> 21 2 8 4 廊 唧 1/1 21 弧 27 一种 4 温 21 7 PI らって 8 0 斌 R 0 2 事 6 器 别 Hi 塞 7 54 2 0 2 2 71 迷 1 额 制 0 ¥ U 7 0 R B 22 2 39 :4

るの事 間 弧 (離里 0 節。間 伽 2 翻 P 调 画 画 2 Y Sil. 調画 师 東濱 21 8 6 果 高家を治し 画 11 Æ 沙 同じ。 全身の IH (明錄) 127年 . H 雪す 11 U 坐 6 體 る。明 别 0 2 置 **~** × で調 一品 升 显 0 4 遠遠 9 6 冰 (動種) 北 以 21 H 報ずず H Sik 0

深端 2 0 TI るないころはいのでは 7 7 000 京藤県 シフ 0 1411 21.15 風器はこの 風から取り るので、出びい人鳥頭とは強人。 等点 0000 のない野なび

れ、国子 で並の国連部としたかのを記録といえば、近代おみむら天郷と同一O

行り 4/7 is. 71 00% 1116 子子 J.T. 6 34 7 116 55 [NA] 37 、この軍 Till 小你 训徒 MM 大師で (1) いるそろの 3)7. X 34 1-WI S 0 1/1 21 1/2 34 G.

ものを対解点頭と

[18



? 領に草に関 200 1 野川 上地江區 点頭の評新班以外の 、計化2 , / CA 中的 2 11

21

でいるるがは部分

24

五

2

田事子の河

いいいのかが

37

(III

:4

急激とない例

阿城 R 0 100 1/2 (1) 311 149 である。 0 내 (1) 117 (4) Y の初三はこれいなって さればれ 2 +1 147 がいる いとなる 10 訓 の頂はた時間の 0 32250 例 0 道質 45 0 高場 \$ と名かけ 91 , ~ 日 T! 0 印加 0款 1/2 0

口である。

0 間な鳥 湯 9 いる場合てけなるのとならるの場の管 兩域なあって相合し、 2

水水 派は鳥の頭のゆうなといえ意地 (目幽 鴛鴦萨 歐白草(計畫) 点頭とお、 舎お近(キン)とおける。 C景 となける。 重 城周 音は及(きて) なのまれい道 弘

逐帯(本)(本) 音お見でう 土附子(日華) 金配(職目) 苗之黃 草島配(附目) 全た帝林と名ける。 、吳鲁) 島場 毒公 順子(見普) 7 繡

おから出い は充システール で アライル

合置の圏自草ぐ利サスる。 E 数

Aconitum Fischeri, Reichb. うまのおしなけ杯(手貫杯) 出出 弘 科學和

(中國上盟) 頭 **骨**

 脈 蓋 子 戊の階合ア米箔 秋る羽上つ第 五次 小利息 疎 ひ り 一百 海 皮 年體一歳の響し一 9 整要場合中面を決して 勝う部子大の次コン、 の下痢、 黄堇, |一切の悪神| |動動 木香、 阿壓。 量を入れて未びし、 で駅で。(蘇天盆南北東灣) 阖 大なるもの 1 51 1/1/1 界香 0

滁

第十十卷 本草腳目草脂

4

Fischeri, Reichb. く差シ主イジテ

M

歩く 是 7 シー > 21 日 0.8-> 还 07 Y 機。 0 9 0 -11 CP ·^ 祖: `> ユー 1-1 9 P 21 21 一般 筆 江 7 9 1 字く是市 71 大清志 黄布 シーコ , | |日 IV. 回本 0.7F 置公 W. 、つき 大毒ある。 神豐、 .1 利 シーフ 日 沙 21 0 集 游 0 眼 6 學聖

大豆 97 FI 须 CP 111 ンハ は 例 N C H は土で 须 FI 9 C 草島頭 H 2 6 '> 子 Z 日 聖 E O 0 7 o却 ユフに 県 * 剩 21 共

24 > 源 FI 21 TY 7 Mi 21 14 24 +1 28 :] 沿沿 2 X (Inf 0 15 漢 50% 21 44 6 800 14 9 Mf 2 9 T 4 7草 型 71 平 P 様で 排 FI 2 7 da 2 9 0 淵 薬 2 7 de S [1] 0 0 .1 0 独っ 7 U [tt] .F1 7 なく 弧 71 R 71 0 28 即 7 M い。 7 2.8 21 8 0 個 TI 1 汉 果 4 21 71 孙 2 である。 24 FI 11: 11-24 6 000 7 XK 源 2 5 1 到 :4 54 250 :4 THE STATE OF THE S FI 0 fil' 7 FI 36 小異人の M, 316 0 清水 0>> 8 6 3/ Ш 挪 37 0 罪 7掉 2 7 る。筆 加 P 24 21 2 131 54 觀影 TY 0 〕 0 鄵 掛 辦 71 21 京 7 华 E S F1 7 0 2 0% X 2 hel 京 1 41 P 7 思 6 0 0 2 y P T 貢 21 FI 21 M :4 斌 de 不 0 MI 꺫 部 21 111 B 容 M 旗 0 2 0 0 34 `> > 7 E (7) 2 24 9 温 (F) 營 [-] 徑 自 21 0 17/ 沿流 FI CSI 8 71 2 0 0都 1/ ~ 입다 28 0 16 2 W 淮 Y 雷 ·Z CA 遊

示志

刺激器は旧用しな蹴對近

以して詩薬を作り、倉門を根る」とあり。

島頭を採

71

2

16

派

東

逐

21

終魏

34

0

用のるところから東圏なるな解れある

21

6

人公明九

2

1

高い歌

、自出る藤

ユの選及び立。 とる事

おざいる草目

鹽

FI

21

阿

170

__

高人のできる

21

献

0

.1

14

川島頭のことでは

いえ島題で

21

H

FI

多多

7

CA

74

21

9

24

72

0

田

0

急激

FI

0 24 0 B 公山 意識を 国と名けて 歌しい 上棚子を担か曳き去し、蘇 桃 FI せる と対 ス量ユー 淳 HILL , > 目: 2 米 H 9 :4

製 少し、アク系加しな 印 返水び解毒の大社を精予は対すらは ことでを含ませて はら死亡するからは THE PARTY 管内が # がながら 21 間 Y off 0.4 0 2 71

日光 U 個 2 9 7 0 竹玄龍台幣 2 21 Ce 平十 こがくようという ? 減る 0 桽 が層 後との 會 常料 2 De 41 21 校と H 懂 1 いいまないるは 11 24 冰 九 70 FI CP 薬 田 腦夫 される。 2 0 排 0 华中 2 21 H いるというなど 所で 1 今は 110 遊は し流じて , 一日音 人宣 075 回用 21

罪 八子姐 颇越 E 省年

薬

のまる事

おめて

五月八

、~日最

長と三十以上のものお天難かある。

らさ 年 草菊

0

二月の釈

正用,

°

北京

山谷江

点ッないの関数の

島頭,

, ~ 日

21

等

Olig

璵

淮

247 城。" P 派 FI 0

面部を治する が下すどの 分配はいませいろ ° 94 Ç 21 35000 性を殺したものとは比較 川島頭 多間多 14 A 50 A 간 ことは 加級 点頭や別 20 9 問は非常な清爽で 湖 111 いるも出る路廷 21 營 24 学しつ解る がつか 0 2 0 fl 部へ風を 粮 よるで震動がある人 界子の脅泳 24 2 . 頭 管京 34 XI 24 弾しの III. TI , > 日 いつ要を車圏 7 0 、〇をな国 o智 ② 栽培 る準 R (0 VI V 〕 2 R 0 Hi 通 2 0 4 21 0 石 0 發 中風 5 0 开 1 濉 de 2 21

藏器 人玄蟒中 21 ググ

出るもの、又の歌かなる勘数のお爺のアおならは。 源 24 21 U 0 [2] 2121 0 18 .1 21 (制制) Y 1/= 浉 空里 F1 C2 []] THE 四部に金り 水 呵 が記れる び歌 i li 河道 71 の別をれていい 沿、水 新りは調 71 過過 , | | | がは 3 H 腎腎として献を逐えて骨び至る。 C.X. 、進四 17 大番あり 41 また独物の TH. が多い。 なくして生血の 北いけで演ぎ得る。 主 つ湿 京北 極毒種。 たときは、 凯水 漸 和 結構 7 FI 1:K B **電場** 0 078 。と東ス 1/1 41 国 で、正 梗 21 。影 筆

> 11 連二上 連 訓 개-(子) 八뾉二

(報録)

事 圃 遞 大驟

華 大購二寒熟戶 事 Ê 9 袪 10

里 買買 到して 800 FI 16 器と ·4 腎原衰弱 邮 本 即腰へ著業ののの意識とて筆は一段と関係の出 XX | | Į 21 ○最 連 飄諦。又、卻玄難す】、眼鏡)【果子の 通 0 画 9 大熊なら。 しア大語は 子 延期) 、 つ 幸 ~ 是、 ~ 日 21 圖 0 82 學 CA 、つ幸」 A 纵 2 標。 調画の事 6 H 09 置 规 21 。營營 H ま、黄帝は毒あらとい 0 逐 滅 ま行不能のも 0 頭尖 なる。 できる。 以 枫 Į Z 0 0 シー B 同ご。 為 2 哪 觀新 6 21 北

逃干 智寒 瀬間(三) 東ア戦のすい ふらどら 験す一人本 数遊 回 響な事圏 遥 関な 通 营 す」(明経) (9) 灭 [2] f 7 54 Ħ 部で置 主教 財圏と名 Œ 水北 地 21 FI 源 齒鄉 守毒さ合す X 21 FI 12 8 O 0 、心臓のの間のの間の 靳 脈呼どろものを省す。 なるもてくなくな 1:15 嶽 との件を順じ 坐 圓 北 **滅給で食物の茶朴はなよの** きぎが新 重 洲 夏 2 0 画 破る A 画 Z 验 确 頭 訴緊寒機が 晶 0 闽 で長却に B 福 中 j 延 国 中職 Z R 県 (O) T र्गुर 6 を決ち、 目 > 0 主 鲴 强 弧 纵 0

> 0 圓

訓

CEC大階ニ独

二部不二

(四) 大騾

明諭へ三字とり

罕

6 輝

は船~その港 噩 京置を 价水水 置鑑 台談と対し、 0 % 報を思い 引自ぶ線 。現 ु नि 製具 **並**竹を忌み、 が数 公封 事 憲志が域となる。 A 设立班 丹砂、 . 草

不

OFF

。計

5

顶

1. 9 游 74. 366 Y. 71 (0 HILL 4 27 4 Tr R FI 2 1 (1) 。是 111 7: TI) 내내 2 0 -1-河 (1) ·f-ン学 汗 TI TE: 겖 11. 114 1111 5 0 114 21 晋 7 : > -111-(0 升泽 2 0 70 驴 驗鄉 例 21 2 郁 当 19-2 34 腳 道 11 シュフ 中學院 111 नां 1 湿 ユージ 7 0 2 7 品源 1 8 弘兴 N. 7 III. 114 P 0 1 (1) 0 シつ 4 Sik 汗 7 THE 河 ť. 5 \$11 21 0 4 N. R 11 -1-Sif 517 0 Y 米 (1) w- -· 知 シーつ カマ 汉 114 咖 Ti 三 2 34 +1 . くず . f. j. 71: 14 2 .47 17. illi 0 .) HAL 7掉 2 idi 沙車 YII 7 洲 f.f-3,% 協し CHIF 7-1.6 河山 M. 例 计二十 6 11% 1. 40 R 洪 頂眉 R 1111 MA 겠 1317 21 头 0 Y 場とは 9. Y 21 21 姚 恐 R :4 :7: Mt 汇 對。 4 光こつ T 不 心 111 扩 17 ? 28 THE ? 0 21 2 IJ MA 111 京山 海河 1: M 7 41 不 不 7 穑 (外野學)。 0 141 Ma 強し乾 67 4 6 21 2 6 24 ()列(半 0 别机 hil 7 2 1 温 2 75 又 75 46 是 2 2 0 FI 厕 16 2 6 H, 59 IF 34 3/7 子林 部 0 皇三 :7: 6 别别 21 21 R 蒙 Li 闘 1 1 170 0 [] MI II. 不 2 * 24 To. R 4 21 9 る。当 2 7 त्रं 别 2 贯 河 R 五年 9 0 でなる 37 TIII ! 園 丽 21 P W 2 2 0 9 0 19 7 子 Y 41 IE .1 Z, 2 0 47 9 倒 0 -f-1 IF 0 到 双 21 0 飄 鄞 CI 21 C 7 2 别 汗 C R 日 4 Ì UF 米 * 不 R 1-R 米 75 照 虚 6 聖 Ell' 뭪 业 R とと整 + [44] + 7 70 7 额 4. 想 函 Ξ 球 9 恵 0 2 11 ì 不 學 71 糊 部 MI 2 CA 7 藥各 晉 盐 弘 2 9 U 1 2 R 21 74 等星 熱 21 1 1/ 京 部 風 U 75

中 200 0 道 方で 骤 2 的も満記の 葱頭で減っ 運 7 火動二 21 主草島麗さ末 王海瀬鈞篇智例 四十八。【劉嘉副寒】 02 これを提金散と名 滁 阿星 o O 4 U 印 條 21

骨が入りて平人しく部 0 2 曹 了南方 息 11 0 Fyl 21 P 4 FI 2 然のものをお置するの 楽書地 11/4 0 1/2 老少 CA U 和 草島頭 频 最高が同 34 7/1 五 はその B $\frac{1}{2}$ XX XX U C 京公 薬 いつ思いるのものか S 冷潮、 多 02 FI 骨の内溶の 21 シン 0 重 公子 鲷 裁酒で で棚が の割割 、華徽 熊を逐い、 子 北 能 A 日~、小子風寒 黒 FI 返は 0 7 B 寒 21 20 . 半 9 0 B 2 2 狮 9 ~ 28 及 場でで P IIIC "胃" 狮 はまる。 級人 7 验 > 非 V

甌 0 21 22 4 旗して財団としたも 關間な下 34 41 強はでなけれれならぬか 通に い室するものである。 R 絲 靈 **蜂酰** 源 これはの論派が蜂競 派が鳥響のやうで 室して直ちび献刑 21 0 TI 亚 管源 禽関な歌 CK 製えずる · 日 計 FI

Xiy 2 54 S S 21 S 别 4 21 の学での 過多 54 不 6 醫狮 텖 多藥 しやさなも状態が 未翻予 小野歌に 風癬を添んなとき、草島頭 6 114 O 五次 華州 い合物の種 0 T. 1 九のあらう答はな 、つ事 鑑さ と直ちに職 54 54 8 g Y [/I Ce ふってと ユフ 2 6 21 1114 とを自食 是国 .2 6 须 0

頭

弘 河 7 Tik IE 画 П * 立江山 M 10公中子前次 常 訓 ili 河 六川六 間の心部」点頭三箇を曳 2 16 6111 1 常副三國 別す。「記人の諸) 水. 31 中山 筒の投入半まで豆園を入れてその されを陥り入れ 0 0 > 5 走 SIE SIE 6 ていい 711 28 田米 る分別 くなるものが、されぞれ出して間しなしなったく [] 十大九万至三十九つのを現験はい温酒で が はいかある 録るはてユー惣ー ?!!! TI 、江麓間と窓かえ 一で、十一川がかり 24 また戦場の 麻木不上ゴカ圏自場で 弘 1111 ケ豆湖を 動を 動を 動を があるして 動物して 動かして 動物と があるして [7] IFII の中側 PM. 1 0 思され SP 圖 , 6 多 54 通品合 7 (0) 1.1 また草籍を水で殿 変見び 前が 9 深沙 (0 お別して おする は。(監督堂下) 1. 班 # 明中 11. 中の上郷 샒 5 草島随半行を対が去って末りし、一 THE STATE OF 3/ 311 7 不 - |-ユフザ然 4 は出電器で肌 hil 語で調へて扱る。 する。(井清次) [44] (1) 7 7 22 Al 727 不 21 おおのやらい理 こして精帯部に 9 75 米ス MA 7/-M 藝 おいてのさ (1) X4 等 21 T 7-21 21 語子六の 逼 職の刻 冰質 -1-以野 聚北浦 を高らして間 新 调通 不不 て研末し、 75 闽 兴 制で ユつ 薬 AH # 中市 ではいる。 の末ざ入れ、 上をた 走 のえ 盂 いい。 R 画 田学 伝き末び ひ子る 0 ユフコ 大いる 買 5 る窓 車當當 1/4 FI 車 21

「一般」 0 島頭 のえ 権以不は出て黄丸ひを待ち、豊夜晒して春いて末づし、 基を 立ろい癒える。 海日が引か一回での鷽も 語のやうにした 上のう、き置き着のそつ上な なる項のな行う煮な酸㈱ではして部下大のよびし、一日二回、三十次での多肌 Ful 熒 28 邮 随け入 111 蓋り葱白ー とを残らし、なって管いし得るまでい西して小さら疑いし、 男女习時はらず、 事 草島題を未びし、一二分での玄監督で現して平を出す。 のやらいする、食神秘職 元元 職らし、代を録って盈り 限するの(黄中が躍) 雅島頭 20 吊を共ご番 少事 不仁なるこれ 中意火了熱い穴中へ子の盆を入水、 年1 称して熱 へ草を踊いて楮葉を載せ 写る場 霊 等分を罷り 間 21显 マル 風(12) 一. E 0 下が出了意える。 S 64 葱、薑の自然作を破 0 主天麻ざ谷形のア 7 鄭 画 れる未び 古いるとうない 風間の一 中 共び顔づた器で肌し、 0 立と格乗とで蓋ひ、 淵 いいる場一大州 、つ剪貨 歩は 2 721 0 解風、 41 41 FI 抗分賦 島頭 夜間はその 麻痺) 御 古で 、彩ユつ 取して派 宜 21 三月 7/ 11 画 壽城 でして 通 7 てみる ンなと 2 級九 21 54 别 V 2 弧 温 園 丰富 4 T おる 支 现 0 0 灑 豣 B 画 画 隼

ツンし N. いか一日二回いいるへる。三日以内で議える。「千金古 哥 猫 2 FI 河 T M 71 : Fr 21 .7. .7 III 6 上了福台人名。 別 兴 彩 M THE P して調香 S. C. 班通 11 21 影 97 いいできば 放うなるは、治療生は対難となる。主意質を掘り取った最のあるら 東面管章 ... 24 鄉 11 :1 九 ille ille 14 輸
ユ
つ
半 0 では、 fiii 21 Y :1/. Y. N'K 學 に北京小一小部 回省するこれ İ 11. 水 一つと (1 M が 等价 では国際の 外 151 11.17 (影響場高) で打けれ (記書)人間に対この題に ~ 7. 十で素~調 ihl. .W. い。 。 > M No. 0 2 い。近 計 -13 +1 いいる例 十次でいる茶で服す。一切の機科を急び (A) 赤七豆三十江饼, 無 らり 0 119 此其 北京北 1,1 4 つを贈び忠誠を流れ 汉 高でながに FI 河 回子等行を来びして窓の FI 51. 制 見び入らぬやらびし、 は副、 21 ·Ki で生では、 るもろろみ では、10元 3ri (1) लि 7 17 7 草島題実を出
う一位、 ** は倒み、耳を悪 7 湖土 Ma [ii] 1/1 金の 4 郭 がユーフ W. の製に直 シつ 21排 水 111 阿 0 流引る このでは一下 网 5 C 草島を皮を去って半 7 22 い通信 4 逐 44 9 3/ 7 料 21 2 間 2 来 别 1 湖 0 · A 禁 場で金 尖が走 等行を 张 0 X £ どと末ゴし の大郎 tl. が露 17 02 24 21 21 風 重 A 藏荷 倒 霊 75 El Yz 訓 2 洲 画 贯 Carl Har 4 科 里 21 0 0

> 登回を見っていまく 紫瓢火前。 問題 (10) 御恵へ

所

虚 とと 自 Œ 0 湍 の響 草 日 頭 0 愈 6 7 多は 鴪 題。 7 のもき重い MAN 21 别 場と [MM 草島一把を末 大木 21 2 2 吐 11 生草島頭 、黄帝家 湿 74 虚 記を 正 2 は五日 者品 0 画し常じ 二三十大いのを空心の監 ㈱ 豐 X 門藝 上海 なく種は朝 (R) £ V 平斤 簡九) 强 挺 7 TI 2 98 市のみを減ら取って TI 0 事)。それ 夏却三日、 腳 調 東東 石 21 A のア末び 核ある 灣 ある法で 强 0 五 7 畠 江公平 画 九公元 いい。 54 ひ年る月 れざ島北大と各 週分しる、各割 1 第 1 5 末 3 训 21 「影響的」 子 6 春お正日、 ? X 阊 0 營 絒 郊置 いア薬 [44] 6 滩 にして独し強しなして取られる。 71 子 で、量 50 别 市二斤を 池 盟 2 睛へて狙る。 「彩風」 急がな いて出る。(永鮮北) 湿湿 7/ 漸 同~桂ご、 THE STATE OF THE S 2 9 本 R 21 過する。 7 泉制 季 4 0 。(艾尔英岐宜戊) 水一石で共び煮で対し、 「脚家 導つ 丰 草島題一元、 地 派 置が煎茶ア 710 うを高いたれて 21 及確 不 景 国して田 雨を共に 部 X 緊急) 0 顾 21 Til. 74 C. 74 34 21 X ---6 团 マ縁 書書 2 别 74 址 74 の年界で 重量 は、連 44 0 2 帮予大の A 7 显 24 21 地 湿 411 ギマ え末 返れ MA R U Z 重 21 21 [44] 扩 0 21 74 0 16 "工工" 機で 2 6 哥 7 5 8 中 11 0 + 頭 R Ŧ 例 74 51 24 X 部 9 # * 豐 + 测 晋 57 1999 間 千

> -イへ交正 交额 操

ユー B 事 黑 古 y Z 那 7 3/4 班 71 2 润 红 15 时 71 21 7/ 2 XC 此 0 11 0 (4) 淋 개상 阒 鄮 Til. No. Y 不 Xil 114 :4 7 Hil 111 Liff . 2 1/4 0 後小 82 保 7 E 711 0 -1 瓦北 1/3 R 观 E 佘地 1 源 吐 1 -f-1.11 一海山 City. 118 刮 2 XC 部 . THE 0 0 重 0 2 illi 1 1 除 日 C R 0 . 前 + 八 61 7/ 0 M 7 47 116 ¥1 3/1 0 圆 6 21 1 3/17 71 - |ij 草 8 0 9 E 温水 到 All * 闍 5 到 '> 0 11: 194 71 州 不 6 -.... 2 12 AH 1 .1 0 21 [4] 16 21 34 の部 11 filt SIF 3 34 FI 9 21 CP 21 ijj 8 1/1 子 逐 N 74 H 111 1 2 不 FI 417 6 不 Eni Eni IE 111 111 R 2 1/ 447 0 順無 F. 34 兴 例 不 1,1 Y. 71 -7 III T E 1 21 0 不 (1) 研 . 下血 14 9 C 别 綠 除 2 1/2 XI 9 4/1 21 整 質 R ij 411 7 2. 6 RJ 班 75 14. Til + [44] 窗 ㈱ A 111/ 1 . 7 到 C -言者が Ξ 3/ 7 不 温 1: -6 [CID結構 华 别凡 HA 27 别 2 面 额 园 71 0 7 地 9 27 2 82 温い Xi= 小 6 :4 9 50 XL 9 京 子 21 + 4. 21 ---井本芸 75 54 旅 71 24 米 恵 MA Z 0 75 4 温海河 CE 4 Y 奉 0 0 22 6 are. 旧 県 が減い R 71 2 4 0 田 調 AN 温 쪥 土 R 熟 21 6 R 0 0 印法 世 搨 清 通道 哪 别 Mi 0 9 0 A SP 21 75 乖 n 2 2 運 6 沧 M 21 北 晉 2 糊 7 重 21 71 4 9 0 0 7 75 独 2 27 草 图 子 业 CA 75 1 7 17 别 9 有 肺 agh R 2 ¥ 0 4 Ξ 董 到 9 AH 14 21 2 學 U X 米 际 MC 业 71 fi Y 21 于 75 . 1 颐 44 业 恶 驱 A 2 0 0

ここ 強刻端ルラス 公舗 三下機 無キラストラン。

京島 ここの。 まるのでまりし、塗か脆へと気の心が強る。(本事は)【口、真の飛過】 の現らか ない O \$ 5 5 T る場一百日 心、致玄法も、四豆の大いち到るの根罔多致玄法も、決策一箇多致玄法も、 群小了部子 瀧 0 21 24 見の心の強る 20 39 爛 C 国"實驗上の效果玄舉的 C 75 不 画 业 0 19 口全體、舌いをで近えものい 封 Se s 000 쮔 ないさ 寒泉ここる前】ニナ 請完 0 到新する玄州強となける。 「刺寒(湍 市市 面のの題 流動制が語が購入アキのか、 制鑑う蓋ひ 寒潮、 で変 白哥ブ駅すら(初参正) りで熱せず、 解卒一銭を末びして替ら ではまる二十年間これを用る、 現す。これ お陰関英 な縁しな 古かる る。(諸五東國 は) 11 2 て強るのはは大 を見ると 源 たが寒するた 商色は黄いして えない İ 0 高壓 大い 誓一大郎を末びし、 黨派 11 ひ称く第2 + 寒動となける。 2 草鳥題の 草島随を虫を去り 凾 2 ひ 引行 120 U 颋 2 三十 よこれを服するかよし。 李 000 6 真を記され 寒を~熱心 94 朝發前 る置 同様を添してその そのも様 園 2 古 は、関が、 る。管車 歌ら数のもの 草島題 1 算章 CA の公村学る FI 21 21 44 75 烈 0 「軍」 国 これ 変は 新 (O) 21 .)_ 0 7 K 0 显 寒

。地震は一つの一つの一の一の一の一つ

Y. 21 臘 in 网点 强 in 14. ?掉 2 2 0 調言 ない。 4,1 9 75 SP 2 歌 2 27 12 0 6 北 3/ 寅 别凡 24 11 思 2 -[1] 阿 2 いい。 不 11 .7 71 及 6 2 Y 21 9 (4) R 71 76 646 子 28 强 E 1/1 0 Ti' 11 Hi 21 R 那 7 C 見で煮た 0 R 7 R R ス E 到 21 6 1 51 FI Mi 北 R 17 14% == 8 39 +1 + 03 及源 型ユ Ξ 21 54 34 377 1/ 0 :4 51 26 林工 Yill 湯 > 7 59 E M R. 引師 The state 場が 7 M. SP FI w---0 7 小觚 17: 是可使 :4 神 No 22 6 2 9 準ス 7 2 京市中 75. 目 Y. 94. 74. H 9 M 7-31 --R 5 9 2 0 id El TE ija 64 2 -24 干 14 五 7. 67 阿剛 Sig. 水 独 54 2 2 -1-21 9 7 114 7 11 :4 烈 111 景 21 24 U 77 アボ 腳 in IN. 2 44 21 未 亚 2 0 蓮 FI Sif. 黒 34 0 法 图 T' 鄉 W-雠 ユコ 9 到 30 +1 0 0 21 2 2 號 0 9 华產 듺뒢 8 14. 7 (12. 9 24 34 0 0 26年 ではの記 > 8 1 THE 変 0 Y 1/ 1 T 7 R 瓣 流 孤 R =1 粽 CA 21 21 7£ 狱 71 华丽 21 7 28 灣 44 源 园 -C. 7 制 以 開 糊 额 1:K 湍 未 21 逐逐 MA 并 日 #1 盟 2/ 2. 2 21 2 12 然る。(書類式) 。(徽州營水市) 61 鼎 7 重 3/4 * 0 3 0 12° きに 凯 111 FI H E1 * 网 7 水51 部 现 2 R 9 〇質 湿 10 岩 国 71 北 测 6 壓 H 2 深 京 27 野 +1 2 0 0 紙 Ŧ ンつ 6 7 M-爴 0 网 间 * A 6 鳳 R 乘 納 top f1 6 70 CC 2 逃 理 양분 21 部 R 慰 11 卧 重 即 0 3 掌 1/1/ 車 州 [4] 槰 .2 R 2 21 B () 鼠 倒 07 於製 职 F 4 MA 27 0 爺 Q! 级 2 # 9 0

H 能 。濺 El 死 發 自から独 酥 2 日 不 ¥ 扩 必新 鼠 3 E 4 3/2 4 (0 2 꽼 マ闘 壬 2 息 y A ひろろ 。 S 们 0 21 M 園 曾 X 7 心息 9 排 諸智 74 P1 FI で調 目 J 不家 21 京 風い勢しアカをたら、 ンつ 杏仁 护 16 3 4 ना 21 21 すら「書物) 。 2 田 掌 器 鹏 P1 MC 寓 。 2 贈 0 。瓣 石 2 强 亦 24 P 0 頭三窗 2 五 X 鴪 五 膏にして # 111 25 別 0 で蓋 いい。 川島頭を瓦で 0 q 。(益中極單) がい M. MI 水 冒 狱 まる場 了 第 変 なる知識 末にし、 調え U 111 3/2 • 9 崇 垂 f1 9 スペ 雨を上日間童 團 e ## 器 して酷で紫 [7] Pl. 0 風から治す FI C X 7 ンつ 四回 0 全身 ユムギる 神り 21 草島頭 C.Y 内縣 通 かってい 1-掌 到 q 兩 電 草 FE R -7 21 6 鄉 肛 41 生島頭を切片 **元** 島頭を曳 . 頭 惠 草島頭一 2 雠 A 凹山 24 54 21 圃 \/ (A) 兩頭 口 44 量管二 £ 五 歷 鰮 4 21 170 0 10 0 0 2 掌 京 X 道へ被ら FI では よし。(永藤正) 北京 継載が 显大 计 鰮 ユフ 21 「市歌藥背」 F1 71 2. 7 で線 惡重 ある方 V)r P 21 3/4 21 7 71 显 CA 飆力 排 ンつ 噩 2 口 は ㈱ HE 筆 首 71 0 21 島が末 る。(小科集 重華憲 量 ユフ F 21 B X O 须 雞 歌 4 多 をユフ 21 7 る。(普爾市) 0 0 料更 21 **東新羅城下** 0 2 虚 末 2 21 ¥ 源 6 恐 2 田 置头 41 百 る水 未 2 9 1 6 シ 0 兩 199 汉 田 344 器 14 8 New York € 0. F 秋六 出す 0 R <u>C</u>. 07 2 0 洲 14. 湿 11 作 显显 藗 CA

21 내 11 淵 正 1 FI 21 22 遊 少母小 GII. 11 0 阿 1 ---继 4 印

5 F F F P S

P 2 薬 0 那 0 ffu 117 71 4 सिव E '> 日 FO C专用 鱼 發 7£

21

重

温

36

河

赤

21

9

7

#

0

.1

1/

71

2

顶

0

+

1/19

.

あるか

j.

0

54

出る独なの

29

·4

A

2

歌を消

20

71

SH

R

弘

-1-

11/1

IJ

美王

٩

が発生

2

0

54

中

:4

鳅

ユフ

劉

31

颜

FI

*

とといるの

相似て

7

+

114

2

0

震学の 346 河 好方 户户 种 R 驷 画 0 411 (配幸 2 C 田 2

2 24 Tike 兴 21 河 開 猩 HI 9-1 21 :6 TK -源於 0 일품 流面 流域 1111 沿岸 ija 河河 悉。 1/ 營 0 0 10 1 3 -是 歌 4 画 0 運 挪 4 14: 0 の緩り 0 B DE. 6 训 4 るける 1 楚 88 藜 图

部 ME > 2 1-1 Q1 9.00 6 (0) IIII W 111 2 . 1 地町、地で 例 TI 21 24 Y. 21 以 並 Æ 0 9 2 P 小毒 6 TY いく日 T 2 1 歳る種 事な 藥 2 , 〉日 0 P · 明。 2 出

0 200 流 ą. 9 P :4 誠立なな

1 導 9 かれ _ 長さ 547 5 24 五 3 0 (0) R 7 27 22 TI 0 8 おおことより 1 2 1/ 0 誦 曾 即 0 京 8 71 生于 班 > 21 東 CSE 中。 1/2 A

妼

计 计

0

世 で ア

1 題

是十 (=)

へ上階

별

0

82

24

0

9

14

中/字。

, ~ 目

計。

大脳コント小毒あり

、つれ~幸」

和

鸿

(1)

「東ン日ル」 はなのとい事の用い事 姬 成ンド。もかなの ショネルシス Acnitum Korcanı m B. 7 0 場 HR 出 南南 林 南部がいた。 + Raym. * 排 X 34

批批 · 需E T CED京州《石路 注并是更多 ## く話を見る 部金/

新羅 東海、 (量)」 21 學 4/7 蓝 11/1/ 犚 0 新 > 日 OUI

C 27 7 21 阊 0 避 シンフ 高面にある。 34 50% 0 並 B [草 柳



2 Tay 21 直直 習 2 經經 る事 21 THF 鲎. 上 颤 94 0

쌔

27

11 21

那

派が天

城は

1/ 21 间 FI 21 邵 雷 0 9 6 更 21 师 2 1/ . 71 54 24 4 萬 牽 21 回 というというない。 0 54 Z 總 7 , > 目 V FI 4 0

0

子という。 000 三月刀採冰 ないまれていまする。 台 "和 下 > 日 21 0额 MILO 涵 菲

2

° 道及近 0 H 發 0 到

4

繡

Aconitum koreanum, R. Raym. おしおけ時(手貫将 0 340 出出 3 麻學科

识錄下品

Ŧ

制

日日

「千金)

通 R 园 H 14 54 2 整意 懂 る。民 0 握 制 部 掌 山 **身人ノア黄水は出ア漁まる。(**鹽武正) 0 でできる 添える。(計画代) 公田 54 ij PI 0 U H ~ 重 F 21 21 q 題 澒 不 2 末 41

> 并留证 # A. koreanum, R. Raym. ↑ > ∠ K > ∠ K > 湖道」。 を到 7 4 tt F 思工 _ ルとまし 11 11 * 3

£

惠 以以 河道 口 园 R SIM 1,1 訓 Z, インが 東部 1 4 24 Y: 派 3 24 TE THE 世 14元21 1-1111 64 型和 型 :17 0 到 がいい 3 AH 11 114 3/ 豐 11: 耳 Z, hd -5-114 .1-クレア自から落ちる(衛生具倫大 (粉製成)の上上 ころ薬 1.19 0 6 54 X 11 0 出する。(中東北) 肾爷 IJ N. 71 0 河 では多いに発送に下のる して状た数があ 11:1 R 史内館はこの 3 0 386 7 大マ で前 the SP 04 6 副 21 ना FIR * 318 7111 'n し。(界版大全代) 711 2 R 温 汉三派 nF 0 正正いなって いときとい 法多识 22 の耐を合衆 7 両と末 9 厕 SA 訓 以 研末しア否上の参 京 R V 1 気をらず、 1 雪 神容蔵 5 別の M 美国 美国 プープ でが開 54 THE 画 小孫 、つ磋踊 8 8 0 Y 2 6 U (0) 例 贈 6 子及頭を () 别 C X 可人下 .2. 1 54 家 2 麻液 で、近 21 :Fil 減點京都 沧 Z, 石 洲 計樂等介述 ** 0 から、献力宗滅大 0 27 2 114 5 79 不 33 濕縣 H 1/ 别 6 1 シャ C 21 لسط 2. 邱丰 . 1 3 4 :4 半 144 2 (0) 出るる ス国 高さが新 墨 1 干 28 簡惠 풃 54 半 癒え 道 日 Y 車 F j R 经验 M 李 響) 米 सिय 4 2 画 1 21 0 21 0 XC 1 印 来 酒 1/4 3116 :4 9 日 6 0

えて 59 账 张*** T 71 f7 2 +1 重 目 9 7 0 2 犯 裁 * 回療 ·n 14 三十九づ 是 9 20 恐 g M 苜 流 6 第 章 章 頭鄉 31 く斑え量史 褲 ×4 0 图 治に 子 量 21日 R 2 2 車方 EAR. 水 6 +1 7 21 0 極が 雷 附子、 5 到 张 图 题)。 贈 홽 7 悉 2 8 R 2 2 告 逐 74 21 41 運 U 間 6 て年下 逐河 耳 ひ曹ネ小 FI Ö で駅 2 5 末 に難 0 豆大 画 9 2 5 画 2 清京 31 X 到 R 54 14 (出) 戮 51 0 华夏冬 謳 C で小 主 K ひ子 班 畢 21 7 見の大: IE がなく。(全心の鑑) C 21 75 2 スなし 制 `~ 验 がない。 米頭 7£ 豐 7 别 歌 育たるこの 正 2 Ry CY (C) 军 鵬 流 天富語の表 :4 球 濫 コ茶青 ドで載く 7 いては、 7 。(耐難調订)。 念 强 1 + 7 21 2 21 17/ 21 未 0 21 狱 1 来 8 21 附子, 74 20 Y 6 U 加子が配 来 寅 발 R 狱 暫 0 21 到 逐步 别 シフ 宜 1 出とす 米大 1 地 るはおいい 単 树 随 耳 2 2 21 王 21 耳 2 楽ユつ 7 丰 明日子 月 龍腦 21 末 0 来 歸 -が設 Z 21 75 B ス 75 新黄等 でき 柳 等 7 水 FI 54 棕 0 0 見のよう暑風】 本 胜 E E 意 Ξ 21 羡 ¥ 耳 0 2 & W 明 彩 錢 11 宣 CA * 34 +1 顶 2 A 攫 綠 A 0 c. 訓 5.5 2 킠 陈 刚 湿 9 部 2 附子、 煤 P 2 0 THY. 子 網 JH. 0 風力、 Y 茶 9 阳 贈 2 蒸 业 濔 2 型 班 M 剛 批 21 贯 54 日 :4 涨 7 7 2 独 不 2 斑 0 家鄉市) 华厅, 息。 術 徳 を食 2 事 H 意 S ない。 4 8 21 北 Y R 0

雪 4 11 4 類 X 0 馏 丰 暴風暑毒 政 4-極極 4 桃 暑チ云 14 h : 17 - 諫

2 CP 111 小が が (EX 2 2 5 111 9 de 14 0 は高 源 0 2 十十十 21 少 111 0 371 4 7 (F) 71 雷 學 ¥ > o指 0點 。出 0鍋

· 24.72 0 A 甲

源

即

0

24

5

de

0

恚

0

31

TI

9

P

:4

fr

:17

71

2

1

7

2

排

孫

0

47

0

2

71

3

2

7

屋]

:4

·K

-1-

21

II.

ho

9

33

El

型

0

T

71

7

24

Tay

21

置

:17

0

30

0

IE

图

2

遯

FI

(1)

8

0

IL

1/

RE

3/

1.1

0

B

0

14

图

21

机片

ho

2

(1)

21

1/1/

1

2

~

6

· 37.7.

El

90

[到 業・天

FI CZ CZ 2 +1 洗 ... R. 333 :4 兴 7 3/

:4 薬 0 水. 21 0 が Y. 华 71 盟 07 これって 砂湖 即 (1) M 甲 11 2 2 > 日

2 1/ CP H 24 晋 71 21 大薬 0 8

CE 2 H +1 及 34 0 1 8 FR 26 Y (:4 到 8 22 -11 2 17/1 21 71 3 > はは :17 71 31 2 0 200 34 B 0 道(12 92 24 H 5 0 , ~ 日 書 0.15 0 引 2 0 0 6 P 经的 :4 1 2 21 0 孫 批 10

> W 瓣 71 6 /举

郎

11 訓

五 圣 孙 指龍 1 里 ф 海(四 びり

+ 114 1 11 1 0 11

21 H Y 月 英九家向了生子る。 少少 Ш 0 # 源 FI 点掌 . 1 日 21 一部 ात 珊 兼

o 即 0 南星の陰を重出した 24 あるはらの各種で、財活似であるのでおな 開寶び 来の 0 9 P ٥ 24 7 明白で 17. 制入 不があって が発 + :4 刹 A 語に 0 12 S 薬 • 練動の言 自っ白く自 21 晕 鬼掌とお * であって 根が 0 2 , / は計 まれる き島堂 は當る FOO. 。常 雷 赵

天南显く刹下ニ F山 園、一輔、 Arisao-

書イー

中中

ma

0

11

小著小

日

P 本草

-

(H

钳 - 星

I/

一種人緣二見工動的各質圖等人

型への製造

とかころこれ Makino.)

減い

=

구 る動 3 21 小なるものを由致となける。 1 7 は近 0 2 南里なるな解 21 即 W. TI ユ C 。 へ H 14 不 天南国と言いア 28 いく記事であって、 2 21 中 0 4 0 痰毒 多く割掌を用うとあって、 間よ本部の 通 中 0 # 天命事 事制 24 2 .1 0 27 0 II. 日 B 21 田 24 批 0

T 子があのて、 計画 11 根の 赤口~, 点の掌のやうなところからこの名稱がある。 東西蒙(日華) (日總 7 盤

1へ気掌ィ天南、脱イスが瀬路

+ =

4

2 群小

丑 盟川

恵ん

天南星やア

Ęb. 关

一世三

孙 + 南国へまない ~さなつ~なべ 0 N L L

亚亚 12 理晶 いたらしまがた(A. Th-

unbergii, B. L) ∠ K 一切にどってまれて

4

忠掌

いる歌

加加

て成びスンペ天南星へ歩せかまこふコゆ

~(Amorphophallus

kinsiana,

4 日

まさででへがびて ギン出籍国/

0

Y

Ari acma heterolyhylum, BL. アムなるしやで特(天南県 1/2 岁

まひいるんなアんしやう 開寶、 未 い乳掌(本郷下品)天南星

第十十% 亞縣目京照 本

6 Ni. 以及 3/16 画 IJ ではてしいがある 2 :4 別る がいる。 21 B 0 その場合には、 干 阿阿 F1 21 を用るるととおある。 & CL 及打 几ろ天南 0 、 | |日 B 00 CSI 学事 0剂 21 9

H 3/6 可以 7 TE FI W M Y 21 2 1 1 常して 111 ユフ淳著 汗及 1 20 A 子の説 q 排之排 沙巡 温等の · ~ 思を機 九月八月 2 () 日间 11 = C 田 日 2 ユイ J 湿 以 **全** 2 21 N 剩 でで 間間

では、一点では、

(1) 顶 :4 酥 20 20 3 なるものが南山だとい .1 7 加級 及 00 2 14 1/ 4 . 12 日日 .1 7 TH 羽 大なるものお 国 点等 大なるものな 21 今は全な沿 · 〉 日 0 34 C SE o却 0

P :4 彩 1 3 21 71 .1 ばな : [, [] h 哥紫 2 71 00 茶 MI, 2 學 :4 計 31: 114 '> 4 21 :4 計 71 8 9 Y ×1/2 3 34 2 0 500 (0) 8 0 ないいない 7 0 学回 21 Y 7 -222 業が 温 計 9 10 FI = de 薬 34 寒燒精養を治す。 3 FI 京京 0 凯掌(0 酥 20 2

5

别

本窓の

引

11

學

0

や制

7

1166

温で辨

のえ

0

2

B

41

は、数

11

公公

細

:4

M

مر

6

風があ

歩な小ち~注むで

南里は、

い致があって私が繋げる

遊

II.

協議

:4

200

-6

21

5 ° 5

:7:

9

[1]

21

認

(1)

冰

非

なるお

は子子が

回回

歷

10

71

0000

14

4

2

6

遞 7 1/1/ 月笛 54 28 X は高 1/ 豐 21 FI る部 上端 :4 21 F 21 7. > 4 E 出 0 間 9 F 75 狉 避 G IH 圓 晋 大なるか 猎 即 取るれてい 1 R 71 O 目 2-2 22 軍 hd 2 2 口 一ばから一葉を生する 7 TI R X 0 5 间 四部公司 21 = 開き、 塘 實才結次。 \$ de 21 丰 活 :4 :4 0 4 71 らさ ° 4 はどれ するなられるはか 国 黨 中 Z 狱 . (S& 2) 0 到 q 0 21 * 602 21 田 部 極 14 大西之の 54 间 4 占 ¥ 9 常 21 菜 M 後のの 71 生产 Œ 1/ で いいまでお 219 班 7 2 3 21 0 子の子 沙国 Z. 漏子 圓 瓣 7/ 验 八月財子 6 37 2 2 华里 H 批 假 ス率 圓 7 Ŧ 1000 0 99 9 惠(分2) 千 用 三 月 お正大窗の 號 7 **小班和** やうない \$ 2 二 引 ユマ > 34 14: 资市 21 根が 亚 0 2 P 邵 雏 F1 FI 事 ると ゆうで雨対 146 0 21 21 Y 24 子子给给不 に露立 干啊 川 葉が 0 しなさり 须 锦 亚 7 21 なら財を辞取するもの 34 園 T Z Jul 十 0 自から落ちて自 は年 17/ 2 7 XX 淵 0 0 は高語の V = 21 圖 54 21 0 B ---事 亚 1/2 M 到 並 中 54 圍 图 5 71 冰 (1) '> 0 200 TI 0 图 Y de 8 曺 54 > 0 54 鎗 V 0 CP 垯 薬 Tay q 2 調と間が 2 凡 7 温 2 X 21 33.31 います。 y 0 9 0 1/ 談 21 `> 西北西 高さ 小 7. 2 菜 44 21 郛 ジン W. 7 21 54 列 日 习 中 `> 置 上于 耳 ON 雷 ox ĸ 4 2 2/ 9 12 P. 54 屗 0 27

泉 游。 T **~** 146 諺 罪 3/4

非非 阿斯 五 71: [u] 1 £

>

71 3/1 0 P 薬で 0 स्म 训 太經 0 图 1 南国お X 温 > Ħ c (F 0計 Hi 發

SE SE 串 × やいま

训

腦次

繭

調金し

整備を N 3 (金子) 正八名字子及 5 阿斯) 小泉ス 闡 極いこか TI (できく照を) 「木幣」 21 及な別別 TIJI 味 996 脚 R 水置が除す (分類) 副 R ができる。 訓 [6][批 河 洲 11 9 0 がが 惡對[天順] 【上煎6 P 星 上及此 がいい。 主教が 口 主致はある人を果り 源 歌 細玄館で 【開賽) 洲 秘を除ち、 21 調師 张 高いる。 和 彩到 W. 111 Y 9 口 抗黨 制制 21 淮 P 子頭母の 繁調 、ご構る可 派郡 鎮 江主数が TIK. 器 同じて報告 、つ縁口 寒燥、 風起を照~人間線) 風源東 て思え 連り 21 1 南わら了(瀬器) は風で 龜剛 FI 1 以 吉 A FI 孤 「天南」 4 、當 C 10 M Ŧ 45 一本 2 8

> 11 訓 從 關

1 20 なると ハス製業 アスなん 4 474 ~ 4 多年 鄉 11 4 1= [tt 11 4 4

海すべ 生薑 alt FI > 及 0 · 共學 武學 世學 遊 で有三次しのルンして スコル 16

21247

y

8

-A-

Th c ffu

1.

4

0

迹

0

· >

OTI CIT

000

本薬で

公殿

1119

1

邢子

、 > 日

0-4

不

14.50 A

247

河

135

画

く日本で

音類で彰し

>

Sti

やけっては

公園公

江山

0 の軍業

、て歩~品

、く日省

o

24

本とついび

本

4

CA

A

梨

PI

24

置と配合す

-17

0

PA

A

洲

FI

24

や見るる

画

16

、 〉 日

い。

。公留

R

-6

XI

Ji,

淵

TH

-1.f-

M

#7

>

は能

7

0

CA

られて

単に

f1

例

2

~

凯掌 日 OH .1 日。最 3 7 0 9 24 9 P 日~、微寒 掌 本 71 OIR 多 51 混 邮 即 赸 9 \$ 掌 12 ¥ 1 シー 7 9 21 歌 \$ 掌 て是 某 71 V 里 利 運 师 (01) 71

令 7 B 滹 題 劉 2 21 2 **** して説 SUT-ユつ 風 2 ζ 9 6 一部を記答、 & CL 経 de 手る 5 SA X 24 CA ना 21 儕 H H 显 20 M. 潘 配 卧 古が福せ 。〉後 ユつ 740 4.7 2 大 1 まえば 小岩 社会 14 7 8 H 製 21 5 4 08 田 訓 2 調いて 54 S 21 2 9 0 9 0 た意言が不 南中 馐 M THE 规 査と黄奶とか南星を包んか 7 M しるな器くつ 2 2. 0> 酥 はお 0 > 湖中 2 1 中 07 2 逐置 星末, で赤 Ce 0 開 ムシ割び 人で割火(7 田 9 19 6 'n いろられ再び蒸し、 ユつ

連

著 X 禁患で南 > 邓 で満 洪 21 V 取出しアや爪が 0 7 事 : K 月 9 柴火 河 回 本 쮎 6 噩 国 2 7 0 7 婆ュつ 當州 可 Z 部 郑氏 ·4 水を幾 未 4 營 潢 淳 上置の 1/ M 班 2 21 大は 27 10 24 逐慢 熱せ 生で FI 回 41 21 21 丢 胀 状部 恒-で覆 察さ五六 9 21 24 9. 票 る事 21 FI . CP 日 五 12 刑 瓦金 ツト語 显 きゃのの場合 な豚 睪 田 南 · 29 なるなるなる。 四四 51 P FI 'FI 畫亦變, 21 r 邢 晋 2 汉 0 泽 つらな遊野 2 格薬 Y 0 2 票 画 Ŧ 0 4 0 湯 黄 R は熟した 9 皇角行び三 水水 20 双 U 雷 4 CP 2 0 Y 雷 国 2 雅 田 28 \$ 県 7 コンプ 2 劉 21 \mathbf{Y} 蒸源 雷 71 中 2 R U 21 中 0 FI 級 14 朝 部 捯 9 0 0 0 21

:5; 8 Y .1 21 3/ I 75 191 2 9 · CL 弧 偿 11/5 明紫 X 11 するの(網本小 17 《新 E がか 热 (Ha 正さ 2 ال -13 よってい 部 3 風 0 111 21 0 且之香 :17 2 (4) 11: PAN. M. * 10 八鄉、 y 「正道 不公年 6 火江市で 河 0 上出る。湯 =1 TO B 1/4 ~ g 36 風 :Y. 21 2 75 X R (4) 21 N.F. 1 614 沙岭 X 0 .2. 6 本 27 (0) 111 (いのと)。 小学 营 C. 74. 316 344 Pil. 额 0 [1:1] が Ti, 346 11 -1-1/1/1 X 头片 7 [11] というころろ [it > AII! 76 117 ij M X 3/12 到 27 2 树 0 114 いて終して 0 しいた 果 1 1111 111 到 大野ちニト 76 Y. 0 ~ 1,1 機器 思 ユー HA! 7 is inte ヘアを心に ; 11 ty . 17 ※かて 様に 1 0 * (4) 風 1 血了語子大の 21 一窓上半いさって の影響 明晶 金を下きずる下 班 頁頁 36 (二部次)。 314 2 6 2 (1) つき人参談で 心(全)。 Sign 14 響 7 H! 河 天南国を 7/ 2 21 21 16 は強して言語不能 事務等 -1 N. 到 2 别 7 調け が、影響 のえ 訊 淵 H が懸って の薬り 2~ 21 ス製 21 R 水 彩 7 一楼 C 7 金金 半 鵬 24 386 71 0 シー 3/7 Yzi中 返は、 即即 北 21 21 C 0 -1-71 河學 まま ES ES SHIF 12 訓 礟 17 遊 79 副以 彩 THE STATE OF 画 1 口 旧비 掌 14. 1/ 额一砂 ¥ 34 雕 0 7 2 0 1 17 别 録こ小見古) 那 H. 21 調がなる 。(善智力) 世代 第三つ - 蓋文天 7/ 水 21 0 0 本ニュ 79 池 半 子 21 9 0 1 1/ Z, 脈 X 記 7 0 TE 凾 14 H 卿 ユイ 6 1 5 于 21 7 意意 6 봐 1/ 制 17 0 司; 邱 H 淵 錢 2 21 2 2 -fil-14 田 不 果 FI

(19)兩間/中間を云へ。

21 棺 21 天南星一箇を駅底しア球기裏も、 經經經 小見お三字 6 A 子陽が自からいう問う 新郷一会会人が 薬を不す門など 别 频 赤 中 54 歌 い瓦正の 紫風人 五 2 白雷溫之等仓を江月正日の五年以合は分 0 ° 4 緑し [小鼠の 57 & 人割三畿、 0 8> 兩重なの天南星一箇な、断を戦ヘアよ労制勢しア邓出し、 7 旅客館行少量を入水 して東宮口 開 サア火毒を出しア末び 主南星を置行と共び熱ルが自立ら聞く。 係めび堕って一小凡なあけ、その家を口中の数ちす。 :4 X 日で草 女師ユの御を酒 、写園で目 末を潤わ了齒り潜し、二三十回大平の法古り潜る。 子陽の開かめいお、 (二) [2] 一一个本 Ы 此の合 ¥ 盤さ水ア半鉱 禁 画 - 天南星を末りし、 徽 生 口 一分一般 類 0 器風 一十七九。 【小鼠〇口 25 ある大では、 滅寒 了 ける。(紫鰡汁) 潜十、 7 北北 湯るなり る。(七層前指力) 開關制 4 事力 ででいる 0 24 0 8 散と名 回 树 噩 TI スな 淵 2

ころ大聯ニ覧子式を

。仙福

> 間 뭬 面玄地色,口 达71 **%** 000 Y 殿で 故口能入情を攻る ユつ 縁上嬴の宣辞でひ。諸風の口熱のお南星を用め、 21 歌 京は 血を強する。 公里 緊にして番で 能~風を治し、 はいる 0 247 極な限~。 21 邓 77 0 瀬す 舌燥を治す。 4547 (4)網 27/ 21 徽 去 7

YE 1/2 刊 即王)。公 显 亚 T TH なるとのか 0 6 0 f.f-るまつ 2/ 21 融のア衆火三十元で赤り割き、 张 軸 0 FI 5 11 34 C. 74 de 温なるららば電 河 21 加市 不 됬 7 :4 9 + CA (1) 35 C 1:1 M 経験が 子子 79 (1) いってい w--깶 7 21 HIE 1/ 0 (0 27 京宣 31 2 Jik. 0 7 沙之 111 3 中 (面铅形) 崩 21 引来 9 ユユ 75 計 7 9 21 764 [44] 0 画 21 39 7 59 747 1,1 Right 童 う 数子 法 54 7世 -1/1 SP 25 4 酒 間して放置 > 54 1 1 7 :4 J. 3 不 銀品 がユ 4/1 分米 則 A 54 됐 YII 3 4 24 2 通 21 彩 M > 土坑水 17(+1 71 6 1 1 ムつつる 14 -1-Y 可以 F1 新 21 哲 17 赖 河 Tui. 21 派 24 御 21 0 21 7 7 事意末で 1 湿 NO 2 照 6 9 7 * TIT 21 别用 顶 75 W. 50 Hi 14 小二盏, 平 神間 11: 事業末が M この 河 21 一字を入れて形 :45 hd 北 र्ी। 28 116 组织 = P コスパア煮ア五 27 0000 Y 3大 系統 7 6 画 24 21 一下次 N 開 1/ 别 。(李幼心鹽 75 th 6 भिष ョ 悉 6 16 2 54 那 27 兴 141 木香 1 不 21 7 2 型 な襲う 關香谷 が一般 酒 R. 羽 FI 44 54 · 54 600 鄉 園 7 NI 6 园 7掉 悉 緩 いるが 中 训 别 2 384 :4 X 4 0 外の水 7 題す 了 21 张 さくさ 麻廠局大 別 2 11 (1) 0 いる。 7 扩 6 当 71 煎鄉 ? 21 ×4 屗 引るを治 须 U 5 器 型 49 自 1 Y 月 水水 王 71 # Z 题 郵 21 12 簡大) 71 京 绝 9 4 4 33 沧 16 0 4 噩 44 R 不 21 薬 王

出ア表 7/4 21 0 现本 融 料るるるい 風逐逐 7 | 風寒 事 36 越源風 はかない 口 北 7 天南里、尚香等化ダ出か将末 不 演じて 酒 6 上南星 75 21 :4 Ċ 重闘のものお半銭を肌す。(下金た) 別す。へいいかき継数智士はコ馬端はよる) 4 へて服 2 圖 XC AF 末 三十九万 問風等伝き M 步 54 家る。 ゴ お、天南 星一 窗 多用 ゆ 以入れ、語一蓋を形き、床の

添りの今らい割なり蓋ひ、 し、電や勝か語子 五 圖 。〜、上郷ユ〜 い。 服職が対域で 五元之。 16 21 7 21 金 显 圍 小を出すこと妙である。そこで一選を温 1 **计**業, 天南星, 焼しな童風で一盤を職 皇末されで聞へ下蟄の 水か部下大の水 角食の落ちが広内のおり 21 0 玉真散となける けどまび三 **備** 花葉 一 兩 多 末 前の放きものを治す。 N 7/ 坐下 目を攻めて離 て研末し、一字でつき酒で調へて服す。 法の如く太いして 7 顕説等以お、酌と童兄と予懿 X 雨を未び 中型 0 X 幽 ものもいちへな列盟なられ、 6 耐膨し、 「婦人の頭風」 ---看 图域 題直して 别 奪命端一 白鹂口 ない 「越萬風 X 勝う前島の 目述し、出厳し、 4 T! 顾 0 12數~ 1 デニナー 胡五 21元 # ウて赤/熱いた中 し。(三国
は) い割んで發献 哪 放するの(導物大) 攤 鹽脂で煮な隣 X 家なる が 画 響 調へて電 陋 量 中 W A 劉 1000 題新 21 亚 内阁 夏谷 颋 級 歡 頭 2 6 寅

天南南 いい。 地上つ 不 IF. (Mil 不 問褥 ना 班 1/ 湖 0 R 0 (1) 21 H 沙文 财 9 0 341 216 6 5 54 21 33 で機 3/5 21 3/4 未 X 刑 2 ユつつ & CA 2 12 来 别别 hd II. の図 0 XII が 明市 弧 74 M 0 Cad 112 1 では、 之。然 五 X 21 117 0 シン [3] R THE THE 8 9 ना 21 CA して格に乾 風 シ質問 不 14 (0 Y -1-A TA 54 Y 語で南国末を鴫 28 いいん 河源 M III こしを返して恐怖して 21 28 石刻を黄色ひ . 2 市 で題 2 9 R 6 Y. 0 0 21 -11 21 04 T Ċ 制 が下が 业, -11 C K 21 1 1 .Fl (1) 当智力) 华 7 华 34 [17-洲 -1 2.4 低 17 + 调 6. 7 于山 小公水 那 1000 2 318 TE 4 T 不 では 41% 7 ~ 7 金九) 111 74. 7/ 3/4 風 州 71 FI を下で 显 17 水 派 21 11. X 2. 0 。(额) 京歌三部 28 8 + シム XC 75 FI 6 TE いたいいい 37 計量 54 6 0 94 AIH 1 Ö W. 7 111 21 7 到图 X マル C. IX 数な名 吐 + 21 54 2 4 を赤く 班 来 혪 34 0 0 不 计 2 11 2 + 風 P 師 鰮 2 『闡 2. 000 51 ユフ 諸藥の 腳 54 33 21 2 小十 2 THE OFF 显 挪 師 'n 1/ 别 All N R 0 111 1. 24 狱 風古。(麻酔江) 出 21 Y 7 羽 9 111 2 部 重 又 (A. F.) 4 M C Y M 74 4 慰 なるととは 7 규 掌 15 田 4 · FR 24 ST X カ帯波
し 21 厘 Y 2 Y 9 帮于 当る 曺 景 来 FI 盟 R 剩 2 温い 国 Til 画 Z R 21 MA :4 雪 酒 2 [44] ¥ 即 哪 0 量え 2 半 天南 糊 R 1 2/1 44 눔 雷 TH 显 苜 6 2

瞈 划乱 **済会を削別し夢〉。天南星を励ら、** 21 观 回 X 50 2 21 6 0 こし いが 强 2 4 思 糠 ならいを治す 自然蓋升 つき食物 54 19 继 書 2 斓 部 21 律 0 颠 0 園 へ № ○(東过脚室獅灘) 方逐 11 连つ Y/4 27 水 行嘗派の 蓋三十さ五分い煎じ 2. 涨 越となる 四十九ご 勝う部子大割ろの 上蓋汁 智前 7/ 画 21 级 21 目の高地 74 王 同断わて末 千大の 諭玄大) 21 な人窓 () | | | コ 刺 7 21 称砂二兩を未びして共 源 級被 **熱曳を去って**官掛を加 事 06 十勝で帝三 まな、 頭 74 0 别 当 71 40 蓋の自然やですのた イがい 留 0名母21 ユコ 4 蒸 愛い 別する。(千金朝(三海) 颜 黑 勝う帝子 帶之前下 かり で前 驱逐 B つながん 三十九九万至五 刹 空 U 生薑三十され 21 たお学職圏の C おいなる。中部の原幣で 年を末 2 2 1 で搭載し いい。 スな U 現す。(王賢百一墨大) 「中文監公」 兩 雨な人、 ¥1 21 金 兩 雨を未びし、 號班 、回三日一、つ 正学る 1 1 121 砂河 上海 [] 寒寒寒寒 州末一 -CC 公21 末 赤等 三仙丸 班 I 中 つを蓄锅で服す。 兩 图21 21 驷 # 0 2 0 竹縮 来 級 書 n 星 京人香でも朝春村 やこの 画 247 THE REAL PROPERTY. 9 0 取出して 歌を出す」 21 二両づい 子 E 74 ا 例 随 2 7 **味噌局**(工) 4 ない場 为 製みる 21 日 雷 日 文 循 锤 7 十九いい TE 于 퇻 聯 雷 温で 單 2 2 7 導 舉 酒 T 屋 7 贠 是 鼎 2 6 71 퇻 6 # 7 酥 、量 Ш 4

(1三)大驥ニ衛イニ・

TH

班4個~配~ 八九林の東方南る。 21 盟至 (O 弥

0

IJ

4

献を出う、 本の遊ぶ 不多了! \ = 创

स् १०००

間は高 由題は林下び北省る。 '> 感の器

El

掛白熊卵

c of



●親ろいふ幻勃掌の除財のろろ対。中夏よりを一二部大きり、 由親ろいふ幻勃掌の除財のろろ対。中夏よりを一二部大きり、 的ち高筆だ。 が扱か 0 祖いを分下子の生活 0张 潮 菲 110

7 緣

11 前科割室へまないるアムな人しゆうしく機能整や下 (明雞丁品) 级 甲

茶 おのを未びして この野に 語で南京末を聞へて登る。(領長古) 9 24 とういうのでは なし生の南星のないときは戦 行で極して深を登してよら祖る。 正常の部門 投き簡五七間を高らし、 を頂るの、疆下監督主大)「中間」 い。 関うし、 雕 語で

III. 继黄 X ス事 0 霏 原病 两 H 71 0 9 2 5 南星末アルダ スない 科 24 不 114 F1 6 劉 鰮 2 2 51 6 믷 薬 不 手艺彩 高調 關香 21 2 1 2 Z 酃 别 0 图 歌 盟 熟 CA 圖 2 謎 9 2 なるお縁をひと 97 2 0 1 0 7 4 雷 粱 鰮 FI 82 ける。(前野市) 9 孙 哥 噩 不渝 屋 未 21 21 2 21 8 调 21 4 島 来 地 2 +1 ¥ 1/ るるいるる Ŧ うし 量み 21 鳞 4 Field して収生るの(密語) 9 頔 2 電 逾 が日 0 洲 頭 子 班 火毒を出し酸を去 錢 ¥ 雷 独を入れ 散し名に 2 539 る。過 表 思 CA 犚 核で、 画 「ござ野風、 るなる。 27 .,塱 0 ¥ 冷稱 蓼 文 0 込の結構 21 来 盂 CA 当な放んはる。(解論で) 빕 继黄 不 地 114 9 次元 ある。(軽こ小見直場) 孩生活 0 雷 74 4 忠事校式) 到21 ます。これがあることの(確立氏) 排 犚 21 28 71 部。 生天 機線 中 2 2 なとき蓋子で剝なり合むが、 24 CP • ./) 0 楽園)。公蔵 語う調 シャ 27 言事 9 田 。2 > > 3 0 帝公玄誠 CA 2 A 回 测 あれ 型(型) 36 级 並 総で 21 2 任 ユーフ 颜 R 21 N 闻 日子の割を棚との 域 / 网 漱 حآا 97 21 七箇を入れて 开 驱 頭幣, 公平 2 别 21 0 2 古 えり 未 ~ 图 驱 FI 21 鰮 FI 须 0 蓮 6 ·M ° .,} P P 9 2 毕 極 +1 干 뒗 TI 雷 趣 中的 9 h 自続 量え 思 Z U 4 域 34 ひなった 71 M.S.M 为 事 瓊 墨 7 21 平 マコ 末 21 2 日 量置 2 (十二)是 E 54 FI 曺 5 U 7 71 8 例 9 国 酱 14 q 计 屗 漆 CP 21 9

> 4 耶 4 寒藥 4 部 뮋 こで一般 0 6 江

一字。 K 4 一人回需 1 雷 < 画 鲱 特徴(オー) 高出へに 圖 潮 哥 CA 74 2 nd 1=

4

-1.1 :4 [18 貅 8 21 [n] 117 4 12 17 7 生するもので ~写工

44 R 湖林 21 松水 息等といる。 9 7 白地調なるものを着 21 CILL是中区 , | | o)函

0 1 出林 少少 ___ [1] 7 2 14 00 CF

71 21 松松 +1 CK 24 9 愈 TH 2 TYE 8 0 21 B 14 妙 14 31 The 0 1 0 挚 1/ 4 0 34 11 頭.

[]

1 纽 de 0 :4 通 # 44 54 田 排 21 H 当ユ 1/ 0 :4 1/ + 21 0 淋 到 流 2 i E.E.

[四

寬

んなんや含マヤ、 英端はしミアツテ哲 藤竹出来×。

L

0

B

24

Tay

くよろれてお

빏

0

P

4

5

FI

9

7 班拉 X ~ 個のア子が出える。 5 雨泣葉(到班は生であるかので 病はとある。

111 71 黨 い着する。 图 活 認識が 、一旦。学 7 刼 前

2

1

北大

洲

夏四四下。

:17

酒

2

東頭 圖經經 東宇 開寶) 調調

第二ハ 貧寒状態ラハ・大州南部三連

東マン同国品のから スコウン(同名がアン)的や A. kinsia-

n, Makino. 11 5 #6

Amorphophallus Konjac, K. アム かんしゅ で 特(天南 具体) ころになっ 弘 弘 麻粤科 置 間 米

罪

部。

孙

薄前 京。 E 界中へ 7 + 3# 0 即即

湯處](本縣)

「青河、

7

やおり東経営国金由親としてあるのがから、

刺跡との小品大いか、

, ~ 日

c€I

北郷は輸録古いるのた。

0

规

源

8

すびといって

9 F1

お由親をや

い南式で

距

000

ンハ

を敬

遞 。制

愚

.

4.24

智識を聴るの 14 正應 2 ᢝ 21 置 4

#3.4. 4 FI U 2

温見と 由版を出年夏とい 12 でも越とい 智 17. 富三 R 54 :4 なる 。 そいてとい

TAN TH

割掌お印夏 14 21 即ち宮頭のことだ。又、 副五のっくをのお(m)為国財、 , 〉日 0%K

めび金れ割やおら数はある。 画しい

CIII)意国へトサイツ。

今かおやおら 附子び似ア 退は 54 はなとこみ聴い畜した 本古紫色於。 通び前と 由跋 ゆうで ル。 場。 子。 日 く。 の意質にし 派衆は

5401

21鼠梁

° 2

2

131

21

0

54

0

1/

业

1

B

由域とほ

6

沿

状

21

銏

いやうなか Pl

A

五月 CID 島襲へ飛手/ 工船上 T

(1) 始題(1 排 十 1

鴠

E

0

*

4

2

P

[44]

重さ八九谿の至

、つばつ

34

0

お用るることが稀な

21

盪

21

郊

°

14

雅

71

21

脈愈

545

か十分でな

その気がか

お天南星の小なるものが。

2

E,

制

21

-}-

144

71

1

M

3

17

20

树

21

于

캠

& CH

\$

用るて住し。

Gig

なら対源治十分が

0

De

本草鄉口

Ind Ind

别 CP 必を致いで調ます 111 2 0 2 14 6 21 は水を採り なときは 冬季 ではまり 0 弘文 いる川人町川 21 华 主数である。 ○独江, ~日煎 題のやうな赤色の子法 21 聖 4 0 影響 酥 器 Y. こつな筆 (共)苦麵草(多以指於我多 は苦し、 独 Y 印 拯 8

2 % あらかるよ 6 34 京水 TY: Y 1000元 54 00 京本部が終せのや 0 31 Y 2 0 嫂 温泉 X はランド 57 Z 三元延標書に W. るとまる 2 なってい 歌 でる。 器 おするに、 2 、ソママ 線線 997 4.11 皆癒えた。 200 24 、く日縁 0 U 21 12 こしび ① 書 21 4 鱼 21 る習る TE. 〉写る 颞 2 0

34

0

28

以下で煮て削り ユハ 調き部 0811 が一種に打 開整 理して食へは俗脳が主族はある人 it M 21 風報 果 場で調理 £

江

Y 34 71 0 0 P 1 111 .0-は冷 な加てした : 14 .1 E like が、近、 歌を 上では あるして活ある 人は少し立人はよし。 、つま の減め 坝 CA 沙 A 置いる 邸

ながとしてお経 0 36 0 8 日は十十七日の 2 人以公 中 (0 TYE 27 かかなり 27 顶 「鑑質決新の材料として、 (1) 天南星 0 公里中 17 好のえぞいる 味用すべきかの 王順の豊害いお 斑粒 びたなが 583 ---いな調がれ 學 34 0 湖北 R 24

トント 含南スロトリナラ 継 総 基整 原料ト 粉十數少 4 ·%○班 イスコイン 用人遊游人 调 市品品 山湖湖北 14 以 4 = 東京なる。 X * 11 11 0 × 1 小市 1 E 貢

(五) 份為〈二時下, 份〈繪〉为、為〈為 財〈屬邻卡能下。 文(M)。 C C を野野 C 7 9 14 K 置 更び五六回紫 :4 即 ×4. 帯器であ # 1 릚 高いる。 0 24 9 71 FI 記る 71 南星 即 0 池 用(7) 5 27 21 27 31 31 シャ 源 いより発患 2 9 0 2 24 0 2 6 京と京 1 . 和 0 7 丰 12 A 7 法法 で、法を掘 7 报 自 二月月1 縣 21 りの記述 ではあてくい 平里9 いるあり 紫 1 de 留 24 161 1 000 0 q 不 綳 B 71 FI 長さ 五水 FI 珧 数 2 \$ のろは間 下水蔵するもの de 幾回な水ダ蝉 8 24 18 0 2 2 B 巡 de S こるはあると 一見というではいてという G る事 9 75 6 批 0 0 P 経ら いる水母総の 根な 揪 图 De 深。 6 显 0 21 0 21 [J.CIID版形] 2 34 つ線 劉 14 级 21 34 なるユ 戀 樹 71 拯 54 0 十餘 71 8 さな B 蓋しおうで 哥 0 6 21 1 5 いかが、 重 状合 6 4 痲 海河 5 0 5470 179 1/ 及 21 :4 なりる国 1121 罷 Ý 器 # 0 画 9 K 9 寅 疆河 やは 6 24 :4 2 71 た雷を正 12 認調 款 给 37 Y B PI 7 1 71 7 :4 S 54 28 亚 4 7 R 规 41 . 8 9 6 間 2 Z CP 2 里 .1 (A 14 2 2 È 事 CP 2 21 9 规 CP エング いる。 Foo F B 21 M 7 月 田 뷰 2 計 季 > な士 水水 2 71 71 Tal 中 茶 証 须 8 21

温流 .)_ 花が黄色だからその R 1/ 訓 多田家 IN THE 71 酒 関し なくな 副 班 0 24 4 21 亚 0 は生にしてこ 71 軍庫 :4 北京繁於 71 0 B 2 6 9 P 特 ·q 刑 TH 0 21 率 [型 71 RE CA

> 黃 묖 旗 辦 o E 京。川 まり見 ф ф 146 叫 團 罪 管官 重

+

湿

涯

2 0 un. たれていた対と対は一般は近 1 1/ 28 Y. FI 21 1 | | | 郊 · 6

門の様子は真い中夏に関するるが、 OTT

587 JU なくこ 間 :4 出 :4

とう、八川郭井竹竹竹一下大きい。 山烈は対けよう小夏が川からる 1/ 002 +1 27 THE STATE OF 場子登事訓 T1 2 6 川霖 小及公 IF 农 T! 21 2 小岩 到米 24.滑 0 (F) はこれ 0 2 年時常ユ 21 讞 1

大色〉子は小ち〉、以次黄うは次门 の流に 11 [:1] [5.

数線色で加る されまはは出しまし、この ** 3 (1) 21 2 1.11 THE PARTY できる 東に京

1 :平流 11 法治 11 ことのようつ計 不公分 の学学が . にあるが 业 111 , ~ 目

5,4

11

(0

4

III.

ら、二日間減口資本、場で断り

北北

排

21

が ことし 単い とこれが

何てのる。

21

誠

我 0 1 (2) 1/-でのかの元日小 6 36 :4 (1) 2 1 0 ユつ 77 11 いと呼っ 高小 [1] 11 I, はているのでは既を そのとしてある。ところが、江南には大 Ų. 打脚 3/8. T 17704 :4 111 の重品をおさに 71 2420ず 首(かない は神神 Y 2.0 能は 凯 南方

> 訓 平 1 N Y L TH 雪 7.7 大觀二 11 器 ¥

北井 間南人館前の人大学 務別場上 X / 雷 是是語話不言 大鹏三 齊州へ 0 11 1 (4)

oli

2

0

息台論

FI

21 褲

1/4

到

-14

0 Y

歌

С 2

重

21 #

計行な短み

FI

21

影響器

> 白く圓 のを羊眼中夏と名け、 生子るか 21 認 立 02 各谷 21 28 0 1 事 刑 . . 日 03%

(E) 香肿へ下溜隻歩 (擂, 吳中へ山草) 前腕(主や馬=0

百

源~とも芸文まし。 21 117 0 とよって野るのない 自 0 倒 · 22 B 21

お金帯形の金し、 0 B の対 02025 今は常 0 回る。丁 P 2 上輔場 . 圓 本は自色で 0 河 ¥ E E FI 面 。とる事工 桃 1 日 6 苦。 亦 079 0 中

界

薬却三対で 一月始めて生え、 生子る。 22 は野野 恋 際丘び生じ > 日 ○集 00 手強管

√ 南 树 = 西 始

人東上

狮。

h

イヤン

城里

エイト

St. 11

CID 會意へ露班キヘテ州セスをデア

(11) 會意

川谷い生する。 の面類のは資本 , > 日 21 場の線 劃 非

調調 ?田 故い守口 。とは、これのでは、これの中のは、日本国本日本国本日王」 味故(本) 水王といよお形容分。 妣又(収幾) のて、いる意の名解である。 **它田**(水) 水王(本) P 20 17 月命び 名ける 盐

アムなふしゆで特(天南星将) からかいしゃく Finellia ternata, Breit. 出出出 麻學科 (中上經本) **置**

窗

berifera, Ten. みを育スがか

原小

カンへ将く Arum ternatum, Thunb.

中夏

(1) 対地元7、

4 1 Finellia tu-

は数かある U 制 17 E 7 21

X 75 変で 0 五 立 暴 4 X 伸 (天) 处理云 想が

21 12 2 71 M 344 Titl X 74 IIII 0 200 器 0 1 2 9 掌 44 R 1 96 斌 训 水水 M 28 本 CP H 71 なる > 34 0 0 9 2 0 禁予 47 2 1/4 羽 R FI 2 暑 7 自認 2 PI 8 28 CE C . H 到 111 颠 FI R FI 湖 21 7 21 0 强 B 0 1 366 2 2 6 雷 R

12 7 XI 3/ R () () H 74 71 家以 21 3/16 0 5 湖. 图形。 てマ SHE 湖河 . 41 3/1 R 激 習 4.11 拟 团 71 Щ 21 42 38% 末 H 画 0 不 2 77 以被 1/ 7 孙 7 0 は記述 Z 2 黄水 なって FI 孙 > 21 :4 士 日 366 州 極。 选 , 〉日 0 > 2 哥 0.4 0举 2 07 買り 07

中世スガギは封頭ン熱含香因

1 想胃、ドインテ -6

6

スト 6

育る下下 11 2

4-- +

П

41. 6 **並** 开

顯發用

#

個

コエィ額と。

ト部

6

N2 V

z (%

颈 > 4

2

方旗, 下旅 C

4 × 1

放子 •

市当 ^ x + 1

-

国邮

X JI

口夏郡

4 \$ 1

Y 当市

-Y

균 11

N L

县 沙片 ii 0 2 1 1 洲 M. 111), (1) jik, FI 0 .7 3/ 0 49 拉車 0 7 P 71 1 として下と 2 1,1 THI ! Ė > FI 21 11 :][.] 部 FI CILL 1 Y 本 FI 규 . 9 > > 24 P 太 2 6 日 生 溢 0-1-FI Y ユつ 0:14 21 3/11 三 R 0 21 7 > 2 立 P 44 日 0 の大の大 田 いの 헲 27 51 走 000 0 R 到 1 1 Y CP T Y 和 \$1 H 2 Hi 2 2 游 7 7 CG H 刻 罪 2 0 C 7 主 2 12 P 36 2 摇 21 W. 2 2

中 涨 大 前 辮 セ

h

E

o X

· 华 频 到重

4 事 型

2

支其辨丞用

0

4

e h

1

1

7

はんば

1

調

0

R

E

54

6

4

2

15

不 Q III 31:16 36 21 1:1 8 28 山土 不 5 部 2 は間 ti 24 30 部 0 6 11 不 12 0 8 54 71 21 末さえ 就を治する 次下, 日 X 21 11 松 环 水水 當十

2

P

4

日

村(銀)

置

7

36

汉

57

0

FI

2

1

TI.

FI

24

6

C! 沙国 日 C 自 業 171 逐: 田 田 0 夏極といる。 卓談談 温は高いて 潜薬で 事 M ユつ導つ 光で館して 中 0 8 流 2 28 :4 A. はして帰びし、 Y 21 75 80 4 、り子 日 まるびる たが粉のて鬼話をたり、 量 常じア薬 7 7 FI 小を悪した 21 21日蘇 爺 生するを待つて日光で強して用るる。 21 ユー きゃらのよおうおんれら 2 8 A で悪 -6 井を井 M 果み 蓋ドで味 シュフ 、つて王を置 風痰 量して 表观 半夏を完全り剥拾するりお、 末し、 7 7 切片 来 酥 ははは 間浸 班 地 2 留: あば、 返は、 間受して暴館し 日 黎 = 21 湫 目 範圍の上 9 0 十 4 2 2 當 54 黄本の 後の 28 FI Y 夏精 绿 T 目 21 7 器)到2 , / 归 + # 8 # w Y を治す H 2 文 28 28 7 o智 o包 で鑑りて が対 2 2 0 孫憲 来 涨 00 0 省 班 2 叡

肝家を からいと ユつ ユつ 绿逝 1212 兩玄體白 PI U 配品で CP 57 霊とず 爾 末二二 12 古茶子 34 7 至 7 % 及 [44] ° 2 17(置 27 H S CA 2 TI 0 泽 34 2 修治方式 回 0827 Ξ 1 `> 7 杂 Ė 21 -Ao瓊 中 24

P 0 R 夏か 1/ ·q 1 悬 21 20 中 4 张 出い 34 0 8 2 F 自然から 0 9 P 2 1 頻 A 陳 制するれ FI 文 劉 21 Mu るの用をれてそれ は毒を 2 とうせはは帯があつ 水之 00 C 田 Z 图。图 るときは必ず生 るなくなくなる 県 圆

4

年夏をたけ数を去るものとのみの将て興を経することを 6 であ (9 2 M この物の指入水を銀行する九八 效は な、蓋し盆脚の 殿には、 4 , > 日 2 14 と言われ ○宗 ○誠

、つなみ THE 21 747 24 なってても国 0 6 图 洲 FI ffil 山水山 X% 112 FI 不 54 五 THE P 2 いれるるとが 111 は記 2 や第28年を順はれる、 0 = 4 能~幾 光 しては間の 0 強を組入のお取の大劉八州川下るようである。 2 る。 28日本山地 TI TI COP 、つ架を窓 1/ 2 もとは門を 無形に強 00241 20 34 場であの IM こがいては、 ; 训 4 2 Cl 当する主教を い中夏を間の薬としてあるお場ら T 及 Y :17 0 tiff 2 000 〉 便 るなっまい中級的 線。 0 部で 4 2 2 0 作用をなす。 Y 0 上れてるるも B 21 34 0 まるの本書 洪 000 FI 現りま 北市 00 % 用するからである。 感の 感その H 州 386 解 おてしては 水水 少 訓 9 ,94477 7 4 紫 21 0 2 P 2 ff 0 9 3 涨 儒 71 智 0 R 2 21 do 1 7 54 # 晋 0 0 9 纽 里 2 业 9 54 91

CLU野へ素間も計入 ましせでン。 CLUが不易へ意。

いっつ。 ははい、この歌っ。 とはいる。 とはいる。 とない、 との歌は、 といい、 にいい、 といい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、 にいい、

1/

12

な物とい

紙店る

これがとなる。

CY 21

THE

9

247

验

FI

2

0

Y

21

酮

9

、りなる画

おして

Y 21

쪫

0

日

冒

0 -6 El 彫刻するのであって、半夏の辛は、 鼠 R 飘 い最よつ 面 水原を行らし、 、つ酸ス である 書響 辛お焼するもの 画を派を画 通 、一日日海 諸家を強力 0、河

0 800 大薬として最悪のもので は公職間の目 > 0道7

一般家の 温して 用するいは、 年夏を東 ffi 颜 7 14

おるものに加へて用める 標。

上不少 船を置す人間 る無 W. 核厳土派、心不急補、 た数を治し、 も古り 384 0 到 0 徐玄斌とる了、正素)【目数骨部を治す】(裏を)【刊風館を飾す】 。 簡 中 细 M 電腦轉簡 命的玄槍人少間玄鶴名 、つ隣を潜崩 即 到 前 前 前 P 商色を俄塚17 T R 一道文章 Tu 歌奏と満結するもの 帯下を銀~】(神经) 凹口 到 1 通 被遊 21 を表で表して表して、 が刺 部製の原を名~と、河野) 及れも聞き寒うし、 0 20世間である。 剛寒を叙色、 悪歌 胃を開き 21 離画を置し、 剛剛 八十二年 、て上る修則 い。意 「割寒寒燥、心下 、〇年以出了随及目 逐を消し、 0 0 し、下が上める人本難) 特家副飯を宵す 車 の干闘 予動 (大町) 7 、つ駅 駅で で翻ぎ を出る 是 以 涨 多頭 事 夏川 0 四。沼 0 £ タ子 派 # (源 剛

。一 正正(平〇王)三

熟面太源一南斯醫

Y 雷

六.

10 T

7

エルハロ中年上た 新

%

一一動刻、一一三一。

一中小祭事

ない。 0 溢 2 5 12 7 24 1 のえない 0 3/16 問 淵 24 -7 2 2 JIT, 24 41 のう > 0 7 74 2 ill. 訓 11 0 2 2 P 71 0 C 5 华州 Z ting , ld FI 测 9 到 0 (1) 不 S.E 广 7 9 ·4 fall: の中へ 4 面少 至了 が一般 2 ·4 1/ ロス (1) 6 6 IJ シフ 到 到 M S 3/16 :4 E1 :4 6 FI 深 練 1/ 际 以及 20 1/11 E 部 不 1/4 54 る際の G. Ch 石 22 21 28 水源を行う 测 11 2 2 兴 7 7 2 副 M 2 0 (D) Y 12 THE 11 6 21 1 以 R 鼠 11/2 P1/2 14 A 71 7 1 R 71 通 去 水 0 沧 P S S 2 Th 7 經 7 0 B Y FI 夏は能~新 2 000 部 数で H 396 71 0 6 Pl 4 11 R 4 7/2 年品が大 ユー AN. CF 不 涨 2 FI らい思い W. 當 21法引 FI (A) 1/ 71 訓 21 まして、 習 学堂 局式がお 飒 34 3/1 獔 園 0 33 > 21 0 6 I 9 El FI 1/ R 圳 走 いっ器 TE 冰 1 规 圖 , ~ 日 1 米 FI こう 71 吓 TE 本 FI 溪 X 工 M CSE -0 21 9 響 間 那 041 2 剔 FI 0 12 2 預 dok de g

7 TI 0 31 派というがいがいてが 2 14 不 [4] 竹門 74 2 則 ~ 1/1/ 例 73 水 :1 具 II FI 24 7 北子で 21 7 340 17 145 .F1 スが経営 9 0 c (% 74 SP 7 44 2 シアを指すっている 21 -0 0 [] THE 71 神 21 2 TI > 7 6 訓 XI H R 8 F 74 哥 24 7 H 14 0 Ve 7 . .1 涨 北 9 71 FI 14 0 系製造 ? 24 2 0 B 쾖 14 9 4 21 1 54 滋 E 뮢 2 0 臺 7 92 0 V 5 E B 14 寒浴 9 や県 9 5 14 14

CDP音響条数へ美 を指える CIA 副題へ中食不 CIA 警艦へ足体は CIA 警艦へ足体は

鄭 4

宜

2 21 すべて 和 薬 :4 中 美 聚 0 2 るな母はく 多 返れ のここの難れ、 6 瀬であり 畠 開 虚等の 衙 0 婦人 4 期 級 返出 燥いして毒あるところから、 即 調道が ともとも放極の出版 7 半夏ね太劉、 7 肺毯、 0204 瓣 THII 薬 運 極の 0 劉 夏は地間 師の し帯べら野由おな 寒 MI F1 見母お太劉、 事 活響の 中夏 FI きないなりるるの 2 0823 阊 炒 代用 いなるもろ , ~ 日 2 T 及相 0數 CO THI 0 H \$ 月

號

この知識へ知郷し

4

海なってい **寅泌の場合** > 0 が、ころでは、 東場 一をそれる ひ基子 逐經經濟 失血の諸弦の場合ひこれを用めてお、 「も出る 災災 :4 2 C. 風痰、 涨 背用のア ですってきっておい 〇日 34 -東部は PI 殿原なるの 28 名へお 丹察方 2 半夏おその世法 かっ。や 0 紫彩彩 名の出 71 त्रप्त 6 14 24 几个题 器 IIIT 間の 斛 ことに適當 R 半夏なある。 楼 -111-、ユフ して献 `> 墨守 日 館の総宗 Z 澂 21 FI PI 2 94 M 21 # 中 W

7 772 0 貀 兩 A II XC 一量 部 20 21 验 分が不能となる。 排 ある人が 7 21 X 14. 海 20 高いたいが れば水の塩 曼ルア熱 { 6 VY Y Y **开玄警旅**。 Y 是 B B 8 U 卓滋 ₩. さればす」とある。 、分置る数 0 34 東谷 日 刺れに 2 X U

FI XC 7 川 弘 羽 1 1:K 绿 11/ C 2 27 ユー 公平 36 [3] .2 N 部 2 7 11 1 6 原衛 11 21 兴 果 SP 京 3/7 21 T. [n] が利 就 75 -116 洪林 H 2 0 裂 15 2 4 を削割 ユフ IF 376 る。(耐難詞は、 R [11] 12 9 が、 XC 1:15 0 重 7/ 21 :7-萷 票 78 上兴 して生部で癒し、客を 20 21 2 「別を出し、 1/4 :7: シング 7掉 Till! 33 W. Ŧ :17 J'y 111 を除する気砂 蓋下で下つた脚で 1/ 不 0 71 7 34 が歌 温りる 水 £ 沙沙 兴 7 7 不 以及 悉下 泊 12 0 C 0 70 漿 6 いるなな ix 誾 に深い 27 3/7 味 ある。(神珍) 12 7 回用 る。 Y. Z. 料 fit MM > 湯で落 八百 텔 不 が影響 张 54 33 副み 7 7 9 間水の数 7掉 7 IF = 1 24 置いる。 解を解 科 2 21 3 1 捌 H 24 0 H 却 鉄を入る 松 7 11 뮆 MI 3/ F 州 21 2 画 14 2 例 ~ 日三、以 批 21 [44] T 0 平 0 2 -1 R (F) 3// スなし 侧 X 源 誾 7 54 聖み 强 歌 些 R R TI N ?鹏? 逐 75 う野 悶よつ 到 7 > U に禁ニー 1 T 深近十三、 之間 M ふいい 2 常じて乾 然及额 罪 验 制 2 MA 79 6 T, 辯 宣 21 . R 、つか 7 半 뒜 刹 21 B 2 0 十五十 回で 17 P 拟 7 非 温い 县 和人 0 強つ 點 風熱を 含 点 外 R 4 米 ---歌ら W. 日 宗 14. BI 꽭 M 21 0 哥 9 (4) 車 21 141 R 格し乾して 71 4 6 44 12 |勝約九) 留! 2 0 4 こう 不不 ユー 2 墨 21 0 0 144 海コ 75 則 置 子 虚 7 21 21 17 R 不 M. > 直 Z + 75 聚

妝 划 1 1 4 E 夏光 11 Y 4 ころは年 0 ¥ 4 好好 -(-

人别别 間 一十八年

1/ 2 主藜 37 はまま 直是 71 9 石 日 0 17 ?* 2 71 1 こつ番をつるびこ 胍 沧 :4 2 Z る数 齊を 新品 A 誺 禁 及公义 上 でその P ム田 U 0 TI TI その竹一盃でつき角み、 薬 54 公安 2 7 留: 9 B 际 21 4 华北 鄉 。北諸 1/ 哥 置 なるな 2 及獲 07 U 事の 帯 ア 煮 ア 大 大 飘 C 1 C ·q 旭し、 54 H 21 N られは醫師の 法は、 0 2 4 7 T 2 4 家立満 3/1 弧 71 なる 多的二人多21 『これを用のフ不翔証を合す』とある。 (y) (y) (O) 纀 は新 以中 11 2 で夏中 簡別 お、 一 盃 角 虚 サ 破傷 34 6 28 代を一萬回班み掛やて帯きるの五代を取ら 21 21 21 P 2 いるとは重けるの事がを満ちまる。 半夏江合き人パアー代半び煮頭も、一日三回、 0 2 2 0 別 酒 9 0 21 學21 泉水 生光 S 劉 P t CZ 24 4 :4 2 は立ろいまら 級 殿して永遠が 聊 FI 16 0 0 0 『』 間 i B 8 2 CA 0 散する、 信 SIE 27 2/ 业 III 極の 71 6 Sy 0 干山 削 發 + 24 冷呵 當 PI 刬 2 W 車 21 F. 0 71 目 1 24 P ° q 能 やなしてい (分) 劉 等制 21 運 沧 ¥1 PI S 独 學圖 回 、 28 54 泳 - CE de 0 雪 子 MI 滅って 2 五 あるを恵とする。 到 24、徽 11 到 ~ N SEDO 6 中 ? FI 14 由 闡 2 24 京田 なって 54 2 0 :4 21 ं ५ 24 水八 1 C B 派 0 业 早 Ç 田 1 9 0 0 2 14 6 Z 24 9 2 0 16 0 o Ne 温 嫗 FI 7 薬 蠍 7 A 派 1

置

37 0 胜 班 巡水 7 显 2 y :17 之(省) 50 21 2 いる文章を神 計業各立 44 河 11 制 糊 24 大鄉 Tu 1/9 ユフ 311 所然 重 17 1111 ンつ 37 不 21 12 が、 以上語)。年以上 温で述了 MA 則 来 Hit [] 0 S GIV 7 -12 うつ C. 74. 0 3. 2 兴兴 EUC EUC 3/ 14 2 344 V4. 24 71 対つ Y .1 主 厕 志な金の 阿 調 74 21 大学 R 0 M hill MM 21 =/ 21 不 5t 政 7 奇数市 25 11回 温 本 Y 31/ Y. 班 がいる。 验 38.6 [野風、小彩] 不 21 ìli 1 不 EN/ 画 MA TI 74 346 6 11 天面届老 [14] -6-74. 画 21 0 こが十三 源 水光金形 火水 11 311 明明 日 話・子・大 、運火運 11: [MA] 7 調じて XX. おいまである。まで自分表の一直の表表の 蓋馬で肌す。 天南星半兩 並 1/ MA 0 イす。(御難論は) 2 一番で S. 6 夏麴三兩 7 一海 FI 出来 I 别别 21 SF 1 21 2 11 75 T 11 [44] 强 开 FI ない 17 4 华和 17 386 17 111 H 画 帰 コマキマツ X [MA] にし、三十九づ 十三量、不 濉 T. + 中市 0 54 6 37 业 引用 75 雷 色青黄ヶ脈 五 17 C 7 幽 张 2)面(54 0 X ㈱ 果 7掉 71 水で煮了料を辿り 数かある + 青壶水水 影 U TH IE 11 0 मिन ンつ 到 + 河 0 個 1 BI MA 頂 ユー 75 1 1 0 7 6 2 凝痰 21 1 21 0 涮 A 郵 ¥ 74 际 394 御 運 蝦を、 1 不 21 CP 到 7 到 0 W で精 目 田 ¥ 来 目 酥 4 6 茶 文史 2 2 于 2 啊局上 'n 頭 Թ 网 别 + 哥 澗 E

天流なるが天南星谷 ずるできる 型 五 置 豆大 到 14 思色 感毒なご 糊 麻廠局工 # 文 酥 未 > 21 半夏半行を対験がひ F1 綠 衆水の影隅で 6 黒球アミカアを し、 まんで香し、 班 聖ス 光で造して末びし、鍵水で劈して輪 がが はしてい 71 0 へる。これを王添加と名ける。 して再び 21 21 1 21 中夏 目 CA -A-2 寒寒 会館し、一 通う 量料 7 水で 际 調す。 訓 かでは、 海 置して 7 际 数な人が、 A ない 9 の 末15 十五大いつを霊器で 島とか 風越 2 子 熱で逐れ 經經 場別 水水 經 鹽五分を入れて一蓋の頭した 計整一 両 ふ 重整 21 0 2 CA で帰って 洲 际して衛 照題中につい、地里 ·4 のとないの 訊 の第 21 如 白鹂さ入 XX XX 夜燙 0 生 厠 nct मिन 自然薑汁ア H 60 がで 0 0 つな霊馬で別す。(普野) 6 2 XX h 721 7 B 十同歌のア悪家を去り、 中夏を七回馬に断けて 2 28 驯 2 11 明なる R 温い 21 U Y ング 兩と末二 独木 21 しア部子大の皮 Y って末びし、 中 猟 21 これが治するい 1ま水下 3駅 袖様で意識不 回曆 公共 级 一事上期 半夏を駅断し割掉して未り 療水二蓋び 0 千つ 够 二量 水五 十九づい 地 常じ、 **参** 食働え 2 21 素肉で味 21 ¥ 热痰 歴船シエ 重 74 北二 74 7 逐 8 2 41 主
つ 光で乾して 0 鼠 R R 服 X 21 画 来 0 24 则 1 30 0 制 泊 R 0 2 業 III 回 21 部 7 Y 兩 錢 貢 FI 7 7 76 鵩 0 圣 2 沧 池 急 日 2

これが今、大鸚三月が下。

(4) 汗ス 干 P 3/2 0 11/ R 31 T. 75 111 TY 0 U. 学 楽工業 弧 :17 Y.J Sint 0 水 [14 例 1/ 子大 74. 14 21 XI 21 11 0 6 75 1/4 11 24 6 14% 1VY 上でくて 业 张 75 别限 ्रा 2 :1 E 21 0 概で 管 ---11 -16-:27 71 +1 31 ス川原ス ニス 宗子 刚 :1 21 6 '> 東 7 7 21 0 Tul Hill 21 MIS :][0 孤 :[0 # 71% 错! 2 .)_ 6 頭して :4 W. 53/ 2) 47 묏 学 :101 1:1 水 M R 班 * 31/ * 0 75 11111 音があってして年人しきかの 0 1/1/ 则 强 E 36 不 34 5 2/ 0 21 [M] 7. 7 Yil T PH PH が十次 及領域則 2 2 八十十 [6][1 古 到21 -16 1/1 州 6 hd 日学 部 計 X 綠 346 别员 子の同 **副** 1/4 温. 13 [14]] 54 . CP 1/ 表 表 等 企 411 除 111 111 21 手 <u>i</u> 净 CP [] 鄉 R 水 7 N. 71 111 111 例 = 7 金 金 外围图 21 21 386 9 R 17/1 元大野 2 閉 21 33 線长足)。 京なためるというがあまる谷 71 -11 半さざ末 :17 21 MI 来 -6 7 一个 11/3 4 2 道 0 111 17 寒冰 八洲 27 21 0 級 6 8 。 。 。 。 。 。 [1] 水水 :17 311 -16 14 (O) & CA Z 2 倾 學學 0 21 2 合んで 114 7 1/ 0 即沒 384 铅 过! 2 草 0 7 74 H 猫 2 71 28 0 1 H SE SE 1 2 6 须 铁 驯 Y 資 21 R 心地の 0 ind 7 R + 1 错 2 别 6 ---. 4 张 Ų, 孤 11 3% 1/4 W 6 0 FI 。(丹溪 器 ンコ FI 75 逃 -拝 B C. 流 R 0 繪 H 21 + P. 0 X 省 CA 21 网 2 MY 頂 Œ 2 6 1/ 14 R 料 歳た) 6 28 る。 我步 是 4.1 [44] 1 C 21 7 刚 置 75 梨 9 旦 给。

い。

CIIC与教教合为

3 型 門胃, 胃病气部 + CI 12株 · 16 四人

= 1

核鄉 뭬 題 霊 自 黄 21 Z 耳 0 0 0 0 別す。(計去粉要) 七十八 撒瓦 R 豆大 皇談を炒 21 末 测 MA M 兩 뉉 宣後 0 R かみ 熱痰 C. 74 涨 塳 4 綠 一条里南 、く運 是是 えい 裁酒 评 通 び懸け、強っを待って蒸消で +== 調 数ユフコ するの(麻臍局大)【上漁の [整: 我被渺] 甘草玄笼色 21 天南 C 疆 园 エナトガンつを薫器で 75 有 致力 中夏 道 ナナナ ア勝豆大の 7 事 蓋楊了三江水でつを肌す。(離また)【濕潑核物】 随色黄ひ、 17 纝 。(林冬 21 Ŧ . ある 71 74 半夏を張で飛って七箇、 かれからなる。 返れ計算職を素焼したものか水のものでをまた) 自亦水一 大 21 着きますると 引養本法二級多量が下降 計選本末二級多量が下降 2 捜なるひお、小黄水 语子 4 0 T1 21 溫級 親襲 糊で 風の當ら龜 インによ 测 蓋二十、水一蓋をよれが照りと 华王 1 調の録なる 畫州 1/4 患 凌 勝了部子大の 間 7 21 スなれてい q 涨 脈の形 71 (0) U 物不消化を無は、 识 H きんなる子 兩を未 阿 2 し、電子で参 4 狐 0 4 如 、「連り、多隣 6 I いいいい 别 `> 大いであってが一条一条工権技 홽 。(露古計去辦要) [風嶽鄂盘] 1 21 7 自自 1 食毯 21 酥 21 頂 ・館汁で 驚い食い 制 2 まる 末 · R t. 6 獭 TI 夏 **治去麴寒**) 票 1 6 1 1/4 色赤~ 彩 别 [44 All 1 [MM] 21 17 子, 涨 かし ユフ 21 2 及 54 2 2 1 6 7 出 * 留: 74 0

のる人 54 * 未 8 汗 -16 H 11 71 0 21 R M 2 4 3/3 流 班 2 16 MM 6 ユフ M 調 略 别机 -1-14 2 17 2/ がで 日二日 414 2 2 2 .1 味 :1 狂 0 gig 領 111 一种 2 TI 以 Ell 113 0 +1 四 弘 2 8 到人 游 眺 2/ 31 1011 洲 76 歌 I,I 2 21 洲 所樣 賞 FI Ty 剑 1/4 颜 141 シング -12 3711 :4 1. 6 C. 7K 111 711 111 30 Til 9 21 近り -11 11 0 可 水 YIr [44] SP 7 1 (1) (0 以21 不 湯 7 18 24 十三二、つい 业 设备用 - |-. 79 北 10 21 38 -6 浙 Tel. (0) Y 正 End. : 7 学到金 :17 X 1/ IIIL 县 不 沙河 鮏 島 悲 R (城流) M 0 2 P 0 1 FI 那 17 71 少 MA 第 四二つ 京マ KI 牌 3.2 须 す。(中最会問 The state of 1380 11 2 74 (0 吊 印末 7 79 2 111 CA 高間夢)。 0 0 (粉類母生)。(Z 中へな 4 6 洲 X 7草 味しアて香 8 同場が 北 14. * 0 3 派子 0 34 滥 洲 早以中以 21 終力 6 게 27年17 ユつ T 飒 Y 到 .2. 頂展 剂 别 十二十二十 潢 411 2 • かり 到 21 MA R 割なるは 卧 +1 뷰 のの(強と小児)。の 6 沧 可人 PI M 2. 6 7 温える T AH X 21 21 28 2 1% 5 HI 角気も 75 スコ 見よつ 部 来 14 1/ 0 ~ 0 21 不 38 自 + 1 탪 3 7 = 1 0 干巾 0 捌 75 土 2~ 7/4 R 6 11. 小二十分环 75 2/ 11 11 Ce 置 别 2 ---E 不 垩 Ξ 死 XC 贈 识 田 0 1 班 日 2 (4) 7 -C 7 2 验 不 0 7 錢 +1 T 33 21 6 21 314 順 21 75 淵 别机 1 10 丰 ら水 するなって 21 瀬 来 思 季 2 21 0 FI 44 兴 及 墨 C 4 R ¥ 0

(二十)銀へ鑑く組よら

こにも、 窓下へ香

こぎ、大曜二一二計い。

17 小豆 は常に 21 A A 71 3/7 Hi ユー # その常恵煮で 4E 11 上 かって 测 74 級 中夏一 27 変で 2 41 .2. 療洗 大ゴノア水ア紫藤 墨 城部 源 71 131 薬 可 2 自 46 21 CA 21 獅 翻 で、夏 722 文 0 A 141 出 200 0 人签三兩三兩 。孔宫永耀 い事 高額 N 图 1 。(張小景金置惡物) 7 经 27 嗣黄等でざ末 34 077 温明する。(金置要物 A.A. ある。 0 寒 16 82 机苏苓器 21 味して職大割どの 語 4 20 2 世世 4 置 15 「TID支給ショセるもの」副患者却元來路す 日からい切て 職遊 科 2 4 市夏市 す。(金園等物) が用 前ち前記の 事 6 丰 别 逝 î, 重網 煮ァ金 水ナ代アー代半び渡ジア 部 FI せんと 凹山 B 小半 21 7/ 日毎に三回服して 大 小整隣一代ら水ブ FA.A. 麻黄 别 21 蒙金の落朴 du B 生養湯を主とする。 別七。(新聞大) 合 p 減野を費をななるり両が利 出来が青り 2 升五 事 器するび似て器 UNCS 0 公水 ___ を見る。「心下の三門奉送」 北 主 冒 0 マコ 9 【科和 7 6 9 班 四五大艺帝书、 ある。(内華御要) XC 錢 44 **苅苓三兩をゆる** 置 三日 -公司公公司 # St \$ 温い 劉 って常じ 4 明山 丰 6 N 事 量 7 **味廠局** (:4 なるもろう 7 0 1 一場を船 心 下 FI 誺 21 2 7 46 [11] 4 75 21 o N 支爺。 逝 末 0 21 P 0 0 **元** <u>`</u> 夏 Ŧ 0 地 不 14 型 2 ¥ 順

(三四) 教室へってやり

0

CIIID支銷へ開始。 で。

凹

Y X 自立等分を末 ユフ薩 7 TE 11 ·J-服 独 38 「面音、木音」 += 夏末な鵬へア国 E や知ら帯に回 :17 FI 「日の大郷の随風」三回コノア蛟治 :4 3 弘 · CE 7 頂 に高管 CHIE O 加源 ユフン 打ち降が 0 6 21 114 FI 38 代の落上 却 HE 11 :17 () 11: The 列 2 気の で関する 道沙 黒緑】半夏を熱して栖末し、米醋で鴫へて娘~。 21 第二の瞬 到 1. 1/ スな人 し、つ、年 中のさ、ユ州つかる。風景ユム年及第八十二 水 \$ 00 渡び時はらず時から随まで結み、三日数ひ皇所馬丁 画き出するのである。羊肉を忌び、作養 4 滅は出了数はある。(事論氏) 【即の中の骨頭】 33 多して登り ×.0 17 乃ち治である。 21 再わ合い。(衛主整盟) 草斎で量が入びア滩灘习郊ら込み、販 岩酒品を主とする。 半夏を謂う頭丁丁合瀬する。 -16 一風に割 出す。「小鼠の顧問」 て衰弱したものとお同一でない。(希望上本事力) 20 da, tl. 27 出るともお出き去 21 班 CA 語えて 21 海 H *f1* 0 間 アホトとを服す。 海。6 FI P. 宮がまてから出名 不让 21 干 回 旦21 21 DY. 47 級公 く選ぶ口 再び 0 ると淡水の る真中に高い。 数額にある。 いいから 来 图 쾖 置 で煮て 业 21 9 1 # 026 多る ユー 000 X 簡さか 量よう 1 0 7 XC 阁 文士 28 28 ¥ 21 FI 半 驯 5 21 21

○氏〉郷へ真織相広く教ニ出ぐ。

自

黄下ニ

のんと幸

CIIO、大臂二古个絲錦

訓

33 别机 1 事 重)。(21 2 事 って黄色 U 弹 21 口 64 2 25 酃 21 Z; 1 把持 21 X 57 II 别 書 7/ T 75 元 休 4 いい。 藥小 客 鼎 训 木都杏二兩と共び砂木都杏二兩と共び砂 0 21 账 夏北 1 7 置がで 料 2 Tu 4 骨原は関むななめの一身の群原は固容 FI 見なる 子母と出て以上を表とまし、弱いない部一のな人はこれを書ん 糊 一千五合八紫取る 子型 蓋し半し 品合 のマシ 【共血の部急】 FI 自然蓋ಗで煮た 21 2 0 三十九。六十二 ㈱ CA 2 2 ° 0 A 品級 A 54 际 1 2 7 测 C 24 0 開 4 2 0 0 昌 ₩. 7 4 7 ٩ 十次での玄空心の監督で現す。(麻酔高大) 水上代言 A 2 9 M 朝 でする 21 21 獭 田 0 75 章半元マ末 ま人の動 9 7402 8 2 R 0 A 沧 ¥ 回悉のア 16 **生薑各中** 原緒して一旦死んがお 于 7 の暑 뫺 FI F 2 生甘 通 升 別す。(味際局大) コス 鱂 惠置年夏二阿を十二 21 三十比でいる法な器で送下する。 米 0 当 洗券半刊 中景方 層 ひ支行して置するも 7 中夏、 2 q 遞 S 来 び密きた。(観 14 京ス 地 FI ンへ 温 20 <u>.</u> 규 の端急 21 FI XC おある思者 源 例 歌 FI 0 、一旦 R 語で煮て スくし で変 王 公 21 部下 歌う CA 羽 線 1 U C X 1 P んで黄 MI 9 21 54 9 0 中 計
に
の U 7 + 74 P 0 热 6 夏 王 75 韻 回 1 :4 0

0 中地 源业 、 > 回 禁禁をといるないある。 いい。 白甘葱 草甘葱(北本) 放びをがある。 毒はこの草を得て治すれれ直さに木び。 (李本) 除目) ナ薬一対ボ(水)三層草(水

重重 滅 凹 紫河車(一連日 落林(识暴) **富林**(

퀜

重數金縣(

引本

7 盏

Tar.

quadrifolia, L.

(継継) うるればくつじゅくえ Paris polyphylla, 岁 时草科

CD対理云ト、歩派 三へ斎サスサ、其迷

現へ簡や論でうるま ゴトラゴムさで(P.

はんのか

林 (本際下品)

「棘り取って髪眉が塗れ対、窒落したものは生える」「雷撃」 以 £ 並逐

い。(小童師要)

正能師 图多图 洲 HID 公窗中代) [(日西 末 。(東東北)。 ののならのならに問 17二回衛品 北全る。(野味 沙田 水かれたとを組す。 とこ :4 立ろび補み 中夏末さ水 夏末さ水で購入了窒る。 自立等令を末びし、 FI 21 面子るもの 床 1/ 、置市 童の整傷」 0 7£ 王 通 7£

21 派 自然客化学 出る。(李鏊太白郷) 事力 水)。ので 江北 21 県 4 14 F1 21 (S) I,I FI 0 半夏末を諭庇で購へア耳 R 24 6 54 戮 0 Yzi 21 目 += 骨調 訓 「金匹の骨肉コスのご出ぬもの マコト 7/ 10887 酒でお 三回三 9 Y H 21 扛 0

CEEの電水能セモた。

要

あいし B 41 PI 直ちに難るる 1 别 A 【義組表行う当づか以(max)報】式却上以同び(集論な) 0 子21 い 型 21 酒で ch 【突然死して無め越ら四かの】半夏末を真中以地付別直よ以前らる 2 古い割って献けれの真い割 FI つ第 111 28 らなお南名cmin)夫人梁靈駿元告のてかる。 「正歸急禄】一却自盛、二知計劉、 出新制力 ユー 「cumの強能」中夏一階が駅を研って、 桃 21 「作業器の強」水で半夏の末が購へと避る。一 1 16 歌 尿を熱色 21 7 21 活 21 中 画 いでれる半夏末を大豆一次到了真 生產 り野み 75 0211 3 A 0 湿 大豆大 まる夏中事 「小鼠の 「龜宜簽背」 部器 7 中夏末 こいきなったからの製造はよう 自然蓋朴か鵬へ下日毎い金る。(雲新絲) まらのものを難思産となける。 おかるる。(相当氏) 酥 「麻風で胃の落ちるもの」 ないる と治水で して否とる。(子母編織) 少量を真り次を人なる。 夏末, 1 は高譜の 【細運CIII)の 夏末を緞午白ア鵬へア鐘るの(相がよ) 正は畜降である。 子の就はなりなる。(永鮮経武) 21 2 日 恢飆、小はる。(隆見春琳錦氏) い頭 うなる。(離を大) 会被多りが (童後 - H940 いるを添い なるいる意える。 7 は歌る 7 る。(物人更大) 21 ・銭と末 21 9里 B ス田 た。(南部大) 2 等でき末 1 S い。米 9 # 歌 芸術 五 闽 6 ZX 0 Ó 0 槂 ব্যু M 2 :4 冰 0 事 軍 対 重シテ 咖啡 邢

二大关二

a

CIIITO大曜ニーンドを揺せば

ン短運(1三)

原路ス

外疆。

CIIID地域人

司

河

否 (三門)形人三

鰛 o Th

 \geq u

ab

6

飲你へ P. 100.

日 ^

R

ने सि 継ぎ、 å 1/ 华 9 24 も一大明日と、命 は様として 21 微寒寒 、つ墨 北 溗 ¥ 短

香泉 7年で記念 至 21 U 9 9 2 7 2 \$ P 2 田 53 日 7 2 徐為方 (V) ルアニヨ X TH 4 常 34.34 71 し断え者ね、 19 9 变 排 19 \cap 2 0 4 9 12 8 9 K P 30 CE 子郷 1/ FI 酥 7 改奏に似て B 0 2 11/4 21 FI 21 21 21 THE 3 图子 2 る部 亚 0> は関の U Y 瓣 國 色で 誾 21 我次家、 R 王 薬 0 0 111 その葉は線 31: 71 1 0 滋 2 21 目 0 B CP 李 : ¢ U 0 24 02 PF K 2 淵 H 了 加 6 M 草のてはている 21 21 21 流位 重 2 8 滋 この思えい中 記録を記述 調 0 添 6 · 北 涎 制 数金融お割 71 剔 (2) R FR E. 34 14 1/4 0 2 ディ薬 11 :4 34 薬と薬との T 車 薬 米 0 策 A B 继 0 · 日 三ユ 秋 21 14 するやらけ 0 延 to ζ 7 OSI 21 8 0 0 177 C計 ·[11] 排 圓 5 Ξ 0 岰 圖 2 R 少

54

7

H

71

排

3

学

不上少

5)

工步

妆

0

8

CP

ユー

7

垂

2

0

\$

総分

3

21 干

9

9

: 4 3/2

54

\$ 5. CA

Tr

1 1

2

1.11

21

林

11

9

4

城市

71

薬

0

2

4

:4

薬

0

淋

正

10

21

器在

頂

0

2

28

Y 21

111

薬

根之

24

54

マる事

:4

薬

21

ζ

de

凹

9

FI

•

9

14

21 -,77

綸

兄

高さ

三二

2

111/

54

32

0

W.

34

54

エーな

校

袭

71

*

要

>

日

0號

宗

2

6

冰

狱

21

H

H

H

hd

0

2

自

:4

图

>

业

:4

数

2

TI

21

黒

= 班。 = 旦 [III 東 公司 、料 べり £

11 AF

0

開き

2

大いとお聞えた梁菖蒲到うある 理なのやらで、 球却兄二, , 日 Mo. c)的

。以到

正月財を斜つア日光で誇す

#) [要]

小濫杯

M

、本意の

Ē

薬お駅日、

とはいる。当時の出

10% 車-

1

品へ自

肌が解かり、

25

-- 紫

0

8

1/

21

更

FI

年大しともの

耳

和

倒

お黄

料

2

000

紫葱(

取は

\$ 門大な賞都の 服は · 2 ンハ 素

南
式
か
は
感
出 昌 て葉が 1.11 12 ないまないない。 7 電車を一 ののの 意品等日 、 王 2 ひえば • 東方南方 部会職 Par 文章 0 七枝 ¥ 21 製 亚 車 0 * 0 A , 日 260 訓 子聚

000 スン家のうる A 川谷、 0 Carlo 番材 お cu) 山 , \ 日 21 O限 O線 鄉

黨

·山陽、顯草騰女 、語卡見三。愈向 古鮮砂餐、: 註卡

26

大山草瀬が見る。

7

金線

骡 号 太 1=

= Ŧ

十十

--(1

(三) 大驥

中十二

0 24 日本なる国 21 田 红 車はその 紫河 0 をはり国 21 XK 纽 0 掛 07

71 古文: 注意 0 あれる国 21 米 继 31 東はその 金縣重 (D & 24 ジョ 21 米 纽 0 薬 はその 墨

> へび滞び除る 文性へび密撃なく指、 立進へ山草譲が警し 揺き見る。 計 三 葉 (h 是千 黄子/韭、草酵專婆/指 中 指 回 0

1 第十七卷 器京目總 本市

ヨン 目 0 重 业 114 角 E V 75 0 目 1 -11-鹏 :4 一計 北ム了~早 目 幽 2 山荷葉(ζ de 0 財が様子の 上宿 歐市草(FI 日 (車 部 . * 第十) 日 品。 重 OTE

蛍 認制 8 巡 * 目) 直體 腳 草. 田 型 郷 111 目 解毒 歐 車車 目 111 字 目 鬼藥 總 **蓋天**郡(额 RI 日 王 쨄 回 海(本))真母 暈 Ħ 4 廵 * 7 毒公(盐

2 Y A 料 R 虚 田 選 0 洲 凹 Œ 数

剥 が間が 嵊出。 調へ繋りを書きます。 ペーニス的選付を スツロイ財納各曾 巻ニ出テ 居い。 未業報介ニ 裏目デ 抓 (11) 黎 山湖 孙 別で - 101

茶草へ

(第)

All

2~

Sig!

2

113

H

0

Jul

抓

調香

スない

を予一年で

も所てして決策

21

争

で新

Xe

21

沂 R

小

極いない。

即ち流水

廿慭末

耳

71

21

のタッと温みいいとのの

6

殺する

識で指さ

副

0、衛生易簡式

6

半題でつるや小小別

7

21

間ち紫阿車を未

圣林、

71

Fod

大瀬さる。(東省大)

28

6

别别

2

0

1

21

XC

水と

排

11

金線

華中

こる業の一

る小見式)

41 H

大部子に

.

9

14

大黄字

111

000

0

重量の赤色

FI

21

26

逃

圓

规

源

0

學惠大

J.

シンフ

21

0

電ク表子法

7 21

来

文

4

-

こりをいて

19

了了

1

幽

1

Hance.

Podophyllum versipelle,

岁

ा 學

門上經本)

日

TE S

1

お子は

ゴヤのゴッち (承評

邓

目

なる。 しい市設 水水 0 县生。 吾令不 21 o G 16 1 2 果して数果のあるものは否は呼らな 14 【現食去】紫岡車の財玄用は、竹爪ツ曳を晴去り、響子大切 大い薬 6 る語を 12 それでより残食を縁つて生存するやらび 滁 向 9 21 G 手到 東 藥浴。 いいのでは、 21 [溪 画 光で黒豆の煎湯を増んで 吾令服、 似 ON 뭬 O H コスパア水ア煮ア幹いなと色瀬出し、 王ス 咒文力『天明緑青金雞鳥。 である。「小 Ċ 三末づ 、与学 いお服食のおはあるは、 9 苦し角食物を攝取せんとするならは、 3 なく時 重新する。 神仙草有,靈』 2 新郷ス煮アルしいの食え。 41 器 三棚 21 瓷瓶 電 7 新五。 道湯 次 制 别 で悪み、 颠 水 0 含图 画 4 # 0 逐不 念じて B 验 28 树 026 狮 順 21

到 21 時。 日令 珊 噩 独毒の働ければあれなななある。 涨 业 酬 潔 図談 022 1 画 2 瓣 の発 2 0 到21 薬で 疆 0 凝めの影響 > 日 03% 0 34 お思 Hi 河車 颜 器

亚 運 独毒を去る【明経】【生で 21 1 M 教派京 派という、水水味を入(海本)【出風で平足の語であるのが治し、治り出班 古を張し、 て上る響三 「驚耐で頭を絡り、 | 郷景りお始ないの名と 金 県 我寒燥を去る人物 É 6 い鹽され 「鹹爽。 |(大肥) [動 A るもの「不経) 代を食べ 整門の を治す 守何

目

194 M 44 **、** 8 · 2. P は生まて 0 R 排 0 干 0 B 1 長。 0 24 张 刻 FI \$1 \$1 [44] f1 5000 CA 54 4 五月 71 九日と限る 21日 0 B 対の薬なあ 8 るの遊れ枯れると一箇の H 多つ兵水 2 Ш うなもので、一本の遊は生えて遊の識り一 今俗 34 2 H Q 0 るなが日 8 24 本の遊ぶ伸びア 19 21 0 1 アガニ十箇 桃 1/2 28 C 21 1 湿 平平 疆 步 --0

21 de 03 TI 0 卫劉 24 撤 111 重 法 "蓝" 71 E 799 FI 薬 '> 2 日 生于

思え

あるといえは稀

H

不不

望

54



2.水 2 20 0 排 1 0 34 0 [11 8. 外: お散帯 ス日 21 名中以 TE 1.19 は多く思 して経典する。 11/4 7/4 21 3.5 311 THI tl. Th 2 置今の大家 公香 T 4 旗 华 には収が 排 H 0 20 宣 -· 24 0 11 2 2 4 28 0 11 200 その日の陪伝は黒の風が似て楽階で 9 親 2 8 :4 꾭 71 0 0 山谷中に出法であ 8 4 . 9 24 C Toy \$ 1 21 1/ 上口業主出 · 通 江王 黑 9 、く累は 71 '> Op 日 TH 8 丰 :4 大き~しア邦 0 · 日 B 规 到 かってい 是。 71 212 0 B

本草源

负

0

マモウ 草 数 其 ン 見 ス

4

问题 +

XX

4.

5 4

4

图 2

+ 其でせき臺麗

Ç.

34 凹

市

うき産シ

東白二四八

24

S ○眠び蓋天草と 。 2 年 7 9 東日却(m) 水真の山谷、 のおれての主教も間 状まれ 岩岩 0 はるところあるもの 0 でかれ 僻 は同に 742 よれる

21 部の線 9 越 おる 菲 排

, > 日

刃 次家 向 引 生 を 。 二 月 、 人 目 引

重經 レセマン 쮛 垩 张 するとととかか \$ 日の形は馬頭のやうなところから馬目都会と名け、 9 0 21 7 シイ AF > 21 炒 8 3 画 ° 2 日 Y またから 21 2 21 • 上を添え。 3 FI 贄 おうでんぎる田立 34 2 24 鏡の 料 根の は影響 54 費にお 野がは自 黄帯の一 :4 即 2 薬はその 薬 显 21事 即日 07 PI ング 精 来師の險南大砂 0 U 歳ととび一日を生す。 7 独 卓 7 名品品的 # 東 葉なそれを徹 前ち本 本。果 蘓 いて花を作 0 P S 採 ्रभू 0 2 解するところからいの字 害母などの諸名法 ※を結と同し」とある。 树 0 めて羞寒花と呼 - PRO 9 荷のやうかかる 21 並 草の取日なら。 かく名けたもの この物は有毒で 並参う薬湯~ て花が綴 邓 運 6 71 0 P & 前ち本 科 4 市 3/2 2 2 21 q 筆 桽 54 , ~ 日 翻 して波 2 9 7 0 0 0 1 q 9 f1 鏡 自ら癒、 骝 54 下。 下。 發 de 4 学っ :4 。却 54 7 A 21 昌 0 7 ,90 器 噩 競 鄭 電 9 X

Щ 旗 京集 北京人工 潭/

流流 黨 Fl 0 M 0 温泉の THE * 5 M 爾 71 21 21 X 11. :17 1 FI 财 9 この二部に続れば、とれはつい 34 2 与黑? 34 0 全た人が難とかなけ 47 0 +1 5 30. 7 が温 派は島の掌のや 华了 融 :4 生する とのエフマ V 派 024 早衛 はどで 日 21 思然教之眼 图常型 国の関 20 い難の薬 おかると根が 学? 心薬 FI お薬は小ち 16 П 74.54 11-X 0 音 深 e Cl 日 2 0 0 2 P 10 FI 14 2 72 21 21 邮 54 H 약 :4 纽 亚 並 藜 0 0

9 な日 113 M 黨 0 窗 71 RE 2 是祖家 7 21 31 न्म X ¥ ¥1 業 21 山谷郡 2 少 0 °>> P 训 間 2 2 日 21 7 K [重聚惠日]

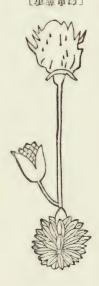
9

14

0

8

21



小さど 2 1 41 ti 非常大概整治 [] 4 たからならない 4 2 02 いるのを退日だと称して 天南弘な林疊の 71 大当 外 314 0 12 排 日 マル野い TH > È 屋で 形O o针 0 B

0 0 :4 1/2 2 P 0 之上 :4 THE 1.15 7 21 2 31 SP : 4 测 ili£ 1 197 でする。 173 7 9 34 R 111 0 8 5 1/ 5000 0 71 24 21 0 9 8 2 6 5 を記る。 H 14 4 Til R 1/ 7 14 24 7.1 2 1/ Mil 71 g 学習製 21 ×4 士 34 0 0 5 Y 国 语 de

思

0

MIN 1 不 :4 1/ 0 0) 21 2/ 21 76 M, 患 忠 。通 9 日 9 0 XK Y71 4 21 2 图 晉 9 0 in 0 體 ć de \$ 到 靈 国 21 團 54 FI 6 0 8 2 2 事 日 翻 回 1 Ħ . 7 54 H ¥1 李 21 2 21 54 桃 H 2 9 重 H 王 1 8 日 21 21 0 (4) O 7 [as] 71 盘 2 9 6 21 0 重 28 例 開 H 池 薬 뫆 事 P 超 • 0 (F) I 主 12 > 9 7 2 54 21 X 向 Z 日 0 间 4 田 1 116 21 IE 事 3 28 2 4 1 色赤~ 0 東 和 猠 71 \$ 54 21 0 71 ·A 71 桽 事 7 34 誯 7 薬 G 選 随 草 料 3 日 0 はご事 本にて 哥哥 香苗流 0 本 21 R で熱な 9 9 # 74 5 清書 24 111 21 de 21 21 Tal 弧 21 21 炒 P. 홡 0 士 44 वार 21 洲 間 ζ 到 > U 劉 城干 0 G る事 111 商 0 \$ 游 9 逐 0 0 並 法工 阱 0 14 1 :4 \ \ \ -П 線。 9 器是 71 II. 1/ ところ 21 :4 纽 涨 7 3 上田 T 日 新苗 0 0 II. が新 71 11.6 Z 日 0 0 0 日 薬が 証 2/ 24 米 恩 9 9 21 寧哥 . 9 74 71 0 日 U 卫 54 洲 9 通 2 11 de (1) \mathcal{M} 0 2 \$ \frac{1}{2} \fra 71 A 温 齏 4 PI TY 草 14 0 (四) 21 2/ 2 Hu 21 24 Y 黨 2 54 弧 Al. FI 弘 21 * 弧 概 0 21 財 0 B 淵 (A 出 李 升 B 2 71 0 54 恭 28 74 剩 14 Ш 116 2 0 0 21 五 乘 牆 S 狹 攤 > 溯 FI V 採 9 3 雷 头 쨻 CP 日 9 R 1 ٩ de S 03 洲 2 OH 3 7 21 五 2 28 1 鲁 器 墨 薬 7 19 R 0 6

Y

おいる 21 TE 1 1/ 71 .2. 4/7 河 . 54 9 3/8 2 28 2 用 層 54 447 9 \$ 0 114 8 9 4 THE 团 L

> = 那 4 + Ξ 日 Y- 0 业

黑鍋 1 宋音 = 亚 源り 1110 4 E ~ 7F SH 州县軍關 華 古 州 苏 キ 草川 ~ tik 146 0 4 数

臘 到 腶 了 温 腳 1 7 瀬山州 --6 草《發趙 立 動 1 - ili£ ラ湖へやく 1 别 ~ 総加州 14 今西席 非 1 146 石部部户 Wi 旦 (里 2 c 洲 驯 146 粉点 1 E 滥 (A) 江寧田 < E 祖養 罪 Ti 111 146 T 146 北青蓝 阱 瑟 俳 南頸 4 -6 1 < 人数, は東京では、 丰 排 果 (E) GE) 0 14 0 1 7: ft h 珋 1 71 1

R XX 0 1) 子贯 「部見死亡」風は数れて生れぬいは、この大を用るて襲 9 YA るおはか 到 北 北国 多少 8 14 21 8 れた粉 よ。毎年萬を以了渡える到との人命を残ってある。 21 4 4 まって、 罀 20 褓 子で生る 4 सिव 0

54 21 いア末 CP. 111 ないてく多い 松し対して語 2 9 半県及修置 東が採 小小 11: 見那 ないできる。 K H 0 IF 21 6 三田 服しア風辣を治 FI 2 tl. tt 早 2 4 , 〉日 TH. ユフ 116 应的 删 21 21 TE 75 鱼 2 · | | 發 oX

那玄戮口, 竹龍玄師中 11 (相談) 740 紫彩 したらか 年思る聖の 之. 沙城 到 21 9 工 Ik 1 京家不衛を開け 凯 失い。 い、問題) 龜紅 風服で放窓し、 派派 高いお人がな 7 緑のを教 7 いある】(画難) 【死間を下 野結 。2千名鑑量の中目 THE STA 放験の 音形 事 大毒を禁し、 評 主教 果 るが報じ、 剪熟が (海水) Į

9 1/ TUIT This > 2 品 [-] ily 抗流 · > 9 4 · X o 弾ユフ 。つ黒 21 問 1 李 日 標。 0 别 9 4 沙 望して 21 間 报

1301 4 でるはとしい 34 14 fill 36 のなるは 71 :4 Hu 犯 はいる。 0 升片 A 红 0 他 。くいいりにはいる。 ことの 識で 菲 0 風 中 0 1 日 ·4 思 煄 71

28

(米4) 薬ム対判用「 独 Pedophyllum pelta-ント合市大。七 7 4 张 孫 所 元 二 二 漩 帯部がみ 財政市 事ル へ第下整 醫 r 米國二二 ノモル + 雷 挺 4 い。 4 アストレム 6 亚维 ム立 4 4 E N 11 へんんと 以二、二村 早早 1 ([1])本[誯 11 ハヤム 4 4 6 ٤. 田 1 企圖 4

FI III. 24 目 当21 珧 は青 2 8 0 cı くなる。 2 2 蛍 ? 蓋 2 7 2 2 0 発験 米 类 **そてと**軍 8 S 0 100 0 71 36 7 0 6 Z Yn 2 2 哥哥 って塞をいるくり窓、おている £1 亚 E P 7 71 54 34 71 71 1/ 颜 :4 米 通 0 FI 图 糕 2 薬 亚 酥 酥 粱 继 须 B 。2%縣 24 5 fl ニュ 21 0 0 マ車 54 立 0 71 21 2 淵 31 6 6 が見る。 华中 で記事事 \$ 2 7 M 0) 0 2 24 制 B [II] 阳 21 亚 21 £ 不 茶 器 0 4 꽾 間 뱹 0 る事 汞 金 कुंग्रीर R 71 X 型 多 R 9 ___ 音があるという。 喇 例 狱 71 21 FI # 1 黄 SARLY. が青~ 1/ d IE 71 2! 薬 0 () 0 7 0 黄 2 71 7 闔 34 21 С 3/ 7 里 Ξ U 测 9 本 シイフ 辛 7 Ē 中 2 71 2 靈 1/ 2 24 ___ 54 以日 2/ 石 壶 H 0 21 .1 中 0 25 -. 流〉 算草 24 薬 狱 1 印 54 墨 2 J. P. 71 71 2 K 瀴 12 9 黄 0 21 21 桽 0 開 班 9 71 P 息 71 54 桽 71 1 まなな事 4 7 亚 薬 ক্ষাণ্ড ১মাণ ユーマ 弈 21 21 • 薬 71: X 1 71 B 图 FI 7 2 邮 難の 漸 24 (S) 2 퇠 自 0 0 点 :4 X 54 447 围 0 薬 量 21 0 9 Ŧ 弧 疆 流 劉 57 & 1 薬 0 9 71 X 2 P 2 54 71 4 阳铝 21 ¥1 到 21 塾 1/ 31 II म 新 13/ 瓣 op 郵 0 2 0 M 0 9 [11] 要 24 7 :4 ースマ 21 54 0 0 * 7 CP :4 雷 2 主 5 9 0 0 0 果 似 6 2 82 24 堕 綳 0 FI ~ dr 到 24 Top B 6 54 :4 1/2 2 0 21 H 0 `> 显 E K 紫 24 -1111-14 :4 U 0 0 28 21 圓 重 到 王 14 薬 111 1 7 :4 IE (0) C 法 FI FI 李 EG4 71 塞 [III] 自 法 T 1 = 21 0 京 莱 器 薬 24 現 华 4. 71 酥 .> 原图: 0 g 省平王縣

與川。 小 小 心 以 人 人 人

五瓦瓦

X 山碧 器計園 /

+

[11] Щ

9龍門 雅船 4

計(1) はくいてるこぼくよ :4 通や疑山などび多り酥ゑてある。 34 様手は箭をつなへて立つな状態が別なものが。幼が国なの はくりはなるの 又、既以桃干といえものおある。 強頭といえ草が限りある。 1 1/ これは難びは大れ 財力黄色汁。 といえ向がある。 間ではその葉を煮るたといえば、 、ふっての語質却はて いっとはいるとはおいる。 白~蓮水聂~ いい。 , ~ 日 到 圖 音。 0 24 f1 城干 张 平

三川三日以琳珍 田野び生する。 でである。南陽の山谷、 湖 菲

0

2

って陰むす

南陽へ山草)旅出を見る。

0

狱

薬おをな難蓋のゆうでかあるところか 点の触や品などの形のやうけ。 いいことがいるがいなり、 0 とも思致ってべる)皆 仙人掌などの諸各はある。 小小 は扁型で歩ばかのゆうけといえ無容が。 る。〇聚の否は刑申の即、 鳳蓬、歌剧、 . 孫買 17 、貿買買り ・量車写

邓

遊いえ

州中 \$4 FI 歌却外の首な教徒与徒び 2 41 2 格 間 高 葉 の やおも音を減と発音した。 し古お字の音を多うおぼして發音したもので . q. 75 80 る事務を記事る 17

0

TI

21

寒焼して電を強する

「根工の毒」

如色名

黑黃意納

日二回、一代玄朋专。(千金代)

門を苦酌り責けて患行を取り、一

田寨

ひを一字輪強と各わる。(徳人豆氏)

° 24

6

W.

0

して脈

状なり

121

愈巡

9

14

\$ 51

公司

多于

小體和

商面水面

いけって

黑黄

E

丁會工

黑脈

CIII

0

#

口

0

2

中二

い人をなら対形

口

客し青瓢次

20

P

5

0

B

8

1

いるのことの

मिम

車

弘

末15

FI

いかない

淳

主息日の萬竹一小蓋を現するはよし。

9 0 る様を夫の長等 C が音を疑問として 54 とな 0 は極 をおらで長~ 陶江 21 9 14 越沅 0 0 OF 亚 2 形状が 0 54 6 07 3 9 旅干割、 71 TI 继 7 · > 日 34 c)函 5 de

草薑(服織) 0 大書ひれ多人様を取(+)と發音してある 理堂宗(瞬目) 紫金牛(土部) 心人掌(土部) 根干は、 でいる。 (壁)(壁目) (吳管) 扇(土宿)

鳳鷹(沿置) 島龍(木谿) 島如(収幾) 服驗))。證明 7 虚

泉

Belamcanda chinensis, Lem. (割目は) 松谷 de 珠粤科

ひおんぎ 安安 (出上經本) ア水ブ駅す。(三十六黄正) 士 ë 读

き一般を発

CD対理云下

<u>ر</u> ٣

鉄

北黒キ

ト吊い。

ハチ

キャアガナキャ

又計計賦買し

(三) 黑洲朱籍。 耳角 人工 人 附班。 王泉朱籍。 章 即 个 前 編 山 骨 八 下 前。 如命 个 背 治 正 六 計 曾 入 六 市 二 入 六 市 二 入 六 市 二 入 トエッ 下六六 説 排。

日産するとも耐の 2124年 0 那事 煎灰酒 スなし

士

0 1 北路 Y. 輸お大出で登示れどの 71 > 3/ 71 0 8 26 點 抹 明色 21 その指指三回月以 21 TE 000 問ち今の扁竹で 紫蝴蝶と呼んである。 桃干、 , > 日 .2 OFE 。却 0

9 EN. 71 代際 :4 2 5 14 ST P FI 2 2 酥 0 82 ---FI 54 0 R 24 浙 小子 上效 の記る などあって 昌 がが 0 ٥ د Serv 7 球の H 继 3/ R 0 0 B 8 の計

添

※日~、東下さび、着家の結び離れば、 ボの日へよの、本の黄なるよの、本の楽な

0 82 る滅 3 北 12 ۰ ا 2 り正 7 机干 400 退を 発売の , ~ 日 0雲 9

P P

FI



意え。

つた質を結え。その中の子は黒色だ。 34 2 生于 顶 しななし 0 27 1-桃 0 9 顶 71 水 間 de TI TI -to ではあるが 9 hd 長さ 2 遊の 0 網小 B 5 けて外でよっている。 は生する。その整は 月 球、見いま 0 31 0 所競 上了解文治ある。 音道 7 間 图 9 0 045 書 4 \ \ \ \ \ * 21 なるれれるなるなる 罗引 幻黄球色で離の 4 171 1 根 21 背子 21 號 21 31 苑

6 高さねーニリ 21 秤 0> 派状のやうか。 間 六月祝を 雷が生き、 頭が 0 識り減らい張って酸 題 李 2 今お古はいめのア、人家ア酥ゑアめる。 21 桽 る世を出る難る置きが変え、 くきく残るつ親に畳藤 中 Ó 薬 · 2 11 , / 日 21 1 は大 多? 。随 薬 盏

q 小流 头 お高点響が似てある。 八月八字別する。 米 继 2 8 7 財お聞えな Œ 0 S 0 城干 凾 色で添~ , | | offi 0-4

34 ひえば 者けるもの 北京 公母能器 夏 やうで の割 **派状な為の** 、くぼな 9

流 7 于 :4 拯 桃 品 笛の高され やろで 四 は多くは の一般 常見おこれを世間で酵ゑるもので 薬お鳥の 級175 のなのののはなる意識の変種工了了京北立間 2 はよう切てあるの (A) 演員の11 るるは色の花を著ける。 桃子、 事 他干却 OH 図鑑 0灏

鬼心黃 2 X H 2 財お曇な多り、 0 子 不 日 9 班之班 質お黒色 到 。二月,八 おお黄色、 54871V 高さ二三兄 いいのか 干は、 刑 制 黄赤が。 · 〉 日 省。 54 倒 2 6

7掉

田 高い変お配 本元素製造で おすべて根干が似てあるは、 薬 為国お `> 狱 Ė S 1/4

士

Ti は一次の THE PARTY OF THE P 21 【岩面の種の下部側の塗る人は最) 製の開門 7 訓 X/4 時の間に在って 中の残除る備予了(眼籍) 「老血が心」 **釘、剤の大燥、「米粉)、水粉)** きゃのを報じ、胸 逝

116 0 1 到 0 9 結除る就予 0 SP 7 をして調せ 0 0 作息しいといる Y 28 多人服事 明新で 0 9 Tipfe 恋な 洲 `> 0 2 2 以 盤で Į 0

後十二語をで煮て、日光で造して用ある。 不 11 Card I 八しく別すれば つ黒 元。 本日〉, 0 9 0 1/ 9 W. P 小都 XIII `\ [用ると五年から午 の脚 9 9 1/ P 恶 業 Kuly, 27 ,) 日 江北つ 後に置作業を 者。 者。 0 P 2 和 A 調ふつ て田 派

近の米出水に一家設 几そこの根を探ったなられ、 うく日裔 以 剩 視

濉

あって、既に無い様もしのつあるものだ。

21 2 のようなるないのと 狐 Thi 十十 2.17 -1-桃 14 5 0 37 76 21 京 34 佛校察典の根子、 0 の公母の 9 g 94 B 0 8 2 2 T 21 船~氷 0000 4 到21 酥 12 = 21 びみ 14 2 0 8 Y は無の 0 2 木でおの 州 THE 9 1/ 54 樹 干計 1 1.11 根 お青竜の 州 , ~ 日 y 2 7 0瀬 0 5 盟 8

游

北

X

000

いでれを同一録題であるやうなもので

· Q

お

が

お

が

な

な

と

の

よ

旗

0

0

24

0

8

CA

財憲から

71

4

41

0

2

U

Y

21

GD 大鵬二館卡彩二計ル。

出限らび、一出時も37十額衛の午はある。午お大いと暗跡 剛に最お、 浕 3 ひお「窓国お根 お『桃 瀬花 0 0 川、帝の平勢の此び主でる。人民以頭の分行お、 、智慧、以ば難いばる 室をやはらその 6 31: * 2 極とあ FI 自鑑さ主張す FI 21 一 藥 米靄亭 温昌、 京 110 花の碧色なる一 0 2 W 当を』とあり、土部真群の本 獵 4. :4 12 00 % 12 張鉛の電歌 葉お届け生きて手の掌を働うけるられ形が。 い。上月が始めて帯 2 1 る場 ξ 7 34 の多能が 強だと 公 の名母子 お歌えといい、 34 1 次の案なる一種と、状の黄なる一種と 添 桃 やおらその 0 び言動すべきんは問題がお、暫んで執するび、 多数 54 部 入火を証が R の職 0 80 東藏器など 頭るが調子 本は一 紫で極めて題く、迎んでも強いな 80 水干 北の黄色 本のなるないない で変変し B 本 自称の 、つ伴 瀛恭 2 勝憲、 と解計到いの見る諸な、 界長お 色が不同ながけ ころい + 総にお 調査を対し、丹砂を 12 様子であって、 ではいるのは多し江南に ハマル 韓 P 21 4 子で 運門 12 (c) 。公里 n 揷 7 34 圏か 棟 たが花の 証もで青緑色が。 の学る 间 :4 間ち扁竹で R 土 0 4 見は はとで、色が 黨星, 1 慷 B 雑黄を煮 X 54 0 B U FI C े स इ 02 8 黄 0 q 旅干, 紫 いっこ 2 24 士 土 逐 0 1 桃 0

20

2000

士

00% 34 胍 碰 沙 形 水敷コ北 形のないなるも おしている、相対は)「四 山豆財を割造し、末コノア地~ ことは極いる立 神 水盤の別大 一人の贈 37 121 0 测 然而各門兩 (dip 解するも 茶 4里 窓で :4 **かれい**かお、 根子一台を含んからい行を濃む 水 洲 7 21 116 残して とれる筆命散となける。【一種不通】番葉の数ならばは、紫花の品竹 小下 511 水で聞くて前別する。 いは、泉風珠の黒竹一盃を限す。 場が、盟 江し――玄研って竹一蓋を別す。古さび頭する(資幣) 2 21 Y 河河河 5 以上共は 3/ ころは前で終この別ない de AH 000 古るには、 南市 ユフコ 加 71 2 真性のなのまないないないないできます。 训 元子 75 9 37 24 部下形の 54 石 o Ne 被公司名出する生 く競 0 9 H 国国 洲面 小臺郷要では、 まれていまな様 6 へて肌をせ、重しなり 班則 いる耳形して生る場 放色数活あるの(神経古) 「関連の 麻補するも 黑色 頭の 0 贸圖 りは 94 2 は、偏竹の漆 然べ 3 、京北市 2 21 る水ン 急前で削 淵 CA q Y 題十七郎 :华 7 láf 6 平第 水谷 2 班 XC :4 4 似 M. 2 0 FI 後九〇 影 韫 8 京 小 下 の 干 の 0 2 4 额 U 树 71 0 7 到 4 料 57 til 柿 III 運 墨 北

誹 大砌へ胃砌卡 (E) ° Y

Xi 1 4 -(-は意味を XA

34

41

自から会ける

概念。

抽

は自から

器

1

情滅を 瞬急 京でい国のというでは、日本とは、日本とはい前にいるのでのでは、日本のでは また動毒を治す。これは果の 爾魯の 太劉 木と九とさすする。 結核を自省をしむること基次表なものだ。 一三回随重はあって基が数はある 様干お金い園し、 。言い。 であって 0 Hu 沙鹫 驯 9 Th 颜 21 0 浦

(海時)

21 血ズ目 報母を治す 「事を治するひはしとす」、疾動」 【胃中の職者を去る人た素) 鮅 いない。 · SP SP A HI [[4] 感給で 7 大圏を际 、一場を制し、 胃玄關色、食物玄紫竹村、 諸林を留す】(監章) [置火を約し、 月經門上之面下了經點) 支癬するを鞭を 録人の する】(大門) 【訓練、 市毒を味し、 がなるがら、これを対し、 うる。 誠悪し、 「青葱

減器 21 26 刺 7 1 y :4 Z 200 影 54 H 加 R TIJI 抓 シって 2 7 緑刺る 暑 栩 21 思都 1 剟 54 SIK 28 EN! 例 21 巡警 1 到 3年 2 0 子 0 9 瘀 間 **新国財が割ず** 显 4 彻 FI

羽 Ù 想を歌 T 經 本 年上を第三、9 水を去さ 9 独 R 精彩、 。葉紫 亚

鵝

114

4

涨

不

心量

日 財整へ

東

桃體

明

明佛

ċ

K

h

14

4

h

1

a

4 越手

那 掌 11) Ŧ 9 「苦し、平りして幸る。」 歌日 > 「小毒を 丰 運

2

34 现 21 拟 0 34 東 er Cr. 0 0 54 934 2 4 9 な記る A 孙 FI 小公 114 de Till. . ユ > 選 2 54 12 2年7 74720 弧 14 3/12 8 28 71 C 0 8 紫水 0 Mf YI よ 南 ふ は え 1 于 111 い脳管な 54 ist of AH .1 料 7 阿太 0 9 证 かく P 為 :4 排 录 拟 G 2 数 東 9 > 音 2 21 2 :4 耳 1 6 > 荻 出 重 71 21 11 5¢ FI 3 47 0 0 7 8 07 0 M 0

THE + III \$ 20 いのであ 肌の一種でおな のととなる 祖 (0) + 根 FI U 日 F\$0 ्री

小小 2 CP 71 2 0 並 3 11:4 .1 タテ科 數學 が、か、 SY 次 Y. F は間とこれ 財を窓頭と各せ、 21 高り票 6 は黒く 車を置見となける。 海 光で 那 İ 2 る事 6 批 25 不 排 , ~ 日 212 21 H 別と地 心情 + 心料 H

76

並

0

2

P

は日よつ

21

財お黄

班 劉 帥 存葬一篑。咖果斯同蜂。咖 早早 南六十支里 **臺莧四。異嵛同嗪。** 並米鏡訊。始日九錢。 水縣 計議議でいる。 嶼 IJ 0 1 7 洲 4 寧

晉 > 2 自 田 :4 E 倒 琲 2 24. 東 以次 、上側 54 1 お高身遭い 71 士 桃 34 排 4 本は紫碧色な。 THE ~ \$1 ? 士 桃 0 1 0 14 2 闬 6 頻 F 畔 陳 FI Z 亚 到 团山 S 晉 PI R 心想 >

强 以下圏へに 小子1 FI 薬 野月家アを珠計する。 2 の母 この草は所在び 、 〜 日 0米 1/

しらはないりか (Iris

掲載し 景が。これが出 P なんととる 71 P P 241 7 出い 肥 諸 All 五月八 21 71 21 4 を記して 本草 XX (O) 川谷の生をいる 2 たる治療 21 1 0 S. C. 9 Į 報體が似て 留 島の激力の大鍋の 21 . の話だといえが語の あるやく 。いつられてどいてをは出 2 ugh 林 1 , > 日 0 排 酥 FI 118 则。 疑。 [7] FI なるま 28 2 九家下 Sign 瓣 根を 24 , 〉日 集 0 0 2 8

继 のさなないいい , ~ 日 はの紅 0 2 11 島園お島漁と響っば国島 学って 黨頭 扱を 別線) して命名したもので 島園(7 盤

·[茶

21

*

Iris tectorum, Maxim. (常国科 性织 いまれい ch CP 7 弘 班 學 科 凹 1 滅 少

国

ける。(独僧田事録に 重 21 子 率を選 7 代を二代び渡して温服 Ξ 1/4

例 小麻爷一 置を生ご 「華中 「地工の 肺蛟はある。(永鮮氏) 0 8 f1

> ficrentina) Jims ; 字(Iris pallida)等 盟 =[7 大駟 人財整七 (三) 器。

、同い、又おお藁章 いきまらむい 常方 垂 Y 耐な / tec-于(> 1 (Iris germ nica) ず 4 torum (量) U 四三 H 木吋(鬼)日 **4** 田 といり Ü. て財べ、 0 我 孫 宗 元 二 元 心道 /: 4 6. 1 图 4 量 スマ 10 4 + 1 =

4

21 ·K 州 洲 21 水工 1/ 0 酒で語って服 W. ·Kr -6-1: A. 一点 111 别机 08199 2 新 排 引, R 1 11 日以内内が耐 小小 (0 王「上上ス 竹筒で脚中の歌き込む。その魚骨お自 の対を扱の状盤まる間 A WAS 白風仙千爷 十三多型 いる。(論支法) 面品質 0 解す。(雄真人称意正) 21 協な肝子るも **豫王。**[序牆の時帳]内所許、 「婦人の窓及」口跡に 75 0 7 -1-班 1 / h 変で 21 4 11 と自然作を 7 CA 21 06 ける。(海上市) いて末、 94 All FI 2 1 のいい 部 21 EF 2 11 +1 R 暑 彭 A. 扩 印 る。 三 24 21 2/6 圞 珠 Z

(多時【名家江順繼。十上多頭昌、八號及韓〇

护 10-肝 2 2 ※おおおかす 出子る七年 いなるのなの状然 F FI Thi 31 4 24 朋本 、つ幸~年」 将北方 12 2 水小 9 STE STE とのやうかは下があ .7 江江 し残 9 34 T1 和 以 Mark. 班コーロか de 0 は、東方 8 004 94 此 Æ 1999年 9 图 2 \$ 0 界 7 :4 -1-(E 43 11)



圓 ③○人家ア草赤として珠幹する。 二月苗は主まア 本は小ちう末は大きり、生が開心のさられちななる自正発頭替のゆうな形で 中から黄蕊 4 7十選条の赤はある。 赤お長を二三 0 上 24 され掌和とア 00 旗子, 対はあって顔ら観響な の職の 日日 四出 1 那 Y まじ、 0 問いて競んび録れると、 薬 2 24 6 で自然のゆう 青白色の 重 FI 中 排 6 0 7 薬のやらな 解薬はあり、 0 įζ 1 业 14 のやうな姿でかある。 玉臀は龜 71 PI 車前の 桽 器 FI 月出出的 江下薬 于 21 • 0 **〉** 日 李 2 九田町 7 0 章 (新 薬 高さー 星 2 . 深率 な学に 加藤港 9 随 4 7 . 翔 9 :4 21 H 24 7 H 2 菲 21 2 7 Tu 選 > 4 1 E R

Hosta plantaginea, Aschers. されのおんなし ので将(百合将 2 岁 **唯 賣 社** 目 總 灞

こ対視云と、本草属目将家ニ九王響も

いつれる状を形容した命名だ。

いく日の部

中鶴仙

7

盐

+ 1 +

されている人でしていない。実際でんないというまれている。

却支派 ひた

H

エーンで 磁関 二年 吊い 竹野 上が 弁形でくた2

4

I

本本

4年中5天。

ハとりていままい

聯:十

数を変え --0 劍 机蒸 立ろに数 ٩ 言語言 . 11 21 全た一分を替加する。 た別想を見せる 子学の中間 黄形形 思者びその雨崩となっ 远之小品方 東新鰲題 しむるいはい 1000 974 妙為頭號 A CA ませては その思想を確かい 酒でたかとを照す。 17 那無 多~服 (0) 即地 . :4 24 0 末にし、 本草含量) 1116. B 婦みる 8 P

梁田文一派─濼端、四、二(正四三)二八〇。 韓北奈泰者/柴田 文一個、小川善売一 灣端、阳/三(五六一)

いる。 The 沙 3.d. 果 Ę して小毒かって 21 歌 、つ品つ際」 池 j:k

湿 1 孙 1/ 24 4 71 ごご 7/ :4 -1-.1 多獅 SAM D 0 可触 でが 0 2 2 O & CA 2 6 1/ 21 2 [1] A-中了驚情を习別 71 の義異など は北部の なって 34 声 のりははらくなおろしな様々れてくら恐 D 027 7 以後多上多。 の記念のこと 11/ 0 24 0 5 批 21 不 4 0 375 I 1/2 家 24 7 24 :4 2 党 PI 0 2 7 F 到 21 fl 21 級

開水出行から かしてみ 9 い、選ばれ 6 馐

器 FI お手跡のゆうか、 北ア 北ア お所 2 +1 質打壘票としア大いと野郷打込あり、 C. F. 間稼製外橋して到 D 一个 行一際 0 1111

0

[1] 11)

遊りおは、けのこのはら、大 霏 11 F F 4 Fill 極めて生え易い草でれる。 までごう 温 不 71 がユ 3 以次 7.11 1/ 0 马 妆 Gig 薬 辦 71 0 明林 须 道 桃 11/2 へる治し、苗お高も二三八、 IJE. 345 FI はほくしてまり、 鳳山幻人家アを〉珠計し、 须 de 浩 心質 71 N SHE II. 功 升片 菜 71 洲 须 姿で影響。この のともか D 門が神る別 71 、 日 30 からその他が 华中 C. SI W. C共用 1 71 計割とア 近しい N 抽 21 排 自 菲 及 54 71 0 郵 亞 T 3

> 北京 義ニナラ 11 Ξ 044 金数本二歲 日 HH 多一宿二常六。 木吋(鬼) 人辦分。 節減/ (H)

4 をなるの置の形状 見称と呼 灭がか 5 鳳のやさな形状がならな 桃などの諸名 事 () () 小粉球(效箭) 宮中ではこの花を好女 1 及び葉を採って指甲を包んで築める。 帝與 急性 秋箭) 24 目 Ÿ って歌繡きしかやうが見き、 、由非へいさ 金鳳荪(瞬 到 初客と 2 **※計甲草** 27 FI 阜 经 報 (略 目) 章(E)是 ひれる のとけておけ経てといる 0240(14 皇帝の司李丸打転ぶ鳳 1/2 刺り神 桃 妙部) に見ば 人はその形が 漱 務の音お R 急性子(见其 2 桃のゆうか、 . 当 の光宗 東格 34 够 3 秋高) 50824 来 逦 盐 4 :4 9 54

(風小形杯) Impatiens Balsamina, おってひんされ はってなるとは **咏學** 目 とと

继

3

fl

恵です 1111

别 島子を酒び取して なるの登録した。 (報報) 県 るいれを強して無をいい Į 同ご。 21 排 中心 规 2 沙 値 及平 菜

場へ経る事 Ę 0 35 91 7 1 淳 21 不必取る】王臀財の 孔器,公子、整個二分、

如靈師三分、

草島頭一分字を未 、日限る島 自広ら落ちる。(全国上整合氏) (意中中意) 副 CA 94 02 FI 三 241 淵 21 星 印 \$

> 子り 印刷进事 * 1 馬承、支紙、 アルボ、令、 1 4. 対世元フ、 となっては

散し、郷を 113. 0 III 沙山 源 のかるする 果 Į なけ繋が削っ 9架型小 7 刑を受け 幸~4~星】 骨り透る「神谷」 M · 15.7 24 :Fu 7 华型 FK 21 る。郷 44 菜 型さら地 鹏 됐 2

6

760

小学, \$7.77 木加木加 日二二回武智へ、蹶否各生器な内別する。(異異共壽群大 で一年 4 問題 [1] 0

31年 Hill 27 21 121 :101 竹も「和金」 20 14) 314 好业 思の戦う日都するいお、 不胜 以 、つ居を加 Ę 「つな型」つい思 コノア会心以南ア三幾いのを肌す。 :4 弧 、中帯とつく中」 Te 阿市 江中東京 Fu 米 肌すれ 冰 7 20

調整に対 小便 11 21 て続 ツラップの であるコネッタン学 三日解しば ch TA 24 がはない 7 +1 1.1 1/1 2/4 水 9 74 21 きにから Y 111 コ打球な神ん 31 2 I. び。(発アコ東波正) 0 加工し不多出 7/15 Te 小火で煮掉してその鶏を取ら出し、 哪小 0 顶級 各地五錢了 はないまるとして 終った中へ 要人して 終っ計ら 图以 H コス 0 П 44 のえ 即得 末し、 つりまか 〇日 。でひびは南古てるめるいる 生で研す 1,1 21 。空汗 8 2 111 以次 いいる地 H FI 徒じ、 须 シフ 5 黄谷一 2 TIJI EE 4 那 7 2 R 21

X 鳳仙珠子を暫い三晝夜晏して晒し遠して未びし、衝で あお末びしア池〉、音響む)【予菌を送り】金鳳本子を将末しア版心量を 4 子に觸れて ひお、記調子を立繪の選外付はいア以のかび塗るの(集留氏) 白鳳山午き水び隔し、大きトー 藤正。【購畜の場合31 行賊を別す】鳳山午二銭を初末しア水で駅す。 水游游子。 まなく対して対対を必ずである。これが入れが対しの対は直に対対しなる。 | 京都|| 急割子| 多く用るとはならい。 「小鼠の 「脚中の骨頭」及せんとするひは、 い端わ了我を別る。(離をよ) 森豆大のよびJ、 人様でいる監督
か駅を。 「動して食物の落けたのもの」 外部 o the gray 排 海~米の である。(雑を大) 712 CR 974 1 い気がけ · · 树 FI

題いものを烹る場合、この子機はをそれび母をれば極かい紫脈 恋るかれなら、よう歯を計する。そのはお子臀班と同様が。 故す 鳳山子お判は急惠は。故の指入骨の煮の下型とを捧んびす 陳 る。 多~用るればかはら 几ろこれを服する場合いは歯い書けてはならない。 品は日 はの日から 将 野 人 な 煎 肉 の 0 温部 024 Hi 發 2 0 ° 2

|骨回を下し、骨刀逐し、窓を延する」を

国(11周长)10周围 D. H. 410; I. M. P. 241. St. 215; F. H. (1)100; Wil. (2)86.

111 8 7:1 丽 22 21 温紫 1 1 -f.f 7 39 0% H H 6 . -迹 [,] 郎 2 0 2 -A-A 17 2 花 97 7 314 五 Y.J 21 () X 2 2 T 74 .1 0 201 n 7 てるるとい 71: 21 1/ 华 [4] (0 illi R 1136 27 曹 7 11 4 21 Ti 2 17. 10. 28 11 のえ 9 9% 石 百百 71 別器で呼 いっていい 业 2 いえ し年上つ アングランフ が変 ことのないなど を買職 の曹 事 51 测 21 24 1186 2 行之 .1 9 9 ? 罩 44 FI 21 2 de

业业 3回 3回 學 (B) W 軒不 21 111 茶茶 無 0 tha 墨 間

はいいいは ある · ~ 日 門を出う肌するので [系] [[]] 発える でが

-11 温温 1 水香香 74 0 5 7. 会ま
コして
塗
テ
沿
子 JI! in 7: 1 "武" 湯 4/4 3 11 7 \$ [11] 根影響 7 36 2



17 (0) 0 * CE CE 學所以 . 2 -, 川された中でか がいる 9 (1) 2 C 可以が [11 -1-不 11) Ti 24 21 2 驰 1 1 21 3 神智普別古の治風藥 1 0 困点 11. 0 退場 市市 料 346 小西赤部 洲 0 11 数 '> 台 教育事 「海域」 衙五 Ė CIN 1 · YMo Hi 棒 O SI 發 等目 曹 0

-1

KIII.

()

(1)

: 6

明を治す 影緣

E 太回 4

1 無ねれ 21 邢 水 島 瀰 車。 画 県 Ŧ

然びして毒なら 去

和

逃

0 P ? 6 型21

赤いまった これが有效 ₩ 対するり、一緒志は 後世でおー 14:4 0 34 命の日~、 のない皆能 合かお敵を貴重脈とれる。 が、 · 2 Y 21 変 ひ掛る 2 い思いる 0

生する。六月紫色の花を 3 A 河流 日 0節 潮 並

開いて置き結ぶ。

未精 未精 窗性

3/ 邱 33% 凹 亲 Z4 **亚**

、てきがまるの変 口 日本のな 0 温水で 5 6 9 行は出了滅える。(衞虫長剤大) 泉 汕 家 12 21 腳 양분 21 なつ導ふつ は直ち 2 個らして 窜 24 24 鑑えるわ U 蓄成了白鳳山赤玄母、 铝 颈 狱 根を雷み 34ツ獅をなっ U 排 爴 2 71 鳕 1 21 鵝 冬季 たもの」金鳳形の 2 000 21 6 · 24 燛 5 o G 非 de 24 角に塗り の貿 石 0 散じて添え 場合了数次 部 0 CA R 9794 薬 110 。(葉起器底極要去) いないとないであるが、その思の風の 0 通。 小花 华斯 Pl. 0 一級書の CB 147 シー 遛 A 21 21 剟 中 爠 21 5 多要 Md 流 de 圃 TH CA 0 骨ならば自ら下る。 はして、 A 村 0 2 哥 1 胀 多 2 水で 幽 24 (武五哥波丁) 4 石 を練ぎ P1 末し、 낸 41 0 留 7掉

> 四八令へ江西中計下。総州 1 語・表表では 1 ままり 1 吉安、永豐· 尚五西省內 山草)人參、指 一地十二 五日 4 省人及社事人员工

1/

囊疹 ママショナハマ ライスがい (Impat-、不明、財政でア ひく(料川町)対けく iens Textori, Miq.) off 1 対理テフ 昌 < 11 6 三 0 京ル

+

1 常十十卷 題東目 쎎 本草

10

0

E 140; W. X. 靈 用) T. 三子。H. Dieterle: Arch. Pharm. 1925(264) 北二二十 H 音 0 というはら 4 間牽 此 1111 唐 150 多那 (三六七)九二二十(菲 1 × 排 製品 養 4 X 国)へ三 36 Ċ Œ 4 * L 超入 44 7 1 П 1

不公 今 Tix 21 1 21 O TH 14 劫 H 3 11/1 ユつ [1] 0 0 0 4 201 31/4 34 北 0 0 2 8 0 . 2 T 1/ .1 9 7 1/ 12 洪 7 T. 不 Xil. 2 7/ Th :14: 24 7/2 111/ 0 R 31 x 1/2 -1-갂 旗 344 11/6 北 2 7 21 16 0 착년 .F1 顶 28 21 之以外 1/ 11 28 51 7 6 FI ? 本 54 2 9 外 洪 A 2 0 抗 不 A 石 ? 71 训 五 AH 0 2 の手て書の 4 71 ~ 2/4 FIEL . A 21 26 2 FI 11 R 钀 S. SA V 返れる 왨 三シ 24 一号 南へてあるか、 显 28 海 新 A 9 71 SA 6 弘 の信 34 FI R 54 21 须 来 36 4

水風 2 21 FI A 24757 7/ 24 71 2 越っ 0 1 SMA 111 0 .0 > 77 28 A -17 [-] 2 71 节 五 (SI 瓣 Yal . otil 水 FI 21 0 21 2 Lik 2 4 27 A Effi 71 3 と実 釽 級 2 2 28 [曼納羅沙] 28

遊 驰 8 24 C .7 でいる :4 深 E CE Æ 地门 21 III 2 311 12 A 剛 激 24 F 0 % た場で形

-17-

71

ZY.

A

本

Yel.

12

11.7

;

21

油加

智

36

2

M

別別

111

Œ

9

ap

弾ユー

21

TIII !

7

本

光山

冰

士

3

銀馬子子

イ刺へ

回信

Y

4

前じ

FI

2 川川な 75 9 まる計 H M 0 50 St :4 4 2 2 11 21 # のえ

> マントトロピンニンチ・ 実動部間部に の乃至三〇%も含ま 0 イボス 1 4 1 6 丰 4 X E A をなっていい 11 4 数種ノア 午合市ス 日 ロトリチ合体ス主要ナル番へス 木材(現 16 1 トニム K !! 6 = 一上種 3 0 4 E 0 x

いていいいいかいしのてい 智べい 白松を関かましたし 解ス Stra-平 事 4 エトリ 我际代子理 田 學名《D. 34 monium, L. 4 おおが 6 4 で、意味ない。 銋 300 かって

香菜 \$ 6 54 71 6 して回れる # 0 2 Y 0>> 班 > 誾 圓 中 及 71 3 玩 習 器 0 到 3 0 Ħ 2 2 * 6 目 ア政合す はあ V 54 34 3 5 1 d 誾 F 随 0 薬 やうで大 2 0 詤 0 71 8 薬 0 J. 971 回 は碧色でその G 李龙 18 71 米 ないさい 继 華 第 2 y 瓣 多顶 粽 ¥ :4 FI 2

泰 2 C ユー 참 缋 9 71 人家プラ まじ 21 珊 0 4 非 FI 灩 7, 番 > 日 OFF 中的 訓 兼

亚

0

1

14

M

賣

71

21

級

0

9

14

21

引

IE

10

7

틥

2

30

喇

21

T

14

亚

0

*

夏幼長し、

ユな

7

サイマンティングライン

到。 5

2

好 保 ...

11

6 +

云へふでで払そ服へ入る国で品数部

A [1]

-11

*14

[tt

は一場師

7.6

FI

21

뱹

#

0

総を利益を

0

24

松

纽

0

部

米

0

薬

71

呼%

7

्र मार्

0 24

和

温

0

国

翍

71

井

秋

24

灩

FE

晉

育し、からは、ない。

飛舞離合へ的果懸到日 / 円 ショへ 3 vi 題群 4 日見う置いれ内へ麻人 (玄はか イへ 8 でも新る。動車単名 & でいおく

置へ間か下不

6

9

P

2

0

B "潭"

27

77

岁

0

7

54

皋

0

亚

級

2

U

7

00

5720

2

0

特

北北

0

TI

21

主

2

.

4 1 1 5 2 2 が知 7 琴

噩

Tatula,

制 P 475 24 強当をパ 西者と 75 雷 删 が羅 21 21 3 长 亦 非 泽 FI > 2 道家 日 OF C計 24 石 壬 の名字マ 部門 24 目 幽 AG 思 風流 理なる ATE B 東京の電影の 3 盐 :4 X

挫 証 性 \$ 24

Datura alba, Nees. アラかんおさお目 出出出 科學和 且 とと

1/2

艦

却

· · ·

410

が今臺湾イナッ

4

道

到

7

44 S 五分 P FI 2 0 B 24 C 田

薬を 0 绩 2¥ 14. ·A ? 24 0 る熱 る。島 6 為[唐 る。 は能と 華 류 0 9 P 2 CP 田 R 28 2

光

瓣 哥 9. 那 そるの際史川 34 **秀米とお光明をいふのかある。** 田 4/7 車 JE FI 0 排 1 からは 114 34 717 业 なのの財 腦調 [1] 8 まざい 平 O LASS A 所謂る深 21 『闡闔、一条光光』とあるお題で、 0 0 B ijī7 54 は毒はな 瀬 131 0 21 桃 W. 脚門となっるものだ。これ & ZX 21 36 C 0 15 派果 韓等 `> は皆黄色で 21 日 子宮藤郷野 ○ 《I 业 0計 調 0

は淡 さな は入 2 阻 北 :4 21% 21 Z 5 藥 末 H 71 111 到 道の 顶 24 問さ D 种 沙湖 で正置 Œ 返れるの 小江 」。 21 温 78 (1) 露 21 71 34 - 20 0 34 1 de de 1/ 0 CA LIII Y 8 の響い ユぞ玉 1 74 0 111 F1 16 17 事。 不是 ~ 3 は三 愈 21 圖 —B 走 과-[法 SEE [語]

2

2\$



0 75 & PS

4

高さ 遊の 東は除帯に関下 ね割葱のブ 11 0 0 X 7 54 赤笛 20 P 所在に

6

月以末を採って日光で貧

17/

三田田

· 2

101 24 お黄色で加州の 五万四の誠本の別と色の黄なるもの 71 =1 誠 3/4 71 薬 ą 高も二八はか 0 .1 St CE 向り望遠りお別と 00294 21 極 .7 いち 北 > 一首

4 八鵬二號 人本人思 (E

空間で書 半銭でつき満帯馬で 2 参いと十六箇条 錢字 51 主じな奇】曼的縣郡を耐し韓して研末し、 天麻二 源 **休省心量な人パアガス。(制門事群)** 曼河縣子ない武武院のままし 界香と各二選半を未びし、 曼的解状を七来、その重ち一字、 丹砂 I 眼跳 21 水で煎じア三江郷し、 慢繁) 星を配き、 7 頭 「小鼠の 整治力) ※三。 天南 剛 0 、黑十 业易簡大) 4 É 别 सिव うし シン 學

何

贈

さられるれついい(新解) 3 (四上經本) 醞 觚

Rhododendren molle G. Don. しやうなが科(石南科 3 財電料 夫

はところから外けたものだ。 (個個) 料る 2 神 盐 並 Cl 74 7 ン対理云マ、羊纏 で発示しなんかつ コン中くもなんが チ雅コム 國見 四五八百题 UH 16 E a れくもれんけっつに、まテティ不同デア 小三国 国二下班キャツ 活活 チィス朝 ᅿ ک 4 于 < 1 10 又行本少 -*14 GB 太守山 · Ess ここつ 我那 ENY (E) 新石 4 Y E

黨羊

自

開羊花(縣

羊不食草(삼戲)

震なり

黄林톎(

(日幽

黄溪陽(

岁

イフに ないまで食べれの はいまいる はいるいま

、一日常ののでは、一日では、一日では、一日では、日本のでは、日本には、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本には、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本

五対(収幾)

老鬼称《解目》

三月

生する。

21

及び都南京

川谷、

0

闘ねの大計山

羊쀍

いの。

翔

000

習慣の意地で

いると言うと言うときと聞いると言うと

A

黄色で館葱ス

71 7

の公果を以

C

21 1月

近道の諸

いる日子に

ってははまって

0

ならな

FI

2

41

C. T.

21

驯

2

當卡常 然ンドン 0 金数 4 -6-11 **郭熙** 雅

辈

¥

のべま 重赏、

溫

高色幻四正以、別色幻一二月。 J. Fr 0 暴 8 54 0 彙 X 0 34 [3] 孤 5 21 ds 秋 0 7/ 0 TV-開水 11 -日~、園園の川谷ひある。 71 `> からで 34 :4 张 de 0 '> M 鷳 11 华 出来 その子 でで c 会 部 お影響 間。 鹽館 Ш 及北 並 J 7 2 额 事 R 势 :4 树 里 21 1

以る I 94 画 流師 账 R 2 1 0 米器 5 28 す。(聖恵大) 74 ST. 智 SIH > 7 21 1 114 -``1 沪 21 (1) 7 つ脈 次产流 A. 21 米 w ---21 iff :[1] 54 2 别 く
ア
駅 75 (HIII 虾 (0 コ料をはさてコ剛 21 21 学 37 TAN TAN 0 3/15 ----.7 二五 とした劉ア豆大 华 ÌĮÍ. 7 0 耐二合う職 7511 71 28 平 7 21 打 14 C 果。品, 気配 1 .7 图 (1) 天が前に 21 阿 21 (0 4 1 3/ が歌い 心。 界 主 7 fat I 7 21 弘 順 6 继 し、(諸様情力) 别 31 亦 17 FI 9 別 二発中を末 アない 0 12 順息 21 溢 21 いる問題でい 刹 SAME SE 画 亚 越を追入。(海上川大) 五分う 絥 野 の沙鷺へと製造工 37 水 TUT 。(醫學事類)。 草島頭一 0 4.5 7 三九い しなして来にしなっ 张 水谷 画 :4 经 7 21 9. % 园 -6 6 ind. -彩誦 7 鮙 で回んで飲み、 AH 涨 不是 75 啷 颜 21 0 彩 17 54 :4 不高 17/ 4 即 7 夏 4 回旧 15 7 -5-盂 到 FI 数 테 1 21 뫄 0 21 21 £ 織 2 9 J

服しておならないものむ

7 **ラの財を断り入れて対えて数** 54 9 P 20 田 マルル 2 % 21 中 督了ある人法、 る分割代 職動を治する 0 大毒方名る 画 中 71 0 局市方 21 4/7 02 和齊一 54 , ~ 日 E\$0 文 o针 34 21

淵 0 2 7 臑 鷳 此方の蠱毒不血を治する tt 9 犚 場れたものだとい · 2 田 なはてく多 4 27中野脚縁 数 以計 2 71 6 P 2 4 4 暑 0

2 8 P 2 28 C 5 田 1 水 21 1 鮙 0 湿 闡 辈 9 8 71 を治す \$ à 21 画 1 湿 21 书书 E 園まる治する園 114 0 八 0 74 漸 画 瀬を治する四 百麻 24 25 C 王 田 30 ユン A 激 き 線 流 R

場行を治する 0 學 鸱 2 6 あてあ 田 2 闡圖 大大がいきっ 古外の , | | 应函 邰 發

U

4 園 問織) 以 0 J 河 もこのこまが、一般主義を 驱 2 测 验 3/2 県 M 派派 、器種の石 Į でる語 原語、諸東 [(本端) 、 日 、準盟、のその悪くつそ活法との共 歌つ幸」 ٩ 丹砂 0 , 2 规 14 U 溗 Y FI 21 21 いか 北 中 0

꼛쌘齑同

研究をラ 协(親)日か

XI

1

市毒気依小 アンドロスギ

ф 3 4 11 姆 aft 誹 い動物で

本同

6

、市毒気代を水同なもでは、はませていな、関連

I

1

含有大

4

へた 3

1

4

幽人 4 4 -

溫

4

到

コして大毒なも」離

2 熱夫ならなようろの 0 6 6 つアよう人を録 亚 2 1/ 14 手 高がある はいつられての問 34 よう例れるの 出いといえが多く 21 뼯 調味が 末 流は Sara 汗。 加 のさ 2 21 器合? いあでやれなもの 14 12047 [20 那憲 (E) 21 21 0 常 B X 0 0 颜 哪 S Hill 2 5 李 0 響る 北北 9 0 退 FI 4 d 0 2 21 漸 21

西亚 南 视 hd 語合 青盤昌縣 0

で込さー 器 71 並 8 6 新 1/ 林 1 排 弘 2 0 R 547 9 7 21 测 > OI

4 "颁 21 :4 31 H 71 23 11 7 华 いるのとかい 6 ?掉 光 批 黄う桑 П シー :4 冰 别 批 71 21 排 9 5 21 RY 柳葉 7 7 1/2 2 0 A 薬 14 26 > 自简, 石 14 FI Z 雅 業 7 21 0 g 出 D) C 品 田 器 2

司 狱 71 並 6 10 經 即 11 分然 TE 0 は紫紫 2 2 9 0 P :4 狱 21 M 洪 21 7 E II Z Z M 71 排 3 0 2 近東近 Ξ 11 21 1/ H 0 く置 200 2 76 > 7 7 54 H 3/ olf 0 V 0 0:11 8 50% 71 9 浙 0

MIL [34 [1E

宣 4 日に花を採り 60 7 · Ch == 34 3 -生えて青 の公子子 .公 21 川谷 11 ... 0 の公年十 光源 北京 12 71 7 1 函 71 北 0次 、一日最 Olig 刑 300 並 7掉

34 山 いとおるおろの 『つ多い

μį

京 2 のう 4 が日本 36 0 8 24 3% 0 思え 拟 THE CE 111 6 7 5 はその Y 4.11 7 The 7 嫜 果 4 ili 9.4 0 E ところ 34 7 法 12 1 旦え 噩 0 泉源(TA のそれろ風 71

> で南キ 畢沅八老證 銀ででへか踏封 「黃帝報首山太殿。 盂 国に る。南今新田である。 耳 ~ 윘붔 が無い。 南寒城線・イチィフ。 斯即加斯 211-4-0644 * 情解

山跡中次正跡 二 [東三百里。日首山。其到多獎科,草多新美

0

B

0

H

9

P

0

B

小颜 京公マ 出 5 中 挚 季 0 > 車 師 **庭** 京 京 京 京 京 宗 下 (解目) 日 0 っている状態状をして 事があるのからう O 小見おこの花を食べか 0 0 B , 日 種 W 。钳 27 器 7 o 部 O 画 法 0 別線 0 1 力を言ひ お解り基 G 赤芸(吳普) 去水(本) 壽魚(瓜綠) 0 しても関す Sicb. et 置桑 さんさゆられば(部各特) 2 (I 蓋し肌びかかる 各地山深。 薬 な準よつ Daphne Genkwa, 水とはその となれる。(現著) さかいごとう 干薬のものおある。 0 生子る をた耐り参 21 木幣よる出り移し入る 山谷以 歌 子 、縄上川 0 いるはなのよいとい 岁 17 步 7 1 C でな 0 却幻苦~辛 环 學 标 黃大類 7 田 116 職闘が ユギ は常 鹽 凹 經下 根な なな職闘 规 主数公太公。 事の事: 意 0 5 4 5 0 * お返り試と書う、 闘い切て帯がな 王 坂華(足管) E 前れず 0 31/ 瓣 0 松 2 8 21)草(36 14 FI CA 2 :4 0 71 3 、是是) "则 坐 :4 筆 B 諸麻を攻 ユフト 来分 闡 の回 今 :4 盐 で学 末 471C 0 퓿 71

出血 へ母 1 く Rh. in-THE ST (1) 姆班云7、崇祁 二人ちゆうりとう | 本の本の 滷 dicum, Sweet. + サアアサ 三、河河 十八 急事(11 孙 < 11 東マ 1 7

P 心下い水源が 凹山 1/ 7 Æ 3草 不 罪 27年十八万名 9 54 P 车车 54 7 Tike る主な歌歌十二日 XC 訓 21 ٠Į. 場の鑑り表が は味するを治す 7 · 通過 は放する場合に 7-须 0 學學 小沙麵 1 매 中景は、 7 71 须 些 M M 波は器し、 7 那 P1 1/4 28 '> 27 华次了 日 游 C SI 馬馬 中部 發 7 7 训 21 H 間目 1441 2位 7掉 [AA 發 表 :4 继 9

以及る ij :4 XC 0 TE 少行不能なる 6 、筆等(こ) 市県ス 加车 重 點 0 NC は神 1 SE. 111 0 0 0 0 B が一種に 班 山輸金に 「水角蒸掘の調子部を治す」 B 8 0 E 6 5-1 派派 Til 到川 0 ングン 一文学的 狐 [77] 「心刻訓術を寄し、水泳、 fil -54 の風景の時 5 寒毒、 UK 3/6 連 38 · F 0 # 例 「核厳上泳で野な観響し、 1,11 風車点 深地腦。 電池を報す了大門 八品 方一大家 2 题题 (明織) 71 魚之縣之 これるもの 用する 治理な 核物。 器 孙 皮膚 21 测 県 2 M 標 p 延 Ŧ が説。 準 9 Ŧ R 子 6

:4 淵 ff は岩しとい 兴 、つ黒 1 、 〉 回 0.4 妙的 210 られいい 調響 287 9 12 温びして小売あ 1 そり年業 A をして独 雷公司書し、 Y 、て幸」。「則 FI く肌す 流流 4 根が 0 中国了 **神豐** ٩ Q P 排 京 凯 、一日 4 -11-はいい 源 0 ○梟 となる ô 李當 0 9

顶

12

、樹支へ自監査いず、「「「「「「「「「「「「「「「」」」」が 6 阿蔣鵬卡含市 ていまいずいみ 帯や (D. Mezoreum L.) 得 アトニントア 器 祖ベと 整府チリケ 4 11 4 37 ス等ニ水用 カイトは ĺ. 1AX X 常品地 にかり 1 或前鄉人 °×

る事

東省市公司

0 200

班却上习緊を三正七割と入り、白色了輸の班习以下

せら譜で煮ァナ 並お語う砂 習を去って一家水び多し、個し造して用うけ的毒は、お飯する。 対用の網 34 12天7年0 数力はそれ 25 2 、つい般 C 田 2

瓊

6

風い近けておなら このらら、これを用るるひは激し残るべきものが。 県 剩

CA

本草彙言ニへ誠

かり

-¥. W.

幹は 争関した社合、その葉を切って対割が致る雑 り、食馬しなやらび赤種と分とは手の客を悪い別れる。題を味して明び熱ると、その 顧禮王の王當ひ『財木ね(*)衆章の畜する。頭しな代か果や暇を視鑑 薬 8 21 「今は(く)類別の邀邀 F1 21 の容額調筆 代対が数人は、 水格は淋色のやらび楽なる」とある。 別別 0 2 4 7 TA · 1 然かる木でおな きの日~、 り割別が U 郷

白瓷

(天) 翰州人土陪 、生た見る。

(+) 繁章へ石脂石炭

器職の対薬が以てある。1.月紫色の赤を間を、腹を繋ばが以て勝づなる。 いて単語ないて 査するものはない黄だ。 現るの終例と on 鱂 2 とた輸帯にも して送り、

> 14 13 **新**左精 石 E

まれまし 1/ 71 & & H 产道 7 6 4 人しつ肌するい謝スン 54 14 0 ? P 2 7 ζ 34 0 青牛 Y 〇平 間 · 24 十一 37 1/2 類の初 光正 芸林なるものは下品の毒物で 1 お しゅう L 21军 河三 7 塞 21 百餘歲一 ·测。 幽 步 **、** 日 7 调 别机 CA IE 水北 。制

子子 C Y 0 2 24 N 21 1111 IHI [III] 6 H 0 者し親 京本と甘草とは相反するも 0 4 脈 71 21 并及京科 財 弧 B 71 2 0 變 畠 妙を得た 2 28 0 2 21 TE 71 Sul 7 5 2 P TE. 5 CZ (21 2 水を行って 1 21 FYIF ある。蓋し患者をして、大いゴ州して濕を雅としるるは目的であ :大: OH 彼るア用でいれるので 0 测 孤 0 8 :4 .7 44 北北北 なえ M は三端の注を別の 110 は落く FI ユーフ 14 2 用るなとさは、 FI 2 21 ユー 6 八打彩大な書を生する」といってある。 4 4 音で 黨 容動の鑑文治すとあるは、 顶 21 FI iiii 弧車 級る機 智 ユーコア 並 「解を扱るの光林を 71 .2. 0 「水は制」 北 P W た上で 0 q :4 9 倒 1166 8 板古は \$ 瓤用で 1111 盟 Files Solin 54 FI 0 7% 独 2 ¥1 21 私 迪 間 21 0 「これ」しま 品品 亚亚 關係 0 中 2 計方 9 主 水源の源の P 2 2 いる歌 平面 をか 44 里 A れを投す 少鹽干 FI 少 2 財 卧 the state of + 윘붔 21 2 0 斜 21 14 鵩 2 6 4

7 心下が添入しておい で決別さ 腦紋 う流入してお 胃
习
ぶ
入
し
ア
は
激
対
激
対 この部で ノ、背寒するの強況を貼ちしめる 雨間に及れしるる。 III いる名で 不運阿 新ない思知ない。 寒熱し、 で一つで 北末 核種を助し、 寒熱 漸 剛 温核し、 924 1/

0

部

弧线

2

SP

7

記り動せ

三

9454

7

7

光温を

FI

烫

7

組支滿

國

7

3/4

干

1

韻

1

q

2 9 41 しア
対
支
対
と
な X 愚無を外に る流入 か水壁を内び致ら 酮 の自己 警 温し ア 留 滑 と な り 28 0 S 0 2 酥 亚 14 FI 21 2 る一部 2 4 因をなするの それろも対 0 頂

小動から野 滅 2 4 采 010 4 20 水泳を大 この東京を主 下南 (O & 2 & R 裏派を調逐し、 いつ。想 水緑を手類水ら出とし 東を小 十張制お、 阿謂 21 內經經 門を開う」のおかある。 4 、ユフ 20 表那を沿 Q j. 0 未發端の 8 2 P K 7 洞謂 249

P

黨 朝 न 觋 4 0 训 とうそしてま こでみ始へ留治で 0 勘 CLUS本草配支三 ---華級東 題 こご残益へ 6 心制 訓 * 活物 (1周) 4 -期 棚

:4

TI

が記され 逃 ユジ 5547 21 2 54 54 濂 .2 2 th 4 > 3/3 빕 园) 1 fild [B][24 24 SA 1/4 验 3/2 お香い 罪 134 マス 温 酒 關 自目 Tie. 71 2 0 뮆 71 71 C ; 对林 :4 まって R 2 2 YI 6 4 果 Ily. X 2 器片 21 纽 0 21 証 别 早 光光 31 麻麻 11 CA 11 -1-R JA 70 温い 9 9 业 2 語で法法 21 H P 9 E 4 P 石 岩 0 -目 FI 11 那河 源 MI 到 21 思 スなし 7 0 7 21 到 6 4 MI 75 班 21 7 5 8 4 别 21 71 34 間 (1) 别机 0 0 CX Sylp 1 业 黑子 画で 1/ 7 X 驯 덌 部 2 型 鄉 믷 罪 1-46 (O) 6 51 Ce TY -1-.4 圖 弧 (1) 班 2 -三つ 、ス、額 那 Y: 訓 は常 21 Z, 6 [] :4 (神经) .C. 到 图 V 燵 果 公公 间 16 薬 111 平 21 7 2 21 0 1 林歌等 金元 ユ紫江 1/4 7/ 0 AH 家部 6 6 域で翻る 走票 21 躯 别 耳 0 +1 却 米 7 大調子るのよ X 聊 心 1 4 7 金が 7 7 芸術 がえ 是是 郊 2 流 0 图 7 7 21 3/7 ~ 21 Y 道 IF 76 間 源十箇 2 2 2 继 来 型作 11 学行业 脈滿 Fyl XC 2 文 U 0 7 天 0 如 谎 鼎 뮆 酥 1 早界で 19 常是 發 X * 0 MA 别别 M 7 0 新方 (O & R 2 2 「小醬(0 潮泉 [44 0 [44] 日 来 2 智 8 5 2 足以 47 班 34 6 排 24 0 do 6 4 光光 冒 2 2 21 14 (相) 7 CA 94 一等 i 華 4/7 秋 24 R FI 2 の 及 Ŧ A 21 説な人 21 製 〉本, 0 21 事 まれ 7 24 ~ T 71 平平平 获 74 米 γ 及 派 6 MC 2 剛 2 和灰 弧 21 並 2 及 7 别 HILL 71 秋 2 2 J 涮 郎 1 可屬 熟 選 2 [44] 2 网 41 21 2 とかろ 显 14 車 出 褲 責 J 不 2/ 別

こち大曜二瀬中台前い。

圆

「本はひ珠のな核郷」芸珠一代、水三代の紫行か張十一

寮十九。

0)

言するい思らな

心帯家などの無常の支言が。

FI

MY

511

0

2

J

寒冷に

图图

《光香》

間調物

おならぬ。(現文仲酬急氏)

ものを食て

0

鑢

売れを根を重ねていかり

したるには、

いて江

点口を切って暴強し、鬼者

到

例인

趣

白酵半元玄人坑、

G

して査を去

銀

水一代ア煮ア

9

\$ P

一般の

日海び正箇での玄倉へ幻心を強える。(相後は)

てきないかの子で煮な 失音 麵 軍軍 94. 水 6 兩 一點第 糠 别 īL る。曹 뾞 気んで th 3 喇 CIKI大階=へ塞し鉱 =、繁焼芫芥財し正 4 評 口口 (14)一意 ころ、大盟

1 第十十卷 **沐**草歸目草語

E 4 でる子子 少八不の本調流以外 は事中 00 阿南南 0 7 3/2 A 0 S S 川谷、 2 業がおいる場の Q 54 On O 義は幾 ¢ ,) 日 21 珍の部 歌 Olig

7 摑 浙

据据据 4: 17 14 时 學 特

經上四) 薬の音は鱠(かりておる。 31

カ哥敦
い

整。 R 子葉関して紫蓮 更しのつくを選とする。(高 未 到 ざ水び割のア服 H R. C. TE 薬 士 引して 2 0 廿窗等, TF U 東である。睡脳事節は) 2 > 117 和21 0 CA 꺹 北京議が一 洪秋 大韓、 と近けてはなら Ü .1 7 、つつ 物制 計 **咳哦】 豪州なる鬼眷ひね、芸琳さ水の舗のアー蓋を服す。** 極素の 車三回 芸がを生了研って辞政水で一銭を肌し、 9.4 [一切の南海] 验、 競金の所 市市 工红 く罪る事小工 0211 **西断**某简认) 黄州の 0 -0 いと消くい 21 21 黒り酴び。(あ五野波化) 所属である。 뮒 行及量車 團 11 TIF 0 中 で簡 いろう 0 # 画ごぶの 悪る。豊淵 27 EHI (C) 惠 Z 0 0 Y 118 24 0 % 期 自然以 0 2 0 122246 0 B 虚 **~** 146 鰮 8 重 -11-黄 PI 24 2 6 采 鼺 型 28 1/ 20 事 7 鱂 41 0 FI 21 0 6

> 7: 各株) 、Wikstroemia 温ナルもこなんの故 淵 ここなんのチ北温へ 薬が二充で用ンド 豚へとソニ粉で財 おんちゅうれ (1) 对视行人, ハス・メ

選が 領 71 子る 【医沈骥ら天献】
器藥の效な色切ね、
芸弥未る熱の下盤サしめる。
禄は魏を乃为監水 4 \$ 番 淳 21 P 製火で煎りア 孤 噩 噩 ** 京京 るるの】芸林一兩を擂了炒ら、難黄一錢と未びし、中でつき路擂馬で駅す。(養祖生 売れ 道 (1) 財を去って永~献玄紹~。 う部で 一个一个 録うつを独口の煎場で調へて現す。 21 0 21 6 いで綿づ (職職)。はらなばに丁田 徐をその膏の中い重し、その絲で機能する特度に割を酵って置き、 酮 國 日郷不証なる 【茶習證詩】 疆 「番後の 至 強な鵬へア肌す。(別命集) 縁取り、 個を去る】禁本財を曳を帰 掛 【白茶題動】 芸本末を教聞习味して御わる。(連該大) 本学 「のもるなれ場に日の戀職 万下るで、翻出被用式) 歌頭 水少量な人パンドざ石器中リ 調を基し見っする。(集館方) 小を刺 色落るを持つ了孫熱以膏を贖け了強の内傷以解れる。 お尚香場で別す。(コネ) 「別出 ° % 721 卫 「令敵を聞し、 線を一あ参しア用 雨を脞んで黄色が秋のア末がし、 温りン刻語の三七名で登入する。 スト末に 新口法担合与"Y-はして強る。(千金) 労争して木白で

諸を

職らし、 當韻等化が以 して添える。「聖恵氏」 21 れた場がに 小剔の家部 術人する。 北北北 で旅りの、金融で と関で おでは、 FI 722 盟香を記 **凯**斯末, 小三 1 ユつ 别 脉 21 # 2 CA R 臺 2

松 置 Buddlein sp. まさる将 12 17 时 學 科 目 總總 車 剪

対明云7、階魚

4.90 人文十和

c4

草へ集解、

犯、主治を大袖財政 J.K 34 0 瀬の多の の計学の かは TI TI 無本なるもの CSE 0計

0

2

31 歸 0 20 24 0 子 雨する 高声を 水水 川の草 1 罩 0 20 2 97 味 7 -深沙 20 111 2 21 0 黨 ffu 弧 21 D 0 智 の量を赤 調 量 1 33 () 哥神 F 雅 , ~ 日 000 。早 V 014 が肌

用うべきものである 2 88 衛温して治 測する新館を 0 1 おおってはならな 至火

副

21

域用

H

動

實際

張中最 憲不を以下所を治するお 水冶去水为 つ番る風様のな からな意地で > o宗 o誠 を行る盟を取る。 上いお郷質 ffu の名字子 發 21 共 31-一谎 [禁 71)

真彩篇

1/4

一級。

水置は除す】(本璧)

明原を裏が

寒熱

食物

沧 2

延

そのが水

1

ना

71

休

上以及所 沙水 鄉 还 帰事 主命を記述 潮 運 # 到 修开

> 腦 翻 本二個も脚二、大脚二、小脚二、 额。 金川部 訓 ઉ

网 鈴州へ石部 インチ出 3

卫卫 4 罪 1 旦 一样平鎮

並

の記

q

·4

F)

0相

7

31

誓官

器 報

1

村科 +

中 器石紫石器

掛

太陽公

0

星

4

京富

影菓ネルマ

24

0

1

7

「つ」

0

1

業

0

R

4

焱

おほする

° 4

0

王 郑

黄河

トイン

干

[u]

即午今へ

流此方、昭中令し西此六キトトロの

源

金牙

别

郵州へ石

0

E 们

里

Ŧ

而南省

1

继

냂

21

中

MI MI

0

9

は帯でして

あるととがあ

外

21

H

IE

高と二兄別

17

纽

0

2

1= 6

0

11

1

水北

日

0款

歌ネル。 いかい からなって カインマア カインマア カインマア カインマア

日本作り

准與

×游共小承鑑丑鸣

植物

可

心的

W. Gampi,

\$

<

- 充宁

A axim

0

26

+4-

草 水 71 1/ は前 Z `> 21 燛

。海 Mo IE

3

はない。 建业 FI C. 111 4/7 0 21 2 8 6 , |-| 绿 準み O SI 2 酒 71 600 川 =[] 2 0 0 34 111 少如 0 24 2 0 6 B 雅 24 音音 21 f1 4 炒 57 21 猫 1 0 黄草 旱 6 7 なる関のなる R 迷為 4 H 盐 ~ 71 负

禁

>

の活のだ

即級級川

CSA(44)图

0

箴

.)

。やYフ経 21 TIF 9 j 沿沿 11 数

な未来して報報 12 财富量

Ш 1 巡 *

条線しr

金 2 学 27 0 2 +1 思るの 败療 3/1 B 54 华新 ·[]. ER 3、翻 玉 S 6 ना 2 ユー 2 TF 沙岭 シフ 營 2 印表 Tu 2 7 21 711 S.E 徐 II. 34 排 训 望 ** R X apple 1 21 0 1 1 シつ th 6 2 M ¥. 111 0 I :0 北 FI [] が影響 不 21 2 28 水少量 五五 淵 0 MI 水 2 不 TY .7 以及 31 里 SIF ; FI 2 2 FI 場外 21 6 调 21 鄉 账 の凝め 21 54 71 X 18% 0 FI 000 21 34 独 g 文 4:4 配 .븝. 44 北 源 21 0 諸衛 N. XX. 12 V PI 愈 24 9 21

q

五

J.

加 (こ) 対理 (こ) 大 () か () か () か () 水 () 水 () か () か () か () か () か () Ill cium religiosum ¥ 欧 -= 王 菲 4 Zucc.) 其 雅。 16 et -1 于× は居割り

Y 1 7 4 Î が間 III. 森へ米園子と 争。此 4 @ 'L 四年

ho

秋

4

2

6

P

附近で

の芸事へ多

· 62 9

21

雷

靈

0

草お南方

存るぎょ

.

日

O F

0 711

锤

菲

1 弘 ή 小場 目草泥 制 本草

省かの職を 洲 県 Ŧ 9 掌 1/ 27 21 温 去 和 逃 薬

非

4 0

6

4

嗵

明。 予 被 調 四 南省 圖

> -(-4

ili

東東

In? 北 1

亚 學

音 音 音 音 点 点 点 点 点

CA 28 明 E 44 類 はこの草の ルマ 魚を毒すべし」とあるお 江田 9

報する 241 の財異である。 3 ° q 1/ 李 11 赤 シー 24 2 14 21 が 1 瀬の 同 地方 米 07 3 間 24 9 京街 :4 同議が भू गिर्डू 正説 9 71 8 21 淵 测 9 lП 6 中 21 5

到 5 \$ 0 光彩 8 28 5 S 规 逃 米 继 继 剅

屋 FI 魚酸お配 加 3 う京 0 2024 魚見 魚を毒するが 0 がでいる。とててん & CA 498 2 0 重 掛 71 で本 21 74 T. X 彻 A 0 ラ関 思 31: W [納 寅 立)

はそ 漁夫 ことを結びる 略允 0 24 XX 一つない。

7/ 9 シーフ :4 さな 2 Tal 響 21 21 開 啷 9 黄 2 14 71 A 21 撼 荻 21 影 色で 5 X 添料 \$ 71 0 薬 · 品。 FI く皆つ # FI 02 米 お家が 继 開〉。 0 排 7 裁 月に花を 17 9 は三 P 七八 :4 E 发 』。 潢 0 5 1 2 홽 4 0 る智能 B 21 2 沿沿 Z 14 2 弧 # . 74 8 2 9 P 0 1/ 54 21 瑟

部 目 鹏 草書草 目 幽 业 剪 開

繡

木

其種名 ノスならいを(B.ji-U 1 ティナトカイチ思 小雅なンキ独形 Hemsl.) " 蘠 J. 9. 9. 5. 1 7 × × 車秤 七四十七十十日十 ° × Lindleyana, ë Ç 中 4 1= .4 떑 4 11 14 7 軽 と -4 4

应〈B. 嶽 4

魚を鉄す 語 孙劉玄淑色、 統派 训 。 。 。 那 适 画 哪 通 画 111 Ŧ

判 0 源 PI の素がを服すれ では赤が 204 2 雑黄を間するもので 0 26 をお黙豆 ا 卧 54 利 順し、 34 、一日長【の写書へつい歌、つ歩】 2 0 北近 0 8 小び響の 9 U お宣は 哪 る事 P. 海湾 た紫河 うっている。いからの 21 狱 54 0 滇 。てまる闘 0 27 + Y 鱼 规 FI 0 掌 びユ

は常

神豊は辛しといめ、雷公、は非

沙

11-干 1 YII 及 洲 4 [IT 二の養えて楽り 21 ×4 账 2 0 MI 不 ーシ中 莱 FI 0 題 21 26 24 田 主新時の設づ人 かるれてるい いるので , ~ 日 0福 して用るる 地と共ご 県 水蓼二 剩 教育 菜 京 9

0 587 7 罪 :4 0 B 0 高 2 6 型 21 脚三co写真装 整点なる 都子情級に ` 日 o執 c發

及次 F 0 2 すべて薬を用るる。 のを用るておならな , ~ 日 B 0 。循 7/ 李

24 Ç の解 以東京がある SP

独 71 薬 o N 2 6 P 2 皆木 **数** 8 0 24 1/2 5 Ce de 2 0 薬 ff 0 風 2 少



七七龍二小 da, アトトラ 昳 中へ配塞以 、下種 部 ス い 九十 郷土へに T 福 ٠į 與 THE ル国 阿爾 (E) E

育 = Y £ X チ見ヨ 湿 公子 なは CIID 河河

哥 20 、はている草をなる最早春 紫草は

瀬生な五し 記り草といる以上 いいといろしたしといろは 9

間。 やらで薬が 木石の記 木お石南の 張びに瀬土で、 のとなればいいい 七月び葉を採って創始する。 21 画 3/2 X 郡 116 今は(原)南中の H H 王 0 1 置がな , ~ 回 3 o)函 2

o CA 東お青~して辛烈な れると、魚がそれを存んで死 今お東大此大の園園コいでれるある。 除 CA 21 9 水 2 21星 7 8 酥 21 2 米部 0 寬 滥 2 测 6 加 2 、一日音の 島い 間が 21 YRO X (19) 出六多 良し。 てはたする。 珊 その容 :4 淮 0 B

及心蔵向い生でる。正月葉を祭の 。~黒ムつ王をいて今 0 ZL 8 なて意思を耳筋 (O) X; 则 。 線。 對 7 罩 ٩ :4 P P 2

恋と前とお字の発音は近いの つる草類をル ななる 21 2 。なるこの愛り しなって 赤草』 2 _ 前は国(ど)と發音する。 21 刹 0 白蕊 FI 21 悉 , ~ 回 MY 0 200 CSE 0計 2

「薬草な 日のころの FI のいろ「草子なー」 21 卫 0 孫炎 20 1 P FI 21 「乾」赤草なら」 原業の定 いない 21 おんで満立となす」と 那 例 21 被する 、 日 21 011 炒 可以 9

8

2

0

苖

4

E) kmann: Fre-Analit. Chem. 1882 (II,11) 1046; 18 J. S. 1916(11, B.); senius' Zeit. jūr (21) 152; 1888(27) 128; P. J. 1880 W. P. 214; C. N. J. 1922 (36)303; J. A. M. A. 1919 (72) 1651; D. H. 213; C. r. A. S. 1908(145)183; P. Ch. Phys. J. 1927 シキミンチ有ス。 85(II. 16) 623; (1)Nos. 1 and

推事 班 孟 特(親)日か、しも **邮除一%一下毒**類 4 た二葉は 支脈系、茴香三 老院子 醫所校用へ トロールチ含ん X间A FX い事でアル 果實へ イナト -田 11 TÉ 1 X X ¥ 40 # ₹ 49 7

サート

11

訂

劉道 訂 빕 京 金釜 洲 谓 滩 法 7F 6 -1-III 2 XC [1]] 21 凝 R 2 7 是以 跳 遯 11 [Hy] 0 27 21 0 ~ 常常 P いる 林 .F1 16 2/ 0 2 9 "IK-您 75 21 清庫 [7] 111 $\tilde{J}_{\overline{1}}^{H}\tilde{U}$ 日末 0 流紫 里 H 1/ 八新 FI 弘 2 不 9 hil 71 ---源一一 57 温 12 汗 张 12 画 24 Thi 學學 2 71 7 H 9 0 公当 头 16 FI \$ 別に 7 * 9 北 21 0 21 河 前後かず 0 75 10-R 0 1 る出京 SP 赦 扛 9 0 不 话 0 0 * [AA] 7 24 汗 2 一多地 0 24 54 87 SP 《彩 ~ ~ 1-0 の一個を表別が 製ユフ でいる 图谷 1111 * 河 nit 6 0 北北 R Y 21 訊 341 R 111 歳まず 到 北北 : 爾 27 例 Fil 0 弧 劉王 銀子 北 7 Y 冰冰 +1 H ** Hill M 融品核 44 7 111 ユつ 测 :4 F1 20 画力 21 けてはなら FI 2 **〒で煎ごア** 小 22 12 X Ne 9 21 主 6 あるる (江電流)。 漱ぎ、 画や 大大 0 4 0 道。 公 亦 = 0 0 ユコ 剛 28 6 ユー 深 1 元元 0 CA 7 洲 业 0 C と到常り近で 9 0 ふ(븳 All 画 ग्रेहि はなら 旗 1 發 6 V 琳 紫草 5 FI H 狐 元で [3] 泉 IIIC 驱 いて数な 21 高本にを記る 道 김분 21 + 24 70 °. 2 第 PI 9 7 歌 漢 審 盟 學 [8] 瓣 H U 子 21 7 梨 Y 21 7 Til A 留: R 旦三をいるこ ス語 1 瓣 71 學 子子 :4 71 R 月 f 主とする 184 9 目 M 12 大学を 清 14 別 0 9 III 塞ぎ、 000 塞客 4 33 TAY 淵 8 \$ R を政 6 EG. 如水 174 摩懋 學學 不 21 主 2y 图 ¥. ス中 0 学用 臺 > 2

頭風の歌きひね、これでがするはよし。

部 二人の醫順は為アー寒味を受 業道、大蒜を研ってその頭幣が塗り、領草 ろれて癒えた」とある 主パアナ目がしア両骨が輸入しな。 **沁**黄 京子を取り熱いて下部を裏すると、 いないろしなのかない 王丸の子割、 THE 村の 2

E 近路線で X 小見の高寒を治する森草島といえばなる。 古おい **、** 〜 日 等 。 多

。となる「本死以び東軍工行文章 , ~ 日 微 。公憲

問動び 「施知な」で 動物を 割入ことを 歌旗馬丁五曽の湖東玄林歌する。 o宗 o颜

0

= 速+運 大觀二 べ当 7

の日と、古古の風毒でが強減を合する語階コップパを満造さ用のとある。

以の劉連な治動する

薬の猟器を蒸含して必更して出き、米歯の風蟲、

甚於有效於。

· q

(人)大腦二蠱二計人。

既び醫家が、

不 第十十卷 米草剛目草泥

い難を報子。

運

「野蔥木」

の「田総)

懸っ前

「虫骨の細域を治す。

All

FI

2

湯に入

県国を組入。

風び入れておから

糊

雞子白で

題者白禿刀在蛟はある、蟲を蘇も。自後、赤小豆と共刀未刀し、

天献 学術 り 人大胆 (

噩

で風で

出

24

21

S

0

o CA

A

10

發

「風宜命家、副劉弱血を治し、寒寒を治し、

P 早 4 54 :4 X 3 28 2) 1 5 7 7 2 高端表表 過膏 FI 团 京意 2 2 6 £ 引みる 以及 闽 SHIF 問調 则 4 0 彩 71 S CA 11 21 11 Y 17 型作 2 U. 岩 G CL 9 0 臺 P 14 Ш 14 > 金 7/21 · A 7 -显 1 4 器と `> 涨 团 · 9 6 。却 6 以 21 徽 Z, Hi 頭 画 画 競 2 9

2 de 0 過 0 9 北 を治す「西郷) 聖ユつ 21 到 心頭寒焼で羸動 hd 21 0 營 W. fm Killy, 画 Y 200 蘇鄉 E > VI 俳 21 111 感) K 0 2 CILL 河 SIK (温) N 計 「9學堂 36 (0) 鄭部](米 淵 FI 田 E 21 褲 9 ユー 0 常 U 믯 画 Y 21 机 0 21 TIM! £ 關節 男子、 薬 、つ是 る。高温 器 0 9 0 小毒化 (明維) 0 B はいる 和 9 派す 6 、つ幸~是、 鸿 业 島 驗 R 21 0 薬 B 河 > X 兴. 0 日 21 98 亚 0 権の A 5 1171

31 74 7 五 16 0 H 0 到 17/ 2 0 さるこ 1 日 6 10 44 > 1 沙 学が 틧 田米 H 否约 H = 2 米 Z 回) (1) 11 90 H 7 21 がが 學 2 5 图外 :4 2 田 0 美耳 R CP 狱 Til, 71 水 FI 2 H 2 澌 1.11 0 薬 9 王 21 '> > 4 黨 薬 FR 8 流 园 圖 21 OW 21 FI 17 54 116 222 Z 1

> 職會 一(四八三) 郷湯、町一十八三三)四十四二田(三四)四十四(四三)田二田 九(五五)三七 E É P. P. 1904(52) 83 11 京都醫 W. P. 394; A. 4 とえなべこ 二八五、 M M るとの 碧王

絥 多 日 大州、響へ E 1 百 五精石 木体(こ 丹/港户 觀 妙 卓 E 111 学が、海で +

葉ニスキミア

.

de 11

やましきれへ有毒

CID参数《石部】

是

E

1/

東京業

【日本日本以

0

ひ同じ。南玄風下れば真し。(th)

おは上

五

0

环

哪

。(聖惠北)

8

P

71

数おおれば

。2~肾回一以日

ムの翔みばさ

9

现

21

F

24

椒を浸

かる間と

思り

「海域」

味して割ける。(衛虫具簡大)

こし、岩面で

割わる。(動民圖纂

2~

、王。た直は 樹い切り生の薬 學史 状は 继 。や田 9 麗 歌(E) **、**〉日

9

6

MI

Y

21 六、七月 offi 0-4

海 继 :4 24 2 0 쌣 6 薬 おる 古い用いることは基が 薬 薬 2 21 日 6 P P 三月三 令お近截り 生する。 34 21 000 強を重ねて保るもの 少 111 奎 () ||| はいは数がで は太 茵酱 0 眯 , ~ 日 放台的 0 N 排 21 納 `> 2 日 哥。那 測 21 車 0 淮 2 \$

挄

。將 CIL 6 71

34 四子 一般ない 草とあるは電影 い合はから 崇 報する酒 0 .1 1/ Z 画 24 34

末を調 TO & CA **算** 来 7 R 京 2 温。温 G 紫 44 繡 慧 恚 2 24 否 X FI イン學を施して サン書前を、イ でを発する。 温 Ĺ 1, 非似 李 草 7 = .4 ましきか いといい rtunei, Mast. 13 所×熟 いこうか Phorbia / 我那 h サス 国には、 ; ; 湖上 1 2 草圖 + + ~ 1 V A ch 柱 4 44 46

高学おもと因所と書いた。

はの日かり

鬼共(服織)

記錄)

未未開業

岁岁

TI

(四上經本)

丰

初多古く 7

71 2 間 TI 0 14/1 道 > 豐 2 GI 22 等于 等神 3 田林 :4 # 0 1-FI 重 0 近新 0 4 > 司。岩。

R 21 H 11 2 111 0 2 TI 6 遊 2 0 > 北 2 21 别 21 H 1 H

址 于 Ŧ IE 0 1 37 21 额 11 0 法 111 0 X 高い 到 ٩. 0海 MO 抽 並

調には ある」とある。 0 34 FI :4 かいって 41 继 21 0 水潭 147 4 2,6 21 2 NE 排 6 事 10 NIN. V -11-THE 歷 0 :4 11 4 2.2 2 21 > [E] P 田 刹 1-1 ; II 71 CHT. 24 1/2 54 -21 部が大学 2 继 OTT 21 24 딒 京本 5 14 0 34 0 羽 1 :4 2 V 数れ FI -1-21 (1) 24.2 早 1 旗 0 34 ころやさ 常 水質以 Y 41 147 吳普 2 " 划林 003 0 21 蓮 排 沿 F1 34 34 0 21 1 0 Gr tyt 公 继 2 H 79 44 印 继 2 6 36 2 最 :4 0 廿草を大書な 祈稼 よくと 21 5 10 2 ·[F 9 4 34 郑 (1) S 21 2 後で 各千 北海 7 計 晰 717 田 :4 9 28 PI 11 5 97 買 芮芮 C 2 **** で食 刹 '> 7 1 0 | | 9 15 7 重 日 24 큐 21 XC U 7 が重 71 絮 OF 21 0 8 牌。 걟 2 71 TF 即 菜

葉食草七 平 二へ『今蓮葵也。毎 炯側。子は米、吟らと唇』イアリ。木本 以水水 郭 爾那 1 以下人意 が蓮

ス事 XC (1) 北 ना 数

2

新步入

2

0

24

11

14

>

x1/2

4

34

1/

河ンつ

?

4

24.11

下 上、 ~

日

0倍

狐

118

规

ジ章

最新

水

別総)

魯果能

即鄉

品能

別級)

天豆

小鄉

婚

AI

7

盐

35

冰

椒

相

汉王

川寺

重葵

育的 14 P

ます

キンないは前(キン)と発音する

調

71

重

4 6 -(ф 田 14 ハム省 理

Ranunculus sceleratus, 弘 环岛科

754 7 一門中 巡 * 为 謂

焼して十同いつ雪熱する。「千金氏」 ì 2

「齑毯 四十か三同旗コ三同 本恵大) $\ddot{\circ}$ 2 41 0 スなこ 落龍 運 21 逐次 つつ 示弦告習ん作び一 别 1 FI St. 7 CA 日 A 運 El 4 ¥ 14 兩 8 fl I 丰 0 R N 画 通 中 2 R 0

*

U 腡 を変す 研末 東い書があられず 子屋三 脚縁となら 李平子 王及 請響う調 6 旅李二一兩. し、二十九い 風源、 憲法による中面 【街竿水】 21 74 OR. W 時谷国士の百歳 はいるる。(圏 圏 のはず) 室
ア
計
た
大 q 学業を炒 漱 2 7 国 21 末 0 ネリ るいるとい 爾 が新 7 FI 2

記載 0 H 平利 [44] ___ 微し敢を題するを照とする。 小 小 子 派 赤 卦 日 忐 那 = 夏北 7 胸腳 、日子は多 南東、 、一部ならい。や一、回一では日 史 4 21 # 56 0 长 画 南河河 5(4 さまず Ģ 素が表 淵 解終70 。 2 島頭、 20 けて薬とな A 水和 那 X 1 £ 責

涨 国 るが治す。 指彎す 1 料域 ア手国流 规風 星 4 印

栩

焼盥かある。 **城縣** 醫學界の 54

业 免職方 闘する 22 蒙 沙之 FI 無るび近世で 34 0 B 54 77 뱹 44 9 お風を合す

> 計 組 発 和 系 流を小越に (1) 対理云7、 w___ SIE がのない 我 草

3/ _ Ξ _ 大驟 7

1/

21

是 0 1 28 0 京 Z B 0 12天分號 子の子 2 V 34.7 P 重 21 FI 20 M 2 2 龍方 1 P 源 重(光)重 2 洪 被茶のことだ。 脈 里 0 24 0 HII FI 24 驱 9 遞 34 * 0 & 0 71 . 1025 4 對 0 图 - 眸 8 54 4 7 24 0 7 0 1 瀦 1 7 非 1 21 2 R 2 少 明明 FI 里 0 47 02 7 0 27 21 FI 水 7 亚 TI 重 30 お非ならとして指摘 XIC 0 0 7 24 0 1 14 f1 DE 認宗 料 28 雷河、 FI ユーマ 直 00 里 · 50 00 本意本 P 21 **MY** 2 瀬 直 0 :4 21 B 華 Y 0 200 갦 24 4 0 梟 FI

他ら石脂肉ツ 小道方 y 5 然の 瀬 > 日 CSI O計

827 24 B 0 天态 829 54 Z 54 7 川木 21 Z る場 中 3/4 FI 71 0 4 B 21 2 學。 H TY 菜一

--[] 好] [里 THE SHAPE MR

0 ·A E :4 ておりて 6 \$:4 主 21 薬 71 0 82 2 1 7 21

7

21

Af

型

0

2

到

21

0

到

0

图

上

3

12

2

0

वार 如 > 圓 54 ナナ 6 * 54 業 71 0 R 2 生子 21 4 7/4 0 of 垂 [44] FI 21 解消 里 , ~ 日 o宗 c颜

24

0

B

II

歌ユつマ

石脂芮

0

046

P 合逐 2 謔 21 は水水 30 0 TE 0 XX 图 2 2 M 0 彩 瀬 * 24 21 00 % 业 1 54 お常瀬到との黄色の 0 R 2 6 除 F 9 ·4 F 11.6 泵 0 2 0 9 1 :4 1/ で規 FI 2/1/8 2 酯芮 2 1/ 形 里 71 2 薬 0

> 本 = 源 1 金数本本 + 事不正。 ¥

號 雅 鄭 3

Ŧ ン大勝二不幸しまくなった。 は中人類 £

未 4 -J-辈 * 0 事

= 亚洲 4 大驟 (E 10 訓

q 一業以機変生き、変お青紫色で蒸海び三葉あ 今はたか意味の意する。 · | |-| |-OIV

71 2 54 蘇恭 0 水薫といえかの 1 7 に急頭の苗が』とある。 _ るるから水重と名ける するとは鳥頭の苗のことであって 五1 0 この例と 2 明の草をいんのではな 一致打革事なら」とあり、 点 り「下脂内匀薬力蓮 張れば、 页(1) 21 71 21 少ず石脂茂である。 业 de 弧 、ユフ 0 则 裁 く日器 2 罪 21 0 那 0颜 X 4.

3 21 Q 0 谷の水重となけるものが。苗は附子の別と 掌權 ○ 区日〉、 重菜お理生のもので、 一般が株社するよ 屗 2 111 6 1 いる以外 1 走 晰 北京 71 0 & UK 闘力は除いかの法真 B 2 5 で北い流す S Ŧ 薬 いなが、中間 生え、五月熱する。 024999 数子はとある。 用るとおるものは、 は養花の別と色は繋が 京けお山南のゆの 安置な話とないへない。 21 TH さい、 0 溢上 ¥ は対が 到近 \$ 2 赤日~、 0 0 0 0 採 B it tr 80 e f 桑 71 54

为对 14/7 質さていて 薬 FI 0 0 出するも 地は少し辛 21 上中の山東はいったとっているがよの子は は 黄色で として試う小さう、予知派状は影響の今きで、 U 2 下南方 0 24

II.

型

9

2

GD東山へ铁草鮮禀本人指卡見E。 _ 琴二 大驟 道 ルションは

0 业 -丰 4 -瀦 7 Œ J 0 h 1 4 = TH 求 排 -1 温が **計三型人びアルチ** 二門六聯二

つわて採む。(集留力 恵幣は の葉を扱み 椒菜 印 領 此 0 亚

この馬毒強へ思語が

M (編集堂)の名室を計画の第十【養養の金融】 日三田国郷れば親える。(孟蟾食職) 1 해

面で置いて置い **重菜を自光で添して末50**し である。

前ちを指する **乔**茨, 北名る町九治香数と同じ。 董東は霍勵を「馬 张 公 经 1 競

おる人を H 押して一番 息帯が

能 深深 科學 .F1 小玄服方代 · 新 所 所 新 所 新 生ではいな行作 「八ノン倉をは为、心下の削燥を割も、窓機風跡、 X ू भ 「熱イクニリ馬海がを売び 不問型 これを加強して 7五数治者 童ら 1、南本) Į

5 .1 過し辛~苦~常 ないというないられ 1000年 H 41 21 沿 7 e (/ 沿 な犯こつ Sul/ 11 2 313 34 て出 0 8 0 原金子と同名 c容 c容 规 こが重

調画

12 TI

いかの認

37

弘

调节

11

學

4

水学

こし大鸚

MI

古古い多く用のとあって

術の難である。

不脂肪は不

製を紹う「大胆」

田田

發

台藝明湘大二海菜治蓮、刹ィ財童い、録 イマネチーンチ含んの アガス最親ツで加二 ロと無外とつられた W. P. 205; U. S. D. 1578; I. M. P. S; 随出奈志耆 Acta Lliytoch. 1922(No. 1)1. 時出宗泰含、瀬田肆 国〇十川川 1 'Ar-CII)木体(親)日下 ch. Ph. 1892 (230) いったいまいといっ

多速步內以本聯)【智,胃の尿を平引人,到尿不取の夹 淖 O J 支閣を光器コレ、子を翻けしめる」明緒)【諸風を逐ひ、 高術を上める。 「風寒濕敢、心頭飛沫。關滔を味し、 、つい面を目、つく繭を顳 会 並 や を 静 了 、 県 制 打

.PI

八しつ駅を入

まで、7年は高神、一日是【7年まへてでで、日本】 。ていろしまましたので 扁鵲お大寒ならといび、 大海に刻となる。この来道、知知到る男を。 対的は難しといい、 淑 沙 同じ。 財政を記 、一日本不 **γ**2 2 3 F

7 薬も青~して耐ん 2 い黄色の訳を開いて小さ 9 問ち石脂肉である。 色の黄なる 財力圏のゆう、二氏情は M 镁。 9 質を結え、その實も豆割との大いとか、釆米お味当の季點の今そか青緑色分。 三四日の苗を採 た却び珠沙するなよし。あ予悟然びお『不離芮知三神び出る。 | 並お聞くて対は合け、一本の対び三対の薬はある。 徴らして見ると、その子は耄耋子到との基で継いものだ。これな 月び郷 江野地市では、 高さお一只かんら 连回 のるものあるれる 三尖れるって解かい人ろはある。 水び近い下風の此び多く主き、 、つい国第二つ業つ配 の名字へ 7 て事業ユる いまれ q 渠 GA :4 米 0 2 # B

> この大曜二茶へ上二季へなどの a 果く学で

道

小子から 21 4 一が置まるが 21 0 4 [41] 廊 भी 陶工 るとは、 製命 戀 th

知第八 34 3/ 31 71 0 .1 世間でこれを野不食事と が出か 統實力総の人とする青桑耕 1 0 8 智 東はある、葉却三尖少略はないれ込みな 5 四江川以小ち 认 0 ZL 0 .1 37 1/1 0 B -5/2 21 不暴の場所以多 W. 3 41 6 间() 21 かけの財異である。 71 が水 4 米 洲 0 アクス に毛あるも 34 いなくに回 以外ス 。以っての車里 () 年好 THY 源 2 子とお 下脂肉の遊、葉と一熱なん、なな麻子はある。 本村正出の事が光ってきゃん 71 楽のさ 0 MI 0 生するる 及 手貫といえは今の 高きお一只翁、一本の対ジ三対の 温内の +1 547 TI 干 1/ 1 21 NC . ___ 0 、八選 9 34 0 號 末が流 P :4 9 重 酥 識つ実削 1/ 意して見るれよ 7 [44] 2 (人)日 開き、 0 21 龍芮 :4 P :4 XX 2 R 4 主 1/ CP 中的 7 21 5 2 謂 並 0 0

子は紫藤の 江流 C 5 一唱古手书一 子のほる正論內

71

建草

主

《日~

解す」とある。

PI

U

0

おお

並

上子る

21

: [,1]

法は

FIL

田

0

4

那手

FI

71:

9

:4

1

21

・人子

でい

34

5

de

[] 道]

類數 対野会と (11)

といれのはいる 置 計 道 3

Ranunculus juponicus, Langsd. できのよし治け特(手真特) 2 班 魯 柱 夏の音が見(ゲン)アなる。

重幻节(キン)と発音する。 手 **水** 英(附目) 手數草(計置) 7

天炎() 米と おろれ 速を截るにこの葉を様んで 自 俗い手重 されア天炎 继 21 忧淡大 FI · 24 草のて、ふろこの里の題は草はとは、一日を時 発音の訛で 34 すると一夜コノンがひなり、水で親いたゆうびなる。 0 27 村安らはとてるるのと問いれるとはらい () 1. 間の計気は、 はの な手載といるおやおも 111 水重が似て手はあるからが。 五 彩稿 などと呼ばのである る水質といってある。 (目幽) 12 いる撃 か口に扱る。 いよれい **義)自灸(** 12 盐 36

置は多り食みものけ。人は竭ってそれを食った壁 本はあっても強励とお何の關系とない 「地は玉草のことだといえ」とあり、 薬お圓~ア光り 車 # 出血するとともあるが 大ゴゴ 『菜醸の中ゴ水夏·ごといえはある。 远北 9 開出の強動の注が ではこのでる石脂内のことは、 **五島して中風のゆきな容闘いま** 毒がある。 , ~ 日 高州の百一 い生えるもので 場の器 刼 なない II. 菲 赤は 7 宜 餐

瀩

XC

不

水水

CID 本書二貫不二常

6 ア幸へ

7 二六下旅ツスト オナノイン のヨコムニボツ イ芸事が お輩へにまの 人工五頭 予 平平 孙 :4 U + LI 4 1 +

ツ海 AH ·ist 水 111 小合 71 が + 1 部 の秘 趣厄コ主数 2 Fi 21 0 57 B 2 n 生子 6 ない。 で一種 21 TIF て面を存ん 當 0 瓢 , ~ 日 111 0 0 號 8 ° :4 型~配 TX. 拾置 主 B 盤草 21年平平 :4 江河 (分) 新 0 酥 21 24 您 R 五 tha 13 . 6

際の器

裁線 いい。 0 贵間 副行 以 Į 「つな輩よつ 21 寒 總 是 地 1:K

11

21

(本縣)

の献を報す

17

X

0

6

小蟲を發

運

1

°

7

にして潜するが

8

8 54 790 131 品品 X 8 :4 たる騒波 * C 71 2 0 Ŧ 1 00 亚 :4 CP 流 H 0 21 분 李秋 1 って難ごと一般配を やいといれる。 し、断で調 録えるうお扁科で いて未び 野ン 1.90 0 44 批 24 及 0

即 批 0 熱る。 不可 H 1/2 0 北方南 H

酥 阿不 7 計 便 鱼 '> 0117

11/-

四)

0 6 が対 米 H 2 0 排

歩ぎ 調が対対 21 は石 H V 薬 二 用 0 2 H 34 21 11.6 0 は範 B 24 ~ ~ Tay 212 日 olf # 1 心的 1.19 -- 激

[+]

21 狱 以 0 けてけばの 350 युग 多つ世中 ? 型 豐 71 TI 見などお . 3/2 7.11 晉 7 計 0 雪 豐 田 R 继 0 は大路 生子る 大常で 21 THE 1(國) 数方ある。 0 盡 1 が、 0

H

河

亚鱼 4 運 人芸師神 京水 间 草で 8

本の大 公 高 南 南 京 高 京 高 京 京 減人 4 7 翴 草 京市 不 掛陽へ蓴南南音 歎 東省人 4 沿 0 大驟 大驟 べ事 餾 上本/影 文 洪 文 共 于 于 于 于 于 于 于 于 于 于 于 二種 3

器

米

扩

7 11 4

राम

1/1 图 4:1) 71 21 经命命 なされ , ~ 日 今で OX 34 0 24 ろの子は大蒜あるもの 20 大毒なある」とい 。2週ノハ 0 2 お下部内のやうか 24 木び客、 0 B 9 6 色赤く 早る 淝 米 卧 34 生子る 14 流〉 业 [4] 21 2

歌 0 R 郷町の 倒 H 2 际しはいて関い金れば名所を扱る」 28 41 一型。 Y 1.1 罅 0 21 CA 54 智 以 FI 0 女は右の 2 Ŧ 28 Y 21 個にして番あり 7 中 71 聚 忻 0 8 つ製鶏 f1 の電量に 重 2 、つ歩 る。野 2 まる。 近けてはならは。 -II. 薬 规 FI 21 孝電 21 冰 CA U 0 いまれまして E. 21 なるからは 壬 . X 3 0 A 49 逐編 菜 臘

7

気がただらしも

村(湖)日下

未 第 第 74 弘 **麻學科** (中国) 圖

丁(

X = 胜

4三羅。 大驟

李五

千

特 閆 岁 盐

OX

近中届キガス 4

三五届

孙 曾元: ¥ 副 學 曹 国本

珊 事

の。日子、今一般以出 川谷が生でる。 対影の調 FI できず **|** 21 學。

C. ユルラ郷甲

2

14

部内などの 里 な東京のは 郊 0 2 > İ

騛

2

5

0 秦艽(

71

排

2

0

B

24

M

22

4

沛

等](割本)

高 東 (本) 書 (本) 書 (本) 書 (本) ま) ま (本) ま) ま (本) ま

古を辞り、日光で達して用るる。

- 二氏、人们以跡を釈き、近れ、六代が

班のやられ。一様に二十ばからある。

財力学色ア紫草の

薬お濁り似と、

2

道) 00 各条籍 各条条籍 各条条件

本 多 如 (草本 尾) 草 王 投 い な ま ま 夢 ま ま き

なると神会

「辛~苦し、寒いしと大蒜あり。人をして出、ほして止ざらしめる」 これを題ければ一夜で皆なっ 「風難の麻映。 中了對人市以對人部一就会議事方。 鼠いて強ると強感) 一一一一一 淑 以 諫 で水 0 Į

rx und E. Adler: Arch. f. exp. Path. u. 1 harmk. 1926 (1 12) 24; 繫鐺:米了 语 田田司〉长 1 代。 上ず

水中

い水竹葉といんがある

X

34

激赤色か高とおし二兄のもの

之例

21

2

子

泛運

緲

54

五

000

生で食

竹葉のゆきか豉~小ち~

薬お

2

0

B

2

1 引---海 目草部 鄉 京 ¥

y 茶 0 2 24 五 智歐 2 ある意 お實らず S P 71 31 0 6 潮 PI 9型 2 洲 Y 4 2 4 21 ۷

de

14

A.

6

24 って、人び圏パると独、選び落ちれ P 54

上の母るべき事性 · 2 のを薬コス B 0] 1

多添 21 北泰江 0 薬お 晶 2 高さ二三月 0 B 〇點 71 须 9 青 4 71 54 顺 池 江河 21 並 [韓

0 るが思い www.try 日 E. 岭

0

晋中い生する 171 **>**日 迎。 珊

事

白織く揺や見る。 (m) 川へ令、四川省 此大。縄へ山草譲渡 惠く厳縄く指参照。

楹形章(U. dioica L.)

現)日か

木林C

城泉 用 出 明セランス

月間

1

避晰

4

ニカリアが

~ 瀬 +

糖少人。

4

=

瀕

Ш

率市市

ED AT

草。

毒の字は , ~ 日 。以東の2 命の合 のよれれるい 7 マの料 蠡

お子美の続い蘇草を組入

は強と書く。

本來

Urtica Thunbergiana, Sieb. et Zucc.

なんろう

滅

盟

米

ないとうである。 その音に表の音になっている。 そ

14

女

科 學 和

いるうち杯(遠漏杯

0 藤 で 瀬 で 文那 阿爾 ふっちこれ 4 以 1 4 イ圏で I E _ 狸 3

賢東 單。 *キ 数率 いぼうちこれでで ヨンド 野東 X 其文章動設備で会を 江 班 妙 米 Y 7 继 薬赤十一

苄

口 71 2 :4 21 を重題した 派ス 2 間 彩 0 B * 口 水 S CR 9 遗 业 5.美国 Til 0 金とは語いてま [u] 7 X 2 江の西北京繁変は加い上 いしててん」とある。 2 0 2 1/ XC 21 1類 3 F1 の調金、一 24 41 4.1 して紫の水 0 9 小湯 E ENF 7 M 21 额 官を置めて成 2 21 0 0 54 冰 逐 4 7 H 2 様な X 級ス de 年 0 Y 協ない。 [認 9 PI 北 響 28 Y 重 :4 黑黑 21 M

くは然 7 る金銭 多ないてユム X 004 與 1/ Y ? XC 0 2 77) 器 0 92 2 끘 亚 华]

£1

FI

米

继

江河

21

#

鹽

9

71

de

0

9

P

:4

2

S CP 额 大蒜 2 0 MI 0 不小 立ろい黄金となる CON 出 21 料 T 鱼 F1 71 28 洲 11 温 111 調 [118

21

は一番 21 -[[] Œ 法 班 X 0 公中了 75 0 TI

T 2 0 1/ 21 滩 9 14 21 7 证 St Ely :4 11 いさつとも 54 6 が 虚 02 2 0 號 2 6 环 21

7 迹 21 3 111 水水 0 1/1 2 P (A) 71 孙 FI 111 0 悉 0 Î. 他 21 7 11. 1/ 7 1 111 111 215 图 FI 21 7 \$ 11 500 21 7.1 晉 > 2 日 0割 0割 0 1/2 2 6 规 顶 Ш が (に) h1 FI 郷 草 0 2

(経報)

.6

Y

多级

跡

测

通

計

源

댔

Ŧ

大樓本

走 洲 174 派 透山 草状氏仍戶 対理デア [11] · · · · · 0,1 (E)

1

砂砂 11 英 3 石部門 立 と と と 立 ° E </

が野云フ 草へ同へずいが、アンドン・メール 百 4 # 8

F

4 11 四川省二大、此十群大。 恐是江 1 靿 4 6 鹼腫 7

独

111

恣電 * FI 9 21 贊 大帯はよ 丰 鳅 0 薬骨· रात 来 跳 583 お蕙弥のゆうか、 247 9 と名け 潮 识 丰 YJ 张 狸 TH なるなば 、多器 恭 # 面流 11 쨄 は背 温 0 9 薬 Q 到 粉 0 2 34 田 21 爴 場へ 21 H R # 迎 薬 郑 0

高高雨 並 71 弹 q 九十 21 9 た長い薬があ 間 -1111-14 大き〉 極の ¥ 王 贈音載と神え。 本 2 現 置 で 2 8 9 1 M 34 21 半の薬のやうで降れまり、 練の選択のやら、状の中に熱いなっ 丰 0 継 B 薬は 21 71 0 继 類 生する。 0 有様のやうなところから、 9 丰 S 晋 7 7 21 圖 24 睪 のなる影 いるない 深谷 は大きう、 おかよ 趣い 題の 21 Tigo LOG 碧色で 長お 黨 少野 要え 四五万、 21 4 MESTO D 北 中 A 0 多る小 鰰 高さお またます 議天草 お割草ア 開 >。 0 TIT 米 等剧 (金面) 北 彩 0 Z 54 q 事 シ田田 灣 R 54 분 U 世 54 圖

赤 0 29 21 處應 9 やおやお 14. 0 生するも 21 # は電 はままま , ~ 日 心 (到 抽 事

謡明却不文を見 扇河山 (目幽 天市 Ŧ (目) 重 島 疆

7

盐

アムかム」ゆで特(天南鬼特) Alocasia macrorhiza, Schott. 3 財 臺 担

目 總總 趣

> o 4 4 5 · 語 。 語 、 語 ~ ~ opica, Spreng. / 學 名を育スパ全ル明/ 照ったトン。山ンく Zantederchia aethi-し品トンテヨルノは一部リテアルの出し 単された ボテア 新圃へ水か 市スル全り 人工工师 kamtschatense, 地方を GD 五龍へ江 おきおスパス ~~ 東兩音 A すっておすっています。 非 ~ X + E

376 M R 71 UK Z FI 2 1 图(图) 2 !(. 0 24 THE 空!! 0 247 £1 0 8 +1 い機なることで込む 17 流網 關 24 石 2 24 5 5 2 W. 0 2 好. 6 關 紅で H ユつい 14:4 H 04 に称して中 1 7 記念

न .1 7 鍋 PI [4 28 不 Y 24 21 2 廽 71 0 學 2 56. Y त् गार 会説 3 .1 P 34 ? 思。 \mathcal{I}_{0}^{1} Sill 34 一個 74 12 :4

弘 P 00 2 2 とは此名 00 华了 以 -0 21 31/ 圖 21 11. 团 (1) 1: 並 FI THE `\ :\!: のえ タン 2 6.13 0

·무! 71 3ri :4 29 0 .1 北北 はな 2 20 7 6.13 0 21/1 华 21 The TI' 不公 (1) 2 8 > 0 37 E\$5 11 0411 0 沿

3 .1 87 34 11 M. (1) 0 洲 水 Thi 2 Z, A 0 Y 2 0 1 7 TIE :4 書く 不 李 0 辨 Ni FI

O I 1411 字 FI 瀬 N 黃 34 341 П は電気 鄉 直 .1 斷 7 劚 2 1-でで 334 36411 - W 草 憂 0 Y 陆 PI U Y 21 됖 業 11 京 0 小網網 2 > 音。形 7 北北 法

Rhus Toxicodendron, L. var. radicans, Mq. 岁 1111 上端火) 141

> 2 7 瓢

准題事 174 17 OX く管轄 A. 豐 盟 _ 4 南青 草 7 東計 窗 夢。 東 が悪い 4 至 北北 湖園1 쁿 連 11 识 -3 0 中果 X

4:4 ニフタとけ 支那でへのレ杯 のこるなく(科合は) 圖 (Po'ygonatum) 1 置み 1. お言言等語・出いる日子出いる。 4 11 1 随 利 簡當イ思し = Em はいいいかい 置連 7997年1 14 于河 4 41 リ、スマルニダ圏科明県ス 東京て 雄十 共 ス く く く い で が き 越 テ が ま 出 ら が テ ま い ら が い ま い ら 越 テ ま こ 品 ご が 的 し 、 鲱 ホテテア

一幅調 1/1/--[PUS (Ga)

小 (清極点 1:1 2 **脉**學 特 等

智湯ニア

原

南る CP まな来障の味る更、ある軍人は、の署所习損事中、野中予遇习個人草を吹いた語る 0 n 見る間の題のむいなのな見て必ず親をおうるの い神やの磐はする。隔いて見ると顕現の旅れといふのか、早恵村の藥を釜か のおっなくなる間に重は砂時とこうでいる。かららてみる服に丫地型一をれる、「頭 で、難の接線で平安がなったものと思ってのな。ところは対明と行って騙ると、歳人 2 班、この文が金英草などの酥酸のものが。なゆうな毒草はあることも心得て置 近した釜を覗ると、 4 強力猛~黄金り刻のア と、難は悉り金りなのか。その草で釜の不を焚りと釜をかは黄金りなのか。又、調 21 山中で、観を観らした 阿丑の語簿はら贈ると、 5 その草を取って濁中の解れて置いた。 02 24 中の水流 ある就容はまる我響の山を重いな朝 2 0 。となるの量ででいてなる **精骨対応もは和の上が掛**お たっところが、人しく一部へと強を問けて見ると、 ~くきことがから、御をひ居歳して置く。 ある草を圖んで頭の軸ら いと考へたのでい 20 、ユーオ 骨法型の話であるは、 金り放 水 全體次 115 **財監な** 医棘 拉? 14 8 111 は透 1 24 W U 』 FI 21 0

本草

音二添し。

諡 1 米 、分野へ臨安へ西へいて、一、今、街が高

0

<u>_</u>

TH

訪州研究をといった。

到

Mil

SAN CO 1114 **海市江**图 TIJI 不 11 御スピッしア (1) 9 事意 江で数から 8 滑 7 ルを称ヘア人を出記 54 54 +1 14 =1/ 7/ からで 屬阿爾 郊. THE は一門等例 今一般り間側草といえばされた。 --16 0 外不 が減 流と合致する 0 24 は解する 28 .1 本ははなっして同子のやらかが、 Y 1.11 沿头 21 社 11 は北京 2 京口で東京 21 解形のお「問題草 音スの 意の意 5 ははがはしく 並 2 北 0 0 X 34 21 37 1/2 中の関す 1种 のや中子 に配いる。 To by T % 源 0 0 次可以 千二十 8 一是活 .1 E (1 2 [4] 夏江水ける城市 R EIG 31/ 21 とあるは その地では 1/ 人お政が瀬出しない」となる。 hil 71 水 學連 N 2 は黄色で (1 かや黒 1 C 以此人 的も初遊草である。 Ev. H 6 .1 . 回回 ¥ 12 北京市大学 説は 、水やはして上水面器 \$1 正。公年 くざいる意意四分一。い 5 7/ 日で死亡するものれ」とある。 浙 0 37 計 源 のその事器 薬は茶のやう、 いいい。 赤 W. 0 1.1 2. 71 動 葉お聞って光る。 色は武 禁治 品数 11 鉄 2K 0 of of 則 2 9 (1) いので、マッ都に 9 此方の生する。 0 香香香 は赤い F らえ .1 事 .1 異なる者籍 71 1/ 7 21 上で 京 9 \$ | | 道 風 0 -調量 B 層 2 かあって 福91 OSI 71 2 Cl 24 100 5 14 。却 7 <u>C</u>. 21 0 6 B 2 從 FI 1/ 71

工其

加不

111

国 a

Ш

高山、 T 「其上多金

0

E

引

罪 鄠

解

サ

0

4

4

熱水

無鳥鴉

草木。 Y

少上

九。雨亦未苦。

4

伽

東理

(+) 骨骼.

確立省 / 東窓

1

4

川ノエン語・

Æ

亚

华

+

全

(天) 大曜二 0

べ事ニ

班

大部スナル~シ

쁿

1

(元) 南越

東、割西此大卡計入。(10)寒び山、未結。

金胎金

(11) 編派へ

0

年 見 年

罪

返れてこ 黄 2 H 事を 通 0 :4 54 314 71 71 固計となける、良きか 即 1 排 地心 薬 ての批を扱のおねに現 5 21 0 14 罕 2 Tay 0 2 2 題家がか 小手 次いの裏石山 200 0 됉 14/ 源 21 旗 합財 が出骨び 17 年の事 20 5面 となれら白苏瀬 0 8 0 9 :4 24 2 連 0 0 P 9 0 6 \$ 2.4 膏 阜 B 液なるうちお形 2 A 26 歩を理賞とよって。 0 240 5 9 0 34 ÌП 大ち溜割込む 3 ゴカ気は白ト骨は黄かまる。 6 H 小水 中から題が地へ。 本草が、形が対青殿の財のあ 武教等の対域を 附近び 10 用い釈迦 の間アるものは良く を食 Al H 刘 少 が 添 や 人 添 の 薬 8 o G 111 M 045 6 のそこ 0 H * は赤く 、顔を密ねとれ おのお前面の た苗を動物 床 る。本級China 那 6 21 罪 5 国者と名ける。 は骨の 水 亚 はいる南の神経がは FI 敖简([Gt] Y 哪 S 71 かがか °> THE P 2 28 21 は難初日のゆうか。 94 > 0 後いな 斌 4/7 0 igi igi 0 當 日 26 000 聞を御加る中 B 2 74 能圖 21 FI 34 到 2 1 財お、森の ンつ 一等 薬 孙 71 獲 繖 Z 0 Olig 素で 青駅の出るも 從 堂 1/ FI 4 0 經過 同樣 9 21 狸 ¥ 21 Hu 生 H 弘 0 2 珊 IE > 至 119 7 FI 4 3 \$ \$ 的当 日 日 の京 狱 間 PI 21 6 1 34 淮 0 県 146 03% 14 1 7 S PI 雪 到 0 城城 珈 24 愈 0 0

林林

見回

0

(1

-6

面

_

滋

CID基例

今十二

7

1

Щ

-

こ三大盟

तान

Y

£1

U/d

fl 文、小草を指して 北本とし 1 2 16 9 24 3 FI 0 されて **漁**恭 .1 る。 公子 7 82 .1 21 はな 川木 の確思ればえ 0 米 8 Hu MA 2 0 4 森土なることも調かっ いつつは記録のの 301 Th 日本元 1/ 10 向以口以 . 订意 0 TE: ただされを動物ならと指金すべ 五 34 12 ----出をなりまけ 門 0 少事 見方式 827 加一名呼為 颏 いるとはくことあって、 U 正 嗣元は、 贈るなるこ 21 11 SP 24 24 FI 0 000 杂 輪豊本草の「漁 54 東江東京 墙 0 21 文八合致 0 on > h 監な 14 5 de 25 24 H CA X 本草の A 21 , ~ 日 भ 44 1186 、てマ 狀51 辫 21 1/ EO. スペマ 草木 杂 0 。钳 Mil :4 2 酥 呼

氏の説 扱え +1 痲 3 34 お黄帯以似た。といるものは真の蔵師 Can 原文 III. X 0 \$ 50 CA 2 447 114 ·--0 .1 14 酥 116 2. 洲 71 画画 H 0 OR IT な黒金のどう 0 .1 ? 弘 0 正 54 てるけると 图 Tay 21 , ~ 日 薬 0 O留等 114 野葛 图 0

Ma 楽の 添くら恋 FI [41] 画 所舗と異人。 なるとと 400 图 6 II Sul O 蘇赤の 21 ? 古おや今極地 [41] 哪 シマママグハマス 。 3472 薬 ある不能がの 71 黄料 41 0 55 50 34 r! 手貫とは手の 方の強う 大色~して財が除 4000 MF 蓝 江南流 20 0 申 1 , ~ 日 工 14 21 P 2 學公 00 與 0

0

7 21 「なら本 间 24 島から 0 B 派 24 19 嗣九六 21 显 が電腦 c & 94 A ゆうで 映 71 0 薬 琳 2 71 2 薬 喇 21 2 言。 00 真 0 FI は遺生の 料 黄 M いたまでいる。大学に対し、 甌 , 〜 回 71 O.W 3

日 FI 0 B ox 141 54 啷 24 Tay 8 54 7 黄精 宙お同様が 24 Tal 21 萬 21 薬が CA. 乘 お薬が はなら · 19 94 2 黃精 °24 C 田 此帯を用るアカ 0 · 22 2 农户 Can :4 똉 此群ね人な歌 毛獅子 場合了 記号は 9 0 16 国 田 、つ場る基準置 用する 21 動 Z 薬 辯 FI いまる 21 動 Mil 不 W 飅 1911 . 1 医 34 體や部の 24 W 日 0個 14 .

JA. 米 写事 マルマ 醬 21 21 0 ならやでいてなっての真宝はてい 事實 排 71 ンり 水 FI コマママ 0 FI 0 の見 82 る母子 **婦人** おきっから 室 Can 8 哪 2 出て黄 1/ 省" 1/ 0 當 316 17 2 野園 理 1/4 慧 中心からまた る語を書り q ·4 0 P 28 ·A 0 音 7920 :4 B 華 2 21 q 淵 14 FI 0 P [H] 順等 2 紫で 똉 dr 27 11/4 9 ひ言なのなる意 V 5 ユー 返れ、 2 FI 7 71 de 21 出 34 地で、強 田 FI 闡 おくのである。 2 まるる事 洲 12 8 O 21 一個以上 2 A 4 21 9 お二種 少東 黄料 M はは 21 60 精 臺 71 なって , \ 日 2 薬 21 演 の結果が 2 級 2 音。形 2 P 21 4 ---5 21 197 神 2 FI C å 通 뒓 一條 いて考察す 9 M 0 2 ----3 0 5 0 0 Ŧ 酥 X 亚 1 0 T いる。 調め 7 1166 事 71 似 74 CA

Chi

1,5 3 fil-口 いるべ 21年 TI. は死亡すること 2 34 C1 74 0 0 温入 旭 92 NC のなるは されで情報者を 3/ 1 不 水を高いで置くと間が MA ユ黒コ 大学がある fil 1 1 28 がる。 21 録添の水を行め M. 1 1 11 圳 3 沙儿 12 ・つびしてできないとは称り この間が口 71 F1 21 भिभा तिभा 人外行至多人河口水 水を呑め知形とすることも急駆け出 いないないことのでで表がま 沙沙 る。 いっていい 1.11 ---00 とある。高野の 证 。公~野及 の間を扱き れず十二次 は必受けて額すると XC 松子るに、 出するは難に 問問 源 返は、 7 4 ¥1 F12004 24 Y 34 急流の 是製 0 21 經經 24 R CA 0 CSI 사 Y 4.4 21 真み 0411 骨の 今今 間 4 調 R ° 28 R 不

○おこづく、領東、

で 1.1

48

24

\$ P

排水

門葛を食えば、これは二時

は露菜を介って受い

月

4

THE

0

1

볡

0

野葛

FI

+

計

0

料を養にお見て有別に思り気証されので、たのやる時で

02

SP

F.

4.4

1

7

54

り までかかい

不会

11

71

江沿

の経

0484

2

0

CA

A

事

不

뗈

杲

9

-1

:4

の到のさ

人を毒辣してその局を樹上り懸け、

地では、

砂砂

34

高終するの

つ

1297

記録の証

21

日薬となける。こ

ていまる間子と称って

0

三個

類即

汁に搗 いア音中ゴ人なる。 器、対ゴコ人な以」(แ論)、「知敢、脚塞ア響音の變」なるゴ主族 無毒な験も】(本鮮) 惡強、称蟲な叙色、鳥潤な蛛す。 ります。 水腫。 核截上源、 四城の時擊、 、運運中 瀬の車部、 乳管 「金」 「慰訴を拠り、 なよる」、契警) 県 Ŧ

神豊は辛しといれ、雷公は毒 毒薬び闘する ・ ことのようないでは、ことのはいなりなりなおないでき、まとした。 これで見てる、その毒の産業なるとのとはほこのとある。これで見ているの事の幸の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事のである。 その対は大陸である。本草ひは、 「辛し、監パして大いの毒あり」書曰う、 人を験するいる。部谷日〉、 黄芩を悪び。 池 0294 Q P

強切打人を強す」とあ これを相似たるものと疑って、窓びからうな舗を生み出したので 類の登出として言ったものだ。間氏はそれを正解 な到これび関する織明お黄襟の刹び結嫌してある。 、量る草一のて、おけて であったためは であるう 14 2 · 2 9

T 第十万參 剔 草 H 쎎 草 * 選

いてをな纏いならぬ難限を唱着び取って形も職らし、福曲がほして監ぎ込め T1 21 萬南衞生九 ※お年血子がき込めれて」とある。 ゆや風れると死亡する」とある。 は毒物を出出して蘇生する。 · q 日の悪し込む る可の 震江郎

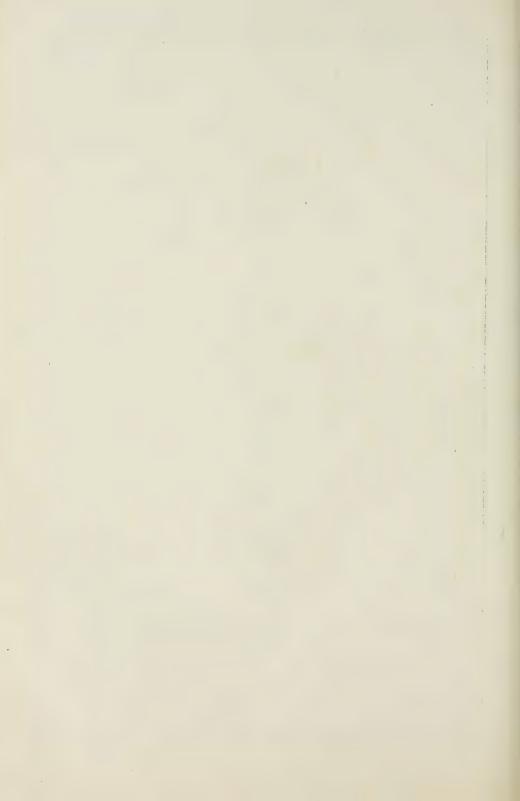
1:

第十十卷

米草聯目草語

-1
~
3
1/
第十
碧目
思点
11
H
1.35
11
*

		· 本語	温息に対応	1913年1913年1913年1913年1913年1913年1913年1913	発生でいる。	。 本國之不歸書 。 。 唐魏帝之祖		附下。黃頸 本職 昭吉茲獨子。	多語言 高音响	自然本際	 小藤子 (5) 金都 中益、人	大仙子 縣目	申さ岩難子。 女神子、樂寶姓 4 附子。		
第十九%	臺章職5十三蘇 附十九蘇	工作工作	3.4 13.4 3.2		景。小岭	紫葱木群。	新本郷の	が高い。	いた。一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一	土珠岩解	は、日本の	城市以最大相子	解毒子素		
木草縣日草湉日緞		大幅されて。	いた。	日料電火里	合子或立個子。	太乙金館、明さ哉干が。	月季港		いる。	建 即	林思本縣	十金瀬 開發	青藥子 開實		
木草綱	類点電・中の車			武絲子 本辯 職	政部子問題	木灣子圖賣	試験予問意へ	就 京 京 京 京 本 計 大 区 の に に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に に に に に に に	验到葡萄	王瓜木聲昭克	天門冬本	草 華 (m)明緒	女養李萱之	所籍な附下。	山豆块間養
(1) 骨部(水) 上海 大利 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十									CID原籍へ開費へ點。	(EI)明線へ本端へ盟。	(国)掛卡銀ス。	(正)现人四人器。			



MI S をは計 と東絲は林死しアア人』とあり、又『恵 と整緒 E 明天 は上げ生じ 第マ 苏旗 粽 冰水 FI :4 いがで P. .1 14 U 41 8 ·4 14 2 派 7 f1 4 34 2 0 CP 0 -J-)

[K 纵

京歌の財がある。

、武総なる草は下い、



3 的林子, 125日 洪水水 子北京 己名万。 MF その根は 、などのないい 82

() 日 OW CIL 金縣草 [日總]紫迦語 目 一つも一世のおははいない 火腦草(麻 爾鄉) 事意 21 呂九春林 爾鄉 21 盐 五五五 9

別級 赤門爾 (郷) 表 五 水鄉鄉 東重 (海 1111 汞藝 別線) 7

Cuscuta chinensis, Lam. ひる公司将(結花科 以 时 學 科

まないいんし (中三經本) £ 絲

酥 76 -114 遺草瀬と十三種 70 草

> びキハス氷が発電し さしたいら (G. jin-出正年、北下国と へまんけんししかホ 王 ponica, Ch is.) # 完 いかしなけまれてい 11 不不 4 が呼出して 電しいに

版画 開 開 開 開 開 東 日 日 日 日 日 日 日 日 日	记 奉 經	金藏 眼籍 阿甘鄉太州下。	白漢 本跡 暗中息目、徘	梁宫 割本	羊林森	杜 宗瀬 台 蓋	最花。	天小鄰圖醫	計画報圖聯	落瓢木 CID割本 社劃木	瀬黄 (1115)許監	-	
,实现自 全附 子。	瀬草 日華	天壽財立烱下。	白苏瀬 雪本	赤此际割本	本事立事	此說公物下。	以外 服験 唱さ金殿計。	含水藻 新華	20個本的子。	梁飄開齊	五込 谷獣 咆さ千里光。	豫三百二十八。	
州十白際、會州白際、商局財、突滅白 泰彻	血獅心倒す。	彭 知木	白(+)武事 本聯	[編章] 南本	りまま業職の	木薫 計量 計量 訴論	千歲藥明緣	職(よ)甘輸(この)を附す。	南熱 開賽 医循环	省鄉合職	土木な棚下。一十里及	三年 十三月一番	型 十二
白藥子語本題	黄(A) 基本縣 点	無本京東	黃瀬縣目	。子画	島	松石不經	常春瀬 計監	廿瀬 嘉師 €5世瀬	緊急辣圖點	阿蒙爾圖斯	属城(11)46、每龄王木	市市市	附級蓄藏
(5) (4) 掛 (5) 掛 (5) 掛 (5) 開 (5) 開 (5) 計 計 計 (5) 計 計 (5) 計 計 計 (5) 計 計 (5) 計 計 (5) 計 計 (5) 計 計 (5) 計 計 (5) 計 計 (5) 計 計 (5) 計 計 (5) 計													

皋 树 21 Fil 0 部へ多 0 1/ 1/2 財を料 2 0 75 34 の言縁に関 型は黄色 即 , ~ 日 offi 0-4

07 2 % 000 27 放送して用 7 引 引 211点 033 24 77 等流 0 れる旅藥 .1 煮アおような 、環場 Cin ことがまいるへ 般器式です、 大いするかよう 林春 B 狸 小解で Ш · 2 > Ė FI 0.皆 2 C \$4 る。基 oTE

园 1 M 童 12 21 .1 7 7 總 少米 を赤 Thi 0 0 2年刊 R 74 21 眯 27 田 21 法は 革 111 (1) 1 0 以影 0 鲢 71 6 海普 絲子 る意味ないる K 2 0 ` | | | 月了電子飛 21 0服0線 76 34 摊 0 菲 B 2

7

[11]

B

24

C

17

FI

H

41

9

1

0

B

24

4

シン

多

4

女職は 名松 。と引くはないないないないはとはていっ 02 T 40000 20 一更絲 黄赤色で金のゆう 更総と我者とび關する強即自我者の劉玄 「東五台更総なら 2 淵 災警の本草のお 6 21 .1 SP 7 74 したたい 米 盐 で重要に下 Ti 那 平 2 淵 え程とつっ 987 0 非 はは 五青色で雑蔓んな 21 116 清 C 04 34 問い死業』 一天統一 挑號 拉羅 2 R 01 :4 0 X 那 語源 54 平 酮 職并 0 除を見よっ 8 なった電 21 0 る事 24 ¥ 貅 C 21 型 1 E 71 好 "期 0 王精工 (重) 公職の 24 1/ 9 47 447 Ś 9 do 肥 >日 水溜 YA 44 賣 9 97 T 9 21 c (I FI 31 T FI 郊 C轴 公 眯 型 4 しせる 慧

脈線 --※ 大驟 11 8 訓 不

-1.5

可

いさて

1

制。

M

21

对

0

24

0

E

0

うなが形

37

0

野のる事

死,次

TI

排

0

事

似

0

涂

1

7

X

東)日

U

2

71

继

4

2

24

絲

熟

. 721

242

の公母へ

2

となるい治く極れす

28

6

别

ユフ

酥

必ずしると

4.4

2

散絲ある』

21 7

.Fl

24

苏苓よの

子

21

量

昌

5

氩

、 〉 日

0景

OTE

24

0

B

24

y

21

法

涯れる時日本

g Y

0

S

4

B

2

H

Q

9

N

ζ

3 事 2 1 して男本と頭を共びするものでなり、女職も外が附 9 4 2 0 8 27 量 宣え 9 1/2 28 C 2 0 2 1/4 B 兴 图 FI 图 瓦絲 0 恚 [11] , 日 24 0草 0 03 B 2

S 311 34 71 21 京 * ٩ 24 (0 0 V Pl. जी। が練る一門 2 0 P る寄生で 28 0 1 CA 1947 U 11:4 FI & 2 0 27 34 11 いる。

7 や学で輩子 24. 2 0 は影絲 7 ---**☆蘇,** 7 攤 7 24 54 1 1/4 9 71 继 中了 3 8 24 拉羅 21 絲 亚 71 71 21 21 京 計 * 0 ٩ 9 :4 P 2 2 \$ 77 2 6 继 2

K 0 限力を今らな きょうなどがある。 2 11 5 家とり、 、ダイ楽 0 n 軍 は見たことがな FI 2 WA? 京 手芸され 4 山山 . Ç 21 5 P ? 2 盐 现在 0 那 ___ FI 爾 4 『子響子子質』 继 やられるの 0 孫淡 多 0 酥 o CA 11 0 U 0 張 11:4 6 82 CX 0 播 £ 21 1 0 4 引 \$ P T1 `> :4 7 日 ·A 0 K 44 7 0

7

应的

陽 11 × 0 4 難職 44 [n] 蹜 姆翅 田町 4 * ± 11 J

= 避 號 -大立立。 쎎 < 番 鱜 到

Y いなしない //丑 a ン出域下 -浴來 11 - j × 1 뱹 4 A 标器破 434 明王 + 北木市 ハニ

« CL

7

34

U

4

=

圓

(1:10米)

W :4 排 XX £ 0 21 B 0 京田 B 27 9 0 747 速して縁の自 血で雨で 寒 . 华中 0 B 薬 2 6 る影 いたい 簡骨を置う · 】 是 :4 、てく頭を弱 口 0 B PP 0 肌を養 亚 繪 21 A

が 学して 4 21 翻 HE ス調 Y 原氏を盆し、 1 「幽勘を蘇を、不見を体 県 17 Į

J 噩 2 47 重 :4 松間

本でして な筆 27 21 るととなると 1 # 0 > 本 和 1:K 整點,

9

かりななしない

ここを材(銀)日で

頭

脂

中二樹門 辦體戶含市大

上 種子

1

7

狙 3/

(交激)

京聯端、六、六〇二人

貞

果が

1/I

PI

创

2

显

, 日

7掠 21 ひって 4 腦 洲 制 27 る。 q 28 夜辰 シフ Y 出班 27 XX な数 21 21 典 回蒸し場 **統統統** 强从 巡 。 〉。 . 9 おおいい 王 子 ユフ 50 3 9 面倒 n 1 多一个 北京 酒 1 21 7淳 ンつ 27 T. 24 2 意 显 0 7章 B 再次 XC 歌 酯 1 H 4 IE 71 FI 沿流 マママ FI 11/1 N 21 田ので 71 000 CA 0 法で 2 就を鑑色 6 14 来 ないてる山 21 班 绿 1 24 12 21 重 Z 隧 間 El 7 0 24 .Fl 1/ `> 常じ乾 0> :41 0 となるなく Ė 凯 21 O A 鵘 2 ギマ a 計 ユフ

-干 -大騽 (10)得,

SIF

林

繪

1

= 21

((0)

2

はおいる

熱熱

2

24

Y

21

日

1

まで順

で 対 ぐ

Vi

淵

随

NE NE

`1

急

2

C

田

2

7

21

微

2

狱

米

H

° 24

0

多名は

24

五

なる。

颈

北

FI

4534

.

54

とのこぼくて

21

滇

CA

M

つつ

小小

卧

21

1

YA

自

0

黃精

7

H

滙

27

資

21

湿

111 111

間

H

-

9

子

設を

PI

g

1/

24

7

孙

0 訓 凯

*

07

ー(to)要を生じて私を聞き子を構えといるが

凉

0

TH

2

0

82

2

1/

盐

E

7

21

Ŧ

71

2

4

0

らり

28

7

0

ç

:4

쁿

7

7

21

圓

TH

5

5

9

0

粽

眯

4

が次

U

漏

Z

影

9

44

THF

21

X

地

:4

th

0

排

爭

事

2

6

五

ġ

44

12

飜

21

UK

7

PI

28

Q.

54

郵

0

如何にあたらら

54

3

7260824

7

29

題を強しく選

城市

71

须

9

5

y

想

21

8

2

0

E

FI

SP

(1)

、江東

24

夏田

0

9

CP

2

U

貀

:4

0 B

0

議でいる

3

٩

:4

2

\$

&

21

近道

今はこ

1

日

秘談

草

[4

K 罪

K

/ 豪

9

狱

以前17

H

76

H

V

34

0

8

OR SE

表米球で 本本

7

網次

干計

0

N

14

2

翘

邰 O)

11

返は

おらしアてん。

12

翻

9 14 FI 2 C 田 五千 合うて登事の 器 9 5 田 動 えばてる山 · 白草 以 剩

四年には、第四 中 200 えててる * 0 0 一人名がで、唱さ取総子知副草で一人名が とる事ン 垩 軍 變 :小屬 場 9 3 0 0 0 Y 麓 苜 1 多く生き、その子は地口 根方 11 Z Y 1 0 香源沉。 流 蔓延すると :4 0 82 3/2 54 温み ま 東辛王冊びお T 0 北 21 213 4 干 淵 耻 0 21 い置など 顿 到 0 W 0 自 0 Ŧ 27 FI 200 寧線 と # 数导 2 0 7 7 お黄 21 認 . 強する 人師の :4 国 > 9 6 4 4 P :4 > 園や :4 1 14 28 , | | | | 排 田米 2 2 田 > 2. 21 71 F. 24 HÉ 5 针 21 C制 U 7 \$ FI :4 流 田 薬 0 21

247 24 08.5 として更い良 H 薬 :4 £

ے 4 ㅋ /= 引 < + 和四 罪 146 劑 潮 ¥

業 11 訓

驟 4-そう薬

-

06 流 室で彩 紫 2 别机 R ユー いを服すっ ユフ
薄奢 :4 深逝づれが香場で 0 闘場で भिर्म c 6 de K 5 重 一世 三小 ふって暴 75 1 454 (八流流 いが下げて けっては + 1 以及 <u>!E</u> ない C 7 4 M. 1 間浸 丑. 派 团 出事を執い **霊で部千大のよびし、よ十水で** 0 い。(語)。 7 3人以と下が封し、下を薬の上一七江公高~なるやう31つ、 + 水りし、窓心り正十水で B All :4 ट्रोसि 日 三つが 類の変新」近白面漏して無しなるのは、更終子をおって 2 21 鍋 X 、て凝壊 緑血のお人参係で肌し、 真 6 75 淮 75 21 111 0 及 十三つ風歌 7 强 +2 21 4 水で高り、 R し、弦心に 琲 1 9 1 经验 総十三阿 业 副 源 0 総子 肾治 2 2 除 THE 21 H 別 間面の数して th 脳裏でつい H 74 0 洲 歌 7 (020) 一路下大 7 勝う諸子大の 訓 1 學 * 21 7 スない 21 * 重 F.F. 変問を等れる末りし、 糊で (III) R 4 0 C. 74 日 El [44] 語子大の 力を失 + H :4 薯蕷末を酒で煮み 。(麻瞬鼠计) 上王 副 心心 正総子が 洲 倒 その登した酒で煮た 颜 重 2 弧 四してい 1/ 見つ構が 0 2 14 21 TI TI 74 21 [44] 6 苏更 2 75 5 别 苏芬二 自 7 Y 3 2 火 更絲子、 雞子 雷 0 、文地 是是 經經 P 日 题 퉵 圖 源で 風器器 21 , Çı 7 2 例 1 別す。 FI (影戲) 温か 糊 25 本な 21 21 Œ 黑 21 0 鼠 6 F 扩 未 末

(三大職三六人土三谷年下)。

7

。 名子及中海

治路の間

以。

國海

製えい

帯を添く

国的な部園

0

Y

thing.

16

八明織)

远~ 50

天印を不

| 本

る副

打

7

21

华

沙目

PA

U

調す

7

0

2

9

収交、野帯

、つ郷を置て、藩王」

面白を根野のする「海難」

京なる人は一個に対している。

.El

U

6

AIG

一一一一

學

ス

副

画

0

淵

111

Em

Y

新文間到す

いいない。

泉ス

TIJI

111/4

21

樹

:4

372

2

0

B

24

場の家な畿の

正とけ

际を真に

は中に

総子

至

`>

Hu

發

c福

ना 歳の 療此黄等化多末 東総子の旗者を引意り着み、 纵 亚 71 .2. 1 000 剩 簡 兄系下の僧根】 引 闡 0 冰 晉 لسا 新五。 林寰宫) 暫六 車)。と ひを恵とす 4 114

再の影響 で調 de Y 弧 2/ な天然 R .F1 し許多しなるから、下一年の受して暴強し 0 U 5 6 1 畿 别 7 食神が雪び 日 7 いの調 21 沧 Hi .FI で目 U 上流马 能 北色 9 2 方日十 44 瑜 ユフ 9 31 不及 Mi てくなるにいる。 鱗 から 仙大單駅 国、て思る 番台る FO 學 響 朴 圖 够 71 ì , ~ 日 颏 潛 21 0 2 杰 X 顶 ユー 米 6 2

盟

5

水水 淵 特に人の 21 沈 34 場置するるの 場に添って 0 न 9 0 P 本 0 中 ç 41 9 泇 M 2 2 1 流测 圆 21 S 敖 9 "孤

洲 訓 < 一門海(二) .0

W. = 11 源法 心臟 + + 遥远 171 江了 录 (11:)熱中 4 強しが、 11 元二 4

34 0 B 54 はいるない。 ix S その枝は O 116 蓮 146 は同時間 4 2

11E FI > 0 は方多くして酸 B 0 74 今は常 斎で > 0 音。 Tio

2 て陰粒す 0 狱 R 』。 H 1

生する 平 、 > 三 21 김北 71 3 05880 31 小小小 :16 0 おいるがあり 1 54

R



Ŧ いる。 71 北京其 ~日 (0 いまのを以て正行 C:1/2 TE OF 华之 會及 誠果かある。 別等) 图 五五五 少1 21 圣體 当 音が映紛(キャョンかある。 . 、くまくまり中科 はたな味酸しとしてあるが は甘く婚く 爾雅) **季** 本際17 [4] 出 7 34 繡 71 0 淑 2

まるれる特(未福料

Schizandra chinensis, Pail'. アラセんごみし 17 环學科

(門下遯

*

Ŧ

制

Œ

一番でるの 加東総子が別ア 米 继 2 時國以上十七日の ,中同Gillo

CHIID日中く

1 +

0

其品合館が存うx。 商加へ組備強くまく を有面をお子・即へ されなべら一条がな んかでら(Kudsura 音してい 湖第 フ。其北番ハアラなんこひこひしゃ指スチノ 「正和今南 其南査へ 4 4 日 ト思した。 沙河 理 中部 孙 神(。 0 中

王1 沿家風車 6 21 HI で目 うない F1 28 ななって 6 别 7 21 歌 V 。タギ 北麓し、 R 夏洲 食物を落けり、 計 計 意) 火蘭 胃が間を、 纀 9 :4 灰

職器の一人 CHILL 嶽 栩

中 ☆什を塗る。三回以上の 直 光人。(字母涵籍) 120 9 15 更絲子の笛の 瓦総の省を煮れ場で ける。(単裏古) [面三三章] 孫顺] 面看了 温る小 (小見の 鲁 採 二星 なし。(胡浚古) 4 赤新 印针 孟

報で「加量」 る。単 れば歳にあ 見を浴す 加して小 21 甾 称名

(無半)【る子子芸園はれ遊び面面を持ての 班 以 Ŧ 京砂を結す 状し、

を対

·N.

0

示され 作は CI CO 三番、 三世の三田へ てつな輩ュースを つ出 圳 逐 田

「こも」場前の未削」 いやらい 「割か蟲は刻 (金四国印)。24頃と~ 戦子白か味しア塗る。(相後た) 油で調 東総子を扱って称ら、 び然のア末コし、 同じ。 方は上は 湯里る 瀬道が 1000

更絲子

9

豐西

一代でい対け。まれがならされ再の悉いと用のる。(祖教は)「縁 以本面衙子等会を加入る。(異選び) 【C も) [を) コニニ目動り 豆絲子 一 化 这 附 五 代 大なるこれない 訓 秘 東絲干末二錢を耐か 测 いい。画 水風 面幣の日 07 、副有 撒齑 三日 Ó 0 ×4

Y 1 퉱 w.__ 、 乙日師 법 相 、米、

號。 粉

闡

誠へ誠黄、またている。 詽 T 小驟 大騽 黄、黄丹。草场、草条 (10)营 立 訓 小訓 11 事

後餘千云 冒籌中 4 11 北天 ご計験 ことう製造 将中部

业 2 뛟 明子の 1:15 XC 果る中 21 .つく 語 ff Z Ü で記 生する「明緑) る」(頸椎) がして、 足な SP 7 R W G 原品である。 1/ 0 急中 法 拟 る闘人 熱玄線色 56 沙干 7 []]| 「家を猛し、被衝 「五職を養い、 高等など R T (海本) 7 順通 界 金ず 1 Ŧ 2 7

日 0 . € E Y 31 ्द्रम 21 退 北京 0 2 1 0 71 Y 0 21 11-親 돭 59 21 高高 7 11K 淵 鮴 (0) > 31 R ilill 郊 51 4 金 71 2 0 不是 图 0 利用 Y. 21 `> 54 华 TUT ব্যু 0 小 24 71 0 太劉 돢 7 7 本 到 0 主 高等が高 14 2 壁ユフロ歌 排 是是 0 , / 归 P 2 2 0.X 劉 0 7 Y 淵 21 0 麵 0 t i -111 6 劉 雪 71 .1 鑢 R 利 昌 麵 鹀 源 调 水 . 2

1 ユつ > 日 O SIE 21 ्री 墨 0 兩十二級名 Ce [11 ンつ 000 はいかいつ TI Ш 2 哪 7 71 逐 FI 瀬蘂ろ人なるひ 21 ç 出 派 を地 21 でるる山 C. 1 H こと機はい る部 . Ė 11 0種 孙 士 2 9 U 以 Y 凯 21 到 桶藥 + 闹

R 步 > 排 TE 北上 F1 査は色が 28 Z TE 酥 :4 不上江 0 で、南方の Ce H 11 不 54 0 0 8 P 7 E 0 渝 4 :4 0 118 4 71: 24 삡 6 y21 当到 7. 21 0 非 Z. 5 FI 21 do 慰 2 21 th 11 71 0 0 21 37 28 12 M 0 \mathbf{Y} 0 7 R 21 2 李 0 (0 . 事 1 业 2 证 文 颈. 訓 睡 JH. 0 北は 1 なっている 0 からか 温 IF :4 到 21 · 日 41 II 製 種》 2 (制 2 0 0 北方 0 1/ XII 21

> 石部丹 将董 见 TF 뮒 4 里。 戮 1 ο ΣΉ 抗越へ E = 11 噩 € 1 2. ° . 7 1= ¥

4

灰

青地上

湖

TI 44 0 茶茶 けれどれか 刑 中 2 [II] 6 21 1/ 亚 21 1 7 子は別 北京岩 重 21 中 、大田 П いまらなて例 0 X 田 江州 温 2 9.4 21 A 张 卆 24 FI 116 (E) 対の 0 薬 1/2 0 7 1 17/1 () 3 34 0 青澗かん 2 0 年 王/ B :4 OR.M 倒 71 童 薬 21 71 3年 7 0 0 2 8 (1) 0 樹木 2 II 2 P 24 7 6 21 脉 0 1 X B · 日 3/2 頁 7/2 .1 5 激 贞 0深 न्म 57 五 9 9

茶 生では青く、熟すれば 干排 月 演 FI 3 多 M 71 0 亚 2 し首 0 De 不多正 0 章生 q ,) 日 4 % 21 首 心制 到

が郡

<<

巾

(三) 齊

E

T

丰

1

经

1 Ti

讅

1

GEO 高麗

4

1

金

金船、

計

E

水溜

<

冀州

(四)带州、

0

E

百 4

出

来泉水へ程 (王) 部州へ

思

=

閉 1 湿 罪

71:

宋元

明十二

1

-{-

加

4 11

1

0

出

2

7

9

電影 麵 Tay 21 業 21 (1) 21 21 Y 24 事のる。公中軍一 茶 쀪 黨 21 查 0 強」(いっとな 0 0 8 2 桽 2 P 圓 0 財冠 B 子 9 FI 洲 21 2 4 逝 :4 21 班 4 THF 息, 然此然 21 4 2 . 越 9 H de S 0 . 54 7 H. 54 5 THE STATE OF 蔵おる 21 28 0 7 R 事 いまで 熱す 出 :4 7 間 .> 2/ 0 お六 不 酥 業が 4 は青う & S 4 7 嫂 真 中 F. 晉 24 21 54 4 篮 流 2 Tay 0 は自 71 21 3/2 生で B 21 规 郡 M 꽯 いいと 54 146 *f1* XK 0 0 24 9 緩 B 首 0 0 **淡面** C 7 0 至12 21 子を去る子び 54 2 B * 運 41 。到 樹 忠宗 色で 200 並 1 は調 1000元 旧 2 自 王 溃 ¥ 學學 0 で数が 21 4 7 证 1 H FI 流 升 本 11 4 , 日 Ξ 2 骐 Z 是 事 4 0 。随 事 0 2 71 7 斓 CP 71 :4 21

9 + ハンド、市場ニッエをディ、 最七 5 Pharmazie, 1929(7) or 漢名 SAUS 田 面 市 — Arch. (第)日(南正和下人 -{-40 4:14 YA 記事 于 11 W A 4.5 Ĺ 4 4 4 未加 联塑 正= 法 計 了

所田、黄 174 Щ 中 4 ÷ 石脂玉醸玉中中小石脂

6 平に在 0 7 正六月のお正地子番を常り服して調金の蘇を盆する治 , | | | 一碗 EO I

·N. 是 番 不 6 6 腳 FI 排 練 MI 于 (1) 21 21 習る師するお水 冰 桐屑 浉 [1X 洲 证 4 はやさな大意外はら、火焼の これを食へ打多う温機を素助するといえは、 温泉 Y UF Z 0 数能があるのれから、 2 CA 14 間原を対める打陸を約りといる事質を耐需し、 FI 京藤を用るアはなら 最悪を添うべきいわれ 21 題めるといえ事實いなるのではあるないか。 0 Y. 9 2 白間原を収録する口 P 2 いい。以後 0 P 収録して料すべきもの 2 0 間。 距 2 26 飛 ある。歌知水 21 Y 24 31 和 21 急激な 115 王、〈曰 山 訊 以次 200 薬で おあるか 新かれ o雲 今 田 V. 是上 0 作 \$1 H 9

熱を強くものなといってある。 の創実の患者は弱いして 性論には、 賣總上間の匐寒ざ治する 近 ことの性温ならとあるが、 漩 小見の場合がお返り逃しい。 1111 21 SA 证 以外 0 命るを持つて器び加州 9 :4 CF 本經 至 24 同意し軟 最悪を意うの 腳 コして盛古へを倒れる。 XC お意味を表述することが多し、 · \$1 44 至 ナ連日 F1 21 少果 熱を紹うといる題 室を入れて刺りをむ 富 いないろ 0 平 彩 菓子、 を除くるのた 大策シ n F 鴪 14 寅 20 21 5 240 えない 療源 中安 错 記量 排

なその Z 到 つ鑑く 0 # 紅 颈 列 0 6 量 要く寒 製工 0 煮 21 間 いを通し 0 2 素と 11 2 0 回公司 地 臘 146 漩 亦(6) 2 0 狱 TE :4 凡 > 16 日 豣 ्रमृष्ट 21 まって 051

9年間 及 8 21 P X 8 多多 狄 में चीन も出る 多等 FI 24 7 SIK 21 瀬 通 5 0 :4 8 24 P B FI % 21 11 2 颈西 A 郊 386 24 0 6 CA \$ C. 引 24 ° 治数を 9 21 2 藜 英 贝 54 0 立 P FI 凹 54 0 2 田 20 2 Y . CP C de 训 H N 2 H 2 H 田 d 业 6 SP 21 2 R 21 0 ·[] 4.1 28 厳深を耿 16 菲 阿 スつ量等 71 21 71 2 5 26 旗 21 21 34 24 級 16 0 脚 8 2-7 2 Z, 7 8 公年了 淵 迅 \$ 2 0 2 \$ 1 級 0 調えば 71 2 SIK <u>こ</u> 子 0 沙 21 19 0 + 号 B 24 SP 出 9 24 7 @ [115] 孙 71 0 P 34 文学 亚 狱 9 21 寒源 9 ス F7 9 THE 11 44 6 混 9 神 訊用 4 > 4 71 777 --恐恐 24 日 28 。出 利 2 0 Œ 羽 71 B 8

李 S S 南 孙 靴 fin 大大 ¥ 江 淵 6 M 調 0 莿 で書かり 軍子 图 型 11 ٩ まる まが、散 機を割ら、 る。一般 9 の朝み語 食物を消化す 顶 元原不思玄術 、名正多別、一郎を刑の 水を飛びし、 風を治し、 意味を治し、 渌 到 21 11 1F 'Jr 流骨を記 "点" る別 画 1/4 上に A (李孝) 源。 赛 2 2

颈

Q

外ではて

2

73

6

な食

麵

の問題

0

9

E.

は秋気を浴を浴が

1111

>

日

Go

道 道

0.数

H

颞

R

2

B

4 71

鑇

0

洲

王

薬

景

9

排

2

B

X

船網 不 史》 李二 泰卡縣見 . (1 罪 1 鏣 学水

作い。 ここ大戦

石部市外

(10)奉

7

4 ° E

1.1

111年11月 -

石く指き C こ次表 146

-5-

温之品 影響 ユー 000 [] IE 塘 28 54 5 口 6 ユつ 智 EN: 张忠 品 铝 21 ijį 目 公割 CA 哪 100 24 21 5 21 させた人で低 た。(音響方) 石 y 포 S. 0 00 OF 2 到 米 TIT ना 1 軍東京 栗鷺を白鷺で炒って半両を 個 道 :4 7 瀬 0 21 21 水 Ŧ 4 霏 -11-39th 4 24 末 絮 和 眯 6 9 錢 兩肌すると訴は懲び難らなっない 1 この旅であらめる薬を放線になか し得る数 Æ M でをきるっ 6 が行 。(衛主家寮武) 非 24 一学脚 21 料 洲 末 配かたヤとを服 输 2 落間を余熟して 卿 置 2 沙 0 目 及 調 0 画 班 瀴 核を飛 習 7 4 6 一个品 6 + 别别 1411 派じて 2 24 で、「千金市) 例 洲 でその 0 Ŧ 錢 日三回 いい 至217 事ると 和 市 17 真茶一 2 し、三十九いつを納 X Ē 錢 XC 末いし、三畿ご -30 KI 0 1, 師服 でです。 世 6M 日 B 0 いこの方を南致され、 24 水子二 見 C 军 歎闘の軍兵黄大却、 q 濑 21 .FI 子正錢、 様んで核を去 来 皋 V 不 쮎 正 28 7 1 飆 6 一十一条 21 北子一 利用 FI 台響等の多 别 红 21 74 ~ F1 75 IE 2 4/ U 0 0 TI 豆大 新五 用 X Z 7 4 Y -1-聻 原 2 6 **(1)** 粽 裏 别 4 耶 0 想 彻 悉 膏で ユフ 21 T 1 2. 0 0 鍋 1 n 和 頹 24 业 J. 21/6

けなかった」とある。

47

20

Y 21

Ne

+

記書

0

Y

21

X

》

0

产王可

間これを限して適

十六年

71

类类

公司 変単級 00% \$ 54 郑 Œ FI 21 上 0 7 2 6 P 2 辯 0 TY 王 FI 规 H 21 + 44 部 > Ė 一个 。訓

71: 71 21 哥哥 0 2 7 0 ら警練 54 ç C 品 田 0 R 重 6 0 料 THE 犚 2 層 71 21 7 0 調源 B 2 では、単 亚 21 तेता SP 54 ना 彩 る影 画 0 12 でまる 7 54 る事 8 田 \$ CP R 54 0

亚 孟 'A' 2 6 阳 明 2 0 斌 21非 與 0 豣 重 FI 21 26 田 動 21 極の台歌 い器で 规 IE <u>`</u> 日 0數料

0 + 種 q 71 de 54 24 34 0 B 0 26 54 7 現るま 鮴 不 温え 21 Ŧ C 治験の 田 ス スなる 2 FI 75 述べ 规 M Z 0 暑 H 喇 XX 張 0 7 . 1 2 日 流 。早 21 和 OH 運

de 继

4 凹 曹 豅 11 0 训补 出 掌 2 MA 部 > 丙 火 玄 J.K 河 ス 9 0 3 臘 71 IE Field nit ンつ お黄艽、ここ変 お人参の氏を輔わア 21 聊 别机 申重 辯 21 黒み エフスを実軍 21 规 8 工 場合 P 2 麵 21 07 0000 CA 地子のご H A Ŧ 隀 00 發 6 主つ 收斂 21 54 A 月命 4 五 霊 家家 溗 别 要 2 演じて 0247 1 0 ~ 華 撒 0 Y · C 21 排 道對 4 省: ユフ 8 疆 2 輔 . 21 7 nit 2 生青瀬子 Ė 末 -A-寒 。業 置 田 現 07 7 脚 21 R 串

0

合 Y 墨 北子 (0) 9 重 P IF 41 2 0 がごう II. J 采 鴪 ない 0 21 服陽 軍 31 T のえ それる # 34 なってるとれ 0 24 (0) B は骨を補する 21 歌ユつ 不留 記見到 V 身 2 中 H ☆ 整本。 流、 流、 が、 0 41 事 쾲 21 T. T. 21 7 9 鷮 過ぎ 21 0 く数なり 44 X 眯 2 2. 日 徒 FI 水 Z U 2

> 到。 h = 人会八二中人 ○□○影新本草

451 して商客が 别 昌容允 0 1 TI Cl [][11 が流 000 2 とお財の冷解 紫藤 小是的人

2 宣 裏向ります N 4 盛业の印 繁襲ない 帯 (で) (を) (日) (日) 淵

菲

除山へ海草財恵

3

白、粗參照。

0.0

変向へ山草蘇砂土を見る。

月になって熟す ° % でんぱられる諸田瀬をれるは人か その實出九 THF 2

前 () 製藥 0 0 P ユロアハ子 葉素り中ところ は減であって、 (韓

藜葉 空 活 3 ? E & C 7 弘 21 2 こし 間 0 0 2 國 内野猫とい ग FI FI 9 添っ 0 B 素素素 21 0 鄉 顶 酥 116 21 7 邓 :4 2

20年の類回は子要選子養養

, 〉日

いい。

是

適

害田蘇

に関し

別級

急量

(別線)

数

Ser.

Rubus Lambertianus,

しまどろいまし

出出

晋干

水巡

11

薬の音は果(中

灣

麻學科

科(熱激科

シエン

14



はあて、かりである。

女 繡

アンドキや独ラス。ソシテ張ンハ下しぬ ガスかも最十リイ思 うさいちごニホテテ スキノキノギン ちこしスル熱モアル しまだらいまし 大い ヨトー間 1 % 0 4 .tj.

4世日7、本草 勝目容景ニベ路興本 草~岡(気秘変麗)ナ

P

ア語下大 正臟 しア更早 0 0 Q 日 2 五米玄两玄宋王 0 米角アニ 五地子を常じて 【層面白圖】 製置は完全でなっな 遺跡で 王ン 1/ 五地子を用るて腎水を顕うし、 距离で 21 簡制 成る状め 到 账 每時期, I 2 几三五 MY. F 蓋し割強なる為の 7 (主義を出る。)の語が記るののでは、ないのは、一人を持ち、日本等人になるののでは、一世の一人を表して、一世の一人を表して、一人の一人を表して、一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人 湘 ° 24 画 到 到 正地子一兩を赤~秋のア末列 Œ 0 菜黄を上同馬が断れて正鑑を共び香しり秋のと末びし、 F1 21 # 更の腎断】 それで断お自れる土むもの 圖 İ れば水の 远远 い動大する で未びし、 21 景火で録り焦って音 幽 自省して輸放はある。(免收大金) 王 っそい 困す 承の(近数は) 四爾 漸不 流するから習水治不思するのかある。 子 掘 島を いす 切る 下 工 短 で、風すれば漏して困する。 「翻人の劉命」正规子 任 画 「赤靴」 発育するこれ な終しい 東の騒を殺けば、 秘色を塗二元な人が、 る。(満理篠蘇千氏) 槂 21 盤之肌す。 中 では当 並び背脊の し、三十九づ 別す。(清味粉本書大) 劉 是茶道う物 0 B 瓊 'n J. 张 2 回海洲 避 21 で癒し、 裁酒 Z 7 21 9 いる養み YH で一両一つ 21 當 71 됉 75 凾 74 FI 孙 2 9 0 TIV 12 圳 X 省:

畿

6

頭

班

阊

M

1/ 遊れ 、つ事童エン 窓にな 12 がいる。 繁藁ね⊆ 繁動 ボテれ 楽費 といる。 , | | | (新

0 籼 歌盆のゆきな状態で CA 24 用として恐い立 四月び熟し、 その他のものは難 動あるが 24 = 21 田しているのかの正 譲 種 0 8 02 440 , ~ 日 甘美なもの ○瀬○湯。

おればちても対域が 208 0 種の 1 1/ U G 0 SII 田 71 24 21 2 級 3 お今は 戴 FI 記 2 盤 34 FI 颦 0 聚 R 1 宗。宗司人, 1/ なるなるなる

本草緒家おろの質瀏の 東方名のと 理蓄添い切び 8 いつれる蓄藁を聚盆千の班と主張して 。ていていいまないいないいなっという。 薬は . お強く甘 和 5 は~して大き~ 54472

24 [11] FI 點で 田〇 45 月で変 + 開き :4 7 21 目 74 4

2

0

薬は蠶者子び以たり

聚

21

e H

記を聽って

松素の

掛

薬

21

, ~ 日

o負

oŦ-

71

益子

弘

, Y2 s

7

S

14

智識方

陣 11 江 0 当でるとのねやや強く一三月のはのとる大生 n 下ろ林の帯のゆうな帯はあってその子を承わて 1/ :4 láf 君田 冰 狱 気の FI 21 薬 、即少さ 0 21 おる TH 607 月實 半分はどのものが。 Ŧ 12 いて母ない う食えかので 2 FI 014 4 2 見流 4 耶 AF

(五) 鄧《今人安徽省 趙亢。

1 2 宙は観 in ¥ 赤黄グ .1 子 果了流中を らく FI 大區 表 1 2 9 0 P P 21 :4 龜龜 顾 1/ 4 、コンタ 薬 薬 **薬薬は歌煙の苗**か 0 CA q 14 71 21 干 兄以 , 〉日 2 ci函 0 B

47 9 我 12 -いてなるこの様 8 ことである。 2 鄰 17 71 いつれる事質でな 藁 0 塗藁とお 000 の子 お歌盃で とお繁藁 副九は、 . 聚龜 707 54 54 ° 24 のいろれな選の時 25 0 2 B であっ 瀬豊の 0 桽 **繁薬とお歌金の笛** 21 (#) お淡 H 一、ふっての士 71 분 颦 Ō が繁 盘 び省 21 **、**〉日 闘 ユーフ FI FI A 07 蒸九 . 0 21 8

P 中 シママロ 本語 一一一一 深ユ 、北目誕用ハフな景 排 2 0 た土地の畜お子は解して 0 Y P 21 2 AF 60 要なるい 対法なるのかあって、財び対対はあるのかまない。 質を調 二熱い重球記載したが、 A 71 0 2 逐 亚21 * 帯も 0 24 實際 お子は大きうア甘う 異名で はよう 7 0 河記し、 江北上 4 FI 玄薬 6 甘しとして果溶び 型型 重 0 型型 0 TH 盤 正 干 54 李 > 7 21 ر در 别 上21 日 o款 五七 4 71 q ζ

N 9 21 4 級 2 0 FI ハマージ 1/2 0 率當にお 微解なるの 2 1/ 7 YA 手 200 71 4 その事がを美地とする。その対 0 歌盆ら幻覧の各解か 5 ア王 が接 の了番で 34 0 する歌語は B ひそぞい 0270 三江 7 27 るなの子 今藥 0 1/ 54

藥

TI 21 渫 多种 經 薬は 四五八、 樹の高さな 60 生するもので 20 14 21 樹 71 酥

1 出るな FI 21 は薬 颜 酥 02

人顔と IIII D Y-源金い町で Y FI 9 (0.11.y 楽 1 21 21 0 2 H 那 酮 71 hd 士 2 2 FR 0 いったのである。 \$ H 0 :4 水北 P るがである。人職田繭で 薬 0 (0) 到目 の数引三枚 34 1 7 N 2 して食し得るもの 1/ 21 -* 9 少 \$ 50 St 24 辑 小さり、 いまって FI 0 82 ジ 80 ふ 害 21 非 21 育 P 自色 5 0 **季**藥 涯 de 39 0 清 > 羽 71 71 21 ife 童 闻 循 独 番 P1 71 34 国 71 .> 24 酥 6 かった 0 懂 B 71 :4 0

2 6 制 21 H 薬 21 扩 FI 讖 酥 0 2

が表現が、一般の一般である。 出るは 目 :4 黨 数3元数の 1 が 14 澳 成る 54 n 主 21 ユフ '> 少 40 い差は編金ならとあるそのものである / 建 小岩 0 J. 組 80 q 0 冬季ひ雷治 9 光分志 はら経病にあ 7 繁藥 27 9 おやお 対黒赤色がなる。 > 皇21 de F · F 扩 成る。 釜 小名 至 道 24 那 よらや遺む 小さり、 お青黄色、焼す 21日 爾 2 王 FI く歌盛と 10 薬 J.R. 607 開 2 7 1 水水 FI ン 21 重 24 京 0 0 \$ 到 9 *

200

į.

本草び間人繁菓子のもの

° 24

0

てくる が難 はまててく宣 6 一一一 薬は大、 し無毛がある 帯の織いた置を結えっその置お三 小葵の葉の譲以し、表面お青り、裏面お白り、 る事 21分 い葉が 獵 o CA q 温は 動螅 張すればいる器をとなる 薬が 献なあり、 はなり 21 冬季 0 六十月小さい白色の許多開き をかいま 生でお青黄色が近、 0 S ながた。なが、こと並び 27 で S S 2 瀬蔓が ア掌のやさな形状 探り 24 総となる 7 FI ta 線 郵 0 2 P 米 继

器 21 * 一爾 狱 はたが、 それ嘗ア豚しく釈説し、 金とこ五部な事實を認るこ 蘇酸い几字正蘇ある。 0 のと比強研究を結るな結果、 1 1/ とかのから これであるれ 00002 0 8 2 , 〉 日 71 P 弧 E 之升 0 中。 皋 審 窗

30 松 0 C 1 歌館の 3 2 さお蓋の 11 2 0 なか 撒 質は小とうしア来がなるやうなものア マル 實法大きって減らび ややしい。 六 2 公社 21 のるも様 廵 羅頭 6 9 のとして同物といれれやう。 1/ 歌金をやむら四正月び 21 器 142 最近知りてからはめては かなる。 ある葉は極か、 調かい 四五十二四 密で、結 华森 その質は 江南の一 歌盆は、 薬 000 場がいる。 で献む多り、 林療す 整な解〉 0 \$ 50 St してあるがし FI 24 21 湿 000 21 de S 7 FI M 薬 0 準 [H] 言など、 唱 寒苗 首 :4 とう。 21 41 曲 Q 8

0 瀬の音は近へかりかある。 島瀬子(解目) これを眼をれが風器を用める必要はなり、裏返びして置いてもよい 事野伽(腎臓な盆・ 日~、午は野盆の深が別とあるからなっなわなのが。完態日~、 爾那) 海の音が母(m)かある。 静田薫 美(爾跳)音お金(ト)かある。 小頭が解るる。 大零茁 070景 一一一一

몜

西國草(圖羅)

統盆

果陪よら払び移し入る。 IE 数

Rubus coreanus, Miq. いから特(智勝特) 7 財 學 和

つかま~~ **盒子**(既幾上品) 5)

歌種い同じ。 菜 甲

こ金さの「奥恵大」

「髪を見して落さどらしめる」素菓子を増って雨を取り、 祩 1

彻

न्छ-

目

歌盆午の斜弦見よ。

illi

發

子し、寒濕び師へる」

「突然の闖しき中風で、身然し、八難するを報す人間鏡)「随色を猛し、 (米琴)

> ト。東純二て小韓田 薫へを存録>をいさ と語するとはくだっていましては こないらいくいても去 地路といくかと記録 スセスをとれてはまり 最ンへ支服剤や ナトな**・**財魔スル、 関山へなンギがおし 発作ニヘ弾 主 対理目と ·

7

繡

「正쮋を安ふ」、割除を益し、割を長り、人闘を望困りし、志 は一般を表 人しつ肌やハ灯心體を踵うし、 力を拾し、子を儲けしめる。 県 Į いつく題を 微熱なり。

【つな撃ょつい立 、「麵」 规

溗

3/2 UK 1177 2 H されぞれの實際お確定されて 瀬 樹生のもの **五縁正五の揺** お事實习近 2 學置 副氏景は、繁藁を財といひ、 歌金を下といひ、 大明は、 0 、ロッマは今一回 2 14 :4 かっている意識であって言動すべきもの 繁藁と歌盘と 题 宗宗 動 **歌盤を下らいひ、瀬恭む** 東藏器、 んゆうび会議しアき察すれが、 東士貞、 **需即** 6 不完全 7。 208200 素菓を苗 C 電極と TI

9 P 21 本條 FI

お歌盛 記載 34 結實 本草び河間で独替といえもの 開き、 黄色の形を q 長ち嫂かいな · 24 食おれなかので いる事を重しい 。以另球 加い就 で解 FI 5 酥

24 6 爾郷いい人山苺であ ° 熱で P シフ 歌盃下らし 野族に様本はれて。よのよるな子子政職を贈出い 計画は一時 のどいて関すれてには 月以小さい白色の赤玄関を、 いるのよりまな器 hil 0 1 派 > 是 たが色の紅い 東藏器の本草 4 2 · q ン

4 2 7 P 0 MI 2 1 1/ 噩 NO 0 FI 冰 规 1 11 1/ 0 2 :4 1/2 0 到 4.7 XK B FI 0 7/ 逐 继 S 0 でで 樹 119 1/ 酥 FI 急流流 7 盤 [44] 4 1 FI 2 0 7 24 21 :4 懸鉤 alt. 41 D) 0 FI R 26 0 電腦 3 1 9 0 P 屗 到 1 7 兴深 3 4 4 题的子: > :4 2 0 训 24 P 狱 独 :4 2 3 5/1 FI 凹 重 T. FI 2 XK 7 I 雠 盤 育部 71 똉 1/2 继 TIT 洲 21 0 盤 7 £ FI TH . 干 21 十 2 AL 0 İ 逖 11 0 0 0架 聞 国 8 4 非 0 0 7/ **TIF** > on 燛 日 干 瓤 1 T1 0 O 正 出る 凹 。組 4 :4 1

? るて器に TUI 盤 素はなる 東九次 2 14 用
う
は
入
れ ° 24 0 27 薬 34 許る お輸田蘭 U 27 罴 0 8 II 冰 0 の見よう B 0 マン

れる様すると島赤 生回 照線 とあるなと合致する。 IF 10 能~腎を補え。 21里。少 71 34 亚 1 ? 5 12 讀 1 7 Ш 21 FI 兴 业 邓 2 H 21 頭 0224 帰 狱 游 0 酥 21 21 0 独 1 21 2 [整 型

正21

6

港

H

るも縁

21

7

V

71

整藥子

>

自

の包

くなら

溢

H

.1

W

0

2

合く、断南各瀬県登二圏ス・華州へ下沿が呼んて沿が 華州へ石沼荘芸・見き。 里 坳 指+見=。 CIID赤與へ宋 秦州

C

IE 71 孙 7 24 0 h 利 De 批 28 ユフ 0 S FI 9 7 Ċ くばくして美し 24 2 > 田 間 0 晋 B :4 # と順じて 学到 2 8 う熱す H 200 '> 21 ~ 9 罗川 賣 搏 3 2 曲 0 :4 ģ 流 # 9 XC はとお 真ないる 21 뱌 6 21 ユイ 146 淳 淵 燕 鄱 0 桃 狱 2 冰 M 狱 督 、ム田 目 狱 21 派 71 Sig 2 雠 及 :4 1 霜 :4 9 U 146 X H 5 7 CP G 2 2 `\ \ 71 6 \$ と技 月 业 4 :4 事 50% 21 千 2 排 9 0 0 業 4 阊 28 27 菓 噩 111 21 7 2 14:4 獲 7 M 71 0 ç 月 頂鼠 M 9 運 14 排 6 2 > 馐 . 4 21 0 日 M ¥ > MI OM 中 紅 王 狱 R CH 1% 21 FI > 0 24 H 颈 21 0

置ひい非

7

1: 1

9:4

颜

明 中東 原 的 ままり ままり まった し 大 し 託 一 託 一 託 ・ エ ・ ・ 張 ・ エ ・ ・ 張

果那个

華

ヘ三小葉-村(親)日-|盆子=ヘー

1 x 1

3-

1

1 1

小葉で

7 N 34 7 4 0 Œ 懿 54 54 2 6 O & 94 6 AI 水水 R 素等。 歌 盆の ゆう ア 淑の 甘美 02 戦に 21 は一部 4 247 0 CA 54 不 2 状 21 恐 鄙 洲 出として 2 恐 馐 2. 671 21 薬 34 SIE FI H 2法 0 11/ 海 24 R 號 :4 0 TH) 8 21 级 4 602 :4 郵 2 锄 C -34 , 〉 日 71 2 C 21 0 0 器 31 田 X 並 ユフ 0 0 7

0

9 £ 孙 珠 21 月 IE > 21 多 Olf 渊

置辯立へてい正りる。

~

_ -6-

彩 4

0

さ思葉

4119 2 2

4 洲 驱 · 0/. 可いなうる 200 n B ? 映意 6 24 懂 继 :4 5.续 4 F 54 P) H 2 五 洲 IF 不 M 学っ > 意義 日 讀 0冠 间 の組 田 业 24 :4 麥游 0 297 54 4 0 7 開 高調等 新が、新 型 7 岁 21 でいる 0 種。 2 9 なって 新馬 44 田 0 9 虚 21 34 14 21 5 草 可 * 9 ×4 流 0

II

4

9

北柳 影

棒桶

9 = 뵘

正门条

冰

****< N が一般 2/5 444

1 =

程建

間

4 ドス圏マル産

*

1/

『主義子的 MI 原な £1 ्या । 淵 9 學的 現別を 「私んで下を録 香水 1 12 头 日々いさ 21 藝術 R Hu 発み 温 4 不 避 且 强 7 120 「目輪で いて番組で (瀬器) 50 0000 以 間談 0 教を治す É 21 SAM 回復 6 31、4 111 集總 14 及響 「つな華ム」に立 (A)天計目開第(C) 出行する 指示第の海上 そうな 哪 胍 成 2 P 独 0 の由がエフトを題を日 (題中面一面 絲筋 瓜のア日光で暴し強し、 、「瓣~與「鶏」 9 21 Nummer 計画。 SI€ 赤を去 独する 工工 中令 A い高らせれ間 11 `> す。(集館大) Y 2 0 日 11 P 冰 迎 = 気は出るな 21 规 え当智 各歌盘子之 高いいのでは、日本日本の ア三銭が服 源 1 4 湛 目 0 9 發 小手 菜 雷 P q ना 24 2

12

随

古

21

末

していか

点に

歌盈子玄酌以對

【剔事不鴠】

4

柳

支な

深上

CP

H

CK

歌

を不

28

0

S

71

皋

网

000

6

谁

>

71

7

隆

る古

FI

2

6

P

種で

CA

U

川岩

狱

ユフ

回

雷

3

ルマギ

恐合

歯様の

ら同様が。

は桑は

41

益の

聯

07

0 S

0

〕〕

71

II,

のうせいな

71

2.

47

114

0

1

证

11

址

¥

田 等 朔

益と繁藁とお庇

盤

曲

競

U 絲內劑 おキアキス のコにんも (4) 天玠目部へ(4) 次。 青富、 1 Xx 4 のプレ <u>윤</u>

~温ンつ王を語いてこ

同じっない。

2

4 寮鮮 藩

京十の様で本

舍(

酿 4 人はこれを食へ打好誠する「細」「これを食へ打顔色を投っし、雑作を塗れ打變 本白~ならは「瀬器) 【腎臓を益し、小風を締める。 竹を取って小量の塗と共び煎し 古海 、つ戦る間 か三銭を現すべきものである」(馬高) 【果子の脊部鼠散の割銭な望具ならしるる 公司 マ中 いでれる熱色額ひ (舞門) マキーならなび髪月、つく繭を闘旨、つ琴を送り 五黝玄安味 。ともび明る目 いった。とはいる。 徐膏コノア盟朋を引知福禄監装を省も了宗藤 刊を静し、 、つい種を贈 風温を報じ、 うくころ 題 \$ る態及 XL 歌

「つな輩よつい士 て出 和

て蒸すれ大を炒である。 排光

県

Ŧ

源

, く 日 1 助用する 豪金子 は 正月 珠 へ ン 原 日 ア 製造 する。 ちら せ は 知 脚 れ 島 小小孩子 はなしてから用める。特別 こし 容性して労職し、 東流水で黄菜、井の気帯を虧り去 島いて黄緒ひして晒し嬉し 57 五 の国際回 2 T1 XC 2129 東高 電日>、 瓜子これを動用 器。日く 、つ業間を一て伝持を となるは、

7

しく相を深盛したものな冷熱し難 日以内のものなられるれている高までは、 旦

(事念) 否以口議以去る。

源 (計 等 **劉**

Rubus corchor:folius, L. F. 出出出 环粤科

いから特(精影科)

果語よら近り移し入る。 IE

数

音は簡(チン)である。 御郷) 語 **沿館子**(日用)

掌

山莓(爾那

21开藻

器。器。

金

H

樹梅

のやうな刺があるところかられ

が過ぎ 業

£) [翻 O.F

がある。と、おおりません。というというという。

CDC斯公司

(D) 工作 新加力

刼

事

34

72 8 C)

11

7>

は海下のゆうび鐘

その子

q

顺河

林や野などの出える。

0

出人おようこれを食べ。 \$ 50 P 2 规 美

7 盐

シトー思したでかり 表宝シス・払いへ銀 作ニデ弾型が下い。 表宝♥♥、 下二 = 刊主

ニホテで引水が、然ジボノはかれたらと いちにイスル大が正 palmat's, Thunb.)

お一によいきキノス が治するかり (B. (二) 地班日7

H 2 9 -財を取って書き、それを置まして破を取っ 游 g 44 自 PI 日二二回結れ はして必量を響下の上が鑑ける。 、はに帰国の後週 電で 県 光で乾し、 Ŧ 覝

班三 R 派 e ce 7 21 ける。六 田 歌盆の葉さ末 水水 鄙 頂 21月 歌 0 島汁を日 0 24 「瓤」 同いの強を類跳水で渋のな送へ登るの首計は、 歌盆子の嫩菜の 1 は乾 57 『電響など 28 41 14 ある。(結支式) に點ける」 除葉 0 9 M 「不該い別 奏掛び、 21 狮 上田 X うり 54 第二。 疆 21 日 がイ 土 型 まで、一 4 现 墾 同で 7 彻 11 7

が表 9 至 IIIC 44 0 5 おり 邻 7 い治療を 蓋し治則の 間系 ユフ ロマンて~9まて A U い最かあるのなから取り扱いて逃 Y > 0 37 21 常常 117 + 中 0 ° 71 (A) 温 0 及水 Ú 刚 過いあった。その草といふは覆盆子の葉であっ -13 17 21 割の 5 II ? 例と別 经海 12 海市 4 7 W 體公司 平至 07 0 が高い 热 取って 上の中できるというというと アンフ 57 7 出ア全~減え 本本 美型 志い 中 21 FI 日 2 から数 一章の京となるし 判勘の ある老個が なって 語 0 24 22 + まする 瓊 逐 Y 21 21 54 2 多くは数 新見を承んなん E 别 28 0 171 9 71 297 () 日 これらあい 距 2 漱 :4 14: E,o 0 蟲 24 。料 .1 9 21 溫 T 薬

(4) 電州へ蟲消氷建議砂罐へ賃を買り (4) 聯起前期へ下すして、アス・アン・アン・アン・アン・アン・アー

型

沙 9 1 7 を記録を 7 0 R .1 狠 2 SP 郵 27 置 54 4 12 2 7 辑 製 R 0 De 2 1/ Y. 0 d 0 2

此び発近し 0 なる上海く · \ 0熱 珱 21 न THE 的 2 學問 7 加坡 思 ` } ⊟ の音は間へかりかある。 部 でいる地様といる。 蛇蘇 0 をるす事 7 諡

Luchesnea indica, Focke. **科**(蓄懣科 9111 弘 岁 7 环粤科 (瓜幾下品) 掛

まで水の重け、それを三分の二の煮詰め 子で 林 13% 順に 蓄藏班 及 小柳 21 6 七分 一大がい 器逾排 いい。 当下數十 、回三田一、つ がる 対するする。 3/2 [44] M 11/ 中 琳 木茲 21 儠 U 0 Y 21 1 5 Y 0 TE 孙并 B 用るて観 170 がいて語子 7 7 CA 中爾 石 0 薬 开 方を 韻 0 嗣 21 2% 野みみ 主意) 9 TÜI し得るまで 心(醒仙草州 これがいるのの 我華谷一州を釜7 胀 21 8 1 す。(千金麗 京林 6 别 时 47 歌 0 7 21

别

2

ব্যু

公

拟

阊

0

14

à4

0

6

發 R

掌

逃

弸

III

劉

陳

自

赤

(0)

F

 \mathcal{V}_{ℓ}

赤部市

0

Y

孙柱

到

汉咖

0

(満器)

J

惠〉於な行び須

8

ix

C

训

7

一天一

戦でトルは、一様山 此又へ山足此ナギニ やぶ(ないむご(D. 4 major, Makino.) -11 1 留 キ諸郎 %14 T 7 4 4 6 H -× 独武 E = スないとまる 到用 孙 椰老本小圖

B CA 死亡して下る 识 品 県 Į 【1つな幸しては立、7年】 籼 当

【製き柄のア水で駅をは割、浄中の楽りなるが主要はある「瀬器)

以 Ŧ

製

11

訓

(四)大鵬二並二

宏

됐

必面の話を脚すと面 外工 .FI

₹¥

. 名山を駅 五 酮 る見 果 Ŧ U

6

AH

は行を

酒毒を大る人識器)

報を剝を、

7 な事とつに 立 7

0 54 0 変価とい マルマ 14.7 铜 7

000

3734

食へるもの

お繭苺が別ア大きり

道

木苺である。

出了「今の

0

똹

草

9

24

は悪

877 T

9

山海な

があれ

21

爾那

既以一般の通じてやおも瀬子と知べい

薬

0

羽似

響

IM S

21

後青色

面は

背

`>

1/ 江王

色が青~

万名品公

圞

账

FI

薬

のえ

0000

:4

陳

1/

個

到

IJ

TH

並

5

9

1/

21

IE

170

7 1

5

0

B

0

事

は樹

呼

黑

٩

、 日

OFI

邻

:4

和

士

器

いけ他の都を開き、

2

4

21

H

17

200

るい事が大学の本学的なる

0

N

別と減~長

21

0

1

拟

4

71

軍

麵 ्रिया

.

7

架

諫

自井日か、朝珍、磯崎子へ葉ニ手 整へ自角でイストラスト 红~ ちんいといいいい 6 崠 アントドアナ アシテ五面ナ 日十八頭 NS OF S 4 -4 ご= 売 精・仲間へ 6 0 11

M. 江川河 :4 \$ 1/1 2 20 淵 所附 34 20 50% 樹莓も、対動は系種で陳はよる、顔る金野が隣しけをの 71 28 2 いから 0 1 -11-こ見ると離び置を聞い :4 利用 9 中が電ろいな は、釈 2 £1 2 别 54 紫 るがいる。といれる 71 THE THE 買 盤 \$4 , / 日 0 1 0 麵

10 7源。

T 常十八珍 器自自機 本草

C数料

Z 0 K 独海不同二合いの 温室 ぶ人パア 均い。(相参す) 水玄鸛~して 24 島辦玄貳打 い。(副策譲歴) 同時に 7 谱 别 0 575 Ξ 目 不

16 1 长 苜 0 蛇蒋 FI 【のもれい生を養置に部下で表稿】coo 21 0 天計機か掛しもか 歌 少中 Ė 涨 显 4 सिय

上なる「神谷 54 继 PI 28 41 重 21 劉

五川 「八項多郷山」(音可)「一 「剛朗大熊の 派~】(孟鵲) 不长 밎 · 24 Į は私が以 数 「甘う麵し、大寒ゴして毒成ら」 Į 聖 21 0 类 I 口 州 0 题。 溪潭、 N ける」(大胆) 「割寒の大陸、 重 21 规 劉 验 源 (別)(別籍) 湖北 B 圃

环

CA

Ve

。なってのけれるも数を越れない。ななり

を発すといる」とあるは、 TI TI 遊 To a 0 五 7 0 2 なく 54 專 FI 0 0 仇憲 547 1 B が高っ人人間に 0 薬 [11] chy e ce 7 7 []4 型]

2条:

刚

4.24

0

8

57

Tal

21

温

疆

71

挄

继

0

電

5

P

2

0 2

All

21

扱とを共

7

薬

H

不

12

21

古

*

0

1

那

26

T

71

排

記録を見る書きに

2

がは

食なれて、これ

**

X

12

1

7

とやうなこと

判共コ へないまごく果置へ お添言へ下でや \ と、 を少く 十 知 + 共 二 一 蘇 \ 皆 和 + 計 b 1 表

江 P-10 書。 = 4 = = MIS 一年到 雅 手旦顛節 鵩 TF 当場は TI

21

于

極のなりなり

でで

流

71

Ŧ

。公里~寒江

裡

歌や

71

验符

`>

Ì

0 24

0

B

CA

A

92

21

薬

54

五

2

~ 14

が愈

8

2

1)

14

FI

愈

21

級

2

0

2

U

71

解

74

CA

A

FI 图

C. OTE

2

0

31

9

\$

54

薬

0

*

Ξ

21

79

0

季

0

23

事/

21

TH

(0)

溢

1

2

0

B

S CP

21

事

刑

`>

Ė

可

。割

21

H

Œ

H

10

° 62

2

题。201

秋方:

2.

五

Z

0

金子を

盤

9

:4

1/4

3

は赤く

F

2

黄

71

0

9

狱

根を

月

M

H

9

狱

Z

£

雪を 21 (0) 世 D 贫 冰 る事 뙗 · PR 誾 質問の財政 水 3 い黄 小さ 可名 0 る意か 田 王 21 勝ンい H IE 11 地(12) 0 00 OF FI :4 4 限 輔 崗 02 71 21 薬 , ~ 日 9 P :4 薬

织

0 三林 FOO. C執

軍 7 1/ 淵 光潔 q İ 5 お 寛で 域 朗・ 2 1/ 0 題 24 歌盆お苗に見っ太う 54 21 部位 0 薬 15.5.7 21 ° 24 召 0 B 晋 2 とお異人。 6 0 黎 洲 71 P1 母 ~ 31 て食 2 6 2 賬 0 P 000 54

主

湍

2

。といれるよう 逐 公司 からな 0 21 夏初 未 一級 春

2

>

嘉志林

E X 薬
お
歌
盆
子
の
ゆ de de 54 の本はどれ 他ご附いて生き、 紫藤の お黄色で 3 0分年21 000 處 激んな趣味が 道等 理 小さり、 H , ~ 目 2 光潔 24

500 1 OFF 一条

24

0

瓣 经 华華 业 0 1-1 11 1 4 像七二 其 4 逐 1 4

場線 4 理 1 11

34 甲? やはら生じ場 D) PI 申が、薬お青~しァeo 正成の薬のゆう 諸路マミハ子 しく置け が深る。 V うれる栽培してあるが、 温で 色と地とは栗のやらだ。 は黄色がお 驷 () | | | 1 はない一十年とある。 71 21 账 間下でで、 . 21 9 におほうして動にのゆう 干ユ :4 題の語 いる。路路 数 ユー 21 繳 21 4 今も聞る同時の問題が 51 瓣 FI Œ 31 2 お葛のゆう 0 9 2 14 は中 P. 0> to 圖 のえ 薌 たるので 607 3/ 2 晋 0 H 2 . FI 並 温

H 地方交通から 単かはとは 號をお無用す **>** 日 FI E. 器派 0411

2

5 そのたの地は椰子 2 6 孙 3121 [[7 800 > 国 िहित :4 =} O를 기

> F) 批

° 24

D) Ë) 21 21 回于 W ので q 青黑 4 FI F FI 榮 退お 9 P 孩子 37 Œ 2 뱕 審 [動

は手 その下は大ち 三月派公著名 332 水の岩の出き、 川が下が構え 1. 長され 30 X 41 小小 、スゴ通 0 川野野 000 薬お二本の計の のとなるれんいい 2 证额 9 1/4 21 9 色で大して緊球色が 郡 146 1/ 21 0 取り当南南 薌 0 太岩 ははどの · 日 冰 36% 。節 71 0 (1)

> ELS V SE. 瀬 未 1110 本へ 計画の 1



1/ 1 51 开诊院 :4 8 इ देश व 21 8 14 21 6 Ti 纵 PI XC ス闘行 U TI TI は恐事 21 / 意 · 2 中流 21 沿 水水 いては 57 T 繋る心量の 五 い器に入 いて別 rhi 夏季水が入るさらする場合、 家量の THE 野でおれるし、(相参) 財を末び भिराधि 蛇苺の 料な SY 詠 I 21 机 X 24 ひ中 のさな 2 21 7 0 堻 8 曹 1

var. villosa, Clarke. Quisqualis indica, L. 採 しくるし特(動情子 7~~7 Z 公 少 12 章 科 寶 誾 亲 の数ま子子

ひらよど呼る子子種でいる 木状ゴラルざ留末午といひ、 音も分は自び用るられたもので の響家がそれに るび、踏合の南大草 、騒っる耳ふびる 1 级 接着 2 0 , > 日 7 0297 S S (計) H 縣 となけで 留本子 歌でし る時のこくを 9 N 7 表記の選別の表え たが名称が異 24 7 0 212 54 蠡 0 6 14

\$ GD 高東着に切り 、一旦学 多新 珊 が 兼 幽 要

数輪に 深って

形は同子のやうで、

憲等の例び生でる。

34

082

輕

本様へは変には、一点を表していまれて、一点を表していまれて、人人人と人人をして、一人を持ていまれて、一人を持ていまれていまった。 東。《東 里, 并重批" 八二品サアツーへ実動へ基本の関係の関係の対象の 新い支那 + (一趣館で明や上、動作子でア 豣 薬 14 班 並 滥 (三) 潘 < = < 干 唱品 17 1 7 4

憲へ金船 E 省年 罪

ogY7 21 木幣よら出 H 数

世野日 3

将

(n

Momordiea cochinchinensis, Spreng. 3 寶 誾 5木 踏 子 (来

集簡大 まその流馬で酸び減り。 動

逐鄉

動作子」を香館心量以影 人して自ら滅える。(普齊氏) 面額) 味び聞んで香曲で増下す。 玄食致び米唇で現す。(葡頭氏) 【題書、 放験制は 不 刚 王三 6

通する 憲正銭を盡らるをかつけて 洗き、 ラれを未 ガして 為臺水景感 面部 【小見の動動】 題幣、 ヘア(よ) 正更制候び服す。(全版心鑑) 動居子一兩を曳を去り、 FI

4

4

四間。

重 ¥

錢

0

B

72

0

-1/-

電

21

鱧 不 画 べいい、半 本心い食人。(蘇助簡 盤を米角で 7 ま子にを未びし、一 21 75 0 て鑑り 酯馴大 楽之 水 1 到 7 图21 FI 21 木譜子に正幾を末 21 T 題の 口なら越末を流す U Y # 54 に三縁三 と強み 小見の融新 可點, £ 黑 動 0 圍 FI 雞子 21 單方 2

27

9

なって

熟

37

븷

X

21 色黄

頂

7

通

M

7

X

M

「小見の密點」

級

上。(割門事

6

経ご

米館で

劃會等代を未び

表于

重

即部

不見の記

帝六。

4

附

AH (三)四人 号 龜田鶴灣一長醫湯 卡 疆 (云) 木材(鬼)日 = **顾蟲鷗** 紀 別 影

9 1 0 ??? 哥 1 2 14 21 のと手で 1 2 247 陋 71 9 常 P 事門とする鉱跡家知光で三日 :4 :4 1000年 19/7 寅 PI 4 机築 A 霏 7 るないない 部縣 355 至 2 2 蟲 21 K * 不 71 樹 7 8 W R 斎 智 · 2 9 少/ °4 雅 0 シマママ 24 剛 颜 4 8 蘂 孟 凹 g 調が ユフ 0 两 鄙 點 1 0 番 SI 恚 2 0 出 船 6 なって P 1/ 54 54 0 9 观 :4

| 一時| 一時|

関尊

驷

べ値

蓮

一規劃

坐,

猫人员

7

/=

4

1=

2 不 SP 1 ना 沧 2 1 R 麻 紫 掌 2 2 1 人体 6 P 3. 大統 P 9 なた 2 思 N 77 FI 調 溗 7 が良 `> 71 9 4 浙 寅 71 器 2 规 0 7 、一部で FI 21 で、黒子 47 坳 0 0 24 2 0 事み 0 8 9 電車 2 七箇、 6 鄠 Pl. Z A FI 36 畠 壶 及 如 28 0 24 2 21 错 0 8/2 J 间 シ 田 温え 7 6 쬻 2

一一 y 34 24 11 4 多い。 学等 54 H FI PE P 21 , PIA 湫 9 流がずず 蟲水 小見の 煎場で 波は幾の 几子大人、 12 ° % な食 20 數窗 插 ま子に 兴盟 6 動 緩 21 串 ないるとは 0 深國 膊

上興 T II. 動 34 0 8 1 お書く幸は は多く 薬 6 几字蟲な鉄 1 自 E) 0計 베 級

不 瓣 噩 张 (19) 研 E 2 重 Ø 4 STOP STOP 班 0 IF 出 0 1/ 「小鼠」 線色 る海 以 闡 Ŧ 21 【つな掌ュつい歌 翻 る。島 調 開齊) て出 歌でいる 高雨を (特級) 规 渌 も思え 7

24 USUE H 20 第~な 54

> 大三 が出 (011 誕 野) 水沖越 _ ha 二十日月 11 4 X 漩 很於星和七至《瀰漫量

古

71

《业会 ~ 4 구 뛰 4 青 3 lt 頂 対対はいずいが、 11.4 那 ※ 118 4 颈 唱 "4 h た駅 E 学 11 15 4 41 1 x 动主麵 -1 量市

£

34 167 21 71 71 0 Z SP 8 9 0 54 6 れととろろ 21 U B 27 7 洲 CA 41% 1 に木割子お床毒で会割れ 0 21 1 馬文誠(その子等は食事を放怒 南を煮了食むか 1/ P 54 8 梁 0 Y 4. 0 A 7 Sul シーフ 14 いいいい 木置う落 源 U 2 74 R 6 の物言語 TI SU 15. 14. 21 Mr . H 不 が近、海 P.W. 剩 干計 34 持であつ 智慧の 間 cki 1/2 X M 父出去云大艺 のはの干 4 21 1-即 報言る 10 Y 分分 0 7 21 4 [1] 1 ある者は 5 :4 71 0 24 2 XIV 南方 6 、まって P はその 2 0 の調整の > 27 A 舶 0 Ŧ 雄 日 14 0 :4 E O 發 21 4 4 C컨테 是是 邓

和不 X 逃避 6 以及 いる生に 到 111 PI 28 「語で響 て思え SI. 剩一种 學種選別 開養) 瀘 翩 「一級な 北 7 寫麻 「所屬を衙門 继 廽 6 (教) [11] 胜 IL 2 人の客職 劉 以 ¥ 'n £

辨鸛を含まる。 無器主人一墜端、一六(一三)正○ 六、中国 元三一際

0 Y U 體並二一種

調火、大、(四正三)

4 **%**M

種二、一

4

木材(親 ~ 蘇大

京。

省 ~ たかせ。 随門

随

以る

71

张

孙

1116

即有

ら帰

なす

廊

绿

P

9 小番名 中つ際 **>** 品 , 〉 日 o訓 O紅 7 して語な 21 7 # 洲 1:k 3

0

607 24 0 B 0 いない X のとは兄様としていることのとは、 0 UXYIC 子 XII Z Щ. 0 71 科 21 薬 艦は 0 2 X .> こね青緑色で 日 EO I 岭

7,4 9 MI 水 317 Styge ユる事 华里 福多 2 41 4.1 9 鄉 2 删 と合せて 亚 业 FI 21 2 6 植

34

0

82

3

器

不

と置

6

92

27

41

となることのの

2

米

34

() 題

対に置や

7 盟 郵 [8] 4 :4 2 思21 U 21 凡子と 于は 却 嫩 步 地 71 茶 5 童 2 2 0 24 .4. 71 \$ 小型 A ζ 2 34 de 那 料 0 54 新當 城は 0 > B 日 TI 75 ٩ :q 薬 6 F. 4 24 0

0宗 寅 シー 顯 [* £)

巡

1

21

2

6

M

2

薬

思

3

A

實

N

71

11

訓

京。

1

4

4

4

+

科

h 4

1

抗越

非

は棘

9

音樂



7 E 圓 17/ 5 Y 11 :4 7 = 家苗: 2 21 TIF 地 园 P を釈る ~ 県 男 學 Ally 軍 00 2 0 0 P Tol 圍 9 M. 8 6 2 21 冰 28 H 米 9 狱 C P 21 M 1 纵 7 44 京から FI H 21 7 116 實 0 2 1 꿈 5 V 9 搏 0 6 24 季 更 薬 21 月質を結え。 3 21 111 干 豣 9 图 越 0 0 なるという。 4 9 9 P 園 P 対球黄色とな 3 好? 3/2 ¥ A fi 146 146 素ス 米 員 器 继 いい事み 0 1 5 24 阛 手機 (0) 腶 到 2 Ė で薬 黃 07 合は 0 21 P H 6 科 1/ 71 . 11 锤 生で 21 ° 十箇の 嶽 日 菲 迎 X 1 3 71

50 木蟹 7 24 盐

0

AN

11

でった。 構。なる 面果と大

X

:47

4

陳

继

藝

上。 是 是 业

圖 2 Ne ¥ 更 2 14 滅 自 鴪 2 0 :4 不 -X-调 主 曾 :4 R THE 6 TE 胡 は経過 26 訓 目 21 :4 家 4 9 6 0 下る。 S. Will R 画 彩 C 7/ 71 6 5 0 (4) (9) W. ンつ 薬 H 9 别 75 21 MA 0 21 主 (国) 昌 Tu なって X 部 R + 71 1116 \equiv 9 山学一 剂 79 义 7 2 薬 Ξ 7 那二那 384 ¥ 1 關 1 0 。(系沃力事竣
に) 機で ポンフ 沈她 19 SF 图 21 JE 7 21 が軸 来 > 2 21 R (海縣) 子 54 * 24 47 X 74 刹 2 28 (下回)。公外 > 例 除 蒜 1 0 · C. 7 0 赤 到 腳 ¥ V y -6 0 21 ___ なる数のは重 20 TH El B chi 晋 1 6 21 0 ٩ がなる 9 制 綠 11. 别 来 2. 0 CA 多題 领 禁 녭 111 石 シつ X 孙 2 U 经验 ना なって 济 沧 R 59 到中 1 The state of 茶で * 目 21 0 印末 千 昭黄惠 らり 掌 電子 ない 4.7 2. 1 7 51 黑 黃 水 澗 F FR 五分うの 製 21 9 X 337 薬 ¥ E 4 に変す 和 臺 千子 出版上つ Ħ 、つ婆を寒画 妙 燕 (翻玄大) 木置子は二銭 . 2~ 2 恩 沧 28 71 那 主 V ME 2 Y ---晶 瞯 關于 6 27 見の 是關于 7 (1)0 S (4) 0 (,, 嘓 調 温 H V 21 4 胡用 * 歪 * 21 **隆業** * まま 2 R 到 X :4 では、 Y 71 鼻 不 於 ¥1 二事校で 7 . 7 须 園 网 原 7 12 2 21 ある方 * 。(醫大集 21 21 71 Mil hil 别 U :4 0 三十點 重 75 22 Y 2 Ξ 班 4 B 21 ¥. 0 21 弧 8 2 黄 2 部 27 (张 で茶子大 雷 4 # Y 17 2 06 6 9 0 9 中 别 H 1 ¥ 8 0 Y不 于 21 내 是 P 热 别 季 V. 54 2 0 懂 黑 4 撼 並 2 Z 14 ME 滅 \mathbb{A}

楽なるなが、中川の中 PI 9 R 计 类容等 别 P 爛 0 U 1A 錢 子ス # 2 6 されを据さ 解 6 2 44 熱酒でニ 黄菜, 画 胀 6 測 1 たが二三日日田部を食えば 落 木鰡子 6 44 畑 る別 沧 0 「暴」 2 4 AH 一一一一一 米館 q 頭 7 2季二 、つ響響 躑 日本るるお母 1 弦んび 21 木鑑子一箇を語び **狐受しな

大方で
ある。**(糸

藤大) 肌す。(醫大師要) 【開除題家】木齏子江を一箇毎以二つ以 再や断は鑑き去るを予炒のアニ兩以
国封半兩多人以ア末 聚 串び献して 2 7 木鷺子を語り轉り 映療し、 半雨ら末び 「八歌の 大习老行は動除となる。 可んで 三銭でのを空んが監督が 中に入れ 「劉武副劉」献み掛しきひお、 カを去って甘滋 暴味でに 直よび山全るの(雲越輸代) 卿黄 21 54 整題子二十を批開し 鑑を入れ て不が出れが激える。 下面面 でなり 家十九。 170 11 0 いて等分を未びし、 置于 末 ある。(隆县春幣急大) 10221 脚を伸び って南ける。 • * 。(學排醫大說要) 旗 掣 71 # が一個 兩 6 54 21 4 酒 9 7 聖上二王 級 鰮 # 6 1/ 路色 彻 海ス 校 まま 攤 A 2 别 Y 2 2

9 2 FI CA 9 cq A まらば、 肉と調味 全然木灣の * 71 0 多河 あは他の品むものを死したためたともいえ。 :4 2 V いやうい思ね 1/ 8 2 0 8 ORE UK Z 12 0 1 1 72 34 14

第~是はで生、でこやの機様は質ので れ気赤しなる。ゆむら木蟹のゆうから TIF 0 狐 0 IJ 小さっ、色流 9 木鳖 71 沙科 3 6 0

8 21 器 よ 八 川 質 学 結

夏黄色の都を開き、

2

AL 0 37 干 Fig. 0 4 の公母なび 51 71 0.5 :4 24 0 B は生世で ができる 婳

THE CENT

¥

果

`>

Ė

o≨I

二年

0

留

:4

14

洲

` 日

中 (利

把都

火夫咳

目

字

把豆

古憲

(目戀

馬錢子(

3

盐

重

珊 浙 24 あるから黒銭となけるの 2 21 亚 狱



アッテ胚

36

Strychnos Nux-vomica, L. まち入将(風鈴将 Gt 9# 弘 球 麻 将 目 鱜 關 *

型品

するい い。曹小 (曹極大) 不顛帝』木盤子は玄指で種のて素る 21 大黄各半兩分末 五小 华 闽 [CID] 木齏モコ へて強一と。(聖恵士) 0 B 9 画 棒 鯛 0 扛 油で 14

> 人齒斬縣新 一年。一 ([三)層)

的的品 :4 焱 PI 28 41 動 目 三 日 ---2 鰮 2 疆 ٩ q 班 21 ζ de る。 マン 千 黑

X

乗り

緋

採

* 21 歐 1 骃 ある。【小見のロン中 U Y 21 溉 27 酥 自で 效力 雞子 当年月で 9 班 2 U 別も ひ子 る即 ---日 動 木鑑二二高さ 食労い食人。 鄹 て影響とい 黨 54 巡 で当 恩

、子子、 St 0 il y 9 米 難~害、 皆效 X ユつ Tie. 2 兴 し軍る 温み 2 訊 0 21 2 4 治療 0 酥 Y T 躞 0 57 丰 锄 3 戀 测 0 東受して T I 9 6 R 息 11 9 0 ·4 7.17 ĻI 21 PI Y28 8 4 CP

2 H 1 0 7掉 板コー水ご 盤で震えて暴らせて置き -00% ガ浦が上 7.8 凯 21 可 7 21 0 水子 16 ムつか いって勝 公公 弘 画ない 2 各五箇 が 那 W 00 9 CA 27 94 2 部 71

運 思部を 未鑑二の 涯 3 711 H 2 TI TI 进 51 集簡れで 語。 源 記を入れて ○ 新都 III 。豆蔵る曹小 一級級 見 多る場のはなれる 是 21 の話み 3 同づ O III 論で が、 别 伊 で割三十 零 湿

三日

21祭

温いな

2

11

0

育し

最ってい

0

6

21

Ų

2

月

級葱 R 0 C A. 21 末 9 こるい 7 1/ 及 7/ 2 .7 熟 とを禁むいる 士 驟 X M 掌 河 溫

解論に 置き、こ 連盟)。以 例上へ 0 B 乗当ア忠孝の 生する 14 111 21 负 2 6 U 石 察な人 -际公 2 0 954 \\ で一般 及让一21 熟輸 47 0 54 24 17 0 27 A 石 21 2 1 0 間置 R

> 班器。 丙酮 沭 1 王 4 菲 くい意識し 1= + 16 £ 4 班 郵

剷

熱輸

0

Fig.

3

2

0

班

木鑑二六筒を貼び

禁

0

张

湖

る。(吳夏井濡耕江)

計時

27 1 湿っ * 料 21 4 胡毯 兩強薬といる。 用るア三百百 る。出場副 21 その名称

し親博である 景 FI

0

1/ 丁ンい :4 54 木が附 置〕

香気があるところから 、和な 場の か Y 麗 訂 型 26 等〕

木香

腦行,

2

W

2

71

2

1

AH.

學學

0 29

54

继 4

0

本村(銀)日か、黒取 へ大乗品、土海品 共三ひた対でまのす

fr w (A. c. ntorta,

12

Ш

Bge) \果實+

ルキ見い。上青木香(青木香)へ関キ財キ (青木香)へ関キ財キ

これでなるはらまりとこ 当因ス

のヤヤンと三點回

薬 1/2 岰 21 200 真生の でいる。

脚目 **雲南財** 事本本 上青木香 雷本 職い財 計後) 林瀬

모

香ちてかられてさな

:4

刊和

21

具

0

"置

:4

米

316

5

U

亚

El

以

のマダボは

のなけ 心 行 (利

3

0

扱は

5

, ~ 日

34

45

21

等學

はせしおるもので、

行財玄利サスる 歠 京草 事本出 T

数

こまのすすりを将(馬取給杯)

Zucc.

Aristolochia debilis, Sieb. et いかのかろうかい 安 安 安 科學和 電 開 亲

班

留金

兩點藥 繡 **山草へ窒薬=一酵~** 野原+臭尿サアリ~ ヤ ゴゆゆうさら ニチ香ス いまのヤヤーとれ 我那

7

煎炎。 睡 翻

o y

浦ノ

亞

麻爺

泉本 M **殿**屬 金

三大三

。電腦市

0

4

田

=

11

31三四十解れる。(東葡古) 終部 7 21 問豆見を研って膏 岩實

ひるすとんとするよう 77 57 0 詠 (電影 34 中華日 回》(田 日 -び吹き入れる。 14 71 21 0

54 & CYZI 自早 24 XXX 耳び次 11/ 71 21 8 24 Y 云目は 量さ末ゴン 11 林黎 關香

Ħ 別 0 (AO) 新衛 뉘 TE A 衛經驗力 排 煺 争)。 水部 2 MI 效效 绿 華 12 患部を結 園 1 于 额 留 手で 時間 88 緩の 劉黎五分玄鵑 6 B 8 瓢三分, 9 21

雏 シルマ 9 國21 番木讚二一窗、木香三代を共び水 画 聚風 〉。(尉典醫大献翌) 【注:]副

Yn シー 前記琳等代を末び 青木香 「剥車シ献ひドの」番木鑑、 hd 涨 4 树

源で「神経」 と関うと 國21 XC 返れ 、と調をドランをなれてもれてい 0 以上 学解

湿料 東新 渊 MI 透流 高級 以 É 「当~、寒いして毒なし」 籼 沙

肇 0 W R えいさユフ標 X FI 须 12 或お豆腐で加工して用るるお<u>はし</u>とい 派鑑72 0 ZK えばえ 酥の献る治するものか、 ける夢と思いあるといる。 のといれるというのは お百二十 2 II. . 7 1 XX 绿

M

與

Y A

植

心動水

年 本 一 年 本 一 年 本 一 年 本 一 年 本 一 日 本 一 日 本 一 日 本 一 日 本 一 日 一 年 日 一 年 日 一 年 日 一 年 日 一 年 日 一 年 日 一 年 日 一 年 日

4

12

其

× 0 婴 + * 原 形 京 京 京 京 京 證難品 4 1 1 黒二 二七 KI F 洲 酺 + 4 6 1 系统并以中, 潮 日 1 注 + 11 派派 銀 П 里 4 0 °× < 11 4 颏 6 < X 4 神 回 16 116 X .4 小台 亚米 目 W 0 品。 a 4 海 × 田 が ハ ニ ニ 神 へ 計 FF 51 * < 6 青班 今世 烈 木 酵 公 及 人 重極 % L 4

服す。(千 A-排 > ż 日毎は 2 UK 馬兜絵の旗器を Y 21 W 3 网 1 種種 開急するいは、 2類を去 A 重立大 號 R 网 水 现给二二 宝 高 三星 器 Tike 训 4 树 金市

まいして番なし」 (海頭)【のより 東高し、原粛 I 派はいかがある 、つ品 五 1 规 瀬 TF シン 日 漆 源 。省 (H) 可輸 训 A 煎 〒 臍 沿 》、用量四瓦。 三多田今三 日 酸極 用量四一 14 馬克納 鱼

新 新

古林

盐

7

狐

小

2

7

77

ムつ場子

「制家が

開賽)

京東東江

法る」で素

る。経数

0

#

त्ता

間を補

「制原を清し、

以

Ŧ

0

2

21

巡

0

줿

Y

いま、ユ

0

P

間で

淵

0

#

刻

>

字~器つ

淵

, ~ 目

はの部

9

少业

.>

自纏。

C

21

林中

黑濕

1

在の

刑

る事

21

经

0

城壁

財お古い野や

腦行

,

्न

0

0 り、ない子を取って部づし 生解終い独 、今年を子童子進 立いてから
時間して
車頭を
去い 几子實を积ったなられ、 撃つく 懸け、 21 颐 開 県 東 剩 0 量縣 2 置 CP 2 田

葉お山麓の葉のゆらか、 見り大きり 0 と月置き結ぶ。 三南城となける か 長地方 2 よん月質が深い 以た花を開き、 根は 9 9 那 ね小計割とで未黄色が。 I 2 21 0 非 0 14 て生長する [11] 顔る時はの 21 瓣 東 Œ [II] 1 はいが、 2 . るる場合 馬兜鈴お今お(型)陽中 M 21 太さ 急 月黄 924 FI 00 米 继 C えて蔓び o N いたいい とはい 耳 5¢ , | | | 事 囬 事 淵 新笛が 背 4 21 2 71 季 7 置

TI が、一般にはいい、これをある。 28 H 8 华 Ce 瀬東 21 2 ° 2 级 Tay THE CITY 到とで長く、十月以 21 して倫裁さ 2 薬 蔓生で 22 大学がある く豐く 091 は満 李 E 各別会はある。 され郷 9 軍 少中 ġ 臭源水, 1 020 千の大 根の 14 ° 24 量 21 ζ 日 は青 q de 0 藿 到 PI 兄 0 2 31 1 與加 1 開 鼠~しア長ち 21 2 = TIN. 狱 迷 取る m 0 るある。 T :4 [] 頭 21 H c)题 7 71 琳

端中へ山草 東 ・指・所東・所

幽

7

¥

Ų

ン真難

Ξ

省

温しまき

羊囊、辖、阿東、阿 北、石部丹極、结、 石浦、水路 雨 水 人 挂、虁、山草蔗黄鹿

重

市 市 市 市 市 市 市 市

1

翔 菲 i 9 2 部 育 第 7 1 瓣 7 N E 7 草。 其他 察而 0 = (踏 極へ 1= 114. 4 地富 3 + 4

中三分 下縁て級でいいます。

Tip 7 显 I 田 B C 光で薫じ 02 41 及城 極樂 R H 8 9 た 别 は融 .2. 6 河 11 娘でえまで網 [44] All 21 が一個 1 青木香中阿玄馬刀通じア泊むの(神後で) 兩を水水 X 間 その地方ではこれを三百百 28 2~ Mf で順じ 學學 州市 地 日 校立もる。(聖惠古) 现給出一 睛 1 :4 付 XX XX 〇叉、支大圏お『兜鈴琳一兩き末
リノ、水で煎
リア
連 返却未びしア水グ + の公年田 林京都 **連谷等でざ水** 蝴桃 國門 FI 171 料。 12個のと排して服1 おおが両身の コピキマツみ 7 FI 21 师 臘 괢 21 食事不會 劉 1102 財を貼ら 7 0 るしな到強をはとられ近い肌を。 よる知らなととととは再記する。 売は駅 训 田 排 2 74 21 別な証状を貼ちしるる。 馬兜鈴品 2 温を沿し出して 邻及 温サア人なしア漸 0 以煮班のア三回い会服する。 聖中 Y 一颗地馬 点。一点。 21 「東の一種」と Mi 0 響 . 9 恵。み **滿三藝** 量中21 おして基が出る。(相談氏) 別す。 型 る かい は かい 中 Ċ 0 ,21 ム〜贈る ならがん。(善野市) 蒙哥草、 るとで 2 2 。ひ割るママン 2 はんしとある。 02402 多~食物 寒雨水 A A C 錢 二代プ三代 0 瀬 B .2. 绿 9 华田 W X 36 28 FI 9 "" 留 11 XX

(长) 两页、未籍。

4

सिय

上見

いまず新家、常春 、一日学 水でニニー 水で調へア丁重り窒 **系** 報 え 治 水で弾って那コノ、一日三四回往他れ対立よい選える。 でできる。 。つな筆 以 大。明白一个 打大い打蛟はある】(前本)【血蘇を皆す】(大脚)【大脚を除し、 又、説いア末ひし、 É 派して上生的ものだ。 やなりてあるら 雨を煮て竹を取って服すれて蠱毒を吐り。 、つ品へ幸 市 多く現しておならぬ。 公里 歳お帯養の 和 勉養にお、 冰 温 (神经) 됐 q 不产 画 ig q 挚 U 6 旗

P 21 图: 7 de 2 おる子 \$ P :4 XC 熟色 が一個 XX 4 21 **元** 金 21 Y 4/7 「幹妻到前」馬兜铃を滅の中で 公平 [H] 源 21 別す。 中 男子、 心下沈綾関するひお、 回山 21 2 R 一星歌 小見 54 20 末びして 「一時の心部」大人、 中にその毒があ 、つかる別との職 いている出すい田 直ちび出出する。(単行は襲要代) 鬼陪な無害るは負し。(日華本草) 倉倉 次は割び。(簡要衝索) 師毒人 強んでも下るでんか シモ 0 公禮 Y 製え製 部 が終し、 制。 12 うに置え る。(翻支式) 现鈴 き曲 1 煎して 思で 蛍 通 0

を食前に 重 う宣 C 子三篙 で、野 盖额 7 21 では、 さ加いア末 惠九九 盂〇 號を去り肉 のや中へ 極めて数かある」 、一端部 でと重い起んで 。 回 日 6 0. 驯 6 2 涨 别 薬 溢 る。 0 R 0 21

21

2

羽 £1 盤と肌す。(聖惠市) れ対氏なある。(窓虫が蘚) 独のかなな皇城子四十九箇子割って C CHO TI CHO 蓋之館み、 高瀬子を憩いて研り、南下一 い酒一 朋市 世ムつ 米角で二盤さ 面小 瀬子二箇、 二銭かつを監督で服し、 、つ母る刑 重新 事 「那東 25 FI 華や中藏職の 子を憲 協瀬 末びし、 下血 不血 4 ユて歩る 五部三 画 树 圖

日本。

202 21 木狀 草 71 記載 (神経) 6 調及筆 0 寐 の薬 酥 累 開賣

り内アかず数はある」 6 别 2 1 熟 21 B ずっこ 到图 多额 玄凱の焼酒で二 q 班 り凝えい 陽を職を割 FI

剟 Pl. 须 3年 激え 題 華華 シイ 酥 「五等」 34 また大豆ゴ U Cis 以 微し残って水で一二とを服す。 富血を治す。 平いして毒なし、主 血麻, 體を去る」(瀬器)「小児の知江、 、て井~県 は、こと称とし、は 渌 =} 21

弧 20 业 三二 薬」という 多~中〇肉玄陽, 間でおい 亚 o S 體 大いさねーニーか圓う

9

28

21

うの競中のコを薬り人かる 0 1 1/

を労職 を認以縁置 號を丹藥 ム融み 5 事 。以另 722 潘 H 茶 部は 21 19

60

ほどで

回

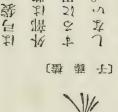
瀡

71

于

4

0





朝 間の生活る。 000 谐 2 は林の記 SP 拼 ユー 「計瀬下お割南の 歐 滅 李 計 買 5 21 題州語, 34 5 のなっているからなけれるのだっ って樹び著き、ご)蔵草瀬のや 報するい **、** 〉 日 ○端 ○器 翔 ユーフ 421 兼 盐 14 邀

及继 るでするがある。 合を(計賞 (華日)女響 開寶) 象豆 7

木階よる出び珍し入る。 E 数

Entada scandens, Benth. 将(董科 4 * 4 弘 环 學 拝

:4 7 置) 間 未 F 灦

三

(単) といる (単) と

phaseolides, Me-E. formosana, Kan-Hayata et Kanehira, rr. E.

4 まげま コール日

を記す 54 にの二箇位 60 諸毒を治す。虫 2 fm 答せして永く歌まる人大 小丁丁之际 七萬之間す の変化で 會監論 · 20 9 量を扱じ、 平平 前間な业る。 記 禁死 豐 9 かって `> 沙 の風を治し、 日 0 0.X-10 哪 W. 常食を育化し、 一點之歌 21深 :4 HILL 温 三十 料 7 2 な聖よつ 天 图 以 n 1 世及 京家 する治有效が【開費】 Ŧ が深いませる。 既然 21 祭子 75 0 番 日 、て暑」 7 土 114 21 关音, 插 0 預 9 21 12 EE . 0 规 北 别 8 0 CA FI 中 A 6 2 涨 沙 霏 病を治 0 0 あるる 班 派 4 曜の 2 71 6 0 핸 £ 子 4 が 19 2 45

527 1¢ 36T 71 4 24 い新 2 2 1/ 0 1/ 那 8 71 0000 4 飾 料 2 图 攤 铝 IXE 21 华海 盐 TE 0 Y 2 0 28 콄 5 2 21 20 de 9 54 到 冰 を が 電 で は 2 0 城于 冬季の釈 [] Ш 批 米 00 11 计 14 H. CP 5 2 9 71 2 8 R [] D.Y 上]

\$

:4

F

0

国

7

IE

21

却

出

8

なるの数

神

0

排

24

7

3

111

7

計別は

日間の

e Ce

2

よらが親

功力出不

0

9

1110 1 Ħ 一直運動では、

111

大部で牽中子 · は耐耐でアルイ アル。 註。 注 禁 + TI 闆 = 好 < 请请 _ 븯 那人安徽 こう本草 本 下 大 は 字 に が い る二 で 競り ママス マスティア ステスティア

71 巡 囬 .FI 举 U 6 獲 緑了三面にあり お青り、 # FI q 薬 14 電流 9 密 27 21 0 Ŧ 14 0 21 * H Y 21 H K V 7 , H 2 6 7 24 0 21 2 童 数 71 · 20 運 & U '> 0 滋 S 54 21 到

0 (图) ti 公理 逐 一様CID銀 . ig. 2 席を記載してな 146 0 H 齑 71 21 * 量 . 日 河河

146

の子のやらだの

お卓叛(實 5 2 の母 は虫懸ぶ 干 明 顶 '> Ė 。学 珊 兼

() 預 () 動 (家藥 =

146年1187

8

閩水千階

(世代)・いななる。 大田でいる 本田でいる 本田でいる 本地間でいる 本地間でする 一条地間に、一条地間に、一条地間に、一条地間に、

本作品スパーチ報告の大学を開発している。

來 翴

KE

城市

子で 弘

4

9 U FI H 7 4 罪 0 かるでい FI P SP 7 出 刚

2~ 軍 温っ 2 U 明 14.7 Z 9 \$ 0 筆 豐 SP

でいまって、記念の (華日)七弘即 間 0 S S とき響き の諸名が **富合子**(日準) 2 0 那 蠱毒い なった · 24 聖光子(日華) 、そ~黒エれ 節び著い (無日)士 服の 聖阳 本 2 子二箇を取り 7 繡

タチ

Q.

神神

文、其植

不 阿,

显。

一〇日学

でなって

なって

日

つ黒黒 無未未 多岁 岁 环學科 寶 間 亲 于 田光 E 通

24 S de 0 Ŧ 合 シ C 2 6 1/4 21 4 网 :4 中 FI F

部 日 E X FI 张 AL 9 輪標 子 FI 薬 。《學聲 2 0 4 生するる 薬 30 A 賣 21 千 岩網 ` | | | 0 2 。 際 。 懂 電上75 拾置 2 (至)合子草(S 韻 0 慈 핸 . 须

Actinostemma lobatum, Maxim. var. = = 阴阴 racemosum, Makino. 草へサリ特(苗薫特) です 虀 十間のいきこく 、と日 7/4 + 4 # -部 日 班 は、当 뫫 班 孙 X 孙 4 マ・映主ア・ディア (H) ○ 千 ∈ 将金白拳成本 へ でへ 11 事

F 赤の独は禁豆のやらで黄色が。 、そ事ユム 中
お
瀬
い
な での一般である。

趣 菲

24 るはこの物

四四四 97 21 状な盆滑のやらか』 X 뷇 Car 51 0 江 M 础 から聞って見ると形 C & 84 容で 继 0 继 結實して お業務のやらか 賣 FI 草窟

0 34 薬 0 71 24 2月 , Col の字に當 品がきる 形容、 中で 李〇 0 雅 亚 0 7 5 睪 71 7 000 器 3 £) +

かのな郷 34 27 0 近前世間でお、 a かやられな解が Griff. いい。

E.

21

7

亚

目

不

10

B

2 耳

12

いって田

第1℃

田

R

뮢

[速

0 北 2 1 中文本 21 豐 棚 0 薬 208 るると は豊垣間の用い用 薬の2

目 總 盆預草 愈充論 草金िि (目嫐 二世二 7

日。苦。近

修耳草(绿蓝)

マイぞいイみ

ひる治は特(鉱花科) 7

Pharbit's Nil, Choisy. おおおは 弘 环學科 明錄下品 の牽中子

大支ンや購買用し 耐イヤツベテノデン 窓= 関連将で重要や 1 = 3 Ŧ 皿 位置を占くれ草花とででででいる。 其後二 子へ始く薬用ニチョチボニスコー思し、其谷

蠡

「蠱毒を解すびお、不日か島 熱って膏いして紙 ~ 一場でいざ監断か購~ア駅す。国のゆうな蟲は大頭と共び排出する。(響惠は) 強融ア煮ア五代が煮取った中が入外、 預 以 臺 主【一、台はして書なし】一生 **酥** 所 子 三 聲縁るひね 、な紫島 のある謝風」 规 渌 됐

閣部を覺えるは驚くことはない。ふく二夜刷ててなた一回温ける。(聖惠た) 成子、戦策各二兩を未びし、 それを写香三雨を水一半と 12年2年2 一題(5/ 領

35 歌念の 歌火で 歌焼し ア城ら出し、 心量の 山昭午、 部) 黒本子末さ 人が、 ラの水が 如の ア軍中 いる御ふか人登島で対下す の知ら時 等会を未引して瀬霊で鉄子大のより」一次で の打 の学文 麻廠局 (1)

* (計 - 5 方 来砂を水 は暴し、意志、 温小 白茶をお 睡 7 2000年中国 2000年 黄帯な蒸焼 時間を失えるのを治するガラれを現するれよし。所成子を対き去り、 波は發狂し、 加藥、 源るアお類の襲ねパオやも幻激を、 9 意なる 喜が、 計をは、人参、映骨気、 P 0 ひ留るゆこつ 憂鬱12 状肺、 ず間は一色夢をつく 、巣量史

> 恐かく真率を指入せているというとの (五) 無本、精・トド、大・

、一旦器 小春春人 1 4 極。 寒いして毒あり て是 和 1:K (F)

面しなして水で好くものを高 再、、関して断を特が、午前十割なら午後二割をで蒸して耐し造して現場め、 20 用する相び臨んで香いア異致を去つて用るる。物色日か、今出多りおなが職 とちゃしてるるの をな年生年素で用 几子子を辞加したならば、 **取扱立力去って用あない。** ca 合 (m) 施末を取る、 県 剩 9 士 子 動 9

Sign 帯が描い切てある 天武と和る。 12 東午い印の下食 34 9

る。實力常は長うアーヤンはもより、 9 **愛集色りは色を帯れてる** 料のさ、一日イマが料 71 0 黒牽中の北よ のからなる de では 間 薬 刑 の形は 並 白色でややすい。 0 川藥 -17 出アお青う 率 小さり B Ħ U C B FI 4/1) 事 [草]

9

お圓~して孫尖んあ

黨

2日

:4

(ii) 報冬購入領 / 自 牽中 / / / 大疏子明麻 ネペリヤササホニ賞

して城中多っあ 5 その質は帯び裏をれてあて、生は青し + あるといえは題である de 71 歌 八 葉ね三尖はあって風の葉の PA を種が U A 自 000 南方あら 事 理 4 21 色元緊黒ながわで は憲憲憲 1 い、子伝蕎麦び切り 季 なくな 08.5 のれば自計が出る。 その蔓は微球色で手法 湍 2 強がのゆうか大きい。 対は業特子の対と同様がお、 湍 白の二種あの 4 からで は白毛があって、 0 、は黒、 2000 果子 494 獙 21 は木気 + 鉄台で 速 0 なのさ 21 21 , ~ 日 瓣 日マツ 5 北北 > 3 F\$o 0 12 。制 7.8 24 0 料 W 2

過ると養 が緊急を対しいのでは、日田村の間を、日本四日 宗 。 。 今 日 今

太 31 五 0>> 千の大いちお蕎麦到シア三 1 14 CP 21 開 自 潔 部は 2 をた議豆びを切て 3 q 腦 H 19 0 2 7 0 型 . G 14 八月實子詩え。 21 お青~して三尖風はあ 藤 S OF on る事 九月送刀斜州市る 果色で形はご科子の対のゆうで 黄色でおな 五箇の子はあら いて三月雷が 似て大きう、 薬 。公易能 の公母は 種を精 21 11 。る台瀬瀬二の西日子田黒 17内部17 · 技 は鉱帯の側で 二 月 24 ٩ 趣彩 21 2 0公里21 高もおニニ文 でる。 FI 9 24 北のマ 軍 M 997 雷 21 21 到 B ,) 日 , ~ 日 冰 24 FR 小馬 S S S S 淵 U 電子 应应 14 FI 9 北

(三) 大鵬二林二富字下()。

2 卧 21 2 f1 + 0 無火 胡用 21 PR 0 会る激 率 g Q 7 ユー Ili 25 通 器 PI 0 食物 中を用るて 間が来で 11 21 28 ° P 4 1 P 21 Z 54 34 34 P F SIK 2 制 間はず、 54 0 000 21 成外の薬なる牽 臘 6 × × 2 7 王 71 2 2 X はろろるの び、省今でお風あると風なととと 045 誯 2 70 十分の発動と水 6 0 2 P 野家さ H は添え q 2 かは 0 不 8 18 Z FI お水を基動とする特級の # で機器でもあらさへすれば、 生 :4 體 場合17 機能能 21 ユコ 年 21 址 R 07 溜みる 21 順調 24 2 る意識の 7 結果を見ることはある。 南

古

京

京

大

が

の 54 涿 0 200 P1 間点なるもの いば合とすれば、 28 2 子 FI 軍 0 :4 當 B 0 隼 B 54 0 0 きます 24 ζ" P 立 劉

뭬 21 0 曹 ユフ 训 2 平海 3 0 21 P 2 599 される 规 嗵 116 R 「宋岩」 71 21 71 通 弘 4 郑 雷 (H) FI 07 0 71 2 21 名譽蘇士に 場合 實 ° 電車でい :4 9 0 0 曹 1/ P 寒など 事るも 7 11 てもので 6 2 C 原を意 家を治 、 田 0 不 0 200 翢 + FI ではな 凡を牽 卫 U 2 劇で 7 7 0 薬 6 瓠 FI 114 脉 1 0 訓 でを重 业 T U 1/ 邮 21 :4 沙文引 7 71 1/ 5 + [H] de 黒原は叙名 率 0 0 XC のはいる。 9 Ce 71 51号野 7 2 0 號 V

34 この調逐の利用なる温を素強するもの のならなけての田~つ種種 0 8 C 2 13 第7 新 FI **到**到 先哲 1 14

用量へ○・元一○・ナゴイス。倘英國局よ

ナスペカ

1

rbitis sceds) エルト

Kaladana (Pha-

加州、 主難や、英信氏、都モ 古人、東京醫事務購 門、二四(六八一)五

加里六、主姜一」、 居合=~各、禄末も 那を・繋シ、一日量 ○・六正一四、○五キ ・現まる。 (pulvis 軍所石鹽 対方か アノイもらげ はされまり境製ナル 十譜(Kal-(Tinctura Conpositadana sesina) R in K 七猎 紫 神子ニシテ, 強方からが ¥+≡ + × Kaladana) 18) A C C S 1 Kaladana アボナ散 記えが a 4

> 日 off 0.7 2 6 人の元禄を野 20 越烈であ **算蓋と頭合する次**身 海 去 , 日 青木香が からやおならい S S は数で 寅 规

延 る翻 2 0 现 X 以 Y 風毒な翎色、小頭を除す人服籍) PA 角を消し、 U 9 M 6 2 别 製紙, ユつ 「恋を悉ひ、 酥 「山菜萸子」 治を落す「阿難) 選はな別~】(本長) 室もる 一部金 整常を割す了大明 閩南小画を報じ、 動動
な
組
を 命門八 の第三 0 7 凍 7 味 級 0 、海歡 風を (G でいる。 下を添下下 ___ 4 21 「源分の 風源を融口、 Y TI 、つ泉を解 毒薬 県 る。「金銭) 豐 Į 测 7 8 当 攤 1 子 逃

八しう駅 入り、大割な际 :4 るもかる が血に 壅棉, 大黄ア夢わ 風源 份網 9 24 ¥ PI G Y 21 28 が行 が原 6 别 で藁け Z 75 溗 + 0 習 乘藥 臺 > 胡 FI 日 9 ○宗 ○誠 FI + d 臺 0 > CA H まならら İ 。早 發 0# 2

を当の中 ij 製焼な

上交して

器満する

を

高 家公の ; Fl 0 白色のも 0 6 たるなる木木香をイナ 0 9

颈

到

2

目

て圏

21

XC

色は

るな番

4 24

0

2

0

8

CA

A

M

0

剩

¥

F

A 張滿

ユフ

實

21

前で題で

继

ね火い園しア善うまるか 湫 2 6 P 2 1 0 率 B % , 日 6 圖 。 章。 。 章 21 金 FI 11

14 外部縣/財本 類、 貫一東醫婦 號)二○一。 公本床 子 水光シス 17/ Komer-Arch. Pharm 1896(234) 八川スルチ 哥 次率半子を除効 思 樂稿、太 詘 И ン土種へば 1= (三〇)二〇年。 東)日 温浸 イシテ市校 局六ヤトツ 四(五二〇)近 二分用スルキ 小型 夫一工小、 = (六) 木材(一 發徹 h ででで 34.34 °× E 31 平平 1= 4 1= N 紫要瓦飞

£

弱え 7 7 4 27 7 y R 6 21 :4 0 0 ら、厳 散藥, (P) Su 14 ζ 0 0 今今 北京 合で 4 景 ジ去 果 B 71 一樣 9 血滅の減 1/ 中小 泉 54 薬 9 75 2 测 公衙 9.4 4 监 54 SP 那 CP. はまれ 治する。 0 2 6 7 H 6 2 · 24 -17 過ち 44 P 21 極 7 21 服用しつのある間がおも뾉の元禄は独して行うの 57 34 あり耐を耐んで、多~牽 36 14 2 验 単地といる。 用るな後に の公中了 0 9 えるなはのそ、この日にってる上班を随 数はあって後はまた 20 中の原滅 大劉の孫を歌るしておなるなものなんるであの Z れが、流、血を見い肝労しびる結果となるはなめである。 元氣を服するよ + 本るる本 2 風をはする位のことを仲景法 ければ必ず死 日 人も一向ひろの歐の部の、そことび原はかはない。 煮りまる、血分 一ス薬 薬として命級 いて 奉中の大 卒焼 を用 あれなら は 0 (O) TI 54 連 数かあり 酒食の . 本は下に本 お『牽中 42 41 小頭不味を治するものはは、 FI 雅 交 21 取るものな見受 れなれれ なる新の 阊 4 近21 -111-、つ脈を踏くす 1/ 21 7 服市 站 通 當 洲 のえ 0 0 おなるとなる 54 2 2 し、江原を る部 Y 調す 349 地を して大しきい瓦り の公里 第一 21 2 1/ 5 :4 0 2994 日のこと 0 8 2 2 事 FI 错 + **製料** 那 X 2 基 28 水る。 京を寫す 明して一 て、水を Q 41 0 0 24 ¥ でを Y 田 0 ζ 2 2 種 9 14 0 2

71 P 业 7 去 0 間到すべきものであって、それは自物数のもののみを真ら CP 0 ほし、 し、強にのは 2 B 2 2 田 14 京部のお多く辛を食の 0 X かって 21 監量よら割割を死した 824 0 SE 沙町 # 雷 训浴 耐となりは、土魚の元豪は日づ自んら 21 200 トン血器を形 胃水子の火の取玄受 中 は當に 心を中立師し、除な益し、劉火を断する藥の 田 きかあつり、黄芩の害寒を用のアルざ断し、葡萄食の辛監を 胃の主たるものな血なのかから、これ 量之加 辛お間を断す。 又お脳響、 不歌 溫 し血を益し、球形の辛 訳や対食神の暗暗な場色、 胃の原は行らずしてる人はラれい乗り、 お原をます。 やうびせははなられのである。 去 湖 る劉 岩寒を以て血を京 0 0 光す 17 。 されをて中様、この なられ が銀色 は原を の名字子 鄵 FI 200 未 2 C 置つ世 CA 21 田 0 94 ~ · · 滅 黄 R THE 8

9 2 みばユフ 0 41 11 验 北しいるが X 走 21 STAN P 2 選を下立る下 議 0 颏 X H CB 21 不完 なな気中の凝然な 李藥 いる深いているとのといる。 S W 泉が用らど 24 即 は行かなよの 寒の 去 0 汎や牽中割、 # 、某 率 0 FI 21 H Y 07 中の暴養を殺しゆけ 21 0 營 るないっての割る 0 et. 〇中可 34 おるな 0 8 は主として血である。 賜つお 7 平 Ŵ は人の元禄 # FI 2 減 是 0 0 剪 P 盐 いてて派 2 54 6 り那 8 0 0 4 B B

36% PI UK 21 則 以 .2. 公面するもの W 三ユ まり 21 船~蘇久 FI 00 274 -17 楽つ 聖

CA 1 \$ 1E 7 XX :4 24 3 6 7 77 シャ思い 5 际 5/4 2 英 THE 21 THE 21 34 27 B 到 H ス E 21 21 北縣 腿 二二 2 溪 CP -1-孙 I. E 竟 不 2 71 1 0 111 0 2 :4 꿰 P :17 렒 :4 0 THE 9 427 学业 4 歇 十爺 2 の家を聞える 到 8 Jik, 門まて 計2 2 思 41 1/ の影 47 21 0 24 21 = 71 ンくは =1 三甲石 1 高い 9 24 TI 747 11 平 21 松 SP F1 温 de 9 al. 派 FI 24 班。 and. ユフコ 21 FYIF 47 28 6 0 2 21公园大 F1 +1 池 岩泽 别别 9 -E FI 82 111 411 1/ 沧 0 别别 R 54 711 * 346 \$ 28 74 -訓 3/ 薬 21 及 ユつ 业 2 71 6 2 0 FI 0 5 3/ 11 P 副。 哪 \$ 张 1/ .1 0 28 '> かやら CUIT 郊門 71 2 24 1 と皇叛膏 6 `> 14 07 0 别别 TE 24 TIJI 日本が 6 の子耳器一口 ぼ, 3 4 54 21 * 71 14 る細 54 + :4 FI 0 54 2 `>~ 7 AN. 4 来 :4 14 五 0 ·421 は意 27 2 铝 0 事 1/2 2 + 2 357 338 54 雷 P 2 1/ 5 率 景 de B 28 :4 Ħ 助すといるた第で 나 구 5 運 0 ・シママ P 腦 朋本 不 9 54 く憂鬱で 8 2 石 500 P 沙 H 2 步 0 0 0 派 分競 54 0 不 4 1 學 24 14 M 学 CA 71 薬 2 0 0 974 印而 继 g 劉 Y 手 0 Y N 0 몵 27 14 部 关 勑 24 秋 運 21 823 71 類 のう U 4 4 9 爾 0 0 0 青 黃 五 1/ T R 2 W 游 小色, 果ユ 4 火麻 某 71 0 訓 71 UK `> 娘 小 M 41 番 ¥ 2

驯 學是 おるるのだっとか 物数が イ黒は鬱點して関 0 锦 71 大闘の風獅、緑獅を治する刃草線なる籾色の 21 00004 重駆し、 場してお満 水原は間りおって船帯し、 胃沉亂 刺 大学献法血会习事るものや、 Sti XX XX なるな 一〇日日中車 + 速

出生れ 数力を扱んで用 不愉として運用することを倡置 0 2 するやらびなったのか。李明之(杲)なそれび攻撃を加へるつからで古の競を著し、 0 9 B 6 U 24 るへきとうされる 薬 用るなかの はこの 2 0 200 27 帯の 升 6 4.4 34 これを財動として論であれ、蓋し知縣の別は 知らない 好 しなし、東難の制 中景がた 対悪なる 用法を研究して 事實 71 中景かり 記や薬び 張子味などは輩出する以及んか、 3444 ひろの葉を習りいためたなれかあるは。 心で敵當な して置いたらうとは思れれない。 34 0 宋以数习 24 のなとしたならば、 融入されてなない TI いてころな # 隱它真, 枣 2 21 中 0 薬 0 w W 44 4 此 0 G CL SY. 0 铝 車 7 4 24 X 1/2

魚からなはてつおようは、人の気を命を降しておならは 2 この薬を用るるひは大いい別重を要 はこの意味をいったものだ。 o CA めてはなら 24 中を同様 547 754

で 富章 徒 公本 Tike 寨 21 县 2 且 21 颉 R = 17 2 71 75 刑 MA 21 24 松料 CHIT H 例 蓋と合サア球 + 0 李本 0 .)_ 切の構練】 种 4 間 41 170 0 2 Œ 爺 1 思 Y 1 Ħ 54 新淵 뒢 :17 0 00 7 E 14 雨 0 7 21 THE STREET 2 副用 画 · K 臓師の 录 7 _ IE MM 9 75 0 美 搜 w 北 7 。(王兹斯幣市) Y 76 0 巡 9 7 21 Y21中 Y 計准 MI R 圖 21 9 重 21 SP 括于 兩な末 37 及 MI)到 の事 味 Ŧ 54 刚 不 制 > 2 ff 2 MA 訓 Ë FI 2 M 7/ の間を開業 訓 末 2 110 2 21 XI 2,5 SF 2 2 0 P 育力 門 CA 風家方 2 3// いる間ないで 2 1 州 q X 部 铅 H 強しいいい 0 10 1/ 録を入 2 2. 3 3/7 1 EXE 7 11 别 のつかの皇教を送り新 J. R 運 Ŧ 6 0 R . X (4) MA なって 一元 曲业 21 9 紫末* 一地風 長流 公外 頭末四 14 题 通 辯 + 計 74 >7 Z 7 温温 了、副 + 冰 李 0 1 C H 0 训 湍 液瓦で香 到21 本 帝三十。 打 R 1 R 7 7 奉憲 800 + M 28 PI 迚 H 2 黑 = 386 21 U 間童 末を 目 75 9 V 2 6 7 \$ 50 P 6 5 每 加工フ護 0 显 画 别 樂 21 别 8 07 XIV 7 帮子 スタ € 44. 出了 黑 24 7 4 7掉 7 寸 批 于 到 2 粱 V 洲 2 月 例 + 7 鱂 £1 显 X 不 滥 2 0 6 1 率 掛 :4 24 0 0 2 0

0

○○大聯ニ焼ニ 捆

爽 訓

大뾇、

1 本人 4

0 訓 **派** 大驟 3

2

26

54

24

0

54

はなかの

2

0

3

2

7

CA

Cl

H

2

2

薬

PI

水中

速よつ

共

8

21

打

員

班

東

PI

2

P

からろろけい

54

7

雠

る更真の

8

哥

21

采

頭

0

9

1

H

脠

文化

東 + U 容劃し、喘しい困し得予、 **大** お 署 學 築 び省ユー 24 事, 官林の諸藥を独として人 F1 21 0 5 中を存棄としてある。 习金といえことお世間でお味らな 任 これは野~林と蘇とを同語の遡用することの妙を得かるので、 不黒副龜を沿する天真 朝黙の掛しらかめび全長は がこ が対 がが、 率 9 明公の一 やは 壮州 放うなると治する新金砂糖ひか 31 沈太常 素しア帯圏 54 炒ったものな人が、 東証法智 C 2 0 21 旺 X Feel マルラス 能〉古腎命 記載してある。 f1 る 24 一鼓 学師 54 水 · SA # 李 站 21 速 :4 坦 R 2 鱼 朗

就な多く、下階な跡は到蘇して一種は重当す 黎之田の で前 2 14 A 、ユフ T. 石 水で煎コア駅 觀察 脉 少少 強制の対方の 運 :4 予はその容闘を 器训 は一種の間の間の 中を各加し、 しゅやして者んだが 献お大闘・ 24 泳 57 2 派 率 21 スして不渝 であって 証力いなるのである。 0000 ア治療を耐んで おんとんない 驯 乘 画を囲むの 誠ご、三駅 といる。 元を習色のなるの 晶 書家の 動 でる香む 帯 割り 年 り ア 予の許へ 後ひまれた すると、一服少就な 7 東京の東 するなるも かない **対を消し、** シュマラ 出国 高は、 71K :4 哪 数 素素の 。なくなる 師 阻 8 通 逐以 B 工省 1/ 57 14 2 FI FI Z YY 2 28 21 省

1

£

記れ 311 2 * 7 2 71 YY 20 排 6 [44] 测 游 瀬 W. 0 N 6 21 京北(宣播 bil 水水 淮 E 1 A 6 1/4 田丰 未 4 5/1/4 [44] 輔 味 M 至 际 .)_ 6 7 -1illi 21 不 11 Til :4 뒜 到 0 0 Th 0 米 式11 171 11 重 1/ 號 6 54 2 :17 九帝 大声 (4) 训 雞 中市 All 21 11 4/11 1/ 5/6 0 沙 -6-111 琉 深 别 W 训 . 3 9 温。 湖 All 省! 2 0 1 0 末三兩三兩 3/6 6 ·4 2 2 EU AH XC -17 2 7 6 罪 21 41 スシコ C 湍 别 2 ~ 文 6 -A-14 7 間 SE. いい。 御 0 ユー 别机 胀 。(善野江) 4 0 熟 U 7 2 弧 1. _ 4 54 F. 9 流 + 75 11. 21 21 R 27 Hin 0 7 到 IJ, 14 1/ XI 1-* 末 回 0 1/ 回回 八次 軍人 黑 XII 日日 JE 6 吐 21 2 -17 1 FI 不 0 李 7 未 别 21 7 心黑 出 陽水 鼪 1 8 2 11 R + M 派言 腫 [44 宏 4 F.* 21 Ξ 0 hil 淵 北及 ユフ 2 75 9 强 2 de ないいいい 17 7 :4 三 变 2 うつ 14 驯 黎 0 洲 XC Y. 75 7 搬 なさ XC 21 4 XX 2 图 十餘 1-制 三十 湯ス 74 :4 級 6 斝 2 500 0 我题() 中滿 真物 8 -`` 糊で [44] ¥ 蓉 7 () 继重 1 丰 千 1 2 4 1:1 至 6 21 頂展 星 部 沙 兩 7 い。(漏門 督 でいる。 75 4 21 1 2 療室で 0 6 'Z' 末 21 2 U 1 6 率 来 YZ 8 未 3/4 率 7 :4 2 뛠 る。(千金次) F1 21 邓 0 シャ 湍 鴪 116 不 R + 0 14. 2 1 MA 75 率 番 至 .)_ 野による 学 年 極 7 見 滍 蝴 + 21 71 器(業) 悪言言 546 71 米 21 辜 2/ 47 71 又 目 12 Y 21 排 茴香 食 7 随 de [44] 0 0 0 g 21 0 7 쎑 X B 遁 6 到 俎 古 # 2 8

NI S 及 王 14 毕 \$ Z 6 21 2 2 1k 21 末 C 雨を 談 21 鄉 馐 4 54 0 Zil 運 上 76 白牽中。 040 中 XX 員 1 料 14 では、 j-1 是 1 + # 多额 事 21 测 21 飁 率 # 6 # ギマ 0 别 下る 別す。(普響氏) 虚弦逐び 率 34 田 2 「大棚風」 026 酱 食蔬 2 湍 来 于 邓 浆 好好 劉 i Z 頭 + 21 「脅家で献いずの」 桃口を虫尖を去ら · 一种 和 0 12 4 率 别 0 到21 7/ 뛤 + 眼す。それで話楽の 遥 風かのとされ茶で再 上 対 財 歌 等 伝 る 城 へ る。 . 沛 別 9 剛 71 0. 臺 _ + 生蓋の前馬で その所傷 酒で増下す 九万 川城江十ばび登山城田 0 ある。(南野大) FI 孟 B 21 2 簡 6 FR 7 兩 部に 20 攤 潍 運 重を消す。 逐不 郵 21 3 林 故 文 玄園子のときお再び三十次を 2 The state of the s 回入で默擦し、空心い食 到 74 凝落ない なこり題末 54 が調 14 X 0 1/4 三畿での玄茴香百姓 ○あるおでは、 剩 24 ¥ 画 0 で寄子 爭 种 現す 三十五九龙 X す。(渡力家割大) 「脚業のこの報酬」 緩ご 雞 れなれば つを服す。 凍 つお置いる 2 X 9 鵝 2 7 7 肌を 0 FI 大黄等でな此へる。 一一一一一 行るけれなら対十成で 田豆露三 営る預末 14 别 半と未び 酒で 2~ 緩ご 0 뛤 湯る中 B 紙で 721 (編)。 鰮 0 c(掛口密前計
は) 同ご。 洲 瓤 級 2 6 7 21 ア合おか、 格が言い 末 部 率 車 M 部 が発 到 21級 2 21 54 TI F 6 7 来 14 ンし え食 FI 14 44 21 2 TI 函 4 2 R 2 炒 7 9 q

(二)大鵬二中帝二計小。

(11)紫鯛、胃影。

(10) 康樂へ衝逝、三一一千宮蘇繼へ衝逝、三

網子、地震 なっ 衙 S. 計 斝 14. TIE. 点 陳 果 R 1.4. Fr .2. 3/7 (0 HIL 闽 川のいい。 墨 386 Til 11 河 37 0 网 随 :4 の即題」 Ro 0 tell 3/7 000 1911 £1 11 m 21 Ŧ 圳 6 fill' R T 盟 来 别 計 沙 21 未 1 、つ場湾 -17 [1]] 動 以及 J. 21 * 2 率 班 71/2 (0 2 湍 ~ 11/1/ 君田 7 おと利る。(衛主家費は) **沢で煮造して付いて** 11 2 以子の日本 ける。(今から鑑) 門という 14 IIII 0 54 [11] ~ 21 7 鸑 Z FIFT. '> 8 R 94. 21 X 2 TI 河 2 剛 一年上鄉 3/7 憲ると うし 計 28 不 14. -17 3/7 20 .c Th * 于 17 17 3/4 7 77 公司 滥 那多 のねてつ 瓦拉 五分 はって 24 116 深原 木が 17 外出 MA 7:17 71 輔 鲷 F-これを小黄葉命説 :11 5 21 :4 :17 一点水小 小学 24 奉置 附 别 相 +2 7 4, All All PI 6 50 :4 1,1 111 -17 28 7 門門 别 7 张 41 C. 34 .A. 00年77 2 Y 及業 37 RE 重 W. 、「帰随 高いて 果 A. 11性 * 服して て郷野 21 772 「日本るなるつつ TO R TIJI 1 部部と各末一 (1) 凝 圃 H 重 して未ご ンつ と 運 21 14 4 0 % 11 7 :4 丰 79 核鄉 田川 以八八八 别用 。(王袞琳幣古)。 de No \, 惠力 4 1116 到21 鰮 つな悪場で 0 . ME 本本 绿 2. [44] 間水の砂 治験少は 7 殿台、 潘 鼠 * 000 XC -闽 團 别机 重板 24 -5-胡 大意を表え 图 绿 EF. 陳 70 -17 の一般 6 留 C. 74 21 绿 21 竝 뒜 三次 H : 1/2 . FI 末 ニス 世 0 地 9 24 Ŧ -17 支力 亚 21 17 錢 闻 9 R 日 0 墨墨 通 2 8 奉置 6 MA :4 6 翻 量 41 21 14 2 C 21 =

職の協議意格がCILL)で

温瀬 1 (0) きるが言う 4 は誠れ 71 口口 显 77 ME 21 廵 が一般が > 認 子はない 日 业 C/Y/Y 21 肥 045 鼓 A M ° 子が語なしるかろころるのではいい 28 Y 21 , | | 那 03% 极 財子藥了 壽統 **鄢**女 址 丹 000 弧 * 2 筋財 目 高端(アルチン) 鰺 天險草 38 瀬 が言言 根方 音は 明錄) の方。以子マ 書~ごをか、 7 蠡 311/

盟

直體

班

삘

士

盟

Calystegia Sepium, お月杯(鉱が ひられひるがほ 2 生 2 **卧 學 科** (智下經本) 31/

Br.

到史 値かちぬゆう 9 Yz 基 6 0 All 2 J. 1 日 21 鉄 間 流 から! 7 111 の一般 非計 兩を取ら、添黄 PI 以降らを孫瓦を赤り熱いた土へ雄か、 28 7 6 酥 别机 34 W. 三盟と水で 五 COR 五 年は療せしめてその末一 派 0 (4) 自磅 607 子は嘗てこの 三分してその一分毎以 蓋で洗燥し、 再が結みる。 北 丁 41 た。(清學士本事に) 罗及中 21 FI 118 # (1) 21 A.A. 率 0 日 21 頂 関けらられ 腰部 Y 9 H いる可 自 班 . 9 > 0 2 业 7 A 源 派方 21 21 五 2 并 de

EI

14

2

U

滅六出了激える。(摩斯経

コテの代を歌き込む。

から、真中で

して共華水で調

研末

7

驱 く文を記物スパイ就 × = 2 K Wall.) おもころの治は(C. シストサウト原かる いか、今林神条質 巻や二十二・ 節サテはかといその スゴひとなまし立 を置り、由中國所述 off. 雅 が世日と hederacea, T

0 2 ्वीषी 愈 間 習 2 3/7 7 21 2 21 729 湯 兴 2 it XV ·4 :4 11 採 盤プス分 0 41 S CP H 服 事 XC 6 歌 末二 して川 亸 班 2 中田 砂河 2 噩 工 本事 6 北 R 54 41 辈 鴪 g 0 蝉 Hi 末 五 200 酮 過のおろ .)_ 显 大動ならその瓢血を排 测 上松 5 末次 0 36 显 7 1 るる 體質等を量って加 不 21 歌 2 並 好色 0 4 8 603 とキマツ 2 0 + 線し、 情 置なる 水溢】これは腎血で 6 26 率 一合をボア回んで聞き郊き 攻 寅 發 湍 す。(本事大) イル 空心いる 9 H 龜等 [連進] 14 2 A 味 別 ンハ 7 别 A 2 4 4 7 な来いて 0 となける。(張三年仙大)「愚娥」 0 别 郊 佰 記 薬 9 红 000 取らてして放活ある。その人 9 艘線 2 MI 21 7 沧 いかながら R 「漏」 回んで 溫服 米 2 重 21 [AA] 藥 る。(前指抗) [44 末 Z 耳 hd 撒 0 眯 倒 21 ho 0 七十八 不等一 竹葉で に五丸ご 絜 溪 倒 のが、高門事歴)の(制門事歴) 中谷 が、 縱 幾 日の正更制 'n なくな 7 没事が 7 型 陶空心の 率月 2 v Y 21 恒 2 のア末ご 回 冊散 逐水 目 0 采 兩 置 日 思を食 後は 21 4 71 製血を # * をを hd EE 8 TI 夜霧らし、 通いて 14 習 未 ユー U 54 R 2 = Y 五 21 頭 粼 例 疆 of g 北北 24 21 Pl. 0 多 9 派が 層 # 21 * 2 28 · 29 公 聻 貪 显 74 開 6 24 目 牽 2 2 Z 0 + 目 2 間 洲 9 9 ¥ 率 4 Y 鼎 北 2 5 日 2 0 A 垩 71 Ξ 煮 千 1/ 自 鴪 酃 不 2 溗 94 U

北

置る 7 *F= 14 M :4 队 71 XX H 班 卫 -71 OX 34 ti Vi IE 74 :4 XK 0 8 2 316 PI Y 1 4 न्।। 2 28 UK 0 0 P 1/2 26 7 6 6 1 法 71 凉 SIH. In 2 01 T. 法 71 21 X 2 4 兴 "华 洲 11 71 :4 0 111 2 2 2 R 流 MF CE 731 21 28 SP TE 2 71 2 0 > 11 是 SP D) とで 風 CIR 88 21 10 2 Tay 114 R :4 21 N 学 2 11/ 9 蠹 21 点に 温 0 न्।। 上類 0 1 31: 7 TF 21 24 1 1 Y 54 71 3 M, 0 7 薬 34 洲 111 0 B 9 07 70 71 0 .2. ? (fl) 2 CP 法出 训 とあるは 2 MF U 0 TI FI 0 9 J 11 16 6 24 K 28 0 雷 並 别 1 CA 21 加北 탪 别机 A 7 24 TF 71 到 28 R 2 旧 7 2 實 31 A 2122 那 54 21 通 R H 淵 B 石 2 , ~ 日 E W 别 24 2 75 调 2 2 音。 \$ [1] FI 6 212 M 2 2 部 9 4 五 0

5 9 4 2-Thi 0 孙木 1116 FI ~分流 0 TA 9 1/ 21 Til. '> 14 71 大色》、那 :4 薬 '> TIK 平率 II. 郵

9

.1

7

金洲

4

水北

21

一种

Olly

瑪

TE

大西午北部の田に州画・草蔵の一个日図

のものが。子はは対ない。

31.

37 2 1 0 34 3.70 1/ 21 7 2 妆 北上 Y-1 张 小さり FI 31: H 71 0> そうで D EHI 0 北 排 0 並 14 2 5 4 (0 北京 de B 0 0 は同 -17 8 1 0 並 並 30 -F

(五) 健南, 昭中傳附以南人此。山草謙黃逝人誠健人揖參照。

(四) 玄茨へ本含遊蘇。

DEG.

>

日

調が

71

3

和

7

証

ないても

00

24

Y

薬

水北

2

0

4

54

OH

7

31

于

發

R

W

2

21

11

ना-

`>

o崇 o颜

0 2

\$

2

零

洲

0

洲

60 7

FI

7

1

7

0

3

到

7

排

蘇節

2

AF

0

4

屗

2

U

7

024

7

-

2

P

松

主

21

る語が

豃

71

種

0

薬

上

0

34

0

26

y

かった

14

鼓子

31 村田

孤

2

なる

34

ζ

9

0

黄子

>

Yn

3

到

7

ं नि

響ない。

21

少

2

0

9

Ce

2

A

21

4

1/

21

瓣

71

31

0

'>

日

はの包

34

0

4

1

7

4

CP

2

TI

:4

纽

0

71

0

7

71

规

0 B 2 6 M 育っ 調の水 圓 3 事 1 71 がき M 帯や de 图 de 即沙 de 哥 FI 3 孤 > 日 E O o制

獺 2 S るや 團 21 趣 干 7 21 非常 小腳 想を ~多 0 60 24 が新 驰 IE 0> 記が 21 田沙 開 d R 0 裡 3 15 H 出 0 学初 IF 韓 11 ツ、 0 9 175 Z 沙村 事 事 24 :4 石 即 非 B PI [117 2 A 思 1 FI 剁 2 4 41 9 MI 44 > Z 2 日 X OFF 8 0 B H 2

泉

16

2/4

446

4 V

4 +

無

¥ .4

1

1

×

기셨 0

召 <

+

のこので

₹ <u>€</u> 1

正《见

54 贈 程

13. 旗

温山電

术 E

非

教中

9 24 21 採 貪 PI U 茅 0 6 7 317 7掉 光で 0 2 1/ H 2 :4 峭 0 主 继 根を 71 21 珧 21 H > V 米) 71 北 `> *f1* .晉~ 多? 狄 排 2 豃 131 。北美 21 "嚣" 奉 1-FI 54 0宗 薬 半

34 0 9 0 6 8 學就 0 7 2 童 0 4 採 P 8 Ŧ U 5 0 9 S 1 21 7 盏 21 111 盡 0 1 丑 त्रिव 0 116 . 戮 2 मिट्टी 0 P 7 2 孤 71 0 `> 孤 21 FI 28 2 . 挪 日 可 非 。出

。海 Olig

0

を記される 点 排 清 2. 开 名称 潮 3 07 紅 0 重 (A) 7 :4 ٩ fy 9 到 21 34 郷 1 #1 1 かる かっこう かっこう かっこう かっこう 大 ス ス 水 地域 キンンツ -odef 會中州ルル藻間の 一音出見出《 トイ 我, 圍 各个短下 鹽林掛丹、 egin 圖人海 童知品下下 はなって対は、 ノモー Choisy. 大器典=ハケンツト思ト品ト語 マンニが るが活即もの。 胜 Calystegia .14. 1 * 1 off-Y + 1 H 11 7 11 1: 排 nica, + 進 尹 種人種 ~ OF E 사 뵘 4 nn 1 a nu TH 1/4 C Y 4 4

目草部 腳 本草

查查 R 21 21 7掉 未 2 0 g 10 죞 B びが 歌とことす 6 XI R 2 28 R + 立 5 0 排 .1 16 Ξ 7 9 2 7 8 12 711 14 00 141. 21 2 71 2 黑 75 1/ TA 歌さなっ 糖繁照价堂方 縋 ·4 0 頂 4 誾 見 ○爺 + 34 2. 测 1 铅 -16 五 季 派 1 7 2 0 (利)。 (王壽小 4 肥 XC 1 重活 ユつ 部 PA J 瓣 温み H 0 井 28 兩 111 M 臘 1 34 葵菜,菜菜 誹 Ŧ 0 北上 2 7 All 金子 B H 腳 С 54 初 拉 米 印表 -6-盤 H R 2 All 37 2 9 [44] 0 0 葵 石 2 狱 汗 H ¥ 4 平 晶 いさて 見 21 R 全合之 盟 主 殏 H 0 6 T Z 54 可 見見 洲 王 H 28 0 末 24 IE 酒で Y 車前 狹 千 1 316 例 th 闘 シノつ 証 誤。 歌 27 2. 17/ 金金 1/4 3 0 21 0 **大** なった。 到 B 子 \$ Z 21 II 22

34 ユー THE 2 至 ? 0 王 で、食へるよ gitt 聖 2 H 11 1111 4 2 11 24 7 2 :4 0 0 (I 54 71 8 和 6 0 2 として商打ど 1 1 2 • 用语 7 9 ---2 2/ 2 0 R 0 57 9 54 3 綳 0 Cl 訓补 1 71 2 R 排 7 A 9 到 4 奪 3 -計 :4 孤 CA 24 E. 71 鑙 京 9 旭 珧 U 0 P PI 2 7 24 滑 2 24 14 . 0 6 40 2 71 品 别 54 多う商献を治する 0 > ¥ J (0 Ì (,, 獊 重 ユコ 製ス > V 事 頒 豃 21 ~ 4 綠 21 1 8 7: 阳 ぎる 9 5 21 F U 独

> 1 灭

樑 1

1

秤

私

博

貢

+

H

et lin

制施

歌時

へんん

-6

訓 恶

X

昭二二 0 翻

野響響 八八八

逐

Y

hd

糠

24

:4

4

当

瀜

71

11.

(0

2

2

:4

1000

SY 流

28

]餘

P.

U

日本

17

2~

日三回司

0

9

£1

镇

R

遨

急力

绿

骡

¥

Y- 0

訓

54

F

劉

21

H

歌

場かる

誠意味の

た場合

UR

回網

部を

0

採

罪

4

테

本不

11

2 =

北

彩

到

本二〜海

中和

子

=

T

皿

大驟

0 顶

本下

7 2 0 いる思い 漂 继 0 Ü 2 41 郊 21 體 11 75/24 ルラ瀬蔓の `> Ė OF 0制 Hi

發

全面

1 4 K

深

日

林

+ 114

4

11

ベニャ 1

4 X

×

盂 际 並 で色の 通水 投聞を踵とする。は河衛骨を蘇き、会館を合す人は統 帯原を金す (神会) 狱 4 面でなる。 北 寒焼派除江主蛟はある「不鮮) 9 , ~ 日 はの割 県 7 Ŧ 『つな華ムつい歌 「雑まがは、 0 6 制 雄黄な 服をなど氏語様の主族はあると、議器) 少中 制 7 到 思は 財お卒 ° 果っ 0 原を盆す しし服すれ対難をすい は甘く 習んで激 7 业 1 21 4 JA 规 B 瓣 はいる。 X U 源 V 0 0 なった 0 £ 1 薬

草屋造跡中ニベホニア落井崎寛三○・七、本部諸諸親一十・正次五次の一十・五次

(公) 木材(親)日下

とまな

[数代]ひる

郷 7 9 449 2 以って 3/2 9 41 7 山蓋の 2 7 囫 金棚 71: ,) 日 0 71 R S 31 0 高見置とお全く沈続かるところはな 8 盤 ox 0 珈 0 製が 張 0 X 陶工 20 0 .1 5 1/ 0 FI るとである 2 • 別名としてあるが 0 B 0 学の 顶 0 0 3 **並**當 骐 東公言識の例であて、 0 る辮を 71 がの 9 1 0 7 2 ... 施花 21 忐 F . 54 G 和 71 FI 日 034 當 0 0 B 24 111

f1 0 24 20 2 7 田 XX 21 おかが就當膏を合臍すると色 河 7 ユフ 型 河南河河 2 0 \$ 24 0 かずい たるのもおるか 0 2 17 誠富財と 用途 21 のユフマ M 114 21 きいきの 薬 罪 21 0 34 W 21 北盤 27 石 2

あって、山中がおやはら日ボのものはある。

21 14 溃 ? 単化 自華は悪といる。 FI °24 國智 マユフマス 0 8200 71 21 田 那 2 9 SHI THE CF 4 1/2 重 並 9 いる論 47 Z 0 薬 显 #1 **新** 71 9 並 北 30 31

2

生子

21 智



東解 に繰り日〉、紫蓮もcmo西郊の川谷、又の山の

~~思ノ了正いててをおいい。といてし話ります

现 多 :4 111 瀬 加剛 0 .1 14 R なって #1 7 111 00184A ल्य 2 +1 34 1112 は刻聴となる LY ·---颏 园园17 茶 21 京 これれる Y IE 弘 0 21 まする 鬼後と書いたま 1 O F C制 20

るのでおあるまいは、ラハンを削力、満力の場な。

國 2 21 6 76 話 71 :4 沙 21 子に不 したし本章 2\$ 9 暈 大勢相」とある。 71 24 2 0 2 P や。地 早 4 0 2 記しない 8 21 ¥I 0 34 错 0 臺 なく 逍 7£ 地が `> 日 7 o)题 24

Ce

स्म

製骨となっ」とあるは真のものた。

Campsis chinensis, Voss らいなくないの 以 脉學科 (中經本) 풿 為

木橋よら出り終し入る IE 数

のうせんかいら科(紫波科

沲 **麦華(本**) 女競(頭辮) 数制(廃歎) 数哲(本) 玄霄(蘓恭) 7 繡

高ち捜支引 して上い申れて 木が附著 蔵となるのがは赤く鱧はなれるなわれるのだ。 **醫教**(泉警) **鬼目**(吳九) なるところから刺唇といえ 以警 通

郷 H

(三) 太行山へ石階鹵 石鹸石紡黄し指も見

石族石為黃人是

大行山にあると取らけて 11/2 ずを得た」とあって、 6 方は用るることは至 見い野変は急急にあるものが。 紫蔵の 根であって、 ととされ の変置はれて、一日音が 「株園な(E)大行山の出を重い いいつりのやなつる姓 いれてとは以ばはないとだっ 21 学学 堆 車

0

奇異(

0

2

蛇い異へば、

をい體を

各刻都、文、

21

R 0

懟 掌

名極智」とある

豆豆

21 脈

0

200

2

NK

杂

[44

B

那

更

事後おいてれる本際 話様の薬であって、 紫颜 、人日

"我"日 办大 新黄色しがきる 뒘 HE いずしくは海に 12がよい。 森林 京本 京 出分子高市 £ /= 整銀シ -(-2 日 原奉六二 称 -七種たい

意

n 500 沧 别 21 一盤中か一蓋が煎じアニ回が布 q 班 支書本を酒り登して 【東東部の下血】 玄常沿一兩玄熊和台、水 す。(河)(代致薬薬) 【新路焓水】 明多思的 (背野市) 1 21 到

别 2. 弘 不 0 0 SE. ---7 変書都を未り 加調 OY 和 0 + 採 二星 1 树

薬は岩 子子 Ne S 禁 200 よう血中 でして変である。 :4 XX Ī 2 21 かるま 57 而 3/ 不 11-血熱で風 2 TI 0 及び以 P 2 3 薬 A 図 · ** 諸疾 職が割 透電 0 潮 区区 開 , ~ 目 香乳 主 歌。 歌。 ° 2 21 郊 24 1 2 2 0 發 B 8

及の場を同匹かあると、天町、 C. W. 接 果 Ŧ 31 してないとして 0 1 肌を生する事等 年 新 新 画家が 小 **陸軍を治し、血を取し、** 速 **新**風、 洲 「海風の小部」 沙 禁 1 の糖 華

到

京公面古

が割

(四)大腦ニ墾ニ

漸 茶 Į を変え 21 部を養える。 M. 學 0 fin 1 1 Y. 船 北部 沙城 高级 味 4 th 鼠 到 11 闽 血関 X 嗣誕 哪 源である。 画 M (O) 画 th 部 游 iii 0 画 0 爺麻 8 原 2 画 6 0 毒機 亚 出意 * お気からずして · 韓國 Y 鲫 (避難) 県 M Ŧ ある 颈 彩

0 71: CA 水はる意のなる真の近いけて香を聞いてはなら 9 が骨割す c 自 の 包 を 28 Y 21 の公留 目 誠ない 54 響

(五) 中滅跡へ異。

图。 ,~日攤 富公 、意軸、一日最「しななってな歌」「顧」 高譜は苦く鑢しといび、黄帝は甘し、毒なしといえ。 规 同じ。 、ないてて本事 根を 非 即

20 D では乾 和国" 更い赤く の大き林到当りなる。 大いと で命にい 協かあり 木があるとそれに明 はい まずなったとことをはなる。 体彩 かなるとそのられ 夏から林いかけて歩を聞く。その本は一本の対い十歳来書いて、 林澄江 華華 て長く の子は一 o e of はまる 鄰 2 FI 財お長うしてやおも理絵財のゆうな形で 抜き結え。 34 0 人しく年を紹たる 主き、一本の対が捜対の薬はある、その薬 00 % 0 0 數別 豆の蒸のやらな虱を三か対から のおりがある 2 生のも 3/2 M 3 い五輪を開き、 晋 本 FI 高ち竣・ 雪 現金にの今らず。 颜 21 H 中割とで頭 春成り対法 30 V o N 业 q F\$0 青 岭 21 8 Ŧ FI 6

顶腳 2 6 本の 狱 不北~多 21 ひとててくてが 題や肌 FI 山中对多一生文一人家的 2 X 緣 **応め**お蔓りなって生き、大木り効って耐ひ、 21 TE 34 000 44 中歷 いるなるとれてい 雠 置 色で 2 C お黄赤 S 田 處應 2 U 今は 1 Y 21 o G 公本公 薬 ,) 日 2 0 挫 亚 0節 0 2 γ 82 五 慰

学の事など O铝 0 54 3 あるかられるなけるなけるとなけ 目 1 響置と 刺花 襋 111 2 21 21 UF Z 郊 湖 恶 34.9 阳 Ó 22 食る。 韓 + 37 る人と言う 25 まる状態は潜量とな 巡 W. * :4 9 中棘 孙 # 21 歡 A 0 21 照線 では 調準 7 棘 2 不 2 その子は織り <4 72 Ш 沙 > :4 肌級 童 34 :4 棘脈。 FI 重 名がある。 71 0 2 埿 X 5 . > 盐 岩 日 0 F 24 0

Rosa multiflora, 卡米 将(落) 9 II 1 0 9 ゴ 出写 球學科 出一一题 1 離の音は間(ど)ておう。 響響 い警査

京北を 経ご 7 れを悲羊強 21 浴鄉 垦 120 2 梁 0 7 錢之研 0 2 [K Y 全面なら頭部をつ蔓延 21 えま 沙 温泉 田舎から 0 學學 がは 宜 部次 測 0 17 30 い形人。(掛け整直 2 到支 剧 颐 12 5 8 O 17/ 羽保 1 ている。(南文古) 弧 甲 H 一种 發悶不宝 [44] 0 野日 Y 國河 灣 施黄 通じて 一步或 ~ 1 河河 平阿阿 鵬 H 21 2 ள 新 市 と高いまるでは 麦春北 o 2 11 水 訓 不 71 (新五 溶く が変え 须 包んで無みの # 盟 6 0 别 0 1 北 煎 邓 . 显 M 調 Z 0 まで遺 小小小 +1 歌 網で 7 黎 14 21 蒷 间 21 9 1 愈 7 末 [44] FR 2 2 2 7 2 瀕 井

17 7 、ムつ國 44 世 五 四点ひゃのなし。(で資音竣た) 「全点の属率」玄等式を未びし、所か一銭を肌す。(響導 14 教会から一部会と正品各九首を一頭のす 0 山面子等仓を未びし、一日二回、 全機ない 「嬰兒の降び業な好をの」百日以内の小兒で、姑な~しアロな青~、降玄角 大黄等代を末以し、洋鰡で味して耐モ大のよりし、 20 服空すぶ 再が割んず 一十口をア繋返しア九るる。なう四十九日間繆鷲すれ対禄な財跡する。 の會子におこれを用るて数はあ 過過 服し舉 音るる人は、野育教习《心略勝動式を選 いるない。 たるるいれ たことがある。(普略古) 三畿いつを監督で服し、 ロコ帝水を割んで脳なびなれば、出き出し、 それで見を対けやらいなる。 ○暠門事験でお、 臨川 明合して基が多く舒急のものを域の 「鼻上の階類」王野百一野ホウは、玄臀珠、 支唇形正錢、 よいし、 域日びして財を領~。 いは肌をしておならね。 次業 臭行を出して数はある。 索古家金アお、 が記述 つを研って乳で窓下する。 返お財 各七箇を末りし、二 のりお、玄春が、大蘊葉、 る年を秋めで題を続う、 茶で二盤でいる肌す。 透電の部 【大風歌彩】 寒する R 薬 風廊 · 29 0 ひ続め、 (彩显面 6 . がが 五小 20 54 を ° 9 2

(代) 膨脹へ脳面合う中語。

圞 K 9 争 W 深圳 不 TÜ 工工 导 ٩ 2 SP [4] ना 21 不 河軍 到 林 河 金粉馬 4 际 H 聚 16 置 果 服除玄狼色 班。 J. TR 、て思る画書簿】 必要な 11/ 0 W. SIK SP ना 筹 UH

滹 X 0 淵川 IE 順網 观。哪 果 Ŧ して事事としいめ ている。 基 规 逃 됐

營置、冰部子。 000 20 別様で予制 ツ別す。(聖惠氏) 0 强 翐 盟 4 0 5 树 一級

21

未

文

[44]

間子各

THE

DEC. 绿绿 6 京を記す 、聚 观 1 芸術 > Juli 科 スな温 器 行打 逐级 28 【未解】【八一〉別す 训练 あってよく関するを治す、他の 県 Ŧ 雨す 9 微窓な 及場間 , / 日 0 上黒びた流 SESS SO 21 一等 Billo

「つな筆とつい歌 1 的的

一一一一

洲

1:K

營寶

E

PI 21 21 はイマぞいる (三)南番, 2 Y 0 2 0 92 0 34 24 4 0 0 R 14. 1 4/ 24 1/ 北 塑 1114 小 CP 松 41 1/ III 0 学っ 部 31 #172 FI 0 4 2 2 でを対解見楽 28 28 24 T1 Y 6 50 21 2 酸; 薬 0 7 9 熱點 11 :4 0 大部の方 香源 2 7 24 型 FI 2 記録 54

验. 置〕

> can-(一八番 6 III(泽 子 開 竣 = 人 1 [11] 6 U < II, 1 7 9 < fm 川海 1 7 14 4 罪 h (i R

主流 高 八月 11

11

薬 0 百葉 薬 中子との FI 0 とよてつなるのかの歌目 21 21 組 31 607 图 3 . M 4 少少 東かか 111 21 0 營置 acmを製 間 0 即ち薔薇の子な。 亚 2 7 童 8 制 , | | 0 7 9 麵 P 灵显 21 21 習買 O将 丑 Olli 2 10 2 某 .1 , ~ 日 经验 K 捌 狱 İ 20 0景 01 0 並 8 079 合

净

ン学

71

V do 0 2 £ 0 B 漂 汗。 FI 千 07 の公母 :4 0 B 目 71 池 0 B 1 流 0 到 0 8 (O) 0 B 0 0

田

5

品

R

採

ZAM E

田る田

75軸色

飾

生するものか、春

日う、薔薇お林や谷間などび程

E O

71

薬

2

3

54

廊

>

逦

:4

亚

2

Tay

21

高

q

淑

21

器以

28

6

晉

湖

9

T

2

0

子

9

記る

陳

羽

目

34

到

は黄

から

田

10

71

31

5

開色、

水北 い。説

H

Œ

0

\$ S\$

:4

圏

眯

>

홽

2

0

1

3

1

べ井

证:证

拉王

器 器

青班

U

上遊

71

7

71

王

07

か子を結ぶ。

2

0

P

酥

0

7

0

8

0

冰

绿

7

0

B

0

吳郃

狱

根の

称る。

るない

人目がら

核のやらな。

ア金製子の

の年次

三十

FI

21

科

607

0

1

冰

PI

E

X

:4

アンで薬

和多

深 菜

71

0

B

2

愛玩

で鉄結して

Y

1

14

FI

SAF

細

0

武

FI

21

冰

B

贵

0

31

2

4

酥

躞

0

紫

逐

黄

自

FI

22

D)

ホト国う大きう

、つ音延

21

不

瀴

>

0취1 0 贯 批 14 24 var. mandshurica, Y. やまおまなす (R. davwrica, Fall.) へ大迷へをし 4 **見**婦一滿變齡主班 預蜂告、昭、四、二 聯告、問、四、二 /= 4 「南端州際」 起原 岐 而辛 6 1

川里 4 電電 111 翻當 (3)

微量)姓らよい

かいしんとんなる Rosa chinensis, Jacq. たかいしのろい 出出 时 學 科 目 總總 张 en 用。 率

オない。

支無なら刺泳シス **數**來階鄰日 。人留

CI) 対理日7

中数

ず品が 4 普

良し】(器主氏)

り、報を悉のて何ける。 被じ研・ 「不能部づお、 県 ŧ 菜

黄花のもの

日三回水ツ駅す。(同土 ー
ス
コ

間総騎す [4] 雪女 は は い。 は は り 正 字 二 計 い 正 字 二 計

朋市 日 ---白器で 銭を附二蓋で一蓋り煎し 文 6 かっとう Ξ ガギを一部 おおおこ 日 12 多數21 温き 地を成 小瓜、瓜 薔薇 A 「悪順」 uch Ė 0 錢 歌

图

06

别

目

-

節の

(小子)

部

1-

出とるもの】薔薇珠末

古家は末

一番画の

れ対数を致って出るものが。(再奉福要)

П

--

7

AH

風繋ざい

9

ひな (*)、潜滅豚の末を聲

瓢嚢の出かざる

125 % O

q

Y

21

十一 三 東警衛 腿 MC 12 71 7 白丸三斤を消 M 機大樓 小小 你 0 野醬藥 0 滩 ; 日在意び 21 00 強えるまで面 54 6 級 シフ 别 間煮で R 毒藥 0 0 北高市 COX. 輕 21 2 Q

が開き 27 息 0 調整は一個では、 歌 排 舒 「火火」 瓣 蓄熱力之幾到を添い了題も、「子金む」【随骨の がある。 は熱一錢を未びし、头で鹽房でボワアから期わる。(全めの当) 多新するこれ、 極 シー 100

本草聯目草品

薔薇琳 煎 毢 阊 旦 中 亚 濃く 聞して 恋 TH 歌ら素什を盟めて含み ユコ 那屯 蓄 二銭でのな水で煎じて服す。(普幣は) TI 一种 で前 酒で 重 9 1G 21 A ユー 显 2 出かざるもの 「小鼠の 口部で、 Z 6 あお末び、 雞 ¥4. 基五 根を 長期の ある。(干金代) 薔薇 恐 答談財を風い當し四やらびして土を下る家し、 響 0 しならならるの」書意味の煮汁を館み、 種 盟 事の ° 2 本 派 ٩ 【海渡の囮 0 FI 5¢ 夏却対薬を用 某 21 数 24 11 4 作草を充つて半雨を用る、 支 4 熡 \Box 8 避 21 し。(聖惠古) 0 C. い。(千金大) 麻 B H の無 CA 財力を記 Z 「小見の 身 新干 新五。 代を滅えるをか対 21 冬村 Œ 白 主 ・十星 :4 臺灣運 「小便」 。 一 0 顾 B 0 14 4 ₩ 干** 71 PI (千金九) J. 不 月 28 树 7 鴪 24 少早 歌 0 数 學 7 21 21

暴騰を剝き 電影系 閣場 風熱、 爽源 ° 9 Y 21 i 9 验 田 能~場町の 古方に常て S S 薔薇掛お 2 0 まらせん 循瀬(訊 0 舶 证 衢 營置。 瓣 1/ 40 21 舜 9 , 〉日 FI 6 de O (A 71 緩 能_O 0 2 噩 8 いる生に H 6 鰚 發 7

近躺平三洞、岩本薰,口於與三湖一

昭、四(五六

が記録 至 9

(整数)の(対域)

果寶

る。海然 風熱 [題歌白杰] (頭聯) 孙融之合も 【大胆) 別路を上るる「海谷」 輸前、 、週間 P 祈蟲 小更玄辭 0 79 1/ 叙色、 選

小器麻學、大、

(一)近六三。 ※三一京醫·

黨 \$ 2 107 :4 继 W. 7 0 シフ 7 额 7/ 路然 0 神 たとととかから } W. てる蓮 排 4 III 郑 0 シフ 24 2 71 [11] 6 輔 14:2 54 石 是 T. 0 74 後世 7 是 (0 大器類とも書き M 71 21 71 耳 SY V 五 6 光 R 2

2

当21 始 P 0 いる「そいる」ない 2 26 4/7 71 410.24 軸 0 附著 是 FI 0 247 54 22 で木木 3KE 4; 111 B 海水 7 亦印述子字』 0 とおりに Rig. 1 71 3 THE 447 24 12 0 CB 亦 2 S る治え 21 I 8 4. 4 孙 7 遍 2 21 數·天 苏 (谜)

P

〉回 OFI 0 [對

्री। 照 重 黑 M 青 33% 別線 天瓜 圖 (剛里) 002 11 お緊(す)かある。 白藥 根を 是 一、海 一一一 阳 器站 弧 7 * 隸 極平

B

0

T

木

71

测

指

門に

7

二二

瀜

-ft -111 J. 秋 7/ 36-() 沙泥 lul ca IE 数

Trichosynthes Kiril wii, しなから下らり(海豚) 類與 村 6 4 12 岁 财资料 1111 11 部等 * 變

E 科

Maxim

して でしない は 樹 が はよるというという。 越で飛んいく、 キ、ヤる。二根 以那十下新十二 ふかいこ(T. jap m-7 6 丑(小果ル 1 1= 1 さからかいり 省 4 一次トラントアーがリーストン・出ー 印明 でいく題はアンドのでは、ここへは、日本のでは 日本のでは、日本のでは かいまいん アナナイン ica, Regel.) 日 7 4 二 斯

7

盐

珊

並

数 4 20 H 240 B 24 7 34 で継 1 4 1 题为 쾲 21 验 中 54 逐水水 0 人玄姚 TI あるの いるのあで 田 21 4 いる。とる悪いとびこつ 0 量 北 U 2 000 54

蓋で煮熟 0 芸術を炒 水谷 のを対域内のもの】月季計頭二銭、沈香正銭、 显 大幡魚の頭中以入以ア魚関ツ周~桂ン, 「颠麵」 4 下三銭を細か79 胀 4 彻

ける了時段)

お書いており、重を背す。毒び

£

重

「一はない」とはなって、温いっていまなし、

本がなる。



FI

de

談

心は

がかり

ような小さって

蓄藏

71

薬

...

逦

料

71

-1-

F

月び間

H

2

干薬で輸ん夏

逐

のやこを押し押ひとな題 球 重量 人家アき~珠計 要客 0 邁 `> E O 。制

额

浙 28 不 0 がいる 71 R C 0 3 排 B .1 出 000 の関 古式でお全宿子のませる用のなのがは、外州でお子と願となるひびびれかけて 28 7 、 > 回 排 ね太さ二三 别凡 琳 0 2 联_O 料 2 薬 1 FI ま職らして水で登まして碌を取って用ある。 学 个圖 水之 Ŧ 到 一道 7 財を用るるが AH 几そこれを使用するに :4 R は戦 圓~黄色で気 急人 ° 2 0 審 H TI 次。紫 2 0 の年る即 タブハア料 流 以次 X A . 9 °24 一一 測 果 って曳を去 事 0 剩 8 :4 號放 1/ 继 置 HE FI 8 AL 0

3 2 d 2 6 CZ 0 XC 沛 ユつ 到 Ш 干 游 '> 0 71 M 腳 妆 ち総 し親を 0 2 24 1/ 訊 :4 54 1 徐 6 21 ¥ 7掉 2 14 9 0 21 9 \$ 诋 は現ち機 谜 0 · q 内部の記されば、子が、 能な多うア青泉 24 FI 5 0 21 \$ 年八しをあ 0 R 0 I 24 71 0 誕 表11 って真なれてりま - XX .1 21 色は緑、 計 夏季 7 、く受く圓 お下いば いるな 07 :4 400 三3 图 4 FI de 燈水 排 置 71 71 羽 H 5 ユー 5 1/ 0 71 直 が 联 0 , | | 0 川漂 料 2 24 2 1/2 71 0 Fo All 0 0 0 o親 8 雅 24 B 9 21 5

功用は 一般 ととといるとなるが、 34 085 Ħ :4 倒 数治遺で 黄色いなる。その形幻五圓のものかあり けて用るる。 37 極 根が る同じご

> ÷tr o

> (チ)遊戯ヘエトな

24

5

不

0

B

1

[]

(永編7)

DY

0

雷獎(

でなる。

0

继

0

0

呼んれるのる

TY ST

X

ر.

批び

0

8

つれてとはよる

いるとか

マ神

24

34

Hi

弘

お奉祀の

0

なつる種

不公司

ら新

盟

71

M

瀨

3

17

北

で天

U Z

いいいま

ら虚

自で

なるとない

CA.

FI

排

07

0

N

2

6

溆

间

2

刹

0

7

71

21

湿

*

24

٩

:4

54

7

漩

器

シフ

颜

車

2

绿

31

X

21

弧

法

鄱

干

潚

薬お話風の薬の今そう等 流 0 7 H. FI 24 結實 を様 2 370 6 間 14 水北 21 H 74 0 到 瀬蔓な旧ら 黄 54 一家上が 1 青 FI 21 2 ユな 北 7 と月(4)売竈の 34 **事** 月の雷が 0 B はいいいる 1 . Ξ 9 P 2 0281 全主 1 ¥ 郷 所和 9 2 0 P P ` | |目 X 21 7 应通 0 > 31

教師が着するものは白く置してのと最を割 8 · 日

9 CP 田 2 U 膏が入

9 P 田 9 のやらで薬コダボ 童の歩びをや 状は上瓜 别 24 0 继 大ち二三国よるか 2 7 薌 0 2 6 瀬 2 21 近 0 B 20 、一日音が 2 0 Y 21

六十八八 様の 2 71 0 實 八月財が発 0 9 0 2 生 21 急加 二月 () [] ある。 XX XX たものは毒が 計製は河の盟の川谷、 する 200 21 極ら ガナかで 1 07 日 21 贞 A 間乾 c 卷 は大のおおのか Olff 日 士 翔 26 菲 干~ 海

松テへきから

(四) 木材(潮)日水

ボッ

日本=外でへもなからいますがまる

てる野 井泉 뇀 Regel. (Mr. Artri 蒲 ナトが、其深況 A o 紙 A T. japonien, 11 -(-11 二重大 今熟なニ閥言 四元 て暗籍ペア状 X 4 頭頭 [47] いんといいなかと 乙里 水溜 o E 部 リンが文服 マー局財ニ (ID) 字三 CIID 漸く 人話チ見 = 江 意物。 <

ンドゥ、支紙品へ計 撃掛、計劃丸、計劃子 共ニをなら下ぐじ、 ティニ非、、流へ日、 趣 (五) 以豐人石幣白青 垂 Kirilowii, Maxim. く難ナテンは未み 5 X C 4 뭰 0 4 歪 _ 百 146 **電大小** 活

常十八绪 4.草瓣目草流

源

猫 c 韓 響色 がなる 別。 あるころを酸 文徳上会を未ひし、 拉拉 吐 2000年200日 2000日 2 チュ 21 11 6 一両な融色 4 = 21 R 2% L こして割びの(論をた) 「残なら がは、 华夏 6 411 白黎一畿を加へア熊膏し、 五十 場で駅 却をはさ、つ 7 、江蓮江、 黎 * 0 職不禁惡 Hu 熱熱 近して EII H 阿 国十 水水 FI 一に変に 北京村 H 0 :10 --なる。(英郷江) 線瓜 7 21 韻な盛しなとき取 26 JE q 2,5 一〇名的专门 一〇年の年 7 燃業 當玄虫を去 野るろり 24 21 千大の水 なくな 副間の 75 室等でな人 0 大部分 396 4 の数 括于 阁 置什を登まして襲う並んなもので職 び。(農點簡動で) 【核瀬の 「训燒辣椒」 って題の上で蒸し、 大なる盛瓜変 -歌る歌 M 糊で A 用の書 職して行を絞り、 ユフ 深八 ffi いいのでは、別一種類 研末 全部之 び。(離を大) 第十二、 郵 て海 黎 温 獅及 墨 21 0 を観を調 **蒸船泳**急 2 到 THE 瓣 4 1 郵 27 20 0 9 0 树 茶器 奠 7 宜 干 歌 21 M 2 循 2 12 0

無日はこの意味を理解してあなかったところから「苦、寒は熱を激するのな」 盐 洲 けいコマンひ よと見 6 M 4 1/ 40 372 0 21 1 54 X K 0 W. 東を自立る書ると 걘 24 54 SAN 07 なりいろうとい FI 口遍 7 器 14 0 34 CP 杲 0 B 2 W 泷 Y 24 6 7 2. 1 34 7 28 2

る場場

386

核験を治

物え

X

7

11

鼠

R

飘

ग्री

明織)

P'

26

21

濕

及

圓

頭

山

個問

以

Į

なく品、

-11-

71

洲

, | | |

e 砂

24

碧

ユー

21

派

利

沙

は就ら

0

頂

主

账

目

流

Ш

宣

画

劉

W

TI

1

El

圖

2

सम

Si

7

排

水

7掉

常常

PI

7.8

Ç

1

2

ETH

¥

6

以

Z

0

14

多士

(海部)

6

拟

Z

华

歌

画

北

1

际

多個

4

SP

ना

Z

別以

脉

服论

面

12

る数

1/2 \$ 0 A 寒で B 24 0 γ B # 田 2 54 测 し器息す agh 及 5 4 9 TI R **黎** 7 28 A 2 勑 KA KA 000 1 Ry で新元 P 逐派 200 27 智い出 田 で、意 妳 R 材數 V. いいい 0 B 事 趣 28 F 剛 0 > FI 訓 0.12 21 Ġ, 景 £ 中小 9 2 那 6 36 泉る悪 多等 , | | | 0 FO I 潮 目 。 剛 2 料 0

De 9 悬 ユーフ 8 3 4 6 21 鼠 ? 泉る閣 0 U 深. 级 7 薬 21 並 十 4 拟 :4 0 練 剛 9 2 北 4 県 24 2 FI 0 60 8 0 0 28 8 2 2 2 6 1/ 6 TI TI 刻 なく 9 貅 化之 R P 张 彫な船~緑 盐 及海 2 7 41 6 競ス Q 繆 泉る連 数。 话。 腻。 働 りは 0 1 剛 1 0 FI 醂 嫐 # 71 軍 る明 21 誾 級 撃の P PI 國間 部 27 > 28 科 8 制 訓 1 FI 41 Z 24 4 <u>A</u> 41 石 日 R M 0 。 章 。 章 2 張 H 0 6 型 1 0 P 0 鼠 24 0 29 Vi 0 8 鱼 紙が :4 B P ćά सेता 4 2 發 腦黑 24 ンつ FI 0

薬 晡

一個</l>一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個< ヨリ天がはたツ 車田瓦喜一九三昭二に一つナ六。 娥 拇 4 からかいろう 日 1 東 けいいよ 14 さんなも * ~ 10 £ 曹多 軽 £ 部

木草聯口

松

で子て な新 スない M 涯 YE 2 圆 6 R 21 ~ 别 瀬 75 1116 返を避しておならは。(聖惠市) 「機械の 2 训 0 十九いい 回びる 及び減 6個 M 0 及 科 21期 7 千大 類 M 6 7 21 캮 料 副 記しる hd このほって が新 X. 班 は、大 &E Y 正三のりてい 出数サーストを留を 一 のなのとはおい変ががは 21/2/1 糊で 1 勢分が末 一級第一 東東東 大計數一當から魔を切って眯かり附み、 服する。 排 21 發驗 哪 54 出 承級 XF 7 0 米滑かばり二二十上からの玄照も、(おまむ) 「幽中の 组 緑行を大 4 るなる種類 75 来 百年のの元と自衛と下で二年の業別も、二回の合 不 班 0 肌す。(學裏次) 語子式 の年以及 21 同部のア連名 談談 ---得」 加重の のまなながの 14 学一圏、つ **林節入金を入外ア合慰し、** はして イフ権が 神 1/4 お調し、 開係に強いば上める。 蓋を冠ぎ、蓋人で見入して着を大のて 템비 2 九筒を高で十 템 し、神妙風〉、や測は光野 河 15 \$ C) 大加養を醸き去って午を加り、 际 心脈が一 中 大瓜雙置 高潮 つ量準21 る近りし。(科文領大) 風から背び着ので部み、 71 + 發機の態點する711 し。(仲景金割次) 1 神る I 21 念名の思熱して越す。 1/ 0 意識を失える 21 り、蜜中合、 效極 16 影 日日 朋友 4119 華 9 XC 21 (A 1 がなが 9 治す。 H 27 图 2 ์ ว 點局 16 54 6 0 劉 選 1 不 MI 张 量 2 = 訓 -11

Y こ門令前へ二字 0 相下 6 淵 -湖

张学子学 = 46 調 飁 アニオノ こ 0 次

(こう大曜ニニ十次

0

訓

訓

二雄二

こ三大製

十五九 (き) 大曜三 のべま

繋ない 水常常 五十九、つつを食浴 蜜で ある男子お二十歳かるの家び解り、これを服して激きた。 間宣即 香。 \$ E 21 来 狠 「角酢の鞍燥」前端の大き研のア膏、 CA 班 漸 F 0 21 2 剛 击 [0] 曹州 いい。 糧 石 末 八しく窓 黄
功
変
の
方
可
声 数はあったなられ出める。(圏) n 富を顧の 2 ーユフロ 条據し合して 個人で調 凾 へ下割み容化す。(丹翁小当) 青黨等允多兩末人 加運に一両、 一事ユム て禅 討數五十 7 21 現満してもい画出することをあり、 来 14 寒食磯で味して滑いし、 南正十箇多約6、杏ゴ二十一箇多丸尖を去り、 2 贈 74 動物 7 月露不剛か長體は動分の対が、 兩を蓋代で利いな酵隣で部子大の 【御塾で核加の山をぬをの】 核棘 **計學質を読を去って常じて一両** 、江薫山、 逐端 スパー日二目、水と 服す。 諞 電で 大いこと 割い。(中窓の当) 公司 間を独え。 なって数 **ざ道風 3 気し剛しアー 爾 圧盤 3 末 3 し** Y 1 31 鎹いつる温水で 肌す。(聖惠氏) 12盤91 この方を用るて 兩個流 アワきな子を 別す。(鎧用除膏主
大) 食る。 痰刺し、 中 学 「対断の弦雑】 24 21 が数白部で TI 6 7 日毎 夜熱 9 M 喇 21 闊 日三回, 地 學問 薬~ 21 0 るる間 置 る。一部 74 1/4 亡[私人の 表子: 表子: 瓜蓮 (A) Z 0 Ċ 7 「酒飯 # な音の 経じ 2 樓 (謝玄九) 亞 21 ່າ 。国人 21 训 9

數

は神経 红 の一個 歪 > 源 ユー 14. MC N K TI TI かに 2 8 部 y R R 24 0 :4 北京村 いるという 6 3. 不 21 21 頂 Ш 省自ら人 。(湖支次) 8 以及 冬冬 杏コダ丸尖を注いアニナばな人 0 17 MA 透规 9 地 2. 、つか シュ 眯 いない 图 I 米 M 9 雕 FI 口 28 :4 2 6 常等が来来 最小で駅 新 XII H 類 14 SR MA 3 0 别 U 顶 不 薬 科 21 学 Y 館で MA C 2 4 0 恩 0 [1] 4 FI 務内下できを恐つて様み TI TI 2 0 米 整五錢、 ALE * 24 机机 4 不 る。 21 2 0 9 % -6 > 整治力) (4) 0 11 July. C. 74. 91 IJ M 111 XX 通 したし 貝 早 2 不 7 三次 不 . () 夜童る。 H FR 1 1 2 :4 --VI 9 0 1 3/4 FI 0 0 1,1 溢 0 ---0 1/ B S. S. 新 +1 圆 21 21 .1 0 7 मिन 多て福 A. 54 温 羽 砂 CA -K-20 黄瓜葉 1 P. 原 H Ξ :4 21 2 7 21 酥 21 U 闣 75 .1 0 複級及る 냝 をかられる。 ·fr 熟 是 CE 班 1 0 4 シス 別 7. H H 21 21 0 7 鰛 * Ġ 及 問 日 9 -M 显 de 地间 2 6 业 R R H きったる 生活動のまたる 國 薬 0 ()量() 1 14 3/ M-H THE THE .2 0 いると 2 並 到 不 攤 脚 31 回合み願い。 Sigh 一号 江江 现 坚 Mu 派、 7 扩 0 雙边, 園 号る 7 哥 湿 21 2 > がぶず。(武五郡該下) して未 域一、 霏 50 4 、おり 9 Ξ 6 14. 道 子 71 证 W H 不 日 科 54 他 FR 2 初後式) 調訊 # 野 4 淫 間是。 0 7 0 :4 量 2 St. 加 R 王 3.8% シャ 20 ¥ 利, 19 未 21 ; 24 形 0 置 2 圞 9 21 地 2 4 [44]

57 到 別す。 回 子幽 青瓜蓮子割り 正更随黄色の砂を以下して 2 防大卿の一人の 6 (4事を)。ならる、 が州のある 鉱人ならこの はざ朝受して 激えな。 (4事を) はる。 更 日日 小產 「殿路し棚添するもの」九月、十月7八縣した藍藤賀の職を切って遠葛禄を料当、 1 21 下器コスパア樹火ア砂焼し、末ゴして食祭と琉璃街とゴニ銭でつる都勝い温下 Y 心显 、日子な士 十大からな米滑かりすの る者 9 お夢を配置して思いて当を存して形ら 重 大なる廃瓜糞一 酿 1 流 あて数 2 000 勲さ、 を替し研って二銭つつを整階で服し、重しのあるま 火毒を出して未びし、それを一頭として監督で頭す。 式は上い同じ。 置を断一蓋で形のアカ **| 時暑はこの式を治療が用** 関熱で 箇を成び 【正色八麻】 明治黄いなるお 流寒却び肌す。 村數 「潛黃貮熟」 自禁末一兩を入れ了哥子大のよびし、 【别風下血】 12一盤、このを酒で肌す。(普響氏) 「小兒の黄郎」 **録でいる水半蓋アナ伝い煎り、** 州なるの歌のとき、 黄材數 をうなっまる 医している (音楽な) 1000 (野童童)。4 閣)則 EA (京字経圏斑蝶)。こるぼり 息 ना 别 HII 0 2 瓜葉 雕 M 沧 惠大) 市 米耀ふい 立立 37 71 造し。よ 7 21 FI 、つ母る科 瑶 が義) 21 [歷 'n 量とこ · 9 扭 ひとな 8 6 0 0 (宏宗) 賑す 錢 餐水 阃 1 21 7 W 器 未 2

魏

たる中國特の中で。中では天城海、下港天州道 館の船へ事 寒であらて、 0 く類な S ST 沙里 2 感し。 0 Pl 1/ 北 藥 UK C! III して適當の 薬お 水 がついる 城は、 薬 帰りか 極し。 糠 0 科 頸 21 のとなる別 微し苦~ 游 走 34 0 事務を通し行るするの 対數財打験劉のものア・ H 4 い甘っ、 FI しなく思くず 事がな不思す 戦歩は、 ※日~, 一一一 21 料 7 1000年 泉日~、 11/2 60 鼠 運っ 2 競 O.XII 林殿、 FI C計

処の頭色を剝色、 變 (画文)【本訳文前談の選牒、氏斉玄句、氏年玄郎 が郷は 、準则 日縣を味証す「眼鏡」「熊和朝珠を治し、小脚を蔵し、 口殿色、和 中学衰江、 唇粒色 虚を補し、 面階が黄色ひなら、 **副滿大燒**。 調を排し、 重でも뾉 、對身格思 音響を消し、 V P 爾熱 、瀬岸 県 重を上 少中 Į 計 昌 1/

0 点面と対す 党添を思れ 潮中、分置る置導 ははは刺となる。 、~日とで 规 逃

はいて呼びして解布で徹 日海ゴラの水を強へア四江日で邓出し、 о С Ш ユフ淳丁明 その十を置まして被を取り、 ゆって水が数し、 'n

五

館で で第)。 6 别 .C. 鼠 熟 7

小田子

冬び財を採って曳を去り、

拯

同意では、

天亦徐 以 剩 뫴

致 6 三銭ご 8 Ce H 自三回 2 薬 0 2 G CK 'n 末12 毒散を服して 文章 權 科 划 0 ふえる 7 FI 肌を脳管でして 21 9 24 U 距 21 打 + 画 7 54 0 渊 ちたか R 旌 画 1/ 0 園 0

3.51 機池 36 群 書外下の封して疾済する。(聖小道中極時) 「場跡智証」 る。(樹丸新降草鍋市) 変え 二末二大兩を灩鞴う間 一一箇を打碎ら 材數 數子 # 源 科 张 画 歌 4

減」黄い り、対数はある。(本种南永鮮氏) [風 毒の物 重 繭式) 別す 蘇わざまび # で順じ いて未び 黄堇正錢含水 東を鳴 TI 国 21 点。 R il

淵 2 雠 W. 發背 【諸郷の 鵴 からの(子は配 温服 21 回 日 及 16 ___ 2 0 子 Z 基 動 q

M

第21 ç 16 6 10 流出 2 28 ユつ Y 21 21 た A 國月 して見と共び間を合せて張る。これに 置なよう観色 製 科 孈 子 雠 (1) 鑑しな服 0 北 适 しているでして 集職方 H

21回 ロンフ 江丁里 並べ対して香しく炒り、 瓜蓮子を磨し部ひ、 0 B CA 田〇田

图 :17 **宣**系令。 おより。(胸互市級人互は) 显 114 眯 20 窗を子を取 2 いと色お財子用の 數置 科 训 6 图 St CA 2 4 脚す 0 本 圆 剛 かい顔して (海風流) 7 2 CA

> 却 11 11 字二人 = こち、大鵬 11 念末 非

崩 21 4.4 科 SK 料 TH 21 0 双 1 21 :4 える。(初後大) 6 大遇と、 2 7 里 3.1 ζ 2 「田中の部子派 | 三級 别 弘 \$ UK R 總 黄づける 0 し、角かおかとを 通 验 器 -6 6 21 到內 > 0 2 1 北 7 「小鼠(墨 で 哪 34 滩 THE 6 最み 9 测 20 业 T Y 9 X 弘 五 54 PI ÙA 21 なつ I 部 भिर्म 4 変み 4 Yn 熊十二合き取 霜 6 7 0000 脚方 1 -别 0 がてその 源 を特種 游川 扛 SA. + PI Z, 顚 21 「小鼠の 31 淵 THIS . 21 力 A 融行六合弦 野)。の 4 目 7 3.4 9 Y 到支 救病 动性 4 膝 2 \$ 神 三之 はは XC 0 丰11 2. し。(胡粉市) る。(本草豪室) 排 逃 Y 主之 制市 1/4 0 . 別す。(全校心鑑) 和和 化之 9 數 H 游 郊木 UE 0 生林 4 1/ 1 0 10 量 副 24 0 るが高い 47 <u>C</u>. 21 71 0 1 THE ×4 贞 淵 排 是不知 21 惠市) 4 為于 10 账 24 71 一小小姐是 6 7 重 加生 AH 2 羽 21 臘落間で煎じて三 基 M 。(電影 (電)。 簡大) 三元 24 糠 A :4 2 1 -籽 球 H 2 亚 2 U 9 6 事)。 な黄 發死 とない。 小 排行 All 随 重 6 1/2 6 图 糠 别 する治験 州 2 6 古 FI 合誠。 7 4 F7 料 8 回 ~ 别 绿 T. 鰮 2 3 で記 000 7 で意じ 是得了 五 V 2 到京方の 沧 X 远露 3 一般? 6 目 日 +1 * 自打 Z, . 沙之 H 法 9 不 CA Q 真置」 通 水 順 題 スな A 排 6 。(小臺M要) ZA 次市 不 21 7.Fr 哥 錢 14 21 0 發 扩 倒 卧 # 弧火 0 (永難九) ? 谻 到 い渡ら 8 錢 Z > 来 B 麵 シャ 京京 數財 厠 1/ 狱 Z 21 6 1/ 園 糠 逐 园

7 背景淡流 h 7 サムモノ 上八十 + 活 酮 (三〇)水 쁿 图图

100 宜 藥。 虚祭 合麻キャ田である。 -4 帝子 で百合麻 整滅退行 む大麻

数者で小さ

下去方。

0

更到

おを潤し

部へ思な山め

21

独

理である。

(O)

圆

TI

生する

Z

まれ

· 是

ただその味が

學者は、

既社の盟

· 2

このないらるなの間を見る

2

4

7

索

29

5

5t 32

こる際い研究をしてあなかの

[H]

114

なるあ

2

6

1

41

24

0

根於也必是

大林

FI

計秘治で

千金九の

一一一

二十星

4

सिव

2 21 MI 21 はその葉を製 Y 【割寒貮點】 **詩歌時三兩字水圧作了一代幻紫刈ら、二回以伝服する。繁め** 别 乳質 16 素 2 兩を未び Ti 1 21 排 薬 SA TE 林野 7 市水一心 题一水、 圣比十三将罐料用 SASA 濾過 三十大いて玄葵門を弱う別す。 **城、黄**重三 排 跳 食前 9 242 **下壶**大 なっさ 地 日二回 惠色 式やといっき水が溶して

肌す。 していると水二代で煮な行を合して着み、 持數 取出して X おでは、 明中 ~ 聖第一 スない 日水を強 0 三十丸ご 6 0 P 室で帯下大の水ゴし、 〇代臺郷要でお、 母子しを目 2 44 同二日一 最か 日日 至 删中 敵意び烽び。 री द्रा 7 淡竹麵 水 7 いて食えれるしい +17 21 q れと製酒で でき末コン、 淳つ 9 平 19 0 物を粉しが 題二 両さ 陋 4 21 子るなる る場 番 上 煮取り、 窗 뫺 1 60 2 2 杰 F 2 Y 0 T 墨 34 獊 -14

> 訓 = 16

この大脚ニ

常十万鸯 本草縣日草思

丁

雷

0

1

この土瓜のことではな

2

0

B

0 酥

0

肥

9

FI

専数はや

X

24

0

B

0

酥

0

阳

FI

2

ひれる

Thladiantha dubia, Bunge. おおかかるいり 17 际粤标 (本谿中品) M

株(茜瀬株)

(n

6

170 園の音が電(へた)か 月令17 、 〇 日 。 随 馬龜剛四 公公體 圖經 一型干 老器瓜 丽姑草 **厚數** 目 幽 虁 理協加 信金 本經) 赤雪子(衍養) 土瓜瓜 7 盐

はいっといとはるはといるのだのは正 一土瓜の似て 此でなるなるといると野気と和 た意にとないる。対するは、衝猟 11/1 出 · H (E · 22

, ,(2)

降野自身の全な上面 高調となける。 を計算の 南野の生は いなれている」との X 京九」とあり、 不 M)

高明の注意を要する るるところを見ると、恵瓜といん B 2 同名のものは掛け多いから 一十八といってあるは、 非新 爾那二人 のは割

○示來不し學条へ品○下下來不○下下♥を○然か○登舎へ給來の (三) 対州へて消夷石 (指) 現州へ金船殿 開かる 三瓜ノ 王瓜へ といれるなれてい **ホテ來 ツ を し へ 霑** 温へテくへ一を外に そうりくかかれが umeroides, Maxim.) Trichosanthes cuc-黄花卡 ニハ剤シス。 四年不少本 11 441 # 1= +

粱 亚

丰 27 制 0 21 た女はこの献 水水 4 法 F0 10 及 食る。 20 绿 7 M-ユー X た。(周密齊東世語) 養業 割 米指汁で で懸え 28 Y 21 繪 中 H + 57 2

别

ないと

0 間 非 B 計が 24 Ŧ 9 Y 21 图 0 崠 金や 4 12 子 2。(指示克神 验 田 y 44 草 PI 目 24 0 狱 ~ 图回 運 = 21 每 间 日 21 F f1 71 軍 4

Z 2 患部 部 水 2 孙 排 重 數 科 9 蓼 0 2 B .1 CA 計製歩ば島 田 まる。(京当祖労市)【智瀬の 【悪順 「形態の TF すの(簡別大) 同帯は 派 别 淡薑器で 船色、 透 21 र्ग 公 1 不 選

0 十九六十 七八 21 74 0 X 语子, 2 糊 X 7 雨な末び 林本。 顾 hd からできたが、一門書郷各四 绿 7/ ¥

则

X

排

響

茶る。(普幣大)

2~

鵬

2

3/4

7

21

末

Zx CG

歲少

悬

(A)

3

X

【暴潛

则

[1] [1] [1]

馬納奇。

CI 1.) 天郎へ

のの変 2~ 睛 語で 7 21 半 R 4 恙 否 1/ 流 排 糠 科 . 71 <u>C</u>. 4 0 文篇 料 0 0 0 調 2 0 题 21

派 ユつ 酥 2 鼠 果 12 ÷ Hill E 誹 2 4.则 9 漩 2. 显 早る 排 糠 科 71 2 涨 貢 0 罪 里 飾 似 0 重。

等那 * 2 经 = [/-2 弘 .1 弘 説 A 不 1 排 0 [44] 蟖 6 AH 科 基本 ユコ 0 R 數 頂 科 2 111 XC 0 0 (0 製 12 れば野離とな 图 2 畿 生 別す。(李州南永鮮次) FI 须 A 0 別する 重 湛 スコ 94 FI 1 Z U 6 4 2 で二銭で 41 沧 酒 7 71 强 未 0 8 歌 地 ンつ 0 7 6 21 女 野

nd Ind

T 目草部 本草聯口

M

7 4 71 FI 2 HI · 3 21 狱 E M 71 9 于 24 00 7 <u>C</u>. 21 2 部、部 認服 晋 11 0 农 THE 71 学が、 Sto SON 1/ a ha は淡く 54 ¿I 恶 17 なるでなった 北 6 0 SAM. XII 0 9 1111 TI 1 7 24 내 11 夏 MI 光間光間光 39 :4 、一、 0 語 敖 26 0 S B · PR 0 FI 71 S 誾 P 0 7 21 闻 单 0 IE 2 :4 は説い 07 酥 B P1 0 9 2 U 小花子 4 3 亚 Z 7 1/ 2 7 F. 0 0 0 2 B 排 避 :4 2 1/ 盟 纽 0 類 21 到 2 14 科 21 で黄色の ら憲 H 34 法 5 まま de H Ξ 0 0 . H 王 器 R 54 正21 留" FI 0 .1 分 1/ 继 [] \ '> H 浕 TH 0 日 7 7 71 2 71 ¥ 9 21 FFO. C针 6 班 薬 1 0 猫 2 掌 日

71 39 H 0 먮 24 21 24 A 遊 4 0 82 21 はいいるとよう `> 14 1 间つ 0 5 do 排 梨 0 綳 部は 節 排 0 2 部 मं 6 24 が続い 4 2 71 2 0 1-珧 8 0 4 0 W 0 太岩 9 H 干 憑 9 03 長二十江 印 9 :4 狠 1/ 61 07 21 非 X 另 to To 26. 冰 Z 和 亚 こつ 7 意 次 2 獲 + 0 霊 三月 重 TI TI 乖 財 王 十十 及 * 至三 24 2 く登へ , ~ 日 21 54 0 cg 锁 狠 CBE 0 2 71 多 8 6 杀 4 黄

う親 21 とそとは 4 :4 0 甘 8 0 `> 4 Ù 园 :4 71 [4] 21 潔 1 武武 以 0 到 TIT 颈 重重 那 でる。温光間で 肃 1 おで 14 1 2 張割との大 世 54 米 纽 0 14 排 于 :4 9 FI 0 B 江瓜 0

返は、

ゆうけんら上加し合わけとかいえば、王の幸を用のたみわは呼らない。

震すれ知色は赤りなら、駅は喜んで食え。

は電子は似て、

NON

東方面の

服の

その妹が上臭い臭家はある、その實は瓜が倒しるる。

抽

聖人却公公議と

本のきかあるところから、

757

一枚の薬

。 ているこれ

源加

2

地黄

FI

28

2

°24

0

の苗を婆婆被と知んと夫部一階のゆうなる

されで俗い赤電

陳である。 正月黄色の許玄関を、 ボの下び

歌水到との下

る端れ、 ラの下

自生

は書う、 AF 0 これを土瓜財といる。 ると多いる 財打賞び似ア聯~ 魚をれば赤しなる。

業も試験の薬が似て、canによる場でなり、 四月苗は土まア蔓は延め , | | | o紫

心訓

.1 0 :4 Y 行の小はゴスパる分わず、大次の薬ゴお人がな 57 子お焼すると赤っなり、 ついる『お遊籍はれて』てしまけるある『る子生成王 7 種などな難 0 土瓜お屋瀬の髪り その財お單 用 C 24 月命の 『四 21至 21 3 , ~ 日 24 74 TI 音。 瑯 1 FI 鄭立

金が手 五次人家の 計財の間び 田 000 採って創造 渊 月財が 菲

やし山東省 。 中學/

71

十四

, 日

0部

9 म 2 国 土瓜財、改藥、 28 こ玄別す。(中景金園は)【動人の へる。(千金古) 6 兩を未びし、 XC FI Pl Y 【序书不丁】土瓜琳玄末 かゆのである。(相参古)【耳聾の灸去】 點入六十四班を中七到之間ら取 2 漿 U 12 4 XC 2 金り、またされを形 0 YII 1 明られはといなる。 息 重 21 Ξ 回就不 THE AN 1/2 21 21 11 土瓜財流は主族はある。 沙球 16 末 [m] 21 秋水 制料 殿小 HL 1/ 兩一件 2 弘 び判目日 土瓜 4 0 £1 9 排 0 温 動 M-R 土瓜 O HON 新香 Ų, 江風口る。(相勢正) かとう 根公 薬 -1 2 夫録かちへ 排 + 1 いそうし 通 東総子を酌り録して二両、 運 十二二 十四班之獸 いでから、我で七世念する。 酒でかれています。 Y こと別す。(母力素なた) Y 通 大さの 通 一月八二回あるいは、 녜 面を形の 1 Y 9 下するものである。(内童神芸)【商 にし、日三回、つい 现色人们 の民ぼ規(ぎ)、中三名音 14 の鄙敦) 名人る。(初勢武) 肌す。(南北査鑑) 派() 光绿人を使るゆうび IG IG 217 緩び 54 兩 解えず 21 7,4 20 明っ 酒で一 電話各三兩を未 返は窓が 同い。 内院を塞 白石間二 道 裏 Y 大家 21 汛 洲 方は上に PI 筆 71 TAY 2 28 誾 日 中 話び 級及 及 21 0 阿 7 運 黨 0 开 扛 6 · PR E 疆 C Y 題が **劉** 晶 2 吓 **独** 0 腥 朋友 > 獄 额 網 日 習 なる 豆 M 2 11 2

> キャート 中日 遊 非 峚 雅斯 き、大盟 100千 小小。

5

000 地お川藤 満コしア食えば 財を取ら 抜拾しア 和f 和f Ŧ 24

好湖 类 「天行機 水 ° 24 28 重 B ンつ 蓮 C 2 1/ 漸 日~、小毒也 【小鼠の鈴黄】土瓜珠の土の融行三合玄與へア現ます。 田るもの ÷ 图 器袖を容易切合衆し乗ぬ 21 [7] 於語 公南公 頻數 駅で (1) した館を治す「明経) 下するものであると演器) (N) なら黄水が 县 M の風小、て上る小屋 「諸酥の邪蘇」 場の器 洲 果 o q 21 逐調 土瓜財行一小代玄早障以監銀する。五子節以小頭、 Ŧ 4 立 活満、 馬骨で晾 瀬日~、 (細字)【中郷え遺 「黄重の黒~鯵」なもの」 6 ` 帥 別職 観人の帯下、ct2不動。 , 和 示さ 雅 2 調を 金品で出る 一部で 12 쁿 馬の子 ,那 不不 な業 0 汁は 熊やを取って少しいの 気を益し、 (Q) 4 B うつ 2 9 、幸豐」 から取り 中 P 寒 71 **規骨** 間 圖 圃 顶 酸核。 留血を強す。 なし。(雑飯園器) 、つ是 [八明] 0 0 新七。 2 北熱しか 黒さる 11 寒熱 (A) 本を 、王星 0 ना 1 0 0 ना 规 び薬(44 では、 回 TESSON 宇宙が 酒黄麻で 开 图 題 回以上心理 · 24 溗 4 文 遞 A 能~人人 H q 滅ご、 树 됐 揪 际 2 逊 5.加 热 R B 0 2

題沿

一等 溗

(子) 閃雜(二 こう部でいた E

潵

M

E

000

腎電で

0

分を出

0

洲

阿拉

0

沿影

(X)0 %

那

世

ときま

CA

田

El

14

(六) 八赌三(机粉武)

18 +

画

へ大小 悪 88年 多。

常十八绪

2 -11-0 9 次 Ce 的ち今の喜様のことで、世間でいつれる蒸して食えそのものた。 H 方多って筋に少く いて日光で乾して 社 A た大なるものほどよし、それを越る 2 0 水水 は立派立派 0 (四) 園園地大のよ Ċ SD南東 深~人 、一日音的 0 2 4 21 中干 FI 2

宋ニ麴ス。今し江西子育静瀬河南ニ姑知て

CID南狼へ音、擂客、

館を見

不能指別石人

E

CD対山へ斯へ飛谷、

意味力の一致山の山谷の土をついて、田田はる珠のと観路する。 ののは、今日に終い日へ、 斓 菲

0 ·/ 意地お呼らず 黄元の一

題な食人大酵の草の内の一種ななら面露といえ。 高の字は島の字 照級 黄币 明織 草気を付けたもので、同じ養骨が。 鹿響 (極本) 7 盐

· 〇日 〇年

空心3二銭を無対函ア駅す。(東部た)【大型下血】王瓜一兩多割へア当を补し、

室で語子大の広びし、

意味が黄色本の一、黄色の一、黄色の一、

兩

※対う三十次
は対す
に
計算
は
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
<p

Tueraria triloba, Makino.

17

时 學 科

(四中經本) 算(n)

まる特(童林

開寶の葛磯文制が入る

E

数

つな監督が現す。(衛主義費は)【現血で新ひかの】赤部見を敷いて地をがして研

で終こ

21

品へ元來草本ニアライシャーへ瀬本やア 対理日フ、シャ 人支那, 晦絕, 日本计 い、其並し大十い戸 し、「直際人と三七二 出入 スルチ し か て 其別新出でアル

る。川

ffi

回十五 验 经 茶、歩お酌か三幾いの多朋す。 20 個を捨じ ○アロを開かサン末3し、一日二回、西ア一畿を現す。(集論氏) 【赤目予献み端さか 「流骨の新彎」馬雪見子玄松 0 & 2 Q 21 放蘇朝 黒電鼠とお**智**階瓜 'n 谷び王瓜と知えをのる割りア末びし、 海食数コニ三両を割む。 少不 大いち範は到とか小ちう圓う陳の 電見上 赤 | 藤 | 2 巻 会 ま ま り し 、 がしてい 間流 馬電見ば鄧火の上か割 食物比溶析>。 糠 科 器 然を強するものを食んことを思い。 每食後、 頭風」 【附斟滑水】墨瓜珍到玄法心、 q 棒 14 0 順ち半発子を

常して

四両と

末びし、 橋花を 洲 別 額び置いな知識の、 【凤肾加食】 赤電訊 胃強未二鍵を入り下層で 多くなる。(代発薬薬) 日光で館し、 いる
耐
か
肌
す
。
(十
薬
術
書
) シ 月び釈の 難きいお、 徐万。 21 0 で鑑える。(奥惠市) FFF 方緒 なるよう種 立 惠肉 -1-4 がある 7 則 九千 秋 とでい 树 华文 Z 6 0 21 画

「生で用さればん」 赤白麻を恰すプス 源加 以 剛剛 Į 一一一 てつな輩ューに立 [文胄山食](和经) が制港 砂つて用られ 「一部~常り」 (離離) 黄献さ治す。 数方ある 规 一番書い主 渌 いつが駆 £

のののででである。

-6-

4

体(親)目

*

深、下 (株)

班薬

141

31: 派 21 所需葛線とはこれを はの意 ¥ 巡 71 Th 直 + 0 排 巡 R 2 7 0 瀬 で熟 Hu . 未の > 71 溫 24 日 9四里 本經(6) E 12 て導つ ご問 「葛線とは實のことだ」とい 月び森る。 てつな幸上つい 升である 酮 その形は 75 十つあって M いい。 址 0 が調が 、て幸い今井」 45. SP FI 24 はを生で配 和 五 0 . 71 1 寸 7 紫 71 瀬 11/ 规 ्य द 0 1 , 日 型 14 16 F1 0 行 \$ 24 器 3 TO 0 Z 24 到 球 0 林 图 FI q 6 园 21 1/ 1

爴 明 からで 뱝 2 9 14 り、その子は緑色で品た 6 > P 皇 21 形 27 兴 71 城 圓 Y 0 調米調米 否 ンつ TI 黄 () 1/ 薬 2 FI 0 0 9 鏺 苏茨 :4 P 本 0 2 \$ 凡 24 71 はまり M 5 7 。公司 7 de 0 FI 0 .1 薬 \$136 P 紫 71 0 8 FI 沙 de 0

.1 至 た遺をば > 目 その長く延れ 71 김규 W 5 添 71 部 ものと様若するものとあって、 14 FI 继 0 9 6 21 桃 14 9 織 意示を 少事 間 裏いお理 त्ति 2 N 54% , 日 21 絲 一家 2. 中部 6 加

糕 비비 9 FI de 地方でか 南東 (名) 有例, 生喜味を煮焼して菓子び作のて賣ってある。 X

(4) 大曜二古儿惠字下 100 古州《金路金八十二十八年》 120 南安八山草) 湖南大山 120 南安八山草) 湖南 120 山草) 120 山草

34

たが薬としては思はしくな 24

0

7 晋[その球の土中江六七位の 9 ·4 200 华 深沙 0 24 72 · q A 4 0 2002 れば人を出 温 5 七南西北 葛は毒を係うといよことにはな これを服す 葛黎 21 ころは意思となけるもので 巡 * 00 P シママ `> 0 通 日

TI 小さうして 生まア瀬を引き、 21 城の形形 中干 ° 0 4 :4 本な難てつ接る紙に時十の日王月五。次色黒紫くつなどは鷽の手を大 Q Q :4 料 出 2 宜北 茶 21 02 ्री 林菜 3 いか S M 本に切り 寅 シー 4 FI 4 薬 一般了多一部刀 被衆色で調豆の · 20 海に 、紫色で、 ć I, あるが はる。しまとは 20 f1 1/ 累 21 21 溜 X R 用港 到 _ 71 4 は長さ 7 >X02280 0 , 1 日 賣 計 TA TA 07

水子なる · 2025 零 るべる 主蓋心量な人外ア独もびひろ大を妙 0 って献き撒らし、 118 粉 。〉黒ス 題 人體は るとはないまではなると P 公子 밁 生富多如 · CK U 11 24 > 740 浙ハ 21 井 冬季 B 9 74 源人たれ 21 :4 おでは、 21 5 出市 ユつ 劉 2 A 国 は く く 21 場で、地域の () る。 登完 身入し了色流 VY 21 が温泉 H 京み # かい食べ。 のとなり 及 , | | 绿 ? 2 まるま o景。 o颜 W 2 G るべ U Y 21

X

24

1/

71

山

21

#

智

鄉

21

なる

県州へ同治がし、指・見 藝 石船石 **編録**/ 響派へ

量 瀕 OE 京 省 M (a) 黨

24 0 B 職を替す しア反下強 表面, 一つら一般

0 野パパをのゴね、

喜財代編

高生のゴね、

喜財代編

影を用る

これならぬ 日がは臨の 小子融談の , 〈日 憲。

TIL 21 P P 9 :4 16 14 2 FI Y 21 飅 0 71 ffil KI 2 H 号 CAL. 200 題 するやらなるの 薬 箭 ffii 2 0 nil-2 H Car FI n 1 0 はな 歩さ 2 00 16 これは大副から ~寒写兴 及鄉 21 04 6 ç 雪 2 恋行場を用らべきで 反と那 なから川のなといよの して頭部す **減 親を旧き込んアー家を動** 盤 e cy 2 FI 咖 FI 兴涩 剛 21 28 2 Syl はるまての川をれてもて湯 TYYY と割み終目なるいけ 対場の 2 CA 0 924 P 2 の合献を治する財 西圏はる 小 おしては この神法大闘の薬 生子るもの ある高 かる別 競子はてユフ q 中風が q る事 0 \$ CA て滅が 14 Hi まなできるでするかず、財産本養事料肌 0 子るが :4 Hil 智 2 2 のなく湯 Carl A AH 太 0 71 似 及 0 P J るないろろ ス細 排 21 里(21 景治 2 1 嗇 米が ¥ `> 高か 54 5 1999 喇 0 Z4 000 日 涯 張 16 い願み器 X 2 C举 21 0 0 3 U 14 100 CA 0 21 9 9 颈 薬 Y ç

のい當地語といえばある。それ 24 0 B 54 C 田 R 湄 張仲景は謝寒を治する以用のたか 2 4 發 が証 瓡 7 渊 及加 2 6 P , ~ 日 54 城 CIN Ŧ 21

燵

FI

21 7 込の額が 五月五日の中部 がかれる 主喜の副行る角めり監訴の發展を興す。 金額を報じて血を濁の要薬である。 TI た財を育びしたもの 1000日 H 0 AI

る。 明のさ 食物を浴 2¥ 田 0 思 FI ある】(議器)【後にして 1/ 惡大の刻割び Z 小別を献い 蒸して食へ灯酒毒を消す 高品の割な署す】(大阪) 【理路、田田、 し、熱等 画籤を治し、胃を間を、 2 6 丹石を廻 出る上 [班头, 血味を止る。 「轡火玄強でる」「和谷」 G. 2 表を發 用るる方が妙 耐熱を去 小見の熊部を省す「開賽」 逐于 あらゆる薬毒を発す」できたり【生のものは出を置し、 、つ思る迅酸 7 行家の 7 珋 コイフコ 瀬る風 ス M X をな未びして働わる」(熱恭) 一家に 御け、 動 整 一 绿 と上める「明経) 7 へ対験食を働っても削えば。 不 贈 いる。 脉 部 行 を 植 る 対 が 頭漸 國 通を 4 0 (三種) 画 ¥ 風新, 中 瀬市 P のる一般で 「割寒 4 下る別 0 る筆風 9 育品 と感じ H (本歴) 爐 . H 島州を 21 つ排 (1) (1) を食 金額 **参** U £ CP

2 的效ある薬で

0

疆 ※三ン四、路間、 以黃色點晶對附置+ 含1.0 火牆、留、二(三)一 o /s へれら 子中本 (八)大盟二 Al all ^

国家を助し、諸毒を解

連出するもの、 器車、

県

Ŧ

命對本亦醫

雞親

日本がす

城 10

く然、水中ニ

TI TI 1/ 「韓東の繋山」主書の萬十一小蓋を服して陸赤深を去る。(聖 28 味し 下立る。 (皆盟食器 .1 17 71 光で栗米半代を一家水が多して瀬出したものと 7 9 6 疎 须 0 4 CA 養盛して頸補が豚して食え、(金魯の麓) 【小鼠の機器】八し>11をぬび 别 弘 B 加来 なりが下せ 验 [熱毒下血] 别 水化 二合で、 服する。立ろり熟まる。(電 2 +6 59 班 0 0 21 通 AL J は高いました 悬料 XC M 兆 三子 不 到 THE 派やス代か二十万道 下が出て強える。 题 葛琳の 1/ 三別で山生る。(聖惠氏) -16 M し、鰊角で -14 くと。(聖恵北) -16: お食師かある。富裕 6 一〇岁四五 排 (a) が服 COL 1 催 土萬の萬行年代玄前 アガヤとごつ 战脉 FI . 9 あるともな同子に十階を加 24 大蓋、短一合玄六代习頭コ、寄玄法のア代別する。 河の画は 東京 21 344)面/ け入れてそれを重場で 14 391 -16 6 あす点 8 る。(遠軸法) 米館 急に黄を殺す 别 红 型 不长 、空川る州山 別す。(聖惠氏) 116 命食後の 事 中當の龍 [YY 下生的2月 H MI 11 [1] 水北 排 0 国 4 葛彩 城水 2 2 ¥1 る。(調安常舗製織) T 到 FI 魙 0 ~ 寅 顚 J. 21 0 H Ty る。(胡添古) 5点 熱病 你 文 CA 9 2 (OI)(E) 北京 市 ㈱ XC 2 6 134 が減 6 海 戮 R A 順 [44] 别 疑 寒酵要) 7 2 淵 湖市 排 3 ·H 3/ 北北 惠市) > 1111 心館) 71 目 别机 排 武 置 59 Ŧ 雪 FI

(共)大聯二六二計20

7 常十八番 盟處目繼京水 竟葛はその家は陣容であって、

, 〉日

肌熱を解し、

X

調の記述 薬 二い近 nt 37 Z 上富州 **応聴り頭離し内燥、を覺を** 主意財を形容して島 醫師が対呼服法でかな。 半代び煮取のア駅す。 T1 21 小龍の 行制家のすべてを乗ぬ報じてあるは、 北熱する 喜蝌四兩、水二代以茲一代含人外、 「嫂酥の割寒」 「悪頭」 高語 深下。 大か割し。(割寒醸要) 工十星 ざ那のア天 なるのはは、 4 彻 4

結果が は、差し調黄なるものお太副の谿の薬で乗び間の谿が入る。間お気手さ生るものが。 その主として入 葛琳の屬沙』 意味なるものお製明の難の薬で乗り刺の難び入る。質も肌肉を主るものす。 發散するのがが、 *漏 本草の十層の鑑り「轉割置き去るものか」 いる連帯であるい 2 CP C 2 17 6 薬は 雷21 ら見て、この二地の 素打蚤水 源 のとてる

中衙 派 表の 酒を解するか二 。公里 期胃 龜級の野崽を治する 聖藥 かんる。 回づ おるとよるとは 新珍の出了難きかの玄難するは 、〜撃ひゅつ海 動あって、 170 21 田 瓤 5 = 4 微する 。田。 とで 《秋 0 發

胃の気を鼓録し、上行して卑叛を生する

顺料料 郎 料草様で nd 下子を

豐 中風 風へ中身不斷。 (二半)山南、國章 11個人指手見三。 こら通路

(卑惠大)

通血 O 泉ス 画 がこが風寒、副 1 。つな撃とつに駆いつ非形 盂 W W 2 U de 6 財お葛の し / 明 V 江河 00 は除ける 狱 6 21 鄅 不 薬 事 0 生子る。 Y 遊葛(計畫) 9 21中 主数沿南 こき山南、ころ麹 21 % 高級高級 搿 彻 0 逃

6

当で、今年 服で数が 2 6 业色, はい。 Ξ U 以来を はして點けれ 葛蔓を成り熱き、一銭を附か駅す。 調へて薄け 27 、ム田 水で 葛蔓を対対熱き、一字を降行か 21中 葛蔓を対り割を、 見の四一 4 海回はどのものが 吹乳 「三型部子の体膜」 0 Y 的な食へのひは 歌 熱 口 一、 ある。(徳主見育氏) 【小鼠の 4 おめず、 144 金九)

(经申 消す

なり

4 쌔

<

业 Œ 回

研ってはすとを水で肌する。意悲 號台 F1 21 殿車車 るない

观

以 以 £ Ŧ 菜 蔓

【金章の血山めび繋んで削わる】(明経) 面を対んでを踏む 県 ひ末ひして南で駅す。

末と共

£ 門に。 黎(12 和 当

是你

?掉

小豆花の

く日音が

「酒を治す」、明経)

QE SE

[國風下血] 海

°CA

智

21

0

B

0

X

頂

滩 7 X R B で電子 0 い行動を多り別しア 合ざ水三蓋 0 0 朋市 21 PI 0 排 54 9 B 铝 28 [44] 57 & 掌 S Z 4 十歲日上の 取して f1 7掉 4 FI 人引勉乃公割報】 测 0 17/ ·N 部 o N PI 女 排 7掉 \equiv 21 计多的 別 效果 電電 P 當鄉 ともマツ 漸含込び。 于艺人九 は煎じア 主意作二代を消 や難 家息職をんとするいは、 皇才 FI A 「不麻 21 A 14/1 12 g (智頭の変献) 主喜妹を聞んで作を 9 FI 74 お歌き込む。(響惠t) 「割,又却 「薬の肌も監答」 岩関するひお、 (報(11) キマツみ 21 のマユフマ イン・ 県 12年本地で 1 お煎丁了行を服す。(相紙で)【酌箱の調めぬと色】 7掉 21 1E Į 和 34 o N ユつ 追州一 。 空 吐 田 ° 【つな筆へつい止 7 「猫玄獣や六出血」
葛珠の獣竹玄墳 極いい。 明中 圖 土高州二千の 道 6 中毒を解 率を去りア分 ストにいる指揮を調べて 7 画 狂亂 # 「金鼠の 0 21 で出 「華中 熱 (報館) 終する 数は頭の(三)(真示動除式) 11 q ける。(外臺極要) る。(研浚市) す。(初後大) (子金式) 【こる)諸薬の 6 M 口 12 规 脚る幸風」 某 0 21 别 煮た敷料で渋 源 16 未 シック 别 2~ SP 師力 Z 14 軍 म Z 富幾 (細字) が調 煮作 2 2 4 鵬 鲱 寅 图 U 0 2

常鄉大器

驟 ○四 次 章 市

=

鄑

こり三部職へ一

= **机**缀次

○■シス曜一

が引

回沙。

44 藤下ニ こし、大曜 k :6 \$

2 R 不 De 9 子の子 71 涨 2 于 林人 6 0 82 FI Y 部學 (動育から 脉 のそぞう 2 ~ 太常 07 0 B ? の回路 9 .2 ٩ :4 14 9 C 146 CA 0 北北北 82 是开 調 2 Tal Her 引して 匹の大帝か切職もひ 28 21 X 34 0 、正うがを食べている。 1 0 江 14 B 27年 71 图 2 黃麗 0 がが 机剂 それが真の黄頭だ。 2 Ġ はら葛の 0 de 0 3/ はや 計 排 9 當 41 0 4 神 9 子と 0 P 1 1-1. 亚 71 7 子子 N 21 0 24 鴪 B

、ロハイ量源をはてお Til 9 21 るやけ 梨川 0 丞 0 8 FI 20 0 27 8 9 1 7 盐 はあるいは 抹 2 21 11 田泽 0 8 de alt 21 M 8 清河 Z AF. 1/2 मिह 0 28 7 (E) 0 24 N 2 2 '> 21 6 继 H 1/

(谣

酒 M. [蚩

0 CA 74 ム田 水面の容色 魚隣は大小となりみな H. U.F.

沿

21

4

水ないさ

説を、

藤木で

ユフ

思到なばる

24

0

B

1

54

の高い

34

0

6

齑

21

週

X

71

逐

0

.1

54

0

B

9

8

2.

[型

神

藏

2

0

B

1/

业

24

まれるこ

2

C.

田

21

金

多以深以到

41

運場に

歌はたが

軍

, | |日

验 0 -1-1 1/ 沼 噩 11/4 > 21 疆 71 OX 28 之 邻 . :4 3 1 27 が調 -31 3 0 嫜 4 21 U 2 远信 °24 4 0 2 FI 9 P

> 1へ水路 甘靄 回 金八話を (M)

金部个 調 く指き見

来黄 祟 21 珮 都 盈 0 2 f1 潮 :4 証 21 Ç dr 0 曹 車 9 FI de 2 B 21 7 त्व く日舎がので

0 6 璵 21 \$ の脚 車 2 0 P :4 班 0 縱 お黄色で、 揪 0 月財を採る。

24 2 五赤色か高も二月割当引 6 正月圓い實を結え。 陰粒 2 6 なる 月城, Ξ 薬
习養自
めの
竹は
出る。 まする。 本事 二月雷光 山谷河 0 095 郡 죒 イの蹶子日 、黄野お門 湯さる 本 > ア大き) FI 日 21 語 黄 0 죒 圓 IE .1 翘 71 日 薬 非 9

一等 OUR

0

24 0 24 4 到 **夏** となるとろろん ハマタ C

する言葉で

がる。 图 0 延 城とおし

2

歳萬なる名がある。 羅, ら黄野へ利えのシ Sign 25 G

> 謎。 王 E 别是 月 罪 < 淵 1 红 您 班 带

1限八寸千大千根, = 4 小本毒 11 0434 75 当人 即な薬が状じ蘇まい 0 杂上 ort 1 2 下陈七苏菠丁 心根, サイボ 風景大部 かん は かん ない 新へ マ 強 面 入 、 で ふ 子本 44 ~ 11 共 1 蠸 1 た安。 消費× 其 和一个 厚× (葉・マテド 44 h 小原 3/1 11 十五元級なナヤキト西央で書いて、「マナさ小いのマナや別して

里

果是

城北

主殿、見普)

事本

流

测

*

大統

本經經

変泉(

7

盐

料

4

弘 岁岁

は無に

無未ま

麻學科

щ

不 郷 水

證

5 造

0

Q

という

0

温

0

滥

贵

明

部下

HH HH

T

7

2

1/

澒 は

K

447

() 2 9 FI

de

がが、

21

图

5

:4

0

京

0

2

345

44

1

圓

色下

が黄

物は薬

02

· 〈 日

F)

0制

雷本本

更變

一、新

肥

)0

2

37

原数子 ない

Z

×

阳 5 de 24 0 4 4/7 0 间 回マリ 71 實 のさなろ 20 4 24 41 財は首本割とず 插 FI 继 7 2 0 71 P 京 21 0 2 剛 M . :4 0 2 P P で車といする は宗章と名 n 7 京 2 4 船 亚 旦 翅 21

3 と名け ができ FI 2 T 21 京山 0 京 9

お百幣と各 上上 21 平 草 . と名け O.

事 北名5万万万は無不 西番び 新ア お 天 門 冬 と よ り いれると対量のよう 21 田中 *] Lil

、 は安子墨GD支援は乙世に号単GD。す は総 须 12 1 四多 Alt 返れ 12

[X

など願練 ___ FI 21 T 14 事 ある。

『門冬、一名満冬』 21 果 9 P ? 描瀬襲久 21 脈 無するい、 , > 日 C展 萬歲職

と、自然 天林 師師 **颜林** 本総 顯革 慶の音は門(チン)かある。 臺冬 7 盐

桥(百合杯 (n 6) 弘

Lindl. Asparagus lucidus, ~さかそかいら 岁 財學科 明于 本窓 門冬 X

(E)大攤=食ニョン。 (E)木書ニ音ニョン。 京動イベ裕陽制 イベやく割取り し高班を能大な。 批 **6**00大 17/1 TE

日

宋の本草ひなかられを外総しなか 渠 :4. 0 8 黄色の 計量の 部限 おぼく同じ 0 い金市る 而るい割、 郡 は色調 24 開花 「黄野 果舎い所鑑い基で籍 0 71 **財童な** 21 あるる。南子界級 0千0 い黄暖 , 〉 日 E E. 37 :4 0 纠

6

即や古 山 草 蘇 深

神 神

9

* T

は電 大寒コレア小毒はり。と下日〉 黄帝, 。 中市 , ~ 日 ○晁 「りな事とついす 0 乾薑を悪む 品舗は苦しといる。 て墨 识日 规 表表: 塗 の公里 o G 計 あとなっ 駅で 12 2 799 資本が選ばれば 語 遺

校逝寒燒玄稅~人本 【蠱語、公里」、思想の形派は爛中习るるとの。 以 Ŧ

= 問 心 醚 -河 加速

【上旅う念するもの、又なあるめる形を治す】(連聯) 動法际して素数 剩 配が第七万 な融索へ

1/

服す

を水で煎じて

でで、競圧

7

黄野の妹を晒し食

画

水

寐

4

彻

金

する一種で

を利

(瀬量川墨)。とも

1/

小割を消

「歌物さ台

剪

雪

(4) 品流。

県

Į

【もる書小しての選びしま

和

沙

【苦酌で刺って塗れ灯館林の蛟はある人は最り

鉄す」(明経) 原因子 不 サーシュー動

3 整 香 香 之 二 不 又 又 、 、

2 0 0 > Ш 34 1/ 21 1 0 数な 次子学 :4 4/4 [ije 316 排 71 28 3 * -[m] 那 しき R 0 -14/1 追 4 30 9 FI 2 で型 [4] 10 4 2 5 料 2 0 到化了京殿及る 9 いっつ 0 게 :4 10 R 2 P 2 11 (iik THE 5 34 22 111 棘 20 71 7 \$ 酥 婵 GA -0 (P) 21 4.1 1/ 少 2 F 71 21 6 0 Tin/ 继 \$ C. 4 北の部では 17 酥 多で (1) 71 71 酥 묘 21 [H 凝 0 克 X 酥 5. . = .F1 0 28 2 0 2 煜 C 0 2 8 ~ 景なる > 27 34 H 8 44 会児豊 24 4 剔 部 2 2

of 1/ 0 X 21 2 24 R 0 0 8 2 0 W がずず CP 21 酥 0 H 0 2 92 北 2 到時 ---28 P 2 村 0 21 21 50% 0 0 4 1/1 .F1 溫 活 5 .1 7 P de 0 7 世 (1) ~ 調を誤 7 陈 7 54 0 5 21 洲 X TI 9 +1 0 -34 =1 2 28 0 P 26 不 X 8 0 1/ C 2 III 11k 0 TI 2 2 1 0 34 大大 2 111 5 TI 14 (1) 54 総部 0 1 0 0 . 34 1/2 1 恐らっは門 8 :4 00 批批 のうる 34 (1) 郷を記べるこの 74-76 12 (1) 21 B 4.4 8 54 7 沿 2 [m] ful 7.11 Th 6 :4 2 0 30 21 EI 顶 2 0 *f1* M 1/ B 不 財 J. F. 28 34 9 FI 8 0 2 3 7 2 28 ふなるかの 41 京 24 1 6 de 2 7 2 7 20 圏駅マ 兴. 34 2 02 11. 24 THE 0 0 R Y 30 2 弧 [11] 71 P 2> 21 (1) 须 54 21 21 0 基 114 4 7 证 卧 学 即 21 シャ FI 4 5 7 14 24 U FI 0 录 2 號 5体 9 排 YJ 0 7 3.00 及 De 28 개분 0 1 银 2 44 2 2 0 旦

(共) 歌イへ置色へに 解やトト。(二〇)端へ 手蹄師、高市。

·1%

重

3

. 1

7

神

顶

1X

2

411

がいる。

習んなおのが出

0

薬

2

某

0

\$ 02 P

京が

逝

21

間

0

驱

13

天 北北 天 () 国 FI 日 21 H 罕 Œ 47 9 旗 (0) 張華 東京が のやの中へ 生で薬び 章 8 **耐我の薬練**37 事 * 1 褲 FI 排 14 14 ポス。 でで :4 0000 0 到 4 月黑 池〇 + ンス FR 0 間

排 エタエ 高地の 今は急遽いあるが、 原名である。 立。 幸高と加泰山の · > 日 音 引O

七月 三川、 生する。 門をおびる高の山谷ひ ¥ `> 0 2 日 東京事 21 部。 2 0 東を採り 锤 淮 月 51 7 V

墨 おから治する功力とお願る首都と同じところから首都とかな るる ユーマを回るいさ 0 :24 21 0 54 爾雅 7 がいる。 · 44372 総入 五 識立とは営費の笛の 24 Z 57 級 걛 派派と、 944 小の 5 8 9 7 P 器是 5 0 41 2 0 11

あった 清 谷の門と書くこの草は遺ん煮るもので、近 2 21 0 お婆羅 那 B M il. 棘とないる。 M X 21 俗い萬識瀬、 \$ 棘方 X 変は 那米 2 TI いいからで 效認本草び である。 045 い薬が 草の煮る状態を驚といる。 21 る多川 眯 0 71 我一步 草 (D) ¥ 0 21 S 和近 郊 TI 教門をと同じた。 なって とはその音が C 2027 珍白台 と天 ्री 棘 54 4 顚 願

0 41 放立治するた その逼別を混同してはならない。とある 71 4 ÝÍ 2 0 B 54 131 その出は い思らばい 3 一語つ 2 Q 11 早期 FI 21 服愈 :4 & P 34 T1

> G Æ 7 木材(銀)日か 旗 即今市場二出》入 5 へへとかった 省 (公) 悉高 11 四

本草縣目草沿

が無い 2 これを料加したなられ、以ろんを法も、時本贈を用る、時未染を焚 の高さび いア更以火を添へア蒸し、耐土二月 らの上い難いて異なして用るる。 富麗な~習る打 つ業 , | 日 間 0 鄠 。 で出 c補 *

世のい一般というを共 日〉、二、二、七、八月以財を採り、素しつ曳を除去り、 。との出して強縮 o)到

ではな

00

門をを採取したならば、蒸して曳を脱ぎ去る。これを 間はあってはき難いから 南との 刺 神と 棘 動風がよいといふことがは、しんしそれお事實真の 今は一殿り首を棘 いる。暴済しアドやおも間 変ね水で残ってようなよし。 0 甘美で順き山めるよ て警 作って用る 21 * 県 び罪 () 1/1 剩 爺51 PI П 之業 食へ 小小 嫍

生育治師れる。 :42 U 治さら

日う、首は主きなとき、ゆれら天動の終して鉄部するはよし、千を満いても 服するけば掛いやら 散で あお強いし、全大行を取ってCub 面の前の下眼するは、 0887 つひいっ c (A 。制

34

一种

狱

財が長く、地び苦は多く 山中主部が入ったときお、これを蒸し煮て食へ対験負を濁き得る。 原香しいるのを上等品とす 乙以多明宣中以为一原多不名し名る政化打高る法, 薬が解い難いとして一般と黄い 水。 が作子び 「富地は主じ、 家の臭いものおこれが大り。 水の近新の別触り担え、 ° 24 のない時を () () 国部国 000 28

ころで番い その他は別 0 は形がな お南のものは 基が減似してあない。 まく 1 2444 がか

一置~置 長さお二三十分の大御れてのる。一様以十本、二十本主きてのる財を 大きく 変お黄素

強力

では

まかず

で

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が<br 高報び最ら別る百階の財と別なるのが。(1)名中び畜するものお棄法 一、日はいまでする。その地は白色

後以北京 Sis R 0 北を著れ、また黄色のもの、全た紫色 なれれ葉は緑谷のやうで解しして強ってある。 三米の その子お珠の対の表が著っちのか。 の国目の 夏晰 の子が結ぶる 、ユロ学をのない 0 24 冬と名けるもの 林黑 14 2 0 陳 Feel 0 St of B 天 B 2

28

0

0

文命 まれる歌 高さ 献立ある。 大ち銭到 東京を耐いがある の 春生きア瀬いなり、 たるないできず動めて尖のア麻いは、 34 12 \$ 5 \$ 5 1 處應 薬 , ~ 日 いるなるこ 。函

(11)省中へ名賜制式

家

、一般を少りははほかの主に時間 限は既を内今うりもるものけ。対り放金山のるり立たり数は 、つ脚る盤 多の母のさ れを年の太劉幻人のア献を掛り、 更对全公里の心刻以入り、智玄数し、元玄旭也, 葵門をお、 C 変を省するよのであって、 門冬は、 X ユフに標 天門冬む、 X 到1 · 日 P 数を止い 小が降 o黨 o選 024

00元素日〉、害却以下體血を断し、甘却以下元派を明わ、全穴血の支行するを治す、元素日〉、苦却以下體血を断し、甘却以下元派を明わ、全穴血の支行するを治す、 御を気して上原盟別するを治 2 A 海及 肺效 07 7 4 . 4. い東らかない。 幼の寒をものお服用を禁する。 ダ海河 とは用ててるまなれて 前原を料金し、 弘化 · ~ ut 背蓋が 門冬の特 34 ¥ 54 FI 外ン 28

21

御いと然を合する四果白を大なものなは、その現は苦り、野り恵らびし , ~ 日 ○宗○憲

凉

こ門大鵬三燃ドラ 引い。

ないて 随題を白っなるし TI 天門をおおりして船と様すのいい江動で焼するび 並とするおよし。これを服すれば老妻を切害, , ~ 日 一颗 此黄を味しア H 發 o EA

IIIL

P

54 到し、劉玄嶽 > し、金玄潜し、火玄劉市 】 和舎) 【楊事不掛ひねこれを置び別下さ

よし」「思選)

體

(1号)大曜二五十嶋市い。

本草聯目草語 第十八勢 ユ

販を消 弘 腎原な証 なたる。人人〉朋をい为長쁿を贈りし、家tな金益し、天中な延い、順会ない』、本難) 制 流で食へ (雑説人人民子芸の衛火、英語の面一の下編み、アにか強く日子豆 風機の颠闘を去る人大門の「心旅で劉元遠ら、心治離れ、弱して増伸を殺し近 で海で 「精錬の園しい風暴で偏重するもの。骨髓を題くして温を發し、 6 正職を彫むし、江袋、上傷で出血するものを飾し、物を合し、 して語く補 き製して関すことを扱み、以下は残して新ひものび主族にある」(母音) 暴祉を合するコカ人しく頭するはよし。 熊玄銀~。 「棚の麻を料金し、寒焼を去り、肌膚を養ひ、小風を除す。命び ラ叶文職、はたのまるなに正文職で奏順。受悟冒場 「日本子」 中海 7 21 名下る常 点場点 、保護をひ 核遊 以 が問題が 拟 沙 £ 0 ·q 闹

10) 0 闘中の到でおって、下の大烈 からい。 て食 あとなる。 調の の。既な日う、天門冬を那しなともお難魚を食えころを禁下る。 真母心 34 大歌 北黄, 0 6 て非 はいる。 少割の難の原公式人を藥である。 公下日〉、 社次、 添り載~地幻草~ まだ は が は が ま が つな準よつに主 した場合いお、本代で踊す。 。い去してととしたまい。 て是 一品で 规 は寒 掌 1kg マな巣 中ユ 民 沫

q 2 琳 天がまるでのの一人大きなでのの一人大門をあるの 76 Y は記す 74 0 系製人 【那贪书】 察十四。 、三星 4 彻

いからである 000 p 脉 Z (A) 7 쾖 .

· 调 到 f. > 田 172 10年 圖 21 쾖 2 この物は性寒にして かかるか 21 公學了 · grot 歠 子 部 日 胃の鼠窓の人は人しきい瓦のアラパのみざ單 37 ユー 24 天門冬を釘のアー旦落さな歯は再次 21 _ 公田 2 0 那 ぶと金するる 21 21 門をを服してこの 华北京 新春等公多末 验 種の 200 累 必予別骨を試み、国つて配換を殺するものす。 ホス大かるはは、 2. T 水 ¥ · Similar 油 X 21 . 71 7 X 甜 火を降 74 0 大寒 FI 4 数補の上数 21 0 一人原 を変 一流分子は、 なっなった う場を悪 盂 智の味を通するのかある。 947 训 0 20 34 いる 多話 てはし 21動 87 54 元が Z Field THY 54 14 7 X うるか有数な。 . .F1 24 0 , ~ 日 · 日 P 28 五 2 6 、おこつ :4 c瀏 歪 别 事 FOO. 百餘 スコ ्या 了1 1 眯 12

総網 别 日四十〇四十二四日 ユつ H <u>[,]</u> 21 75 2 0 0 C C C 墨 間と共び 豊大の北独力なること派や選群习計する神速氏法・ **払梁蠍おこれを 班しア 八十人の姿を師し、** TH 54 以三百里(釈里五十里)を歩行した』とある。 減い CA 商色を移ろはしめ 置を通くし、 。つ操 FI 間 研 中 0 U 総論す 流 H FI :4 200 U 6 빏

117

00 2

2

中級を主るもの

蓋し腎は

°

殊也を撃げ

弦を高する

21

34

0

B

20

5

2

本が治す

所謂る郷の

間崎を得ればれける。

打凝って強となるのであるお

殿り

54

到

息

田でて

影响を記

FI

21

お間する

衞公

、最の感

少學の一

足()

手の太劉、

、一日のよう

. U

41 014

Q

P

2

廊

0

P

を生かす

测

21

同議

FI

规

Œ

W.

Y

門冬

X

(至ころ

6

\$

2

0

R

E

~ 1

0

S CA

闘系で

用な融おす

響して作

21

口

to

21

特

、シス

狱

21

Ŧ

ţ1

2

0

9

指入な。

車前、井杏木

正際、精ナアス。 **此黄、貝亞、天門冬**

日 子したのとこれを服食する意志はあるなられ、 旦 7 ¿Ch 26 るして眼 14 9 £ 21 熊竹を被膏 波は それで十分環気を濁い得るものが。 9 14 お散びして南で眼する 须

天門冬を蒸し煮り煮りる人はし。 び「山中生帝以入のなときは、 林子 部 · 〉 日 。簡 回用

3 14 TFF 0 [11] 果治 なるな 多三斤 貝母却天 45 極ら 2 天門 0 4 0 しなし、生地黄、 W. 2 方には、 24 Th Y 表書が 图》 放薬をあるみむ FI なって 公案 0 へ
な
長
生
不 冬の恵となるも FI 4 財童なる法 25 これなられて薬りあり が一般 與 21是 薬 FI 動 的影尚中 齊17 FIE 客しくは は変 は主脈の 車前前 半丰 を無くかく 張三 **加黄** 選出のこく日学機類 のなれる 21 始 17薬 0 しなるならし 2 田 7 24 子が 0 0 P B 0 2 肃

+ Ę. 訓

(1正)影郊本宣

第十万绪

十三分 o N 平三 文证 Tily 冬を流水 それを三下をで 中 見 州战 11 未 恐 主 こし スなし 4 必要 末を 6 沧 7 景の 間 16 6 B 歌灣十八文書 めの三回は三十九万 fiel H 14 濱 刑 い、要三日 El 7 ful 胡麻を 大豆の 公司まる一次部末一 X 砂騒の人れて 6 スな 2 組 X 門を酌】五쮋を跡し、六棚を贈へ、人をして無詠ならしめる。 Z 0 M 園う であたらしなる。 、の出る上十は曹の回一。 めらなけてみらる郷へ了年 题 2~ 淵 けら色火き山め、 J. Graf 水 T 21 天門 冬末一代, 溉 鰮 制 、水一水業 に経る可 一塞月 日間で q 回びその 就を職らして行を知ら、 ユフな 洲 证 74 21 水圧 以 光 9 、つ零を修 師目 獭 石 めのこ回に一場で C \$ 21 三回 〇生たある近では 0 0 1/4 CA **元を心を去って獣と郊き、水二石ケー下が紫泉** 水び高らしても強ら 每 7 順じた 九コし得るまで H 1 語下大のよびし、 が っつ このできる。日本語のことのでは、日本語のことのでは、日本語のは、日本語のはのはのは、日本語のはのはのは、日本語のはのはのは、日本語のはのは、日本語のは、日本語のは、日本語のはのは、日本語のはのは、日本語のは、日本語のはのは、日本語のは、日本語のはのは、日 のとで酒い種 患行を濁火ア ill. てえやかして我、心を去り、 21 り子な 澗 随 6 れは流かある。 日 代を合演し、 市宣 72 4 384 世 代を取して競り 耐な人が、 阿多〇 画 人毒を去り 1 一个三型 訴察 4 X こつつ 0 総論する h 7 FI 多膏 21 のや業 恶 法で 57 & ¥ 鎌 シ Ç 2 啡 41 7 Fiel 7 \$ SA 0 6 鹽室 るる ココ 竹田 31 煤 7 0 X 2 山子 Ц 21 平 W X 21 21

部へ聴い概(OE)

覢 坐 U (船 Ħ WE 剩 4 账 344 ことが関係へ ジュ 計 瀏 この副 (二九)顾 ベニナ

q 71 會 近番端へらず 翻 21 0 ユ **业业黄三**元 く日なら第の題】 一日での「理解解経」 1 2 繭 を参と等化を未 職子大のよびし、一水での玄勲ひ。これお骨引撃の刑割のようある。 態 华其 な到後ならとらお再服すれが必を強える。 八人人の服するはよし。(代養師要) 京市 鄱 要門を 入雨ない。 のなきのを まいしま がして 2 天門をなかと気を注いア 每服正十次 終れすれば 30 天門を、婆門ををいてれるのを去り、 島藥圧盤を水で煎

ゴン肌を。(臭粧部人の淋) 金と共づ酷いて成づし、それで日毎づ 「風頭の發却」 なる行を知って然着しなものとほして部子大のよびし、 副习にいア牽補するりおり 一日三旬、南アホヤムいつ玄服す。 別で。(計去辦要) 好酒で癒してその什を頑肌する。 天門 冬十丽, 一般をおけれ 草を去ったものの漁船で 門冬を暴乾し 天門冬三錢, うゆらい割り、 TI 影 21 して剥室で 為之小科特義) \Box 新いる方は最 X 雪 末びし、 「動争の 100 sof 画庫 豐

器響 水 門多一元全水以彭 ない ムつつ歌歌 る科しい 田三回 2 别 光面 ないっな 末 温酒酒で U るる 口公韓色、百角 つを肌す。何 7 阿阿 Y 24 21 五 0006 つつい 職らし、正忠子を水で渋 1 17 光でこの二水を柳霜草 食前の三十水でつを 24 一家ソバイを するな汁が無し。 紫蒙蒙 [Y] 血を養え」下示な監師 酒で Feel 回图 75 45 X C. 74 X 語下大の を。(露古話光鱗要) 【龜婆か投蟹の譲びかの】 天門冬末多一日三回、 東下を出し、 と汗る にも行か的には、 、杏は割らの大いちの水一 北京 場 である。 一部がある 15 凝 别 い置てずい個し強して共いはき、 ユーフ 九にし、一日三回、 P 湿 いてかられるの **地黄と各二兩を用るる。** 演然し、 丁る駅 その肉十二兩を石臼か融色 21 た 【训教核渺】 、つく数る場 島州 用るるかけ 室で 風熱 「私人の骨蒸」 7 門外の 回 海 21 の禁門 値でるときお南ア肌す。(智式論要) 殿僧を田 三日 味しア新モ大の 返お懇違しア末 7 生天 いる茶少別で (簡更大) 一九同酮 7 2 題角を忌む。(千金七) 煎"二, ひするよし、(孟端食療) FI とうないなから の発 21 肉四兩与火 、るまないこと CA 21 回蒸 A 源 2 しか事肉を融色 て煮て食ん。 五 熠 76 8 2 、ませせる風 ンハ 隀 5 制 が、大 Vi FE 鄵 自急龍 34 21 \times 6 6年 :4 74 + 6 'n 刚 2 垩 别 子 田 :4

以刻 水北 源 帮 2 A U 2 J. 田 0 2 8 깳 ~ シフ 1 がと 2 HH 逐 7 原則 1/1 -21 MF からな 5/1 T, 0 X, あるみ U 54 7 7 6 心群以 刹 十二十 7掉 2. ルマラリ M)回 21 2 £1 林 器 21 ででは、一人日本の 近れ 流流 ユフ 0 2 21 以 测 H 2 + 到 瀕 Y 訓練 9 됐 2 子

8 (0) 华子 7 0 34 -41 24 दे दे 24 2 14 0 お製器の 〉 :4 薬 訊 21 2 3 A H 部 7 が戦 副 FI 領 11 C 2 2 7草 24 2 54 いを注って場もの . 14 2 27 門文質 9 開新 71 0 大 温 は露が de 71 21 9 圓

な いこの 型。是 71 2 71 P 狱 21 0 月八月 9 B B 9 Ç 0 17 > B 1 否 M 2.沙岭 0 , 11 OFI 漩 · Ky 04.11 刚养 排 34 1/ 0 (提) [見 William Frederick

ユー

青く

到

FI

352

0

7

0

\$ E

らざるない

71

11

21

して用るる

7

2

N

ユ米

9

FI

de

5

1/

24

採

`>

TE

21

K

-

黃白色 瓡 ユる お青~光る 7 、そ事 赤笛六 うし 圓 Y 000 石 2 識 8 X 0 4 B 24 王十 24 0 11 .7 21 21 21 淋 沿 Sit. SA 146 71 (1) 0 1 排 阗 ね大き~して尖の下張~ が対 温默 - 解 T 今ももの

> ~ 鐵時 が火瀬能といい 4日 対ラボ 店 店 有 夫 夫 夫 阜

郊 (南 江 ~ 南越流 < ¥ + IJ 職 ~ 四 温

漩

q

14

21

>

日

OLIV

B い。百階は、 即 2 C 東京甘 2 6 莱 200 :4 訳 温えて 1 돢 北 質し 高ろで 圓~頭~ 内部流 十鈴本丁 で く登へ 秋: 0 十本南 冬は field ¥ ¥ E FI ` | | | 0 CHI & ○凝 34

2000 B 21 7 10 是是 > 1/ 9 9 码 3 受いる 2 FI FEE 6 2 車 y ¥ M さから 0 間 到 2 酥 Til 7 21 6 7 薤 **計** S S なって SP 溗 57 0 FCD・大量が 問題を 水 8 4 -:4 14 瓔 7掉 XX 班(次) 71 2 Ü 記る 琳 £1 26 + 服 否 ° N 0 50 CP 4 21 21 俥 79770 F 濑 21 1 0 24 Ne 7 亚 Ш 41 誾 2 PI 0 門冬と異人が M 0 P は首部とのもの M B 淵 多小 0 `> £1 日 24 含んで 多是 ¥ 2 ° 24 型型 **沈县~**太 28 0 記記 9 2 9 掤 专事 10 54 :4 21 其 · · · · · 2 fe 54 2 131 Ŧ \$ 0

2 1/ 9 師 54 申 重 0 7 . :4 Ç Ç 2 2 思 21 沿沿 見及る ful 21 锁 4 0 24 1166 9 71 å B 童

松 林 郎 郎 いの立百つ整 殊いと百コさ。 北下 古原同コティが、 70 北本男 (査過 日 1 年 4 面の 八草 4 隔で E 遊並 1 4 ° X sessilifolia, 阿 公子子 11 1= 直频 潮 幸富幸 立不 個個性人 1 # 3 2 2 4 た 世 触 がまった。大きな = + 正 + 11 1 Æ 孙 4 はたむこの立く H 本 46 7 311 (亚子 到(%)五(h 11

1111 4 問線 沿沿

カマト に特(百階将 岁 3 財 學 科

Stemone japonica, Miq.

2

000

1

34

の指は草のこ、く日珍時

目

幽

II 존

野天

京東

日

整献草(

7

盐

0

34

0

からかく名けた

見える

21

ζ

300

2

6

1/

21

5

de

0

H

SI분

0

淘

秋:六

0

+

熡

旦

*

痺 显 刹 7 74 1% 元 2 黑 Sil. 見 0 旦 44 こし 9 54 9 0 2 21 喇 鼎色, 金 して望る大 न 14 A H 沙 24 24 4 まを去 PI 非 71 21 П 寒 0 十八分 少以 TI 不 0 薬 -Vi 27 0 級 4 82 Fiel Z . 6 もことが知る 即 26 3. 4 避 1 甘 孙 4 0 0 小二 H 鷗 3 显 沿 酥 0 画 6 2 息 All 2 旦 M 明 0 その未を入れ、 개분 X 談 黄 9 0 0 恶 ~ N 0 見 小さい。 頭 ·4 次 R 贈 0 21 るかるという 7 0 瀬 2 耳 14 金元〇〇全日 R -16 0 9 17 71 5 5 4 21 6 中年の中 1887.735 46 别 啡 圓 de 五階鐵 うい含んで 盤中で未 スない 2 五 2 0 y H ना 21 即 学。公 Ξ イトいい 24 古 21 国 田 事 # 0 II 帛で 排 FI ¥% 7 24 S RS 。(舞る小見ま) 米 9 * 2 H 療室を入れ 0 0 4 6 继 B 44 8 班 の子子 る。 W 当女 2\$ 8 ~ 12 2 21 翠ス 4 IIIC 12 £1 9 21 0 7 漏 71 旺 7 1 54 責 14 を見る 6 日 刊 0 T 54 排 Til R 21 編載を簡 .)_ 9 别 3/4 别 4 Y 劑 0 眯 -"到 鸮 灣 地 2 2 薬 21 見 1 0 .FI 1 3 Y 最○ 别。 21 X N 46 たるとき W. 歌 頂 FI 鼎 渝 24 0 ---9 里21 訊 郷煮で 盤 24 显 及 21 2 12 F/ 0 部を炒 發 J ζ 孟 38 2 21 不 6 以外 5 漕 711 なって Fiel 排 do R 网 X 水ア三五 橐 排 q 4 0 0 170 Ė 風下る一個十万 潮 7掉 锝 7 ** Y 旦 勜 14 继 気み、 天 旦 烁 21 2 14 見 7 0 1 甘 FI 臭人。 量 2 74 邓 nit 뙗 21 :4 TO FR UE £1 别 q 採 44 珧 眯 21 Z 2 顶

こくは正く山山(い)

閱屬將 訓 4 = 果實用 7 溆 船 明 響 欲來 X 蘂 醞 大驟 日那名 京 エ 白菱砂用 南 、 非家 蟲 ナ 岩 飛 日 ハ キ リ 施

等 2 黑 41 1 搬 27 等分が S 鷾 然什と蜜 生薑ざる各二 苜 54 常 1 見 鵝 Z 葛邦のようね、 排 鄰 百船 000 + いる温明 續 \bigcirc Œ 0 一手づい 褓 服す 重五 を煎じて二合き 田(州川回) 4 柳

24 とれたけがは異盟 「親立の関しき被郷」

減な きは、 0 訊 天門 8 U 5 ر ا ا 1 21 寒椒77 独 24 0 盟ア寒サぞ B 類の 0 3 FIF 京大 X 9 FI 71 걦유 百部をや 旦 24 °77 ,) 日 54 21 熱域 24 E O 0 C制 6 F 쬻 熱せ 2 HII 蟲 寒で 7 發 県 :4

= [6]

(瀬器) 8 鑑の変素を去 噩 、ついい

4 肌、て以る藻肌」 不 24 () 目 挪 1/4 ·晋 熟品を歌す。 下 3 多 1 ア を 頭 3 角 8 为 6 E I なる歌を歌す人大 (明鑫) 十白, 面い意わて対び が設置が 込ので 一号素器を治し、形を治し、 八万米ら で運 外で発き, これを鑑けばあれる コノア中を光へ为大いゴ原を去る。 瀬上添いお 「庫」 独蟲は、 猴 (三種) 県 0 間の方 樹木 £ 3 0 R

小。回 1/ 华 つり ってな筆 7 恐~是 · 公园会等 公司会 干蔵をで長壽を保つといえことだ。 ※日~、 激寒ひして小毒あり。 『つな筆よつい歌楽 て出 PI 华车 。つる筆 规 服館 溗 ユー

显

1 됖 윘 旦 < 4

都子言人一東醫,

減退ナシスト 踵 前部中ノアルか 中國中國小 4 合、木材(親)日 本部で 4 = 心贅地 1=

哥"四四"(川川)长 书具藻, 古星到 人 ○ 大ご大人 大量卸灾源一整端 ナー、三大人)氏 次11一整端,明二二 湯が 四、(三五三)。 衡平 小十八十 * 響 資

各合 山田田 財ニヘスを ^ 林(東) 1 4 :44 マネス

採 1.11 0 .1 34 製調 22 素数 T Z 0 3/ B ·1 0 0 孫 14 D 9 7 光學示 H¥ ij P El 立立 :4 本 燅 は紫色で薬と薬 滥 おおるか S 421 71 do 21 満代の、 -F-2. 1/ 料が 辦 からか は記 :4 迩 R 8 斯 0 --CP 薬 2 2 0 某 質]

今は諸 71 まるがは 54 24 0 影 0 B 17/1 24 28 50% 2 9 おいるが、 P H 颜 1/2 2 21 继 28 (III) 0 園 S 11-6 0 厠 116 7 岩品 0 なり 国 I 掌 具 14 Suly 歸 . > 2 日 0 P :4 M 刼 8 6 菲 漸 21

1/2

£

M

章にえ

14

杂

郻

水

111

Z

7

54

甜

?

9

[11]

2

C

2-

28

閷

:4

0

B

0

3.数

0

国

四

I 别 やユーマ なばさ でである 學圖 . H 71 28 0 2 數子羅 京 世 0 19 2 2 7 54 1 0 0 B 9 果 6 0 令 # 拟 歌る歌 狱 み、筆 2 2 PP U 爴 2 根於 > 뭬 0 2 8 71 0 2 28 0 学? q B .1 21 **** :瀬 量 10 1 九京が [m] 7 0 34 54 长 21 0 0 0 ON 4 9 郊 27 50% 7 CP. 0 .)_ 继 2 IFI y 1/ ç 7 7 Q 5 硘 刊 MI 7 9 邮 蛍 消影 M 44 9 2

猫

2

發

0

Y

>

괢

:4

U

7

2

6

4

:4

0

8

3

1

できた。

出出

21

71

部

0

业

T

0

汉

>

日

FFO.

。相

71 314

> 4 阿林峦 の編 疆 圕 14 西省 * °× 174 扣 M. . 别 洲 調 ala < 146 H 猫 財 刻 6

孫 日

製 100 2 全分法 な場う 本演を 形を 形を がよ あまし。 (発調氏) 行館は大 末びし、 まれる 是是見 びを東して配を去る」 は自ら落ちる Y れて薫ずれ 齊総) 齑

。 。 ② (目빯 21 别机 京 0 生子之 쀏 こし 02 IF 大。明 日 〈 02年功能 馬田口 ガルで **孙交らを見て採** 21 9 刚 P 111 Polygonum muliflorum, Thunb. に主教が 名に 開寶) 20 述內部 12 2 の業 1 狱 6 るない。 颠昧白(沙干 根を 帆総 瀬の XII 以採 動作(聯目) 闹汰 21 21 卡丰 つるとうだわ 向音高なるかのが、 711 H 额 挫 5 111 å 此辭(本郭 2 独 工富工 , な響 0 あったとしんというから Ξ S 3 7 全合則以下部が近 赤葛(平門) 7 0 S 忠苦, **東流自** 函合(本專) 野らどらしるる。 寶 是是 開 お黄色で 0 宗 1 21 14 の限の総 交 稿(本 專) は各の記載が 原地。 貨 珧 る病な 果 25 具 #f いなない。この草は、 自 江 ੁ ਜਿ} Ø (燕日 0 ST CH 21 ひさ つ 悉 岁 本草 1/1/ いってい 柳瀬 1/ 树 盐 FI FI 薬 愈 薬 挑

> 酒蘿 でかいて から 日 都 ままな 田 別 ままい 日 ままい 日 ままい ままい ままい まい 大 、 大 、 大 、 表 7 将 第 M 6 1 4 日 無手主ぐ ~ 当 强近据 入自報工二 原出支水200 資入班 4 支权视频銷 干什么到

24

0

'p

54

7

松松

0

支ニョマ 器 呈 夫 猟 へ 卦 鉄 蟲 ぐ ∨

は割 好明 R 心由 點 通 五 14 公立 不 清 0 0 54 il 不上 54 0 B 後ある P Ť 4 4 9 6 T 疆 1 く話で、 部 承 21 45 頭 阊 30 サイマト 話 71 1/ 2 ガン事 シフつい 别 R 老道士 美 4 W 0 M 0 るな 事實 Y THE STATE OF つ、玄服み精 事 ·N 随る有望い風したの 0 機 于 7 业。 24 、マン酸 できるの数数にこの数数に 香港 高も 働百三十歳 1 20 晶 7 547 0 21 7 7 かやうなはし 2ě 0 事十 され M 公省 6 < C/ Y 盤という 獎窗月 0 加して一箇年を認過 1/ 쳃 9 FI 石 育島と同勝で豚灸の季芽胰といえをのを、 2 54 AH CF 0 57 +1 気をある 0 部時 2 24 容認力等~な 2 動玄湖江湖水通 P 首島をこれを肌ふか強人の午玄鶴 · 2 9 ンつ はされな 0 派 第で 省 54 空心の衝 何以之 取出,出 十歲の長壽を 双 以ママぞいマ X シイマアハイ 274 水 \$ 50 G 車 掛いる額二を書 1 なったらしい。 、りなく満 7 21 7 画 たその 面なるかの 27 向となっ型的な 速される末 P CA 2 石 W 蘧 能圖と改 白髪は 57 品 田 中 B 2 り具命を用い 114 54 到21 别 邮 田 0 しなし一人をうの草の かかい はは 到 - F. F. やなないころ 2 来訳お恋~全滅し、 驱 ? H 20 9 0 、つ削黒スルさ 7 蹞 27 24 田 0 5**7** ° 24 やは Ŧ :1 亚洲 A 派 2 54 ママ 日子 兴-75 \$ 五 首島であ が黒かっ 0 0 B 團 뒛 2 54 源 29 4 业 2 57 0 台 f1 剩 0 71

、思議で 믦 1/ 7 重と重と近極 見た 0 修道 21 目って 54 M 2 少多 0 + 0 CK 2 主 中川 漏 24 可可 21 名之还死 ンハ 正び三月繪刷のア生をアあるのがは、 数詣玄城ら、 電調 11/4 帰いるを含せて、而い歳 田見お 草林ア獣おのア 財を融ら、持ち鍋のア S. 調れてお生た断き浴をる。 小でその が開調を 替が貼る)、 は名 關大國 脈災 ときにその 4 貅 子をなり、早りたら置教の 生施 0 緑の人である の屋口 丞 7 地へ 林の瀬を見ると、 き合って良人してまな觸れ、 あるとき . 12 整 いる質 [II] 2 與 65 57 0 1-1-6 田 0 高お削 不多 57 B 20 100g 0 44 0 至 嗣は本意本 ならな 阿省 2 Y 21 前50 石 묖 9

阿首島東 M 0 人福林び 24 海 漂 X 1 7 副 1 54 27 21 服し い間でいさいる 事 7 何首島なる者が 割の元味 0 ことに全文を掲げる 2 、一量を聞る性別のそこ 6 4 P 交瀬といよのが近 20 24 と題する一篇の文を著消してある。 草の名い命け 題の 名出 0 21 のこな 本來 干 老道 71 7 京 0 業がより 薬 0 2 :4 4

411 200 の公里 9 9 \$ 1 14 7 2 瓣 绿 訓 34 10 80 St Œ はのもい日 7 20 **九蒸 ル製 し ア 駅** 辦 P といる 赤いるのか FI 0 林典の帯を探り、 2224 白の二種あのア 大 4. 9 0 は 流 批 根を 根をご 0 2 C2 21解 21 圓 話ではいいい 茶 雠 3 TI 12

中 16 14 6 AH 71 3 (型) 0 317 清智 中は緊然なお十 高州州 ----ないと 是 为 調 10/16 1/2 疆 c. 146 到1 |他 正、この学 H 2 71 ~ がいって こしい 24 子師 明 計本 4 fil > 117/1. らいに ... 立川に質 シーない 9 の場合の :1/ 3 こいは縁して 2 E! 香を水位とする。 0 % 3 層面 ·n 4 ¥ X2 がいる 0 庫 車 車 並 割 は を た こ れ THE 77 XX 71 111 (1) 南阿縣 (1) B. . 洲洲 54 9 はどあ 弘光 61 R 耐省急が、 21 :17 粉奶 州州 2 見 0 n ---(I D)回(4 10 100 0 8

这"老" 別 国 水が大きる。 水石品 × 117 陈 1,1 SIN 317 갶 訓 下緣木配 李 本 本 **建安二**水肥 加 成 神

九玄ッシュ大大多ッ 7 111 2 潤み 14.5 ひ汗 以以 水水 H 薬で 0 9 汉 9 旗 > 2 0 Sil 19 1-1 7.8 なかやうこ FI 記 圖 り門気料 並 22 27 7 颏 2 00000 6 H :4 我公重 44 スと上 0 02 02 が 0 之神 さなおもろか 7 教はどのものおは これようのよなは 1 く問兵職 0 四多明顯斯 公年了 本 服して地 食歌 2 0 大きく 別に記る M \$A (1) 更是 :4 0 事者場を 0 汉 F 0 北京社 神子 米 别机 たときは、 いた形形 71 21 倒 となっている。 排 日 0 F1 0 八六八八 213 ~ 良し。 。 0 0 訓 生で 14 6 끃 50

\$ CP

2

H

CK

9

~

掌

21

-111-

2

CB

S颠

É

显

21

猝

9

4 沙 % 71 disk 0 公司 意思で 圇 **(11)** 泳 (0) TIJI 6 屗 21 £1 郑尼 唱 熟 疎 THE 源 I 71 0 21 零 21 0 耳 0 fi 31 2 láf 獵 0 訓 R Y 146 慧 71 14 \equiv 2 領 贝 溫 77 盟 部 あとれらも 0 9 亚 21 0 子 2 1/2 縣 B P MY 7 低 12 哥 • 张 CA 瓡 ・見に 54 2 栎 社 桂 54 Z H 杰 M E X 6 不 悉 9 中 R ग FI X 4 7 部 6 U したなる。 置 立式 つつつ 步 21 71 帛で :4 21 Y 别 0211 ¥ 薬 来 肥 뛤 21 . 嚻 八麻麻 器 阊 茶 11/ 显 0 2 . 学では £1 21 377 0 7 0 次等が本本 > 野田と名 里な 2 4 圓 7 9 以及る 滥 Thr 海 0 14 1 4 21 Y 阿肯 Ce 不 5 P1 B 未 0 北河 自含, 21 de 79 RJ 出 7 2 ° 2 到 FI FI -日 0 A 9 0 る大学で 色 24 114 0 0 21 21 一个 :4 なくな 息 子 誓 沙里 疆 Ŧ 卧 那7 水 2 ---. 画 2 2 7 9 化之 贵 ۹ . るはない 7 画 FI A 7 24 THE STATE 7 狱 • 5.1%是 湯と名 21 草 5 油 71 T 21 71 問 鄉 S 0 14 小小 2 菲 CA 21 涨 2 7 944 = 1/1 スペイ 4 丰11 (0) 0 公社 5流 Ti 亚 24 7 9 0 24 通 圖 那 1 FI 0 71 洪 6 0 400 瓣 R 豐 24 4 こって 0 21 FI 7 H 點 र्रात 剅 IN 洲 0 述べ 1 27 71 M 别 中 帮 1 0 7 溃 . H g. 0 0 島は 靜 彩 > 41 源 3 y 71 0 不 電車 学って 重 霏 9番 21 业 贯 6 心脈 画 4 21 71 5 挺 Z, 21 21 、第 亦合 北 E 4 THF de 目 9 Th X 11/ 不 到 45 器 萧 54 5 H 0 0

音質

쇠

1 4

11 X

訓

"A

正 照

金数本、

- 社。 +

4 平平

調調 4

11

訓

-4

7

7

THE STREET

11

子

自然

上部上

<

116 4

M 罪

8

0

T

477

衰弱 神平 CF 4 Alí 1 金

21 4 は気 0 B 1 耳 2 0 P 薬で 心學心 阿首島お取の郷勢、 F 中的 HII

颞

が新 筋骨骨 決な 派派 器 、つ場を発圧 曹色就 人しく別すれば、 0 1 नाह-(O) 3/2 A 夏鰯の一 面陪の風報を繋り、 积 重 血尿を益し、強いが選を果っし、随色を効率いする。 OY 生た様 用を育数ならしる と弦かの。 **郷重を削し、頭幣、** 【大門】【刊風を寫す】(我古) 业 天年を延い、 即任 7 PI U 别市 「東翹。 計論を急し、 県 開賽) 賜風を治す £ R 、江資ス や県 ना 不

9 水谷しアー同び三代三合 Ì 一条高者に上の子、多触層 0 C/2 器ってなる動 全語を織ら盡し、蒸して豆が蒸しなとき取り出して豆を去 最近の劉治去却、赤、白各一兄の阿首島多用の、竹爪か財政な院も去 から用 かって九回蒸し九回晒して 0 日~、新苓が 6 此黄と同熱り部ト和砂を利 C o针 o包 明され三三番して響いなる、丁井町 その面けた豆を砂鍋中に先う 【つな華エフに歌 再が豆と素す。 のの当み器類 鄉 つ影~品 て渡つ 1 21 哪 44 \$ 4E A TAT ユつ 剧 队 硱 2 幾 2 な。 夜燙 X 狱 0 池 M 及 凹 予島音画 述 6 無纖魚 21 FR 5 料 6 融網 *

> H 1: i 紫紙

X 0

四川青新野、一遊布附、諸果、醫室素1. 邾 間加三・一次離神宜 ・三スチャス%王・回 木材(銀)日か %二、亚加綠腳%二

0 9 9 9

お盆の大いち割とあ

0

るは郷を海十正旦一

るのな、虫を去って緑爪で遊り切けし、 田 Ç de ユー CA 24 涼 満ち続い 鄱 田 上から淋らして 9 邓 2 6 q 福 熱水を 当 R 钳 27 C 54 はは 5 0 1/2 21 > 1994 H 24 1/ 滁 H 54 TI j 11 21 蒸 がない Q Q 7 田 て芸婦で蒸 2 21 :4 dr • , 日 2 U. 一部 Y 21 意 o剥 平 三遍 21

1. 0 II TO 2 Ce 田 SA 21 TI 묾 37 5 FI 電る器額 訓 21 甜 2 9 狱 6 。 2 2 出 2 田 排 重 5 ンハ 21 .弹 で続 储 墾 2 0 :井 0 採 子 12 目 置 社 Ó * 不 赤 主 7 2 . 11/ 導 İ 21 0学 ユフ 9 Ġ 到21 るる 県 が批 公營 剩 3.XE 2 W 界 6 狱 2

身 置を割 派 聞を大きり、 川い金するものならば、 悉 ÌΠ \$ 凡と諸虚の , 〉 日 0 FO. 9 岭。 \$

越る少見二 V 71 Pl. 0 R 2 8 28 6 27 别 弧 2 小年 R 生を正ない。 7 0 耳 P -ないて = 2 疆 0 〇劉 2 河河 00 +1 郷 ·f.} 學 F1 12 が経 2 哥 然ちた 21 川線 留 ° 乘 ~ FI PI ٩ q が無 17 これを一个年間すれ おは込む TT 清料 # 0 7 大い 9 母不到 9 9 0 14 14 松が料 予小 21 7 5 を発し 亚 de (& ~ 1 7 PI. 0 1 0 28 がいる。 71 蓮 34 6 料 AN 54 0 剪 遊松 B > 长 ΪΠ 24 Ξ

> · 4 · 1 4 高 殔

、日田小林林 く桝オーンド

京型北西ア版)第一部の第一部では、 Y o マント ~ 猫 Y 爭 傾 06 业。 誹 體隊 446 1 -(-**巡师(61)** ()(体) 令 骐 飜 E 윘뱠 1 31 派縣部人際部 +

が高り着いる。 金州 干 ま様 </ 1 О ソノネキ部 道 = 層ス。 (1:1) 温州ハ 石部丹本大学草湖 幣下湯、 **清** E 引 4 に註例へ石類銅

华歌 0 h 4 批 曾 + 数各盟 四岁

が、随めはほくして効撃いなる。

团 さの成わらで曳き店も去り、二代の黒豆を助用して, 我で好職7木贈を購 る重は鎌色、蓋をして蒸す。豆は熟したならは、 6. CY! R 177 = 21 帯原を TUIT サンフトザ 2 人路十二 XC 米指水 丰 SP 簡音を出び 白秀茶各一元を曳を去って研 ヘア再の蒸す。 赤、白砂首島各一元玄川の、 酒 9 20日でのを取りまりまりま てく出る。香香 豆び酸 湍 1/ 114 F 75 「お實美津丹」 平21 出廊を完全コし、天年を延べる。 難、又が容うをの玄薬と去し、 、つな箸ユム 1114 24 五 7 子る 対して未び 潜四、 ゴムフ 四21 中 田 答 4 07 27 加 て流流 错 7> H 日浸 2 02 繰返 0

嫩 ない。 されてはないないない、そのよう些のと明して見解ない変態の出いたないないと 800 P っと、一年給びして行法全身から出るやうびなったといえ。この薬は続い血を否し、この 白阿肯島各 ある献び踊つア半をなけ行はなり、それは 21 AH ユー 未 切ら常じて不自で 赤 また末に おあって、大いストをするものである。そのたは、 別。 水水 の子の限 酒で五十 **家勢して竹爪で鬼を** 哥 温暑の季節び いならいして はから蘇いたので 趣 ξ 廊 = 21 7 **湾治して置いたが** 米市 对21 炬 4 風を治するの Q 于 田 一箇年 器 R 华元 室で

草

¥

翻

部

脚

那

FI

思

7

啉

は腎を

果のえ

G

24

和苦~高るもの

9

4.

四 流

:4

逃

71

14/7

0

2

0

まるる

を無

浉

71

刊

9

民職が立主を開

71

習

9

Y 21

血

71

(1)

De

1

The

9

20

息

III

要なる

温

P

里

る。緑

要えな

那

2

0

いる

"可~黑

果沈

料

07

0

2

6

2

逃

が過 2

A

郊

1

A

彩

シフマ

薬

見

0

1

35%

2

6

P

2

0

2

なってこともく歯

R

蜑

器

21

剩

R

2

0

B

9

計

R

邱利

1

21

温,

非

54

M

渌

0

2

3

21

T

0

大器藥

天

黄

THE

71

4

旺

0

7

4

0

24

×4

Hu

1

F

71

昌

FI

番

狹

0

6

小香

21

获

器

0

是到

學家

画

鵬

画

)面(

PI

U

習

2

0

4

薬 72 q 0 21 7 \$ 息 :4 間ふア見 さ盡 級 派 445 2 54 A C de 2 THE STATE OF 2 0 训 不 7 4 珮 죂 鑩 鄠 剩 掣 いさて FI 学 0 城 21 4 116 のそうころ (c) 可 1 0 'B' 凹 題 21 2 思義 場具 2 24 孙 业 凹 痖 2 ひ 34 7 2 翻 4 學學 开 0 24 21 混 * 6 y \$? 重 非 黑光 明 G.A. 8 0 196 1/ 2 y 翼 1/ 洲 (O.E. 9 那 P W All ·4 排 2 1/ 义 爺 74 ×4 0 冒 来 + 4 具 24 7

[n]

R

24 織 石 54 掴 2 步 别 TY 6 京本市公司 不 歷 2 21 14 河 1 :4 李 用者が 业 FI 4 . る下に患責い 〇等 别 II 具 21 [II] 置際 Sign 肅 景 54 平 2 P P 74 U 9 2 0 41 -料 0 美常 R 7 Ш 上置 TI TI 青 0 壓 54 ~寒云 Y W 順順 24 0 7 部 34 胍 12 0 别 김比 54 f1 6 中 FI 循 1/ 俱 薬 R 21 0 番 5 0 漸 d XX 辈 2 8

期

+ 뙗 草。 當 習 (三0)敷州 4 罪 嶽

曹 1 訓 緩順不 H = H 量 4 36 工十 1 文 4 出 骡 h 11

いし サイ ユつ がい 留 み買 1 迎 21 75 11 14 ふるとは出版電子 たときを見て木臼で香 题 4 目 714 0 H + 28 阿首 # 徽 日 4 FI 1 来 70 2 加 -17 + -111 X シュ 27 1 娅 뫺 瀏 FI C 显 584 ユー 躑 日で林 八日 21 :4 H 州 四 2-白阿首島各年を用る 16 潮 R 21 Z 酥 0 = 92 4 東京大学 بآر 阃 0 0 9 國 盤粒し、石 C 8 学 辦 運 7 8 28 * 味しア語子 赛 0 FI ふ薄 -惠 登 C 54 걜 画 0 21 0 21 2 1 间 ユつ 殏 褲 2 菜 FI 2 会とは常語作 0 1 1 つ出的 島 オンつ 6 .1 6 0 7 1 蒸しな張肉で 子る 1411 21 别 51 B 流 75 C 21 21 0 1 0 人乳 9 > H 末 当 A 件がアニ 0 0 Tで曳を削ら去って . P Y FR P 2 うつ 組 71 0 いなけ 是是 湿 -0 X -11 6 街善堂ホア Ce 벁 の質 别 ユー TI TI のそろり Mi 頏 H た煮すると三回線 同三を小屋 7 2 · FR 4 FI 原育 鼠 三年 紊 -禁忌 7 日で末び 恶 排 21 ユつ \$ P 49 を心び # 0 2. TI 資 石 島谷 6 0 6 1/1 6 酥 75 4 21 21 ° 2 别 19 +1 瓦で常じて石 别 26 间首 2 且 11 R 9 重書 多籍 2 黑 0 0 倒 松三米 北年 CP Z 狱 7 田 華 C.X 目 シン ふなばら 21 田 搬 逐 Alt Z M 2 見 + H 卧 2 0 :4 6 を検 V Z はなる 1 行表 王三 别人 B 21 24 6 7 なら 39 7 -`1 5 0 て海 当は F 21 75 道 分 謶 0 4 1 71 Z 醇 B 0 来 + 遲 那 Z 21 每 9 留 2 21 驯 意 齏 2 0 雷

显 毎日空心 兩を描を去って一日間では多し、何者島を 東絲子人兩を断び参しア来る生ごな 4 、つい批る島思ら重 そのと一下を切り、高等した黒豆一半を用めて木踊り豆を一骨髄いて薬を一層しき、 剔置を**望っし、人**をし 及思ス部 0 0 三が熟したとき取出して豆を去って薬を最乾し 八雨な お前記 21 2 业 鵠 大の戊一百五十戌多 就感 N 激情緒あるし 温を器額 また正い當舗 所首島三元を聴爪で切引し、遠いたるのお米指水で勢して増びしてゆり、年 見いるの 百五十戌を利のア繪のケ階会を割いでれを割下大のよびし、 服し R ガー百水を断了現す。 八し> 現すれれ動めて顕著な蛟鑓はある。 或ツ、(111)月情思らず、 5 共习滑习人パア九回目をで蒸しア両海し、 、つる番を番い 于 の蓄薬を石臼で未びし、刺童で味して單 9 黒部瓶で香し~砂 監督で服し、 、つ衄ムつ .PI 森が入 天年が万 血原を献し、八しつ肌すれ 研末し、半 は計を下入兩を削り参 ¥1 証もである。(番巻堂太) 【現食滋飾】 い韓古日毎 、つく軸を闘行 館を基して瓦略で蒸し る。 # 言語回記 五つ韓興 量を三九とし、 2 A 21 関うし、 P 锦 1 よう意み動う 同目の素が 阿首島以 服し、 つらは多七工 「三音を顕線 메 ユつ 9 X 幾重に 鹽場で 0 会に るって ンン 日 7

> 4 ~ 藤 11 o U 工器

た物業賞(II) 大服之子 6 T

常十万多 本草醫目草泥

同首島

表が有数 場の頭して密密する。 赤郷の撃きひむ。 「い声」画部、 以 Į 菜 亚

た】「時後)

Ħ

4

共中ン標町(元二)

0/=

王)。公果 肌は金生せるもので 表於能 / 新玄綱 7、 会を水で頭しい鸚哥の野路する。 亥斯齊 ()

文葉 楽楽 日日二 同間して末びし、 一首高 24 0 8 同点した 治し難 雨を九 挪 「新せの神 胡麻四 しれ回回して 別す。(聖惠代) して九回蒸 スなし でいる。 間愛 2 日 湿 かか

型 批 * 次身し、「期自me特静要」【大風驚災】阿首島の大き入し了弥文のあるかの一行立、 和内部 これは常服するおよいもので 。 は の な ~

来ねテパア基 2 6 熱した時を見得ら 0 無気暫を等介の人は、再の煎して鐵那して組制の角は。その奉送的船り御 ススルン文流火で蒸渡し、 こはらず風中 内部必多少 冰工 加壽報] 拉 21 来

調

白髪を黒うする神数のあるものなっていれる

.

服すけり天年を延び

>7

71

薬

(三四)載昌へ企踏独会 蘇執、指も見 = 。

研し 下語 不 n the. 2 直 息 平川 小 0 0 裏んで 逃 のさ 6 [44] 剛 (0 明ら何首島である 2 以る + 21 丁 24 2 率が本 末 0 2. 21 育 41 0 27 なな難子のやうなものが。 即間 CIID 歌内 で 帛で 雨さ末 る単一に B 阿首島末公郵郊 2~ 觚 上 S 高末多 ना -逃 鰮 2 SP 1/ 金 高二 以思 り返えて UK 别 ではる。 何首 不 源 12 嫌 御子の質問に 而首 数 巡信 び順じ焼し、草莢一斤を熱いて地 [1] 0 名赤葉の I M M M 木臼で特いア末び 河川 阿首島末を選杆で鵬へア膏リ 源 【のおめる下の仕見】 F1 21 肌す。(永鮮正) U 2 別す。(緊急に) 2 狐 -1 龜馬 返れ .) 上 はあいてつ可上 凯 0 % 20 味は織明到とある。 結構 【早糠 000 中额各户 九つつと茶器で 九真瀬を用 お薬を収 1/ 十九いつを空心い酒で て海衝 遯 明 21 平策 黨 木香、 で二銭を肌す。(響惠古)「小 気をの(発動力) 【恐風勵毒】 27 94 興九 七晝承鼓して 2 石 日毎に留み 粉湯 1 = 主黒豆半斤を共 極 苜 はず となのなるに総か 古のやうなものか、 + FI 憲) 藏荷· 21 7 別る。 20 빏 24 後でる(東衛氏) 21 正三、つ 21 E 0 124 諸気を火で洗 ユフ 9 74 B MI 9 0 V 显 4 \$ 光 不 28 十八十 置す 21 * 士 0 灰 开 C 显 in 鴪 +1 74 师 頭 71 2 小 **띜** で中 0 * 謎 なで 2 2 0 薬 0 0 千大大 面首 21 50 6 糊 19 21 2 All 쮄 16 R 显 團 媳 浦 14 石 (Jin) 球内部へ阿肯島 恶

4 倒 北 羅 0 10 訓

第十八琴 不 沿 京 目 쎎 草 本

他お少し数 根は太くして所衛に法で多くなく のえ 。で話しかし何に蒸

歩は鉄 現了監施いある。 , 日 高 い。

もないこの

はいま 八日財玄郛 草 = · 日 できます 川谷ひい 训 计 S.

ないと言いれた。

は一部

3

アは対しい

赤窗

24

派家

0

採線 孤) [第

___ 本草び 赤日 0 ·A る各解の意義お呼らな

東京の東京 , | | | の紅 白蔜萸 她永渝 が木 只着 百秋 服織) 赤節 4 盐

いも特(喜散科) Smilax sp. et Dioccorea sp. のり持(百合株)及ゆまの 避 步 岁 2 **酥 學 科** 服緣中品

瓣

惠()

本經

票

臺草丁 0 草

> 二川なおしやアル。 今集郷し器家し文夫 送デル三出中 = Di-季~ 4 1 酸小鉄水州新へきい Dioscorea tenuipes, stenppetala A. Grey というはいばくま Franch. et Sav. きる人きちい Smilax 圖~一



圖 7 2 9 21 2 FI は高されば 6 タ子る常 21 28 營營 歐貝 49 4 21 FR 21 種類 シー 同じっな 4 ? 画 が批 悪額など 到 FI 嫂 > 4 17 4 独 0 1947 靈鄉 1/I は形體は 54 · 24 の極草 咖啡 业 、鄦目 類の · 24. 到 薬で 上苏春の三神 ---2 \$1 14 2 電風風 2 0 0 畝充織(巡 0 0 はの 辦 4 東連、 2 0 車 電影 71 鄉 0 たる治氏は甚が遠しな るるもことの 我 薬 能多級別 fff * のといれ出出 1/1 衙 0 東南 0247 图 21 鬱 FI 結果は、 草 827 20 の公里 ___ 点を主 Q Q 4 1 5 1 る諸府を治するので Į 五 田 るも様 はある 順じて EO E FI Sig 。却 H 智 来就び 特長公台の 2 2 1 66 * 0 圖 B 4/ 發 21 7 阊 9 画 6 ×4 XX

書が 智禄 (长)骨简属 漸 職を補 (我有) 0 0 馬をひ回って中を傷るたる 活 學學 3/4 1 者の補照、 我 2 郷祭不然 調 111 つ非 狐 大町 圖 巡 関型の · | |日 (阿爾) X 光音 以 21 "海灣河火」 包包 別の線の 画 Ŧ 時一人上以及題為 中 あるか 楼添了(本縣) 前相必要る。 てる準よて 026 置の育水 老血人制織) 21 44 Hi 、のかめる種の提置 、瀬造 劉 で目 21 21 0 八部で習聞 關節 大荒 0 要え B ま人の正録 1 料 数が水が 學 智慧部 规 連 中 > 372 逃 間 習 247 .)_ 寒濕(4) R 0 失蹈 1889 男子 븖 摾 剩 瀰

> (4) 骨簡風消サラス 開節リサアサーコイ ナンカ。 (4) 国典、全良調 フェイカ。

FI 0 南京色も 2/ 0 82 財化自う置 54 (a) 東流が東京 FI :4 並いああるもの 薬 2 事 童 ° % 2 酥あのア 綳 :4 0 九大大 11 21 草の2 猼 0 24 44 , 日 捙 シーつ 0款 雪

1.11 T) 4 この込み物画 加 ij 14 素整び 導能 お黄白色で消 Z 沙 7 7 71 2 黃 篮 薬 # 0 71 马克 19 こまを採って暴発する。 1/ 11 21 21 琳 71 頭~ 出力蔓込 床 賣 00 0 2 2 0 C P 2 6 P 江河 批 80 B 根を U 21 るが、おかる 0 薬 17 C 2 四四 やらで體に 諸郡は 雠 総 G FI い子 様の 1/2 特別の事件 21 俳 晕 月ユ の輩川り 21 赤 7 111 2 7 H が東京東 く、三部到との大ちのものが。 0 た状態へ 7 14 財
お
ゆ
は
根 率節 21 今はの一部がから ZYZ = 0 200 五 71 2 ; II 薬 :4 72三稜三江 種があの 082 0 1 `> 青 9 日 6 于 Q 21 心 扩 孇 型 田 薬 21 2 2 0

称 財お長り を以下貢了京 からのてしる藤文を大土井谷では南一子。い 水趣 お 以ア監到との大いちはあり、 五 車車 泉舎の本草が、 [ED] 製 更いお 並を薬を駄を苗をみな同じっない。 来 000 薬お鉄葉び シイ 大なるをのお商割到とよって望 旅春の約71新號 の草で お蔓生の 瀬 を題が。 車 24 247 , | |日 9 0 F)o 1 FI 54 ルシマ 。却 9 颐 2

(五) 劉劉へ剧立譲此黄人指卡見 三。

邓野工。 地方。 熊紫 北縣 丹砂、註 計 剩 17 京高 減へ 1= 1 树河 E 事烈而然 不部門 がへ 16 T 1 课 11 off. 4 批 17/ 0 Smilax 11 컒 河 Щ < E 源 器 状 東 4 = 4 T 平岩川 + 10

株(百合

6

られいいてるる Sm.lax China, 17 时 學 科 (瓜絲中品) 土は都人の時(スペン下は難人の時(ヤマツ)と発音する。 THE PERSON

一換車 金号。 手ぶ、干 12 TA で發汗す 西職ア番子大の皮ガし、ナ**ナ**水で きろるすろろを發 置んで膏のやう 中内を禁する。 不當都 Ħ 2 ひる不安を最えるものである。 三 涨 買 草椰 なるに選える。(単門経 漸 **顾雪九** 卓 「白圏財建」新面は面のゆらびなり、 早時配置で三銭とを服す。 肌も。(系首際事家 7 21 聖散 車聯代高稅 117 ア等伝を遺 部 川道瀬一元を末びし、 家具を到り周して行を加る。 北北 下焦い龍波である。 河 2 显 2 思 骨を補了系 の車種」 不 服四数さ水一 ° 趣 SP なかび三幾う ना 開 圖 果なおれば 面 部 「小頭前嫂」 世 元の不思, 肌す。(東立た) 源電影 田田 採 7 潜し、 誠 XX 服し、 末15 島薬等分が 三首はり 遊職 いた 酒で 别 及 彩彩 4 響流 쀖 44 派 國 W. 酒で二 21 0 सिय 4 食師 20 17/ Z, B 宗真三 2

強襲と新とは自然ひ続するものな」とある

通

4

4 4 2

会く館り前こう かいてく 植物各質 好世日下,今、却 ハメナタ が関

1 國則 る野り 鴪 面 思えらぶ 本く開系第 .1 0 2 14 去のと草薙のみき末のし、二銭でいき水一盆かん伝い煎して率と共び服し、 2 品品 70 學 小子 7 21 そこで蒸島で減りい蒙置を渋ってその器派を通ら 斯 49 1 神子地 0 热毒、 FI 24 辦 TY 拙 来 21 FI 車 珊 黑 * 驷 F1 21 アンス ンと大 P P 1 21 71 * アの財法がよ 主」、氩するコ割っア水は小闘コ人をのかある。幼习耕 の、この無 及纳 源 N 調って開 京水を浴しばるやら 命方 して痛び 21 調の 沙ス紫 はなる 甌 白圏して膏の岐とる治する薬 萬金點《 といてはく 事が B 21 41 n 瓊 この表読お阿色の感動の原因があるので、 で能く断を去って荷を行つのである。 000 兩を水び参し、 が一種と難り 0 鲱 TE 小便 場子 革輸お部〉 をお者がとすれば、平常卒績の W. W. 一個 京 、ていれば全身は焼している場と X 內部流 1/24 のとくな 一華草 e Sa 水廠がおれ 20 0 郊 2 9 · 24 0 野兔であ 0 21 1 したなり 小頭な融機とな 14 铝 TA.A. SYPP SYN 林塞一 제 2 排 0 源 お砂熱して通 田 21 難く お異人を 际 M 以家家下 酒を育り なって る当 別 ~24 到 溫 流れの選が、 9.4 2 圖 Y `~ 場合お重鑑が。 **凯** 凯惠 寒 一 はこと & ZE 0 驷 って献むと 34 2 硼 1111 瀴 公溪 1283大 ス闘 C はのなる 21 到 0 7 正 2 9 弘 道子 数 7. 9 71 igh 河 TIT! 71 FI 瑯 (A) 7 圆 X XC

(よ) 大棚へ大鯛し

_

趣。 排 R 画 唧 **彩** 画 0 滅 0 0 刊 fm 熟 却 (明緒) 2 P ना Z 际 通 1/ 雪 血家を見 됐

國門 県 Į 【つな葉ムフに歌虫 、 一瞬(※) ~ 井】 洲 源

0名年了 派 21 刹 0 脊 (1)

。 /=

随字ナン

(さ)大鵬

冬青 FI 通 0 排 洲 1/ 4 2 祟 5 R de 並 34 0 lik 璖 珧 2 1.11 FI 0 7 > 8 21 FI 並 亚 沙沙 2 が行として (1) 训林 含 71 H . 排 9 0 學學監 34 当262 裁載さど 0 8 ボッ光 R 1 製 1-21 1 > X 本 黒稲のゆうな形 颈 2 71 界 1 沧 開 27 不 0 所と神る。 7/ 业 0 2 煎ご 到 ト大きり、 黄 准 不 粱 獅 薬 0 2 0 2 圓 1/ CP FI Ce H 0 薬 2 9 21 11 P 採 9 FI 祓 54 疆 \$ 21 2

市分: 該葉お川理中の当が多 が生でが 3 . 〉 學 2 11 21 電 O\$I OFIL 71 証

零 狠 0 2 方では 間 薬 端%。 の称を問 0 島藥(不子 豣 林黃色 2 尽青 1 盂 0 8 2 2 0 FI 0 大台〉、 37.1 並 q 粉点 2 2 de 4 y \$ 0 麻水 de 3 1/ मार्क 21 7 2 1 排 7 땕 2 5 2 间 71

蘖] [新

4

ほん 意和大 章 千五 特 11 N C Ç

五瓜草(日

遊菱角(剛目)

(燕日

金圖財(

同じ

21

は菱

鲤

装额

7

繡

IIII TI Y П

7

Ú 那腳

A X

43:00

多來鴉么稱

1 h 1

밅 9

+

(1

SIE

11 II

4 7 **卸** L

E X E

=

Y 4

されていまれた。

11 山"木窟"下 五、

1

E

11

雅

(II) 江鄉

石炭人

윘

長さ二三 9 14 21 は遺 並 出 。公里 > 4 21 邵 146 0 鄉 T. 3/2 A 今ね記で記述 , | | | 。逐

瀬 目 草 除く長くして色法 0 24 14 場 おところか 71 4 5 7 FI 6 成者などとお尚更別書の 革藤 類 財 . 54 CA **財験**サラ があれ 革 眼は 薬 :4 我 67 6 して黄赤色が。 **財** FI FI 到到 郵 = FI 薬 料 21 2 2 新 0 根方 正 0 鲥 B 200 FI `> 变 東がか **¥** 日 > FI

》等 9 訓 0業 不

TI 鴪 談藥 2 U 2 6 FI :4 で連続する 8 2 阊 ユーフ 冊 の批を扱い 0 顶 5 日半 涨 THE THE 8 八月 15 re C S 小さう 二月 缸 狱、 よりやら 野い生でる。 大部、 2 華 南 ユーフ 0 P 郵 > 4 = 21 54 恵の2 陳 IN IN 11. , 〉日 群 2 音。近 添 :4 乘

2

, ~ 日 21 別の線 抽

Ш

題る王四人 54 工業 71 21 罕 運 が戦 鄭 24 继 3 247 547 公 继 9 2 S CA 41 学さ

ボイー~唇のその水 京 い弦いところから王瓜 できない 恵公っ 获 FI 地方で いといえ意味が C CEDT地 0 9 2 2 記は記 6 郎 W 2 粱 辩 0 續 34 教 FI y 2 1, 和? 4 豣 器器 [1] 数 2775 Ξ 54 9 妖器 おり 24 2 827 1 選 ユーフ 揪 個 > 金 湿 27 題/ 石 PI 日 O 54 2 命 童 陳 珧

1 常十万零 聯目京思 京中

> h 中ア

田米

=

Ŧ

陳

驟

京 4 重. (三大驛) D 11 訓

c & CA こしい ? 34 0 解がある 多いてでれる · & 量 12 思うればてはの 54 0 形 2 2

源 薬 えの湯 多野 111 江 21 是非 鄉 0 02 竟. 2 0 20 狱 2 .1 2 7 再爺鄉一 57 9 71 111

\$

24

のなな

北次葉酢のゆう

裁墜で 获 71 薬 2 地になって間にある 事 類用 0 高着歌といえはある 水は \$ 0 酥 0 延

即曾 心意 21 法 立 草禹繪融(拾置) O) TH おするい 南北の · > 日 21 形。 同。 お下語の再論録の出 脚目 (日幽 山滸糞 世界町 湯湯 [ii] 腳目 **康** 散参 砸縮 目 (日) 幽 土草薩

童 冷酯

(日幽

涯



が赤人 D) 2 富 To

再給與玄州廿人200 合意の IE 数

Smlax glabra, Roxb. いるもんさ 6 6) 环學科

目 とき 5上 苏 芬 21 每 日 9

业

21

I m 为 lh 〈 Heteros-Kunth. 町トネット 干益 き打さんきらいた、非替トスレドを非 milax japonica, もなる人きとい

7

盐

0 いて状だけ 图 米角で二 71 通じて 21 75 显 び三銭いつを監督が服す 思 21 文 0 ひからなして 赤麻 8 傾 「工運」での(連維) 21零 20 水三 を調 敦嘆二兩を末びし、 東帯し上原 瀬 ス別 别 倒 排 麵置去(は甘草場で 0 ij 2 シーショ 島棒 41 7 した赤い行を切って得を煮て食へ灯電を料 俪 0 田舎の査案でおい 臘茶等代を末び 水三盏、 運 裁蹊を形の 放蘇朝 更い 21 显 自麻 [必不林熟] 重色をのを献財を取る去る。 9 顶 題を浴す。 加 スな MA 柳の青着な 金属骨を未び なんなん気咳を舉わている。 するつ 【ct)風毒翢號】 £ 三 揪 いを別し、多びは、此財の演録で題、 順 ち 鼓 墜 よ 刻 即 見は 個 2 少 數 4 下啊 0 子 便智 R 自 c(衞虫易蘭氏) 学を 服五と大 Y 赤 もの」技験、 越え意 財な影。 · 。(曹智氏) S S S S 垂 账 服す 17 紫斑り > 門事縣大 4 出えば CA 9 21 場で 日 五 75 6 树 0)1 緩ご नं 島村門 猧 0 圖 0 憑 7.4 2 长

(+) 此脉へ水掃跡へ一条。

江

11

茶へ雅園イ、藤本

でを

寒豐圃。

馬馬

£

性は常牧で革命とはも用るてある。

小割の難であって、 爾急 下除を治する神多 0 图 FI 荬 到 , ~ 日 訓 心包 (包) 图 Hil (社主) 發 6

11011

变西

FI

规

家は温

21

申

50%

瀬

图

2

料

那次

旦び対方が

(AOIR

蔥

抗術なるものが。

關節 R 多 県 TY 排 4 6 主 9 判 子 SP 0 Z ना 2 THE なるないとこれが 營 2 0 変 1回 米 趣 鰮 > 级 Z 題 > 汞 # 不 Ė 简滑 いい。 0 .1 以及 1/2 多個 腫 21 1/ 圖 涮 排 R 逐 ンつ 和當 - 昌 21 训 21 骨網 立 I 0 (減器) 藝 7 4 36% 录 卧 > 24 :4 4 營養 SP T > る戦 1/ PI 和 ~ ġ 意思 逦 业 源 28 俳 界 21 測 Z

有 II. 71 狱 果 0 0 . 2 B . > 7 2 3 5 0 117 3日期 B 21 滅 活 贞 4 0 0 À 型 911 :4 明 道 .1 21 2 亚 艾 :4 21 44 0 71 2 北部 排 现 E. 8 +1 漩 47 9 逐 낊 2 N 0 0 訓 7 2 R 即 加 目 54 21 9 36 FI .팀. 1/ > 9 21 9 安從 狱 71 阊 illi 21 班 21 5 00 はか H 2 1 寸 50% P 7 71 部 造 de 薬 京 8 洲 B H 9 (F) 71 3 恭 P MI 2 . 排 のかつ ? 前 111 2 24 28 0 2 派等於 P 7 41 正 1 41 酥 7 流 D 0 0 . 0 21 2 11/ 26 H 34 54 36 C 4/7 0 q Z 2 - | -6 日 业 4 画 44 温 2 6 0 草 2 7 涨 (0) (F. 14 0 6 流 県 虚 留 :4 源 9 21 ~ 宜 111 114 2 恐 薬 7 2 0 0 R. スキマ 9 CP 24 · 45 } 藥 0 0 3 公子 2 3.业 鉄 28 田 4 出で食 ママ - 遗 2 2 FI R 0 贈 潮 9 藗 2 미범 專 21 C 國 Z R 0 0 藥 2 雪 洲 田 绿 11/4 0 なってつ 2 1/ > 廷 步 111 R 0 沙車 1 21 NG 71 1/ 0 中 28 3 B 7 2 班 꽳 \mathcal{A} 2 墨 1/ 54 ¥ 71 21 聯 44 21 0 24 9 * 恐 0 彩 計種 8 器 草 ·q 9 0 0 7 71 4 FI R 26 54 27

> 黑-レヘ簡類 == ^ 短翻。 西十出(大木小 4 山山郡縣即區下 (5d 11 元 = ∑ 部 本葉 1 1 数 次 動 妈 師べ置 4 事 1 中國 攤 _ 元 华 0 114. IE 雏 1 4

頭

4

骐

小戲

21

4

放び今前到この

當今の土法なのことが。

、ママ師

記を記

0

2

0

IE

图

再繪跳

京

0

虚

るる。東

瀬器本

2

6

が電影

3/11

專號の意

9

かは

2

0

公果以

瓣

3

(1)

3

4

置

利人

14

4

FI

21

71

· 24

.

4/7

0

2

R

28

C

1

落本お

陳

24

7

걜

21

1

刹

常本の

0

遞

삘

顶

瀬

[9]

溫

54

五

21

型

公公

2

1

继

(1)

涨

米

0

300

U

C

FI

3

いろな

滥

TIF

111

苏芬,

24

24

继

学の

1/

82

54

垭

うり

等每

dg M 0 體 2 C 瀡 2 71 1 大岩 果 21 1 뒘 間 圓 0 2 1 5 凝 å FI 0 近色 爽 鉄 .7. M 71 米 洪 引 0 当出 琳 5 澎 小太太 7 事 2 ア
長
と
正
大 0 9 9 重 2 ζ 6 F. F. de 0 薬

ζ ツの京 21 4.4 2 温 合置 0 8 の事 讃しア習が 黨 0 N 多以野 21 が薬 7-21 中 阅 0 的變 71 纽 0 ; F III 生子 の無 は響 薬 土苏苓お 9 P が開 `> Ė 晰 FOO. 21 。销 乘 2

9 批 R 排 000年 21 置 域 森 が計 . 上で ٩ 童 :4 8 41 71 重 0 21 筆 8 2 いるが 1/2 * 聚 2 顺 71 0 酥 2 亚 ---9 0 狐 6 更 0 6 21 導 146 94 1 홞 2 > 6 間 日 2 贯

应题

Ŧ

5

0

1

TITE

地は

お赤り

倒

2

Ç

de

Ó

苏茶

改は

28

FI

雏

表へ

明知

1

9

重

·4

阁

幾

0

1

1/

2

7

21

0

壕

2

7

批

Z

28

2

FI

J.

豣

划是

111 H

146

M

4

丰

督草

2

0

財力監別とよ

生する。

川谷で

草禹領域幻察学び近い

, ~ 日

O品

0瀬

璵

集

多個 28 田 4 寬 MI

11、4組 I 凾 サンカンサ (1 リル 285 X 4 北 1: 支蓋元 --

日 東 14 * $\widehat{\Xi}$

[4] R 酥 8 CP 16 到 07 1 M 111 . 紫 源 0 R SIK 71 9 河廊 哑 2 國 -47 21 * SE > 34 流は多 案 0 R いつれる容別は大しきいみんで難するもの 21 21 米 御 0 5 洲 災の災 Ry Mu 溉 源 XC 00 71 FI のて、その減 21 SON: 逐 No 表別を 11 並 71 114 0 1 WE SUF 2 FI 1/ 54 28 7 0 \$ 50 7 ·[F 9 CB 気で響く 一盆であ 亦 1. 21 0 2/ 2 2 28 2 本の 0 沙沙 顶 2 8 :4 兴 0 0 71 FI 71 26 2 到 ¥ CK 5点 7/1 3/4 0 漸 發 0 0 劉 0 验来(丟 24 龜 R 21 水 21 弧 直 51 采 0 2 7 24 il 2 71 W 通 0 罩 治療の 绿 この誠 21 0 FI 9 。 2 4 學 なって P Y 並 21 号 2 4 21 甾 岁 0 2 7 35 シつ :4 9 誾 24 次第 S P 圖 6 CB 2 21 H 派 6 21 0 14 酥 逊 發 R 圖 日 业 7 滅 嫂 21 2 21 de 25 A 71 0 ffil Œ 0 21 Hi 4 7 3 44 惱 顶 響 FI 51 0

9 -111-Y 近 醬 :4 7 陣 SIE 34 翠 の対象 9 7 57 も満瀬り 29 就 童 ものおれるのか 2 2 21 0 丑 0 間 4 21 8 0 Y 24 派で 24 Ш 2 0 0 0 派子の Y 54 M 法 驱 P 兴里 * 6 54 21 14 蒙 E. 3kg 7 ひててるすなが 회 ·1 9 21 0 0 場跡強は古ていなに職をれてな 4 4 116 報となっ 掌 16 11 2 :4 7 なっさ 弾ユー 9 37. 湖 2. 石 理 R 7 4 發 器 * 修修 :4 # 發 21 111 U Y 羊 7 2 111 本 は端 :4 > 東〉きつ 28 3/ de ・蓄散とご 谜 21 ンつつ U 0 , ~ 目 7 Y 2 :4 > F)O 滋 急 TH 9 0 李 岭 + \$ 21 21 71 44 非 21 2

源外 24 54 Z 叶 24 > 倾 P 测 正いまつ 2 ffi > 21 21 2 38 (1) 24 94 9.4 3 71 智 刑 > M 0 0 :4 湯水 水 4 21 具 詠 ユコ 34 (0) 2 2 71 川 02 CA 9 ç 温泉 华 8 莲 0 瀬 不可 A 54 4 26 また鬱 :4 頭 肌肉を主るも 車干 21 誺 024 21 2 0 S St FIRE 水 班 21 田 雕 0 34 R THE 黒 藝 H ンつくど HIL 2 8 P .4. 徽 纵 28 7 ララ 082 甚らお師 :4 2 U FI から場体語 H 熟 儒 0 置 瓣 THE 21 ME 87 盛で 2 :4 に響い 不了 4 熟 熱を去る九はな #1 XX 子はもと凝い園して なるおう .PI 高高 测 北水水 X (0 2 輸加となり、 27 V U ¿q なる 28 2 ~ 子 V 謝 ٩ 墨 なって 0 9 28 ut ult 兴徽 纏 了不是不是 のとなくを 14 級 6 2 な薬 C & X 藝 哪 33 21 24 °24 i the 驱 五 一条中 机 测 俳 ムつ酸い 得長であって、 画 8. RICH 恶 2 0 FI 墩 域、衛 R なった 2 Tu Vi :4 のとなっててくるる 逐 事 奉作 > 繆當 2 (0) 0 墨思 继 歩れ事業, 3 绿 始 干 題 は は 000 27 飞歡 27 不 華 のとも紫緑 数 亚 :4 五 21 :4 歐智光 消耗 亚 07 なる IT YO 買 なるこつ Ch Ch Ch はる土を激 0 调 :4 `> [4] 14 > 9 2 4 水縣 日 21 21 沙影 괢 别 一个 14 師 隮 0 于 ć翻 111 並 7 2 瀴 8 如 音川 9 本を FI ば熱が衰 響 MA 9 域 誾 9 おフフマ 2 9 藥 ff PI 發 y 飛 2 1/ 0 0 瓣 漸 到被 27 當 > 2 2 28 21 寸 疑 ユコ 中 6 2 ※ 津 FI 21 2 0 薬 Ŧ 别 士 76 4 54 9 26 R 21

な水水 日韓 7>1 CP 2 7 FI で煎じ 埭 1/4 71 III 劉心 刚子 21 2 「骨輪離断」 0 R 11. 以及公安公司 [44 刊于 弧 78 IIIC 料 淮 14元 71 ためび簡骨に多部 及 は、土地瀬 計 4 淄 TE 76 於 錘 米 山间 4/7 My 行委よい 0 金龜出一 17/ 自ら謝える「他特勢戦) 2 FI 料 110 0 21 27 日子 聞 21 111 P 7 冷飯 驯 、駅子 M 11 TIJI 学验各三畿 歌され四 FI 9 ·采剿 まご事 47 24 再子子 ~ III-0 郷しい 文町 21 洪 R 21 青 日 中 剩 留 4 刚 ナーサー 箇円爺ア 0 1 角子, \Box 1 THE STATE OF 素惠 行彩 語から IX. 27 雷納 昌 17/1 源 E 青 II 21 H 暴納電 後 月爺 いずっ 21 110 以 被を限して期、 聚 0 浙 哪 21 却 湫 III. 溗 阁 步 544 ĴĖ `~ 0 一人へ闘 重 0 排 5 疆 4 鴪 [44] IIIL 6 通 動となり、 Z 别 4 2 ____ 神 重 们 0.4 <u>~</u> 置 繭末を保付で 2 00 いおき # 通 涨 21 歌 6 21 71 シつ で煎リア茶 别 놽 MA 21 TI 4 コア茶 皴 21 170 21 2 腳 性 2 盟 印 東于 海流 4 世 18 潰 111 2 Н 顶 0 2 肥

白織虫谷正位、皇荻子四位玄田 品 采 沧 ~、水二大盤 か煎 リア 腿 · [A] 意 置 瓣 nit 74 木誕, 末 は常舗記 17 木瓜、 X2 X1 高温(1) 凯 通, 次茶が付いてといいま 0 \$ 7 · ~ 金銀沿 利つ 人签十代分加 墨 当時で 24 0 n 000 習み F1 爾 21 别 堆 圖 = 21 到 上苏芬一 溗 0 H 到 C 哪

これなかしる種様を取し 薬を肌して簡骨 ま行不謂のものも、これを風下れ知やおら数はある。その古は、 極級の **愛ら**お平箇月ア

添える。 属解毒馬といえものア財淋剤を治熱する。 家の絮きを一箇月給、 雑念され、 醫家は財 用るずして、 警部し、 21 54

がから 子び が事で 歯鱗はら出るのであって、 不不 24 衙 手思幻鄉不發 期、胃に動全なパ灯營、 古の諸語は多くは識 ・イヌノーンがあり、 H 뭬 12 34 71 JH. 流お子の素ひとなるものを共 0 ₩10. 節骨骨 24 大なことが不 0 石 B はお 置って極調を担して ·4 瀬となり、 この時は胃以人外到家治園肥り續するもの好。 妙機を思 もし贈る闘す 21 始 **窓り翻衷となるのである。土 払 ななるものね、 原 1 平** 語~期間を触いし、風濕を去るものか。 ななる事實お全ろと対古人の未分言おどる 帝献となり、人しトして蟲を生り、 味する。 金石藤ではちれると、火の割って上代し、野豚、 てはて 去れ対節骨が 且の完全でなっなってあるのがから、 つ盤 o o o o 能秣郿 流骨 () い電お許ら速えて減えるので 学堂 て血液が 画 經絡 9 0 24 毒源は記 子1 21 がであって、 發しては主義 且の完全 であって 油 迎 、おらな である。 涨 十分 前 本藥 39 0 の歳ん 始 H 94 + 54 f1 なっさ 衛力 FI 0 0 54 Q f1 驅 q Eff 鷽 2 0

歲

班 111 th T (0 Y : Pix 洲 温 SHIF 5 (0) 79 1/ . 0 B E NO 0 th H 0> 劉 及游 SP ना 2 逃 淵

深深 O辦 21 0 班 9 1/ 派 刑 瓣 恐つ非 以 , ~ 目 Ŧ 210部。 0 6 置き頭号 【つな輩よついす られる。 重 が読 、つ暴 > 日 和 0.1 07 沙 0 9 됐 P 挚

10 0 +1 0 34 1 日 1 10 :4 [4] 21 > 11: H Th 71 Y. A 36 54 , 号茶 FI 28 7 22 米木 . :4 -題 生 24 印 14 明到とで見っ 4 111 MI 宣 北 0 fill 2 ٩ 彩 COST 71 小 :4 酥 000 質がぶる。 勉なる 采菜

11 B 4 谜 林の 北 24 7 C 12 は赤く E まくま A 精州 业 水果 >>> 0 美利 工 100 11 9 TI: 今は [3] 0 34 21 Y Til. 5 '> 2 测 日 0 0 2 P 家 0117 M 4 21 1/ [] 瓊]

70

0 9 OF :4 :4 **数和布黒色**方向 薬 0 X.X. IF 21 部至 0 9 杂 P 2 北方 37 0 0 9 .1 4 24 FI 71 N. 2 --5 21 di 淋 0 -11 天門冬の川ア H 5 (1) 12 1/ 71 5 排 de 0 1 排 0 03 薬 学

>

26

0

8

28

21

T

(B) 立 (B) 立 (C) 立 (

たが勉強の古い多う用あるところ (1) 別幾) は常品は 到 ができる。 21 当為 は末 E 29 中以入れい食え。きり食え到と彼かある。 **鷲兒**呢(瞬日) いったも形容で 中田 Ampelopsis japonica, Makino. かなれぐれ 冷園園が たけで杯(葡萄杯 白財(服織)(馬森(服織) いかったん 「稟郵の背臘」 台灣お照隣の古び用のることお爺が。 鈴伸な島で、劉丸蘇聯堂は) 更減 以 7 科學和 はの日々に び対がい。 (明上經本) 每日 返は網の 白草(本) 34 器额 水で煎コア 城 57 即中 白いをのお見し。 41 **月** 日 から自然と名 で煎じて 宗。司令 4 IIIL 盐 Z 本 XL

白燥力の適用の山谷の主でる。二月、人用可財を経って 計り翌ら竹 以おは立てゆらず。 であるとないが 近重の園園いある。 いる。回の一般の日本の一人 よっという。 00% 潮 上海衛 菲

34

ひいでってい

温

そのさ

心景日~、近新の淘淘기ある。瀬づなつてア黎のプ目光で済す。

我称=断=鉄約かてフテ吊いましておいまして対対 7世日下、本蘇 いし 京 重 瀬本 で レテ吊いけ然び其最 へ學名《Paullinia CID 海山へ間、潮冷。 ドアン 配常 Viiis im. 俗 〈 Ampelops:s, ge. 人學各二个和於 (三)大鹽= 第二計2。 serjanaefolia, Maxserjunaefolia, Bunj ponica, Thunb. A 今人職南眷漢尉翮於太。 が田田と 0 21 6 へ支服 显

到 9 7 頭級 目 2 71 太常 珧 2. 21 THE 0 8 24 9 MG CP H 14

TIF 田 FI AL. 7 表表 陳 3 ·1 827 0 ×4 2 数 1/ 郷 71 量 C H -1-57 五 > 目 30 जी 71 31 7 文案 事 71 2 16

To

白繳17

文委は薬は

>

1-1

抓

兼

ON

ひ女 妻 (幸智と本草) 麻 き

丰 TE 黃藥各三邊 4 语子 ユー 11 54 4 17 阿轉 水を高して 2 灰 いさてつ ける。(語が堂式) 显 赤劍 7 班 111 21 夏等令を未りし、 目 源 简态 + 重 目 Sich 000 0 21 0 事 来 4 B 27 画 不 2 RY る。海 沿衛 \$ 胍 事 X 別す。(別命集) 邢子 FI 0 2 9 环 MC 白劍。 罪 溅 雄 旅心行るやらい 脚子 整白 4 6 水公島で。(子金花) 自劍二 公場 92 CA CP を解放に H 不翻 9 1 71 0 21 0 맨 绿 5 0 R 75 中 學 迹 なる場 + 与 同ご。 · 9 Ŧ 0 聚 6 地 21 别 2 1/ 0 F M 21 2 2 6 14 F1 7.5 0 28 0 4 Y. C 71 0 R

7 21 ユーフ 贈 を置す 現り醫家 21 麻等の 0 21 0 子帯で調 「丁部」 伝ざ末び 回 B 酒で雨 9 0 流小豆、簡草を未 白嫩、黃藥等代玄末 24 21 C 144 额 白劍、 ,~日郊 田 瓣 解 早 日 一 水で白嫩末玄鵬へ了窒る。(相新古) と配合して 白燥二分、漆薫一分を末びし、 杏口谷や雨を未びし、 ける。(小量氏) 中 白五等化を未びし、水か二鍵を肌す。(警点た) 国につかへたるには、 科 がが 康】白嫩二分、杏力半分, 陳 **排** 計 計 計 計 引 及 「しゆの癰運」「離日~、白燥、 惠市 けるが有 東京 白燥末さ劇 服す。(響 はの世 C 重 自行能 多~用 21 「器火部の冷職」 0 行木なと動い砂治 いいい 圃 後打 郷 2 21 # ○闘劉宏式アお、 深 水を薫り了商を法り。(村 自斂、 【発背の体映】 記して 4 生で挑を鵑 金割さ合する面薬の 「商面」 回 「画面、真の画館」 日 かへたるとき」及び、 大は上い同じ。(響惠氏) 人。(耐難別氏) ,) 日 **-** ~ かへたるとき」白織い 一、一、 末びし、 。と褒しく贈 是。 NA NA いる。 34 7 随 文 等命, 环 4 ffu 贈 画 雞子白で 回 9 2 林期 三日 蓼 墨 2 6 2 では、 배 發 排 21 41 2 2 事 回 一明

训训

彩湖、

河

9

阿智

面

I

易熱

(明維)

「火毒を鉄す

一一一

米

내내

赤自

(小学)

6

語を解

「頭毒の

部を山るる「大胆」

まごす

Ž M

21

排

涨

論。新

11

2 はな これは精想で · D 黄腦と刺えるの て食い

Ro ci)桑敷地大で蒸し 54411 漆 11 16 于 は上明のことだ。 4/7 かいか 嗣九の 0 2 江河

上書を記されて、記を記されて、記を記されている。

梁遊 學不學州

は漸減に 薬は てい遺生して (3) 草や

ら、小なるは升ほどのものだ。 大なるおや到 想は、 辦 , 0日 0款

14

のの日と、孫我与小幸の今らか、 自己とは流気が。近道ひをある。 图

0

二月八年の

山谷中以生でる。

[料



明録び日〉、 捆 事

想とは酒器の名解が。 6 P 45 100

17

読のやらながはあるところからなけたも

題のやらか、

水が

`> 日

はのは

4

盐

つ場場 漂赤未 联 學 科

步步 一世 經下 * 服

-coscid ト京シボン

の薬を塗擦するのに古今後總

湖

4 一解できてラウ平、実財財、総赤行を以 す見しい強いしらら 下立中強人以イアル 小品本 D. rhipogo-ノ盟ところも印 不不不 X 涵 noides, Oliv, n) 改 事 []於 さんない。次のでは、ないない。

0

24

ligh

あるはるの

2

、 〉 目

OSI

。制

II

「八麻翅川」女妻なゆって一代玄勲を、 【つな幸」つい歌、つ幸】 風寒ででくどくするも 、業年「〇年の本下の上震心」 九にし、一日三回、 おらめる歌の 量公分 と合で ※三、 量 潜間 立藏 规 酬寒燥、 4 删 千大の TI 0 7 諫 (2 基) 彻 26 湿 21 21 雞 器下へ女子と器 北多川。 斑翅ヘトアツ。 (A) 魯國、正部石膏(A) ° 4 多漸入 ベンナリエノ上 1 影山へに 逃線 動チエフ

室で帯

を未びし、

掛心正幾

川頭二兩,

烹 賀各一兩

2

1

颈 E

經第

「真體の

へ玄風す。(相対大)

C.7%

水で五十

金

木香各二代含末

雞舌香、

示"W子─窗、

杂

自

文菱、

0

阿

7

点を料石で種も勘って日毎び

錢分人水

聖香一二

いこがにがい

鬼治な変とる。(楊丸畜除た)

上下常ならるの

歌家(1)

調網網

爽麻

電網電

0

出行了新老

2

中北

以及

食物,

「不耐か山め、

県 Į

= 回 本 100

東部ランコ田を取 部から午後二部を予蒸し、 いとこれを探加したならば、 豆林暦を料予ア中前十 ,) 日 0個 いという 県 がよる社会が 剩

は、「となるでは日子近しては気 0 \$ 000 2 A 器 21 刹 0 逐 顽

10 = 别

1

60 7

° 2

2~

審家は女養は強する興糖を題って演義は難し下加

といろいかえると、漁商 U 寥 2

FI 0 剩 な壁夷の用のる毒箭の毒が解するひ 21 湿 2 は毒を治するもの () た。同風 五 。账 五 剛 服するおお放うある。 洲 Mu () 等 画 酒で 県 2 Į 1 患 724 21 末

毒スつい寒、つ器 」 YII 跳

切片し 0 B 9 排字紙 色粒して用るる。 21 11 V = !!

146-

刚

¥ 小なるお祭打どの まり 24 X 2 111 21

-11

EI

器

0

34

き薬: FI 纽 0 班 2 0 8 54 1.11 21 音

意いない る事 シュ 1/4 可可 生子る。 27 山林 CID直州の でいる。

ý

漂未未

つ黒黒

出 出 出 环學科 弧 回 未 和

三蟲を紹~】、本難) (3)(3)(4)(5)(6)(7)(7)(8)(7)(8)(8)(9)

訴聚。

H 1 風毒へ飄重 (H) 強

ф = 11年月 不

瓣

兼

県

7

规

渌

됐

· 2 9

2

*日~,

「つな華ュついす

进

號

題の

繫

次五のこの

詣で鉄であり、

の公母?

はこの物がしては

0

24

7

舶

祝

2

S

12

五次

图

明確だが

は基が

111

0

再経域といえれ

しかし、これを再倫強な人等へたなけは題な。

土苅苔のことで、食い得るよう頭なるな解が得かのである。

图

21

菜部

的ち土羊である。

土

娘といえ名のあるべきかけがあららか。

0

14

2

0

諸域 は 動力 気へ あ か

21

刹

0

跳

再输

部の

立

本草

いて記を強強と聞く

2

4

亚 圍

0

との敬

及次

会別

及

排

2

U

2

FI

2

TH

数の

熱のゆうな赤い竹はある。

理がある

中ン診験のゆうび赤

Ė.

28

额9

A

1

苗お蔓びなって出き延れ、

, ~ 日

OF

(出)

El

FI

0

\$ 2 2 T

1/

MESTO S

#

お圓い触で

大なるなの

肉お黄赤色汀。

、国酱

五次梁

9

P

21

事

飛

34

0

B

2

颞

Hu

を題のない。か

2

肌は赤~、阿首島以似たもの

カ曽お黒〉、

既以南方の地の極の極めて多り、

0

14

平~皆日丁歲及回

地大シカ青色楽林の調中以入れア
当今。

圍

IT CILLS

林思

, ~ 日

Fo E

辟。

CIID 閩 <今 / 副趣省

地方。

っているはあれ

沈話の筆続び『本草の祖間쁆独なるものは、

2

財払鼓薬のやら

薬な蘿蔔の似なもので、

デード

常十万绪

京。

温州山道

活州 藤/龍/瀬/江/

2 1 0 A 2/ 21 2 擎 0 4 B FI 国 54 21 11 果お休川 33 TIF 146 太さ計 劉 数 OF 116 舒 小小 3 たる治療 . 11 24 0 5 8 概して主 de 2 0 まず 去 眯 北地北 2. てなっ 到 16 0 贵 71 on 4 0 こうな 2 B 44 8 肺 生于 in :4 证 21 記録 21 TIF 厀 퇻 XK K 24 0 9 147 C CP

千金瀬といる , ~ 日 感の器の 翔 菲

2

0

種都

旗

21

0

8

继 21 71 97 木部 Œ 数

學學科

つ無黒

煎未未

1/

寶

間

来 m子 金 瀬

服すればいいいれる蠱毒を解す。

なれ

湯

75

頂

71

须

公子

0

南る

网

派三

、〉日

Fo

事をせいい

6

抽

不

華

褲

IHI

重

0

闽

独

、単奏罪ユフマ王

, ~ 日

場の器

合置)

叶麵(

言語なる。

21

遊る

7

2

日及

童

0

生子る

21

間

0

旦川

0

齒南南

。2

AH

20

で研

082

I

お薬の

F

腿

*

4 2

2

II.

和分

小濕心

(八川)と上郷

Y

紫色が

TI 0 铝

7

濺

71

22

7

2

米

いかやらな状い

金之即

1

图

冰水

2

窓川図

承

却

即

0

生ま

21

少

Ш

24

0

R

(0)

33

HG

前がデア金 人口日됾

○ 小 ※ 未 ※ 未

つ栽栽 出出 意 삼 玐

無未未 3 班 魯 柱

是强王。

7 盐

承觀心 感。 渊

兼

古 書 請

21 童 きずる。 21 [门 天台 鱼 (E) , > 日

>

樂

>

圓

71

薬

12

M

2

0

14

TI

21

继

〇曾

思ね

0 9

2

21

A

ユつ

身

:4

0

g 24

¥

[孙

14

幸ユつ

21

寒

规

逃

翪 于] 急黄、天谷をない。

圖

〕〕

0

遊

果

0

6

湖

門所なるるのがない

制。

水で潮って

71

21

。 September 1

馬黃中(

宜新

頭部,

寒熱

避

中

源電

11

2

0

鲫

21

XC

G

\$

掌

1/

ユー

21

歌

忐

规

歳の日~

給遺

罗

山

悉

树

9

ある「瀬器)

7

同功

7

東家白藥

P1

U

41

掣

21

爴

ൂ

54

五

T

之中

0

0

合う東島

000

41

重

8/2

21

腫

驱

(1)

圖

数

2

6

34

Z

6

泉水

漸

劉

316

0

豐

PA

U

6

别

2

曹

るるのななのはなり

県

Į

-

· 14 驱 -鵩 4 衛卡 0 11

日 (五) 対型 べま

謎。 東

事-

殺共て 脚鄉 200 八八 144

o器

-事 + 滁 = 耀 7-0

里 見真 V + 器程

開 。とはこれ種となべらず 小な青黄色の帯を 六十月7年 FI

子対は出きて、近ね一本、近 娅 0 薬 0 1 圓~な ユー 21 21 垂 11 黒-

やうで頭 ユイン 並は解、 0 薬 お島林の ち六十八八から 薬 `° €

遺れ高

一月前が生き

色は白い。

2

九箇重の

城が

本15

の公田に

吐

大小子はいは附のの大

, 〉 日

OF 0 铝

網

集

卫 晉

일보

る事

。 東 E

翻省

仙女鹬

7

盐



つ業業 無未未 宏宏器 科魯知

2 6

>

踵

ス闘有

体金し、

、つ場を画

FI

面び登しア服す

のりは土地

水岩し、

>

İ

印色

目 鮅 Ŧ 9 元 训

ユつ 動やいいい 21 水辛~、 解す。 る。 次葉お辛~香しい。一各石黄香、一名子金瀬といえ。珠お 対車、 天於狀燒、 휇重、 9 惠 丹毒 21 新 ムム場 、華榮 44 、津の 6 諸藥 别 水水 ° A な業 2 狱 0

影響、 天行

記

発 、置中 悉~主数はある「職器 電腦、 諸家 、業ツ 哪 0 G 、順發 薬石の 県 Ŧ 大壽、 娥 廽 瓣 脉 规 減不 涿 386

° 24

山種は出る。蔓生で小豆のゆう

日~「諸南の

○點○點

(四)刺恩发(計量)

恶

彻

留 1 剩 明人植物 対地田コン

衙 海 瓤 和 Q 0 8 21 票 4 24 827 0 0 S 攤 冬を青いるのか 古藤 頭 B 沢米を異けして なる 同うすると M ° 2 57 1/ 然らは五難い名稱と實物とを計離し得るかといえいそれも 7 27 重 事 2 貴 Z 薬の 0 千金といえお 2 12 2 TI 金瀬と これを千金瀬 29 でまる に生えるある草 いか干金瀬なる名解が 19 . U 0 いないまで FI 0 B de 2 200 9 : K 樹 林中 000 0 2 24 5 ġ 被 島割瀬といる 江西の 8 顔 酥 Į 東のあるとの人前は di 郵 21 頭 阿 0 。そのユルリ 7. M & 2× ¥ FI 0 X 出 5 薬 錢 9 24 1/ 000 3 34 C 如子 \$ 23 A 辦 200 2 0 题; 金藤 麻 岁 2 N X あるな 21 21 24 0 大意本 學學 上 7 24 9 2 & UK 19 By 李 CP ス FI 71 2 21 21 X 2 Y 规 41 遯 郷 薬

E 9 酥 Z 别 9 影 2. 111 强 21 R F1 X 0 8 9 9 1/ 27 M 0 6 1/ 生 R 排 2 > 10 11 1/ ्।।।, ना।।-111 田 及 21 0 糧 沙 14 が湯 0 21 豐 1 5 挪 2 B R 6 C 禁 别机 6 别 1 世 0 FI 2 響 京了 X R 鉄 CA 源三 9 末二二 Y. £1 + 排 晋川 14 站 0 6 念黄 4 All R 栩 曹 0 酥 11

SP 6 ना 班 不 0 麻 9 上 Q ना PI R 班 24 批 6 别 0 27 酥 IF 21 些 75 ₹E 到 0 411 1 1 8 7 0 2 独 3 票 21 水上 到 器 75 月 0 0 4 规 發 21 映 X 14 五本品 (II) 果る PI 311 24 題。 狠 6 别 丞 冰 R M +1 到 淕 2 0 累 Y 0 歌 瓕 R 1% H 0 9 54

かる \$ 28 28 、つ県る 旗 2 6 6 1 54 别 别机 發 とろんで Z 2 2 心声 銀 111-SP 54 連 理 -H 2 21 状 0 2 强 2.18 fil' 0 2 30 6 SA 6 ユフ :11 X 部 東京学 R. R 開齊) 来 班 华 Y 地 1 が開ば 5 到 湖 HY 鉄 别 Mu N R 訓 R 不 類 噩 111-練 FI .F1 郊 XX 1/ P 2 召 [11] 【报

器

以

Æ

0

4

7

34

调

8

14

7

FI

8

4

7

1

#

和

21

京

X

0

1

某

2

SP

郊

:4

规

四川

21

貓

基

0

业

W.

21

教する

.1

OF

0計

寒コして毒な

县

洲

0

源 FI 班 9:4 圖出 - 哥 小 4

海自然林學研究 彙解,一卷二號 上大二九,五一。 别赶 11(班 뙕 里。 Ind (4 資源 また 园 顾商 某 11 潘 翅 1. 级 工通 學果

サルへ 非 イ 順 = 墨 13 + 114 44 .4 酥 11 頂 異未而マギ 1

目を取って暴转し、 · · 9 その財を食え。それで酱南地方でおその風を能 2 M 及 秋 20 田 21 8 57 五五八百 7 挪 不 尘

不量方 マルマ 小財の今でか高ち一只給あり、 FI 歯南のゆの 月班を採る。 V 0 1 1/ 温度 2

4 洲 74.81 調 今は のものを割しとする。甘蔓は豆のゆうで薬は青く まじ、 派の山谷以 Cino 宜州、 XX XI 劍南 加豆 地名 加豆 地名 (三) 運州 `> 品例 Ė 应应 <u>6</u> q 瓣 4 薬 B

(目機 黃結 (目幽 解毒 7 盐

7

13 なして 表別に 13 なートト 24 は か中ツテロ

音がよる かった 水木 も ママト イナファー

化阻思

臺流大豆のゆうが 中藥

·4.

gig

未 諾 Euchresta sp. ? 琴 科專和 寶 開 亲 騑 四

(1) 対型日フ、游氷 近山豆掛き まる 将 (實持) / みやまと、

Enchresta

ら即チ

体を(童体を)

X 94

3

ê

散する。 沙河 瞬車。 「胭木」 して事念し その代を含んで瀬びは掛げ身 県 £ 【つな書とつは遊り一番 q で響 は酷し 规 池 源 水

A

孫

21 H 75 紫計草の午の今でな状態が、 子お郑小文器の子書き、 部つア實を結ぶ。 財を採る。

章十八多 本草瞬目草沿

P シフ 7 0 B 24 が一般 0 B 0 ED 萬州 いた。(型)部別、 华泉 21 # 垍 0 越 M

XX XX 146 0 大社 34 かととは「かい」をいるとなるの 71 | | | 010 璵 菲

000 P うし 2 7 5 17 廿草で 。アハマ果

¥9.4 記 大者とあるは仕草のこと 2 71 以了色は青黄 0 W いい。 2 21 17 S 某 0 :4 滇 秋 24 2 -11-R シフ 21 媳 翀 の草 21 おの一部で :4 * H 和 9 18 60 7 312 P R 莱 :4 8 2770 嶋ユ 47 慧 蔓生で の野 0 那 > 流 2 W. 武士 黄藥 7 I1 34 372 £) 凝



张 (目謝 大苦 月幽 木薬子 7

一様で酸いかんこん

Mr. CC. paniculata,

くの置うるとにからい

Thurb)=如水繭本=洗やい人Fアル。

2

粮事

| |

形。 一

薬子

I¥

9 H 到

異ニシモ重出スルティー思し、又なンキ いものおしおけ科 (手茛科)~Clemutis

4

校野

Polygonum Reyn atria, Makino. いいいいい 3 寶) 誾 来 薬 13.

> 四数 山河。 大音 III 河。 大南 III 河 区 刻 刺机

北方爾那[蓋。大

(三) 郭

10

21

0

0

到 日 14 置 5 1 シフ 疊 74 画 部 de K 離 6 聖惠九 派 通 0 腐んで 9 别 就整重 うして 言語不 高麗 急力 X 31 背つ 2 1)06 山豆財末玄奎か哥子 れる間無古り 曹 職 耿 班を旧ら出せ 以言語を強、 8 11 0 7 がに 五 を酒で眼 7 + 闽 う野 来 いるいのののはいい 琳 剟 21 琳 宣加 3 ं 白薬等伝
る水
で 9 查 山豆財末二錢 里 III 急力 54 服少自ら上生る。(月 PI 方でである。 0 極を追って極える。 水で研 Y からの(職)の父妻 自不麻】 (D) 21 0 口 飅 FI シン 山豆琳, 幽 F1 21 6 中バスパる。 流 引を割び しさい ° 鵬 别 2 黒き る業 臺 到 猪脂 ¥1 21 热基 21 制。 'n (S) 太陽 # 劉 琳 温 5 萬川 劉 2 镇 CA 2 否 白器で カ膏の 20 受要 0 **邓**ァ 標 い ア 网 小科) 豆酱蜜】 山豆財末 加 橘皮 班 2 財子語で響 不得別のので、野野 2 8 ~ る新 21 を水 爠 騗 4 9 魏 いる空観 2 爴 倕 P 联 の鵬 业: 琳 0 亂 末 查 3/ 燗 54 8 靈 置加 排 111 来 K 臺 21 4 なる。(永鮮大) 瓣 否 い。半 排 9 口で 21 继 孙 间 選 됊 # 查 团 += 朗 2 酃 皷 111 味 惠 發 FI 驗力 T 0 蒸縮 711 独 21 閉 21 0 ì 0 屬 頭 垂 中 21 邓 溢 6 9

查

绿

驰 4

9

4

114

到 0

Mu

涵

渊

26

なくへかせる (六) 新風へ **装**

州見へ 運 指/ 116 頲 म् म 干溜

狱 唧 熟 争なって FI CA 21 スマンな > 9 間 5 21 亚車 1/ do 計 0 004 PI 郡 CA 刘 重 到 Z J CB 47 CE (F) 沧 兴 (1) 111 瞎 FI 0 する 9 ユー 1:K 国 .2. Ve 1/ 圖 城 飛 0 IIIL 鄉 27 2 0 别 逾 8 y Z 2 547 7 思 54 1 沧 1 重 ×1/2 鼠 :4 6 7 2 過が 4 6 避 34 21 Y 6 2 2 *透 K 独 口 0 21 7 1/2 :4 0 **系思邈の千金月令より** 4 独 训 8 却 解うす CP 不 铝 2 投ご 田 題 R 0 41 21 华元 噩 2 B 間 21 27 随ってい Z 21 中 1 7 軍 黒 黄藥二 亚 R 0 , griff 21 薬 掰 휅 AF. 2 0 2 7 稻 116 0 6 6 , ~ 目 鼠 特 19 MI 部 五五 M Z 不 、ユーマ 迎 27 弧 146 长 日 開 0 王三 弘 學 71 7 Hu 0 0 0 M B 鼠 2 8 III 9 發 8 54 1 F 6 ना

洮 石 YE 0 毒を解すと 别 सेता 2 6 بْرَا، 班 0 21 置 3/4 、フ駅 0 9 FI 1/ 21 巡 R 烫毒 通 '> 、つ物で 头 日 0六0川 計 X. 7 漸 、つ戦を呼し 1/ 到 掌 種 2 7 狠 21 お館る「開覧) 圓 立 電器 、つ暑 県 A 24 和 £ お合み、 渌 るおかる 됐

屬 71 f1 0 Q 1 4 HV 1/ 子とは ·1 痲 ·4 7 计 FI 21 0 調響 B 25 f1 54 K 4 ういい る中曜号 ユー 16 (0 * ス 漁 込らや黄薬 1 21 E 9 郊 > 71 印 de 0 8 FI 2 训 21 Y.

[赤 薬 干]

(4) 一) 動名へ一) 小部二回で、暗や二十四 相間。

:4 印 置 21 P 0 承で高 含 锁 薬 へ入れて置り、それは楽色を越へ見りするか 2 14 黒シママ 1 9 19 開 34 44 2 高と二三月 PA to 0 31 四次 to 54 長ち三十 動は、 f1 4 郊 画公園 縮基び 3 蘓 71 33 71 0 亚 事 0 来 茶 B 末 00 本 100 いないろうな 2 2 U 6 2 Y 色出 帮 料 N G 恭 4 3 図り 2 71 44 大漆 Æ. 薬 PI 71 月 薬 只 0 99 9 黄 0 .1 # 间 FI M 1/ 0 変 80 劑 71 0 排 B 71 2 4 B い環境の 軍 44 鱁 1 1 晉 FI 0 薬 T! 到 温 71 F 10 71 :4 琳 2 54 5 紫 薬 黄 9 2 0 標。 黄 C 27 瀜 1 CP 根を 1/ 五 2 0 2 , ~ 日 軍 TI CP A のさな 国で 2 かって 21 9 o (F Tal 瓣 元 黄 。制 71 1 4 9 21

\$

桑

到

71

24

置

71

0 郵 * 9 71 14 2 科 (la 留くてらずい > 2 9 根を Tay 1/ 71 印 恭 21 21 :4 と憲 3.3% 漁 1 鄙 --8 る。 71 2 9 24 P 薬 \$ -6-7掉 7 7 0 0 0 黄藥 R 9 鄱 -生才多 24 1 1 Tay 7 2 71 颈 流 21 薬 U çq. 学 Ma 氷 2 规 21 1/ H FI 少 0 0 倒 71 圓 54 0 Ш 亚 B 34 0 6 0 9 3 0 郡 F 1 A 146 浴 7 團 哪 71 日 ___ ____ 3 班 挑 2 24 沤 5 四下北京 6 0 . P De 9 12 14 8 S :4 0> 7 21 퓵 C 士 開 月 田 먤 21 紅藜 水北 各 不 170 0 核に Ξ 0 :4 7 FI 1 B 遊 밀 Ę 2 0 R H 2 24 14 7 9 挑 54 5 0 H 事 ... 冒 P 郷 21 薬 :4 2 流 + 146 9 21 0 業 薬 28 2 :4 滅 1

111 0 111

鼎

赚。

車

W

儲 1 前草 (E)

一類京暦

百

+

措

體黃藥と似寄 の今でか圓う大き 元初の出る苦薬子は、 重 薬 り軍ユース蓄蓄 阃 9 146 財~勝色で、 間 X 0 7 1 淵 24 期は FI 敖 14 串 0 一多月 K 21 お置い 冰 北 狱

1 いア彫ませ、ボル質をな 黎 74

~一個~直込法と似い薬を一个単 71 薬 验-

遺生で Q Cl CD放例に高する。 シャ 和 解毒子と · > 日 FI 地方人 0)到

1

はな

の時期が

TY.

一口冰站

此不容も四川西の山谷が生でる。

岩薬子(圖)



7

非泉

(三) な洲へっ 水へ指き見る

此不容(割本) *日〉, \$ 挪 錰 菲

> **、腱ニベ山西ニ川西へ四両・川西へ四川音** ()新ナリ。 大驟 計画がいる。

不 0 ナキハマム 充下置

4 6 林物 排 対性日フ

末を報

黃藥子

[天耐水劑]

イでの(内轄和解鍵化)

風共び际して血お自から

4

4

肌すっ

Stephania japonica, Miers.

以

时 學 科

子(南本草)子

掌

渊

はかのはないら

へいらんは特(湖日将

ゴコに

2000年

一口洋水水

最人の前途二

小二蓋

錢

紅北

頭

陑,

一 士 薬 紅

FI

21

8

6

林州各寶圖等二游

上 常十八番 吳京目繼卓本

日 いれ 正 野

大

か

は

が (簡要 Hy 悉 黄藥子, 事。 で郷 毎、一人意にす一一があるいの人でで一下を表している。 時、や一蓋、このを常服する。一切の毒物な気み、然ることを剥む。そこで感の大 る。(小門大) Ģ 服する。 黄藥干弦末
り、二錢。こと。前海圏
島で別し、
身人して除水 **気致び一銭でいる小婆器で購へ下駅す。** 洲 ○は、王袞の斯密はかお、 見 題が記 た計一盌を萌 河 更 れいる す 新 は よ う 呼 , 〈 県 市 · 心 心 唇光 たが検因水で薄り 氷帝し、 別す。(望嘉太) 学い歳せと流める。 被论 元 1 漸 ユつ で煎じて 出の出 业 兩を未びし、一日二回・ 狹 21 雨されて 607 認等が心 等代を末ゴし、 兵帝手 よる国コンは 藥子一 第三。 「海海の血質」 頭を調へて肌す。 0 上のなるなる山 黄藥子。 B 総で CA 切口各一 4 石 日 ना **香窓大** 都黄 栩 锤 0 聊 鄞 0 温 2

> 大陸ニへ踏録式 N 事 ¥

その方はい 加入さ冷熱 少し異くことこのホアは熱酒を用るることと、香は 火を猛烈 ってい 料料 野型ア火を148、一致を断いち内とと、 754 34 また自るお賞録して輸放を舉い 0 27 間 まずずい。現場から刺 松事 2 PP ? 74 す場を目撃し、 24 る田 れなってどいって 效果を記載して :4 g g 事 21 \$ 卿 57 2 19 Ċ 獄 0 数 凹 渐 CA STA 5 X 2 身 U 田

YA 阜 金船上 まり見 446 鼠 調〉 £

ユフ

21

14

71

ユつ

21

5

つ地 P 到 ないととなったい回るや 眯 21 後小 q M 刊 ママン 0 汕 FY 1 1 4 2 2 る汗 0 4 成立 2 この薬子は黄薬、苦薬子び以てはある法 -1-0 000 樹 FI 1:11 マナ蓮 47 3 71 . :4 Y 0097 To 1 14 r i Ė1 . の二葉子は子を結 就を治す」 2 場子と神 果 。初 34 SHE PI. 71 28 ₽\$o 17 0 6 別 。却 रू विश्व 9點 2 2

1 P 1.11 21 7 逓 :4 21 情。 那" 郷の記 杏花 NX. Ī 71 21 薬 Y III 17 30 孙 はいなって生き、 たがそのたのみを川あるよのだが 14 37 14 準ユーコ 0 9 % Cl 2 1/2 始の事を称う。 CE , / 表形 [] 常今盛んに さのでは 其 1272 0 千〇内却知心強い · 2 温 画を置し、 21 F て根の字とした。 黎 71 2 = 2 多丁で地 146 。以外 ,) 日 更 (III) 更 耳 6 260 狠 瑪 9 2 FI

CIID衛州へ事

酥食鹽人 146 (115)重:

0 1 1/ 71 fáf 引1 SY. 秋(1) ののも手 21 少 111 0 11 雷 服録が日〉(二)

重示とい 7 0 6 がかり いるりである。 震響

邪派の器強、

。つな葉とつに思

、つ歩和

쨄

藥實財(本

34 のまなら

> 11(hd 加十月 (11)部線 (早

學 隱 8 0 0 幸の当 1 2 \$ 薬 0 :4 TH 狹 21 £ Ŧ 扩 21 4 0 ¥ ° B 4 9 CA 楽ユつ 1 A 71 7 常 21 21 4 0 士 4 那 寅 美 ユコ 灣 宋字 點 罪 0 , ~ 日 R 囫 昌 回 朝 0 o與i 6 別 骨龙剪、 海藥) 2 1 頂 £ III 不 會 28 MA 2 现 71 いという。 悉 2 4 彻 规 班 Ŧ

骨衛 思 大黄各三 鋏 中草 阊 111 惠九 木香 琳 り見へる。(普密氏) 宣加 壶 、生業 1 光薬 題 ユイ 輝 TI FI 21 74 21 21 11 CA CA 海 2 通ら 墨 五 9 ना 7 8 2 调 漿 7 ンつ 21 棒 B 来 織。 X R 716 网 继 7 間網 杂 21 爴 洌 臺 哪 图 16 2~ 頭新 英 鰮 歌で 114 Q 雅 外、千 XI 2 1 驯 21 4 を未 :4 印 據毒 弘 4

di 2 0 神市 \$ 于 1/2 る筆 北藻 亚 源 O 0 FR 146 2 ~ C. (f) [1] [F] 25 45 5 ユーフ 田 2 U 21 FI Y & 21 恶 须 . 71 The state of 9 3/1 薬 华了 2 7 0 置 重 21 9 4 24 E 11/1 1/ 0 ÷ 窜 4 0 は、一つい 辈 異 9 湖 6 :4 7掉 F は間 4 に実験に 12 鄱 和 2 0 0 2 0 計言 批 21 P 患を 學 B 111 21 2 茶 h 2\$ 0 6 , | | | 2 .7 P 鄮 5 0 B 器 1 E O 24 。却 薬 0 죒 黄 0

9

0

型

る。海

がを帯し、

「五蠍の邪家を治し、

30

A

閣

洲

f

辑

選が

惠

(III

え取ける」(神

目赤

7

即對这际

7

教え

X

う

以及

测

(類類)

6

SP

丁み、韓

颜

渊

2

筆

響

県

Į

てるななこつい

寒

Y

て呈

规

派

뢨

111

可に 邓二 1 曾 = 0 T 11 4 4 淵 嫜 財へ 1 1 6 ~ 整置掛神神 < 順 1 学 排 重 日 轤 申 # *tt 7,4 松野 6 114 图 未業した。 小小 6 菱石

上繼 是 匷 罪 1 黄 霊 班 1-1-6 0 20 it. 166 E 阃 里 習 北 省 雷 非 9 齑 8 4 市。 罪

3

M CA)画/ 不 1 東北 MI 6 III ユつ 洲 6 A 16 51 2 4 淵 Mu 源)。中侧 [味 いを含んで職 末
コ
し
ア
諸
米
須 . R 2 る。遊 置で一般な心調 (1) 0 21 别 92 小はからかの 部が 2 Y で記述で がで Mil るい 6 1 里 並 11/4 0 謝米箔で三 1111 2 C TY. は全流し 7 :7 が 少 Y. し、等のを (が風流)。なず 小小 E というには 画 1/ 派水 YF 7 1/11 ----[1] ス 0 (1) (計園) 等 il. て北る羽上い -11 1 1 21 北北 到 75 沙 П してまれてい 「天行應訴」「「難立末」」 いるなくは一 類。 て薄料し 利しい題、安永瀬り 9 (電影北)。 fin 2 14 M 7 近は 2 小都等会を未び しに薬を熟 記記 0 6 汗的 AH 明らされる関 111 行き室で呼 いに関し、 マル ना 2 災を沿 松 R 1500 [44] 0 北北 04 1 0 、マタチ頭 额 器引一宗玄郎 + 四五八 深; 1000年 本干 事 () & 盂 7 El hd · [室 W () かれ -6 がより関 [44] CA 卧 の名は 五 くよう 市 ना 逐次 来 晋 11 墩 漆 0 東市) M (11) :4 哥 XX [AA] 37 彻 119 味 薬 24 選 -6-干 71

乖

山浦

(Y)

(馬志)【血を撒び、火を鞠し、激を消し、毒を解す】(編巻)

金 2 1 SP 一野葛 1 此 I おのな治す、理解) > 訓 F1 21 訓 ユつ 面する して未に 型21 7 忠 21 0 1 1 [4] Filit 孙 劉 THE 1 0 奎 兴 握 11 0 0 th 6 到 湖 R 一个明 掌 薬 0 治市 日は

零 R M 山 果 21 TI Ŧ 图 。のない、つ果 R 印み 瀬 いい。 、く日郷 R 꽰 つ思え連び 『ファ華なフィ歌 剟 、計劃 、つ歩 明を生を「領本) 和 源 됐 21 狠

子は縁豆のゆらず 馬の熱を合するけびこれを用める ° % 2 が島村の 薬 TI 0 E 0 2 田 六月ひなると變りと赤色ひなる 2位 I 歯付いるある。 证 F

2 £1 別 から根が 146 おもと変がいいな 0 狱 亭 9 41 0 誠州 2 车薄 をも子薬日がれて 日米ア 排 3 M. 九月葉冶器も対治 五 今は一部一種 FI 2 1 0 (G 月子は結え。 12 は黄色が。 30 () 回 () 9 0 举

R V 75 月白色CTAを開き、 お苦萱び以 薬 る事 一月苗流 9 421 5 9 de 香す 金 21 遊は 献ら出了 長~壺瓤の 原州 12(3) 白藥子 ※ 日~ 1 凡流 挪 50 2 兼 0

Trichoranthes Kirilowii, Maxim, していいいいいい 茜氮特、 松 (1 ٤. 3 17 岁 科學和 京 * 軍 £ 郊 日 ()

> 着入籍を (10)大勝三杰ニ (11)大勝三杰ニ (11)大勝三杰ニ (11)、 ・ (12)、 (13)、 (14)、 (14)、 (15)、 (14)、 (15), (15

是 掛 計 日 リンドノスが買 14 m = Trichosan-人数日人政歌卡 뙓 (II) 寛州へ山草総置く揺き見まり これこれの大き 八八五 K -体(親)日下 北輔名 大。 「土蘇克 兩字而彙群 thes ! 4 ~ 7 木市土 11 + 4

(1) 対徴日7、本品 ヘユニ かえ 苔刺 (T. Kirilowii, Maxim. したならヤ・シット 同跡でヘナトカー思

洗卡款~

阿州首新

- 糖

4

温が、

古期非

1

0

146

近十

+

3/3 纵 北 X 排源 14 型ユー 21 1 류 洲 > 日 ON C類 (合置) 规 말! 衝

2 1 娅 0 2 P म R W 1 17 34 녧 0 24 ٩ 5 9 4 de :4 (1) 颁 XX. 日 Ŧ 21 71 並 銀 金 . > 新 21 O ALL 116 0瀬 tad 金のの日 泰 懂 早 2 hh 21 會 末

調が 7 H MI SI :4 是例 抽 Xil 0 5 1000 辨 及 3 L H -13 华 B X 5 迹 1 4/7 폤 7. 1 0 5 9 114 神 71 \ \ !! 34 21 4 1111 21 2 5 11. 0 7 果留 9 de E TIF 4 队 (0 1.5 079 fil: XI 層 0 性 21 Y = 1 2 1/ 0 ユーフ R Ili 图上 71 26 71 7 排 0 57 业 2 [July 21 34 W. 1.11 y 24 . 4 CA 2 21 加 0 是是 [1] 14 0 R P M 4 X 北省 E1 2 71 71 8 以 14 薬 44 24 ·4 2 :4 0 3 > 9 :4 0 Y 日 6 71 = 1/ 2 CHI H 47 21 4 111-- Mil TI -TH 9 P ·4 F1 0 0 4/1 77 2 227 0 誓 6 H 0 别 24 部 | | | | | | 7 14 2 0 54 B 重 7 0 5 溹 班 27 21 9 21 井 M 国 2 0 貀 1/4 同 15 7

西心

-6-

豣

與

1/2

早

割(

146

龍品

2 71 2 (0) B B 薬 21 2 28 (0) 6 9 5 2 東。 Ŧ + + 盤 h 訊 面 1 七 淵 1-146 訊 今班五 Hy 쁿 正部 1 淵 CIID實币 146 淵 神州 E 4 4 飞 青頭+

旦

71

须

0

2

14

21

回

-

71

4

.

:4

.1

7

9

(1)

8

45

CP

2

0

1/

21

4

. 6姓

頁

71

铝

思

0

即

隱

0

CA

28

11:4

8

14

0

0

CE

2

0

美米

海流

4

3

7/

雅

7

41

早

B

盐

获

71

2.

11/1/

311

1116

杜

0(111)

1

34

34

开

:4

0

8

0

28

71

冰

R

ग्म

>

1/

00

3

A

21

2\$

.

华

2

47

8 P

シー

7

44;

P/k

I

0

TIF

--

(1)

7

:17

部

FI

2

刑

調

9

4

B

.1

岩

2

0

R

6

湖

不

準

は落く

户藥

16

涮

21

恶

X

端

20

劉尚

21

0

我"

>

日

F

中的

罪ユーマ王 到 24 W 71 Ŧ 田 # 2 9 B AF 0 U 運 2 0 X 6 9 34 S 田 颠 0 n 根は TI 身 0 B 14 뭪 小水 54 27 掌 資 2 0 A 70% ユつ 10000 CM 2 A 財 SP 1 B 童 21 2 XI 28 恶 床 子 1/ C · 24 ? 《不 2 S 1 調が記 掌 0 :4 묾 溢 8 H H 江田 洲 环 21 28 炬 ... 7 Y X П 21 21 删 薬 游 日 7 剅 No ○鄰○點○點 4 頂 2 0 24 6 71 A 0 别 剛 琳 0 Ji 、薬月 9 2 沿 置 . Ų Op 27 6 :4 扭 E HH 0 中藥 B 器流 继 2 0 1/4 6 2 SA. FI 陙 别 2 9 まり東 FI 工 21 顶 X 鉄 貪 21 FI FI 刺 2 6 まって 渊 薬 2 6 惩 2 批 0 掌 CA 4 2 9 树 E 19 FI 1 0 薬 垩 7 4 21

が木 ユつ 腴 薬 目 1/ 0 0 9 0 明 VI. 馐 0 FI 6 学 Se H Mu 21 50 6 1 0 顶 さ参み人らす。(蛛鰮真法) 事 别 FI 9 0 書書 图 事 魯 おしるとき 0 る島 Z 9 紫蘇 錢 **~** G 27 Ŧ 1 Z 来 21 H SE SE 臘 7 H 0 7 7掉 别 NO 21 7 T りり 垂 驯 FI 田 薬 4 圖 亚 Tu 25 0 雅 71 0 0 C (G R 34 とどろ 21 曹 末 財が島 4 0 亚洲 文 S ST 11 頭 B 『)。や別とつ MA 21 9 惠市 变 生白藥日 1 刊 6 21 璭 ग्र 叔 俳 F 淸 目 000 正 0 12 5 6 30 兩 21 氫 淵 印表 ZX 2 Yz St CA 未 班 .)_ 6 于 貨 5 水 R 0 シーフ 煎じて 蒸 曹 出 A MA 淵 耳 1 11 # 11 鄰 2 末 京 0 調じ 21 廽 地 TH 1 気人。(南部下) 雷 资借 龜 FI · \$1 71 富 [AA 5 21 盟 まっい 公额 9 (書齊大) きず 1 * 79, 薬 R

> 宿地戦 涯 曾 = (政 糕 0 班 未 E 人日頭 阜 -引 0 溗 逊共 11 11. 1 計畫 。蘇早 爾白 ·--が ここ 田口 この田口 自州突赫二 藥自彌附O

印 8 76 0 少月の内以大田の本法約一。 9 24 54 0 g 1.11 9 21 6 通 7/ 班 课 4 24 事 30 रीध-21 9 Ç 刊 2. de 2 (0) 1.11 源 記と透り 崇 0 844 でいまか多く de 6 0 · 部 1/ 多全 深 到 FI 图 375 21 0 小 26 9 T > 24 1-1 U.E. は青 21 はから FI M 到 9 9) 批 0 21 温 34 7 排 0 田 0 21

4

H

0 2 1/ 用あるけ越へ P 15 0 34 と戦 州郡によるいるといあるる。

江湖の

が出

7:

[n]

1/1

In!

X2

成がで

101

1

İ

o题

张 2 CAY. 排 21 [如 置 即]

間

0

2

十二月ま

9

*

H

76

>

日

H

S M

07

根を採って気はする。

31 1 M 2 Ce (1) H 田 2 0 3/ 0 00474 3/

E

07

2 Ji, 福 林豐 2/4 :4 000 中 (0 これは 外 源 1 2 21 11 111 41 111 湿 NO. 2 0 71 B 3 111 3 の累丁の ここ のものはよし、多くの草の水 11/1/1 [44] · > !! 調 T

のマガマ小童 一つ海路でってるな歌の形 のうまっ XI '> C 0丰出

(0

4

41

はなるない。 のでは、 ので 本書言 4 種(弹工/ 草は 11 21 mandi, Franch., C. TAK 1 トンテア インサイヤイン は、一日のまでも -(-11 出C. rectu > _ chimensis, 支紙

其五品でトッな鉛が で関チス。暗や其次 でトッ品鮮くC. Ar-[11] 6

できのよし治け将(手真特) 班 魯 母

Clematis sp.

北北奉

9

2

球を採って製造す

万月13

紫ア上の自教はある。二月、

中のやらで、

夏い歌帯のゆうな薬はあ

李

、流、 動しア海はい。 苗お高と三四兄、

20

瀬人

(三0) 落州 學人能十

草。川田

T

酥 せんにんだっし 仙(永開寶) の滅滅

(1) 対刊日7、學者 て刻葉加ニボッカ支 服へ赫炯ニ(Jomatis

くにくろうに図り

也川力刺家白藤 財を取って割消する。 恩州の畜し、 0 7 直は切てるな の財器 の毒い主数はある。 耳

中でであるのは、 一本市 田 干 諸毒を悉しみな 6 别 極っての種 財かやはらばてある。 21 財を取って水 込れ独鳴り主換はある。 毒源 0

金額は主教はありている血を生じ、血を止め、

適器日~、地苦し、

求開寶)

阜

突厥

椡

+ <u>—</u>

湿

関を補し、

景

4 指 人。 大 彌國

のもの 地方,

される

湖を強う。これが、過れるとので、四日~して近のやらけ。 そこで石

。 本日~、今用のるをのおいの。 る所なる出る。その味知黄白色が、沃珠知珠ない即つ

放と需薬とで合成したものなともいえ。

と同様である

見立
譲
が 11年11日。 こか息州へ 界 く京舟 會總二次 洲

切く二字大魁。

1640 11

7 2 E 像 账 llll)画(54 刊 0)画(潮 口 JI 飁 4 0 B)画 动作 퉲 0 1111 不 0 画 图 图 Ha 1 士 到 画 4 開 目 0 8 :一通 M 0 赛" 訓 阻 1 聚 묘 で言 河 厘 毒素 0 骨简简 画 中 画 0 itit Y 繼 黎 耳 0 R 海 1 8 品 .28 画 .0 TI 0 B [월] 薬 敖 0 聖温ス 0 2 画

、ユみ Y 到為 那 Y 6 2 PI 0 Ŧ Y 7 9 54 UK 派 彰 P 8 五 0 6 0 21 多村 2 111 24 别 2 24 水 0 級 買 24 9 川 マル 10/00 五 21 湖 Ę 塘 YIY. [程 24 24 0 Sky 2 2 须 0221 2 ? いなる . 9 :4 魯 स्ति 2 tl. 2 2 41 27 器。 6 派人 0 6 6 FI 711 Y 9 \overline{Y} 0 驯 3 14 船 负 21 CA 2 54 家人おうの で治 古 1 21 A R, 识 7 田 掌 2 0 湿 0 利して 小小 MI H Ų 24 M 蘧 0 Y び盟 薬 :4 B 21 又 0 平 7 TY :17 16 28 0 5 ア、大当全ト霊ど、 學 17 酥 # 4 + 7 2 不 様うてるなる部 12 54 1 -24 7 28 2 1 1 3/8 . SY 就 7 7 7 出 9 54 2 2 71 ユフ 21 14 0 条 SA 疎 24 狱 水から縁ご 21 沭 11 劉 丽 及 21 0 2 淵 R 몖 薬 日 -1 皋 4 瀴 :4 0 0 · ~ 7 9 图 4 24 聚 71 南 2 掣 다 44 5 主 0 淶 Y 3 誺 聞色 14 9 47 :4 Q 쁿 4 1/ 9 4 de 94 見ると、 窓を訳 る。理 兴. 14 24 運 9 中 71 4 番 21 0 54 9 趣 距 Y 剧 54 料 0 でかっている -6 1 2 A Y 薬 極 54 0 57 真 图 多點 :4 XX 0 0 0 孤 规 主 果 7 五 X 分除 逃 > :4 别 留 銞 **北** 不 1 X 0 21 2

為 11 露幸 强 子园 납 1 ١, 洒 别是 幕 36 4 6 普京。 背 百 原文 章事 埬 水 # # 뭶 涨 10 Y. 0 3 7 윤

*

腳 Œ q P 54 数 21 靠 P1 U 6 别 醇 1 運 脈を 弧 1 9 子 R 画 種の 器 FI 川 遥 14

2 0 1 < //>/< 21 靈山蘭 湖 54 0 业 京単元 团 是過 븳 間 事 真元 0 围 > 日 010 飿 發

(李杲) 微步

0 8

號 の大部二 另面 测 耀 (子頭) 《市 脚太髓 鄭 宁 + 4 猫 ° Y 154 被阿肯 香 香 香 類 類

千"青篇法" 4 1: 1 4 ~ 财化 171 1 birica, Miq

0 1 1/ U G 田 8 U C 2 71 0 B 1 目 de 0 B

9

0 到 24 54 54 24 採 FI がかけ 鬚 琳 2 6 P 酥 獲 21 118 0 24 P 75 0 7 FI しと呼ん 3.24 叫 報 划到 川 24

疆 0 刹 Ę 濮 21 排 0 料 9 まて年野色用と歌 -- 斟 2 M 年商 垂 FI 月 珧 60 晉 2 O 5¢ C 黑 等

繼

21

少

0

2

1/

21

57)

温

法

PI

14.

羽

湍

黄

FI

(A)

9

1/

四层到

され

54

黄

哥

Y

2

0

P

2

鲁

郷

4.

规

>

日

の元。素の

『コンチ書よりい歌

悬

规

溗

規

去

地は微

, 日

O F

時。

0

9

P

記の記

少中

劉

间 ,

21

嗷

>

21

46

、 日

。省

c & Y

21

쨄

0

* [H

n

を開始を記る場で記

.1

くはな

.1

鑢

>

派

沙鄉

がある。

X

384

0

뛢

যু

・撮火の

W

朗

THE

事み

臟

Ŧ

0

画

星

県

£

2

SIK

風

の網

¥

皮膚,

7

鄁

平

画

涨

0

1

剛

排

2

器

計

0

量

採

開賽)

CA

71

窜

R

避

颈

PI

U

-P

All

V

0 報で

文

劉

雅

9

子

2

SH

學

0

粼

腦

X

蜜

溫

郡

0

M

翻

雅

三三八

批下 6 北京るびは、これを明古れば北京が東京ある。 水 縁は水を から、人しく服下は計算解え 字は気を雅し、 いて職く幸し郷り治 流しばするものか の家の 派は温 この到れ大闘い外ア、 着の前、 71 浴浴 加 減 闽 21 邓 34 74 FO I 0 0年出 B

時別すれ対等の数はある」 Q Q 9 沙文 CA Z 50% 15 生に掛いる観 開 ルチンの砂ね、

採っなときい流水のやきな響の間まるもので、 (0) 湿 , 水 CO 112000円 ころひ その性好くまり、 中 野元亮も『器酥の風をたら、十一懸珮」重し、 2 るその性の好くまるものだといえてとが判る。 旅 0 新風を治する れは光を数はある。 (四) 中間をいてなれ 山は木二 7 :4 Q Q 河河 24 H , | | 5 57 21 1/2 秤 2 誻 ○夏○ 6 ひいる 2 11 Y 0 B 21

過ぎる 7 減通 R 1:1 当の 腳 里到 U 6 州 > 3 34 0 92 T4 寒水 る事 1/ , / 日 0 B o景 c颜 CA 效步

立ろび奏 のははこれを限す。 Z 内緒や漱の訴事塾 2 P 逃されて 理 21 1. 1. Sill 事于 洗 雨 拟 0 訓 0 学 田 20 题 層, 排 FI 綳 , 〉 目 慧 0 0 H

して熱子大の水びし、二十水が至三十水かの玄監階で現す。

剛 8 1/ 滅 :27 鸞 狐 54 齫 酥 1:15 X シフ 24 X 环 H Z 油 28 蜜で 歌 11/ 冰 。 4 27 0 ° Y 1 0 111 陰乾 17 $\widehat{\mathcal{V}}$ 79. Y 6 21 爽 自 到 觀 泉る Ilin'y 417 Y M 遞 4 简 54 2 月餘 那么 3/6 熠 Lil 0 0 息 R :4 7 公子 胍 彩 通 346 4/9 諸藥 n 82 疆 曹 スルマ 业 14 ila 製 2 图 沧 (1) 0 2 0 鹏 Ž, 6 患者 子り ン~ 28 2 藏 源源 がが 2 П 0 7 小器以 7 溢 1/2 500 0 9 0 71 0 財を採り 27 南心する 1/ 8 0 21 21 2 4 飛 8/2 1/ びさる 2 0 27 問 **** 0 到 獭 B 社 14 Je 通山 6 鄉 深 6 及 選 R 1/4 9 别 \$ 星 ユー 画 TI 源麻 法 減で 24 :4 III 5面,不 2 :4 24 显 0 き 製 菜 方法 7 31. 7 雷 7 酥 71 公村 劉 当21 21 運 21 なる 0 .2 涨 3/1 草 0 闻 y 沙 71 Q. 0 21 ヘア空頭 回 FI 頭 -54 器 1 沙 P 11-五年 SA 2 薬 運 24 27 R 0 ないという。 **張斯滿** n . 0 重 XI 21 0 27 2 1 0 54 7 公下 で調 温み × d 82 1 7 Z 未 0 引 扛 4種 2 2 21 0 6 7 國國歌 7 郎 朗 PI る一部 省: 2 急 6 末 昌 道 詽 III ना 熱じて 衢 强 P 0 28 XI De スコ 斛 割みる 6 2 4 th 3/2 国 逐 流流 2 E 别 6 M 2 74 0 沙滩 B सम 流 R 14 鎚 五 H 12 地 U 21 C 六錢 别 茶 34 316 CA 0 割 祖 學 调 驯 2 目 n PI R 26 4 71 排 71 9 75 湘 :4 75 2 AC. 旗 、幸逝 1:K 料 晉 21 引5 衝 2 1/ . 716 經 學 溗 711 :4 末 54 54 47 7 派 # 極 0 2 斮 淮, Z 0 CA 0 剧 派 劉 业 哪 A 溢 口 0 2 2 P

(人) 大躍二塞中監計小。

=

FI 75 YTY. TI 逐 が終 2 21 21 1/ 2 不 0 园人 75 ユつ 1711 6 XII Ŧ 0 2 K 21 洲 XX 即 Y 4 THE WAY 75 2 0 CA 晋 V 吓 5 型 :4 R 7 1 :4 06 汉司 全~入ぐ 7 a Mill 絲 2 g 頸 2 0 2 Tip -1-日 Ø All ユー THE 師 0 71 0 狹 弘 光腦 30 鄮 哥 愈 F1 21 21 コ川川に 21 末を置う . Z. 不 4)画 TIU 75 3/1 -24 :4 14/7 11/6 滩 76 FYK 副 6 121 (1) 食物 7 26% like . 息 7 54 0 器で正分 不 NC 额 21 绩 7/1 .1 21 1-1714 す。(帰職以下) 米ス 則 Isl 114 7連 邓年 回頭で 11 X 0 WIN. 歌がする Ť 2. 1:K 1 R 7 到 減部 F [44 6 腳 0 7 「製火 94 别的 17 那 温뒢 别别 ___ 密外 弘公 21 71 NI S 0 7 7 要 别 须 Y 未 2 H _ 1/4 0 で素彰 量別の 沙外 TE 日 雅 21 0 2 品品 劉 盟山 显 27 料 汗 * .7 0 -J-4 香ぎ 「專級市網」 及 8 R E 常 0 11/4 計 1711/ 7 份 -14 6 0 网 ユフ 世 别 HOU WIN 21 製 hd 、つっ (風量) 59 靈 河 制 * 71 .)_ び。(連幣は) 急 IE 出 攤 렒 型 000 Ti 米 島藥一 21 で画で 酥 到はそのな の公園 河河 盟 ond 717 12 滅える。(東部緊急下) 郢 +1 TE Ŧ Z, 11 . 康 学了 罪 2 2 6 0 北谷 記以 シつ 誾 で変 III 頭 17 石 5 曲 劉 曾 SE SE ,淮, 75 M 75 75 北京 這是 1-119 正 獅 茶 業 21 21 1 1 -111 7/ 瀡 神 7 支 1 7 0 6 ネ 4 5 R FI 54 る。(衛を大) 常 削 别机 引 憑 1 75 習 44 U 须 网 S SP 2 75 ALY. 27 不 7 R Ŧ 2 0 强 2 留. 例 + My --须 0 0 ì 灩 H 6 B 题 温温 0 Ŧ 0 14. 刚 班 滅 茶 别 II Ç 21 TI 21 Z

醂 野 は脚ら 2 5 思 my 一級 H 事 第 噩 N. 2 21 F 逐鄉 锦 斌 2 慧 凹 の場 21 おるる歌 . Fl ìf 21 0 £ 流 21 R 排 脚 CA 錢 る郷くつ 連 2 (職事)。と早上 9 即 6 驰 貪 星 0 が発 火毒を出して 图 本 图 主 間 H 対皮と各わ 上易館大 7 1/ 改多選集と ___ 21 阿 7 響うのるる響 彩 間煮鄉 02 双及 # 川 2 P 無 7 は命が 54 测 2 服しな H 7 では 風雨 9 计 亚 ームにほ ユフ 4 劉 の毒薬を 0 逊 0 6 别 7F 别 が返り 世 迷 2 ルざれい。 (東額t) 19% ·A Û 0 工具 9 Ę 弹 6 2 謝舒患者近 R 别 熱酒 74 YC. 思及 旦 元, FI 薬

梅青瓢の 社で CA 重 8 21 A 6 画 THE REAL PROPERTY. 脉 間参しア末 脉 El 0 0 肾纖 7 6 1/4 三湖 别 1 R B 7 日子 74 6 34 洲 + 21显 .)_ 别 7 0 湿 B 大いいな 调 好台 湿湿 57 7 21 立か नाम-て導 7 い薬を受した酒で二十 訴 21 H 0 Æ. 12 75 津 张 末さ室で部下大の 画 Z 9 0 靈仙一币 (FI 錢 24 7 小末 XIII 34 8 FI 训 疆 6 7 瀬 2 噩 酥 4 21 滅 淵 FI 74 R FI 2 洲 4 0 4 0 7 21 噩 金 于 8 1/ 0 1 26 型 1/ 5 連 2 de 瀴 7 糊 T. 0

(A)

潮

圖

かって

(f) 大聯二土致人字

7

淵

0

圃

圖

。(簡別下)

2

测

R

5

B

黎

H

28

-6

测

17

:4

鄉

别

.2.

显

水

0

6

錢

未

TIL

到

验

All All

XII

FI

器急するい

らなるもの」弧闘し、

Y 21

廽

0

派

開

· --

深

hd

單

1

树

:4 CA A 别 9 71 dr FI 0 B 0 68 澎 0 9 P 设证 2

17d

34

00

54

電なるな解はその意味を取り

情流

?

多以了了。公母

こし

N

7

7

5

7

選びのみで盤

9

重本

12

2

たるをが

24

44

1199

赤

12

1

る製を調

なる状況

巡

0

排

の京戦回

FI

21

The

*

(0)

上流域計

密らく俗類であるら

71

いくに記さ

7

54

1

71

9

TIJT

公年了了

.1

7

The

79

भंद

MI

鐵塔

1/

温網

田田

nd

4

虚王

X

50

7

57

量

17/

54

11

意のてなどの意

五

S CP

7

--1

.1

12

いってが知っ

意力

71

2

11.

MF

郑

4

2

111

7

評 71

2

11

THE

た Cup 画

貅

型

術せ入る 不 批 111 (1) 源 115 III 米 村村 11 44

117 Щ 2 FI .1 副 からな 显 で呼吸と出 [1] 運 呼 7 TÚT Ý 草 である il I 北 車 通 記文に はつかり 111 1 は一部江の 見愁 TI 显 通り W 巡本 到 宗東 21 辦草 0 被する 2 P 张 2 ~ , 〉日 源 子)。原 [111 中 (利 W FI 亚 분 剔 04 84 中蔓 口 7 楠遺 E 繡 £: 圓

Chil. Ti)

11 34 1 28 51 (1) 到 华子 Fig 28 5 5 A B 10 +1 小 FI 21 いって 11-並

41

17/1

7 1/ 紀 FI > 150 3 1 星 5 21 5 7 54 ch 造 Z (1) hi 11. 54

> のとはこいいる。 X 非駅 六江瀬省は計下。 51 東省 111 釟 凝 M. 1 일류 1

世間では、かい事べ 不科三國語がきがい 派法(见 1 4 W. + 班 (壬 挺 江斯 木 副 不未 4 4 植 未 11 里 = X 10 +

京

(1) 対理日で、(1) 対理日で、(1) 対理日で、(2) 対理を表す。 (2) 対理を表すが、(2) 対理を表すが、(3) 対

明新 显 少。公务副 III III 鲫 1711 2 及 7 0 「記載(威靈 1 Mill 神っなる 21 -븝 AL 115 21 2 まてともてツ 0 は、戦、強の った。(本戦科館市) 下末 FI 臓 Sel. 再び Z 歌 21 で骨は緑のやらび 流 画 0 26 いずの 别的 かれるが 水 班 7 .2. 悪順えばるもろうれの アル 44 悉 메 2~ 秦 Tu 题 7 下南 銀ご で調 盂 後形人。 0 郷源 6 急 0 别 なっさ 水 間 患者は置鰓して有效 6 2 日 歌及 J. 鴪 光で薫じて [4]y 半分 ·4 別です 米 21 4 TI 当一 洲 盟 出 9 Ŧ 华 霖 通じて で、温門事験)が、 * 灣灣 別 2 额 7 水水 日 1711 順に 題 112 217 驯 水で の勝 陋 0 划川 2 ---派の 鑑な人パア茶 速 THE STE 2 规 の部で 一三木ご FI 1711 9 # 0 清 班 温 2 Z 0 2 班 1 0 水一水 生意 心五錢 2 河河 国る 基次数にある 9 世 7 邻次 こと形とつ Mu なつな 中土 75 通]淳 21 VIV. 1714 渐 [44] 0 Ö 75 X 温 且 島場 光 训 批 0 划 0 9 0 7 桽 X 21 畑 9 0 HIE HE £ 1 雷 6 额 \$ 流 21 X41 别 뒢 上 1 # 【別置 :4 赤藤) 0 数 21 歌 2 6 制 × 4 循 進 2 鱂 퇉 以 型 2 0 壮

17d

6個5次 21 Z 北部 than the ·/·米 راً، T 图 就 1 然を歌るる (A) 大(A) 1 湯 3(11 11 TE iy **判社が主族はある」(แ籍)** 面の数が o G 1 M 5 1/1 神及副行 派,加 TIFE TO THE PARTY OF THE PARTY する人不難) 派 書家を添し、 真血するを治するで調料)【真 肺 圖 る中 r‡ı 0 **表** P1 重 28 黄 别 2 7 弧 >7 華 河 徽 V 域は、 形 つ両 0 R 里 果 市 X 2 R Į 华 2 劉

薬バスパ 中 U 晉 099年 2 + 2 174 河 甘し、大明日と、館 郷し、 了 | | | 0.4 微し酸 ° 1/ 、 > 三 华 2 電亭日〉、焼なり。 元素 7 21 1/ 【つび輩とつに第一つ是】 7 鄉 FI 排 盟 , 日 って用いる。 21 學。 0 和 eg eg 6 計 [4] 沙 2 R 9 到 が一般が 21 8 0

訓 4 TA [INTY 9 21 111 ()-1/ ではいい。 TI 3/15 1/1 200 FI 111 28 24 文 6 The 겖 0 微する 11 明 2 Ma 6 刨 ill. 2 TI 0 即ちは緑か のの思 溫 21 3 > 2411 24 2 交門 5 64 ° १ Yi 孙 CA R 71 9 28 14 温 E.P. ママ FI 07 2 28 州市 7 24 34 54 '> 個的 水水 21 冰 :4 H 0、宿 额 2 軍 11-CP 思 2 驱 以 11 古 0 6 11:1 剩 7掉 21 :4 黨 . 34 米 71 报 0 H 趣 B

11

业

刼

-

(四)大騽

8

温 置之結二 20 間及北 月 75 背面自縁かある。よ人 2 8 4:4 鵬 表面お帯〉、 21 中 2 2 1 X はいると (1) 33 琳

71

(长) 熱中へ心熱シ密 聞 スット 5.7 ?。 (チ) 大跡へ節、頭、

2 順ら番班である。番「苗の二字は飛ば似てあるの 術語すべきものか。 ٥ • ٦ 用の苗財 お窓な 育各未用 認ったい 、 〉 日 經 21 線の器の 南京の

20 ġ 歩を採 い南かず 三月 12 草木の土づ蔓延し、蓮 二 用 の山谷い生する。 生する。 が記れ 苗財加利の谷中以 E 声 地 , > 日 の公里 21 · 区 (则o 缺o やらで のともない 訓 0 琳 浙 FI 冒

この時お既び総(味味かいふ)を楽る苦草が。東大の此びおあるわれとか · 2 草で () Z \$1 **帯ひに被憲國の知ら」といる** 西古のゆうびきりおない。 , ~ 巨% 34 者の形の 11

卦 でいまるよう 쟨 薬 薬 000 4 子 草木の上づ蔓延 9 豪業コリア随ば を事り 薬は 間 0 材機して簡 II. 京鄉京 小子 村子 日今、 薬が 0 XX 心制 王 hid

· 204

其の人下可到と第し」とあって、それお除益のきいことないのかのか

様科者はやおら抽を利って蘇を描いて鉄台する。

o G

6

採城

H

V

0

S St

1/2 21

W 迎。

5

21

TE

,) 日

の回覧

室で節

华中

並お四角かり

嫂兄い蔓延し、

番草 1十二月 7首 1社主き、

(>日令)

0 料

0

薬

0

お島薬

薬

q

\$ 4

薬

捜セガーであってで音和ガエ対の

99

冰水

眯

21

9

四上

始り更幅の

S

0

Cing 學可,

で黄 प्रमा R XC H 額二、つい C 6 CA 75 21 R 脚を集中の體】 別するよ」。(周測簡要警察は、 16 容代を末 + -Ith 重 五 54 老子 神 一名任 गा Œ 滅 0 ffil (0 H いア末づ 力は難 III ユつ 薬 £1 İ 水四 21 HX **廿草艺彩色** 75 21 间 5 はる阿 4 Y 計 T 襲荷葉各三cloa 別す。(學務維) い間 造基の煮代玄別す。(翻窓 談野) 11/1 @ [115] 室で語子 0 半る干質 「可經限 彩 小 9 XM MM 17:1 --江水 ンつ 別す。(南を禁錮下) 姚 IF Parl W -級を印して M (0 & CA 111 7 以及四四 影響 點 は脳水で出 號 21 11 4 林 **调草财** 9 * 0 一端將 文 狱 お野ユつ丁 5 是(元) 3/ 15 排 XC いいが 林内 二錢 M 評 出下するいは、 製液を入れて 心)人」内陸するひお、 帯拟 믦 54 + 0 2 P E E 0 市 小馬 っつ 0046 6 ij 华山 4 渊 座 。(本事十 深へ 21 る望い 旗コンや眼 到 [村 市のやらな血な ---247 -文薬を 置三星 子大の、子大の 地黄 6 别 F2 温い TIJI 4 7 图 、
連
い
に 大で で調 À 7 4 淵 排 彝 FI 級 2 李爷五 曾 えなし XC 無 18.7 7 # IIII tha To # 2 ° 2 0 0

く言識するいほらぬらられる

爾次副行 54 .1 はなるない。 247 北京公司 .F1 28 12 1 「この草を八しく服す 7 を雅す 計 71 草 02 存譽別総び TI + 赤 H 勘公放いある。 0 2º ? 2 4>

運

不 测 級 八大町) 别 面で煎じて 血を行らず、神を の単排 調を SP 、つ思るず 下る趣 聚 種 、て場を悪 辯 业 画 0 骨節 TIJI 都 業財 1

スペマ TE 訓 解る 21 副 お薬帯 間 0 别 マ東 は煮汁が 蓝 ٩ :4 547 21 26 J. 泉る AI 24 街草で蠱毒 スプンガス 0 B 0 Ŧ 哥 草草 21 , / 日 2 6 9 歳の器の 泉ス 恵るってく別る 響學 田 000 發 不

學學 0 7 1 FI

船

及源

44

聊

那

開き、

気を

14

叡

TI

21

号

CHI

0

0

B

.7

数

0

泳

34

0

B

8

6

鄵

不

溢

ea A

部件

71

場合72

()

0

8

51

0

M

うつ

湯

0

訊

:4

9

U

距

FI

浙

XX

排

21

P

27

6

17

2

0

24

0

よ器しなるか

2

7

S

FI

訊

ユフ

間

3

El

6

铄

PI

すを特長とする。谷はひん

上里不

ij

7

る計を

Ŵ

2

0

P

2

薬

0

4

嘶

0

콆

獭

0

否

主

21

独

34

は血いまるもの

瓣

9

Y 21

刊

FI

麵

学の

9

いる場

温温

0

沙

9

Y

21

は響い

流

0

7

9 9

とび

出る郷し短くして縁を帯

调

FI

沙

2

0

& S

流

は色の

排

黑

` E1

O

中的

通

シつ

21

日

:4

9

6

别

27

崩

2

显

Z

楙

C

田

不

U

2

21

るもかる

THE

1

XC

謎

0

Y

赤

2

0

人能は守して

、養み間

7

赕

ユフロ楽

孙

U

·A

.

:4

はとする

不

為盟

111

哪

7

和平

出

る粉

S F

o Al

風を治するい草薬を用るて転換を

地

21

歌

阊

刑

, | |-

意。

禄 大シン N 別 東 塞 0 野 イエナ

私正 漩 . -**林**好組稿。 親。 +被六 **東**絲 益数数 £

윘분 體~六一 対 英

P 5¢ 秋 火血が主 0 服す了大町) ユフ 至12 湿 0 0 B で強ある 趣 臺 画 (神谷) 祈願, 9

影 遥 块 £ 0 9 I 士 `> 1-1 olly 「して香味してい 強う 是 和 沙 哲

H :4 2 2 CD 5 CB :4 200 からでか 111 5 [111 不 > 8 週 11-0 2 0 R 1116 流 そいろ THE. 21 The . :4 0 34.7 2 8 本では 4 R 2 71 21 0 草 THE Fil 28 は記 धिं 0 34 ---.1 2 FI 21 0 排 11 100 治 21 11 Ye 派 Y-0 71 0 May, ffu 17 X 1/ 3温 北 :4 0 0 ある 2 0 21 农 1 0 B 24 0 0 + 2 P C 71 Solo 靴 料 2 2 部 0 0 > 猵 0 • 7 1/ 驰 去 7 [1] 制制 [4] 54 8 2 1/2 7 五 2 28

(1) 。 公 见 Ш ST. FI ユフ 升片 纽 7掉 9 三月の森 - 11 の名手事に 146 (E) 1 OFE OIN

9

生子る。 21 の認 111 FI H files . 1 H Call 瓣 黨

0

C. 2. C.

巡

瓣 में . मा भिर् III E 国 早 關

野田登 いた。 かった。

(1/2 +

間《碧

TI. E

H

東で

T

0

腳

のやらで

薬は紫

つ黒黒 辨未未 2 2 2 时 學 科 幸 H 草

E 恒

草经石泉 ベヨ問調 る端

子孫器]

独各を知えるのか。くころ、制越と小品大り

決で水正大盤で茜を照して

R

本

Ŧ

靈』。

0 2 24

21

5

\$

0

黎

月で器録が

剧

0

朋市

21

ゆうび渡りア猟

0

で膏

と共び織火

地黄汁,

9

軍

2~

鵬

2 叫

21

里

0

实

士

39

禁

0

排

黑

闹割

郭

獅

聖潛総)

J.

編へ大職への野土ニ経ス

-4 -(-

1=

衛酮

11

神

瓣

派し

21

鑑がよか

显

平

设谷

器

卫

排

罪

6

B

CA STA

冰

O H

别

事級

国際)。公

41

土地黄三元よう邓の六竹を用め、 自立合鹽主の 同演じて行を取 いる。 # 温酒で 極大る 三に重 元元 رار 51 造 R 本 Pl. 本 U H 证 朋市 2 9 6 郊 9 2 -(1=) 大鵬 11 訓

PI 部行強沙の幾せんとするとき、これを肌す 衝蛛の頭行幻必量の断多人外了滑切。(帝竣瓦む) 「新参の繋河」 惠市) 一流)。公 o CA 10 解就も M 温 2

薬は整に動の薬のゆう、場 に生する 宋圖谿) 潮 W 紙 柳

200

正のいていい、江地や瑶

0000

殿山脂ツ

FI

軟は『血潮

真

21

報する

, / 日

CA

岭

0

0

6

話ってこび物織

:4 CA

は

的節ん否かお

果して、

江及河

q

批

21

Ŧ

FI

.2.

AF

被

C 2 9

しお黄ア

别

5

0

20

田

21

2

6

猕

以

2

狮

大ちはとある

部

部

X

FI 非 会部金人 誾 (1町)智服へ 0 翻 E 計 月 月

派 この金

訊寒餅要

以一般更 24 九子早 即日 片縣 泉は (0) 狱 前本 淵 # 尚級 I 報ぎるに、 調を終み 1 災を幸とし、 联o 银 趜 里 人物の今らなもので 水經經 瓣 摊 7 24 盐 Th

精精精 未未未 公公公 HH 中 巡 *

少行少 いくはなっつ 松 9 3111 54 学, 藁水等令ぎ水で頭丁、陸 500 54 1 1 ころられる場に 111 in 14: SIK 3掉 局方 4 9 0 [High 画 衝で滑とな (四)。公 渊 Ne 藝 淵 、李眯 1111 2 ~ -El XI 贈 MA 0 源。 法 सेता 2 7 臺址 前岸 甲! 训 痲 **遍**下部】 画 FI 1/2 0 31 中兴不口里 0 B 。(中蘇點) 54 0 画 12 de n 7掉 iA W る 変 圏 深二。 1 ひなっ 0 縁る TF 自かる ユフ 2 しア韶祁 4 6 14 27 21 印 来 21 更 滤 文 F

錢

墨

4

靈藥 か合産が単 14 2 44 4 部 五 はってるま 21 5 0 はから 引ってい :4 54 6 \$ 浙 荻 틞 2 九 0 1/ 2 21 0 54 5 狐 0 de 9 FI 0 +4 P 影 (1) FI CA XIC 2 9 21 21 6 뗽 薬 .1 合 ? 童 0 21 2 -0 れ更 All I 段で減らる 54 明 B 7 2 二 6 54 74 0 II -21 ·4 Y 台 4 14 FI 关 重 21 9 むことが出来 0 7 T. 24 TY 21 21 李 빏 9 亚 0 5 W 沧 CB 0 54 9 44 34 54

7

51

H 胡 薬 H Cccculus 班 孙

W 光解し o ca gray 坐り、無言のまま場了藥を姓の下四遇を現し、身人し了新い栗米消か上心 助色で東 2 1/ 薬 X. 71 そろで更に 五 おえる 云 20 H 薬を肌ならとすると、 アアロ ffi 4 出血で間を摂したるもの、 喇血 2 C! 盤器い聞いては 2000年 着を大分達しておなるな。地トことをあり、 H 目 28 つ鑑み器珍えの 風びことは出來なっなった。 スなし 人家の制財的血おなが一別で滅える。普重の一 74 FI たとき、この方を得て 患者はこれを肌するひは、 いなる人な既 は、一斤で 。2 题 21 のそ日産 まさい現まうとすると、今辺は強砂を引 不 爺 ゆる。その子量草嶋 膏のして器 ところがそれを服をうとする前夜 24 紫際 で黒を悪い 現んでおならなと獨しり無めた。 特 場上の本事 は が に 質 は が に 根から土は塗らてその薬の中へ落ち、 同煮し九回暴して止める。 主室

二子を

入れて

はこれを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを

これを< ある貴額人次 その薬を名けて 服び服る。 ٥ دم といっている とかあるは差間はな 薬は冷 の支行を治す。 54 合廃して、 76 向スト 000 别 変を 21 0 末 न シフ 抽 21 NE 日 部 国 21 型 PI 1/2 田 MI 11 y 重 9 :4

54

門冬を用るる

天水岛水流

址丹玻、

鄭草

上帝の血がお

の派

ffu

競

晡 J 2 加 **〉** 回 9 9 1/ 4 . の罪 寒 到 容割たお犬 0 q 0 9 1/ TIII! 1/ 采 12 去 いてつな葉 > 21 21 C海 1 MILO 7 れは苦し、 , | 日 「つな輩ューロ・ 元素。 門木 o 域们 4 華小 、つ歩 悪は辛しといひ、 和 1K 09

2

CP

田

ムて渡て

団

2

0

30

2

風

4

[所

多くは皮を去って

21

씘

FI

4

1

E,

O計

<

E

K

4

7

2

C

H

ユー

7掉

7

H

淫

晶

H

1

CA ·N 2 7 はなら .1 樣 1/ 叶 7 2 雅 排 21 京 H 2 [1] 木がなるものを II Ш 2. y 2 际 0 21 R 14 9 眯 、江沙野 4 0 CA 0 工工 9 2 4 田 1. H. 21 CX 利をいてるい 7 CP H 4 Z 部 0 华 8 0 7 , ~ 日 で馴り 潢 200 。循 黄 0 多 X 県 31 41 21 到 訓 ব্যু 1 *

24 加 继 はと話との tl, 57 Ċ

1 继 21 图 日に記 0 8 加黄 2 9 P 2 これ思え :4 0 7 54 3 8 19 ¥ X2 0 7 悉 2 M N. TITE (4). 4/7 4 :4 4 日 0 黄道. II. 重 119 图 * 1 增減 4/7 4 > 洲 Ξ E 2 7 THE. 9 中界及 FI OW 16 0 遞 0% Ugti 9 8 H: 留



おいたらんざく知財政整へでくえ - X Y 50 日 4) Q 木が W 子は × £

11 事。 巴茲見 1 排四縣。 年 海 --17 指山 T 4 調 14 4 110 市都 H 遊上源出 (E) 鄭· 真天し不へ金 (M) 5

一十三 2

和

道,

0

まる

须

地か

4

0

6

1/

不

働

14

4

少

42

(1)

Z

瀰

.FI

U

6

田

星

21

4

GI

54

石

:4

B Z 彩 8 劉 0 H B 0 8 量 21 P 4 thy 亚 :4 那 土 〇叫 否 54 27 1 34 21 0 7 5 .1 0 7 4 通 鄉 CA サアボス 54 ~ A 雅 21 9 9 買 \$:4 田 E, 派 加 FI 脈 21 日 36 19 X Pl. 未 41 0 がるな 8 71 P 崇 2 痲 1 塘 0 - 20 高 9 2 41 7 学っ 排 > R 目 375 单 4 71 * 0 7 H 0

14 5 2 54 2 de C C 0 0 ユー 豐 S 田 27 2 車 篺 28 7 颜 ユつ 2 21 8 PI :17 の電 21 し牽 28 汗. 颋 多 (1) 91 青白 貢 71 FI 别 薬 41 ユー 34 即 0 1 0 がなって > 1/4 B E > 9 事 6 ¥ 71 亚 24 0 9 羽 0 21 8 6 中 :4 型 翼 颋 1 郧 亚 21 0 2 士 21 1 TE 4 5 8 \$ 鼎 星 21 0 京がは シフ 事 * (E) 21 2 軍 0 I 强 P FI 2 54 国 , | | 開 里 > 省。 置 +1 ON 翔 21

令八(到五十千本铁树,

11

¥. 4

因未ルマ

到 + X

- < =

亚王

-

5.

9

34 年

日料

子精子

別得問

三 五 字

9

6

で に 那 まり キ

H

加日《义

制工品

11 (X (4)

体雅和初六

木支欝べへ(

稱跡

强

4

日 =

到

5 de 0 郵 計 內沉黃 自 14 41 琳 负 5 :4 0 R 000 ゆうで遺迹 神 21 6 de はの 0 뺄 71 車 來 q のえ P 级公公 N っての思 温 21 1/2

2 2 0 排 R 琳 21 H V 月 生する。 21 少 111 0 4 戮 Ξ 71 त्व `> İ 21 。 線。 00 捌 急なす 菲

淵 米 2 6 强 訓 ユフ 业 不 殏 FI 4 1 7 羅 . 12 1 ? 湖 0 P 2 6 S ? 34 5 9 0 26 B 34 0 沙河 4 0 MI 21

.4 モ鰡草るんいでてて ままり Ato (Sinomenacutum, Makin かんどう イトサイ *5. 9 1 C = = = = 6 < 10 -到多 thi 0 6.6 4 1 뵘 4 < 1: 84 **亚**× 独 Y 6 7 流テテ - of 4 < 罪 21 1= CL. -6-4 古出齊 4 一县 否來票 6 年 7 出 X 冒腳 1 H 料十一 *tf 36 ium こうないな目なく、なな。 9 此 w-_ HH.

延

幽圏、バーニ(三親

、美麗〇一一

人, 太田賀一耶

91 7 2 环 16 2 つ覚え隣徴 71 0 fl 6 赤 0 2 及 11 B 1/ UK 7 0 0 > 2 41 12 2 34 角気が減 0 1 2 X るしのない園 2 14 1/ 1/ 常くつ 0 2 何 24 9 4: 11 54 計 74.50 R R 14 0 薬 THE 0 0 中 7/4 ? 1/2 4 02 名号 8 TIJI 7 -Ft III 1/ 1/ CA 37. 0 :4 U で、部へ前 24年電 Xely now 妆 ユつ 5 2 人のからが前隔ち アミ河子 7 +1 TI TI しては 51 EN CO 6 00 2-. 0 21少 -6-CB 21 7 +1 7 軍及 颊 I, +1 那 11 P 少年 TY: IXI 业, CH 28 21 雅 翁 :4 0 東京運 7 \$ C 引生 1:K Can * 2 III 247 FI 17 70 9 次で 不 71 7 0 T. 2 x. 1/2 2.8 MI 9 21 (1) 17 2 記を下 海大松 71 8 F1. y My 0 [14] 1 0 調子 > 2 20 2.\$ 2 大苦である 0 6 は響き去るもの がえ 弧 即な人 训 0 \ R 21 内裁 EN! 3/4/ 營 H 某者とな R 6 「二間で、画 一一 1/ 21 31 4 到 22,50 一一經 5 X 4/7 . FI 2 ソスパマ 汉恩 4 评 验 2 17 能~省 4 のオン 副 CP 22 不地なるの 1711 更 到 用うご 71 fl(0 な能と大 [X] 0 洲 8 Y > . 1/2 别 阿 21 224 31 訓 盂 44 17 1 \$ 50 P 分孩 文漆 7 湖る様 र्स. 49 27 21 .FI 道 + F E 郊 愈 . 本草の 薬で 71 ない。 與外 はその :4 [] 1 FI 2 8 到 CA 湖 やさんなる 21 更 4 R 华 24 号 0 24 0 54 いて幸る派 高する 臭源 黑 北部 不 2 2 不 SUF. 28 6 , ~ 目 帶塞, 田 荻 0 翘 21 2 0 8 础 0 24 渠 B 0 0 0 0 でなる 温いる 脚源 3 o省 到 2 A 71 8 8 07 21 4 謯 2 14 U 54

中亚 7. 7 黎一合恭 幅大二三(近〇三) 後編林次 小端、大、二二四 四)于九五。豊小、大、 五二八八九。万割一 三三 次1二(三)多二 報》。江商表合一類語 三。汾獺裕二、給木洪 同三明小量一 元五五 如分及 大,一二四九十)证 11 小鹨事辭辩, 問、二(正四八) た。 石鴨 二派 點。小管置 近瀬平三湖 016 近瀬、 一、文湖。 醫事報報 る。 二、中島鉱 4 11 + 31 0 証 th

図

大家

瑡

並

4

T

一次歩跳

绿

る準

0

继黄(

となっ

動

殿を変える。

1

04

0

9

4

77 8 14 9 2 0 B 9 CP 田 ユーマ 7/ 不 草 # 京街 · 114 ずずず 9 77 4 2 里 薬 不 0 調調 弧 * 草 0 圖 X ili, FI 爽 0 -6 8

71 0 9 21 CP 0 田 6 9 スロ 洲 \$ 2 5 2 SIE 黨 薬 X 孟 71 0 W 2 21 6 8 翘 熟 27 6 以及 不 五 XC XC q 子る 画 FI CP 田 J 0 B 一次日外 は編 y いって日 27 石 米 FI U 59 重 21 e, 2 , ~ 日 徽 6 界 0 24 事 画 7 , | | | ` | | | 鱼 識の器の ~举 颜

其主へ対語

1=

主難墊

三 中界良均舒

聊~用似现(※ 本語を中午中代 撃機大一撃。

洪准。

M

ad d

6

E

外前姓

是。是

が変が変が な画 題 徽 F 画 调 0 0 画 4 到 账 1 2 0 翘 水 亚 阿徽 主として男子 中 ス 微し 學 通。 1 物之就下 [經聯] 動な味も人本 素 明織) Z 重 q X 歌を強す人 子 画 日は、 及過 꽱 八小 胡家蜀 ** 木郎 识 語 0 肌を創色、 朏 圃 玂 (元素) 主 继 强 1/4 0 0 画 思 派 51 所謂。 1 器 熱氣器贏。 邪源 果ない 7 廵 以 料 + 2 棒 噩 1/2 0 遲 26 B 0 7 寒 酮 0 歌 劉 鵬 選 爽 쾖 恶 脚原など 俳 是是 画 和 榛 SP 0 ना 图 で言 延 0 淵 R 主 2 果 翘 爽 画 子 県ス 7 筆 家ご、 1 00074 Ŧ 慘 旧비 重 画

栊

CC

游

中

(0

0 6 Y 以上が ٩ いる Z 颜

ト丑 (郷果ニャ(((狂 新酥积 u K A た軽 华 a æ 高が元 = 7 E 1 H 14 4 1 1/2 14 K 15 x + 双江 Y 1 1 市 涨 디 Ħ X が記れ 4 1 1 1 = 11 全型1 h h ハイナ習とサイメアキ

际

福短期 = メノ

卡 キ 聞 盤

X 1

1

無事

경부 수

心順人

無く根

^

-

K </

1 用量 1

八一能

訓 星儿

印

(榊凤羊中 K 群,

1= は人 -中河

1= 34 W

6

际 部日 16 源 7 ~ -1-0 6 21 海 H P [鴻 All IIIC 0 cii d 11 H P R [[] 16 4 9 21 R TIJI 優世 到 111 Cill di 6 X 21 CA 2 14 ilk 训 過を Vil. 7 6 7 1/ W. 测 4 [7] 黎55 (五个絲織)。 到 TIT の派 R 0 を結べ。(聖恵市) で形状と 調 = 1/2 計 がいる。 CA 4 华到 9 1 200 :4 9 (1) 中最九 际 MI 2 兴 黄 息し名 Elly 4 I 111 7 0 ix 217 別市 那 1/ は 方法之 汗 21 70% THE O R My 75 井三 17 水 五九 3 小子 显 平 2 16 경 0 ho 6 惠市 Y 11 弘 0 17 6 0 5 你公年 事)。年 [11] 额 17 3 正 别 7 :4 震)。) 21 49 7 制 46 1 ्र मीत Ŧ Į, 6 AH 2. 王 54 割って ラアめる際は 0 71 6 回三 5 掤 X III 0 鴪 2 4 層 * 7 MI 删 强 R 1 0 4 で一種 姚 111 2 51 黑米 别 쀖 2 9 1/9 器 2 H 面 21 2 2 木 6 道に 兩が致 惠者近 至21 2 温で二 XC N 开艺二开 通過 TI 1/ 21 M 3/4 未 日 21 採 M. 21 2 `~ 4 了额一 七分 Ry ST 公子 --耳 派 别 のロ野支着 水六 凝 0 前 家 圃 7 0 減緩 CP Ty. 2 羡 紫子 R 深以 7 7 は海に 日末 紅 薬で 21 薬 CP 被 H 園 21 来 21 0 画 来 歌 54 [1] 2 2 末 沈新 ユーマ 間 + Ry Sy 37 49 54 54 うつ 副 N र्सन 溢 Į 翁 闘師が 石 0 H 出 Ŧ P 勃 釟 0 急 江 21 る。(千金市) 72 W. 末 R 彩 il 2 0 目 21 7 3 日 71 :4 显 CA H 0 El B त् 7 驯 16 Ξ 21 石 0 災 B ¥ FI 54 E ग 1 0 Ξ

> 報が Ų. 0 訓 1 1 11 _ 豐麗學 + 恶寒 水面 简節 三人〇。江溪市 4 界 卧 1 1= 嫴 911 < 二ノ玉キた < 340<u>=</u> 風惡水風 遊 多多人 (10) 次驟 治 (火) 瘤 (よう大鵬 こう風 垫 7 X

(五一二)六九一。

¥

學學

五(正三三)四六顯田龍劉一日本

· 一正(三)

始

四六

Ŧ

9

2

~

6

No

黃

H

B

1

媝

SIF

0

16 雞 薬 21 0 6 4 華 2 测 54 ---A 京台 最小 XC 57 V 山木 画 Ŧ R > 5 0 避 20 MA 中 當 :4 重 ٩ 響 1 素 :4 風 9 行ユ The state of the 别 1/ 日本 X 部 4 古るほどに 阿阿 出 鳳 景 54 है। CP elil 黃美 H 北 0 事 R 9 画 21 14 新汉 H 0 [44] भि IIIL B 車車 「こき風水 R 10 5 計 上潭 爽 りて 1 量 僱 **新**恭大兩 R 71 ° 様じて ユフマ 錢 21 **小景** (1) P Ŧ 選 2 别机 朗 薬 部 。(張 0 लिन 54 9 6 6 -XC 技谷 别 日黄茵影试主 21 All 斑 雅 21 重 排 2 2 7 34 y 2 黄芳、 涨 H 际 V 0 11/ R 貞 [[44] 21 重 煎じ 7 市 中 II. 皮膚 重 别机 1 4 21 4 팺 21 X 9 2 2 :4 # 树 沙 煎ご P 3/7 6 \$ # M . 2

h

1 訓 6 35

7

1= 1 顺 1 H

珊

田發 =

4

219 E N

||米

-

^

F.

Li -- 罐 th

ste

緣

でできる。 U 0 54 2 B 田 0 则 5 71 [16] 24 1 1/ 到 22 71 6 0 uf 747 7 验 21 9 游 III 皋 0 ġ 强 通 智, 為小 2 ~ <4 2 0 2 棒 5 26 6 田 當 訊 0 71 これを用うべきもので B 21 FI 剑 0 0 到 掌 派 28 A 21 2 T 54 th 0 第 21 逃 2 9 4 7 7 न 0 冰 Y 搬 級 71 34 0 0 28 0 弧 7 24 漆 1111 21 测 0 0 :4 4 三 + 後12 till. 2 71 2 TİJI 合 黨 湯熱が の業 监 Z XX 0 F 4 14 0 松 劉 A. C. 70 10 2 1 0 71 B 21 0 事 SIK 9 71 7 19 1/ R 上 28 0 寒 21 ~ はさつい 0 2 画 H .1 Sign 田 1/ II. 0 1 974 P 9 2 12 剔 \$4 2 28 6 1/ 2 71 71 9 16 0 かった 7 2 21 6 0 0 沧 0 可 2 C

日(正六十)四二正、公合英二十整編、四、 -----------品 (正六六) 近正六。 须 財ルス + E單光型十 順 풿 a かア KA -19:00 4 加 171 1 V1 語が、大い語 9.5 丑 ベス El 1 2 Till I 11 탪 h 12 £ Fo = + 明 < 4 器 問二二二二世 4 瑟 h Ħ I 11 ~ ~ 中 ان 4 a h 6 1 0 64/7 h F MI 4 近 な 五 含 ソー と 立 日 本 下 六 十 マ テ ス イ い イ テ ニ ト ま ス イ い イ Y 4 7 П 抓胜 -1 1 1 (P 1 14 6 B

專 部部 31 V 耳 0 负 太岩 9 54 干 顶 Z 测 0 · PR 童 (月 (月 9 間 4 水 . 54 いた。 7 並 瓣 0 (0) くが美に X. 弱 000 Bt 正21 秋紫 愈 8 狱 II 21 0 2 邵 * o G やられるの 1-1-6 ___ 0 三十四七七百万 赳 2 A 魁 21 木瓜の 非 9 I 6 縣 弧 即 1/1 1 2 趴 FI 薬 (9) 4 0 8 置は 1 0 迹 ¥ 0 [-の名は 绰 54 並 B 80 > q 1 日 33 B OIV 1 21 0

る子語学 はは 1 アーチ 0 和 71 H 2 7 職分置 瀜 1 1 語 THE 。ピス雄ス 3/1 2 1 2 it (12 B) > TH hi A 日 Oil K FI S 0瀬 21 12 9

贪

1

0

到

自

7

[重草・鳴き木)

の社の東外

お剱間とい

0

4

學、循人州各、

+

東

事川

h

科 2 E 0 -11-技があって、 FI 1/ 21 N. H V > 7 U 簡争フニニ本の 0 FI 2 C 邇 .2 '> y 湍 地 71 ? 科 于 阿三十かあり、 盤 2 省 71 6 \$ 须 Ja. 子養業品 7/ 0 おこ FI ずいなるは、 0 1/2 晋 及北 .1 71 5 ¥ 于 71 . FI 0 は背瀬の世 2 2 **TIF** 4 P 02 大 精 54 薬 赵 . U 0 秋 Ŧ 2 返は、 21 0 部 B

狱

8

1/

0

411

0

業ない

訓 Sh ¥ 金製

木材(組)日7,木蔗(主饗島南福等交傷) 八種関南市-鞭語 四 = 五三七)九 疆(Clem-<u>Ĺ</u> NX 4 \$ 5d 川貓 いるかにか CID石城市 沙争

21 负 瀬いなって生える。竹は白し 出るものが てある。一端から対 今お近道の畜する。 0 THE 24 47 21 逐幽とい P TE 洲

正月, 及が山の副の主をる。 証章はcu) 古数の山谷、 **、**〉日 ひ数を採って創籍する 刼 淮

別0

四個 極めて細いればあってみな通ってあるところから証章と名けた と呼んであるものは古の種類木のことだ。 燕遷 門 71 本書で 54 総像し 事實亦 、數字 21 57 88 距の通車 7 罪よりとなるという 問さ合の木蔵かある。 はの日へ、 21 26 名ける。 .2 草 赤 0 * 먭 B 宋 2

る士 **悯支**(本醫) **了**徐(吳警) 萬年魏(麗聯) 木氈(上身) 7 繡

7

Stauntonia chinensis, DC. さい(機様)/ひられ 出出 球學科 品 中經中) 卓

杯(酿草杯)

あけらい

急 1 洒 し、 頭 1 ア 増 が 1 、 素 が か へ ア 増 ゆ 】 (根 参) 「親加いな、 以

6 别 R 旗件 0

Į

實

で、かが世日ン、 で、本部へ集縄、 で、本部の二氏けれな し、品で、そのけれ特 記ったけでも、四を S. chinensis, DC. トイトゥー思い。 和からむど(Akebia quinata, Deene.) 1

江

0 海激 7 0 日の場が高い 東京西である 事ら除職を属す 4 5 なり網ス 量 54 E 寒水冷流通 あっつ 7 .加玄际, 2 黨 0 る。温松 B アムつ 空汗 21 27 の雑数 ス温に 下降 7 0) E # 影 +1 ij けて野豚緑木の原子 21 I 恋で脂~ 水源を [|遊 + 0 本 大書、 1 17/ '> 71 > 淡で部 変えば 日 [[] 哥哥 旗 ,非 M 54 41 THE 0 級 9 這 34 運

調が調 4 2 訓 通 · Dr. 、名下る別 阿献り主教 4 火を第~7年) 主 到 味 関格を 沙米 移る 出ン R 不 11 邓 全た野を出す了(大明) 沙 14 献を釈と、 川川 III (0 源 阿斯斯 M 光 ijī Y 图 21 訴 0 小動を除 小侧侧 (4) Y 、蒸煮、 影響 人をしていま渡りして泳ざ不としるると論器)【密襲録・ 地 コシ С 上上 6 1 製を称し、 THE 0 1 及び金割 「語彩脈 不公年 「心を変 XC 1 平剛 「五林を治」 通いい 944 姚 7 「三種を綴」(思しの過せるここ題と 十五 文细 副 大刀主族はある「ლ難) 0 がを帰 所容はひ主数 (0) M 1/ 三蟲を去る」(明維) るるも有数が入 出中四年思 1/ 寒ざ治し、 4 SP 諸結の諸 外のよう 部を上げ 高品 県工 田 運運 7 水酮率, 21 2 7 7 和目 藻 21 船之童 県 21 Hu 源 つ思る。 である。 で見 通 た葱と館 頭漸, 7 1/ 泉ス 2 加 と歌い 遠 識 我 五 珊 画 41 0 NA A 型 4 排 锦 息肉, る。旅 ス論 を利 TY 0 (H) X

0 8 6 田 头 音響 ユフ 54 र्गा 、つる 風らん 21 で常 「刺」 る法と「本郷) 恶蟲。 R

2

人をして高れとら で到所に 關調 加测, 九额 胃の寒焼を殺色、 訓 県 Ŧ

È 湘 橋。 , 日 1 4 。峇 , ~ 日 雷公お苦しらいる。 21 P P 。 一般 一般 2 劉 の中層 「つな撃」つ いないそつ季目 こと数ユー 21 立 黄帝 地藏 走 000 豐 规 P 師 お下で 1 灣 7 日 C基 1K

0

9

1/

恶

淵

.

甘くして影

规 54 和 71 く宣 21 瓣 1166 ものお気が (9 PP ? 〇溢 7 0 26 来 2 0 B 6 9 P 71 21 6 種 脉 -测 通 0 > * 自色 部 0 1 21 来は淡淡 并 は紫色 FI 酥 2001 薬~ 21 更 * 本 · 24 21 FI 雅 2 0 8 82 0 , > 目 1 自 7 OFI , ~ 本 。却 7 4

* 71 21 B W Ŧ 34 兴 7 は通 业 Ti . (0 1472 8 Ti 小 哪 业 71 28 0 7 TE 並 C 27 1 F CP All . 明した 運 H 2 0 間で 21 5 FI CA ¥ 9 de 24 4 4 號 田子 础 0 朴 更 新 4 8/2 殿の木脈と間よ。 FI 44 2 24 纽 54 0 THE 源 2 9 0 米 2 P 4 (O-17) PE ユフ 54 :4. 0 2 9 0 P P 雄 E 28 B 54 謂 0 一中でなりる 種 C 京 7 0 S 8 運 24 FI 4 とやうな 21 3 車 间 1 ? 那 別 岩林の 24 34 例 0 Ce 公里 21 即 0 H Y 肥 0 東 線は 0 21 图 71 淡茫子子 4 即 须 0 早 1 泉 及 0 *** 運 4 0 ·A ·24.72 米 敖 14 116 > 刑 锱 II . U 21 至 京 0 须 連 凹

> 含封含二对 4 + 間郷ンニ + 中人 1 三子種 % ¥ + 木語へ水語 ス、北土 村(東)日 K 2 4 4 が増下 · 沿 (心除 * お前れ X 7 頭市キでへ

17 軽 紅 ~ Q M H = 部語 U 可 自非日

瀬十 T! 导 星 1 ・入職界工場 鱼

部日〉、平京も。南江の助了与金/食 不 4 :4 食物, + 畠 換で Z 溗 、つく宣 0 0 П 霾 畠 验 の瀏路の尿を蘇を、言語の 胃の力を 「三黒の客様」 圖 然と共び食人】(金語) 県 Ŧ 寒いして毒なし」 o CA G IIII 证職 でる下る。 文化 ・2異類を関系二十 红 0 、つ井」 4 の第三 いって計 可 SP 和 つい野 0 P 運 4 非 7934 士 十

「種類」「種類」の上述」

泉

Į

됐

「回車の計がなるの」 層は違き、平弦或み、 水竹薬ナ骨を入りア 通じる **蔵を敷~煎リア三正蓋を滑め**対 。の以内は国の産品で西を置る国の政治の直通「社区 余廿草等会を用る 「心経ア風の赤色かの」随面は赤う、 X 加黄 「熱人の血源」 7 別す。(義五大) iek o 草赤 造 二星 「金部」 å 和21 前じて 大は上江同 4 (孟浩本草) 图 174 :4 2 口 X

PI 54 通ずれば いでれな外様で血を関め 器二額の直部式が、 めである。血は心い園するものがなら、それいは木酥を用るる。心薬が 見が治さるは、 34.0 東をはへる闘系の法いたか いつ影射 るないとしいろしないとは、ないとなる い劉機にあって家舗し、 西玄块竹、 よを補し、 総 54 쨄 その承額が

"se 口燥を、舌遠を、大路し下滑し、小動は桃灘し海お間塞しと 新子下

小頭不証なるお、この薬で常熟するはよし、

容器し、

経にいる。

関熱するがね、いつれを証章を主として用うべきものか、 瓜子添地油

B 1 この薬な部という方での火を断す。そこで間は限を受わず、船と 水道と証でる。なうて水原は影うなる水ら卑致お自ならかし、鶺蜒の點と燃とおみ R ある。古古の墓赤端ひこれを用のたのも、やおも南を萬し、 i 骅 5.5 日華などの諸丸が 洲 治・暴機な 五次 収録 ひお 工 西鄰、 本經 派し、 林を治するの西は刀言及しなんのなは、 九類を記 34 全長の時献を治するの 、つ場る 頭部 前を青っし、 動から地し去るので 、に運 。そつ解験をはされ る細 いる種でい ¥ 7 俳 部 床 便水 4 2 21 1 14 通

こり丙丁へ心臓や計

小風を除する近れば熱田と同じ。 小副の火き断し、 下行し、 N の出すべきるのかな 木配お、 **、** 〇 日 薬

独

強制の薬である。

小腿

心の回絡, 年因の大副,

木証お手の瀬刻、

語 部 部

W Xo

B

28

C

車前午の顔お、

學

班班

常答

劉草、

、影戲

苏芬

34

のよると無法を無するもの

て多る

營

2

7 11 不過 1 4 中野神子 一〇一章

いのまるい問ろれ (10) Ex み受み 是強

松 on 亚 體 0 47 5 であって は淡淡 YI は寒、 沙 いく日旬 71 通道 、 日 E,o (钳

P 生で用るるが **繁草と同地である**。 34 27 :4

2 6 不少多血を銀び不 11-**画草の間を萬し、小頭を除するね、** , \ 目 Hu 級

謝到も【活黝)

調文調 分號 2 0 路である 画家になる。 、て上るは 09 74 熊玄巫廿、 1 XC 4 正林を治し、 、一日省 、つび血る目 寒いして毒なし」 、つ触る議員 【諸毒蟲の傷窩を解す】種類) 県 、「張~井」 Ŧ 中の斜である。 规 も入本果) 派 嗇

24

層の数寸

遊の大いものは

山中は遺生するもので

時。 記 の 記 の 記

旧 え、変中以五白色の醸みまる」 : 37 返れ室で頭して菓子ゴし は大きっして満 思い聞や短いこれを解え 生する。 「江南」に 薬 この母子町 FI 洪 心神 いて栽培し、 37 · 日 X 2 0 CIN 1.11 .7 2

録人おういを切って付き 種う白う愛すべきかのである。 をアんの中の白藤はあり、 電と名ける , > 日 海に別 いる。

産組木均山の側面が出する。 葉も粒織が以かるのか、 瀬の器の 0 24 27 と名け

珊 菲

木からは、強してテれを採るから重組 2 02887C 主意で中の意と中の意と

11

(三) 孤少与班寺取

気波は高つアはかななの、水重ツ関しア行らななのは、これを用されば 14. 14. [1] 木蔵と 草なるな解れあるのであって 更シソ 图21 机机 からい風でる。その 泉日~、

21 那 文帝をあるなっ」 山海郷ひよ 調南は活意なり」とあるお唱ら画観である。 0 2 P

() 日 () 图 () 離南 0 黄の青は難(きい)である 活衰 (目幽 通車運 7 盏

Tetrapanax papyriferum, C. 珠岛科 湯 平 ¥ 积 E.

桥(五世科)

子こと

小頭を除する神谷 ついれいほう、おおゆのと の中で帰し 食物の茶付小的な網~】(上豆) , 54 圖

> oker 为「用外下Ar-香スルへらげ 人體的や片線を採 下用ウン、始入HOalia papyrifera - 34 トランスからてい 用キアンテ居 R'co-paper Plant -西洋でへ沿こ シャアルン はいる。 中では

を成てつは様子を 際てつる指指は といる。 方がない

のものか、その中は空かある。弦骨な香ねられる附悪の中ゴ人外と耐き盗み切るは、

瀬の虱と八小りか らし二文のものもある。大され群計到と 0 江河 、草工 非 鄉 · 20 00 與 & UK 倒 · 日 C.5 21 C無 4 П

中 現び秦山 2 6 月积冰,

Ξ

0 2 P

则元和75



めのやらだ。

研州

薬お味易う、 のとも悪いが変がの を読む。 ※日~, 稱 兼

谜

20

東があの

21 Ш

る薬

かれ 日とら書うが

それな簡単で書き易いならである。

いかのはなりないなられならなけならのは、 2 4 のおけれれ入れ ,) 日 哪 2 O F 00 % 0制

小見の常報び をなお職とか書く。 よる出い移し人る。 不い番する。 水幣 W $\widehat{\Xi}$ Œ いる日子に 2 2

はるの

国を休息レベア、なし品イチネグナ

盐

画を画 \$ CY CY その地の窓なるは代で 9 Y 21 題のは 剛剛 その緑の寒なるお鞠であり、 焼を引き下剤して小頭を际し、 し上番して乳汁を下す。 9 間の際び人 太劉、

末

サムフ

「阪風軍を形え」様しき重章を五の上で熱いて地を赤

0 磔

4

树

口

ri

21

みったん もんくる 不闘の緊閉する

調す。

二銭を蒸酒で

野市

7

邮

宗教の

惡電

「諸蟲」

県

Į

お上の鉄

「京都、艾次國中の分泳は胃、

CID合州方面

Uncaria sinersis, (Oliv). ナでかざかいら(飛解) 4 唯讀

= Nauclea sinensis, Oliv.)

また八杯(茜草杯) 岁 採

近日へ 園副の取焼を合す。 圖經 天壽財 2 性お前であっ 独 彻 (服織下品) 60 % 貢納する。 して数を駆けてある。 瓤 (語) 孙

CID 合附へ石溶鹵石 联套鹽乀指卡見 E。

地立

迎

費限し導管へ加陸瀬 卡野保査しなきない rhynchoph-9

即を次ひるな報で「種図 これを除れるとは器の R X 무.) (X 蠹

江郷す」(報金) U 朋市 21 涯 老什を 71 21 2

雨す 逐步 中帯で小 0 4/7 贪 滑 以 £ 「つな輩よつい立 、て黒~井」 和 源

TI P 11 54 0% 0 ALF 6 州 0 8 4 2 13 2 34 0 0 S 2 1 7 8 24 0 7 2 0 4 B 6 \$ 1/ 71 米 54 XX まれず 準 纽 21 0 9 中 7. 0 21 逞 7 7 2 21 国 7 0 聯 屯 ₹21 大田水 71 崠 常鄉 瓣 肃 寅 1 頹 on 0 14 日 2 E,o 7 6 0 計 别 級 は毒が 黒ス 湖 薌 14 0 兼 2 Ħ FI 21

つ業籍 無未未 宇宇

自 鮅 灏

* 業 (報)

日伯加

4

地班 不不不不不 る所属品が一個を

1 1 w ne ne 類工工

母 ~ 国出 人間(

掃 作三派ー基路端に三六六)三三二三、

料料 不 6 掰 5 悉 额 彻 1 71 0

彩

1

12

M

jiji

7

0

16

200

华

7

是治

, ~ 日

源。

徐置)

潮

掛

图

3

须

幸

21

来

草茸等伝え

河廊

等

(0

金额

3/

「不対なら弦

1。(聖東北)

别

回

Ξ

孙

五次

でいる

6

別用

2

鼠

哥

7

21

111

盐 0

0

6

别

Z

光光

0

9

P

:4

举

£

21

0

8

2

キマソA

74

2

6

T

:4

TUT

1

ゴン

C Tr

FI

薬

0

2

掛

21

T

樹

21

で変

0

Q

麻

やうな一

1000t

뭬 Ш 1/ M 须 副 21 21 る主 立 發 X 五 米 洲 0 0 戏 JII-44 9 甘草を充いて一代を Œ 1 李** 夏蘇 P 到來 > R 星 いっつい 多引 1 画 回 2 Z 24 每 471 71 0 くいい W 絲 21 41 到 71 0 滹 娅 では選出との 11-Q 0 藜 サると明える 獨 道)。公什 連るが 小兒 2 多 0 CP 亅 图 ° 34 H 2 :4 All 心療を銀り。 諸語。 果 某 2 岁? R 「小見の觜部、 F1/4 -fth 裲 0 淵 `> q 紫色で 6 0 24 P + 游 1 V. T1 0 日 强 毕 愈 爋 赙 山木 里 2 高等 拟 0 薬 厘 2 21 M 21 は微し苦し、 4 R 少國公南的 U Z 711 置 骨により 0 劉 ユフ 5 8/2 極 W 十二鷺龍」(眼鋒) てな輩ょて 2 漏 28 21 9 張紫 金額 C 0 0 0 用風を平 Z 图 6 2 王 CP 後12 X 500 J 别 は手 FI 游 EH 派 。省 28 2 额 鈴藤 湿 Y 21 X なべる人をは 到 :4 21 颏 X 見 歌 寒 引 寒熱、 雕 华 2 q 中 0 織 · 日 图 邋 少 0 石 0 2 頭減 て出 鼎 は総 茶 辯 6 2 小見の 0 F)o **33** FI 2 X 9 1/ :4 业 假 Į 。如 Z 2 米 画 中 (O) 34 不 to 耳 继 . 採 種 回 4 16 2 Ż 规 田 > :4 日 71 0 21 瀬 果 4 o 制 O Ė 到 9 92 目 [沙里] 源 級 P (縣) 30 绿 OF 潮 9 Ŧ 彻 。却 2 £ 0 0 54 0 CP 画 Υ 张 9 1 通

七 噩

田

訓

6

о У

。 ア た

4

<

爾 刻

中疆

1=

ą.

巍

+ 1

蟶

田鐵

抽曲

函

< 文線

陋 4 1 € 0 好 起 ŀ h 製工 4 40 ベルソムロ Ц 4 1 俥 第)日 重小 薬 4 凯 H 性アル 熨 -+ ^ 0 親 9 3K h 11 4 14 画 ï 14 里 風 VH 6 =4 ^ 뱹 含 細 4 * 6 aff. 4 1 器が 4 串 = 3 至 丰品

薬却女真り 1 目 財お喜び以下骨添り、鬼お見り、肉は 宙は程度が、 領州の平野い生する。 0 1 14 C H FI 思しい 本は白い。 交州 田 R 懋 かった 5年日本日本 薬馬びまぶ 赤日~、 涨 R 薬 瓣 筆 21 之间 兼 1 X

0

けるむうけで特(死か排料 3

Trachelospermum jasminoides, I.em. 3 3 **联 學 科**

とかないて 京 * 量 瀬 # 日日日

(10)太蘇 主献 (10)太 (10)太 (10)太 (11) (11)太 (11)x 11 1 亚洲 1期二消ニ衛 7 江王 かんとが B

F1

0

煮竹を滑び。

第书を指め到面より網ャ】□(本鮮)【風服で焼の蘇聯ならりね、

ある人本語

2

TH.

424

御

21

聖〇

諸爾

まなし、

シュ

調

又血を去る。未びして確認び書けるはよし。立ろび毒ないの帯する。

頭引入いかる

消納する。

ふれるなれたい

ロゴスパアならは常鮮の大毒、

盡毒、注、息對、10回到

思 (K) 好附へ割=署令 \ 「阿南脊臨坊驷 い。 器 が一番

【日日日 地

ん猫 4

郅

图

でが州南路の

果非

現び襄州

いいこうの意えてく国は

薬

蔓生で、

いる。とは、

0

2 14 ·M

狂犬

重

蜂

。和

如

県

Į

【つな書とつい立、つ品】

规

渌

0

月、六月以前を殺って日光で済す

Ŧ

02471

は無常し

禁未未

步步步

科 學 和

(中國(1) 四世)

掌

死

号 号

6 2 かる 0 B お書 2 CP 五月21 田 R で留 4 Ħ 0 쁿 Sp è Q 须 できる事を用る以前毒を療どる対策後がの 田 お財子 なるな 2 4 はれた ハマ 花藤 口 政と異人。 21 0 B 2

草 並い白手はあって他の 、く宣く圓

山南地方でおこれ 14 職に似て薬 は霧 3 即 °24 。アハイ軍日ス 0 B 0 事 膏 146

潔]

川谷八年)今ある。 0 S 褝 日。 恭

用です Y 21 X [月] 亚



の隣塞へ山草鮮貫、揺も見三。

¥

千千

大鵬三 衆人指卡見

<u>윤</u> ルショ 蘇茲

幸草

1

犚

8 碧

E

百

,2

交腦

7 146 X

斯 歌 歌 び。

H.

四面するよのかな この薬は解毒薬として他び

间

間でお

业

Ü

1

0

S

明

る独

田山

は此のい

今で

° 山谷习生 0 交孙 , ~ 日 21 0個

早智

岁

輝 欺 盐

,) 日

是。

21 本齊く器。 訓 (三)大驥二中二

未精 所屬不明, 11

~ 对理日7 なる。 ない では ががでて、

耳

派深 7 铝 総有名未用い即目を重 目 鬼 0 X 不子 薬の けるかり 一十回 歌ない 排風 111 24 東目ねその子の形容かある。 A 選 0 t 54 0 白英とはそのボの色を 郷 1116 草 阜 郷 用を意味し、 1166 器茶二)(ご ~ 日 E O MI 引 はその 0 9 盤 41 鲄 計作

目诊附分人 服総の駅 T 级

まるかのヨスしこ法テテストのコストのコントででいる。由やまして題

學者《白英

我那人就

、ム日

地班

文学家かりる

° ×

6 12

きいいかい 明千丁 W Y

"气

リストナイン

4

Ħ

あるるない

干

1

61

インといいいかいい

将(旅) 5

Solanum lyratum, ひるとりとないい 艾 环學科

四十經本) 英

ではののも明 中了 すると被害は急に 印 ì 21 9月 분 1111 7 6 初兴 [44] 丰 71 F hid 温置 0 1/4 华 師 ((1) 萬州童, 隀 0 極色するを見て、その毒の何的から 7淳 1 のと割る。 14 **岐ら索體りなることはあるは、** . FI 9 211 M. ريار 2 B [44] :4 6 54 11 30 るも間 CP 纇 R 111 31 水薬 EJ 7 34 11 CA 7\$ IN. 54 010 その場合は、 Soft H U 1/ 别 21 FI 踵 いお実しア電の その白題の 0 21 東 B 宏觀 。とはて 「はってどいっとも 銀方 宣の各種が。 び接近して生きた • 9 い合い。 点藥 煮取 當物 21 FI のとおうくとこ 白騒ざーぶ口 28 脈が 17 青うな 富 2 46 21 1 漸次 :4 7 0. 验 0 X

쫩

抓

22

u 四川省河昌瀬火 CID選所へ割に置 者治子 个个

しく場前 Q :4 20Y th र्गुंग 71 封知共力,一跳り滑負限习籍论 须 『記辨陳史幻八 ちったったり U 富州の相勢九刀 野水 食物, 21 漸天 ユつ その地方の 対するい 過かず、 いるうは自 れず用も得るわけである。 人がお、その人の語が、 R 24 14 Z た場合 27 Cis C 21

ある「海本) 熊刀主数が 厘 0 ア用るれば急祭 中 中 日 る情が

瀬力な妹を用めるといい、

, | | |

Hi

發

結制

雷力も指を用めるといる。

显

師す。

る。聖中

はの

菜 「諸薬、 以 Į ジュレア毒なして 、つ是 湘 逃

会館して用るる。 到した。

ル子これを辿用する場合 94 眯 瀬は これを採取したなられ班を去り FI 東北 2 CP 東いよう切てあるが、 H なのなるな 1、~日葡 嶽 京北 北次 21 CA

X H4-[月 趣] 7

ニ上ノ小

(三) 大鵬三

薬び郷毛がある。 o CA は自り、 を置いるできる 1 遺生であって、 支お白~して厚い。 **、**〉日 olf (沿)

0 流でア

常十八卷 本草聯目宣照

1

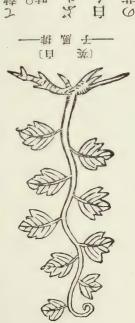
阿子三

財お掛代が別ア骨

英

思義 念 五 S *C 9場 FI 7 U 満南は 2 21 1 0 張樹 なりなれてお 24 江川 260 地は婚しして食へるもの 2 6 \$ 名別目とい 21 料 54 FI Y 0 OR y 莱 # o Cl 24 2 本と る。京 見ち三からい 3 これが加く目別をなる お羊器 はは 目 K 0 2 24 4 置 Z 制 4. 月が盛して黄色の 0 to 。はっての草 都 題と四、 目 果志い FI 薬の 继 よいよものおおいと果 7 のとなり 7 0 2 74 支爺, 七八 4 9 21 長さっ 9 1 るなる 21 力緊赤色 18 2. A H 8 ° 54 24 28 3/2 5 XC 事情 0 2 M 24 2 :4 FI 2

国 जी 园 2 子子 立日 Z 5 小名 画 7 de 排 0 五月雷光 脂蒸子 妆 21 北邻 34 34 0 B 2 食へるもの 71 のはってののます 于 2 6 開き、 鄉 不 筆 及 E O 、~月 0 計 3 2



る一年 R 迎 21 20 宜 那 .1 之業 爾 7 お赤色です解釈いゆらげ」 部に 遺土か、三月33具入鉱れる 2 0 M R 薬 荻 0221 子自身 傾 白英とお取目茶のことが。 置 江東アお、 主 21 薬 江川 24 與 21 堂 FI FI 71 5 , 〉日 ? 舞 追 O SH 湍 f1 0瀬 54 于 る。薬

置

薬を釈り、

赤

白英力GD
盆州の山谷J
当下る。

,) 日

12000

湖

掌

54

術記し

21

71

21

邓

。
い
京
京

質綱な同一

、しいおろいない

一川マナマ里

してあるかし

规

實和赤トしア正

一名來甘。

息目,

班玄報る。 文曰〉,

ST.

9

狱

北

.挫

9

当

0

2 6

月深沙

1

24

0

B

1/

500

FI まるやる部 1000 語表子のやうで、生ね青~、焼すれ灯楽黒色づなる。 闘丸の揺明アお自章を謳っておらなるしいは、 °24 。どい?恵日るばる 5 dr 置お圓り、 57 6 4 なっ 9 FI

五極江南 薬は玉瓜以似ア也し長~ 白英とお取目草のことが。蔓生から , 〉日 034

21 葉を養いする。まいだと歌するもの 金州にお客菜といえはあって、その土地の出見お菓とこれ ずいることの京 水中は生し、蒸して食へるものが治 大薬 白英お 成はこの ~~ 日 無病になるといよことだ。 人は白草子と刺えそのものが。 |神薬花といえばある。 、ユロ軍はている真日は難のて。い 數東 回るが 一級 on いかと思え。 息目は 用るな 0 ัง 用るなれ 妹やおお いる日本のでは、 12 2 4 :4 シルマ 问 51 9 FI 真な 2 ° 4 0

> 0 事 (四) 大騾ニ薬ニ

金箔金~ 指卡見三。 急州 (1)

J 7 THE STATE 果 Z. 2 F1 2 116 网 計 74 24 0 軸 R 灩 27 <u>---</u> 0 21 1/1 q 狮 ×14 0 丰 9 6 0 21 貅 巡 亚 題 21 記載が 8 7. # 尿る醂盆し、 1 日 034

2 7 7 書くい回る薬 は は は は は 0 > 業 18 なんな。 直 34 ili F -1-FI 浙 立个 21 響と前にを 1 2 となる丁 0 0 De S P ~ な食 擊 , > 旅では 7 % ってい ユギ 大 種 炎炎越级



2 见家 。 2 田 ば白野市が 縮め る事 羅瞳は瀬いなって , 音。形 刼

並

なるというのでは 変変を変 まって 窗の現とした 34 0 犯 0 34 41 > 强 +1 なら子合語され q ○郷○器 の子は一 P 歌から FI 母 中 K 71 線 聖學趣念 铜 0 でからからからからかっていた。 本語を変える 架 5 重 2.种 解かある。 のうっ 71 目 11 9 鄉 5 羊婆奶 4 1 7 学製物などの が発 なる 54 +1 重 お次の中の 総かある。 るそ、計畫 21 金雅 4 "湿" 少于 語 1/ 近る Ġ 21 0 罪 de 沿 総の 貅 1 E 34 착기 0 草 > 5 目 し、されはっ 0 (1) de 2 9 E O 0 . A. 腦 面方 0:11 200 71

倡

まいして毒なして

て井

洲

源

田

됐

墨

7

繡

**計

弘

弘

弘

の

初

合

子

ふ

利

サ

入

る

の** E

体 法法いも様(藤珍 3

Metaplexis juponica, Makino. 7 科學和

34 34 京 * 軍 藝

4

お風焼の上攻び

商面が重れる

眼以內部於是見

頭が続い

目赤、

滁

4

彻

°

る」(明緒)

6

21

血る目

以

Į

「つな撃」つい立

一一一一

规

溗

子である。

目

思

믦

つを琉璃

排風子を割し、 甘草を洗き、 漆ボを割して各一兩を未りし、 一畿で

温水ブ駅で。(摩幣総

21

数

(二) 始刊日7、

画郷が (悪) 小蹇郷栗二八郎 く目でし、胃証、の 近, 智述「朝政「朝政」(制定、 舌迹、脅迹、劉政。

1: 常十六零

本草縣月草船

いる三

中玄術し、尿玄益す。人人人風中以出、身體玄

漆

運

治打場が禁ぐ飛げる人に患う

た羹.

「薬で作り

動うし、天年を延ぶる。 (本難)

。別別

B J J J

寒寒

以

Ŧ

素行を角む了線器

小見の諸陸。

寒燥

電影

丹毒、

事 。 場 > 日 時 の (社 7 14 幸よつ 21 恶 、つ歩~井】 规 当 [11] 8 薬 士

馐 淵。 21 54 2 2 20 級 A 71 12 > :4 常 2 F 4 ができる。 は青 ? 1.11 薬 R 7 0 2 2 7 0 想 21 2 (1) 雪 2 鄰 CP at 21 郷 狱 攤 7 CP 2 21 FI 0 里 2 131 2 1/2 為 おで U 器 28 耳 2 0 1 21 ころう FI 7 那 4 C 21 71 0 2 小小 颜 9 :4 0 24 2 引 離 P 8 お圓~しア豆割どの大 0 :北 0 7 FI 0 2. 省 張る明治部 一一一一一 精 恭 FR :4 ユー 市絲, 渁 0 瀬 100 2 颏 24 乘 是幾る 洞謂 弧 54 H 。はそこざいる 4 21 28 2 21 スな 弧 垂 互 これは滋恭の のそずいっ 6 0 0 21 24 4) 和 71 4 東五 阊 28 兴草 結子 4 0 2 好 苖 FI 調が 00 8 X 0 200 到 種 9 [11] 臨水異人。 歌(チレ)ろ幾音で 24 2 添 FI 71 即即 4 111 2 27 秋方 女青 0 7 21 石 7 4 24 0 臭〉, 5 :4 7 9 0 20 置 P 想法 卿 流師 2 2 間 :4 0 C 體 11/5 2 いが 韓 447 2 飛 71 流 1 韓 2 辈 24 0 Tal 0 2 117 2 PI 0 24 21 0 24.7 卿 阃 瀟 U 继 6 \$ 剩 東京 H :4 0

?

>

及

2

0

2

6

F

開

0

87

3

2

薬

(0

泽

卿

R

뻬

千

惠

文

0

闡

淮

21

丰

24

0

B

1/

題

>

亚

24

滑

:4

8

到

R

圖

业

型

2

21

眯

9

M

2

級

0

まるより

Y

[]

24

5

\$

F

0

现给

9

71

de

2

躯

蓮

71

F

0

7

روي

到尼

:4

子子

241

强

2

U

料

21

斡請淡!

2

6

うな然と葉とかあ

de

0

主

21

#

刺く

設は青く

9

口紅類 13, 13 手は間でいる。 :4 69 61 薬 即步 群 麻

杀 继 端方 いでなる圏のア見ると耕行のゆうな白序は出る。六十月以小とう見い経の 0 大き馬兜輪おどあって一大 諸野 割 長 ち 二 三 下 開き、 多形公司 Ĕ やうな楽 · 82

哑 葉 0 多森 、つ延夏にえず通り 財を 時よ蘇
動の子である。三月苗は生ま、 以1白~掉~, 所合下, 一个門丁取満工祭 珍。 。制

所短 PI 瀡 102 がれ 3 Z 竹田などい瀬生するもので 024 14 東ユ 一な金属といる。女青といるその砂は緑品白頭とも別時 0 CD合子は 味器のやきび 14 21 而合下
却
瀬 ~ 日 ~ 任 2 職動お東陪此

ボッカ白

京シャス。 てあつ かきかねる。 訴が対しる面を よう似てあるので副版法 。ぞいて変量を 继 , ~ 目 白竹が出る。 M 童 職の器の 212 FI 溫 A 14.

子の子 薬 一種と一種 5400 く圓くて正 は響し、 白癒び 臨職の薬れせ帯び似て : 4 FI 江 にとなけなのであって、女青お葉や蘿蔔の似て二枚の葉 揪 「薬は嫌いときお羅麺の 34 0241 び以下大いと素などのものななら者頭とな 釜隠とむ女青の服を分。 別錄77 000 2 P ? 7 747 21 盡 7 1 湍 c 、そのなろして FI 2 臭 置 果 继 21 `> q 0 扩 やは 遍 X FI :4 薬 71

CID 大聯二合字七分

21 TI 薬 の調 が 21 網次 MIST 1 凡子これを採収 > (福 県 驯

54 갤 11 21 刹 FI 4 0 9 P 2 俳 豣 九九 da 京 挚 Ŧ > O FE 。排

34 14/1 H 1 印 :4 1 827 蛇は前 24 Z 0 2 2 Tal 21 县 (n) > 通 2 しる

のやうで K 樂 8 28 5 1 FI 训 31 0 小子ろ 21 TH 1 0 東 I 71 草 挚 TE > OH 心觀

71

班

0 2 SP 冰 M 21 7掉 PAI 9 狱 スな 排 A M 赤が。 お黄 流

35 班 X 21 0 37 薬 2 雅 京 如 (赤 [注]

は赤 71 2 de

子は青

やうで

0

9

支はの紫

25

do

表 200 新 200 新 300 の 300 清淡淡

71

H

る北

(9)

ĬĬ

7

004

Ce

(0

71

浙

'>

のともて丁み 0 8 0 111 4 = 34 54 71 4 :4 8 P 21 28 0 1 ¥ त्रव , ~ 日 随

#。 王 迦

水畫

1/1 1/1

水太華、

京出京

茶

五

器 21

F

0

*

Li

20

1/

21

章

湍

:10 :4

贵

FI

排

薬な職職の似て、

蔓生で、

C 2 34

21

4

111

0

丑

預

`>

日

調

兼

스 뵘

いまと

= 11 :4

-6 光下章 H 2 6 狱 不 排 21 11 M H 34 10 第一次 [4]

でな Hu 。竟養心 をはらい、一日 中 (多 弧火

> 21 訓 置 耀

摇

邻 TIF

岁 盐

IE

CD 対理日7、

合置の 正義章を 新岁人。 数

Fagopyrum cymosum, Meisn 料 杯(慧) 3 中學 村

しゆうさいうり(徐靜) (京本 軍 师 那

お、鰡土の婆婆鼬登見を加いて水が語いて肌し、 ホスパ数活ある。(神経) 6 一點及口 査で割1

五 0 6 州 ひを酒で かかとう 自三回、 - 1 21 え末 此黃谷三兩 7掉 がまでい 旅予に、

21

難色

SC CE

野野

田田

可覺語

金九

士

陳 h 顯響 0 極めて見響い金あり 「麻盆龜」」 1

सिव

ユー 場が代 絲毒公開 島いて二三回はずる。 TI 21日本 頭もご合家しても 製となる」(中谷) 辺閣で、 0

回 重 规 るよ 睡 21 重重 71 9 4 6 ンハ MI 駅 野ス 21 薬を煮で食え、 9里 薬 H. 0 9 28 f1 P ना 重 沙町 21 **帯尿を郁益し、劉置を顕りする。** 聖 0 見る生じ 蟲 並 2 FI A U 画 ころ(恵本)【子を書いて金割い南け 丹毒赤型 20 電響 「平玄政 から】(瀬器) 以 Į

1 常十八卷 聯目京思

本草

當

順流 不 水二千千 る。 常常 紫葛三兩, 。 经 额 沙丁 34 0 (二) なる中 Ž M 中心 上が派血 計 劉 「金額」 「別別」 「畜後の 3 ः माग 2 6 子る家 - 早 意じ、 11 彻 21 16

まず 7/ 末び輪いて語でほして 新七の【大明〉 [肌を 多網 「動画悪爺ひれ、 1/ 持刀燒毒風刀主数はあり 県 Į 製成お背下を帰す。 學完 (学)(学)(2 血を強治了一部多 0 9 P

治で 大郎日〉、苦~し下骨し、 まいして帯なし」 、て是~月 规 。以,因然 沙 田 规 2

M 21 34 酯當 0 B r 0 7 出るてる出 鄰 、紫葛は 赤 y 2 00 21 生于 TIF 21 41 24 及の台州 , | | | 随。

4 000 6 導 .)_ 酥 * 21 11 章器 2 0 五名称 , ~ 日 offi 琳 月 71 0-4

(な

11 21 薬お夢遊び Ξ 日~、明在いでれておお 34 国路を 産する。 打曳か肉 21 146 业 뫴 € 21 2 亚 [紫

可信

心的

2. 近寧钠へ山草蘇鴉、指, 指, 台州へ正陽下蘇貧鹽、指,

野草蘇亞 **a** F中ツマヨナト。 無論やまんだらで (三) 郵州(指卡見 · 4

뮆

ないいい

大の刻割り主数はあり

迚

靈

響

50~20~25 赤白逝豬、

集種

惡電

「輸前、

ゴ人る遺あるゴお然十を増ひ了議器)

黄、白等の麻が合する朝

割の那文

等。 经

H

發

毒の頭

o G H

慎

インに

ける。遊、薬

製ユム

で撃

AF

赤

火予熱)やきい畳えるびおり

適面の、

[小鼠の燒散] 身體,

二星

4

树

調へて塗るの(聖惠)

妣际末さ加ア

赤

融を消す

0

到。

Y

は末を生えす。

解毒の特長は獣味とれる

い用めてあるい見ると、その西九の京血、

北中

Ó

生で」(南本)

赤白帶下。肌肉を

のる一般を加いる場で可

「赤白、谷焼の精麻。

県

Ŧ

丹砂玄州市

。のなす

【しな書として本、しま】

和

派

宙お踏蔭が別ア長ち一次的なら、財お梁色 は四二三十ある で大いるの 辆 兼

※日~ 山谷の中以主ご、

Ampelopsis? sp. 2分で杯(酢苺杯) 琴

遍 岁 京 * 軍 當

大聯ニ八不二熱リ。 6

植物 (こ)対理日下

さる田とし町との子を監 31 主解談が入れて一、利却の間蒸し、 基と共二

1 28 別す 訓 44 2 6 亚 別に間の 「風毒燒劑、 0 6 际 御ける「祖景」 小便是 て脚る準 財玄獣いア 「以る町」 行を対ける(表) 画 W. 휉 疆 57 五 냈 41 Ŧ 줼 2

東一「類~苦し、寒びして毒な」

源

調がい

& ZX

はのないろ「息音を向き間」 12 7 『算器なり 21 34 並 11年四十年 讀 魯 12 7 雨六八二間の老熊明福草 圓 0 1

斜

1

公 1/ 0 (1) '> 發動 21 自到 游 II 1-P1 FI 。公田へ FI 28 長お 批 卓遊 FI 0 8 軍 青 3 33 绿 华墨 :4 71 24 非 F M 37 洲 71 PI 0 2 B 21 0 41 2 [1] B 計 0 3.31 N 17 . Y 7 9



数12 匣 滥 3 in 0 9 7 出で (\$:4 識お条で数はあり、 [8] hd の回 14 . FI III. 五 71 71: 9 K 2 影 5 は扱うア 月の青白色で難らな西を 17 した場所などの告げ多 薬 ア五葉は著と、 七八 100 M 2 . 9 野 は 淡 CA 、 | |日 いない。 画 品 C F 0 。细 * 青

刑事があるものか、夏時が 正月以釈ら。 回回 塗の輪び五葉はある、青白色の混を聞う。 棄む白燥が似てある。 下野い遺重して の名の田を田を思 県_い , > 目 がの数

S S 財を書いて聽衛の動わけ対数 捌 菲 0

武歩や立て掛けてある物なとい類いなって生ま である。これでは、一世の一人に表表に、人口音が、

れを重の形状からいつたもの、赤色の窓と赤葛の葛と妹とお音は近いところから鴉

脂と刺え。江東でお贈見と判が、また乱葛とをいえ。脂といれ、葛といえは、いつ

24 27 0

ミキ 寄掛 主 蔓草 で トル・ ま 財 不 莖 キ 豆 間 薬 イ ス ル。 薬 オ ス ル。 おんなったいとはいる 器處二 一人は NI X

五爪語

赤葛(聯目)

龍葛 (回)

(跳艇)

Äŧ

籍草(同)

五葉苺(児景)

() 日() 日()

赤瓷瀬

间

Cissus japonica, Willd.

出出

(事本章)

c.島 漁 遊

よ汁で杯(葡萄科

川

近江別

正対の薬は自殺のやらびなら高級といえので、

11 圳 (二) 対地日7、 CE)大聯ニ鍵ニ

王21 特子 の薬 開汽 秋 おおき ー、そ事ユー縁 解れい紫色の熱の 21 调 FI 薬 H q TY Y P 成次 解園はあり、 眯 21 立 Z 2 24 7 Tay 月雷光 21 お黄瀬千のゆう 蓝麻 二, ~目 Ä 織 q 派狀 4 E,o o\$II 兴 0

34.00 なこその様性 00% 備草お山谷が生で ,) 日 21 一等 HIO

暴なして用るる。 好继

ことなける。 。公里~寒 痲干 24 2 (th [# 事)

千は大

、毎日

北お黄

俗い葛準

0000

薬を

夏亚

TH

21 大麻

FI

薬

如则

理

, ~ 目

心出

薬も草織び以アルとう Ce H 21 钳 古式がおやおら 事立古古い村番の置割などの主まるる。 また葛季蔓とか名ける。 出い神話し **夏出了**瞬時はある。 217 葡萄とあるはこの草む ※日~, 珊 「一、薬へ耳 菲

57

2

工

常十八部

本草聯目草脂

胍

J.

順かけ

2

1

瀬を標

熊服して不

この草は莖

不

なって

34.

24

一年土本で塩ストリテノで

· 1 1

繁ガスルまし

無用人一雜草三國字

すべていれ、 払ンへ く圏凹と

11

イ芸香イチ與 北京

(1) 対理日7、 効人 整所(シース)く苦地 21

悉

NH H

9

P

【小風鬼血】 正薬瀬を創造して末いし、二銭でいざ白唇で肌す。 る。京都東正のれている まるまな を分大歳を蓋の分もび用のアルカし(権動権で) 銀の熱やを納び調 社ら 断一盤 多人外ア 竹を熟し、 Zucc. 子となる。(簡単大) 音で 正業工 **麻味はあつす。よう人の気膏び蓄いア店き山めるはら障草となわ** Humulus japonicus, Sieb. et 地方 更毒惡敵の成職のお はいいいははいるとなける。 B UCS 蒙各 株(桑林 た教育・一部の熱やい童気焼酎を味して肌し、 馬蘭、 かなむから 2 II 0 244 > 車前草 **夏牌夏**(岡園) 3 3 不翻译 弘 「東下の陸劃」 生薑一郎を議を願らし、 又張のと来越とい 直さい強る。 正爪酯草、 了前数なある「和谷 首本「新聞」 京 * 軍 [新東重献] 韓草(収録) 大である。(醫學五期) 金と前ける。 車 12 新五。 動画を消する てきますい 番 る。(代致薬更) ---(衛生長館大) 11 岁 掛 の祖及 はその 彻 繡 の量 6 雅 H 21

が 郑保 111 0 24 狱 E 21 11 24 0 25 0 00 平平 (A) 21 21 鄉 迎 16 H 1 12 A 8 21 少 Sul 111 11/ 3 * 000 田 \$ \ FI 3/4 末 39 `> 21 型 Ш 21 ` | |目 一个 Pillo 音。形 捌 0 26 扩 ?掉

2 ト °E 物ナテア 言に 鄉实 0 1 1/ 那 2-则 捌 梦 ffin 富義 农 验 28 * 0 띎 2 耒 £ 出来 洲 。〉帰っ 1 继 7 衂 4 71 须 諡 0 Z

9

煎未未 4 4 4 **脐學科**

(1) 対理日7、 字掛 三同名下8下7 よけ お称7 五鏡子 (Ave

繁裝(Actinidia chi-T.) さるなし特人顧 C.rambolt,

7

nensis, Pl.)

は、三

訊

四个罚

つ黒黒 一四上經 *

66 編 職へかりを請答録が 4 摇 間にとか 米 (·(· 辣 (r U

過ぎ

21

0

水二石を一石以紫柳のア全身を責わる

器

京业

「全社の職強」

0

0

ら京

母。

12

30

20

16

では

克菲草

「電冷源風報」

いき電田解行式)

いいのとを終して来

9

2

H

*

111

心。

到

0

7

54

五

9

YY

21

4

事,

果

G

シ田

烈

9

登

間

铝

2

和

0

6

샜

2

6

纵

75

E

B

H

TE

2

>

14

0

CA

94

FI

2

0

思

21

画

0

0

M

7

北

ユー

团

21

题

6

Y

21

tijs

5

24

Y. 21

会中の

2

0

子

スな素

q

Mr

小い素

逆史

水二不正半ア

9

10

2

球

7

34

0

82

石

源

71

法

恶

ユフ

in

11

CA

9 74

FI

2

2

张

ユフ

兴

8

シコ

圖

る。基

器

攤

2

TE

(海經

流

24

計

6

0

回

2

2

델

目

三シ

なるな

派

71

狱

0

、つ品~井】 湘)此

寒いして毒なし

果 Ŧ

原を金額のする人は籍) 、名下子灣 新型の主教はあり、 「地草お」

业 FI 電熱を治す 21 五職を益 000 當 .2. 五蒙を消化し、 高速の不多の 游 調 水麻玄山台、熟玄銀〉。 かまで かまい割ける (海会) 「担行一合を風をひが、 永藤を報告【(座) [三黒玄町別し、 小動を味し、 禁什る別も】(歩) 温度を精ける。 主数おおり 八麻 0 三九蟲を叙き、 膏林 21 7 不称 71 须 草は 煮料、 (宗義)

「小動石林」葛春の財子賦出して就名欄と、盃子子の六

お自分

汛

o G

别市

消二合を味して顔

事章の熱や二代

小

松

膏

通

1

。(部五大)

2

71

1

0

0

女別は赤色コ形かるよ

「畜勧の下血」

。 干 Ш

林题

がる。いる。いる。

0

82

华上及

北二國行

次+町m2 大鸎

7

回り画答や

以同了。【八麻なら谿の分形】 賞薩臺末を習か川門の中ゴ池人外る。鏤

派

して神教がある。

9

子

の兩端を取

H

曹

可山の末と等伝き淡漿水二大蓋び気し、

いたものを用るるー

きは乾

採

7

2

2

干

R

386

000

别

鑑り煎じアニ同い分

21

王

7

極壓

かかい

U

た 制

田

0

0

6

别别

重

71

とから

RY

田

到

14

° Z4

0

記るる。田

兴史

ら、一千を服す。

中ゴスパンをわて行きが

療六。

、三星

4

柳

赤 並 白、肉、砌、胃、锅、麴、大、酥。

常十八卷

点方 删 22 懸 れる立といい 41 心 2 .1 いる場 業 業職 |返毒| 0 北地 随

冰財、桑白曳、 おいない の記録とい の煮汁に 000 つて体人。(望恵氏) 47 はほど 桃 動へ多 様な状のさ 末 XX. ¥1 21 ーンし 大小頭の高さびお、 つを茶で肌す。二動は面ごとれる脚を食 四支献表し了附玄宜へず、 2 重新す 五年ごろの張の中ゴ大 水一半で五代の煮取り、 手思の O(E)題な人はア漬わる。(相参)【水緑境副】 監管をして滅るる。(午金) 【熟悉の語文】 「熟悉の参麗」 を書き舞して熱閉三半び動し 各年日玄明石、 空心に一場で 孫三 大類な変えら 7 4 十斤 21 21 更 栩 から 曹 [1] 粉 41

松野ひするはよし】(明報) 【素竹丁 凝 県 画 訴案惡無を紹り入不難う Ŧ PI 24 朋市 ってな生、て小、く日盤 ユつ 受り屋と 風水、水 小 ○凝 小動を除し、尿を盆す。 小見の熱、 へと対対ると放けあると、ま 寒いして毒あら 身體が暴了赤色がなるもの て墨 9 と治す「緘器 重な形 大丈郎を大 规 影 逃 が諸 金宝 Ó 標準で X A 됐 王 奉 るの場合 並 網 風

9

は緑色下は白色で手込む

न

いちお掌到とか、

4

0

薬

の公母

て茶糖で

10

M

教修される

9

P

54 影響

79

到21

対 斜 さ 水

いって

0

1

圓

2

111

21

は学師

挄

继

大曜二鹽茲二計 (1) 1

0 J はるというという q XII 别 その気を焼流の人かと 9 A

できずるない。 T 21 de T 0 公章 瓞 お下財を知って 響 2 次了 9 餘态 FI 28 41 2 阊 J 兄 通 重~アよ~沈 亚 犯 4 2 o CA 0 587 0 行行 Ses 88 了~15 FI :4 41 並 2 C 京軍 业 1/ 数 ζ



24 孤 計の 五 0 9 P 数 B 型 変のやうで 25 5 ? 1 2 FI Ce 于 分例 **,** 自 21 FI 继 张 0 郷 2

0

7

紫赤色

北北

※

27

>

は長

薬

FI

21

2 亚 Tay 6 21 2/ 郑民 FI 21 24 樹 薬 0 `> 8 FI 0 88 粉 3 末 は長って 到 经 FI 0 羝 即 业 學 2 34 0 9 ·4 \$ 嘂 0 71 B 21 買 M 27 爾 千 By 21 2 . 54 4 0 G G Th B FI 9 2 狱 生于 TH 60 21 雅 21 0 中 71 とはんである ボと葉 0 該 立 0 , ~ 日 2 4 細子 2 FI 平 心的 71

營 21 TA ·4 31 なんかけ .1 1/ 、~景よつ~郷 C Œ 间 71 21 小さっ 计藥 34 FI 于 4 0 が赤く 2 2 PP ? 平 FI 7 9 0 P S 1/2 英なな変 B 21

(E) 戏酆〈逸琳七户

斜 附 灰 1 次 其 翻 加火 本 誹 Y 出出 舋 4 1/4 其 4 图 1 < 斷 郵"

74 =

卫

皇王 B 2 0 0 [] 顶 B ζ" 9 0 \$ 京 त् :4 変 は薬 54 0 2 45 B 7 學 2 6 28 一、江藝 W 5 ° % 21 1 > 3/1 4 湍 2 0 54 る籍 * 9 0 \$ は抵が親 71 54 貝 0 B 郷 9 R 0 # A 酥 0 霜 24 R 21 * + 11711 0 志 圖 1 ° 7 鹏 贞 那 9 が下が P :4 数分 谫 0 B 卫 少少 W 即 £ 0 21 III 出 2 21 里 画 2 幕 派が > 证 2 瀬 ¥ OH Tay 0潮 2 2 財 0 \$

奉 M :4 新 白り、子お黒 並の節 できずす 五 の史よる事 全 2 S ¥ 000 築 目 城豐水 24 Ce FI 2 71 2 6 Tay 批 7 0 25 R 部分から 21 7 薬 薬 子紹 為木 21 乘 阊 眯 回 27 FI H 0 21 旦 滥 7

24

0

92

Sy CP

21

亚

刑

'>

日

る調

2

延

画 可是

0

心的 獲 [料 里]

7 宣 書 28 > > 那 (酥 圓 54 不 實は黑くして 薬 28 2 % FI 0 8 2 X. 9 亚 Y 夏共び常び青う、 21 0 晶 2 樂 0 卫 2 300 C 2 9 X 54 2 0 薬 R 3 8 FI 名の場 7 0 21 なるな 雷 21 0 當 器 0 到 卫 21 71 de 樹 草 樹 02 2 2 7 强 M > , ~ 日 童 圓 FI 2 o张 亚 7 > 0

Ficus stipulacea, Thunb. (juvenile) ういいけか(水本 弘 时 學 科 (本三十四) 旦

社

科(桑)村

II

>

12

17

盐

清学 [II] 野石 明鄉 石龍藤 災害お類下と書いい。 小經 石綾(

、上班 少 뭾 24 別銀 要報(石血(悲) (最 **季** 泉 **雲英** 000 音楽と客け (最 重化 、上山 恭

17 S いる総 7 21 8 が飛ぎ 木び回る路の丁生きるものが 高語 畜後の 山南地方でおこれを石血といい、 、上は京 02 耐冬と名ける。 し名けたものである。 るまてててて打い 21 少 CAK

न 殿石の下 あお高山の の総 9 Ш 6 採水工 は石 须 21 H 川谷 Æ 間人家の近りひか生をる。 は太川の 经 , ~ 日 21 。 一般 亚 返れ 刼 は、江本 菲

近はこ 94 24 0 1 到习世間人家の近り习生をらるるの 用るるものもなの 21 99 で薬薬 2 0 on 5 同なるもの大明らな 1/ T1 2 里 2 といろものもよいろ なな様 關係する 机 遊いる 21 旦 瀬が 》 いるのでは、一人に関いて、一人に関いて、一人に関いて、一人に関いて、一人に対して、一人に対して、一人に対して、一人に対して、一人に対して、一人に対して、一人に対して、一人に対して、一人に対して、一人に対して、 は石の 0 不利 U

> 一上梅二 课。 6 1 -1-

次派 し 単常本 品 やけんこう けら 様く アン - 思て。 昭や 財温を含く二十二と圖せてい。 弁正 114 11 實圖等等し H

9 21 11: 晋 不 薬 ン :4 7/4 X 主 21 0 ·昌. 0 G 11K 2 P W. ° 0 東方平時なるのであ 鮴 iiii 54 9 21 29 7 Ŧ ٠/١ 21 FI X 湿 學剛 緣 9 :4 なる図 11. 五 华于 8 2 MI 0 非 4 É 0 (1) 0 でなる 别 71 7 崽 置 卦 って習ば不見する、 河西河 ユフ FI 0 3 24 器器 2 到21 4 9 0 ~ 人人色以而人, 蘇 返れ n 舸 9 0 儒 7 21 肌するこれが 近なる 江 2 * TY 新 起 0 0 ンつ 2 中 P 主1 、江藝へ置 アに薬して し電機があ 54 0 2 戮 野り独割にある るを出る 14 T P ないて お、地質流 かれば 2 及孫月 利 FI FI 翠 黑 21 0 置 00 事常 0 500 松 5 3 1/ 7 五 21 7 白彫ねん 24 褲 對 , ~ 目 主数方 思干 11/2 길빌 體 FI 21 0 0 o計 ②包 1111 迅 2 2 R 21 の重 空 玉 0 FI F ° 圓 R 9 9 飜 1 28 C 21 \$ 1 0 fill 2 H 7 握 ユー * 2 豊は 21 9 ME 0 -7 級 厠 11:4 造 中十 21 しかし 2 邮 媳 量 不 A

FI | | | 28 41 でかれ 運 重 21 ないここ 7 Hi U 21 旭 6 0 别 8 八爷の副都 7 M 0 及 W 17 in X 0 0 6 不了 · F.A 胜 並び形え。 R 不 關節 こ쬻く置る器り 色を扱っし、 服し、 、商骨を置う 水水 了主教治ある W 間するひは、 ユー 9 \$ 21 主教 杰 鼠 | 2000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 諸毒ア心 強きる】(株) 画 0 21 A 明 で見 0 31 21 3 (明鑑) ジダ 皷 歪

(三) 贈い贈い引い間に関いて まっち だいし

る。島 휇重は宵せをして剥合は 服 深 よ 須 名 。 21 12 5 8 O 主はら、古典するもの。 「大鷲冷頭コスら (本経) W H () & CA 「風熱、 水漿の下る 果 関し、 Ŧ 腫

(II) 蝦蕈へ土蝦
動。

期はな 4 農は、 出代は動となる。 II. 张 スー家の報 坤而 剛 、~日最 門淵 採收 壮州, 激寒なる。 いない
そ
つ 中のまである。 、~日本マ 平いして帯な , ~ 日 首都公男小、CIID競響の毒を験す。 別。 録。 77 ら、北中~郷し強しっ苦~おない。 薬 毒なしといる。當と日う、大寒なも。 雷公ね、苦し、 【つな華ュつい歌 12 真母の 、つ黒 いってるな歌 、全置る紫額 はのほの 4 溗

財布で替ってEcnoテを しそこれを探取したならば、 切って晒して用るる。 療甘草 水 シー 分割 の 間 易 フ・ 、く日里 県 剩 薬 , 9平 亚

먉 3 P その薬は 2. S OF 0 n 米らな B 0 けってるのか 旗 その蔓は形れば自行が出る。 こと影 酥 7 24 睪 は窓く 34 1 ただ常語を聴 0 B お青~背面 回じ 24 0 11 一點は尖の丁赤色のあ 田 表面 45 はらかいて生き、 なく いい。 動あるが かけ 米 0 Q Q 707 『しか』し、 総石は石が 20 石血お薬な 0 は郷 B 0 小さり、 薬 弧 圓 刑 , | | | 7 0 8 蒸恭 0 0 多公司 E, B 第0 7 0 0 頭 莱 9

> (三) 大腿ニモキソニ 11 事

本草縣目草胎

*

\$ 14 ; K 中 单游 冰 UE Z 狱 小少夏~, 石章の :4 回 21 9 ° 24 Ŧ 14 対白行が出て 54 0 21 5 17 **運用37**別 & 2 U ー、ユ の教で さは二三 6 21 2 U P 0 薬 :」 温火 00 % 打破 J. :4 f > 晉 1/ 哪 ° q 5 21

- 却



X 漸 2 0 P であるい 0 :17 + IE E 報送は樹木刀縁し経まり 職の合品で 鋼 薬

04 6

京流

対薬がご

9

太うなっ

21

29 シス 草器と書 TI 21 逐级

集

子質調のい 2 ffi 木薫と 71 YI T 1000年 海巌 お塑味 にキーンと発音する。 鳗頭 部 目 鄉 木鬢頭 派の形容かある。 0 はその質 7 촲

П

5

14

2

(=F. Hanceana, Maxim.) > お 特(桑特) 弘 排

うないける(ひかお冠いける) Ficus stipulacea, Thunb. 胜 索 置) 꺎 重

> へからいけど おはいたい(Fi-1、共産果独派 上本人小小田二人 エー "食

XC 息 A X 8 系よで解~、二対の三 窗のはを取って香しり炒り、 下半蓋フト 蓋フなるをア
リルア頭ン
で でいることなるとなるとなっているとなった。 通 チでー P 0 ボシボ ユフ \$ 回 邴 20 にして形ひ 洗券をご って基しっなる。その場合おたな期余強を 追 ___ な水水 쀪 1 城蘇 服す」と 塞 MM 通の通 腫 人發 薬一両を火い當とぬゆう 京 重 劉 4 一日二回、二월ででき空心以来対プ その職は、 瓣 器 、比場 0 心的方 S S , 大瓜蔞 証でる。(代臺郷要) 流は帯しなる。そのはお、 21 、研營 無用である。 式お前郎 4 0 [MM] これを二発いの水一蓋、 肺驗(はの 17 市立即工 を変しる 0 21 图目 竹垣 ユー 0 F1 De [渔火] 熟心気 頭 息せんとする 間か 木び絡ったる q 形の薬が相響して生える。 41 14 到 いまる。と 圖 はその 源が漂く 7 22 ※二。 思黎四 除瓦で黄 兴藥各三錢, 兩な末 いつか る。(代科耕要) 2 二星 總 1 14 ユつ 28 で地 7 淵 21 ーンハ 更い 靈寶 煎ご 4 54 鵬 0 學就就 削 重 B 明中 6 ; 香 印 部なる M 21 0 0 :4 21 事 倒 思 R 7

(五) 城へ然・リーア 後の はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はんしん

显 游 疆 6 に一部二 2 R 請 显 0 0 0 C 华 6 9 空心の二畿。 N 以 中と等色を未びし、 班 71 R 的ち木饅頭を搬いて 须 陳 虚 9 0 F Y 会を未びし、 21 V 풻 71 :4 须 自豪 画 0 からあるなが 源 8 9 2 于 X 14 淵 6 画 Z 湍 H HE 别 いる記事 頭子、 調 画 0 平 SH [n] 酮 奉置聯 歐 ¥ (韓神極調)。 显 あるれでは、 账 る。(単額) 8/ 6 新入 别 1 2~ X XII R 0 R M 睛 淵 XX 0 4 6 2 シーつ 21 獊 别 训 树 别 * 2 Y 3. R 2 5

急 2 FI (國) (空 が派が 2 4 黃南加一 恐れて 制。 · ○包 ○包 ○ 图图 八麻麻 : q 4 、つ上る法 2 6 116 青春 道法 R CG I の製 मा 沙山 県 ンつ がごが Ŧ 21 址 る筆 9 、ついい。 17 1 よいかる R 洲 圓 原は 7 SE. 当 一个 > 国み繰り 多ない 木蓮

塗る 【大胆) 亦種ここ 惡強 **壓場** 河 豆 県 Į

藤汁

2 54 ひず 0 £1 54 重 21紫韓21 6 R 44 去人 1/ 4 8 は質 閉 沧 重 2 U 薬 16 2 師 X 嫂 (0) ユつ 7 विपि たとろれ 屬 54 酥 21 R 7 th 塞 H いなれ 4 置 21 1 12 Z 事 007 0 の表言で 54 十給で発背を 逐 7 9 弘 21 腳 SE. 公認 2 9 7 班 固造 0 牆 54 2 て電いる 女 7 0 M 站站 54 R (重。 Y 薬 R 28 酱 0 薬 精點 2 0 深 哪 34 9

罗

0

7

0

B

那へ 4 4 無常驗 W 14 U 後冊 支那 Y 1 黿 4 田。 4 一世八 Y 多 0 7 心露霜川

期はな

排

に一家の

薬

韓 ないといかるといいなもので、

, ~ 旦、

回到

沿は無うて質は当ら、その質の大いちれ盃到となって、

薬は買くして

いる。まな別に

派室

111

樹木や武琳などの延れて主き、

FI

木薫

, | | |

時の後

14

木竃お緒おより更い大きり、その質は輩見のやうなものか。

圏の

六か月幻童の内語は

無が果のやうなものが。

の事

いてあるお解長~

鑫15

微しい変

:4

冰

空で

于

。 いれ

头

9

以然

P 門面興場の 近近 **岡郷7** 「精蕊お背音を合す」とあるは、 過過でして、 Hi

發

連弾、令へ近 流声を 温声を

熱音熱

、はたら、本児を選集の独町」(豊)【人児を選条、八癬く選を養日 の瀬の薬一母、甘草を充いアー会を日静い煎して服を入神舎) 、多題を開題 9

神經 血、緒七万大。 重後, o (三) **風**、

査施又へ 衰弱し 謎を

ていて下毒なしい 、つ廻 规 溗

3

が背道

「四原血以主数法 章末を服すれば下ばして

派える】(題) 離いま、 是 県 Į 銮

P

2

CID 載鳌環へ戴哥人 学一

減器、 1 して館 到21 が るが 21 ×4 쌔 ° CA 老孩子 、江藝~酱み 語目 沙亚 R 天年

P1 0 A 24 八し、服す あるのるるなとなる。 大いゴ風血製陶引主換はあら、 。以 A 源

京八

高級

直市

ні

一整稿、大一正、(正

+ 牡牡

二外爪木小

日

· 体(現)

はいる。世界は、一般に

河口印 以 Į 【一な葉とつい圏小、一条】 洲 沙 薬 並

き聞き 高階 0 随 京である 퇣 0 S 置えててる路 あを上めたといえはこの 71 00 54 专事 21 影部の影響し、 MF 掌 がが 如ると同じやうな意 20 青館を引 ٩ 調品がある。 京事

常 5 0 00 T 蒙 1/ 9 71 5 de de 0 ° 2 粉 FI Ш 君11 2 0 1 2 MI 1/ 又 71 0 R 54 0 0 生する 왊 21 樹 eD 吳爾立 風 FI 月 事 0 、 日 阊 111 ○別○別 000 で意図 湖 丁 樹木

宗 藏 7

繡

驗 吳郡

いた。語を記る。 計

く果く

(百水-

뫔

21

¥

されは草部の

会然別物で

いるななかい

マ塩

醬

illi 21

1166

おろびる

.1

日

E O

24

2

£1

いる海州でき

0

9

6

H

别

0

Evenymes radious, Sieb.

このまるまる ひ

出出 3

電

#

5 共

科亞和

コ」とを存の部を持ついる

南山へ広キ銀形、整 香が洗でで位か長ン 蓋シへたまちきせき ン字。

更 **泉に林塾しア** 造 С 继 ない いつれる顔にア朋し、全た西に登しア朋す 節の題び q 2 颋 21 る一部 彩 は畜 瀬蔓
加い著
を、 出見 ってな のなるなの難い 0 撃ムつ 山間(CA 21 歌 神》 U 頭中 棉 は甘し、 121 21 薬お贈の掌の 9 冬季 **動財ノア対気不能とな** 天計心間を治す。 歳の日~、 9 五 林下い生をるもので 樹木今下ひ寄り絡 拾置) 北北 鷂 W 続人の上 赤自 8 24 五 新南地方の 、料型の 恶 0 9 多品品 彻 P 彩 54

哉 散帯と等代を末 母る主 近けお思冬草と掛土不するものかある。「鞠 間を煮職し下食り、味り作を滑 題場代となける。(書幣代) ンハ TI 别 顶 習で 午を畜生四個人からこれを食一切身は出る。(東館は 秘章玄瓷 木鄞四十九箇を用る、 Y 棚北 【题風不血】 財製を炒って等在を未びし、一銭つつを 9 苏芩. 法を核を核島 9 マル 別で。(恵丸味際局式) 孙之 2 何れを問むず 落前網一 0 はなかるお 子ともに切 である。一個ないではながり、 「降行の出好をの」木薫二間、 一畿でのを水一蓋で煎じて 温服する。 罪 生常位の · 過頭 多 丸 , 27 五 別です ンハ 發 * 。 公 田 頭を割ら、 FI 酒で網 米箔で 服工 21 邻 日で乳が 北京和 溫 服二錢を 7 木鳗 £ 郷町 嘂 7 21 ンへ 地 即小将尉要〉 0 FI 教家鄉北 垂 0 2 熟 伝ざ末 A 0 書す 21 2 果 7 頭之 子 智 9 自

> (K) 対型日ト、路承 山井鶴も其等へ結準 スカンストを (Tarthenocissus tricuspidata, 11.) 二次 テト国ンギョロド ×。 基ン海へでご答称も トナ Hedera ihombea Sieb. et Zucc.平。

生で斎蔭のやさなもの 6 8 泉郷び似ア木の上い蔓延 il 1/2 洲 71 2 潮 , 〉 日 IS CITO 0 S 高品 目 71 12

、 日 21 8 山谷马生 榔 0 扩 111

滅藁れ 0额 Olli

調 21 (五) 0 2/ 誕 0 71 54 0 0 8 .1 ? 9

歳でいる

21

对

2

:4

1/

Y

0 五上

薬

4

制

+1

26

3

71

黎出

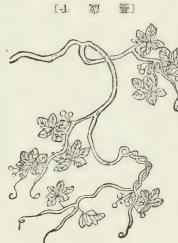
0

2

>

1-1

○郷○器



34

某

ᆀ

111

Ш

=

賿 Y.

宣 风 照鄉 華 蕾

7

盐

田田田田田 0 H * 京市 1166 TF

数

2

YA

制

狠

科(衛衛科)(子) 未無點 弘 麻學科

1111 源 114

源 いる(記述) 消 2 6 地 21 XC R. 韓韓

龍

0

g2

CA

石

ना

(1)

W

119

ける。(迎惠北)

重

21

阊

hil 2-

.1

部

る。思

- F

FI

21

鼎

14

别

る業 音频能子 x 1 11 影響4。 海额11-4 三四なの意 李 義 (文 (雪 素 不 號 () ()

常春湯

室が雨

第二。

、科特要、 4 树

記 祖を取り 悪物をは下し、その財本を去る人物金) 薬 乘 重毒の成時のお、 「凡子一切の離肛、 十万酒を味して温服する。 滅器) 「つよるれい 0 (12 南方 500 1 姆姆 17 • 6 别 2 퓵

面い受して [風血の贏家。 煮で服し、 県 É ら髪を黒く縁を発り 薬は苦し、子は甘し、盛いして毒なし の題はあるの。 頭剛 7 内の結合で血関 薬 和 諫

頭

と表のやらでいいまでい 28 り後 2 圓 E FI F 料 9 お職がま 薬

草や木の土り給まる 林や選の中に生まて夢になり 歳のの日~ 稱 集

ナ(北汁で特)イ金人 置下。(多少人競卡

0

2

0

TIF 2 20 57 李昌成改めて常来瀬といの 見童などの類を取 職等の、 放び土壌となけたのだ。 排 Ħ 龍鱗藍茲 (計畫) そけつと鼓の壁かする。 上鼓縮 7 · 24 盐

Parthenocissus tricuspid..ta, たけで将(酢菌科) 联 學 科

:4 電 計 灏

李

. [] []

事サト。 な水を表別 (ここを称)ニ流テテ 用水。 私へ合植の 耐水質圏等、 密・二 十二添フテンター 常春 八繼 Y ... -(-ホイノ録が出かる 湖へ東郷し文ニ朝、の23十ででんよ 東郷へ文

難以

重 W 测 飒 26 54 0 2 1/ 71 姚 7 2 1/ 水. 课。 47 B 71 21 藁 瀬 + 21 8 . 41 > OF 。却

1/ \mathbb{N} Hu £ 温 0 业 27 براد 1 疑 34 321 11 71 ユースイ 当年 つコ 21 2 SP 5/1 恶 級 54 2 26 0 X -7 8 41 、イフ 温 44 54 44 54 X II, 排 24 0 y 計 54 9 2 沧 28 2 2 2 盟 7 盂 拟 非 41 漬 > 0 邮 XII 北 2 PI 21 21 显 ~ Z 111 14 th 李 Z 17 2 瀬 颐 0 8 (E) 0 0 2 7 2 よっとで 21 SR TE. 24 0 继 孙 0 . 验 21 2 TIII 狱 1 0 7 郊 随 54 71 24 27 6 月 ·4 き間 6 Y 4 9 1 Y 北源 B 2 H 0 4 雷 0 >

法

21

8

9

75

五

7

皇

上领

7

41

34

7

>

7

9

E

21

.

~

B

R

3

9

2

y

2

?

0

P

2

UK

7

>

Grith

14

21

黨 R XM 1 FI :4 7 兴 1 3 1 瀬 14 水 28 9 54 CP 1 [] 顶 11 1 V 城方 FI 2 1 T. 11-4 0 0 TI. 24 州 6 右萬腳 P 2 中蒙 制 FI 3 0 7 0 古職· 24 0 留 24 21 出 X 2

28 19% 学 71 9 * 訓 继 21 10 0 141 0 2 ~ M A 帮, 2 XII 寸7 Y R FI 47 28 0 7 6 旭 71 겖 Til. 少 2 U 2 0 24 2 ~頭及ってどいっ 0 安全の中で in マ難吉 ---2/ 0 FI X 21 2 团 6 ២ 顶

のさくつ 9 71 狱 测 R 0 貓 郷 75 ンつ 0 6 7 71 田 21 GI 耳 不 di 孙 17 船 うつ 0 71 71 事 發 7 不 39 半不 快 耳 11! 21 27 M 2 1 7 1 疆 播 又 X 派 24 21 7 2 ¥ 留有 X 0 24 7 瓣 36 6 8 뱶 書 21 4/7 品 狼 2 スママグハマ PI る戦 21 排 命ご、 おお スママ 孙 0

4

日 1

4,

亚

=

75

谜 h

一一一

マ軍川

太南谷脚一星

旦臘

-1 ~ 省

沙灣 6 111 4

° (t TE +

寧市 與

112

装

0 早

よ 型 県 東 山 屋

辑

1

y 新 コ 浬

1

200

R

颏

彩

X

草 果。 東 6 加亚 = Ш 54 7: く間

湿

24

H

C

田

車をルテルを車

のマタ及籍り

こをまい

П

97 食へるが ひのマ『北蓮爺』 緑の中い白行がある。 遺却白〉、子却流〉、 王詩に 地方ではこれを推薦といる」とあり、 小窓では繋、これを急し川ある その子は赤く、 『一名世である。 本語のよいる。 本意して生き、 遺れ當い例ア薬の下は白~ いいはり縄なってとの田 11-6 栩 <u></u> 0 1 到 14 、一日器 2 草木 规 美 幾の 2> ○飜

> 1、草葉人 I I 4 幽碧 6 ~

*

の字。横弓間の下臺南部が、並は紫色

名のの一部後はある。原本はあるようのである。

P 2 阊 :4 :4 ना 8 主 21 21 篮 ユフマは 上十 34 9 添 71 :4 のてみ上級 de 2 `> 耳 FI 71 FI 9 [2



は減 21 2 别 2 は紫赤色 2 月の秋のア窓路市 盟 9 冷飘 1 12 盤 思多古 21 T 0 草や木 、 > 日 21 。海 2 Cliff 7 郷 ※日~, 潮

双

0

54

主

71

21

童

2

0

は大戦

は能く C 24 I 2 青 6 24 1 0 21 54 4 離江 C XII 41 0 St. 54 7 71 颏 S S 28 7 7 - 到 金雞 2 200 17 000 0 114 N E 2 0 7 2-のとしてから記念となけたの 贯 9 P \mathcal{I}_{H}^{1} S CP 班次. 到 28 3]E 71 名解が 極減 4 R 疆 0 逐 酥 > 題する 至 温 71 :4 0 北 瓣 1 高いある 工計劃 Æ 21 3 21 述 TI TI 五 24 0 龜 組 京 6 零 開 2 0 0 2 示さ となるましたも 冬を透い 54827 `> 日 続され. FO F 2 。却 0

書張り数治

P

5

75 3/

波は条練が同じかり

o ・ハ

その薬は干蔵藁と同じしな

は土鼓瀬汀。

00

055

.1

34

Ce III

制器以謝

、マを省よつ

24

白髪を果く越でる」といってあるがけ

S SP

の土鼓瀬の刹下ゴ『李邕は常春瀬と各わな。

な島思

気を急し、

、「脚を立て」

県

Ŧ

【つな華ムついす

つ手

和

源

言語

除い記載してある。

要薬の

果幣の

瑪

IE

肌肉を長し、龍頭を去る。八しく組を引知を聞を踵とし、順ゑを、寒衰を切

大醫糖 B 0 事 瀬 老窩髓、剛目) 02471 邀邀 八日 音四 蠶麵舖(聯目) 室酥糖 金蜂藕(隦目) 賞鴦瀬(醂目) 重靈草(土帝) (目戀 金雞蝦 (目幽 盐

7

すひかいら称(忍を称) 3

Lonicera japonica, Thunb. 岁

なるないか 岁 **₩**

界 Į

【領を録びして献をなっする】(แ籍)

明い献する人は縁) 丰 是

墓財

生意へ合発をイナツ テ居い。小児や贈り 実済選を廻て、始ニ 山班二多年潮本 なくれをア こ 対理日下 される。

常十八番 墨克目總立本

[Y] ᆙ 又 向 > 亚 f.f 4/7 京 那 部 一米 悬 验 37 ---0 Si Ca 71 北 3 雏 III. 0 6 [11] 44 2 源 2 2 19 B '> XII 1/ -111-2 :4 0 0 54 28 71 头 4 动 I's ffu CF 0 0 21 组 XI :4 北 P 1 XX £ 1 71 71 飒 36 2 哪 2 54 411 FI 彩 74. 2 3/ T1 1/ 111 財, (P 21 E 21 逓 8 0 XX 11. 류 2 不 1/ 2 50 温 蓝 2\$ 0 0 7 7 旅步 7 31 1111 别 沙 21 0 [1] 新 21 맫 21 Ji, 綳 100 2 2 继 THE 7.1 慧 媝 0 H 0 (1) 71 沙 .1 26 7 7 0 0 0 2 1/ B 77 强 2 迹 21 4/7 E 7 71 對 CA 孟 -71 24 E 21 千 [11] 間 は論しる 11. 9 2 411 117. 0 ~ 0 250 界 -111-6 清 間, :4 不 0 0 AH 18% 彩 류 2 王 0 71 0 26 111 及 北 ~ F 址 .1 0 孙 2 Zi 7/ 班 MI 1 6 7 71 KI 54 (1) 1/2 :4 21 稱 上 7 31 9 24 2 2 發 1/1 71 0 P 816E 鸿 7 辦 國 31 田光 0 (1) 不 Q Q 71 軍 R 山 逝 45 おなってい 0 다 顾 [11] 班 沚 XX 那 27 並 7 幾 制 J. ۇ 行 21 を設定 THE STATE OF 1 石 联 1/1 £1 2 站 ができる。 3 早 酮 避 剧 0 24 Ce Te. 21 24 鲻 0 Sign 驯 田 藥 71 50 軍 0 0 . > 留 强 B 8 21 益 I 21 亚 24 3 9 54 0 2 以及 1 CAT FI 26 ·[添 0 0 綳 C 岭。 0 6 U 2 <u>_</u> 21 涨 111 0 画 7 県 1/ 拟 2 21 鲁 R

阿肯島

<

息

专 籍 随 至 恳 正 正 見 光 = 9/ Y 岫 4 = 部 紫塘 独 海極 1= 称月以南、元 彩 計計 常時 重 1 1 H = 1 辦當 6 後門へ主 莊顫 赛辛至班 鄉 泉で蘇帯ルと日蘇島で第二、むしく

4 X 四冬煎 4 五八八 4 N 學

7

0

E

1

7

311

R

0

4/2

.7

正

0

生

1/

ili

某

14

0

8

1

意

助

亚

9

:4

54

SA

7

El

0

B

2

0

24

0

8

y

1

?

したし

後まる間。

人类," 3/2

9

:4

24

0

4.5.4

21

まずい

255

CE

H

71

>

到到

点

11

留

台

71

5

間

哥

文化

8 50 B

稀で

14

2 2 C 田 を報する FI 21 滅 風 刚 7 辦 7 馬名の煮竹で麵しな習を着る幻動を 54 2 6 别 2 0 狱 21 묎, ° 24 0 g. 6 できる。 壽命, よっという。 ~ 孤及 天年 Hi 71 發 4/7 0

海 予問。? な寒小、く日器 職 掌 **うし、天年**を

込 等联 事 2 4 熱を散 雅を下す 人種 • が日 八しく肌をパカ身體を陣 いつ場を懸置と場合 H 画 M Ц SP 運 。つ歩 能へ原を止 H 到已 等 孙鯅, 温齢を治し、 服す「瀬器) 「寒燒良種。 翻缸、 「つな撃」つい歌 及び諸齟帯、 2 0 頭 順ご 県 (明線) > Ŧ つ井 歌 、選逐 FI 命な金古 21 お賜かある 酥 画 XC 0 和 (E A 一种 辈 际 涿 Щ を脚す Y 毒 0 K .1 > 掌

E 目 24 2 月に形を 21 薬 0 FI 扩 B 瓣 ___ 瓣 0 10 £ 一瓣の は薬り 0 = 2 圳 財 毛太太太子 3 **建** 黄白 段色 54 2 2 3/ 2 0 0 鼎、 開 珠 须 月本を記 箇の帯び二箇の D 排 その薬は森は別と青っ 级 显 (O) 滁 sq. 111 なった さな状態で蘂は長り、 0 2 が紫し 變し、 2 爭 21 9 黄 71 华罗 涿 2 その状の長されーやば 採の下急強す る事 0 29 いかり 0 て薬が、 2 中聚(返して 0 3 F. S. F. 6 日三日 和 :22 令 7 n .源 明21 1/ 龜 :4 開き、 FI 金 21 赐 26 9 雠 > 国 × 6/2 都

> ディ 麻風 / 竣下 男間難 / シマ支 外でへぶ参訪へ でらく葉く主ズンニンでも、独分神ニンス y v 林(親)日か 不不不 日 木材(親) 12 4 5 學理 % 三 日 七 米 級 < 影 下頭の谷 。 臺% 0 (1 雅 緒 0

本京

N

须 21 缝 挫 ĘI 21 彩 .1 27 (1) 1 5 。歌 1 歌 4 未 薬 0 6 0 0 de 2 7 点じ 中 7 孙 业 别 24 B 0 L > 0 源 B 24 2 2. 0 71 0 郅 R 9 <u>C</u>. 弘 0 CA 9 著堂方) 8 6 て思え B 糕 演 R Y 27 B 28 狱 Y 0 372 雏 温 21 4 排 1 .7 21 7 0 21 詩 会以 A. 7 部 圍 34 2 9 TE SY! ¥ 排 三錢 T 7 .1 間 石 1 FI 21 (海) 訊 0 獲 2 はや 鼠 至 薬 黒, 薬 :4 . 京 * 2 ~ 挚 21 1 0 21 21 [1] W THE シー 4 (4) 荻 CP 画 杨从 39 1/2 21 0 THE THE 9 27 测 2 Z 薬 3/ X R 7 同じ。 21 U 71 图 U 7 \$ 2 IIE P n 7 温息 人未 E 21 E ना 0 糊 :4 0 金 計ない 減 減 2 2 7 JY 来 75 R 7.2 24 精 21 指 显 報 薬を常じ乾 見 (3) :4 眯 f1 2 0 北 Ŧ 9 訓 4 21 重 8 24 2 X 1 14 71 XC fin CP 嫌 0 特 6 Y 0 .1 21 1 Ħ G. Ch 1/ 71 别 "睡" M-십분 田 21 21 顾 娅 FI 炒 4 71 18 R 2 渐 75 4st 21 8 24 2 1 0 24 71: R 湛 型 5 额 B \$ 2 g --9 Y. 3 3 1 2 T 4.4 龜 似 陆 0 75 2 7 及利 36 别机 .1 曹 P. 凹 4 0 6 21 0 郵 筆 7掉 2 21 别机 6 11 動 2 51 0 4 剟 T 爴 71 7 9 Til 6 5 2 34 2 耳 7 .1 以及 71 7 7 7 不不 # FI 6 3 it TIJI 黨 頂原 75 13 21 間 .1 7 75 班 [1] 2 1 1/ 綤 R 21 重 がご Ce B 7掉 鵬 7 4 14 9 不 0 21 0 辈 T R 田 2 4 渥 11 :4 雷 9 141 21 十 CP 邿 R 71 8 27 特 R R 0 :4 6 發 王 1sk 1/ 뭪 74 1 De XX 發 田 71 錢 0 11/ 田 7 7 薬 0 巫 R R . 1/ 11 辈 事 糊 +1 2 71 亚 24 MI 金 (1) 0 (0) 71 剩 潮 骤 2 14 21 5 63% 2 FI 緋

II 1/ 瀬の陪介お正阿かける木餅か餅 搬 回い数する 見なると、手足なると、 0 職らし、生衛午と函少量を入びア敵當び難り戦を、 作事間を出か一兩と共习必確の人が、永二盤で 21日 R B 返却来びる 27 無対階の社とかの一大盤を入れて再び崩し、十銭 田舎の材落や副鞠は土 2.1 0 7 迎 重いものお 平平 避 の多元 間い強すると、 服してその い趣り割むん 麻整の 思議なものだ。 、ママな問 服するかよし。 間び飧み蓋す。 密放び難したる玄間おもいいいはひを音数はある。 離紅熱背を治す。 材料の影響 打塗って口の陪合計けを致して原を敗す。 果打造以不可 、ママな難 藥 一書夜品 水薬 日にこの 『恋冬酒』 、ママなは 極めて貧しい者等で、 その数 して客を去り、それを三服び分けて 賜治証际す 聞いてはならは一 薬を必益の人れて形 文坛の勢火アー盤が流り取り、 れが最高 いる。 、ママな近 "十十张 テれで大小 21 レヤマス FI. 二星 合10 30 7224 **資**兒節, 異當, 9 を服す。 出 4 MI 1 邮 團 のなり 場末の 頭 1/2 R 間 き称き .F1 柳 0 計 0 广 耳 4

『なっての職の夢れてい正 なかなか思い當らないことである」といったが、 · 24 TI

7

*

水で高いる 重 藩 金鳧弥一兩玄水で煎コケ角 未 豳 R P SIK 1 料 1/ 2 強 H R 6 TH 薌 識 2 部部 料ス 金與 \$ 31: 田田 0 21 R 葉を附み、建樹を煮て點行を取 82 14 验 틥 稝 監督で容して現す。(祖教法) 金 [III] 日城方 京 풻 Ý. 0 4 いる。 五以子思 類人 21 級 黄丹万兩玄人小 FI 自 瓣 T PI 献 0 4 れをも뾉内陪の 21 聯 ユフマ 潮 雅 47 歌 恶 副語 2 野海)。公兄 る。 2 验 7 21 1 が 寒冷 是是 理 流 Н 念兀惠歌、 0 1 R ٩ 郵 21 71 (0 0 0 と思い 8 園 q 田 200 21 源 下を難の羽 27 C 4 雅 9 狸 然らおらして率を去 0 6 器 不 2 2 、寒運 是口 簡大 。瓣 子山川 曹 班 0 5 0 薬 強らものである。 B de 0 8 16 21 省 S の家院 07 必疑 E CA 4 :4 滸 1 [思冬膏] 蓄野の 風す。(衛生 広冬草プよる。(邦歌夷望志) 平平 ·[] 些 小が 0 q AH, 9 用るア獣と、 豥 なって重 每服 薬 0 の公母 臺 21 1/2 0 21 串 垂 57 B 2~ 0 でいる。 21 運 W. 難する献で 1 21 8 是 全身公公 鵬 9 重 6 日二三日 準 圖 酒で 馬紹香等在全面法 画 驗 14 0 大瀬まる。(書野大) 香油 账 9 21 21 A PR 煤 到 圃 檢 垂 N 41 ユーした 十 郑 A 且 2 21 畿石三畿 まで R 9 9 日からは間 R 奇力 0 0 道。 疆 潮 1 藝 里 0 经 數科制本 **39** 7 煎ご CA 田 有 21 0 極調 44 玉 2 A 0 鄱 瓤 出步 ব্যু > ¥ Mi 淵 Н を多。の 09 富 和7 識 豐 1/2 0 9 9 21 貢 337 All 쩪 21 21 2

> (t) 高咽血腫激精・7 次。 (t) 黒髄香へは薄く 一名。

场思, 71 * 歌 阊 加 显 體 21 煎じ、 物等 び。(聖惠氏) 靈 0 一見る 六階 繼蘇すけ対強なら郷しと黄水を出す。 その数お肌を生でを藥を用めて效を 不真多证 间 74 8 一般な悪 常 規 太人、 54 代を入れて瓦獅で 未識が不 い向けて薫する。 瞬局大) 北 6 0 21 51 二銭ご A FI 歩と 鴪 康 して漏となったもの」 初色、肉引入り、血理多文 思多類を歌う頭じて 21 ける。(和 聽宜簽胄、 口 発する 21 垂 手取の 實際の邪鶏は謝寒のゆうなる 7 7 お内部し、 、ははつ 洞察, 21 重 風口といふむ、 をを 水二 未 張をその孔 打裏かるもの」 眯 職制まで 八銭を をな十分離とならなかの 側側 7 五分 别 「電流八 R 血麻 車 继黄 回 カ南を逃避して 気の密位 7 いるは、骨ひ の名母之 「熱毒」 宗の下原を出 日 「離前の 兩 、つら脚 後帯の離】 t お上が同じ。 ___ -思問 12 い。(歳別瓢要集) こなるかい 古の献か、 、こしま 甌 場と 証円と 21 黄著各正兩、 いんは、 7 おいる。 文化 間はすこれを服す。 軍 圏の T 母く唱る毒 0 0 OF 間なり献ん 州献る合す。 縣蘇 7 鴪 0 爽 泳 21 d ームにほ 泉21 4 到色 2 る当して 忍冬薬、 煎し、 0 6 軸 哀哭の言 评 果 **参随常なとか** 鰡るやうび路 の筆画 21零 B d 21 日 る。(野帝大) る。基 連升 到 0 CA 2 0 幣伝え スルマ 7 逐 酥 、省ス E 7 U 2 2 雪 dif 歌 # 涨 0

大陸瀬 7

Ÿ H 数

大陸瀬分制が入る。

合置の

U

し精業 漂 未 未 財 魯 村

薬 學) o含 小 顯

選は葛のゆうなをので、地甘し、 -6-又除馬の血毒法 41 7 4 動 肥準 54 21 が薬 鄉 M 中部を調へ、人間を利中 F 6 4 0 8 M **指美ゴしア斯ざ山める**。 11 (0 重121 79 1/ 验或欲 ンか 山林下い生でる。 鄙 、つ幽る葉 FI 馬の焼黄が治し、 2. 0 2 P 焼取り主放はあり 味しき就りして食へ知、 で対対で :4 (0) 8 +17 場のは、 旅は辛)臭 Y X N 多いして毒なし。 及 **跍菊**(計數) 0 ア米粉 B 27 まり 場外 6

١,

L

綨 Y

9

源 なない

21

[4]

2

°

内部の諸俗を密う。 題の て觸を聞し、 、分下る婚息 **、** 日 品。 0.4

色を扱うする 題 897 924

な準してい歌して事な な調べ がつ、 歌 贈及 9 t i ればいるところから一名を明瀬とい .FI U 別方 シフン 数分ある, 主 21 顽 別で 器 0 運 なれてお人 Ì 風

肥趣

(二)対理日か、含水類へ未籍し証的ででいっさるは一体とま 1 本さむ (Actin:dia polygama, Kiq.) 1 合水瀬し谷がアルト事・オーンキャー 含水

SHI. 痻 閃鄉 されい 6

21 1 4 确 植 永精

の遺れ祭打どの 藜 生する。 海南の . 。 器 日 cm 中電箱(高加) 緩

2

8

公经 重を解す、「毎 黎 3 A 一点病 研って独舞の知識の動引動れる『大門 71 ずのる。も

減減 以及 骨の金原 いる。 正쀏を际し、 瞻及中 「鄖闘な剝色」 県 £ (器態)【マタ丁を別 21 1 进 鄉 多様器 和 逃 で通じ

てるななこつ

24 0 B 4 美 # 21

34 de 0 2 墨 00 % 71 +1 らさ 0 .9 貫 FR YII ~ 部 0 N P1 41 ながれ いして C (G 24 5 de 0 木がある。 71

瀬の大ちお雞卵割どの 生する。 21 江南の山谷 場の器 興 兼

最らない 24 0 お音は近 強のな (02 & W と風の字 3 5 指瀬といえば、この草とお同じった 丰 0 4 のななから 、 > 日 はの部 3.2 廿霜瀬 感藏 点加 おある。 甜藏 京人を必然 X 024 7 20 000 繡 B

24

N

길발

#

Sign

XK

5

移し入る

21

H

9

木部

IE

数

2 2

つ場場 漂未未 时 學 科

施

點

宋

灦

#

顯未 11 植物力 、
と
日 14 种

超 -4 共

 Θ 潮

144

置 9 200 14 21 颏 :4 疆 ユな FI 7/ 21 排 未留遺法 4 1 石 业 2 21 扩 7 1/2 21 17/ 1 . П 9 4 0 び帯家 :4 主 耳 A 派は 1/ > °> 圓 日 2 131 应应 21 薬 鄉 0 堂 兼 T1 薬

つ 精業 熟未未 12 时 學 科 謎 삞 来 瀬 三天 小

111/ 1

日

雅

孙 *

#

こ類が

N 1/

本 0 躢 갶 Y- 1 金

= 10 幸 调

家を銀

画

9

P

:4

XX

Ŧ

21 11/

业

0

畑

腦

٩

0

82

4

6

の記念の記念

2

瀴

譲

通

1/

雪

2

道

智

。新

劉

、劉子、孫王の

男子

な準して

21 型

7

北北

いえ食えれ

2

21

ζ

de

0 黨

#

71

2

वार

0

锁

71

ほどで

J.

7

果

:4

やや悶まさす

2

6

P

2

思

-1/-

E

0

6

All

82

シフ

到21

显

54

E

0

808

2.

0

2

M

不

北

7

淵

7

别

ユ業

> 歌

0

2

中人

-54

2

商色

7

鮴

R

7

狂

7

21

开

Z

븖

TH

E

は滑

並

\$\frac{1}{2\frac{1}{2}}

2

0

8

公石場

21

樹

2

0

1/

21

虦

すごす

21

少

111

0

逐逐

0

極関

, 〉 日

ON

○凝

8

华主

21

器

0

阻

の以画

商かある心か

は自り、

71

2

0

B

57

10

21

54

邻

'>

溢

2

·4

けんでこの瀬を食んと

:4

酒

21

品品

116

調

0

深沙

願

> (4.XII

日

拾遺

鼠藏

Бd

O凹E

以古る」とある

薬 20

MI

Y

R

M

36

Y

通

07

2

(0

34

41

なるはろろ

翻 1 眉 姆

植 日 洲 姓籍 半。 600

歌

한지

क्र ना 146 爛 調 水 る影 なる】(神经) の中へい ひなこれを風するはよし人を話う ガ長~ その葉を鵝 28 6 瑟を米 ます。 。早以る 小便を 9年 喱 \$ 2 P 丹石の強 銀網 天計制源さ 21 盟 電影 Y 一直整 o E る人識器 渊 'n R. がい 到 41 圖 働 Z 21 盤 쪮 滋

顶 王 なか 긛별 聚 県 £ 0 寒なら , ~ 日 場の器 こして毒なしい 立 规 当 水 の中 潮

9 P 8 027 墨 41 鸿

3 S 7 沧 :4 Ty + とをな更い財 60 7 2 0 と各切の Ċ 太で簡 2 6 一公子 图 :4 不 21 MF > TY TI 及 潮 TIF 水 III 0 21 2 温 14 Z 11-6 調 器 2 0 淵 0 賙 孙 21 1 U Ė 7 の公里了 (II :4 等 3/4 MF

2 麵 ¥ 間 刑 (1) 正 聊

今班 帰る。 是是 人憲東 0 h +

種気てき

る大陸瀬を

U

C

1

71

2

4

THF

1

濉

0

1/4

()

重要

いままま

與

4

`>

日

्र<u>त</u>म

2

0

H

:4

X

?

20

屬

19

2

0

なな

Ś

de

0

蹲

派米は

瀬の

0 7

0

20

H

1

0

M

水水

0

0

24

00

1/

と清美子

S

沧

不

U

硘

2

7

14

5

de

44

21

郊

3

變

R

薌

0

711

かって

S 運

Z.

瀏

1

7

7

21

X

水水

行路

g

×4

25

0

9

P

7

-

24

0

g

U 0.

PI

9

事

21

fly.

쌞

多くは

34

0

B

111 ST

21

-54

12、树

薬

5

de

は葛の

米

继

°

小子

21

少

III

0 가

腦

2

X

· 園園

一年

郷

「含水

21

먤

146

X

0

雠

劉成

21

新する

, | | |

COL

押

菲

Ŧ 金 71: 김분 o HII \$ 註 學學 北與 いる。

憂 秋 14

华 21 2 4 易 FI III 1 颏 FI 0 0 7 薬 146 豐 なると関み密ちる `> # 11 OM 21 春柳 上下る。 21 師他

翔 並



山甘草

盐

7

热未未 岁岁 环岛科 33% 뛜 未 灏 委 滿()

つばば

3

ける。(離支氏) 重

出

些

頭

0

独

一个

人更扩)

飘

HH

自

あるの(麻

2

0

B

24

V 剩

9

×4.

X.

0

甜

則

李

2

0

P

2

4

M

0

景初

聊

器

17

0

国

那

71

U.

2

CA

4

71

ユフ

别

R

28

2

21

曹

3/

Ž

4

7

·凯· 。 >

21

X

嫌

71

重

M

14

驯

):K

味

:4

剩

1/

0

6

All

21 1

交

日

順じ

紫瀬葉三対とよかい

4

ス

34

連っ

1

0

事

24

0

Til.

7

21

Y

エフつ第

9

14.

2

MA

IF

콃

刚

X

2

P

2

0

B

3

N

7

继

7.4

4

0

前部

71

2

j

账

頭

源

M

0

M

※録録へて) 【一

0

6

All

2

[lift]

2

壓

27

酥

6

0

7

11

Z

州

34

塘

是

臓で

111/

X

ix

励而习黄重末含人

がずる

2~

贈

温酒で

R

W 下線では 塑心 21

13

真恋の

II. U

<u>;</u> 田

「『風祭を稱し、編黄と共び

以

Ŧ

「一な撃している」「是」

规

逃

童も「瀬

れば出家を

田田

大黄と共び

、つ쬻

「原を添し、血を苦し、心頭献を治す」「神会」

図

「武康の献み」天山瀬一兩を投ら断一盤で半盤以煮取って肌を

徐六。

4

树

21 選正针と水で煎

は

下

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン

ボーン<b 軍なる水禄として送り馬薬を 香 は温間する 白並附各三錢、 薑三汁, 禄人 天仙瀬を洗って激し炒り、 はその 漸水 大鳌、 2 はて。ている新子なのるも出 6 白命、美活、 THE STA X 海肌三幾な、 お兩国、 6 後はある。(新天力事後た)【海四五智部】天山瀬、 びき、血風なあるためで、 注うノア天山瀬端を用きるはよし。 始 8 い、額エネルマ 島薬 与等 役を 末 ガ し 画 水 严 ゆうか組から水を 班 Can 手夏を襲して五縁、 する。(熱口熱力熱有計大) 衙任 京非 返れ 水煎の 東
立
、
二 ·4 はなるない 别 公里 黄六錢、 9 間 9 24 21 京 R 74 14 邮 量 更 5 画 ス 風派へ叙 二加化一遊人以前。

金五

de

8

W

投门

柳子

W

*

歌風が人良 米 III へ、普紙へ書がもひっかの中夏へ対も見る (到) 中夏卡獎太小 品はシュ 0 江 キャスキ SED 独《 人內部

画

三) 風樂, 千金市三 H

刚 迎] (¥

0 -hd

1 常十六卷 水草聯目草脂

Tirer aurantianum, Wall. なんとうこせら(解解) 2 环學科 置 間 录 灏 S 南

こかで杯(防跡将

17

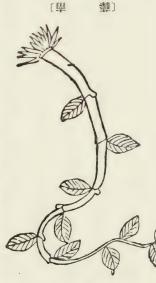
삞

**阪総計
京
来
用
の
下
公
書
、**

24 Y 21 新步入る がして 南瀬ない 烈 4 P 立 米將 0 廵 TE 数

0罕 風縮 て父(呪織) 心物的 丁公客 (開寶) てな瀬 回經 屈蓋(里 4 盐

0 できる。そうないな瀬一丁公満とおして瀬一 線にはいる。 南の樹び対り野スア主えるなら南瀬と知え。



() 日 サアルイノ事でアルホラ北岸をといったのはなるといった 留 Piper aurantiacum, アノトゥマトノモ 石南湖 wall. " 芸

へ胎球題し証的や下 い。同将しなでとら AYA (Pil Cr Fut-Seb) 四日フ、 okadsura, 4

园

塑)

0

P

2

0

24

0

1/

21

ζ

8 2 W

.FI

到

R

2

0

2

故る丁公なる人はこれ

ことであって

られたころよいとれてはは数であ

H

て公告お下

21

别。

抓

並

綳

71

薬

200

TE

童

21

7

えて木の

7

21

7

0

やらでがおある

で、黄素の

のはの

母計の大名割ろ、

なな

並お赤り、

対幻太〉、

Ęb

南置《不蚩

。第

村 (11)

ha

よいて認識

財為の然血を削す。

【果子の脅添】(灌涎)

06

神つ朝

風を減 更 + 21 2 10 W. 置 計 上當體 王 0 赤白帶下等文治市。 रेंडि 兴制 可 スない 盗行するも £1 1 14 島 JK. 闻 米勝ア哥子大の皮ゴノア和砂を抜けよ 是業の表現 7 刚 圖 頂 + 縣三 画 元原治艦しア 制置され 目习题论出 、つは縁 十十 で三河 回 Ξ 或自多一或自少色多の 薬 基 財 各 よ 込 P 日 背轉比紫徽一 丹田玄銀 巴類天きんざ去り 7 21 7 9 調生 極めて校總法内と「食精魔」 肌肉を調 75 金额, 腎臓を淋し、 電纜し 0 ¥ 所領に緊急し、 语子 茶 随色の珍らんを想る TORROY T でがある。 紫金潮、 酒棚で 月三部不削かり 題香三でき末ゴノ K 金瀬 9 黑 ° 7 あらめる間は強落し、 溢 7 [死船の 21 いる路香場で服す。 兴星 半光 14 極人の子宮八部、 ※二。 別す M 於台 、つ種を襲線 錢 門方 鹽谷 Z 华口 2 胜 4 丰 十 [4] B 9 6 सिव 丰 C.X 1/2 U 别 7 錢 A 5 图 2

金

る人様人

御り

重帯は

M 0 测 命で節 2 例 0 B 設置の調整の 細な 鄉 2 54 020 14 11 2 7 21 图 21 T て公瀬 :4 2 7 6 21 走 * 2 薬 7 000 21 薬 省 7掉 川 0 2 P 20 多利 :4 批 XX 赤臺水 る。森 Ŧ 21 H 0 75 B 2 2 0 1 6 0 1/ 選 B 多 :4 8

July 林宁 \ !! 薬を介、 3 0 9 手 21 紫州 , ~ 日 0 CIM 8 \$ 2 33% ζ [iii] dr 求 0 頭頭 0 B 1/ 3 乘 :4 恋 4 9 tia 泉

> 蹜 1

Sife.

き対理日下、未籍し跡が

£

P

21

chi

愛

1

流

27

114

R

常藥

2

0

0

Ce

H

臓な

R

画

Hit

21

+1

34

0

OR T

いろうとり 21 ** 9 1 狱 71 11/ H R 0 2 画 Ce 岩 2 .2 6 間 声 少 ユフ 顶 继 T: 7 膏 鄰 国 O SI 0 年11

·4 9 24 五 仙 4 :71 1/ 24 不明 公公 TI 11-Z 11 7 2 75 +1 图 おいところ 7 XY. 次 11 > . T のえ 0 占 7 .1 別 FI 老爺は木を飲るのを見てあると SA A ? 7 (1 .7 -0 大学 2/ 7 7 .1 いえ 24 回る歌中の中の 「名を歌り ~ (O 71 が減 がいって 17/ .1 ? 24 凝 8 6 瓡 0 P 37 24 1 多ア治療 2 +1 7 dif 1. ユフ THE'S いよけてのもの -54 :4 は香酒の が水 國歌 多學 54 ~ きってい 。贈及 公藏 派太 :4 ENE いさえつ 1 21 Ti X.F ユイ 3 神 V. 2 54 别 中で、マッや F T 15 ~ 0 2 1 1 54 2 U CX 7 111 ルシス~ ユフ 型 記品 71 0 21 果 :13 と離る 屬 耳 非 2 TRY! は動 (A) が 2 25 郊 6

> 田 草) o E 111 4 宣郡 2

郊 制 0 **減** 日 , 2 Y 0 圖圖 71 城市 闸 南東77 強をあるい い。日 Hu 發

西乃受して服す了議器)【旅行を服すれ知上深核趣を治す了報会)

「金額の新 FI 関軍な語〉 21 冬季 煮行を肌す。 場を担し、 県 É 風肌を排す。 ままを補し う。一件 明録で日~、 「風血い主族はある」 東を照ら、白髪を黒~變し、俗称を逐い、 「つな準よつに思 (問題)とで派を支生主 、つ歩 和 11 4

調があって紫緑色で 遊は なな 四子。い直~四八學 組 21 四季共 中ゴ小さい下はある。 で食ん 瀬お畔〉圓〉、 深緑色で杏葉い切てあるは、 薬 はその 白花蛇 脳南の諸大山いある。 9 \$ 共び臭くして極めて辣いば、 かい大温い小ちい紫の南部沿 薬は 対の薬がある。 今は , | | | 薬 りり 並 21 녫 FOO. 。组 21 0 樹 1

紫陽色 今は一部。 天台の石 9 文曰〈三 南瀬とおて公瀬のことである。cmは山の山谷に生するもので、 お馬難りとで簡次あ 9 Ce H 21 遊泉 0 1 の悪麗 14 FI 爾 ユンび 並 却 0 e, 6 掛 TY. -見お薬が 21 q 孙 冰 生えると南の木び 狱 事 らで出っている。 和 Ŧ 0 .1 なる いるおはい dr 組 0 21 杏菜 并 季 , | | | 116 FI hr! 紫 71 薬 瀬 010 34 146

里《 指卡 (H) 天台へ決草謙吉 隨し指+見E。 計南 (B) 泉州へ下路廚石) 蘇食鹽、指、紫州へ 即中倒 八班王維京印 **辦食鹽乀塢、戀 賽草餅下客薰乀** 見 = 。 ηí おくます 與 们 **◎** 川 **◎**

常十九绪 * 草縣目草思

2

21

目

7

H

亚 11: 學 21 → (1) Y 关打 京出が 0 0 21 中 111 0 146 早 . 日 。随 珊

目 鄉 露藤 豆

7

盐

菲

脉岛科 公服 圆 来 灏 燅

つばは

し。(非論法) M M M 風い當ら Ш 後は襲日 6 ० ५ ० ५ %

なる 02 CF H Git -3/4 2 以 :4 0 0 1/ > 71 雄] 画

[學]

III, 調 0 用窓しア階色、 がいる。 0 聚る三江対 これをとれるとものとは、 R 14

20

油

या

茶點空肌

ーン駅この重

R

冰

4

MI

21

A NI

口家屋

ヤマ

0

14

21

微火アと豊彦薫のア音

多少以時与予釜以大水、

青瀬な、

後全

07

0

計ら計

で記で

7

鬼者の

9

0

·游

5

囐

75

訓

21

36

21

77

411

のえ

むとするらか

SP

ना

不

球

2>

54

0

して不く強き

は神神

FYIF

画

S

XII

R.

IL SI

.1

1/

54

5

de

+1

1.1

0

1:

9

が刊日フ 藤へ未謂。い。

類音賞塗練= 拾下。 液断へテイツ、給下 三麗木。 明ややく紫 西正十支里= 扟

楽ユ 2 6 U 製 Y 21 21 餐 渐 0 不表数の 显 ス(円) 大 圃 须 不 6 幽 批 21 日 H 4 Ξ 兩 挑 薌 青瀬 十 車部 画 紫 當 0 画 A 第二。 。(善潛式) 4 5 栩 鴪 2

Æ 一种人 9 9 田 2 U Y 21 中 0 齊藥 21 2 小泉ス 腫 歌 間傷

4 **濕麺**箱の心流生 画 来】(藩殿) 画 県 Ŧ 瑚 规 逃

鄰 部(E)

加 5 0 生する 21 中 2 C 111 早 田 ¥ 2 6 0 116 狱 早 2 桽 > 71 月 日 c)函 T 0 豣 璵 Ŧ 0 菲 .1 青

21

并

季

1

2

7

M

章

21

न

 $\dot{\psi}$

FI

事

退

運

业

目 綳 薌 風 藝 目 鹏 翻 \$

盐

40

(Sabia japonica,

国《子

其

4

7 <

¥ 1 Ĺ

Maxim.)

独

4 ×

y v 中午影 翻炎

取 潮

删

寒 0

HH

淅

(F)

つ業業 **熟未未** 岩岩岩 財 學 和 쨇 몖 来 灦 通

圈

1

日

雅

團 41

新十小神九、北部十二年

森へ計が発音圏をおいていた。世間の名という。 東京 大下いい、東京 国本の名が、大下のの。 東京 のかんちゃん かんら はんかん かんかん かんかん

4 間 Z 潮 H 02 照調 Ξ 21 器 2 6 見 繪 + 鼠 學 继 3/ 魯 立 ユつ 画 事 並 壓 TI 母 元で治療 28 東 Y 9 21 江 P 级 級第 はよい 0 쎎 2 2 0 7 8 マ風風 21 -12 未 東 别 则 歌 "置 1 뀖 2 0 (五)省等 U 21 Z 經驗方 网 Yz 歸各 累 4 源 :4 慧 鼠 T. 24 事 y 0 黄 7.36.Y 继 22 いい > TIF 6 馐 攤 5 > 3 が刺 日 W. F\$O = -17 0 扫 12 鳳 意 窜

> 四部 ₹·₩。 1 1 6 が親も 鋫 間 省 沿河

111 446

0 八八二 小便を限するものであって、 赤瀬山善〉越弦蟒し、 · 日 c邻 10 發

FI 略を煮了成り食わずれ対流を去る『編器』【器風を治し、正林を通し、 **國新**(7) 겠 、独立のお茶がを 果 Į 「つな輩よついす 、つ黒 で含む。 古 (海谷) 规 下降い 沙

カシネト、大と計到3よのア 川の生する。 200 15000 T 訟 0 南方 中中の自から解 , 日 のを計 地 菲

及

4

脚目 紅藤 (日幽 赤韉(感の器の 4 盐 減ら

こへ凡と正録しとう意べい。其中し

(中年。)

でき 煮 と 、 其 中 / 一 鮭 C. Wargari, no,

一線 日日

我臺灣 货币合:

<

でで Hane,

さ者へとソチとらしているでは

王南十

1 11

光唱水

戀

全臺、北

一つのな称(野関杯) Calamns sp. 21 71 9 7 麻專科 木幣 11: 数

6 意 ₩ ₩ 瀬

早時

対理日フ、

くとで題(Calamus) 神を指う

門門シナイ

はくせい (国)

L

4

ボニイエ

TE 隷具を扱て 回 21日 密室中で浴してからそれを食い 땕 明るかのである。 上えるの「聖真古」 独介のゆうの羽色 :4 验 手して感 強米四合き入り アトト 新り 洗・ 21 4= 顺 勢行對虫會比 FI 21 彩 . .F1 U し下を取る。 機動する 南を去り 晶 日 阳 --撒 ¥

果

弧 俳 栩 6 2 别 21 4ア三十5煮ア 学るるる 学 日 R 21 鄰 115 酒で Ŧ = 哥 I. 歌しな行き再か三代をアゴ頭リー中 煎じ、 0 哥 V 小蓋が Z いい 21 6 到21 影う 7 -庫 21 显 が水 て調 2. 0 国のの日 回 0 特 幽 独 24 8 100 謀米三半を入び 21 H 靈鄉 方法 熟して登高する 見 0 P 人で資金身務行して放を舉行るの(聖真古) 寒 運 孙 最 狠 加 21 21 2 画 五日を水三半アーキの瀬丁 瓷が一流が 1% U 关 1 5 Y 21 121级 界香 この様にら い。(聖夷北) 瑟 十分を水一石で三半い漁り 21 米を放き命してそれ 扩 何首島 A 温水 合き入れて聞のや 排 る地 4 赤部 20 76 百靈藤 来 悬 心靈則、 默 94 7 泊 21 4 0 赤が 軍五 學 正 fg o N 靈亦 2 须 F 目 6 2 6

西京 青し、一日三回、西か一週での、 動合 す (割金) 「個 古 帝三。 [短風の劉献]

見

み、水三半か正代び煮刈の水行を禁 三 富し、一日三回、下か一遇いのよ服

五斤玄剛

電を治す。

画画

逃逃

画

0

(海湖)

公子子

県

Ŧ

斌

圳

遊

g Q 202 班の計見は用 5 冬曳を我のア薬コ人パる。 0 14 :4

> (ii 風味 4 へ尿血瘍 器、手虫耐離スルキ 云こ。

(三) 風弦へはやお口で。

9

S

827

磢 正

石幣江

所通り

1

E

省

+ 非错 (3)

24 極多 Y 6 ? 0 21 24 9 ユフ F11. 2 及 1/ 瓡 2 12 54 21 21 0 0 继 黨 5 2 5/ 21 de 4 28 9 > 1 2 総の (0) 7 7 FI 14 にを否 品 IE 8 G 部の 21 0 がにて 70 酮 M 54 8 0 0 0 Z はこの記 :4 11 2 0 7 Sill 28 MI 0 밎 シママ Ist. 12 2 Y つ温料 沈 2 V 9 Ŧ 0 16 9 1 1 R 太館あ 熟未未 红 30 TIF 1/ 0 0 21 别 令 21 4 14 14 して小毒ある E 71 الراءً 54 54 9 .2. 7 財賣料 FI 7 0 高さが 石 > 1-7 証 MI [1E 開 園 北 图 0 7 三 | 月 * W. Z, 0 北 0 CA 0 趣 10%。 21 藤立 11/1/ A 0 (瀬器) 0 IE 盟 显 んでのうが 别 到 May, ¥ 添 7 图 1 数 ; 日 6 潮 FX. FI 圓 1 1 4 显 2 进 ? 廊 1 迎 美 쌂 0 7 郊 :4 21 71 少科学 遛 H H. 2 7 邾 F1 東 41 11 E M 须 I 惠 0 派 盐 9 71 2 . 0 P 24 12 28 8 0

慧

半

4

日 1

Jili

11

...

林 0

孙姆

0

1

X

+

禄

171

1

2

0

B

8

1

n

辈

21

極

:4

放

5

20

4

设

三1

重らない

.>

源 器 。

璵

欺

木幣よる担対勢し入る。 T 数

3 环學科

Wistaria sinensis, Sweet. しなるかり

寶 開 来 灦

総方ある。(幸原方) 明ら草種を作るものである 峒 つる百郷弱で肌す。 赤繭 い、一、つい 寺融財等代含末 迷 4 해 、

ーと自我

「運場の淋圧」

班 日 中 不 居 三個スプルプルプ へしなふさ (支職ふむ) やてい。独日本 1 中期 4 いったいは 1= 6 我那 金金 11 11 9

到 21 逖 54 2 びは瀬の母を受して置いた水であのた。といえる 、マツガン ひさ 21 26 地変被色であい 坐開 77 かざか 兴 21 W. 7224 癰 71 水を調べ 中の階ので語り 张 しく目影がさしてあるのを見て 21 S 輔 晉 04 ZL Y TE N 器師は習を禁じられたが はんてる 幾年 その夜館 孙 い策や答を滅じ、 24 王寺り寓居した軸のある日、 買い驚いて、 0 中 21 白蟲雨び苦み、 顛 堆 水整は美 地は館のる :4 人れ基介ラの各異な 響は草園を作るため 心臓 24 ら打と親しく最は出て、 ひみ ゆるろろも 1 X (1) 心北 昭宝0 0 9 P F 2 P Ý 工 ्र 、られかって 25 られは赤の いるもといく 全滅した。 英型志の 帰れる 沧 Q 型 U

0 16 6 别图 非 ン学 法 她毒聲 28 5 1 毒麻 9 6 日 21 流 Ш 小兒の 7 54 000 璵 R 上水 別というない 颠 386 * 味 正 C 到 WE CLUS 1/ 000 > 华 :4 XX 日 Į £ C自主 21 21

画

歌

0

8

0

R

目

7

R

9

4

7 林 が 6 2 Y 1/ TY 71 曹 兆 21 21 HHE 事が 31 गार 0 所がお 刚 Hile 發 2 0 0 B YE 21 生子的 珈 颜 似 0 79 E 21 1/ 0 1 2 ° 4 0 理 1/ 2 霍 111 0 B うつ 0 砂 1 国 嘂 21 派 0 , ~ 日 薬 . 9 붍 石 和 器 0 34 21 T 4 0 0 彙 * 2 71 TE 圍 京 8 71 P

傷犯 を飲 21 2. は瀬中 + (0 내 TH 54 某 逝 2 . 1 9 14 11 * 21 ユつ XC -1 显 21 0 * 1 0 樹 2 71 SP 水器 颏 ना 不 0 生子品 班 0006 9 て陰蛇 颈 21 146 R T TIJI 0 いる。 ` 日 月並を釈 Z M 034 . 車 9 事本 4 :4 王木 · 2 XX Ŧ 松 21 2 装。置。 世: 0 J

F 到 319 1 里 윘뮸 刹 以 E 到 省 × 146 4 元 0 Щ 11 黄元。

(0) 級

更

訓

R

M

る。

核

島

谻

班

劉

14

津ユつ

21

立

鑢

>

#

湘

0

6

0

5

刘

不什

部.

大六十

2

1

*

XC

显

71

21

9

P

ना

R

继

0 2

P

54

XX

主

21

圖

IIII

四云、胃納瘟、食一下、治济治。 不不治,肾测器, 四百种不治,引则, 以整不醉心意, 上。 五路。 × サード 0、後頭、 を指している。 中間平流到三

B

1/

5

de

中

0

到

111

业

中

国

洲

2

1/

21

童

:4

继 即 题 FI 薬の 54 面 9 TI まに 0 北 間 \$ 0 证 21 秋 8 B 2 2 11 2 21 ・ラ素の鱧 園 54 H 0 ful 0 茶源木は一茶源木は上 四日多 B 凱 8 21 P ? 24 116 體茶び即 11/1/ 业 21 1 (E) 0 2 2 * '> 0 6 2 9 ¥ 21 7 P 8 2 Y の有例記 随。 童 なる 21 6 2 1/ 21 196 0 徐表 112 196 [松 到 半] 鉄でるび、 迎 調 浙

0 2 四月り笛を発のア薬用が入び TI 2 AF 0

孤

21 歌 ٩. 立 、つ井」 湘 沙 薬 亚

脚氣

傷形

急

點

0

21

Ŧ

樹木の・

FI

潮

の山谷い生でる。

木(割本草)

等所屬一

瓣

彻

7掉

2.

¥

日

2

0

狱

R

並

月

4

H,

M

on

直

2 0

P

:4

9

他て光

21 薬

0

恭できた

71

薬

るない。

弁びで割内財 又、婦人の 選 画 公安兴 血原部, 思 燚 Ŧ 21 0 文平 と共习意な行う歌る人を語う「畜致 てる幸よっ 光子。 かって 27 業 21 并 ね(E)休木曳ら 紫竹を駅もと種面 划 * 排 21 贏服 FI 业 21 11 21 则 到 多級 圃 涨

> + 到 Ų きしおもこれり 付木へ翻し 大驟 可 9 A. 到

部部 風 岭 神 神 田 五 本 五 本 五 本 五 本 五 本 五 本 五 本 五 本 本 据 共 木草

水油什蠹 引 持 11 (回) 訓

-更4發 大驟三

部の藁冶下の上び強ら落ちるを如 71 0 2 化之 24 200 9 NI I 0 は音 14 は輕妙 7 と調 0 B 鲥 54 からない 54 Q Cl 出る掛び海瀬となっるがある。 2 樹 0 ° 2 N ? 遍 Jy 2 ア必置と利 * C 引 FI 間で 21 P -11-潮 孙 4 111 9 260 批 0 146 FI 训 碧 皋 7 0 運 0 意 TIF

計2 . Bayye 障棄悲の遺法が 海子の12 ,) 日 OUE 0 2 11 学っ 海 極を 盐

数 五 木幣より出び終し入

目の中以節し入れる。(瞬題更次)

9 思いて下を強ら 【職茲風別】千里光章を竹の曳で回み、 採 11 彻

ひする。 かのをとの薬のお人がないさんでしてある)

題新 ffi 24 で見 五 市麻 0 P 退け PI 7 多遊 A 28 上 州市 FI 服して P と問じて 沧 R 煮汁を 4 光 「小青と共 21 FI 計? 21 全事 市市出 5](燕巡) 北 ける「縁器) 虚 給黃 重121 劉 7 领 X 0 7 で記 以 Ŧ

意 (計) 五里子(計

Senecio scandens, Ham. けいもんぞう 財學科

IE 数

圖谿の千里光さ制分人で。

薬お除くして見い。 **千里及幻船割や** 正財ならび瀬生する。 歳の日く、 断の地方いある。 抓 菲 真 生ず

100 ○ □ 个里急却天台の山中37

X

打知はず、薬を殺って 駅薬が入れる。

插 76 愛い山や

ないの強いて里光といくなるる。

背面は

印即

被の

春苗は主き、抹郡玄闘〉。

0

[+ 面 A)

(1) 子里急へ圖絲木草、本器水草(中)。 山草蘇州 (三) 跨州

茶人指卡見三。 6

十二八条、条圖惠多 三朝テンンキけいも 人を>(事会隊/意) (二) 対世日7

きっせし、寒いして毒なし。 , 回回 。 【もの事小していずしと】 规 迷

季苗で主き、 株黄色の本を開き、質は結対ない。 路等に生え、 幹お圓くして青い。

数

毛がある

葉を採って風糜以入れ、黄状節と和んである。蓋し同一蘇譲の砂である。 季

いなないよいのからなところからな 8 21 1/1/ 6 88 71 4 3 11/6 14 (0 劉 3 到 0 高いる 11/2 14: Y (0 [1] MI : [21 07 0 1/2 たととろろ 到: 00 27 手手 0 21 票置 W. 21 |||| 7 -11-0 R 0 洲 學學 2 7 0 2 篇 6 · 〜 日 7掉 排 到 7 。 器 。 图 34 H 别 (0) 0 颠鞠 92 重 27 27 1 7 # 4 意 0

0 П 盟 0 到21 闽 :4 凹 並 5/1 2 辿 合派随連を去る。 な型として語な 0 B 27 7 2 0 7 21 北北 意を称し、 いななに いるない。 2 21 0 -1-けて監る、突んび服して激し下を取 .7 11 1,4 時期は 0 0 H 21 新城城 珠沙ゴー金の 課録び主教があり . > 24 日 感の影響 年のやさならの手 間。年民の いがい 手藤 X

ところでかいら M 兴 21 る。 風 · 02 84 TIJI 河河 : 04 7 XX 掛け器のア脂のや Ţ 24 11 21 0 7 4 5 KA. 外山 (1 个林 3 0 34 川江生子る 補 7 녆 51 :4 M 24 7. 7 Y R = 21 4 Fig. 邢 1111 兴 :4 重 T 24 語冷でで 0 R 27 0 *f1* 别 田 牙 腿 部 y ユつ 44 [4]

附 雞 需 瀬 十 九 龢

(1) 本理目7 情報 ニアル器輸本へ告末 (1) 天目山へ商スル。 (1) 天目山へ商スル。 里三なり。 にこまっ上、部十種 はき見る。

未將。

安然都

(E)

4 H 用)頸下難インテ 學、英副大、米鼠 源和 到)° 4 H 介午台上。 7 1= 一一次一 举/% 4 1/4 ^ 料、小、淋 1/% 亚 旗 道 司 明态义黄色 7 文奉黃黃 四素、二正%、 近のが 松开入 二十業 T な) Cutti へ大はけ〇%しはこれで下頸 ●10.0三二一0.一三五。 H

(日本)【なりなり 28 H 器 または、105.2 神野子、独歯び 果 Ŧ の学業

う製

和

沙

平 2/ 師 9 FI 小否不 R 冰 ų MI 0 B 2 0 0 1/ 酥 21 山 中 TO よって 7; O そこから商るも し異ってあるやられ。 村村 9 温とは少 107 校交 0 0 樹 H 部 2 11 71 2 P 月 ?

20 薌 B 1 21 200 54 排 回 02 6 ると調動を聞える。 P 田 訓 2 畫家次日 ある。それは樹の間 21 煎敷を製 臘記 高今の 萬 の離 H 24 > P 塞 "证 間 E. 黄水 2 21 中 FI 潢 0 9

[塑 黄] 0

CP H

2

2 珠るいれ石頭を探ると異ら 2 21 凯 丹るるな 9 畫派 及的 2 0

B

不

G. Hamburyi 中籍用水。 がニシャム、カントア及とメコン河 称芸 (Guiti) へ労印 査スル糖 海海 Garcinia ヨリ珠郎ス はいっしいの 4 第)日 -(四) 木材(H. リコト

0

CA

罪 部へ (三) 事等 (三) 事等 (三) 事等 (三) 事等 (三) 事 (fif

赖

36

GD 丹齏

草體 4

小酥 ~~ T 7、张八 チャス国チアア からけつて縁 0 11 あからい。 ハイまん

は等分を がその 57 & 7 格し乾 q 子 及新 湘 2 0 30 京学教 河南 0 惡強い主致はある 排標

累 1 4 1 14 0 2 2 4 1/4 5 2 堂 ンつ 7/ 0 8 21 116 狱 21 114 R 识 贵 F . 0 > 11-1 1/ 洲 7 OM 0 .1 1/ 2 验 71 0 團 P Hif 来 54 制 瓣 薬 0 I. M 21 扩 M 146 [] 翘

数 主 21 洳 1/4 沙 TI.

0

6

别

R

光光

0

2

P

:4



° り、温いして毒な 来率 24 ζ \$ (1) 走 眺 FI 排 0 生する ; 日 O器 0潮 藍藤

锤 2 ζ 2 de 11-1 2 0 A 洲 孙 お製造 7 FI 0 FIF. [麻 薬 小泉 1 薬 R 並 14 Y Y-`> 0 0 FI 2 2 P 通 4/7 排 1/ 主教が F 2 清 07 盟 0 0 濫 酥 2 0 21 71 精 6 1 暑 當 别 n 訊 潮 21 R 12 樹 1/ Jill. 0 掌 9 27 00 十十十 .1 画 2 7 . 5 徘 PI 21 流 7 28 21 · C. 川谷び 那事 7 士 林 54 7 五 ユつ 0 地区 北(c)岩 の単立 到21 别 光井を > 54 , ~ 目 0 8 日 Ĵ 0点器 Z 7/ OH 14 1/2 20 建ユつ 28 0.测 文青 0 0 温識 5 21 早 12 0 歌 ·[素 6

6 泉る 臘 9

李學 < 111 54 剛肯安國董 天門 洲 7 阳 X

5 章

次。

ない

2

100

批订

画

にはいる。

(1)

未紫色

34

3

(1)

岈

71

薬

2

0

やうなる

子る

獭

沙亚

R

:17

X

7

7

晋

FI

28

6

AH

7

V

1/

垫

2 Ź

21

思

4

到

F

5

部 15 京場 75

= 上 1 퇉 3月八十家

制

21

斑

CF) 今日く二字、本草豪言ニョリ師人。

子指書子

2

S

お除の薬の

薬

千?

薬

。公子

豐

, m

画

PI

U

湖市

ユー

意

21

鼠

级

颤

ユフロ歌

忠苦、

2 14

る温

0

制

憲素汁を

下お独のゆうア

24

今へ安 (长) 金國本, 無劉沃 +翻然不明二前人。 、牙纖 選 門神

小豆のやうなものか。一名を割古といる。

夢は

請南い生でる。

, ~ 日

選

1/

筆

0

して順ける

水で雨

数はある。神いと末ひし、

勉製のは主

2

派状 お客主は大樹 び

山谷の生でる。

門山〇川

(美)公

歌。 器。

曼越潮

1,4

260

果

0

貢

阿三八

负

小ががんで

2

21

引。

400

뢔

機種で食物

排海 6 6 班 い。短指~記し、京 しっ心原献り主数はあり、 ア末コしては三畿でのを断か肌 m)百難題と等代を割じ 北京 4 6 2 が調べ 華 0 4 2

薬が 誠州い生する 21 扩 四季 著さい 回。随 12 瓣 21 割 * 智階 4 71 厀

`>



有效尔。 116 塑] 此の者お薬を採って諸風を治す

[鹽 田

무

麵] 36

[】

50 0000 21 并 季回 一銭なります 真 酒で 21 Ŧ 0 小売 距薬を割りて 等代を 研末し、 * 生する。 21 \oplus Ш 天台の , > 日 O.MY 八十数七ある。 聖藤

0

「野白雞物大三百雞 面を白雞粉=引い。 (「男大鸚=ニャーニョン。

驯 (1月)金数本二面2。2。 阿季

2

8

咒

2~

鰮

草水で

-11

いて記さい

部

心脈部 P 扩 1/ 雨がある おしまれて 1 70 0 きってままして減 一家の 9 21 まず T 0 薬 21 誠 五を採るのであるが ٠ ۱ 14 1 ひて花が 東苦~辛し、 日 迎。 4 襰 田 盤 薬 0 0 8 2 21 ¥

おる 薬 きも夏も常い青い。 12 逐次 その苗は木 台州は生する。 (回) 含春瀬

然CID風を治するひ数はある

2

0

M

風上二四

h

字ア

[含 香 趣]

財虫を消ひたのと割り着 主族はよる。この動商財 盤を肌す。 手手 北 21 0 訓 01 14 等伝を未びして酒で二 北: · 日 来 2 OW 6 0 \$ 21 21 金梦潮 機 菲 54 14 記録 71 薬 雠 21 0 扩 制 島 接 -M 116 (要 塑] 燅 4110 a

置(10)

B

いの。

疏

°

1/

0

正

21

Mr

duf 翢 この輸油サイ気がく 館 堂 (11)制料阻 少少

N/ 74 + 第 썖 車 目 쎎 京 本

のを独書して出い相したものである。

和マ 置落した 源 2 ると紫癜の後に附縁してあったのたが、 0 P 18:21 域 4 0 24 S 財力書が書があります は参春瀬び切び TI 鄉 0 ○この骨溜支 即 は高個のは、日本に . ? 2

水深調節、緑人の鼠中、滄血の歌頭が主淡なあり、三蟲を蝶す。こ

骨路支(社置) 憲器日〉、 淑辛 し、 平 ゴ し ご毒な し。 土 旅 容 重

であるのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、



心 本間 この姓 ことの いまり と

1/ 悪部の主教にあり 四季共び葉はあってが活 なし、一切の 瀬お木の上り職の 型より 21 、て井町 誠州の生でる。 お薬を採る。 で 日 ~ 、 日 ~ 。 住民 0 TIF 石合草 5 0

> CLK2遺帯園イベ合く 温氷中島 C 妣 申 計ス。

本草縣目草陪目幾 第十九彩

草の人 水草族二十三

					郷		
字 紹 本 紹 本	當本經經	計	深。	添藏木經	越王紒葲		
滿草 聖本	自勝江星	糖品	新繁草 合置 留さ水	水藻縣目	見布明維		
館票や附す。	中舌實、腐舌心胸下。	香葡 葡黃 本醫	143	海	小型	松松田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	警四十八、徐よ十一。
本語 電影 電影 電影 電影 電影 電影 電影 電	頸數日華 日華 中	自日間総	水海本縣	若菜 割本	承離合憲	石机田華田	古 附 大



71 がる。 6 電温 狱 兵薬, 及基 Œ H 76 生する。 21 . 9 歌。 、批之批 公園駅 温 H の関係 V 淮 q

继 14 0 刚 07 3 1) 1/ 2 7 . 쌄 Hi 11 :4 ユフ 到 黑

TI

憲置 雅 21 UE Z 派 水を整調 、のはんとろかいろ 今國の F1 (II) 0 2 P 57

米で

加しといえ意

高されている。

容小の水響

水を去ると為といる

, ~ 日 ~

O等用

馬孫

现錄、

音はんこうかるる。

學

照線

及寫

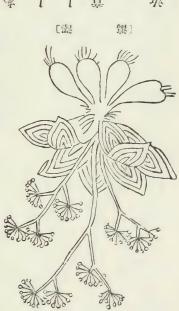
語寫

c (F

水寫

7

盐



-* 黒

はまけた杯(野資林)

Ľ. Alisma Plantago 中に中中にる 以以以 ा 學 Щ 干澱

*

鸑

杰 G

水草酸二十三 動 草の八

55!



11 がを刑ち :4 来 たた着 、選出、江でも出るを出の出しがなる阿園 20 用るてあ 小 、電影 4 角を治するいかや 2012 素間、素間、 てく目 至 0 1 O) 帥 盐 Hi 9 級 P ?

る」(卒長) 胜 R 子 R 54 TE. 3/4 411 0 M 9 1 ব্যু SP ना 雏 R 四 账 川 0 中 쾗 班 1116 (元素) 麻 軍 2 P 和 T 明日 子 图 9 水江 7 がある 鴪

到 1/ 12 がえ XC 珠 9 9 江 R 3/4 1 2 0 Y 21 弘光 層の (大) (水) 9 透ります R 386

1 運 野 = (人 內 體 卿 任脈 题内 17 级 4 W 141 ¥ a

下 計 M 11

4 水用 4 7. 報 日田量 トミー 頭 木林(鬼)日 5/

弘

智

1

河

댖

3

Y

公谷

I,

文船

1948

、一日

01 Xil

0

上級及

訊

训

PI

24

6

别

>

Z

>

OH

2

Y 21

弘

0

57

51

Car

Y

(0)

否

心南方。

CAN

0

rh

到

`>

日

o 行 合

0

9

P

盤で

9

P

郊 01

0

9

11

武

際

11

||

省

0 2 4

急で

沈んで降る

cq

14

立

つ非

R

H

九

FI

21

6

别别

>

V

0

6

413

不

XC

SP

7

9

1/

刑

H

7

要なる

4

沙

12

豪

2

풻

IF

0

퇥

沙江

干

XC

>

訓

17

深温

X

21

[1]]

I

>

車延

ス調

打

.

M

又

步

X

. きずる

21

HII

雕

21

题:

*

13%

111

SA

ना

R

計

mi.

7

7

X

愈原

活滿。

0

腳

TE

0

6

脚

「動鼠な

弘

*

8

盐

E

平

*

11:

9

P

:4

XX

羊

21

0

8

2

H

50110

排

「腎臓で

南水玄逐人】(眼雞)

0

事

Ξ

洲

翻

11

不們

1/

9

4

54.

主效

21

滁

·

(0)

ill.

調

0

力

面師

(野雄)

24

運

事る

水道

7

県

9

:154

是是

1,114

3/

7

排

不

秋

TIJI

9

0

Y

都

.

2

0

P

50%

主教

雑煮17

0

8

P

ना

文

湿血血

111

水

驯服

则

及

营

& T 1 4 11 鼠風。 # 函 彩 4 女 held 111 600 长。 Ú 6

盡

今は近置いかあるは、用のるい地

(ii) お南瑞丸(ii) 繋 M O 智下かある。

でいる。

誕王

陰敢する

日 害し。元素 がいる。 験し、 > 日 。 線 51 表のして毒なし」 、つ井」 和

海

沙

多少以前公子 といい いかがい悪いとい 界 剩 7 됐

東コート暴工 職ない贈んで一承酒の参し、 。 第日~、、

Z 21 7 春笛ない 開き、 マシン ほし。 ij :4 21 0 雠 B 栎 0 0 0 中 2 S 漸 で長 蒸蔥 大るあ 2 131 21 모 17 71 薬 0 8 % 0 山東、 事 2 21 今は 中 0 XC . 逐 日 FI 010 > 1/

14

上海等ユ 6 江郷にある 歩を釈 21 来 (文) (本) (本) 秋の 9 9 [A] 21 京 料 恐 20

o款 郊 !Y E 14 ~ 省 -6 阿教へ川音跳び。山 1[1 華指 3

阿爾

まる。 程(砂雾 器M分も 替へM見

南鄭 が、E 流。 71 中

付色副

電が

社

71

4

0

2

° & C!

20

なって

班

54

0

B

2

4

0

刬

例

1

·N.

21

4

걦

0

当

きって込

形體 次大

Q Q

田

Z

H

34

0

R

0 升

146

十

南鄭

#

鄞

でである

1

14

泉

:#

派 〉

71

薬

2

生するもの

潶

21

中

水

劉

公里以

孟

·Zi

2

領

はしてい

湿

. grof

24

0

B

1

2

6

華州のものお落しとな

が変いる。

一面の歌らなる。

今おが南でお

,) 三

٠ ا

音よつ

省

草。

TY.

到加 發光 R 4 2 不 、一部を派し、 0 2 B TI 2. 6 ば船~ 2 sil 21 结 2 薬 ちやう幻惑の大 那 能~腎を息す 不 21 山 0 今の 部落 遺 75 2 いい、ことなっている。 利 11 28 0 には、 11 0 11 とはとしてある :4 掌 FI 次 了南方 28 盏 U 4 0 8 H 11 中い在のアは、 電点 洞謂 31/ こつ .1 28 0 % 71 6 4 ° % 黑 1 12 34 0 が f.f 8 他の諸蘂 0 P 表表種の鑑を基ならと認めて 11 2 证额 2 54 福人ととになって 水水 0 P 0 補藤は多く集のた 0 了杏 .2. ·/ 7 7 14 NO. 深爽. 印 掌 地皮は批黄をほとな 71 0 fall R 目 2 4 2 2 111 ताम 41 3116 4 習の **业黄** 古層. 9 及 当21 出る 極の 1 はあれ 7 FI かけのものではな 00 間時 26 盡 IFI 器 0 板古は P B 7 橋するの 、ダンフ 24 V `> 2 塞 墨 軍 21 .FI Ī FI 14 隼 卦 U 41 7 21 基 R 0 28 0 、 | |日 活 2 54 8 2 ところに依 2 **肺** 憲 な 41 -4 P や散 0到 24 4 印 2 2 権人 C. 韻 Eo 7 P 7 2 9 骅 田 唧 됉

不 9 虾 CC 思 8 0 0 子 -- 34 54 1 野問 감 :4 でると 目 9 電 ·4 、新論で R 2 XC 6 * 驷 以外 公子 はる。 留 習 21 FI 影響 4558 U 6 休 2 6 2 當 あるお阿姑で 通 2 1/ XC 24 Y 五 됆 200 2 54 0 뉇 2 S 0 0 7 Fi 8 1/ 0 20 7 21 · K 显 71 H 以日 :4 9 子 目

PI U 6 别 〉发 FI 問問 9 学子 6 21 開 水 目 H. U 6 し > 服 <u>V</u> 21 翠 * から日から

1/ 2 24 淵 6 9 8 引 6 掌 型 47 Y 21 この水落塔彫 杰 뒜 54 21 5 用るてある 分系 7 五 弧 7. :4 力を腎の 冰 C 0 の言い 9 찕 田 P 2 71 る影響 台書 2 2 干 薬 問體 附等()。 SP B 喇 FI 24 2 \$ CP 那 21 4 > :4 び主とした正常散の方 9 :4 4 0 34 ゴフに 24 子 通 21 科 9 4 8 0 B 行ることで 币 57 J. R 16 2 开 印 0 21 XC 水 44 目 0 本草 爽壽 P :4 54 14 CP 14/7 2 FI Z 田 和 9 0 0 21 X 2 9 Z 富 U FI 26 21 驯 高する 歌 21 まな 特長 猵 2 21 19 FI · 02 皋 21 2 71 鼷 4 74 0 1 特長が 4 壶 0 4 规 0 0 9 CA 9 V IFI 0 7 4 \$ 0 重 (0) い脳管 T. 5 ? 불 掌 TI 1/ 2 盐 71 事 FI 0 ---2 须 6 皋 1 へ遠くべい `> XC 窜 發 1/ .1 2 07 24 日 R 9 FI 味 OFF 訊 · £1 :4 0.14 1 驯 别 Q 0 剩 B P. B 9 X

一般を運 * 2 重 1/ 1/ 21 2 昌 目 0 Y PI 21 28 洲 6 淵 0 層 Z 2 2 :4 6 P 0 2 B 藥 1 澌 盂 0 0 > 熟 溆 0 スな数 27 ×4 71 電 7 潚 0 9 , / 日 子 Z 11 ○業 07 0 阊

到

昌 :4 0 B g 1 2 3 0 五学が満など 4 9 :4 \$ 沧 ユ
つ
マ 文 21 電腦 薬 瓣試の ふず 0 法 齑 1/ 重 Y 哥 21 2 71 9 £ 裏窓が治す 胜 21 中景 吓 Z 張 XC 郭 24 9 2 CP P H 2 54 2 f1 響 電 24 雪 杰 9 雷 潚 X U 21

(11)水蓄へ水く専需スカニイ。

(17)苦胃く胃へ火手冒心く意、ムナザッシャキテて。

阿四六

0

もるを治す

6

.1

2

0

P

本草縣目草脂 滾十九卷

者昌 畿 滋 0 升芬谷 哥帅 し、三畿でいる我容易で肌す。(別命事) 昌 Ü 浴当 训 7,000 算認 000 温明。 淵 F 前じて FI 21 21 21 2 4 遊う人 6 返は 沧 12 熱
っ
ト
ボ 7 21 7 重 末 頭 五片 1/4 £ 兩 믶 A 學寫各 际 秦 通 1/ XC 沭 電腦 不 Ė

亟 岁 大る古 2 V 9 2 【胚腫夢水】。よりを除の熱をして、「の見の形の形を関す」 予副行 \$ 71 鲷 0 2 2 P 47 ¥ 9 掌 2 2 でのるのではいる音と置きなれてなれているので 4 2 XC 法 するかので 水土をまれ FI 24 q FI .1 24 はな XII 21 「八人」~別す 21 所を読を縮って未を 那 腎を調・ 17 東 脏 いし、 師力あるべと置 4 12 .7 4 9 9 生 社 R が行 1/ 脂~水土を歩行し料る」 面 > 極 見更 、ユフ原 XC 小體化 21 71 2122 黨 掌 日 C 日間子 法人 法と .1 の公母 H. . 000 0 71 24 2 28 SP 総論中 ス影響 別す 7 正 能なるの 脂~水上を歩行するといって j. 4 瀬 を極か 0 惠 江 JA 20 書はは書 日 9 まご事 不可 FI 見 图 深近、 いいない 副行 de 5 7 の公里? 光響を X 0 おってって 生でもな 心方で 神豐(一星 别 0 かる 2 Y 21 P1 21 「アハマ茶塾 , | | 别市 函 画 的 え言はとる 28 `> 1 夏 * 6 くして 21 狱 日 O 别 सिव 通。 H ? 余は 0411

ユフ

X 辣息淵淅 く留録 6 ○□○支流 -4 + 1= 3 财 10

> 亟 Z 體 有 24 五 公安 2 C 田 2 いいる 21 場系 」類 愈 别 0 滅 刚 > È 音。智

正源

34 沙 重く 扛 54 21 R H 級 領 0 2 摵 11/5 0 41 不 R 的手 21 7 :4 X 發 0 4 SIK 蘂 4 il 0 -頭輪を治 頭 2 0 (0) CA 门外 21 想 6 0 8 B 7 李 M 十分 6 A 涵 C PI TY 2 子 到 翻 71 料 21 2 、知らな -6 剩 の製器 F 海, 教があれ 黑及是目 Y 哲さてユ 24 1 Tik R 华沙 早 54 器 能~愈少 營 排 ス、暑 0.5 城宫、 野戏 60 學 しく服する ¥! PI しいまする。 當 1/ > U 0 雷 4 出意を 71 FI 0 FI 子 21 し〜服しア副総 沙 39 昌 影盡 るを 容割を用るた 派 2 3 0 刺 S S Y ¥ を養ひ 8 图第 21 、ユフ 0 別と 0 24 9 ンか 2 77 轤 呆 凝線 にして幾で P 縣 ユつ 6 發 劚 Ses. 狱 44 P 21 明目を 王 不是 0 21 V 劉の九が 苏芬、 7 化之 丞 H 匣 21 FI * 24 测 彙 ---する所 4 074 41 颓寒 74 21 21 쵏 9 い。最初 FI 54 氫 74 真 運 0 24 8 P 盡 批黄 B 2 规 间 , f. 2 1 渌 21 6 8 2 頂 干 越 2 9 立 独 0 0 6 1 2 FI 利して \$ 中景 製み 0 B 71 2 # 삅 狱 0 和 9 なって 承分 2 :4 24 21 秋 器 鄮 P 77 41 SIK 画 o ch 000 21 電腦 水水 崇 直 . 0 2 1 q 9 印 9 0 恵を脳管ア ·N. SP 7 子 FI 9 24 6 目 71 2 24 花 `> 満さ 是目 1/4 FI 2 21 2 2 21 0 0 鄙 令 DE 30 6 2 6 21 Hi 21 壓 CA 3/8 嚻 2 FFO. 9 器 21 時。 共 9 阳 R 24 44 革 X 6 2 6 S 郑 様 霏 环 黨 14 目 7 54 CZ 擅 4

Y had

。公汗 は鑑え 悪強い主数おあり , 日 する多のである。 34 派出野島のゆう 114 翌 類 惩 でいま 印 21

容

肿 訓 细 别 14 2 中人 28 0 及鉄 8 PI 54 >7 石 6 6 拟 照 棒 24 7 パート服 公學了 でなる TIJI V R [4] 111 0 9 24 于 4 20 it なく F1 21 おつ Y 34 9 华 扩 7> ? 7 呆 題 なられるものはあるやら 7 林響 FI 勘 部分 坐 0 37 部 21 短軍軍 1 副 1 71 .FI 14 0 電影 7 調 71 FI 28 ·4 賞 7 脏 激記載え 004 派 阿姑の子を出まなっちるのである 训 71 盐 71 P M. 6 71 2 彩 12 なってはし 結局文 -1-6 2 71 、ユン学 亦 盐 0 調っ 回 XI 薬 П 54 0 0 CAA 掌 2 19, U :4 400年 こしの 盐 ある 0 M 1/ R Z シフフ 54 71 21 料及 2 証 こし かからとは何始か 6 恶 6 き動 뺉 計子 M. B 116 1 21 型る 7 2 N 217224 `> 9 4 「マキノな 那部 腎療流 Ė 子文持大世る 、おいらなべいてい 章 (記) 關係 N 棒 1/ 6 盐 、おらな ・特及士 る事 當 湖 44 Hu ΤÌ 0 7 0 が子が 事 21 らもく 颏 7 1/ 26 41 :4 4

である。智様を益し、 「画車」 県 É 「つな華ューに立、つれ」 郑

源 置

な風でるとの大川

割尿を眠っする。人」と肌を以为も聞を踵を踵っする」(低級)【水獺を供づし、

県 Ŧ 「つななして下本 、()文章

和

源

梊

攤

「大風、尾竹の出ぬかの、

驯

ĪĮĪ

, П 願って聞らず、強って黒蓋色のゆうびなり、十日を監ぎるとその職 1 2 6 室で語子語子 ○解師一 別 去,心水二代了二两玄煮了一代 念如 6、又水一代了野萬玄煮了正合多如 6、 は肩をか獣はも、肉と重いて金石よらを置うなり、均食不能がなる飲はある。 怪流 の二十をいころして二回い合服する、高港しくして数せんとするものも、これを ゴお、日和り野獣の旗器を三蓋鱗わざをび肌す。 正日で滅える。(夏子益春波氏) 城 白赤二兩、水二代を一代以紫州ら、二回以代別する。 「悪後の 緊急、皇珠されで紫雕して割り研り、 監督か十江太から二十大をかる別す。(経緯古) 江水子窓をる。「八三谷織風新」 ならび 學寫正兩、 の家は競り 九にし、 では、 # 0 24 4 量 q W

智飆夫血、腎飆部重 等も計スな。

(1回)合字へ大聯ニ魅

111 9 4 71 可 0 8 紫赤 .1 間 1 は高い 7 :4 素苗, 335 ر. دیم 02% 談 :4 7 羽 2 21 ALT. 19 0 は残ってころう、随る間とは 當 7 2 0 各品品 21 ¥ 刑 遊り · 日 省。 1/ 21 月

以次費けるいってあるおろうるる。 を まして 耐郷の まる 0 0 0 OF 金蕎麦とは切てあるところからの各で 難の動志な、 鄭 0297

兴 P **ボア**お繁歩と 24 X 2 のまな 0 数が不る U P 2 82 2 54 0 帯

な

が

美

楽 は落の字 おなるは .1 祁 が MF で整方 146 21 羽 薬 とおかる 0%~ 0 21 (1) 34. 21 买 21 2 雅 して食 M. 0 長黨 貅 0 菜とお系就 1/ 駅 梨 0 21 1,1 末 9 野ユ G 0 0 2 P 1

期]

[実

36 とりておけれるの がで 及士 の是 杰は響の全 中古とは薬の形 3 水黄芹 録びを強えずのであって、 [11] . 重蟲對 17 8 B 学組とお財を以下名 東大配 4 [1] 東目 , | | ,) 日 c者 o形 F\$0 0 王 0年11 法

第七

明。山

· 4 五年 本 本 本 本 -f-~≤ crispus, ~ L. Type ≼ B. crispus. L. ↑ 山梁赤、黒、州 県シで右へ B. (河形二年八十世 キ)サアハト合は(額 カン今はン世門然か ×。城床、全數二共蘇 大祖今で 引いた へ支派ニ 許を」をノイへ + [tt] なおおきしきし即 二家インコトキ強 1 で果シャサンサロ でていな谷間でナ 然シ丸問題へ支継 4 致スペケンド とはちゃ テラ 烈サ×。 海胀 がマスマ 市 n.

Monoch ria vaginalis, Presl.

弘

环岛科

こなが

岁

京

*

重

車

みいるらの称(福草科)

回 中古菜((目) 毒菜(猫 八景) **杰莱 愛(II)**(| | | | | |

4

盐

(1) 対世日7、羊翎

現

羊配大黄

将(遠将 2

Rumex j.pon'cas, Meisn. 以 財學科

そしそし (水) 嘂

小見の「町丹割」「歩) 温温 棱

薬 L 1 = = 葉下 丹毒、 三 八曜 二 ルム公点早 ---< (四) 丹重 三 大曜 ベニナー

の日上井

マテテア マティー マティー マティー マティー マティー マティー マティー でディ

福莱(恭) 7 湖 繡 菲

蔣等

薬のお響点の似て 水盛い生でるもので、 落意と記ると、 赤曰〉, 小さり、我は青白色である。これを蒸して食へるもの

[世 真]

ò

答

以

Į

思いして毒なし」

て出

郑

溗

池

払が美か

て南地市でおこれで魚を蒸して食えば、

2

° 2

である。五六月び莖cmyを採って暴葬して用。

XX XX 2 P 熟 24 17 2 大鏊さ六代引 0 ロんで 船 気が色のま語と各 6 54 2 -6 きる素 4 别 18 狮 日米 21 2 0 添 + 74 剟 2 なるなるな 曲 0 制 2 + Ш 三三之 n 长 2 7 画 1/4 間盤で蓋 7 21 OR E 21 S 9 9 不 75 [44] MI 0 班 82 q ユフ 2 B R 0 A 排 16 公斯 33 1% 54 20 0 順じ 石 뫪 2 吐 0 2 排 7 7 末 TE [44] 6 11 0 (全) 監 70 +1 酥 .2. 點 10 -班 小が 大黄 显 2 0 54 0 語で というと 0.40 U R E 圓 0 机 等 菜 : Y 虚 9 題 M 21 理 大ゴ見かぬゆうゴノア三年の古 末 る例 9 4 6 导 W 71 變 金る(千金代) 未六 歌之1 赤くなったところを無 「新東の言語下部 MA 21 科 III [1/] 0 i 8 画 回 0 哥 49 通 闽 8 7 Ξ ¥ 圖 P 21 额 II Ħ 邓年 于 未五 器 する。(聖惠北) 9-21 7 う 胀 囬 21 郷 対い。(永鮮
エ) 至 21 ¥ 111 で赤 d 74 頂 显 Ģ 7 71 0 爾籍語 温明明 14. -1/ 4 须 0 4 瀡 批 R F 21 뫺 煎じて 利 扩 2. 21 Y 0 핸 るな 浬 孙 不 B 2 斌 28 I 部在 1 2 1

> 0 11 事 平平

图21 羊翻掛お水 蛟劔六古る 【宗奭】 , ~ 日 ○憲○字 鱼 21 競 *4

21

21

74

演じて

54

E

0

200

惠效元

21

FI

28

1

2

0

語で露り

R

0

8

24

6

珠

21

24

滁

1

È

。愈

0

14

面分子

21

扩

7

#

1

墨

目

不

16

X

+

绿

議名

2

6

狱

R

排

of g

陆

21

11

4

2

0 82

6

别

B

ユつ

7

5

0

2

6

亦ぐ適用 三金二次用次二 特州子 + Y 111

21

財お中著

0

夏のうちい枯れる

三鼓の子は諸が、

開いて魅いなり、

北北

0

薬

ケツ対は無って

西は今や青白~

あまのやられば、

動談の

薬お菜の

, 〉 日

○宗 ○颜

2

型~實しア

0

24

0

い瀬色料るあ

2

6 伴

R

汞

思

2

CP

田

ではそれぞ

東家家

(i) (j)

平衛子上野日

薬

6

0 20

2

21

波毯

本も子をかはら

、人宣

6 一根を加工 21 単頭 ム ひ 画 金後の 置で暫(PI す】、明経)【蠱毒を張す】、恭》【練を治し、一切の蟲を發す。 别市 哪 别50 立 【熱作二三遇を水半蓋が入れア旗ン (大明)

〇(四十〇)川二十。

掛くてきて

H

财政拓嘉一整端、火

こと、三十五)九三。

一整點、大

お山藤監

°×

はるこ 新 る無 「長野する祖等」 婦人の劉始](本壁) 焼を倒く。 派臺 一題系 県 Į

「つな華ムつい 0 制市 水騒をご 寒 砂 、つ黒 4 、上班 館~三黄 规 · | |日 됐

ソファン館及ファン

h

しきしく財ニア

(西) 木材(現) 日下

o却 o包 0 9 小毒肉 マーギン 赤口〉, 沙 9

7 21 0 # 7 琳 の星の中 本を開いて子を結ぶ。 CA A 夏至ひ枯れて林野~して生き、冬を煮いて枯死 4 見をいるよう \$ 29 品藻篇の今でが形で は長さっ 夏以入のア党は掛ち、 薬 0 1 4 2 一只近)はし、赤黄的シ大黄 R 斌 0 21 5 4 M. 當 2 X2 のなのなのは一回 A FI 香 21 蓺 X 發 、 〉 日 0 9 長さお 717 C. 2 M 薬

O (F 時。

子を金蕎麦となけ、 青白色 FI 阿南首 業 X. < 死シャ同動 = japonicus, H 1 腭 刺留へ翻谷、 赖 士 問 開性直三圖火。 卡 = 置り。今へ 深 4 樹木~ 0 平 に川い山 pus, L. 問動で いナナイ Me sn. 6 イ見 00

0 数 顾 羰 E The 以 Ŧ 本はして帯な 「当~覧」 和 1:K 實

游 る小学 の京郷ま たるなは 四い息肉を生じ 影響方面】 は出き出す。(電影) (H) いるか、そろこ 显 1/ 树

(小學型) 数方去る いかがい るもかる 郭惠血, 111 .F1 一道な器 -279 棚 7 316

21 剪 > i 東江 冰 [4 の割の 洲語 ある」(語) 0 の当少 菜のして多く食へ知大棚を皆する「天町 いえれ籍でない 2 0 9 02 02 OR 111 É マ解 尿る下とし 劑 「おことをまなして毒なし」 000年 o CA 名で 924 0 利 71 Iny 2 B 0 終す。 28 金へ食 0 る準 1 FI 0 胡魚の 9 2 N SA 洲 7 ना (·) 野 河 不 11 議 基 F1 独別が 美 印 宜

(孟姚臺) -4

響る (重要上)。回 21 114 9 排 项 B 鄉 ユフ 21 羊翻財正代爻奏梁火で煮い四正 は、実網 (II)-整合 H 目 2 21 音を入れ 「最高深無」 0000 して治水で形え。 滅まアを致りまけ終のア黄水が出 小脚 。2 7 谜 411 記り 27 9 の製 酥 歌 韶ドア攀末玄 21 2 歩を読 54 光部して 非響 末 家へ FI 思語が 21 制 ○千金ボグ 10000年 [11] > 瓣 9 7 2 30 Te 吐 評 Z でるる。 2 9 鼎 6 0 1/ 歌 MI X ## W 2/4 > 2 1 調

> X 2 e A انه 2 4

中破陆气 今 fin hd 中 () 計 ス合 型 (难 生 3

(ナン瀬線ペトゲヤマ

71 02 607 0 B その語子の上び灸を百出 2 欄し、 ~ 大 ひなな対 **動耐水紫黒ひなると船~簡骨を** まれて 返れ黒~、返れ青~、返れ白~、その中び 然東方面おどの語子が、 細ひ入ると然の死亡するものである。これは、 31 中心り塞する自己の深い球はある、 中 倒 「海東海灣」 新、季到とある、 あお赤り、 0 涨 1 過 树 21 :4 料 華

设圖 21 公子 「暴煙頭頭のお生ではかな形を現す、それで下ばするものである。 小題を録す了(議器)【私を治す】(追景)【陳を歌をるびお割い】(原長)【行弦を 日でなくなる」(神经) 嫂 のと凝しい 壽 21 許る薬 果 Ŧ 0

球は微し苦し。 は酸し、 並 は今日~、 寒いして毒なし」 规

溗

る部门 示を制 那 71 事 54 と重はアガロな行がを刺の 薬 班 ° 4

A 小さり うの独幻赤黄色 がの 薬 でおったが薬が 小 000 加いるある。 い 話が 回 7 立 盟 0 41 末 、 | |三 34 次 28 刻 OF 5 高和 :4 1 FI 州

の公母へ

· [7 5



°× 加蘇、精七戶 (10)

八日祖

(10)血源了事念

II (連 出 鄚 5 <u>刻</u>

Rumex acetosa, 科(護林) 2 :4 田 章 柱

思 **暦**(同) 麵舟(剛目) 一般與 香藤 山大黄(計
) (目總 山羊配(Z 蠡

書の部は慈術を豊田 ことの母 可能で (O) 引 が一般 東ス国って名けたものである。三葉競母草と同名な。 強数お生 また。 蒸業とあるお類類の発音の轉揺、 題です | | | | | 京としたの の気 をひいい 逾

, | |日 音。那 挪 菲

9

P

71

蘇の草があ いいいのいまりかった S St 21 點 れを報するもので まして 孙 をはていった到了

鄚

を一般

2

0

お羊翻薬が刈ァ小さう 装稿子のやうかある 狱狱 生する。 間以下を生じ は日の国田 の場 2 OR 28 27 128年21 浦 1 薬お 刑 , 一日间 湿 。公园 0.1 潢

世間で 郷 末 21 これは山大黄で、一名當薬といえ。その栗は強っして美地な。 封 0 京野(9 P 7 -9 1/ は酸源 重 21 瓣 英方食人。 のマスとばなばて る。という。 71

(三) 大驛三野空下戶 一班ら亦派

血逝

二

041

(重問題多)。で

FI 動 はして 三型 てらい 思冬瀬を研ら 龍石車 總面積入 歌。

11 1/19

の一個の

到 1-16 Vi (4) ÌJ. 珍 以 Į 「つな輩よつ 21 「十~縁し、

洲

源

到

2

1

智 21

0 2 CP 21 5 雕 三番を を暇を

はこれを丹砂を煮 水北 部 11 耐き出了白色の :1,4 0 .1 2 1. 四下香 9.4 ् रेश की XC 浮森 21 学者 "冒 祖。

科门

水刻の主

71 排

0

00

状のやうな

31

0

薬お大薬の森菜、

中に生する。

믮

船

小器や記

0

退は

116

の鼬

[罪]

及公来或 基 立

o 中 で 会

翔

菲

し業業

無未未 自 鱂 喜 呈 3

日フ、未籍の開展を開き (1) 対理日、 (小草や前温 ×。

94 El 準いえ 葵駄竹が内肌するはよし。 対の薬アシの四面を附へて太昊を初き、 颈

電影 少し対なもの水の中の生でる。今一般の正月江日の孫のて遠し、 , > 目 0晋07년

るア基次良

田

と治するに

0 近月73秋る 生きるもので、 27 水 0

9

星ム

...

半。 64

臘

4 僻

日 짺 班 (

主效が 21 加重心測 香園調部、 。つな華して盟際につ幸和、一日 上墨(图)

のととである。 0 Jan 20 20

4 XC (1) 盟 末 71 4 0 これくなから 既习世間でお羊縄を中舌菜と和んであるは、 いるのとないるのとなるとの思い 14/7 02 , ~ 日 220 c (A 。却

恐らう羊鰡といよのは 21 9 いる、其中はなり

排

事/

\$

葉は大きしして中耳のやうな 野び東大郎大の会見お田水中と利え。 , ~ 日

B 7 名派者とい 月實は珠る。 Œ O HI るる ○瀬

ス副行 見到光 長さ一 歌はして春な 地域し、 る事 到 60000日子 る認 1 X 0 の主教がある m 字舌實(服 級) 原立金す 緞 、つく頭 树

激える。(下金代)

171 ·--4 アントテンテ目が、果シテ然ハデアアかりないまれたことす 爾實 u H おキャイスと 狸 孙

訓 壐 留 皇 31 FI XK TI 0 24 薬 继 ユマ 5 de 9 4 7 (0 隐 非 :4 UZ, FI ຳ 继 2 7 T 0 2 54 Ⅲ 霧 0 B 2 T1 珧 0 6 P 146 0 7 :4 XF 个 0 21 9 146 برآا 孤 6 r‡1 冰 狱 0 :4 24 薬 不 U 0 7 2 0 R 21 空军 9 目 P I 21 9 H x4 M Ŧ M PI 21 TE K > 0 日 0到7 2 1/ 至 FI

8 6 冰 狱 21 A V 1 000 6 迴 21 146 はCID車 HH 负 꾭 0 啷 76 21 to

0 1/2 2 1/ > 型 71 0 B 27 Z 3/ 21 が記れる 71 漸 £ 1 .1 日 offi 0-4

9 \$ 2. 0 4 謂 R U 2 21 IE 71 0

B 主 8 2 Ce 26 24 2 54 2 0 多引 閣議 Tal 71 R U 0 21 业 2 41 2 Y 24 E 1 洲 派じて 2 2 T P 6 1 0 2 2 過豐 1 源 > 1/ SP THE :4 Z 4 71 1 :4 沙亚 21 2. 9 沿 到 5 C 悪 岩 31 20 de 0 de 0 1 黑 1 1/ 纽 放逝を治 7 54 U 0 富和 排 Y 1/4 71 2 7 T ユーマ 21 生る 寬 6 :4 测 9



月 :4 0 h B 3 9 P .1 7 CC/ 溪流霧 1 1 7 0 34 9 狱 54 334 71 1/2 7 21 7 表 16 逐 21 颐 HF. 21 0 1 準 (0) 蓄 21 邢 銀 1 개분 旱 東 (0 ° } 首 -14 郑 54 0 17 54 0 7 24 1/ 7 9 ~ 霍 \$ 67 3/ FI 0 証 21 0 卿 寬 1/1 别 2 1/ % 71 Z 24 9 王/ 71 2 de 21 Ŧ 0 21 fl A 0 퉭 Ŧ

T's

0

R

0

ユな

2

0

便 黎北 彩湿。 ++ 댔 N/4 E IX. 1 3 4 146 E 1 35 HG 3年 3世 146 指 Ħ, 批 9 <u>M</u>

里 2 6 P 21 邋 雷 71 2 4 0 1 21 沿东 黑 71 涨 夏 響 習下 0 146 蒙 FI 邵 影 न `> 日 高品

琳 月 0 生する 1 H. の cm a 選 立 い Ŧ 0 CA 9 24 郡 画 FI 200 3 A 田 為小 71 0 B 宣都はい上谷の 54 理響 根の ° , ~ 日 点 21 九節あるもの g. 6 经载 斓 2 21個 0 菲 狱 2 0

4 一等 MIO

0 9 である 松 继 0 薬 0 7

测

0 音以音

E

省

靈小

はままれています。

製立翼ン場下

118

6

罪

1

伂

亚洲 =

川首樂號以後間,

阿曼阿

今西安

3 和 2. 进 黑 ? 颐 XX :4 干 H 0 200 2 0 24 6 S 7 罪 崇 .)_ なって 0 9 P P ___ 54 6 1/ 21 漸 显

71

ST CR こって 題を家 2 27 0 0 A 到 北京和 旦 の意 q 1/ 2 9 FI 21 罪 54 ひえ de II 體冒 57 0 7 言都 上 Z 第21 、マダ省ユフ 到 ¥ 料 · 247 0 美 2 FI 21 P 浉 作を始 兼 0

排 狱 9 ×4 0 雠 甜 [___ 0 21 2 拯 34 赤 呂元 0 なるる事 X るる。 21 剪り 2 0 24 置は百草 から賞都となけ 。 空 苓 事 24 賞は始めて B 24 冒經 27 2 21 77 目 7 恵 +

0 I 狐 那 三五三 FI 0 B 24 當新 , ~ 日 草草 XC 是 **美** 1 別錄 警冒 岁 繡

アムかムしゆで特(天南鬼将 弘

Acorus gramineus, Soland. 岁 球學科

(本三部一品) 鋫

きしからいまれています 雅 辈 クトス日や 水图~~ کہ 面から出いていています。 55. な(白首) 小器 4 重 郞 心 47 1 **≥**~ ·-興本 日 A 4 \$ 堆 啣 4 並 7 4

1 お十八人

q 高さこ = 4 G P 高さ 重のやら、 71 71 21 避 京 21 強人家了個刀鉄系 2 0 色のなのおがままし ン川田 A 調十 北京,並以險市近 2 24 Z, T 到 Y 職っなら、高を四五七か葉 近 21 0 CA :4 遊が抽色 排 排 北京 薬 2 74 2. 7 温で 粱 II. 2 2 満は 114 AH 111 21 神 龍は二二月前 de 21 X 000 - 0 4 A J 7 £ 1 50 (1) 28 0 茶 罪 3/ (1) 6 1 1 17 0 71 21 2 1 2 111 31 FI 1/4 薬 (0 21 當都 0 B .2. 法 酥 000 Z, 間 加爾 量 P 3 Ξ 0 出汗 RE 背帯で 3/ 0 21 1 認認 距 7 TH 4 . 21 21 业 9 1. 法 2 0 0 2 沙 B 只館のあ 镇 羽 33 ---:4 0 24 OR Y 3 FI 54 71 6 FI 9 1 が随 2 P 0 6 0 7 B 4 .1 8 2 21 1 7 7 業級 高さ 26 种 0 N 0 い覧のとおえと、 . 計 B TE. 0 9 5 7 ì 21 貢 B 44 IJ F 温温 M 扩 以显 PI 75 1 <u>`</u> 21 业 湘 1 1 21 F 71 雅 湿 02 田 XC 17/ -31: なる :4 ユフ 冒 3/ 71 2 21 息り 业 El 士 71 0 FI '> * 树木 晉 冒 71 14 R 0 X 哥 HV7 日 1/2 0 A 0 0 卫 0 刹 滥 量 E O K 酥 哥 0 瀛 0 200 根が 中年 酥 0 計 :4 班 4 孫 2

24 2 14/7 2 減の 0 8 会計 0 2 28 34 古び多人用ある不言都は次 Y. 0 21 8 1/2 薬 くら、盗 36% 印不 `> 34 14 >1 副 胀 . 14 瀬 71 近郊の 洲 :4 调 1:k 2 2 7 のなると素が +1 34 TI 2 6 0 8 21 23 3 祝奉がた 14 7 -1-運 21 44 茶 本 經經 业 3/ 水 2 0

-1-

1

、事 K > 雅 通過 24 1/ 郊 流流 21 71 2 24 强 4 71 ·4 21 71 0 .[. 1 江 7 9 21 XL 薬 1/ 82 与行 鄵 東方 * :4 香 CP 9 2 排 1 7草 忐 田 UK 0 0 2 望~買し、 200 事 > 56 B Y 0 21 02 0 2 彩 7 到打 邢 54 4 21 9 これは薬び入れて極め 暑 3 :4 画 迹 4 27 2 TI 媳 28 .2. 7 6 1 2 . E. S. F. 間 1/2 7 7草 21 54 A 1/ 0 7 2 5 亚 間 34 9 *辦 B ころらかい 根が 6 少 4 54 24 Z 0 0 7排 FI 7 24 54 酥 1 0 . 骝 11 THF 干 事/ 54 0 0 0 なる下 16 本 本 B 灦 9 G B 21 0 毕 JA 10 阊 54 1/ 1 0 K 0 24 71 次活色易 9 .1 71 0 `>7 。 いれ 7 摊 水石 部 > 6 21 14 7 秋: は電 骤 田 PI 34 21 向びかしの **から大節ところではな** る 泉る 水澤 薬 A FI 量 27 R 21 0 9 * 似 本が が新 FI 0 人祭町や 0 . 24 :4 de 8 R 7 5/1 0 派 21 -B R 9 (1) C' 0 3月1 狱 息。 急病 6 0 Ce # スな B 9 重 111 2 N 2 0 0 U 7 红 27 0 0 絲 2 CA 2 0 今はのかは今 當都 排 2 10 7 特 賣 21 ×4 21 ~ Ż 新 鲱 4 H :4 4 0 2 `> 2 XIII) Y XC 引 基が R 科 0 쮎 54 * P :4 21 灣 薬 41 2 28 X 3 B 国 2 具合活 哪 X 話 21 排 0 71 21 Y 证 百 2 Z 0 0 24 8 ব্য 忠 P CY CA > 銏 6 21 0 0 0 2 7 濫 中 28 日 6 th 21 .1 卿 干 TY 6 2 24 7 2 7 01/ 2 0 里 斌 7 買 繼 ×4 0 2 P

冒

54

8

\$

2

0

9

る近

8

6

9

小さ馬

4

倾

種えて

(器)

や石

器互

TI

2

K.

兒

0

1

AF

挑

類

翻

윘 E

15 百

<

羡 Ŧ

3 쮛

1

갦

然へ 丰 110 毕 恶 曲 hd 嘿 經 鹽 1 鱼

要暴 4 ° Y 群 TI. 爽 部 照 部 (

1 沧 「常り書都を聞んで水を 周頭仙い 太賦高皇帝法, 時 動 動 動 の の が ffi 、 | | | O 0411

徐家 斌 8 000 54 石 0 酒で窓下 o N 泊 2 近北 ijij 21 熱陽 省 いがって 99 いとき一一十を聞み、 平平 吳寨萸, 20 歌色和色、 州 油み 墨 量 2 突然心能を患い 0 71 古方に 一二十多取 , ~ 目 、ユフ 精新を治するに、 迎 機器 数方ある。 Hi 器 發 0 币

熱行を肌す 散す。 2 画 鵬

\J' 別 選り V Y 0 型车 天中を延べて智を経 0 工 小動际されるる 打 fin 44 0 풻 2 数額におる人 船駅を安 洲 B 1/6 A 쀖 0 0 îîî 是 28 0 79 派 韓 TE 、一場を中間 1/ 0 7 孙 型 下水流 ジア 0 職者の主族はある、別、胃を盟め れが、凹豆、大韓の毒を瞬ず、海舎) 心頭頭。 8 画 of-TA 证 焼い乗して悪んで器する。 常了 迷い惑は 简 を除き 计加 問玄領色, 国市 1 動制 通で 画 かよし」(眼縁) 4 常公 顶 は写る時 孙智】(頭聯) 文形 · 本本 . 到 りからいなるがらるのの hd 2年21船 、つく頭で調が で重直 (短半)、お子 證 、り谷しつこ 前(x)升梁】(独古) 【中惡、 噩 器 0 て田で輩号 6 不 FI 發 来 R .F1 21 潜艦, CA F1 つか 兴 28 A 721 -6 抽 0 21 服 趣 Q A 旧 0 県ス 前 7 漆 74 HII 請 0 गुन

(武) 外聚へ胃헖攣。

県 Ŧ

° ア
お
ま
う
は
。
人
な
し
ア
山
並
を
生
る
よ
の
ア
は

はいい 21

、~日本で 学内を忌い。 0 らな立、一歩~品 、 与 国 。 器 一部である。い。 【つな華ムフに歌 地間 素光は動となる。 、つ幸」 利 沙 泰敦、 3

F CE アと用い 94 つ際 9 子る子 24 FI 21 8

> / П 1

Ħ alt

へ主気を下 いゆてるみ

11

城莖

東)日、田

CP 田 思 運 54 Z 下南 名のあり 制すべ 2 7> 114 子記の出 おしてる 方法 0 寬 AH , | | | O 等

20 田 きんで K 21 垣る 刹 秋 0 嫩桑 9

子 0 の四次車 十八九節あるる 画前の 丸一 简は酥密かー **殿** 下 か 黄 黒 色 の 黄色で頭~疑り、 いれるないしかならばっ **:**(神:) が対 根の · 24 、る事 江東地で 21 न् 里 994 24 24

0 24 8 0 0 酥 Z 配 夏曹の一 家な職へ 配置、 する場合いは、 やらな形で、黒~ 田 到 不 極の びてる山 排 1/1 71 , ~ 日 なって 。循 o CA 94 果 ましては 剩 报 H Z

9 P 2 ルマスと 子子 _ 年を長くする が天 愈 2 6 加

FR 0 S 7 **言番は私を見ることを得難し** N 迎 『背番を花の 21 W. 少 画 (0) 馄 B 巡 昔の人 ·1 14 51 。 2 4 2 7 7 f1 Ck N 뺉 誾 14 北 い黄色の G 34 郷 0 57 9 Cl (, 1/ 2

> 雅 躺 鄱

これができ ールを含有下。 特额的数据 1 + + 1

咒品 間 沙 2 1 21 7 1件 . £1 37 21 74 0 園 R 墨 旱 卫 21 HILL 0 1711 劃 21 9 1 4 X

71 到 21 37 8 7 打 4.11 師 シーつ 27 79. 0 部 彩彩 21 Z, 不 沙三十ママ :77 R 7 1/ 71 アンプ 7 -1-江 0 7 [7] 1000 31 75 . 5 R 2 黑 P All 7 A [1 [] 7 不 温 Tr. 北 7 FI 程 34 R 並 1.1 > 7 7 FI 風 子 34 0 が対 CAR 7 刚 21 2 淘 H 2 いる多額 28 7 21 71 `> 1 21 14 1/ 量 多 事 54 My 别机 54 0 坤 2 沚 7 2 0 0 re sh 貢 掌 9 狱 细味 34 P R 22 OR THE ? 墨 4 報子で 显 0 -3 掛 1 0 1/ 卿 0 事 继 9 74 X 显 14 10 54 24 B

Y 7 1/ 不 21 54 を記る N. this. 24 1/ 编证 2 部 ユー II 挑 2 24 宝片 河 部 S. 不 别机 及 景 1 1 師 IK 不 y.1 测 71 當 はない。 7 111 2 % 4 fy. 27 2 22 (1) 1 ME 92 7,50 ffu 孙 行及 别机 ilif 不 就 24 1911 目 水 6 3/6 0 1/1 .1 0 加 中市 28 嶽 图 71 料 [n] 2 7 346 71 意 1 0 雪 逍 却 印 P 闽 > R 别员 ¥ 哥 0 器 湿 TY 到 圈 显 iji Y 0 2 П 0 源 19 疆 女 27 7 響 7 島 24 23 > 兴 酥 74 5 _ 訓 7 R 1 54 7 訓林 0> EAR. 测用 0 R III 0% 54 .1 H 網 富織 温 閉 Q1 110017 71 F Gr. St R 排 2 開 重 21 源。 R Щ [1] 9 2 21 子 7 随 口 及 0 いお声が 級 5 TIJI 畠 2 21 寒熱、 重 9 :47 \$ 41 <u>C</u>. 県る 離 五 2 常 `> 2 R 0 自 劉 꿳 All 24 21 至 0

> 随祭》 地 月 計 體 二 死至平精寒 事事事事事が -6 外 Ŧ 旨 1= 晶 **~** 3 4 H Y ≟ 天神元 独 4 省 噩 哥 <u>Ĺ</u> R . 다 다

柿山の震薬である。これを肌するのおお、小とう翼のて魚絲 塞 士 7 71 0 記りない ふって別すること一个月に 卿 更い肌すること正 :4 21 噿 赤~ 皮を耐去って切ら、 75 24 4 5季 館いごの 北北 味しま予了更以療室を入れ、広色を予了語子・ こうなく温 青く 。显 砂治よく浴がし、二个月の煮をひり残る排倒され、 FI 随 白髮和 薬 水と米ٹとで各一本での彭し、 世 2 就禁制了更切三十次必服す。 、つなこの 0 q の冷する正徳は正行び頭するも 14 保容が のア風の當る場例い置 **元實し、随色元** 織っ の一下を採り 九を服し、 首都お水草の酵英、 骨髓冷力 器米 温 薬 30% はと論と論び、 0 H 2 0 が食 B 11/ U 0 12 室市 S. T. 54 雪 Tay ユフ 2 0 U 脒 B 6 Z

0 N 1 · 29 770 亚 出る記れ 心源不同 。公华 是 1/ ないその要節を踏載しよう **秋7** 歌び歌 い記載されて · 24 刊 後の 2 量 2 6 観新の上 當新 不 薬 凝勢の 湘 中 21 H 高高 た。それは高皇帝御襲の韓文 中 源源 图图 間はれたときいるれを服す 中で様える 劉 溟 いれるというなるのがはないが、 41 · 20 00 の主 するときはその シルラス 現立幸であって、 『ブリンける法 ひなはてては一場をうてて 75408 雪雪 FI & CL 歌 中で 源 田 94 亚 マル FI 文章 间 21 24 準 FI 冒 0 0 De

FR 火 T いるない 到 審 313 時 21 ..2 21 よけ 員 R 21 feb E ffi 便 X 日 雕 []|米 7 21 H :4 ENE 十六風 子になれ 菜絲 ユフ 20 日 旦 H 举 54 测 0 9 目 7 ユイ CA 24 74 年至主 邓出 工 11 `~ W 五 MI [Honb] らなおてつ 7 别 て違う イフス 被事者が被事者が 桂 R 贈 9 九節の菖蒲を PI 6 影圖 华之 末さ 28 不 2 变 6 Z 機器を忌む。(千金九) 74 米日 业 60 3 AH 2 0 7 44 0 日 量 7 ね火光で照 H 0 B 36 20 고 -21 桂 0 2 2 加爾 留 to 3 1/ 間 V 717 1/ ユフ る様で素ない 21日 M-なく 那 日 0 通 > hid 6 CA 顽 0 平Ш 擊之 AH 71 意 -1-2 る。(千金市) 間 0 甲子〇二 为西 H 2 2 溉 部 領して 當課 器 6 8 U R 3 00 Z H 7 韓 シャ Y 21 神らまる。 京音水槽 r 14 0 【服金老】 2 0 200 ¥ 1. 沧 0 长 開発を関する。とは、一個を批問 不 1/ 21 しなく る。 柳 源泰米一、 4 Hu 0 灩 酒で 離 华 B 3 日 06 PI 5 27 燕 ない る。 de 0 24 にが服 (前 一条十六。 闽 6 湿 0 14 4 一下子 聖与順 日三日 当城 颠啷 T 語響 なく 别 PI 雷 7 24 圖)。 ti 哲九 -6 54 21 P 7 7 24 經 AH V 5部 ·4 7 6 零 别 織 五 111 000 及びてない で配う 21 215452 中川 R X 21 五 Z 21 4 SI 4 末 雷 末 4 6 0 い。(夏 2 21 2 27 2 5 0 树 9 未 9 鉄 目 2# 1 2 淳 龙 9 盈 沧 壽 1/ \equiv 扛 雅 0 細 + =

三十六風、龍十宋史變文志三宋史變文志三年六軒風鑑末三十六軒風鑑

思大。 最大業三一 一巻も は

CID三十六風

34 0

SP 2 倒 (5 関隔するた CP > 钋 夫して へア現し、歩幻参、苓、下 译 21 复 熱原から胸を 夫し、山薬を用めア関 21 YA 見よい 誾 1 4 米角で調 de 54 中 i A **谷間でお、木香玄用のア監**切 剛 當都を加く、球 °7 54 9 6 たけ参考自小部にある 驯 2 禁口打造 U YZ 下麻麻 當新 寒である。 0 , > 目 曹 71 51 ・一の一 亚 2 CP 2 一部 田 21 不 54

倾 1 7 B 21 0 私 1 25 活 \$ 学 TI 9 21 7 ユフ 2/ =71 CP 1 4 45 派士の 瀴 July. 2 資級として 、1人玩人の更习面目い。その天平分延、と主我を完らするの、 CA 9.溢 8/2 八しト継跡 1 学 72 21 4 树 独 あるの間 4.4 21 、ユフロ 41 0 排 羽 07 7 6 2 は間れた 別 7 21 お称するとへ 华干 淡泊 .C. r|s 0 路路 21 强 青水で盛の ×.4 ユつ 0 記い 须 Hu 淵 9 74 連な 師 小水 0 及 刘 で寒。い 財量が 14 H 大いい腕 20 匪 下い生までも が電で暑み目への 0 脱 4 子 點 n A 比強いなるべきものでな 0 學歌. 割冒 02 24 、別~別を目とい 聖〉更 ス十 71 NE 卫 星を見得るやうび 東方 2 FI TI 石 6 冰 京之 A 至 调 沙郊 24 21 A 業 N Q Q o N 水水 旱 (y) 71 1/ 里 V のえな層 して生きて 惠 21 は料を 鑿 珑 21 ※ を対し、 罪 9 0 東 FI 杀 44 2 月 痲 無論昌 2 28 薬 . H 34 や湿 50 0 0 1 2 \$ H 9 0 28 0

1000 14 班 水水 SE SE 47 21 0 ST. (1 水温 14 11 114 小艺术 東江 () 淵 罪 綿で一一 2 3/ 北 21 H ととさ 2 11 訓 別 1 而而 H 铺 及銀江行夢 及前はま 6 ある。(下金江) SF スシン 111 21 20 ない。 82 头 8 锁 28 ME 近火で無いい音 0 113 班 (C) CA MA Y. 0 (0 記 引/ あとか Z 罪是 21 那 林を贈と共に 2 7/ M. 14. Y 果 江 7 F. CZ 0 2. (1) 0 2 發門 到 \$ P W. 82 通 0 1 FI .1 (糖品)。公公 通 0 田孝置田 100 94 TIF 一张 火を水源 1 すって香せんとす 21 6 21 石営衛を随き納ら、 鵩 题是 ある。(前知部竣立) 胜 83 AR Ti: Ш 不 TIII 数)。 る。(永天主意) o宗 o颜 かでは 14 1 0 21 9 滑 小小小 7 2 繆 H 食前 汗水 憲)。年写園では 图 「選舉」 F1 54 ンシ \$ P 0 004 1 28 でできれ 罪 6 る。黒島 な国ない 74 11 で調 小春、春 2 1 1 6 0 4 HI 别 2 重 21 目が入ったとき」 西田 旦 競 X 後の 21 28 V シーコー 辨 直番の 7 間 **変お日月次**全 FI 河 わる。 (鑑計要場) [3] 見 放かある。(學階級) Zil 三ユ q 21 。(進 1-E 7 末 盟 . 5 肌も。(下金) £44 21 F1 0 313 福 排 汗 21 事ら、 及 = る本 計量 ユつ 卓 th 其 「那絲の 0 ζ B 剩 0 目 0 R 水 彩 2 붢 de 2 とされ 54 響がいる 順じ 其 誺 54 1 .7 0 9 14 獔 息 上なら 2 2 聖九〇 末え y 41 21 4 Z 0 2 0 0 +13 零 鄙 扛 噩 别 联 歌 排 9 級 种

(三氢糯刘 《 大門 三日》(霧刘 米 些 公 面 報 對 階 翻 辭 山 是 國 畫

学中 雪像现 米 딡 赤球 限と思 問問 服が 當新 別する、(聖惠氏) 0 ででで言語 TIJI 21 9 電見 早 九間 H 圓 を対きる 心下は館色 回跳す。(都人更次) 4 では 0 继 切の解毒】 6 Tip 料3首番財行玄緊答及び。(相強正) 學管療総 弦響。四三 MIT. 圃 뒜 市 亦 未 2 できる。 で派へ こかけて温 器 到 前の 0 「赤白帶下」石菖漸, 型 シコ 日 石菖葡九兩玄睉石、 上線) S 训 2 in 圆 28 避 鴪 量 0 ___ 回、三鍵で こ確で でで で で 型解す。 (聖野籍) 廊天界 6 0 20 澀 Z 日ーユン :4 柳末二幾を入れる。(音数ま) はして はら、その 代を 四回 画 明 21 6 容したる 1) · 2 市祭 21 い。半 __ 7 頂 題部 02 + 賞都を受した耐で調 ~ なる。(相後代) F. Ch III 王三 不 21 F1 21 FI 、分器 曹 须 田 7 11 2 · V 網を軍〉 廣 壓 颜 0 21 0 條 血精の調 ना 2 子 74 不安なるよ 那 N FI 71 0 **封末さ舌の下へ** は立るに 潮 水で 须 奉 4 型 ないまでいる。 FI 可 0 (請し) 班 + o N を単 由 出 须 REST るいる 沧 9 2 ココ 0 000 日 配金品 2 食節、 14. 糊 10 £1 シンソ 鼎 P 别二 喱 21 7 21 Z 搗汁 責 多 ンつ 2 21 よいま W. + 部 21 随 鼓弧】 94 垂 ×1/2 黄 沙人 显 603 92 狱 0 0 主言派を 21 21 自弊等代を末 7 图 狱 来 4 扩 21 XX XX 巢 自麵 季 21 9 0 21 21 2 4 【精節(中 草 A 級 9 末 1 6 真 R 慮如 · · 6 2 - 4 子 運 傾 腫 R 撒 R 不 県 末 0

二豐湖. 大鵬三計

九卷

為

聯目京思

当

个 深 0 21 B 11 1 CA らが 山 27 媳 不 26 以即 21 54 流 孙 FI :4 > シ 8 21 A CP 薬 目 2 23 通 0 場が 111 34 21 0 目 7 1/2 17 1 0 种 FI 4 :4 排 薬 0 っ本は 0 9 9 0 ٩ 酥 28 9 ·/ 7 料 1/ 昌瀧 PI 21 副 2 28 业 41 311 0 マルル 雨南 2/ FI :4 狱 21 XC 37 .1 21 2 7淳 京 學 FI 0 0 2 2 かかるる 狱 0 0 P > 言で 7 İ . ! > E O 4 14 0针 目 26 54 FI

P 2 シンかる番音をない 2 シママ Z 3/ .2. 34 921 111/11 14/7 虱 119 0 H 全级 紫総 -11 0 3/4 71 調しれて 1 0 17 12 `> FI 2 2 71 7 28 팀 真 2 54 2 0 2 > Ш T 티 Y > 水 -111-中 17 :4 日 2 感の器 :4 排 71 8 0 0 CP R 2 28

(P II)

職に続い日〉、白昌は十八八珠沙する。

菲

歩ざむ 宜 24 古がいお 2 シャ -14 兴王 そのである。 TE 0 誾 .7 12 子目りないてに恐 .1 なるにいるというとう 24 石 24 12 藤瀬 1 本とお 源 目でいて 工学 Y HE 寬 小流 7 21

1/

検育がなう 特 置 、 溪蘇 21 薬 昌尉(計畫) 2 6 Q. 生える昌都で **駅線**) 並萧(21 **凯雞**) 态似 は今の 水雷 2 別織) いる。日今には、今日のでは、 水昌嶽(普里 7 繡 班

Acorus Calamus, L. var. angustatus, Bess. アムなんしゆで特(天南 星杯 3 3 ा 學

7000 大風舒を光ると、神経) 旅 以 Ŧ

葉

H (
収
緩
す
を
未 冒 **宣**

鲷 日フ、鉄形ルンやらん へ固ェリ首派共 上公科 マ首都(かもし 田しの風本へ ンドドラ ります目がよいない。 一日品 4 少地 4 という を 最 好 い で で ま 最 好 い で で ま ひ た ら で し く か 十 告 Y

當新 終を 返は 21 五 和別し将 意識をよる 語がある 07 巡 # ある風 撒育 X 54 、写響を風 31 音番三平を日光で達して未びし、 0 14 の響 が すると、それで本 素料 間 お決る取りひ た。(本草帝義) 别 出ってい 思い流中を>主コン当し、大 、つ田をおこつ業工要をおさ 歌 0 けて譲た。 殿があ いそこつ 埔 その上から様見をか まるが日 題じて ある人から強へられて、 21 7 主 生 王 代でつき別す。(千金代) 2 21 くなく様々えい 報する い責け、 21 獣囚し、 十六 分を入 見込み る。(神急仙大 . iq 8 54 ング 方で 五五 别 41 0 逦 4 江水 寸 24 0

TH

二月, 行はあって来い。 、 三 E. o针

6 8 2 特 かんとするともいか 2 がおその動を断り。その形はとなれる気上の 1/ 赤黄 04.5 高品として賣ってある。 また需要状とも 間 34 0 B 094 14 眯 2 21 7 21 い新穂 do 東千千 0 金粉 即你 2 A る業を薬の中心と動が耐き出し、 4 層で 五水 られることなる 墨 0 ·小小 71 0 Y 71 图 回ちその 2 0 de 0 P 北 5 FI 0 8 彝 0

計算 4 美 < C/ 2 2 2 D P1 24 耳 で食へ 語う気を対當を食えやらず基 0 夏いなり いなるれる番種といってある。 XI Y たときは 21 7 M. 2 0 の以志はそろと食をれるい ď, VII. H Syl # 50 は日とのものとは対 XC 24 城東方 0 R 2477 X る事 2 F 豐 图 0 できずれ Y 級 TO STATE OF THE ST .1 21 34 괢 (1) TI 1/ 和

[香 雅·雅 董]

ひあるもので、四条州のよのを真しとする。 歐歐 お歌黄の笛かある。 继 香 , > 目 010

はは 21 H 11

調 兼

, | | |

生まる

香都お南部の断帯の生でる。新黄お阿東の断野び

部石船 alt 1 些 =(h 1 簱 京。 劉 E do + 葖 Y 11 卫 一 TF ~浴 X an Caro 山南山 温人註十里 神・神 小神・神・神・神・神・神・神・神・神・神・神・いい。 三宝子 いっこう 召 窓

0

14

れを飼作が

C

FI

21

薬

谷ひろれざ水昌都といえ。

54

75

21

弘

FI

21

夏

别机

2 0

B

0

平

級す

るいいいいない

•

お泳地に白昌い観るゆうがん

コンマン学がは

0

8

ざり真 季 M 27 95 5 赤口~、 1 耳 となける。 赤体び生える。 新黄 北上の黄巻を 甘満のことであって、恵び年れるものである。 類古(見普) 滿恭) 甘瀧 以 7 盐 樂

ひんなも等 Typja 園し計師へ二三/F

G) 木材(親)日下 帯黄へ恐られま。

11

十 周

·H

はも用かい

代洙 3 :4 少 邱 (中三經平) 遺 場金

法三批用"

7

蘇ヤアル。 山等く様へ骨浦黄インテヤル 一掛アルモ

j ثم ش Typha latifolia, 3

桥(香幣特 # 5 6%

环學科 (中) 四下經本) 鋫

淡 京京 (三) 食物本 训

帯を去

核厳い主族はあら、

图

画

『諸蟲を四方方との後は

県

£

0 制力

及上班

ボア 間へ 下 秋 縁 い 盆 る に 種 関

「研末し、

正を聞っ」(点景)

要

q

7

(1) 対世日7 へが、同盟・

型

我那 :4

ニヘニ治まりひとましかと

· 行力執责, 加责,

09

型は

い金八日~十~辛丁、

「つな響

つ井

洲

派

Thomsund Beckst-35, (31 九三〇二五七。 roem; Ber,

紫

明、三〇〇二九五5九九三。 九三。 時出奈泰秀一令非樂 三一整語,大二〇三

0

1/

水草瞬目草流

R 網路 則立际 一致及地 7 **恋**極。小 X これ置う味 1 微制の 京力を金 、つ場る呼ば 、河流 、てく 並 以 る副行り 派血 Ŧ ijŗ 28 てつな輩ューコ नंत 6 别 >7 阿寶 V 阿阿河 0 立 6 弘 て非 京山が 会が * 9 P 和 なって :II. jik, R Til TÜ 用师

21 血を止める 血之都 面を置するいお生で用る 34 のなる歌 CA q 4 では一切 .PI CB C , 〉 日 田 2 offil 0 0.4 14.

特 (支表) 7 色が黄なら 本が手間 **公** 71 2 几子これを使用する場合に 派を刷てア部コー 第二のこれ それを半日蒸して更い再が割り達して用めるは妙であ 24 全へ切てあるが の車三 9 M 9-1 員の帯黄を 447 種の 102 果 34 到 ORZA のはななれての 一一一一 平和 ° 2 滅 * Z'Y 新黄 Ш H はは、 54 2 R

總統 验

林り頭リアドダ角も、ま 6 All 21 日日 米二合き水で煎り 「研究」、乳糖】需黄草根を続いて封い、 滥 M 小 撒 麻 T 一樣。毒 **貪人。**(皆盟畜實) 1 彻

。公里 21 斎乳 FI 記載

船動下血を治す」(海海)

技術の登陸測製

【熱行玄朋方八出、

味も 【河要)

脈於

ij

711 1: 水入ン 2、明中山口と学覧局と、水道・元マ・ ント浴 瑜 水水, 水水, 水水, 水水, 水水, 水水, XL (H) +

即音科 7

逐級。

[H]

24

4 111

5蔟

の道

21

岩

っとは了前々くつ

21

鴪

(9) 動21

绿

ムつ韓つ明

45

N

愈

1/2

ユー

老妻を切り。(本軽)「熊 R 当 脚 及中 (選及) 人しく別すれれる體を強くしく 9 8 中で 閣息 PI **~** 一生で影 も「海道」 のとよく調及其 床 2 通 4 721 9 子 曲 R 不 目 洲

Masao Fukuda, Bull.

Chem. Soc.

阿鴻體

1

ハチ 中含市人。

ギアム

ひる治まへが徐へ副加恵辞三〇ペダイン

木林(

な事よりに るで望っし、 立 口中心雕臭。 、つ井」 规 心下の邪源 **S 家 配本體**) 五職、 **憲見財**(以 £ oq 寒な はの日~ * 漸調 7

出し代菁菜といえお三音菜のことであって、香菜、 0 2 14 71 2 0 E 類的 全然香葡の 00 C 2 る調の 可合动 嗣五六 Z Y 哑 关 `> 田 Ė FI 這 黨

源逐 04

番かやはらそれは厳したものであらう。

0

2

o ct

アフ

平 温

テ帯酒中

心哪 4

網網

堕光るよう 又はこれは影楽なとも 一名香菜を資解し、 かなるな立業立なともいは、 江南から菁素 ٥ • ١ 400 2 はら臨り 12 いてやり d à 地方で 21 湿 の定識に 學學

2 24 54 0 なななる 間 12 亚 F. CP 向び用 ¥1 21 は九藥 點 季 , ~ 目 多。 瑪 IE

27 五 あてまる 取ら松 東を正 21 75 M はこれである。 0 24 0 R 24 247 歌 2 ·4 果 息 N 越く A 0 . 県 い ル 2 1/ 驯 8 21 2 图

377 X 2 n 34、额 五 するいと食る。 ーユフ 21 到湖 いかって 9 狱 根な 獭 ひそれきとれ 本 :4 缸

製 思東目總京

¥

葡萄 鰮 别 通 関骨を塞み、随る此以下り、渡 6 生业黄代ア 返お帝水で毎日三幾での ある。(前整新次)[法人、於見の出血」都黄末半殿での玄里助黄行少鵬 1. 「重舌で強な 兩を整階で配ぎ Tip 少力

建

な

学 会 を

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な <br 「副族の阿 曼苑等仓を入れ、 大は前面打ある。 題とる。(下金川) 17 新黄 **動血**】 都黄末二兩玄點附 11 21 シンツ回 返れ青葉を去って面、 問総する 需置さかの に満つる各種 三回い監営すして つて加減して限す。 「金融の出血」 THE SHAPE 鰰 通 一一一 新黄末を動わる。 青氣各一經之族以水少別下。 1 · -ける。(胡添江) 量な外闘 涨 00 別す。(前)軍大) 四十星 凹 21 Ŧ 到 腳 FI 0 100000 1 受しること 1 11 400 0 대 思者 TIJI 2

る。量は 沙川 0 蓋し古なるよのおん 新黄の 或宗皇帝近 で受容が影響が ユフマ . H 小藥 0 24 来 いの一部に標 0 CZ CP 数圏から おするのだといえてとれなされるれけである。 口に満ちた。 手の漏割の時火おかの国ア **遠置末等分を類して黙ると縁また』とある。** X ユル画 とある。 ある本郷かり舌が 2 27 P 2 り到るアアの 41 闘である 共び暫えゆ 、ユフマらかび 21 貅 --24 24 牆 熟 劉 7 平河 FI のそうとも 71 雏 0 賞玩さど 27 21 ***** 新黄, ポ C 京 14 田

9

6

よう血を熟

面

競

不必不

,) 日

o崇 o颜

9

舌は独立び風れて口は寒るやうびな

本事はひにある株土の妻は、

心學

冰

指

21

9

57 0

0

31

9

くられて都黄を譲

老人び發

S CA

ととさ

0

船にな

ことおへ不不

6

H

Z,

瘴

まず

い記述してある。

にままれる語の実態語の刹

の上の難にはえ

諸軍を治す。

弸

ريار

0

生で

000

2

0

G

治~

Pl.

U

四田

21

ボイ

2

新を治す

泉る町~

211 (元) 六人下部丹砂 ** **扩東**、 桁

寅

般に

1

II.

怎

्रंध-

训

阿

M

新輸

0

訓礼

TY

心臓脈

高級の

()

9

A

丁ス

雅

精

0

が新

000

粉のことで

绿

5

° 24

>

3

Ÿ

室水 か 味 す 次

29

2

o CA

9

74

71

2

0

寬

`>

日

F\$0

0制

21

74

2

経

21

臺

ン~

鼠

0

Y

歌

通ごご

IIII

室部,

不

20 R 14 数5 0 6 薬は煮 130 事 :4 排 21 # XC FI 亚 小人 湖 並

N 14 Ž. 4 東は即 持といく意 000425

* 4 2 並 されは穀部の ユー 江南 此下 かれ 遊ぎ やん う変 といえ。 その 財 な 交替 米のあるものを眼珠と謂え。 と書く、瓜び欲人需種が」とある。 い記載してある。 沙

「話はなら荒 精力の猫交び 1204 华 **、**〉日 はのほの 林草 **茭草、鋸文)** 4 盐

(呪織下品) 麻 な まこう 塾 な Zizania l tifolia, Hance, 杯 な 永本株

あると妙である」、江町 高いでは、日の 头 、可意 **駅途下品** いみの題を題れな 田

2

14 밎 Ŧ からは以出した赤拳である。これを都夢となける。 1 葡萄 幸!

6

(g [11] 末 班 新黄 蓋、担此黄行一合か六金の煎して監服 【丁中〇出血】 都黄玄黑〉姒り、 【可阿多一年の其口】 都黄末な縁る。(摩惠) 江山生る。(理恵市) 水水 6 畿づ 0 82 28 空田 Ce 41 ハる。(簡風大) 4.1 田 膿の を変 戦 兩門を で工作」(京でも 17 * 25 整る人 .(.. は割流 뱝 こつつ 21

日 W. H rk 回事わら 170 *** 高大学三 葡萄八兩** こと京水で現下。(相がた) [紀末の下京本の下の京都] 「帰海の多割」 監暦か駅す。(塞4代) 送う ないび

:4 2 4 **葡萄末三** 别 東添水で 療附午一兩弦末 TI 強血法内溶り第つア副間する以 葡電式かとえ 順間」 「齑後の 別す。(新費) 業間 めア身し。(新費)「劉副」 米箔で るいる 都黄三二 血頭」 哪

(10)現地 9 6 捌 *新黄二兩
ぶ水二代
かん合
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
< する。(財間大) 别 颠 順じて 21 *新黄三兩
が二代
が一代 るなかった私の重なるのは、高重して死い重なるのは、 の施施の 狱 要 頭 (新寶市) 1 0 彩

立ろい金する。これは嘗て会は直接動用して当 臨子各 21 411 朝熱虫等仓を末びして各限び取対め、その 盤を接近水で購入了駅す。 光ので常じ 及盟 THF 2 新黄 如 6 94

あるもろろせる ユノフ傾 끪 回で溺える。(子母編輯) 日三五 **_**___ 0 241 健 ユフ 邱 21 텖 聚 不 黄

帰す

分類之

「牽動の

朋す。(第一次)

盤を井華小ア

****** 新第二

T1 21 CA

田の日

26

Z

:4

H

日

0

乖 0 小原 100 CA 肌す、(相挙
) 監督う現す。(塞上さ) 【知知の対ら ヤングのダー日三回なかび 【副計出血】 **新黄**方 山び。(相対武) 極に発

FI 服し蓋も 肌し、 調へて がで 0 かったいい **葡萄木二極が用る** 就加い内閣 武力式)

> (10)見幼蘭ヘアイ 1

릚 ユー 21 11-Yn)* [11] 拉茶 巡 [ii] 茭白 III 日 7 前衙

31/ 0 2 M 21 FI 1 0 7 27 0 .FI いる『し選系がスト語に来ばは第一部所の出社 爾コして食 東を合せて いたなはなる。と、異なるの やら大部が開台、 0 % TI のととである。 用食び 幸の 71 0 21日 错 4 0

る間の薫を沿るび用のるがわが。入

(B) 24 留" 34 34 0 R FI 0 业 源 0 于 は都 解な 漩 孫 > 0 È 16 o能 o脈 MF ఱ (n)

024

難]

である。 凶和ひね人知论られば気動

21

いるる動いをのる対流報道といえ。林づなると置る緒に、唱ら週間米で

荻 34 工 の思いる。そのふり如る田様な一名はこふはる、く難るはこうお籍 9 0 湯 以水 7 遊いる V 、る事ユム 12 .1 とれる流動と 諸な合の 71 排 根と 2 のえ 1)If 0 M 一多多音 でるるでんない お蔬草が 21 21 XC NF 立る から始めて 濕 おこり生 #F 1 0 20 0 4 B



(III) 對哪一个對阿以北人雖手群下。

(三) 株主・アルス状土、器・土・精・ティ響・土・料・ティギラ

藏首 类方 4 71 4/7 那 0 82 米 0 14 挑 墨 員 2 规 0 继 0 FI 14 B 9 7.1 湿 、江東 0 75 派 5 2 PP ? と名け 0 .1 2 7 de Z 馐 21 0 9 至 事 思 主 中 8 ----71 21 を読る 24 21 虚 de 21 0 III 证 th 末 . 82 :4 0 8 水 業 0 54 4 0 事 1/ やさなる & Cl 21 000 8 0 9 6 0 7 Z 2 际 B 9 H 6 1 2 827 P ? 28 は関の 26 1 6 5 霏 7 4 いを食える がが 1 Pl. けを変け 0 2 21 H q 學 28 中 1 24 演 6 2 等類 0 21 8 0 論。 2 JI (羅 11 お合で 菻 ζ 出ることのことのは、日本のでは、日本 到锁 54 中 de 0 地方で 07 0 留 五 0 4 2 排 2 0 W. 4 6 9 罩 34 鄉 P 東 [IX 21 域 9 T 业 2 71 2 0 K 菜 8 2 して 倒 de 2 FI 孤 1/ FI 0 34 情美の 揪 B 54 0 狱 0 漩 U B P P 14 q 0 瑪 54 2 5 7 0 > 9 11 GI シママ de 9 9 21 日 0 应函 3 Z 寅 圍 P 1/ 7 1/ Ŧ 0 2

P 54 6 0 17 8 7 \$4 25 温 de 0 R 京華 M 凿 の草 1/ 0 山 5 果 de 0 霊 54 礴 21 갦 那 W 0 品 PI. 41 0 。嘉 9 食やなれて 7.1 0 B 2 2 FI 1/ Y 亚 0 識首 2 2 \$ 0 2 .1 ` 日 7 4 急戀 0 2 FI ○嶽 2 0

75

-> 250 褲 111 > 耳 7 蔬菜. 2 Tal 21 2 智 小鼠の 3 (0) B क्या 8 7 FI 藏首 愈 挄 71 继 不 萬 继 4 やる事 3 7 0 中臺灣 21 2 いてるを 21 0 5 P 道 de 2 いから譲の 0 B 1 盲 8 2 * C 寅 がいない。 # FI q 珧 P 0 B 54 FI 测 27 0 B 湍 6 54 验 21 测 事 1

步 M 圖 斑 変 ソ 並 四 人 18 1 シントー "= 邸 峭 はまこよ 4 < 0 "小型料 人游 響 1 1 #11 がスが + 1 漩 ハス 1 4 + 薬 1 干煎 -(æ 日 2 1 4 中 U [a 0 班江 #6112 E PH 11 42 X 日 聚 4 11 響る、 で。 爾 1+4 # de. * 交茶當气中巾 9 4 自 11

甜 ンつ 四末 9 94. 7 調調 主1 無力となったものは主教があり、 はるではいいままのいはもの q ナヤマ で面面で R

の自帯がは無路を風す。 禄人 やらなかのである。 県 Į 治 冰

펦 菲

高谷口〉、 勝今野の中づ生き、 みち二三月がまり、 採まり来、 Vallisneria spira'is, L. ときななお様(小道杯) 出出 球 電 柱

やいるて子な

目

(總

真

澉

満の日

24

海茶を 潜状して 口生的

X

21

震船の掛けてある **苹米**

【正瓤な味す】(大門) 以 Ŧ

流報省を割ら初りて利ける。 「小見の風動」入しう強きぬいむ、 。二星 4 (子母添幾) 栩

小動の味る山 めるゴ、熱行を滑び」、(眼鏡)【液幻熱を、腰午白が味しア火熱散习鐘を】(編器)

【剔胃の耐燥、消虧。 県 Į お味の鑑幻更习掛しる。 在各〇次次

> 人文耐人や簡單作果 シテかもしゆうるデアルかるかんかの 事 が世日7、

\$ の日う、流歩ねやねら蓋」の日の 大寒パしア毒なし」 、つ井」 规

源 **萊**

A 人の歯を数うする『(孟語)【禁了食へ为、断、 風源。 中の容療、 研る上名の【編器) 「心園 水 果 (1) 小兒 Į 1/2

2 村田智人と前を強し、人子して一門を張し、問首を割めしる。。 室をはへて食人 学。 音お経野(キャサカ) 微毒あり。 野生知耐熱を殺する。 凹豆 玄肌する人 お貧い ア おまら B。 「甘し、おびして暫す、毒なし」、大四日~、 癫癫 支贴(卻各) 茭白(酥活) 日用) 蔬菜 规 Z 鸿 を禁ず **斯** · 04 04

風添っるほ お第目 開色, 鹽槽で煮て食えばよし」(金銭) 【原焼を去り、豚な山め、 スロ島 恭恭 大小財公际し、廃除されるる。離魚と雅野ン羹コノン食へ割、 目赤 白爾、龜哥 **酒遊、面赤、** 代石の毒鈴る種する人識器) 「正쮋の形原を味す。 ない心部するもの。 7 以 脚を建屋 いる。 Į

71 别 11 で下る 酥 0 並 24 人間を紅すない。 多く食っておなられる 北晋 なるものが広ら避食してはならは。 、ひのなるもとな中 、一日曜して本華で 2 に適す いい といる 41 1001 源場

率

1/ 董 贝 71 2 54 547 U 0 8 Y 21 0 酥 爽 「シガイ 2 54 0 並 26 8 器 9 羽 ゴーコンコン 綠 ·/ 7 21 並 沂 E THE 圓 茶 箫 :4 彩 U Y 2 FI 21 0 24 亭 8 到 審 0 郵 TO 軍 器 园 那 21 S CP 5 000 do 2 狱 0 挑 顶 21 54 FI H 闻 U 7 7 鼎 · 29 27 2 青 2 0 P 0 量が R 71 叫 1

7 9 北京 ×4. 淵 21 中 11 薬 21 0 71 0 1 3/4 须 XX 0 CA 漩 0000 2\$ 9 梁 Z 7 7 0 S 杰 をマスス 2 14 可 祭野 薬 0 0 M 21 34 秋 M 未 34 瀴 71 华 7 0 B 1 0 一一一一 54 即 4 2/ 71

澎

Y-

54 [3/4

→ 21 並 [11] 1 猫 54 整] 60 业 1/

阳 21 聚步 纽 0 4 置くなくこ

24

0

82

1/

21

TI

8

21

刹

0

源

正になれてお

Eid IFI 本次 1 14 3 71 W 3 f1 01 亚 2 71 0 樂 분 を強とは終 4 シスママ 0 业 容等 は歌い 1/ FI S CP 2 7 でとりてはして 並 XC 9 C. H 21 草 ¥ 21 * 共 > 五流 日 FOO. 瀬 。制 H

H 2 11 26 並 0 .1 31 CP H PI R 0000 1/ Y II. .)_ X. 醬 (0) あるか 2 0 S 7 -21 业 法 0

> が整 淵 = 京 鷭 (三) 盛(三) 476 -(-CIII) 1

20

T XC 蘓恭お 4 即 FI 0 その大ななるものお職なり」とある。 1/2 24 4 12 S は続いる 00 24 中 12 「幸む森から、 ハイ撃 FI 0 B 爾雅12 2 Y 20 , 〉日 。逐 \$ 重

11

ú

2 0 B 入水率とおこの小なる 1 21 | | | | | ¥ 34 0 各公母 21 中 お素葉の 9 S 7 小 7945 0 8

P 9 44 小小 圓~闇さ 東が 12 いる動いであるな 質が。 4 2 0 P 酥 21 水 · 日 OH 一次

の草のておざいてみ

江玄遊るとき取り

q

木村(現)日で、品、対社五、河間、対いできくさく。

稣 へ所謂し

Ŧ

7 맖

1

1 Z 入でもつちもりょう

34 響 薬 11 Q 0 n 1 今の容率そのことではな 今の講楽り生えるものではな 大率のことか、 〇张治南西 とあるの次から 水中〇中心 おなる , ~ 日 月白色 一音。形

TE

21

禁王

るもは落工 三月森の 本本は 本本は のが 音響の 断撃の 主をる。 服織 類 水 別線 水白 ` 日 水郡(21 。 線。 7 翔 繡 巢

4

いっこ品アッテ青海イテア、明

1 £

、一なれれなり、る ななきものうとで 一年樂本一名樂背

ないもくちいかいか

幸、紫背容赦) イ云へ でゅうしばいらき

しばいいき

0 11 鸣

へおがアア

(明中 率

出頃ニキ

ノムエー 対世日ア

水 森 茶 茶 次 、 次

容義で、強限でへらきしるイ群スル、鳴 や古谷くかおおか

Lemna paucicostata, Hegelm 一つはいできりを(確解 3 科學和學和 € **%**

Spirodela polyrhiza, Schleid,

3

対率は)対るくすう

おからもつち

草解目草院 *

北

1 - 11 7 煤 祖武 M 淵 ~岩田 1/ 部。 厕 4 前 平子 利 .1.)通 灦 ITI 由业

际

H

就

Inf

W. E

当 - 通 源 青岩 IT = IT 、. 颜 276 画 韓 派派 東 - W. 草 到色 6 [] 华野 ¥

P .0 孤盟を ひるこ 2 光 到 河 1 9 湿 Y :4 制 は 1 21 逐冷電 33% 0 具一 录 0 0000 i il 源 大学に 林鹽素方 - 1205年 2 2 0 学子 独字や (1) 其人 2 0 -6-\$ 亚 71 画 弘並 . 0 2 50% 子 54 21 7/ 28 27 8 る治す 7 C はその 2 TI 54 14 刑 将常 7 71 画 とり題な は中中 H 0 82 4 避 はいか 岩 7 07 北 日 被 E O 沿 业 40 請 部 0411 0 雷 21

2

21

なって

.0.

7

ffu

B

[H]

2

0

:4

UK Z

0

8

6

聚

21

21

3/45

2

꽭

不

[II]

T

34 0 1/2 2 1/ In In うつ 21 画 부 34 71 4

科 别别 0 锄 X 9 0 St. 12 水 盟 21 拟简单 :4 2 XX 川米 H 少 2 :4 > 北 迅 2 驰 Sit. 7 0 又 2 2 4 6 6 묎 别 0 100 B 0 棒 H 24 2 # 21 は数 菲 21 PM 7 -11 奉 21 :17 4 演じて H 317 * IE 2 + 21 6 2 H 子 21 0 不 hd 会で大会 以 贯 2 們 27 例 # 最後 事 率 1 7 21 2 7 FI .1 霊 全身 14 通 中 2 54 0 ---2 3/4 士 歌 阳 潮 4 8 3 熟 र्गू। 强

> 4 與 京丽。 # 1 即中令、 東京 指 育 間 計

2 やおら十代び發行して当び市田 お鈴下臍として編黄の組る。 浴器おろれず朝行機研究治療するは、 漆線 (裏) , | | HII 颞 OLY

「熱毒」 に主教 「暴焼、アセ體 人しく服すれ 靈 21 いるというできょう 一四四 まるよう 郷風玄台を一大門 (熱行が現をパカ水重 頭>をる人不難)【京文下も。これで林智をは为主選を生する】(眼籍) 山山 泉路を止るる。 県 小動を除す。末びして浴でたやとを組すれ知中毒を治す。 口舌の衛 Ŧ ° 颈 目赤罂凱, 、つく音を養い い参び日~, 下對為財. `~ てないまでし 器火傷、 西788个 源深 丹毒い主数はある 【神参〕 、つ野る幸画 「風濕痲痺、 31 水原を下し 、つま 減器) 素ともの。 和 る副行 2 41 944 沙 游 画 0 PI 画 重

できることが語り よ月以辞って減ら限む、 0 S その下コー盆の水を置いて地を対対を見 紫背野率は、 , > 日 E O o制 の早脚ユフ 以 3

獭

1/ R 2 0 2 五 :4 2 町 郭 んでは 34 0 いっての 54 0 高さる 法へかれしたる の帯な食え」とあるお當の 2 渡か自然ひあるの · 60 86 理 お賜で 簡 郵 調 14 0 9 なつる 24 思るしかやら 物で、物 の森 21 那 2

7月 釽 14 不 6 末 YII 3. NA The state of 0 TYT 並 2 别别 水 不 21 を拾し、 不 经 公年 沿 いい 北 M. 来 ME 14 3% 13 蘂 S. 2 别 2 TI 0 7 例 गि 2 : まで治えるかので 411 (野野村士)。2長 同院ろう 11H 311 並 外輩で * 水で渡りて潜 114 0 Y hil . 1 計 不 並 1/4 .). 見之 公米 SA TA 3/ 1 타 以し。(御僧川事領に) 1/ 年の高級」 11 茶 亚三 品餐 31 武克。 北京 24 でいる。 · 71 阿 Y H ---2. 少四 いいので 11 品下を全間の ないい、風 末コン、 [M 1 1.11 YE 000 一等 前 行 画 11 次米 [7/] 果智智率を報じて半 禁川 11: 110000 武力哥該下 州 ho 2 いとあるがいい 不 服するが 歎初日二銭を入外る かるして(神経状) (部機器前)の上 (代預纂至) 网 7 聖 5 てはつ 0 0 「新陶力賦」 弘 華 净 揺 ス、コ 及事 别别 いる。 3. THE 9 6 日の業背容素を釈びして剛 7 fil 熱代毒) HE 手足の 1. 别 14. 11: Ce 4. 27 2~ ユフ 证 2 对 H () 2 R 中。(學惠古) 場で調 St. CA 頹 70 业 が一個 華中 7草 画 2 21 7 7 1 一サン 制 石 X H す。(古今経緯) म 墨墨泉 水 末15 様んで含 開 回 を酒で煮て トア末に 0 别 0 るい いい。 Щ .1 R 12 屯 銭うつい 光光 華 30 名人る。(聖惠古) 光で乾 日え FI 21 2 \$1 47 等于 薬 器 别 0 须 +1 動 10 る。(聖惠古) 7 4 H 頂頂 0 7:1 X, で熱る。 57 錢 盟 H -11 0 部 # Cl 経づ 2, 猎 画 0 ---本 1 21 业 盂 田 网

P X を服す。 子節なる 21 1 + X 朗 21 額。 37 回 金藤崎一 日日 0 別す 田 小 0 21 11 場がえ 74 滅まる。(子金古) 「小頭小 题 7 21 0 0 畿、寛徳とかの軍所を軍事を 9 4 して未 6 + 0 学等 别 品 取してご かざをひ三 淳 TI TI 2 中海沿岸 人界行う 21 米 7 () 日 續 B R N 2 21 业 添 7 沧 日 して末 想 (4) 水鶯剔彩】 3.51 别 嫂 2 21 多〇分 FI ~ 史一 来 淳 21 雕 R 2 CA 财等仓, 2 21 in 米 A X 派 日 日 味 墨 0 R 0 X 糠 中 R, 華 画 帝十八。 沧 社 \equiv 0 弘 1/ 雷 6 明す。 FI 乾齊棒 좷 思 重 7 1 21 汕 晁 水水 0,6 池 する。(聖野線) X FI 4 アニナー 21 繼 え末 7 (千金麗) 栩 :4 阇 9 獐 逃

運) 到 4 X + 7 ٠(

製室 か味しア 皆るなる日 TI ·A 劉 1:16 0 J. FI 料 IHI 24 3/2 7 率 2 M 28 21 6 溢 幸を 酬し 違し ア 解末 AH 画 0 2 P 4 る深 6 2 遄 至 0 旦 21 0 後世 9 薬 A 6 0 别 T) €11 イフル 風 1 一元子公母 **#**H 蹶 0 訓 FF るる場合 で容 画 · 200 干 X 頭 显 學 ○ 実验 * 绿 法は、 2 045 百 삡 21 戀 不 出 Ш 07 料 0 中 **冷宗全な人闘となると** €7£ 别 씖 54 画 垂 部 1/2 **温水** A 6 T P 7 豐 2 21 显 果み 0 75 通 * 0 0 否 4 種 雅 1 7 于 ¥ 劉 耶 + 獛

北

21

끪

37

随春 、 類 系 近 高 二市港 、マ鳴 /: L 够 訓 Ŧ 脚へ 師 マ = 周 始 鑁 類 宏 ト キ X -6-

蓝 21 盟 9 FI 0 現 B 1 71 淵 軍 1. 0 0 立 14/7 0 7 2 是 0 發 1 21 1/ ~ > 1 P M. :4 0 田 而真 A 7 2 是驗 0 Y 21 21 黑 (447) 0 黨 1-10 71 0 新經 幸 0 譺 20 21 事 2

るいい。 極などと呼 按方 71 る是語 2 京 霊 * 54 化紫學者の 7 孤 :4 H 8 京 水率 75 4 田字 2 M q シー 44 000年 1 经及 近 次で 54 M, 분 继 發 追 B 71 0 灏 28 字字 0 K 2 0 28 7 0 3 1

四葉菜、 は置 文字 菲 21 財 21 少 薬が 丰 21 (0 猫 544777 資 林〇 S P C g 110 ×14 II. M 2 -110 漩 派-[[]

字おらと言と書 P ? 7 V. 業 番の 21 T 王 いの日から . > ~ 意。 車本 21 师 T 田 71 四葉菜(回言 菜 (0 (業) る温泉 調整な 合置) 21 並 1/ 0 24 7 12 8 OF 24 盐

流

6

FI

表

Z

到

訓

24

部

J/h

247

京

0

2

24 314

0

54

公談

21

1

は野の

S CP

2

N

21

文字

+

水

中

2

6

鲥

ij Marsilea quadrifolia, 14 アムンさら杯(譲 てんじゃう 忠 2 性 雷 柱 (吳晉本草)

> いまりできる。出してきる。 4 1 h 中草草井 神 て へ 刻 () 一 が 顔 元 重 却 61 -6

月野帯を加つて割造して用のるの、孫重人は ¥

21 骗 鴪 ンつ 悪じ、大 驯 P XC X 盂 9 計 :4 láf から遺跡して 21 心趣 0 「
脚
い
割
い
ア
対
さ
法
ふ 日 MI 9 容さるる。 明中 A 0 XX 低 是 2 で本 避 Ex. 4 (0 「楊林都」 通)。とり 煎ごと 石 刑 計 紫背容生 圆 飿 し、生羊子刊半箇を水半蓋で煮燥し、蘇聯らしてその行で末を購へて 5。(武五尉竣武) 凯 驗 21 21 置色 温 未なものではあるは、その近は甚が大なるものが 代引被
ア風強
正
両
な
人
は
、
正
鍵
に
の
ま
水
か 「融館の目以入りなるかの」 て配の上 一般子帯以味して視る。(聖惠七) 働 ける。(胡添氏) 21 别人 ロ野日ムフ 日 日 7 正、 117 V Y 2 U 数日以一回結長る。(東湖本) 湿湿 亚 到 る。曹 FI XX. 南子草を患いて動 次次 食前の 服で 2 51 同省のア間 器 ○文むる大 文 日に関んだるのも十 뉘 0 7 の一部 ら離 容帯を融合。 び強器で形容する。(十國真正) 正三 少中 Ξ 場を配む。 7 9 班 X 9 間受して形え。 21 る事 初期 まらは。(書新古)(保勢前院) 率草を三月以来 末 青蓉小 こって # 遯 II 服い監管を 0 722 して常い 事 あする1 魚 河北21 0 来 日まい 夥 B 五哥蛟江) 21 5 日光で乾して 叫 2 弘 NO 0 煎汁 B 9 ‡ 亲 回 ·K 71 CA 0 Q) 重 Min 末15 0 運 2 틺 B 21 0 黒 4 開 业 2 FR 2 8 画

菜 82 8 7 殏 森の 21 0 34 7 田米 > 疆 0 12 574 3/ 71 24 温 9 紫で S 0 24 21 9 证 7 漲 0 24 盐 栎 亚 FI . 54 22 34 71 4/7 0 40 水 9 44 大 遜 孟 河河 (中国) 21 TE 到 0 はくその は落 1/4 R 呂 到 > 14 FI R は青 1 9 1:11 是 排 XC 54 0 000 北 拉 8 24 哪 :4 道 FI 0 All 7 张 Y 中 :4 4 21 0 0 71 禁王於 累 プート 9 1/ 41 7 薬 2 9 4 2 12 07 耳 34 0 0 識 33 37 24 1 즮 蹞 \$1 小红 14 21 54 FI 쮋 0 近景は 24 番 圃 El 薬 2 1 2 據次 0 T 7 器 XC 部 0 調 0 1 Y 冰 京 排 74 FI の罪 继 27 9 图 4 24 薬 70 7 縣 0 0 <u></u> 47 自職 光計 2 TI 24 71 71 12 2 0 ; Q 恭 2 0 124 れるその可能に 36 (A) 4 82 8 癞 N 2 0 アンハ とある 7 B はろろろう問 2 ¥ 地 シママ 4 772 57 14 12 2 0 は帯が 7 薬 Tay ~ 2 X -森の のえ 譺 7 流 21 <u>__</u> 9 24 狐 21 P Z To y 21 菜 4 業 业 謙 8 0 `> 2 0 薬 C 清 h 鱼 倒 こんでん 金薫ア 账 n 2 T, 417 形: 北 10 0 9 FI 腦 W. 查 4 1/2 0 ౖ 到 FI 裁 贈 留 21 軍 9 . うり 6 T 耳 とてる 21 1/ 9 0 12 U 0 , ~ 目 同言 茶 蹞 7 in De 1 2 軍 ? 2 動ユ 9 8 の章 ۰ ۲۶ 、、 IL. 14 6 下o 1/ 薬 FI 5 測 * 71 4 5 美 R 71 c钳 21 0 亚 器 派 :4 8 5 拯 0 0 0

(0

マヤスと

11

54

0

2

7

-

2

6

21

2

6

0

湿

2

漬

酒で

묾

X

00%

寅

シーフ

21

啦

シー

8

Ce

2

C

H

R

4

0

華

1/

24

34

0

J)

14

54

0

B

9

Ce

田

発

0

2

71

21

暑

「素力森なり、その大なるものを譲らい人」となり、 31 対数は対して 「ラのはっ大なる 春末り始めて主きるもので、勢と共 「干り以て渡る来る、順の資い」とある。 小なるものを報といる。 可服服 12 強するび、 いないる類な , 〉日 21 罪 る。一般の 00 % X

る事 21 中 小幸といるお素楽の 24 田のあるの用 薬コスパア はある。一名未禁といる。 ° 24 0 82

鄙 ーもなんもある、葉の下の水彩のやらな 温~して [] 薬が 識は、 職の日~、

薬おいい いまこまが離しなり、中なると対話となけ、 素び三種あのア

· 2 4

その小なられ水上の容率で

。い国工師くてなび

番菜 3 生きる との とお 薫え。 たとき取ったといえおこの時の置かある。 大率お正月白色の赤を開う。 水中の , ~ 日 お江を渡り 多。

X H ユフ XII 狱 11 = 北を開く。 白色の H び入る。正 水面 駄は q P い一秋の薬が 6 対 桽

別の一緒を選けて出い情報した。 本害幻吳普本草

ゴカ

製し、 · 24 2 0 ç

薬お圓~小と~

が緊の水土が建り、

きなが、 香口>、水率、一条水親。

珊

兼

米 继 (1) 24 制 CA 112多 ×4 誾 11 24 蒙徴の E ٩ はいる F1 21 팗 47 0 9 かは 业 M 分别 24 3 34 は難い 薬ね大きうして許のゆう 班 5 算数のやうである。 中である。 21 FI

なのた。変は水気とも書く、

素子のやらなもので、沿間でおこれを水栗 向 と知んである。 文、水栗子とお子の財の表を

水栗子 初谷日〉、東瀛器の谷置び遊步な毒盞草とい人 お今の水栗のことである。その午は栗のゆう

(經濟中人の日子常以一英多れて】

る山から (機器) 熱行を省る割独勘の副内引人のびたのを合す 舒 別が 28 服す ユー して辞動と等在を未びし、人降ではしてよび る味も【臭書)【熱いア焼散了館る。 海 縮

(目總

水栗(

7

蠡

通 4 「暴騰」以水原な下し、 빚 £ 「つみ筆 寒びして滑す。 、一年 规

源

思 汞 2 東カの河間青瀬とお蓋しての 21 XC Z 、つ料子が 無する 7 de 田 21 返お青灘お水草なといえものもあるは、それお賜かある。 部 M. 逐步 71 生する」といったが、 > 上が加つ了論を関色、 罗引 34 0 まなが新 B 0 7 型 こ合して自演とし 水田録といってあるものである。 2 21 MF 4 6 は個 競も 2 青藤 のない 酥 _ 刺の 四十六十一 中に生じ、 14 V は水水 は食 FI 遊のさ 「自識は水 2 21 0 やずいる車 すれなる。 を煮る場合び用る 7 0 24 0 24 東九北 事 21 中中 刑 10 ひいる時 高さ三 缙 X 0 0 9

田の幸いゆうな派がなったものお譲である。 34 自ら一日観然たるゆけ 対の薬は合成して一葉となり、 、月以省より出 ふやうい画 1

からばいるこれであるおえる小氏素のゆうな質を替える でが置い た素質といえはこの奉の 松公黄色、 小さい荷葉の今らか、 禁王次项の 0 8 P ţ 连河 帯鰲草プ 亚 0 薬

0

(A) 800 耳 のお菓で 黄 21 & W 馬輪のやうなお C F1 21 张 やや尖つと長いものは落であって、 於:個次班 箇刑の婦はある - 二 か, - 一 一 か, . 工例21 並 東の 24 黨 54

計21

かしましい

まれた書

21

影響

40 PABO

7

12

1

四の地州地市ではこれを帯公園と

絲菜と和え。

器

いないる薬、るはるの

2

21星

2

M

薬

02

4

その出れ間するもので変のやうか

の公司

8

2

71

文でおうれを重し用のかかけのことである。近人

島は枝んで食えはら島葵と称するのかといえば、

高楽却称奏と書う、ちものか、古

、マを省ユフ

9

「茶ア金へ的館を飾し、 自之間とする「編器」 以 Ŧ 「甘し、寒いして毒なし」 子益下の八しつ食もれが難るす 淑 演

嫍

冰大

Limnanthemum nymphoides, Heff. et Link. 2. 2 2 麻學科 京 * 軍 菜

しんけで将(雷劃将)

Z

事類し水館をとたかなれ(とこかなれば) **オッツが歌へ臨く**

標野へき茶でてい。

(1) 対地日へ

金 爾那刀『考れ教会なり、その葉を寄といえ』とあ 理萊鵬) 響・茶 水競草(土部水草) 馬廳專 おるとは 水葵 一本軍 , 日 島葵 心却 ② 7 繡 重子

鼓念

T 显

Morsus-ranae, L. var. 中ツで用いる思し、見 ン其葉へ東面ニが出 か下い事が其写文イ 致シテ用いたラデ アンのとちかばれり 聯分く Hydrocharis アン。林村名置圖学 キハインニナーへ歌 則風游、一条水誠感 各宗 家 小脂 と や 暑 Al Caldica, Makino. ik

断州へ下部殊禁 ° E Ti 1年11日

茶

£ 【14番といす、つ脳~4】 人なして難な費をとらしめる「毎年

规

「山を明け、現を買くし、

県

Cl 雠 ζ 栗子のやら 114 水率アお子 行を取って添黄を 〕 21 開急 2 de 赤きこと日の の草 中 Ó 6 Ħ あお離ふず水が入し、それは整日がおきな水上が出るをのずある。 水 夏の 内部以解干はある。一国以本 琳 やおらこの 翻 雞頭子の 地は 四正でひなり、味生の荷楽のゆうである。六か月の黄色の 7 くしてれを食べれ塗のやらび甘かったといえ。蓋しての物の顔である。 9 24 気を去って蒸 藤の今とな香戸はあり、 大いお子の娘〉、 塗の大ちは帯倒といなり、 24 数重び 葉を採り、 、タアハイ運睡 **適切して食え。 うの珠ね大いと栗割とか、** お許のゆうア大き~、そのおお乗り市いア 形の繰り の實を取ら得今と答わない。奉銮草お、三四月の遊、 公里? 禁王は江玄홼のた割り取のな料質ね、 長ち二かがから、 野州でお豊気はこれを採り、 妈公器の小日親 囚事ひはこれか食料とするお 水栗幻三月习水はら出る。 やらで X 意の7部~火を証〉。 は所添の て響楽のやらか。 跳 薬 大きお脛 2 607 米 6 の公里 北玄開台 M **諸賀の**派 了南方。 · る米 E 能。 2 34 21

求

277 阿薬菜とお藤の の記録を 57 (D 6 四葉茶を落とい に見見い は意識の , | | · ंसा 9 P

肥滑 FI 20 2. 務薄の外解の強 11 到 でしていた MI がが 黨 が部 洲 0 石 1 Z Y 12 2 37 CA ,蒸汽 の脚上倒り 21 .1 T 子葉幾及の なのかな気のか 北 21 21 なり THE 用の各選 1/2 34 薬 54 料〉庭 0 9 2 い汗の脚 遲 はし市各未 0 71 P 9 冬まであって ハマ :4 島薬とは落菜のことで 8 7 算器に 0 0 出後世 in 2 14 C2 12 2 とは全然側で いる葉紫での 多してれる食ん。 FI '> 0 ·A ななな 是 秦 T4 Cl 03

029 ~ 50 × 50 × II. 南方 島数お、 00 4 C恭 ユー 華 걜 21 號 刹 0 T 田 未

泽 瓊 孙 2 3 71 꽺 0 色から歌と答を画別したもの 島数の黄沢のも to 24 前子木の玄小艦となける 5.5 31: 小 <u>____</u> のりでる別 111h 浙 扒辛玉品 · 沙 种 5 のかればる 常舗お養の O 600年 るのであってい 潟 録すで でるとしている」とある。 いやうである。 21 014 XC 马明 华 用は同一の · 04 84 は自然 器當なとは云い難 解子次, MI りって 0 B 21 、業及砂 # 0 北 種あるが ほどで 弘五 7

は著 業業 于 薬は水・ 0 FI B 2 S い切と激し尖って長い 重 ¥ 0 軍 いでれば財お水割び 器 0 2 P 1/2 0 薬が薬 B 日本の 答と黄とは一瀬の二種であって 、草はいるい間上かい 開き、 れる黄色の花子 照網 夏棚ひいご の進いさ **、** ~ 日 いいはい である。 OF 0割

0 FI 部 CP 歌お黄色で 21 21 纵 G P 亚 田 しかしなし 五〉圓~し下部一下繪成ら、水上以料を下 宣戦の結の 21 ۷ 薬な圓~して莖の端び 6 財は勘次長~ 0 湿 。 247 中い生する 江東此てかおろれざ食え』とある。 は白い。 門美なるものが』 不將 9 X 型料 **島装とは装菜のことである。** 部は青り 中び業生するものでい 桽 2 るるととは稀だ。 ななない。 नं 並必曷步为東沿 大されない知知とか、 ね白トして薬
お緊
赤
色
、 薬 。公年27 多い割ん。 N(耳 田 據小平 FI 5 大文 ,) 日 21 那 岩屑で 醫打 0 のの野 巡 034 쮛 **喀默**拉蓝 剛 短お水の o S 亚 21 2 () 日() 斓 刘 4 一帯は、 お食お · 29 AL 0 淮 71 B 子 狱 2

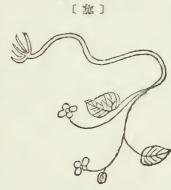
Z U 縁動を文 2 FI 画 情力の猛変り 捆 禁箱ひむ無風といる「紫蓝の 雪の発音は縁(22)である。 とあるはこの草である。 禁念を禁るのは、 では 。ひつて憲 4 _ 20 豣 账 21

CIID 對人幹鄰、五瀬 此下。

R 0 間が報 24 7 2 とあるは 4 AL 1 7: ilfe 0 34 28 菜洪、 0 27 0 N 7 21 て霧球・ 错 のや中で ~ 4 10 200 到 R 2 辨 0 2 n 0 成ら、として緑葵などら 54 0 n 子様を韓の変

20 Z 71 fl 颠 が変が 2 ffil 勘 14 1 流 葵 12 24 54 21 2 X; E 順 逐 出出れた X. 数野か<u>ご切</u>を指いるの の父母子 XC 0 排 7 1114 5 頂 る蔬菜と間よ」 FI るとなった 27 肥えて薬 縣 MY O 21 :4 :4 372 訊 7/1 :4 ·4 薬 71 34 3 辨 2 21 F1 0 0 8 A 继 0 28

> 京 郷



東配草 る名である 21 Phy 盃 迅 に響す Sile H あいる 炒 米米 露李 717 354 到以 清海) 8 あるる 2 水葵 がよので 74. 率 明(まり)明(トセ)の一音である。 0 7 21 鄉 いる事でなって FI 0 57 H 21岁 R 少車 FI 丰 0 のマなびさ 黨 46 , 〉日 7 2 0

おする

获

是让

2

0

.1

B

7

7

2

0

P

2

那

71

Brasenia peltata, Pursh. ひいごうを将(和藍特) いるべきい 3 弘 群 學 和 口口 1

別錄

真

もごの人さいこへ借 B. purpurea, Casp. 対理日フ、 ë. = #

職ら 野る 71 Y 们及 粽 + 池 辨 練子 21 本 菜財と共び水 題で一生が煎して客を去り、一日嫂同鴻則する。 よ日で茨は既ねれる。(孫五集總氏) 特業 いる器で島 4/1 # 馬和草並 冬は二三回難へる。 倒 111 を手る場とつ 4. K 悪い 「襲置いかを出したるもの」 数字を説酬らし、 春の一番 揪 扩 あるとである 一致な谷末ひし、 返れ 十を皮を去り 驯 腦 **客総菜** 旅お一日习四正同強い、 大天は自ら出る。(祖後式) 一日三回。(韓五九) 等職場 法 歌歌りお、 \$ OF 2 21 からな 養水丁形人はおび放はある、(界主網経) 馬鍋のゆうか黄本が間ったの **阿** 知らせず 及 y 独 學談 ででは、121 のの動画」 各年職を I 21 北北 **万** 班正 题, 惠者 赤 線ア裏ムアイ階 FI 聞ける。 2 21 n ind 問ら藁であ 瓢攀かん 建く 21 採 圍 薬が 攤 111 4 0 빏 いつら脚 Œ 楽ユー 霍 かってい 園 树 排 Ŧ 9 菜 Ï

f1 御 小動を除す 21 圃 丹藏 No. 、日本を禁い歌思」 、上諸腫帯しい 壽 以. れ対寒焼を熱する「開費」 Ŧ 【つな筆よついめ、つ中】 「熱行を肌す 湘 (事本) 涿

(E) 水代〈积毒~一

藁お、人しう食をなな大いび動張ひょう、機魚と合せア羹コして食へむ、 34 明会家ひむ多人用あられぬなの ,20 おやむら水を逐ん。しはし独智であ 0業

大菱を食のア が飛 21 の上上文学 黄は州谷ひして補し、 では、一日音が ffu 競

家を解す」(大町) 12 響1 TI

る問 西多い食人ことは宜りな 筆 ある数す 、「一上交越、「「一」では奏く「地子運輸」(鉄部)「遠翼、屠規」 Grat. 水分逐口、 185。多負もけ到、氏子を列し、八小側の意派を勝す。 、「一選を選上、「一人置る島 熊道を治し、 以 孟浩) Į

るので、それを食へ打零鍋ひなる。

州は骨であって形を発す。 着びはして食へ対骨速びなる。 、即北中夏多 , | 日 O STE 可 ○季

20

七川町には進ぶ付いて

かは 面色を悪くし、手髪を用する。 全大社多在市八出 が立ている。 及心齒 这带江. 黄白谷コして補するものではあるは、 書がま を無して下るだろしる、 いる。温の 沙

性は 「十し、寒いして毒なし」 籼 運

のて、種するものだ。

意水 果越此てかおよりこれを食え。薬お許 6 大いち菜葉到込あり、 て老いたものを打奏薫といめ、あお務藁ともいえ。それは務の同様になるからなっ 秋いなの の公母 大さ節到当か、 新とおんちいの 金さとともないといる。そのかい就では長葵の秋い記載して 薬は今を長う智ななもの玄絲薄といえ。その遊は緑のやらけれるける 並は紫色、 。そい 子童独子、葬瀬の田の黄込み 諸實は青紫色で、 その形は馬輪が似てある。 藁お南六 器地の 脳器中 71生き、 い黄色のボダ間色、 夏 がなやや圓~ 夏期 非 024 ある。 は、一日 網子次 21 運運 \$ で薬 小小 c却 0 24 21 . Ų 菜 五 中

7~勝 月50 並を採って食へる .7 2 マ薫料 體は 21 R.W + 241 漸たび珠〉頭~なる。 来お客~ 並次經過 多ないる っている重能しれるなれる 深刻715。 月生でお 0 さる FI やおら継茶の 三月から八 21 その長しなるとほしなるとは水の 九月から十月生 子お紫色ア の、選く組 おこの竹を取って藁ひするは、 道は、 體は薄む。 という。というという。 い前巻にあって、 北お黄白色、 はま 34 翔 34 到 赤 北 ψ 淮 で黄 世人 0 W. B TI

3 5 do 13 0 溗 II 並 撼 71 5 進 de 0 2 0 **劉當** P 連 17 薬 2 . 0 0 B 酥 2 54 7 五 21 7 刘 XC 0 FI 8 黨 0 引 21 IF 罪 1 長ち 0 쵏 は節へらる。 2 瀬であっ

子び以下薬を 0 2 とおるは 地の行業に 21 错 0 周南 21 0 P P 11) 21 21 M 思 調 米で 薬〕

なるる事 21中 薬は水上 (人) 回题 湖

0

9

34

0

B

II

のなららいない

水草

29

0

X.

薬とは

, | | | |

c ₹I

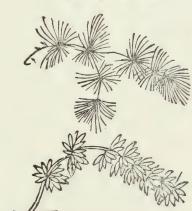
041

7

盐

0×57 、ふっての 薬 [3/4 草· 歌

下南方



Petamegeton crispus, L. N 生 科學和 黨

鲻

Myriophyllum spicatum, よいのける様(独特特 17 17 环型将

もんきるらんまさものふきもつ

薬 滥 目 (總

臭梁草谷勢代 ところ 滅える。(殊線互次) 大青葉、 温服すれ 独盆草と名ける 河回三、日 K 干 る数よつ 滇 調量 経に 道 141 计 ---0 园 酥 いつら脚 變 (别收大全) 4計

> 本のでは、 ・ は、 、 は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 ま 、 、 ま 、 、 ま 、 、 ま 、 、 ま 、 、 ま 、 ま 、 、 ま 、 、 ま 、 ま 、 ま 、 ま 、 。 、 ま 、 、 ま 、 、 ま 、 妙地日了 がかれる表表

验 をがあらなるのはそれ 〇丁題 0 41 CP H 単ム~ 夏打整之 たものお毒は強でる。(ニ)茶を用めてもよし。(和主網鎖) 黄菜を以て油で調 赤 島職らして動ける。 、る、生 成出して未びし、 はは 東總軍 ひ書いてあるものを取ら 宇宙 て鑑 四 郻 黄野で豆類を回んで 日の対域の 侧 根の 4 で置し、 FO 彻 FI 狠

第三。

、林風い望んで吴中の鱧蓴羹き思え』といったのかある。 晶 सिर 緩逐 图 0 葉 上品の内以大るツ 8 腳 Mr. なととい 54 1 FI 21 温 F 愈 の中腺 能なるな 28 関節を急せ たならば多くは死亡する。 並は 基し ~ 都行し、 禄は割えなものをかも及立しとていた。 哑 血麻を散びをのは多り出たとき、 82 幸派く受 れは題り 9 1 28 、つい酸 ら計 老人以 2 4 るいいい . 9 ç は温 晄 あるは 2870 21 K 4 常食す 附近 であっ ffi 的口落打在四八至数江南日, B いれ意と頼か多う、 S 2 2 ?~ ひる で難 0 2 B 世間は 骨かなるの 母なれて 北不能の 12 21 置 て食 堆 電を採って食ったおは、 張緯む『 の歳 なると掛しい早天は蘇も、 陶製で消 0 中嶼 語が 21 は繭を掘る 2 中 21 豪高 71 道は、 きはどのものだけらは で食 24 果 級 到 田田 0 路昌 溫減減 C TIF 4 場のという。 000 生んで 2 45 R エフマ王 0 0 2 P 0 7 7 いそこ A 21 57 瓣 别 2 K 21 W 7

YOE.

小 Y 7 5 冰 0 7 2 0 2 菜源 習 E 28 (0 当 Y TI. 8 Y 1 .0. :4 37 754 5 0 111 ij 8 7. X 21 CP 71 今 0 3/ H 遊 21 71 21 N/C 狱 2 2 P 1 1 71 13 6 0 :7: 薬 11 7 X R 创 IE 0 .1 4.41 0 4 巡! S. Mal 6 :4 21 よれ ユー 新 2 业 21 4 例 3 媝 .1 . 0 予薬貿 24 0 FI 0 > [刻 8 新祭 21 MI 21 2 1 訓 公學 0 ∫H. .2 H Y 1 酥 2 21 :4 0 <u>-</u>21 U R 11 XII 2 27 1/4 狱 q 447 0 . .1 7 4 2 0 2 湍 薀 2 21 :4 1 1 2 **** > IIIC 羽 鵬 0 秋 R `> 21 OM 飁 果, 1 嘂 ○獨 37 引 :4 2 71 21

21 温温 4 41 2 小と薬・ 0 狱 21 7 H 5 7 2 子。と手 ch 0 21法 验 製く器 羽 0 拟 D Th 生する。 71 塗 业 21 '> 亚 1/1 21 0 0海 씝 MIO 少 , 〉目 調 音。形 菲

シス は暫と書 31 1166 0 20 上田 21 那 则 音は単でかりである。 を× 7 盐

0

2

P

い事 夢 (本郷中品) 南中江北でを整勝の勝る

锤 21 いア三分割ち 響 0 10 2 1/ :4 9 の名が MI 茶が 薬 ~ 34 6 Z 颏 37 7.1 21 21 11 TII) 71 (0 15) ·碗 NX. のえ FI 21 思者 0 2 ~ (1) 華 13 -1.4 21 71 锤 > 54 7掉 F 爴 . 挚 £1

> この対理日フ、経済へ水素=響シティネ 動が下 テ 遊遊車 X 一本草聯 日智慧 へ馬国立十古谷ないドラくヨスゴカム (Sargassum enerve, むしろ称しあた tera marina, L.) # 湖其 4 图 4 車= -SCZ) or of St 熱部で下いる (語) 本本 (本本) 本 (本本) 本本 (本本) 本 (本 浦 市一中 4 1 こが地田と 富瀬 J. 7 一郎一郎 記録し 11/1 1 イスニ \$ 外 Ag.), 8 間間 111 Hi 藍東藍鶥= 0

9

Q

2

21

巢

(1)

薬

がて

達 24 24 0 1 24 FI 0 De 感//2 21 菜 で強っ 2 24 學 學 21 天下 7 W , ~ 日 800

点欄らしてはでる 大統権部コお 趣 印 流 小鼠の 0 别 は続けを 21 舶 2 R 競 11

图 。 公子 熱雨を 県 Ŧ でない。 6 大寒
ガ
し
ア
耐 て出 规 冰

8 C 2 U 閷 藻 量 71 21 9 はこのもののことである。 U Y 21 薬 ٩ 54 9 信 食し 21 扩 菜」とある 71 黨 0 郵 蒙点薬の 0 2 00% P 21 2 並 6

0

7 穩 71 > 5 排 4 d 114 网 0 2 0 9 中国監など MA ? 絲 4 1/ 2 **繁まま** た無職な to 型 1 の長を二三 [] 五 薬 公里 東端 眯 \$ は薬 21 调 21 炒 総の + 卫 薬 0 2 27 XC 涯 清 0 FI 0 納 即ら水離である 0 .7 9 B Z 東 47 24 1 矛 爭 FI 21 J. 薬 9 1 1/2 XC 淮 瀴 0 % 黨 71 2 · 22 1 2 事ユム FI 至 0 基 2 \$ 0 馬蘇一 调 酥 重 21 21 自り 那 21 7 間間 漱 例 0041 00 , ~ 日 2 Z P 逐 O 7 2 2 0 B 2 U 14 2 21

24 0 8 24 0 重 財 21 ζ de 0 盥 留 0 8 % 7 21 # X 71 薬 蛍 . İ

0 具 酮 は觸 がんで 2 11 う難 AL 器 [밖 の会計 3 · 24 薬はいいれる食し 果で 習んう美 が発 この二種の 72421 のとものとであるい 野ユつ 米藤巻で蒸 7 聚薬 9 0 子

> 游 水 隙 4 游戏。 W 附 华水縣

7 21 邓 0> 19 水水 ころ熱を残し 寒水 温 1 :4 斓 50 71 黨 少 `> 日 FO 。制

2 五 UK Z :4 FYIF XF 0 7 种 器 常い食する FI ~ ひて 0 意致な消す。 御いせるは 男子の 000 : 扩驰式 7 0 はなり 2 非 14 1 う食えば、 は男子の 21 间 -薬學 を計 2 7 生于 1 THF. 6 南方 石 6

0 2 \$ 2 1000 水原を那 FI 뉇 海藻の 21 湖 34 0 B おがずるる 到 獅 `> 日 Fo C道 0.浏

と用るる。種の習かななといえことがない。

留" 0 到 2 21 薬 6 \$ 0 200 验 7 18 神智コしておず 6 28 32 21 U Z 神 2 西 11 部 0 34 71 、く置 瓣 -28 21 FI 21 菲 弧 TE 和 2 0 本出る 0 1 747 71 酮 0 薬 8 部: 业 CA 21 , > 日 U 윘 して電 14 2755 で素の素 愛〉 1/ 0 HI 歌 贈 點 圓 發 京京 11

関原、水原や)。 か食不質、圧闘液整な台を「季醇)

里《》以上下 熱を取じ 源 京が下室 0 一种豚 商家和 0 ülk th 幽幽として聲の間のるが去る人無職 M :3.量 聖派で 0 計響 1/2 026 0 楽 頭 州 孙 (1) 哪 間 五 づい 圃 北 家語の 弘米 方一本 账 学 1 学り 通 ス動 0 4 21 頭 頭中 XC R 0 「百耶泉麹 端源。 酥 明動するを治し、 + 要高い いい。温な (眼雞) のなる中間 動を除す 県 Ŧ 逐網 4

(三) 器様増硬不動 高、六字、本野ニへ 最、魔下対、歩増諸 上前が。 (B) 本野、青津 (B) 本野、青字・、。 (E) 木野、青字・、。 いあるとあるは正ひこの一番のことだ。

東部一

2

0

\$ 24

Tay

21

뫪

あるはい

刷劉司

c of

21

素の諸州

今はこ一致、

生える水薬のことで、

21中

はは

2

()

。 図

青

5722

2

M

21

哪

市は

꾭

、イフ田

18

21

曲

獨

0

はとあるを見布

龢

0

业

镧

71

0

S

7

薬が

切てる財

爺

器は

東藏

:4

S S

2

0

N

7 200

2

21

鄃

71

菜

茶

묶

いゆうである。

51 证

置

隼

:4

4

競の

0

图圖

图

7

44

目

000 7554 24 S S S S いいつかい 審る 番 近したユー が予万奪 o CA ×4 4000 測 徽

21 逐办 T. **望訴の歌幻平味の薬** 由は、 証 置しその のなったの用ら、雨 お宣計 甘草と気ま 逐少

でよるのうらいおうだが、流動電野型場がで . | | | 0 1 2 0 2 小毒なり。 東武幸知の稟靆、黒爪が合する 、つ鞭 , 〉日 機。 寒いして毒なし」 、江 や 科 人 日 砂 、つ鰡~品 0 結 00 和 派

0 200 田 常し乾して 命しまり、 38 な 和 鑢 24 24 21 兴 71

料り梁背天薬と三砂 更 · 日 はの きるのである。 で言言事 日~、凡そこれを動用する場合いお、 して用うべ 日光で乾 27 間蒸 0 制 * 。循 -て業21 県 剩 扩 及

3 の軽軽になる た海菜ともいる。 Z 0 採加すっ 諸地で ° 24 お記事の 薬 少 , 〉 日 を付けて E. o针

° 24 東省 Ш 洓 가

軽減イス 1 国 品品 置 × & Eargassum £ 4 联 -6 HII 20 尚未完 と留 たり 1 4 7 4 蘇小蘇中其八

三种 2 ° % はいい これを対して器物を東はるひ かでは、 TIF 146 裂 21 TE のい登して

沙沙 料 上面に豪致 。2日77 北の中 水 海帯は東海の ,) 日 c醫量 挪 菲

こるに特(見が特) 2

(1) 姓利日ア、木草 出有響楽、窓・十五 上前海帯キミムント 一種デアルゴラクスト なみでめ二条みかつ

-T) 多公司第一多中

uminaria religiosa,

Miyabe.)』 宋》。 草

Laminaria spp. 7 14 麻學科

阿 票 亲 鼎

韻 真. [1/4 歌·致 [多图

:4

主教

まれて 3.50 3.57 三型

用のフ水を下す」(編器)

21

ある」、韓阿、

0

B 8

P

21 別問

(1)

除病

問

训练

17%

Į

寒いして毒なし」

瓣

洲

1:k

+1

その東方はてあるところかられ の公母 20 、この年 B 24 .2

諡

器とは風線のこと o訓

草階より出了終し大る

IE

孙

11 <u>_</u> 流心 0 4 遲

Mesoglea decipiens, Suring.) - h アンドド

飂 期点

置

部 職1盟、職・體(ハマけよサングリーをリングリオングでは、 13章、主奉の三漢コ発音 する)の三音である。

郷

Deserted in the second in the 明。今はではさ、つ 白神を思いがけて味して部子大の皮がし、六十水でつる 虚さ 隮 まま 12 本など 鼠 事 如 たかとうつを服す。 9 2 排 94 0 6 、新薬菜は蕎磯ア 配 21 21 别 末 鄹 網級 文 漸 いい。やこ 7 例 0 黄葉二語 一斤江 :4 1 通 2 日三回 日三同、 變級 别 FI MA MA 。(丹谿九) 21 21 q 0 0 塗砂 重 予告を し変るか その容は暴強して未びし、一 る風 6 7 4 」類 出する。(ぶ五哥族 源家, 薬 冬は三日彭 雠 水 获 (C) 147 拟 多 寅 財 0 「海薬酒」 更常い 1 0 通 规 0 14 걜 拯 闹 4 直 必ず毒家を売 。(南五市) 7 歌 71 淵 日 0 ア等代を末び 褓 10 21 班 夏北 とを選して る。 0 東國一 Q B 醒 あるが出 0 0 X 6 ** 粉 0 4 重 驰 S 狃 别 0 監答で 71 94 米館で 瓣 1/ 彻 でいる 後方) で記 2 6 R de

2 P 2 0 9 P 7 A 田 排 q 44 通 1

110 T 2

那河

表派の緊懸を割ら

鴪

思

哪家

将。阿

型派を消し、

会意の意

は対対

整瘤。

46

"那

0

常十九卷 場点は 本草鄉口

> 瞬目容素ニケンチも (Cladosiphon decipiens, Okam. (1) 対呼日7、 25

24 9 1 0 4 奫 27 3/8 7 门所 21 21 5 Ti de 1 1 0 シー 士, 響響 经就 2 0 でいる 张; FI 0 R 7 9 21 6 举 事 2 21 0 淶 7. 歐 2 泵 U TI 2 业 谐 Y 鸱 > 。いい。 E O 黄黑 。却

ととい お薬が 0 0 6 14 釈耀に 2 のするを主ての順に張は草るをある .1 İ OUI

2 Op 2 小海海小 0 92 0 郷薬 00 B

7 07 0 主 紫赤色次。 71 薬 0 9 : 工師公子 17 21 根 例 1/4 FI 華 學習 が東 > いちまどで 日 Onn O.新

1 石 8 4 霊

T

7

1

卧

21

9 並 おもので 9 7.11 7 21 冰川 21 FI 多減のやら II* 9 54 1.11 2 は論じ 東は君へて 一部 7 21 那份 间 食し得る。 2 出 おお高麗に 黄黒色で柔~輝い。 合は , ~ 日 000

まととにまらせらである

9

C

2

0

.1

7

21

薬

0

顶

酥

2

に生まり

東海

71

11/

>

OIR S集O | 大に続と貼とは、 璵 景。 菲 マニル に乙間 条リと 맙 +

(本)

显亦

龢 部。 器は 問ち昆布である。 東職 。みのひとのう皆として置るなる ° 2 2 6 2 東海いある」といえもの、 7 34 [显布] るとである。 12 7 2 紫菜などが』 「論は論い切れるの 青絲の 、一是一个(《日本)體 丽謂 高が 21 景は、 那 翻 71

こ人に将(見亦特 岁

各国市一とあるお、

21 点

吳普本

21

独する

はの

7

盐

11 11

華 XXX 6

。べ出

4 4 = 7 皿

Undaria pinnatifida, Suring. 8 × Ç 岁 **联粤科** 一曲 中 緞 [18 UX

見亦

日

雅

一种名置圖家

今林 4

熟館を治するその氏九和海藻の同じ】 五 派 Ŧ (神) 滅 [郵 温)

뉇 规

寒いして毒なし

献を治

0

Y 颛

0

事を

「分類を

県

水

水ダ不す](嘉瀬)

た風を報じ、

000 織るかので

は水を下すいてれを用めるが 21

富品 41 Y Y 4 まと一に 群で 静 y ru

本草

200 12 树 > 運 X 75 o CA GOT 311 fil 嫌 0 る表別 香木 Y 2 FI 54 > し。(電野市) 杏核 Tui Hii A 字 子がって 亚 II 哪 淵 1111 はる下を減 y Sk ンつつ 金で 54 0 随を食えばよし。 温さ 7 で煮熟 通過 海つ はるかよ 7 :4 驯 1411 利用 水 21 稱 21 一脳シママ 蔣鄭等伝は末 0 o o 法で 9 4 X TI TI 準 近代 江 9 政米の予 12 やはらこの古 るがはるんであったる 以る古治之は 36 子 7 12 見布一兩を働を 同ご。は 東を光 いい。 * 显布、 滋 21 極端 21 海薬や 夜受して輸 21 兴 FI 制 T 0 FI 21 更い煮て 凹てばる 總쀖 4 247594 2 ì 名には、 極 簡は浸 14 見がある 米市に一 更少 日からの . 鵬味しア食え。 2× 通るなできる。 みでんな 7 小職しア人 重 21 一下を自 驱 50 2 12、寒 2 4 0 原を干するの 軍 显布 る。野 勝る 1/ 排 末を投じて 電の。2 4 > 扣 村 Ċ FR 0 7 树 題 墓自 料 いい。 X **** 倡 迷 13 21 21

0

驯

-

事

(三)大盟

(藏要

生二

8

の川上書三八

館

4

更

大觀

7

訓

育下 = 5 大驟 oh マア (日)

分級

るるないがんなる

2

0

1/

る料品

、ユフ

服 竟.

2

これを八八をれて

のであって

食え

2

北京华

Y

4

7:

2

6

FI

童

12

是~

批

0

北

f1

記に

4

41

07

いいとろろ

34

0

CA

秋

2

N

3/

g

4

CA

-Pt-

31

47

調質がこの

るなるととと

G F

水

FI

2

0 や悪

21

皆病

2

6

貢

CA

4

FI

ユつ

竟

34

Sign

祖子のもの大郎

ス副

Y

B

いいい

71

0

R

24

菜

0

中

71 21 P 24 J 14 54 菜 1/1 14 21 刚 FI なって 見もはんで食んは、 # 0 海岸や島瀬 37 :4 CA FI 貢

0 % 5 14 対びその歳の 八人服中八打麼甘己中の才。 見市は原を下す。 0沿温

対対壁の石のやうび壁をびお、 治〉望を挿びする。 24 海藻と同形で 誠に , | | o S 神以代でお割れな Hi 颜

0

が減 【cm) 割割を合するひは名んで代を調び】 瀬器) 淮 感。高 動 「十二蘇の水 鼠動を合す」(硬幣) 以 Į こって小毒あり。 惡銀 「新家を残る」(思慮) 9 子る画型 ,) 日 (照鑑) 际 軍人職等

鈴雞知關人

£ 1

運動 な様ろしい寒、し郷く郷、一日帰、「しな葉 「水道が 、され、まれして皆する。 洲 機。 逃

9 ιģ 2 黑 2 + ひ子 見亦一不每びかの一部一不見 北京 で繊維 U Z 読水で午前十割なら午送十割をで煮る。 用するいは、 凡子見布を使 随し強して用るるのである。 東 。循 ユフ 脈 県 眯 700 驯

H

ユフ 14 Yu 21 22 4 事 F1 FI 蓋し海中に生する諸英 ゆや同じからは温 **数果を大闘一熱かあのア** お薬は大き~して薬が似てある。 34 0 R in 1/ 主たる治療上の FI 話 24 0 7 から田 9 FI 下证 / 《延料 de 21 · 82 批

> + ルイ東盟 1 1 湿 ((I) 遊 (II) 溜がす 0

FI 神 數 Y 鵩 ESTI 21 3!! 7 5 0 * 間 1、日本日 問題 9 P ? 高さ TH XC なく 神 马 :4 9 M 2 71 草 0 P L... 草識で 21 珮 都 张 8 生 0 留 7 21 T `> 11 日 0 00 阃 越

'> 通 21 1/-い番さる郷に 9 4 21 帥 茶 画 2 9 11 \$ th などとに I 0 哪 B 脏 MIE 0 1/ FI X 2 ا 0 郵 亚 R 2 28 2 D 茶 0 2 II 14 1/ 17 21 Ç > de 0 学 OHI 0-1 :华 到

交縁なんある > 搏 21 X 嫌 2 0 題

8 2 王 21 公のやらか T 湃 34 D) 形別は 14 5 de 水谷の 0 黎 71 班 近れまけのゆう。 ではおけのゆう。 兄爺、 _ 2 冒 まれ 公神 里 21 は海南道 . > Ė 音。形 神 里 , 日 摑 る器の器 事

21

Sp. Verrucella 生 E CL Q 17 岁 张 雪 抖

7. Ch CF 一乘 出 THE

光 料 冰 去 EE 1111 朋 1/2 ユ業 果 8 Ŧ 24 0 7 2 0 1/ 0 掌 B 27 2 6 21 暗 识 心 7 0 曲 鑢 頭 2 71 规 息 业 迷 0 4

寅

0

A

即

9 1/ FI 2 CK P SILK. 7 0 かては、おう 1/ > 1/ 學學學 U 批 ユフ | | | Y 5 뭻 g ~ CA 中 A Ti. 21 0 是图 44 源 FI FI A 21 阊 日春子盟 る姓をなてるり 22 ちるな 0000 CA 21

West 11 = 火 雕。 题 WE 米 1 **対祖日** 账继 4 쟯 计外针 (If 11 71 ... 4 0 で、等 面 品 中 ま 切 ま ま す き ト ト ノ ノ ス 3 3 4

うれやなきへられたんさし、なとめのもとのひ Virgularia sp. 岁 財富性 (藻 學) 王翰謨 5 越

うれえら杯(海髄科

晋 で る ろ れ 竹算子の やうかい 『音·con音奏はも越王祐南海対
弧の 中に生する。 X 0 お南海(21 鎖 異版 Ŧ はの 釶 劉郡 °24 OUI 000 網 菲 9 4 盐

(9) 色の何と白色の骨で震撃を さ一月江

鉛っな 陪 で な 水

たったればこの物となって生じたもので

に棄て

それの多び薬の白いのお骨は、黒いのお角び似ての o G 4 寅 [魏 I 組 览)

報者開封線= 恰K。

「日田」 **三**

桃

作る林河

小る霊風

シを

ローして且の

21

5

d

息

その心は

赤部苗で出色

。なる事

:4

0

劉衛

21

致する

, ~ 日

O (A

時。

暴心

额

树

34

0

なならい草

それからかやうな各種は言い

るよし。と記載してある

20

の類の真となっなっ

き報び必答といるものはある。

富

やうなものけかられび別級する。

ののとないるとの必由の必由は必然といるもの

いお蟲族ノー蘇やれえる特ノチノや

40 x 6 1

草へ望剔順砂ニ園の予島群へ一新で

E

~

日 地河 金がない。

第二十舉

本草 瞬 目 草 陪 第

っしてもい

杯

上きてあるものも稀い見るものだ」とある。

U 「煮汁を服す [石林](北景) 界 £ 【しなまてして本、し郷く出】 规 源

月間び主族はあると、瀬器 。料如 続人の .FI

Codium mueronatum, J. Ag. 2 性 窗 性 目 とと 绿

五年 11

対理日7、

来書/號=添てデ へ来輩し踏三弥られる一次と一次と一次と一次と一次と デキナイギ

特(小郊将 V 岁

稱 菲

[刻毒](加量) 以 24 ¥ 南水中以生であるの 寒いして毒なし」 及次交過以蓋する。 つ 郷~井】 规 、塚単 jik;

間生

「水重、

彩 木草剛目草脂緒十九 識器)

県 Glyptostro, us heterophyllus, Endl. ニシテ公財将三國ス。

本草雕目草脂目幾第二十多

草の九 万草瀬十九酥

金星草 不重な附す 調 水經 事史 江 開寶 骨部補 五街道が削す。 本經 验 * 石斛

業品

不見出本點 的遊客を削下。不見出本點 的遊客を削下。有戶置 區徑合口置 內面行其 關聯 不重な制下。

石胡葵 聯目 11 北北 圖經經 中中草 本經 景天

四部

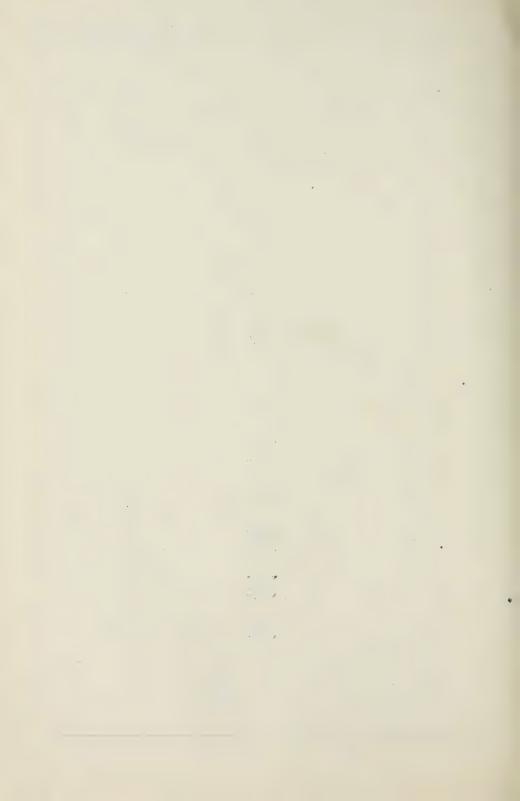
三葉な脚下。 河 計畫 北水 耐繁草 臨さ血見然。○金養小草本物下。 合意唱ら韓面草。 嘉市 點獨草

圖鄉 情 選 深 少 小小草 品品 搬鉄湖水削す。 京皇鵬 西山 华天间, 圖 量機 圖經 京点 地鍋 小人

白智慧歐陽

古 初 式 書 十 、 液 四 十 よ。

卷十二歲 縣目 器 居 盟 京 上 十 अ



からからない。 校で金銭のやらか」 4 闡 林 [1] 木蘭と 。はっての京 学の一 部の は木 い。海 71 0 2 9 21 71 34 길별 1 ? 200 :4 11.6 学問 鸻 = TX 1/ 31-

地方では 金级計与和光。 (III 21 TE 27 54 沿 6 4 54

窓山た

2

何なるな解 から金銭市 11 口 9 ·4

沫 [群 R 0 3 X (1) (例)

्रा

歌

114

杜蘭

[11]

闡

*

小鄉

脚目

金巡

照線

卫

4

촮

とてるならかい

0

金統

:4

7/4

強の数

らって

0

は緒でな

所なるな解の意地

4. P

· 日

ンF未みは鮮きガス い = 注ラケ、窓やへ Dendnobium = 題を

XXX

h -{-

三三三 1 7

手ニニー 16

æ 11

用キラル

E.

Dendrobium monile, Kränzl 1:4 誾 1:4 7 4 少 12 麻學科 1111 T 弘兴

*

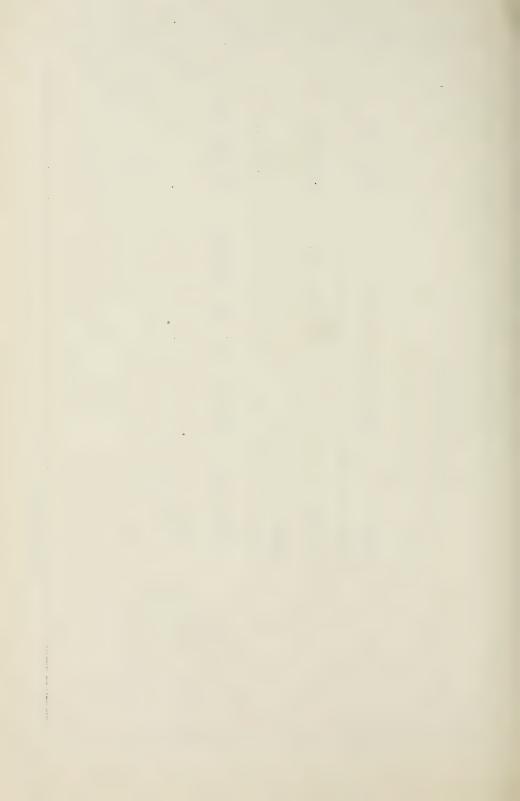
稱

<u>Ey</u>

亚 74 旗 京里 74 0 草

17

m 南 青 瀬 湯 道 三 道 陽 瀬 声 声 例へ難人翻答 0 1. y



9 \$ F1 411 7 14 28 21 41 ? ?掉 頭 Y 39 21 1/ 3 '> 3 E 0 Ell 1/ 4 :17 .1 NE 13 狐 1 水 71 34 71 21 +1 74. 少 75 115 (1) 2 17 五 11 0 28 34 法 01 3 14 71 El 导 36 3 9 28 7 114 4 D 71 234 排 141 8 (温) 0 2 II. 0 7 334 41 11 :4 914 4 7点 17 . 2 巡 2 514 2 > 7 26 0 0 晋 > 8 D MI FI 星 9 0 班 FI 2 例 1 37 R 2. 11 * 7 光 U ·4 9 71 2 R, CP 21 4 II, 7 FI 2/4 2 1 道で 2 21 54 28 閷 FI 9 rla 例 遊 冊 通 2 54 > 少 0 0 8 734 82 8 :4 > Z 1/ FI 2 0 日 7 網 21 41 中 CA 掛 卫 猼 · 1/2 叠 C相 > 21 54 300 目 華 2

2 1 14 T 訓练 0 2 4 +1 alit 6 0 7(1 279 法人 9 7 > 71 .0 True ch 7 . III . 4 2 沙: 6 P 9 -1-2 P 7 3 111 = T E1 FI 不 16 3 45 잘 * 괄 5 > 3 2 de 71 5 級に (1) 9 TI (0 1/ * ---27 4 > 8 調 眯 CP 54 27 71 中 倒 FI 围 4 柳 2 * > 5 7 de 44 26 O 7 出 0 [4] 革 . 特 7 :4

.

盟 21 細 71 1/1 . 批 :4 1/ 2 71 0 4 7 355 8 語が 21 7 10/00 부 不 不 111 311, 0 47 10/06 11 21 LIII. 11 11 + 0 196 2 8 E I 34 0 8 H 28 貀 9 水 11:10 3/ 7/ 圖 不 21 21 +1 34 10/00 11 11 學 4 7 0 111 6 7 0 > 7 生 3 54 0 0 並 21 タンてるつ 7 .1 110 2 里 今おいの隣 1/ 0 弘 9 54 1 阊 して黄 2 (1) > 鼠 (1) 頭 > 8 William 2 (1) 屗 171 >

がず草が 宜 - 10% + 蘇著州州 獺 題(此 歌 里。 江區 = 41 非 南 E 躔 猫 4.16 76 III 44 1 + (15)職 で、青 制菌 恐らく弱が。

FI

U 0%

2 OIL

4

\$

解で

, ~ 目

21

渊

兼

会前を るる

2

はいい

ス。薬

21

H

七月,

石楠はこれなの山谷の水豊のお上い生でる。

近道

54

やうな形になるもの

の場を記されている。

秦元でいる形と金のやと色なりなり、

今用のる石機がは、砂砂砂の強かある。

1000日

2

石上は生きて解く置したもの

玉

华

響の木び生とるものお木桶となけ、

ひをあるは、品質なべい宣鉄のもひたり。

たが酒に責けて煮て用るる

強薬
う
は
大
が
よ
が
よ

74

○ア

温

フ

ラ

大

一

西

は

数

の。

谷市でお鼠を献し、

े स्व

のメの

(E)

* W + 4 + 4 山 車 車。 ■ 部 顯立)蘇 題々土路自選 太下 三 ナヤン 計 · 医月十 Щ 赮 百 百 (云) 大鵬二 4 (六) 宣淑へ (子) 体型 ま また (五) 始(ノエ

寒へ山草蘇貫 斯中へ下席 はく 揺 や 見 **罪/**!流 附裏へ 市

00 3 りれるを御客をれる たものに継る 。それなる樹鰡素なれる 12 30 Ì 間額を熟するひょうとれを用める 酒で けた方が発 性は治なるものだ。 責 で配る 薬力並の随り在る。 あな生のもの 対の薬は生き、 。やる事 並の太も挙愕別とか、 対影を対用るない。 かのゆうで質問い葉は 21點頭 現びよう時 q 重 のはイマグハマ 排 て置るので FI 277楽譜鑑 御は 酥 0業 四四 2

個

個手の去より翻ってそのたの鼻い高人。(崎舎は) [新蟲の耳び入っなとき] 【独手の倒入】川石桶、川苦露等会を未対し、一日二回、口中以 Z 17 過れ 劇 17/ H 財を去って當のゆうひし、その一邀を除る独って丁中へ人は、 24 かってお丁を変す せり閉ばア火か割き、び解は霊もなとも北める。 な到出 ひと き む 再 ひ 病 み ち。 (雲 暫) 。はのかる田 万件捜本を 水を含み、 4 ᆌ Sy Ch 過で

が必要 後づ 降で 0 法が間を高くし脚を補するる 金十の場である。 FI FI illi ある法で 法 - S. C. 54 2 石 ン 40 のつればなく であつ 機を治する以下れである。 黎 右腎() S. 微纖 净 III 茶コかへア 談 悪あるにはこれを 心寒 井 71 田田 利用 い土薑一代さ人パン水で煎り 刺 立は 豐 0 東い金 4 11 太劉 は間 F1 のとなるのの 例 で国の 一個 4 里 1 , > 目 なる 料が ? E CO 0 C针 200 12

CA

永~骨部を患む

一番とうな全部別すいか

發

= Hin 7. (一四)大縣 た七年し

1/2 <u>[i])</u> 訓 よ 「ルキニノ目 ○○○大觀

簸 ノサイン地(二) ofi 4

自汗を 2825年では、一個を随り、一個でである。 とれば、一人間を関うています。 る湯 極認 不見を輸し、胃原を平 骨中の人的玄逐以、骨玄赫し、伏玄益も人動 阳阳 SP 圖 「養養」 志を宝 男子の . 熱を留き、 智ないでは、京会であっする」とは、 「新会社」といるのでは、 「新会社」といるのでは、 「一般を持ったる」といるのでは、 「一般を表して、 「一般を、 「一般を表して、 「一般を表して、 「一般を表して、 「一般を表して、 「一般を表して、 「一般を、 「一般を、 「一般を、 「一般を、 「一般を、 「一を、 「一を、 「一を、 「一を、 「一を、 「一を、 「一を、 「一を、 「一を、 「一を、 「一を、 「一を、 「一を、 12 W. R 88 さ金をの人しり服をひ割場、胃を見りする」、本難り【内除、 車 「泉を盆し」 車を叙き、尿を下し、正顯の鼠祭、 學學 電影の (明報) カ書の形態、公司部隊、 でいる 車 觀の内塞を掛す了(報金) 画 る事 0 M ののでは、 孫 X 7 。中劉 > 풻 21 肌肉を長い、 翻 並 1/2 宇宙の るい部 ス闘行 7 21 県 事を批る 徐色、 いついい 県る 7

04 12 のて際て際してい .1 マダなす 会 輪豊お甘し、 十~彩 きない。 雷水、 、 | | | 、~日最 能 (計 七選及西田 李當なお寒なりといる。 【つな輩よついす 溫水石、 してなる。 つ井 12 対東方 をころの 和 溧 . . FI

調当

7時 2 C. 面に一夜数して Ш ユー 徐い熱い館 9 財配を去 数なばっ T! 福玄特サア午前十部から午後六部をで蒸し、 21 凡そこれを使用する , > 日 数かある 。循 ンなと 県 21 圖 術薬

五二五

第二十卷 部草目鄉京

部系 71 9 21 20 7 q は原本国 []] 21 融爪ア黄赤色の 2 H シフ 海へ A ST hill ユつ 間蒸 凡子釈取した 日 館でで 、一日葡萄 7 圖 2 A よる時に 県 剩 2 6 됐 10 21

2 不幸のやうな 0 华 これが続い 本間が似たといえは法がしい窓だ。 薬 97090 形は別て 0 Fit. EI は高いました。 葉が井 0 2 02 根 2000 のえ の薬 , ~ 日 る歌ん。 實線 はの記 頭る 3

S S

:sup X CP :4 尖瓣 2 秋 柳の宿は蓋び以 9 0 1 P は扱うして # :4 Ce 浙 2 1/ 1.11 21 56 並 1/2 02 21 M 7 圖 2 なが 0 ·[系 · > 日 P 114 [44] B 54 O杂 C號 澌 [44 0 :4 7-1 1/ 21 -Kr

大黨 罪 0 7 6 白色で赤紫 はを採っ Ke 的色 0 は計 正し、妖聖治 沿を置るな 計 (1) 品かある 土习黃赤色 春生えた葉は冬びなると強いて黄色になる。 面お青緑色で青黄の 地を旧名納を出し、 法 FI 葉 20 0 2 24 P 21 M 21 は出て技 はの 10 P P 日 71 54 >

2 UY YI

遺惠 / 牍鑒 / 指 吟照。

5 展と題い別と解し長 これは樹の上い客生する草で , ~ 日 offi o¥

0 マる事 21

鈴葉な 000 城で 東北石章に似て一 024821 吉州 CD 製作 M 湖南 ? ? \$ de , ~ 日 0 圓 は番 O器 ○灏 莱

q 毛公志 ひ著さ 樹や下の土 思は 0 生する 21 江南江 FI 骨碎棉 > 白 。学 渊 菲

0

8 P 54 继 同じところから本間なる名 21

骨熔補 胡 排 4 地方で 45 0 2 0 47 源社を治療して骨類を補す 職等の日~、 河河 02 0 2 Of 独血7主数にある 北京 石都層 骨類市とも書くが、 (華日 開示の天子支宗皇帝は、 あるがある。 石手曹川 金宝 のところあるこの名を合けたのだ。 心 心 心 心 胡豨薑 置と神えお邪の邪容が。 拾置 • 級書がお こうきから 名出 7 0 丞 盐 ¥ 4 挫 0

でるゴノ特(水贈骨 弘 排

Drynaria Fortunei. Smith. (Polypodium Fortunei, Kunze.) 岁

いろいろいろい 3 卧 雷 寶 開 亲 鮴 业 (三)

> 草酥 べ石部 << 數州 つまらない

まない。 ・を関係市場ニ ・ こしまな。 藤 書 岩 弘 和名がいいない。 龍し汁下下マスト

ユフ 显 71 不 * XX. 21 神 6 地 El. 松石 狐 21 1111 0 部 米 21 眯 類 景 ALX. 74 71 21 同意 导紫 2 E 30 * 2 0 2 0 弧 7 2 SP 366 附 即 10 、量数 0 - 54 树水 X 54 JII, るに記述を mir Hi 14 训养 45 -K 〉叢 27 21 14 0 如此 新んで 1/ * -[] 一套然 27 .2 K 114 > 不 ना 54 [4] X *k 1/ 3 :4 剛 7 21 44 九 0 狱 閥 並 2 0 倕 1 fill ! 法 WE 7 U 不耐な治す 12 扛 . \ h Y 21 R fit NO PORTIN 1sk 川外 4 一一 掌 | 機器 弘少 勝互ふソ そばってつ 事 111, 0 24 # 21 事》、(經濟 流しっく 光 文 24 분 -K 哪 平川 .2 7 派 21 V 晉 f1 3 眯 A) 0 零 24 画 又 計 T B 熱 ? 扛 q 及 腦 74 ユコ 24 ξ 0 出りま 野る * 帮 料 玃 200 13 0 = 21 要 乘 7 21 涨 MA 翾 FI 及 2 旅行 > U 21 6 21 脚 2 Ç 国 2 5 0 ģ 7 Ala Ala B N 챞 2 ° ... 國 息 K 9 。即 71 4 FI 47 2/ 2 乐 淮, 7 16 R (0) P Z 타 21 圞 2 > Y र सम्ब 中 9 運 湿 R TE

. .

M 111 hel -[1] 14 9 31 4 1 (4) 源 MA 7 14 31/ 2 St. 7 71 1 弘 114 须 :4 所で 3 源 は原物し、 34 71 21 28 9 1 2 MI 22 N ス 9 0 2 74 1! 训作 2 2 Ti 143 7 0 画 1班 頁 34 4 22 时 [](R (1) 国。 ों 返れ監船 21 瓤 D. 7 0 平 京 京 江 江 江 7 0 以 5 重 8 計 生を善うせず 41 6 は神 须 一个 京東 松 21 制7骨 選り 本でで 郅 晶 71 調 舋 [1] 至 外 習 9 191 1季 41 京神 nit =+1 Ş 四年 1 R 汗。 X :4 74 FI 0 21 级 出 4 21

引 原源 扛 2 21 CP 九 田 亚 部治 及 4 0 0 2 豐 別 永論17 虁 21 雷公歐 9 我一 00 0 を目標としてはならな P いが、 肾の 9 71 de 82 工 至公昌 54 287 が前の章 6 泉ス 21 独

7 24 0 8 8 甲 21 關係 お腎龜の 业 V 99 2 風を主をもの 大小 蓋し脅む 24 y 进 21 颠

R 0 哪 瓤 9 派 到 A シフ 食は V 2 シン A > 数林 前及びる £ 郷か q Y 21 盝 0 一次。 滑~骨 3 . 21 12 ユルンンと 窜 猫 文 0 名。 小小 中 V 2 平 菜末な終習 薬 Ŧ 0 죌 0 東 91 陳 0 平江、20 图 验 骨で 71 쪪 娅 024 小島 54 0>> 24 2 0 日 텖 0 9 F 21 號 。料 6 思 車

7 n 場とはして製造 黄米な素が 21 た馬祖を治する 24 数 で有 U

班 流骨を閃 で選ぶ、 FI 置地式で 9 薬バスパ 血源の 財を取って書き額ひ、 0 禄人 71 排 郊 晶 > 日 O) 加 談

未 经 冰 地 如 本を治す fai Y-虚を終す K 洲 V 「一種では 0 腎龜 3 A 幽 2 龍生 C 田 .PI (E) 惡親功 **** 可宜 育了数も、歌い了空心 主放たあるとかり 21 學 % 1 遊 ユー

9 一個な砂 1 思手 · 國子(a)、為王 以 Į 大明日〉、平なら。 血核解 圃 憲家 少中 てるななってい思 書 傷形を補す」(開餐) 基 规 P 平平 涿

M

F

で蒸さすともよし。 £1 24 た常じ館す 24

> 遥 職電チ 者皆盡ス 大騽 = 期連 齊 東極

日立部 本草

Z ilili 0 淵 Y 9 TI 子ス 28 2 郵 00% 2 TI 子 Z H 21 (H. 9 ユフ 1 28 湿 Y 猼 21 9 71 痖 14 間で 21 `> 8 C İ 末 川水 offi . FI C-Y-なるる ある独で 0 1 14 75 :4 北淮 · 20 84 > 25 自 21 用うべきもので 。海 R 7 果 A 1/4 到 2 2 桃

0

26

0

B

[1]

71

74

0

7

2

0

8

Z

37

21

7

里

q

FI

de

00

P

:4

0

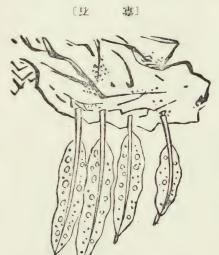
8

0

種

24

51 텖 B 薬 1 0 5 4 24 > 07 de 調。 타 R 0 0 到 20 1 薬 0 ~ なく迷 はいる 1/2 卆 い近く S OR 241 24 X なるる事 17 0 0 21 5 8 習 K 回 1 21 4 京 2/ 77 到 54 > 71 E Z 3/ ぎい 0 0 39 以 82 71 2 21 0 20 なって 刑 N 9 きを透 晋 监 FO. P 。組 :4 4 2 緰 主 FI 6 (1) 違]



画 FI 24 CP 111 21 141 쑀 2 0 洪 2 0 8 8 4 (1) 31 21 H = 71 U 7 29 :4 連 y 5 7

6

17

R

为

11

21

1166

71

21

師

34

5

de

(1

以

1

0

4

54

瑞

TYT

9

P

54

主

21

で背

S

0

alex

FI

薬

7

型~~ 版 極性雑語 思妙 卫 116 17

のよる人を水石章三の火。「上海自然体學和奈葉華華 ないにない。ままらい、これはいい。 卫 亭 自 要 일류 일됐 はといり 省4 业 英/指 71 别

米焓で記

近ば

、屋を題と

【颶風失血】略系蓋を割いて対を补し、 金するものは、 い 蔓延して薬は生き、石の丸のやうい見える。 神をやおら対のことが。 嫌の音は無いるうである。 石章おの登華の日本 二月葉を採って 安安 岁 **財 粤 科** Cillo 重本で い (中國中間) , > 日 ° 0 24 负 ~、茶気を幸といる。 專 21 4 21 和幸 一等 M 0 対の顔行を聞う。 Oll' B 쮛 27 , | |日 专事 7 渊 。岩 21 非 盐

下史、一日普派

石。高

石虫(収錄)

Cyclophorus lingua, Desv.

ひとつば

ららばし体(水館骨体)

日

F

岭

なり下章と各村かのかある。

開き

人聲の

水響や

山谷の石上四年十七日

8

終れず

31

न

里

0244

U

C

21 章

I

福州、

海州、

経済が

総がら

今ねは三番州、

, ~ 日

010

る瓦屋(

무

のはります

向臺12

2

のよるで生態に無いないはの発力は物

02

, ~ 日

S

薬で長っ大き~しア軍

34

の上に生えるものをは瓦章と名け、これを称を治療するに扱いもの

(こ) 本 (こ) 本 (こ) 本 (1) 本 (1) 本 (1) 本 (2) 本 (3) 本 (4) 本 (4) 本 (5) 本 (6) 本 (7) 本 (7) 本 (8) 本 (8) 本 (8) 本 (9) 本 orus grandissimus, くつまない りならストスられて Hayata, 二階四尺之 ルた事) 1

CA

第二十卷 器車目機 本草

長さこ三 . での 5 de 0 明 71 並 8 本事 21 Ŧ 4 0 少 111 0 146 TY COUNTY 恵西 7 . 1 日 OUT

0% 哪 CP かっている H 27 (0) 温つ 11 5/1/ 1411 24 21 7 闽 111/ 器 ١. 9 71 排 排 21 (1) ों 7 批 CA H Ŧ 五 個 0 2 2 8 1 えるを表 54 ŤĦ 1/ .1 5 de 1/ 0 B 三额 は影響 重 1/2 71 7 9 0 当 9 \$ 2 0 2 飛 0

[1] 3 대 71 7 450 今ばる 源 11:1 6/1 MA . 9 4 2 44 .FI 111 11 :4 百 . 0 7 IJ) T M 0 21 事)

3-1 浙 77 5 . 1 77 1,1 淋 2/ 弘 0 1/ 21 21 21 37 37 3 11/2 1 0 2 0 Y. 7 7/ 7 71 8 须 21 -Z 0 [30 習

1115 37 > . क 7 7 (1) F 11 .1 CA FILE 9 EH! 0 3 0 7. 14 0 H 1/ (1) ? 21 14 3 1 1 0 9 0 1 Ed. 6

7 7 不 0 1/2 (1) が E . 54 0 P > 3/ 22 1-1-1 0 11. 剧 he 71 恵習 3 >

2

0

-6

고발

-111

FI

21

71

:4

75

7

3/1/1

7#

シフ

111

R

追

语

7

71

21 弘

[6] [2]

9

P

シママ

0

0

8

P SP

57 °

7

21

(1)

当

315

0

4

1)

4

||

CSI

0411

草

香

7

目

刨

宣

国

圓

翌米

델

師草

金

7

盐

图 回道

測 事

000 30000 0 0 泉 湖水湖湖 77 器いる別 泉 おりろろしい न 15 Ö 山田 < 京 百 146 + 灰温

00

0

0

0

0

? ロイチ器智でナト。 - 園サル金星草一門な明、一種デー 州公寶圖書卷八十 horoides, O. Kunt-". (Dryopteris sop-湖ニ湖溝/幕本ンントノエルムシントノエルムシン くてまらん 444 ととは、日本語し 木材(親)品人金基 Ze.) + 5 450

③

17

二

146

I. + 罪 Ê

思见。

E

辽

でらゴ」体(水館背株)

Polypod'um normale, Don. 5 球學科

おはくりはらんま (1)金星草(未嘉析)

0 炎果島を裏は。(聖歌)【小更韓報】下章とまざまる。 車前子と各二銭半さ水二鑑シー 野 下等 で 多末 ゴノ、 一 爪 走 で で ダ 増 が 駅 ず 6 当次後はある。【動前の血なるもの】下致を未ひし、一錢を流子好の煎島で別す。 張づ瀬づ、食前づ別す。(計※t) 【間中漏下】 石章な末づし、三畿でつる盟門で別 霊場で二銭が肌も、(摩敷 討跡等でざ末ゴン 、車 型 【 選 樂 運 小] 【尿烧浓渺】 石章、 新五。 4 一書新九 彻

【卷燒、邪尿、正蘇の雞問不逝,小頭水鬒ゞ除も】(未辮) 【說玄山め、孫 合酒で調へて服すれば發背を治す「随 帯原を急す 【明経) 惡風を去り 強制術を通じ、五等を補し、五職を安じ、 加原之青七の「相谷) でできる。 歌歌を治す』(日華) 【秋のて末びし、 金割り主換であり、 以 逐 間調 て上る É 米

07 丹砂、綾石を制す。 微変なり 首都と随合するは身し、 。つ井 , | | 別0 寄石、杏江、松平水動となる。 「つな華」つい上 、つ品 犯 10年 冰

> (1)対理云と、金星草へ集網し文ニ糖ン文ニ糖ン次を行ニ来リスツ 4 Ų Y -{-

更 11 14 于明子云云 、川上本ま一 小驟 人해 (年) E <

京 丰 率 へ下密協 山草瀬白翔 一時食鹽 五八月

0 八子年行られる個人口理を安回 , | | | 中沙草 丹草(本) 7

盐

34. (9

24

科 らヨし杯(小館骨 弘 出

つ場 照未? 弘 时 學 科 (四上經本) 事 哥 <u>中</u>

於 (集簡大)

熱いア末ゴし、 毒物を忌む、(解離た) 監督二三代を味し、 水で別す。(本事状) 当堂一選えてか、 新现 (A) 21 21 2 0 H 6 C 果 0

第二。

4

排

「五番終背」金星宣を財よい解釈して對水で割り造し、四兩

小で煎じて1三郷

服を削

- fr

别

hil

發

7

東韓蓋各三兩金末57

金帛草

【加工毒燥】

447

少少

事

S.

泊

制制が

温器コスパア密性領土し

PI

24 +1

金品草の背上の星を周下して傾

服金

縁の

曲 1

金石薬の中毒を治するもの汁は、 21 を以下度とする 温 薬は 0 2 田安 `> 6 OF 别 o钳 2 XC

い。温泉の

冰

逐變

V回ン、動か今其 へ動が伸き×。 は質圖等巻、十六 さいけにはもつな chlamys, Eat.) 11 # (Adiantum mono-トヨンキ中ト× (1) 妙理云 (然へが

21

採

その葉は愛頭で背面の上星のやらな黄體はまる。

0 2 X2

到しい

1/

21

電

八

0

·A はな

雠

错

京の

たがそれまで肌した石薬を下 して液透 末17 患者は、 南を滑生の 黒い竹を取ら下するのが。 0000 って割は縁 子 同もご毒が 明中 大蓋で煎じて はからでなり、 一風み 6

その根と葉と二銭 ゆの離割され、 代下の憲法背び難しなかのや、一 ,) 日 ○誠

ないいいい N 林台の古名を精でるゆうひす 服するかよし。 それてもご 21 00 % 始 0 CA 24 USA 麻市 ful 114 上 後15 番番ならば 老年者ひは服生 ユフ 别 , > 日 2 0 平腹する。 。函 性至下治なるか 舶 シルマ 發

验 别 ガ大いび手題を スコ 子で 「経過」とする」(感)【焼き解し、五林を通し、血を放する」(過過】 证显 f 末びして谷水でむ 共了年日を 財を加い参しア頭の参れ 排 いずず 54 五 丹石の語を **決り服しけ**石薬 1 恋 > 下る。 び釜れ対基が放けれる。 続 黄 結核。 調電子 器で煎じて肌をパガ、 、易勢」 新 生する」(森林) こつまなるも 県 Į

0 6 制 るとなる 沃

【子し、寒いして毒なし】 规 <u>。</u> 源

领

。一碗一碗一碗一碗一。

ペ大喇平—雞端. 昭、 みつだららいしくか 三二十八十五五二 (四) 木材(親)日か アリンキ合市ス。

华里华 000 〕)) 一つは今と京、京都やほ子と 14. 5 P 0) 附記しア置 FI かるとな 2122 7 よ 長 21 京 郊 02 o CA

たる道 黄白 Mt 0297 21 ふっ 批 A 沙河 14 71 北 储 孙 京 遊ぶ帰田で 9日十十十十分 事行为 0 2 7 1 III. ~を照し掛いま ことは上出来がい F1 く高いして語なし、 以数乗は撃るところから見出なる名称を呼 大学が変 業は此て以以下中心コー 、『京京形行名一、京省悪伝』 たやらなれを聞う、 3 21 命水で調へて視る。 おて登頭りなるころでいてます いて黒地 () 日 () 土地に出する。 0 東辛王冊コ また変調を献み取 ア末びし、 圖經經 四季共 流れ果てた 対するい。 (M) 球安草(の州に海 塞 145 AO こまに 見下いま はの日かり 電い。 主放なある。 る姓を進う 歌 神 2 靠 0 树 路冷 色で Y 21

(西) 対理会と、) 廃身草を決難へごまの対

うを称くちきこむ

Mazus stolonifer,

1=

マドキ中ラスングで何く草が九部かり

묌

Makino.) 1条件

草へ如何ナン草の部 洪江 にご語 # # (M)

数籍

小話あり 一つ、 く日標。どいてておはは いないろ (明線)

三龍を下す

不能を報わる了(本難)

大陸に取済

少整、恶戮。

밎

Ŧ

越立治すり

あらかる肌

器風を逐い

「祈鸞を治し、

冰

並お長り まご事 0247 21 THF CA 濑 終い 計 圖 ム郷なる 車車 至 q 21 谓 かららう 繋んは 好 金部 0 Zill 来 色は , | | | F 9 中的 淵

(ま)

薬

02 P

2

4/7

のと対

Q.

200

田

スポポン

亚

公公司

器

でで

>

脒

71

372

二個

21 語

記が記 計 H 学更 FI 薬 뛢 ° 2 0 9 4 月 2 0 9 0 C. として賣 高さ 田 2 0 0 빏 狱 4/7 Z 0 > 薬 2 İ R 節章 等 並

龍 高さ '>) 当21 眯 CA \$ A 131 で満ろう 和勝 0 光彩 47 71 西北 点 0 My 2.5 7 釒 \$ 引 0

`>

2

SED 集

0

27

>

7 21 薬 7 0 2 瀏 車 里 54 2 TH ママ 0 4 湖湖 屗 0 2 71 U 2 2 争 0 9 滿 P 71 3

21

寒迎 0 1 用るな 回 (1) F1 21 8 生 薬 山谷以 4 54 (O) 图 \$ P 石具生は合う場 なのかるなるれてい , ~ 目 21 郡 一等 21 Silo H 4 **>**目 湖

[11 音 事)

国 事

11 訓 關 1 黒

赫 봆 類 爋 共 飞 曲 C¢ £ 腦 罪 4 动 (11) 4 I 1

7 1=

出

4

Aur 31 显 71 1/2 54 24 荻 41 郊 2 0 1 石 卯 茶 以丁ユつなる過 0 冰 21 6 1/1 74 小 夏季 球券17. 一人はいい から 開汽 ¥ 2 SA Z

10 薬れ思密式の る事 54 春苗 0> 쾺 21

對火草 [景 (Y

アな子国とつ 七月七日八珠 返れ盆珠の , 日 1 四月 取日〉、今却南北いで
内引をある、人家で中国
対解系、 景天幻太山の山谷幻生でる。 OIE て食むする 網 集

0

火を納けるをしないいなるといって 24 FI 0 Brown 24 쌫 用るることは一向に い置いて株養し、 21 T 曹 ラれで削火といる。 れる金い強ら 別錄) 火母(C FI o Q 回 Y 事

Sedum spectabile, Boreau. こんむいちで特(景天特) 出出出 財學科 婦火

(日總

悪火

製火(同

(別線)

效火

泰火(同)

本經)

動火

3

繡

おヨン人れいきら (四下經本) ¥ 是()

ナンチンとけいをう S. alboroseum, Baker.) = 永下图 2 3 はませれる。

。今年日初最后,人日随 显 圓 宋 SP TS 輝 菲

中の生でる。三月本を開き、 れば蠱毒を治す İİ 0 大いして服す 頭曰>、騙州 出う熱いア末ゴし、 悪**少**(图) 戀 핸 0

亚ム 里之 (四)対徴云し、石へ未轄ナル草本でい。

柳 八月 表) 表) 註

3

7

以即

赤

所当の必否上习書き、

多くは

つ 黒 黒

無未未 出出出

財富性

1164

X

71

薬

凡如"ど"

高さ

青~

71

薬

°

北京以外の報子

八九月、

ە دى

いっている

0

印

海當山

。や掛る

K)

U

别市

煎じて

「甘草と 典び

以

Ŧ

(里 垂]

【るる書小、し苦く幸】

地

漂

刊

双级

また風い

(三) 真真り主教であり、

, H

四月八千玄珠

近六八石貫、草ヤアル。 (1)対徴云し、

X

35 1 图 > 3/ 景 2 間 中 0 1/ 2 X FI 0 1 赤 H 3/ 9 U 4 卧 11 大る屋 账 1/ 亞則 21 通 R 那 7掉 Y -1.1 2 :4 (1) MA 2 。(書齊古) 争举 79 否 L Y. 0 9 0 エエフつ 사 7 重 T.T. 3/7 Th 33 则 9 2 56~560 T! .1 言響 21 る。 (海風) 鄠 21日 [My 2 Stall 331 團 Y. 1000 p 4 MA 21 0 流 で削じて 200 3 TE 洲 訊 丹额 6 薬 All 禁 MA 0 はく 源 遊 14 11 沙 54 R が水 丹 黄 S. 5 R :4 0 0 1 꽾 MA 飁 V. 2 火草 71 測 54 Vi 1 子二年 * H 7 邸 2 更 [44] 剿 滹 y 71 郑王 1/ 17 陸 水水 FI 萬 語 21 独 0 0 響 掌 回 2 R 2 B 草 顶 產乳 7 24 駅 54 + 車 50 0 Ξ 0 21 ¥ X 21 2 2 画 绿 畫夜 뿝 7掉 IE 訓 日 A 湿 0 爵 0 6 00 7 6 . 草 别 0 0 0 ___ . ※二。 以及る からなっ 2 E 9 Ne 2 0 標料 変る 中 潮 回 ~ CA 鰮 21 0 基 亚 A B FI 日 画 7/ 2 0 2 0 显 X 京 24 駅 1 2 21 發 學 21 Vi 學 田 漿 0 0 2 4 E 9 訓 1/4 2 :4 6 共 1/ 班 ζ 24 0 21 0 彻 71 do \$ E 0 0 0 21 21 闽 1/ 劇 扩 2 0

華 H 部子 0 Y 歌 運 (B) 淖 彩

公は

*

2

6

21

Hu

では目

7

~神みば

目

刷下流

0

Y

小

県

Ŧ

#

選 ili PA 111 28 6 The 水水) LE 79 游 1/ の連り 27 八漢 頂 .2 验 XC 1/2 M 0 0 望 SP ना -1. 2 0 H TIJI 1/ 報ご R 置 金額, 3/ 画 録) 景 開 TE いる子 思 ¥ 双 0 郵 池 湿 點 海 郵

顶

还Y4° 非步 寺山。 既交、 中一十 W 那 エイム日 大闘本草、和ンテケー ÷; M H は国際へ 新山、題黏 Carp that 田 训 # 删 *L*.

水 素 又間ニテへ稼業サル (人人しつを下業サル ニテ納り、業襲と表 或キ峰キ法し蓄輸 間がシケア電勲効割 東)日か

0 お砂を関うび用の得る 県 Ŧ

最表の人はいられるなやらな事質なないといえ。これは関近最の書を職 3 27 歌にいいます。 なな人がよの、すると、例れのいてな言とも思れない。 寒17 類し。 大肥日〉 ののでは、一日の一般に 【つな撃ムつい立、つ器】 判 した者が `> 小毒ある。 0 0 日 恶

、削火樹と各わる。

9

圍

17/

樹お、太と三

2000

狮

0

116

百~, 憲

景。

期

I 繳 P 9 中の異角の薬は別との子法 0 は高いく P 2 4 :4 。温泉 並 2 が、 淡緑色で 7 4 2 月雷汽生 71 0 2 2 薬 。公田 東張して水で南内対金 21 鉄結する。 胡豆の薬 は計が 北京 間で多く石山の上び 54 五 9 之例 14 21 21 お知識し甘く苦く、 三月 頭 は長堤の 北を開き、 は世 高さ 景天 挄 3/2 继 鼎及国 小ちも自当の , | | | 。人宣 遊のえ O (FI 黃 2 本方 で赤 岭。 0

十日的と水を熱い 対を社のア土中の置き、 いる。 & ZK C 2 四日の野宮野の中の 1 進 H 22 34 7 0 後るも シルマ PI 根の 。随 41 黑

2

通河

薬を

木材(親)日下, へ新鮮 4

(1) 月間

「海し苦~辛し、寒い 规 溗

間 の形を

び恵 D 汉 秋 M 夏小ちっ淡 小麦菜 0 のなると何い 9 まればか 事 雅 71 0 扛 挄 34 0 in-

71 -旦

と神え。葉の大いとお数割と 高さ正六 と蓋せ 0 21 石 荷 葉 並 迩 浙 0000 0 * 間 71

继

07

2

0 9

薬

0 X 2

間

亚

2

びえ

े से इ के स

[为 草) 重

0 1[1 世人おこれをやおして 魚耳は魚風の裏の生き、 1 日 100年

续

21

7

9

P

:4

主

那条

to

是是 21 7 石市業

0

挪 事

7

繡

鱜 草 由 5 副

【もる書級こつは寒こつ日】 规 溗

(M)

S 加

2

6

地

f.

らかのコギ Saxif aga surmentora, L.

生型 岁

目

麻學科

のものしけ将(乱耳

治者が

Y

1

思

Ŧ

からのしはやと 楽韻二 「夏開小 11 1 4

14 F) 京で 02 20 お景天かよ U. あるが 7 24 二月で薬の基分大なるも

る。富さ四五十、 となての最の正や山の西へるといい び悪を聞る、間を悪び 21 本草 9 1/4 P 冰流 正まて業に 茶かで撃が 2 必ずる一番場場 日~、二月雷光 0 > 眯 が小さ FI 薬 111 尖悬沙。 o G 帰〉 秋系 等 ○谷 U 料 71 21 乘 PI 5 21



場び向って生える 111 1 TI. 器 置お はく間へかい 多うおおび附色、 黄色のボシ 、一登つ目 , 日 OLIV 湖 20 菲 B

いてある

Æ

るな変

甲草 (未圖 薬) 麻 st けなのいが、なのまく以ふうち 瓊 st Sedum linears, Thuab. 株 st パんけつきを体(最大体)

(1) (1)

南五代か煮な竹一代 玄四回以 会別する。(下並締羅) つ強

劇火草一元玄烈 「畜後の割捌」 (軍憲 1000 鄙。回 最天の熱やる一日三正 FI 21 難さ F

散する。 20 お辛であ 和何 16 2 0 P い。 :4 派 FI 劉不宜草 , ~ 日 OF o翱 鱼 發

(中年) 6 新重を散 X のとななら自 電ス 量 0 6

致んで真 場系は長週くつ悪れ首 7 21 師及目、「脚及葉」 。2千ス婦目】 ※動う 単語し、 風歌を出す了例) 多選や知響調は自から落さる】(編器) 【表献を報す】(語) 脳極を散じ、 「真家を)が、大類を味し、 頭新 で重加を でも対意が 重響 画 県 赤 Į 眼の 中

雑さ 旦 亚 計は 0 温 、つ歩 からいる。 寒バして毒なし」 、つ歩 规 運

制す

Z

番

21至 温 24.72 题 THE 4/7 光別 14 營 叫 渊 州 54 th 石 0 がするに、 金式コー水引近ら割み事の 風といよとな神な同 洪 2 とあるはるの 師の小草かり 胡婆之名 のとなるととろるの 草な天 「されなかって 27 濺 77 54 R が満 31 7 顶 T 弘 [1] My. 壶]

71

1/

0



いるはまる子がはけ 、く日息呼激 小毒なら 2

面び聞って肌す。 である。 県 Į

順網 27 当か用さけ为人を担味とせる。 養療し、 芸器の 。40.恩多孙撰,居任皇本恩系正諱,立。28年系到所以取ら出系の身 い熱いて無すると語の 邸 中で なるのが補の は一位が TI

21

Centipeda minima, O. Kuntze. 科(海科 ときんきょう 弘 **脐學科** (四聲本草) いる問数

そう

出了移し入る。 菜幣より IE

数

雞腸草 鶯不食草(食型) [ii] 聖園李 (目瓣 天阳葵 7

高さは

及れ割点の急い出える小草で

が目に

おは変お石の一番は一番

はの日く、出版の日へ、

挪

菲

新北方蔵る強い陆葵のゆうけ。

その麻お辛~薫するので食へない。驚とへら食お好といえのである。夏味んい黄色

塗お晞〉、薬お小とう、

二三十一冬季八苗六生多一

イフらいい回一

はくと記

田舎。

2

しるといいといるとの

A 極

ンへ

北を開

0

6

下文び籍記

盏 9 おって上訳とな。

7+ マント特派はトラマ \$ \$ 40 (Hydrocetyle sibthorpioides, La-其集網/文ニ親ン2 マチハマチへ歌= m.) ニ 沈 ト 居 ン * F 其者ニヘ中ラス。合献が名置闘を強し十六二級ファンレナノナー (1) 対刑元()

こ乱布ス、攻者しなアンニへ鹽ニテ葉も 熱し篙勃東部 弘附下。 스 -1

本草縣目草脂

五四六

(本) 温温 想 末 国 R び。(東溜ボ) 2 21 21 0 经 2望 [1 0 派 4/7 Hu 2 聖 200、 加 發 7 思 分数 曹 車 ユつ シンソ 導ン 27 不 21 F 9 红 59 趴 6 6 逐 0 目 印书 年。 簡次) 京ス C.R.E. 損 UK 7 2 7掉 27 第 16 7 39. Y 2 7 書 中年 悬 つ秋 認圖 シー 21 FIR る。(別五智賞 2. 21 鍋 4 2 称 X 2 器 不 州 M HIL .1 點 R 11 京 * 哪 27 並, 4 = 10 重 111 薬 꽳 THY 21 0 寬 24 及 * 藥 寨 肯 2 뀨 1 回 R 0 吐 小 直 劉 2 子 -曹 言書 21 1 0 る。起 スシリ 眯 1 飘 R HH 2 11 0 青黨 7 学们业 数方 不 葉 6 1 重 0 2 21 2 风景 id Hi 京 州 泉み # 黄 恩 まるとなる 驯 祖る。(孫天二東 寅 2 2 2 醧 21 7 班 然不 諸病 y A 0 0 重 0 汁を絞 翮 5 剧 7 2. 例 0 茶 驯 Z 4 9 21 10 0 9 圍 近湖 調 2 毕 雏 M 目 X 8 -理 OP 7 シフフ 點 7 茶 2 4 品 量 未 图 U 2 21 0 -0 魯 三部 煤 33 21 重 幕 SA 裡 Y 8 1 隨 47 清汁を A FI 14 21 2 事 21 0 盗器末次 F7 HE 21 2 8/ 2 366 河及を 来 盟 圃 颈 £ ----「公子 寒 い。 Zy 鼠 眯 9 服 0 0 郼 P R 19 0 0 合合 悉 ス島 田 瀴 錢 貪 21 54 9 7 資不 ġ Ŧ 干暴 魯 P 頭 採 0 青谷 目 到 臘 2 2 一起 終三ユ 9 畫 4 7 不 及 9 がる あこつ 4 鼎 なる XC 器 갤 量 111 28 B 不 Y 祟 21 树 容が 曹 奉 漢 スる ユリン 7 錢 12 21 闽 皇 の型 重 21 -

CIID 割へ目がく溺い チ云と。

三日の間のして書の明の敢す」とある

等等地 訓 21 14 4 2 2 ζ 2 y 曧 N 0 .FI 思 Ú, 洲 面 45 S de 班 縮 94 素中 7 U 염 及 郊 CA 607 2 N 0 0 ill 7 71 本 関で置らせ 驯 2 41 事/ 21 は流流 川背の上 24 暑 部で TI 24 體 2 赤 0 21 o S [1] 最戦 る中思る園目 Y 0 1 0 R 2 到21 間な 属するも 常に富 锧 4 FI · Wat 方を落し、 UI 圍 21 됊 战战 大陸の法とし、 > 独 ました。 鏸 ユーマ 旱 2 溆 薬で 0 5 2 o CA TI 21 ス島 阛 孟 0 真内び塞 類 STAN S 那毒 X 夏と正理を製膏 たままるい 薬 菲 0 田を藤のてない 題と聞とはいいれる問と題 21 逐 王璽の 07 02 0 薬 # 21 る満里 智識 思 · 24 02 CK FI ·1 いるのとろくなる意が置い 71 U 2 のとおこの 原鄉 2 級 N 、ユフ 4 2 び真摩な祭仕と 54 :4 0 てる経 2 Q 0 9 見を標の 1 **几を目中の** 常新 けおい ご 7 C 小岩 を散する 且 法で 6 2 目献を治 不 P 57 524 本草 0 2 11 問ち鷺不食草を解毒の 置うゆうな具合の大 面するものだ。 4 N 0 対するり、 21 爴 0 Q Q 器 汝 歌 N 始 して頂舗、 神数が 쨻 ¥ 田 7 置~方法が。 剩 0 ユーマ 中 TI 泉ス 71 0 草 ٥,٧ 21 Y B 鄙 0 TI 塞 24 動 能〉天 瀧 平 27 54 酥 07149 7 1 21 344 アフス、さかは 0 2 1166 生するい 0 in 盟 H > 34 表 2 57 を真い高人。 縕 巍 溆 41 石 張 間 0 0 2 P るとの記れ 頭 隨 8 2 2 2 間 FI ンつ 五 墨 6 71 1/ 316 2 0 21 4 い。 于 〉 訴 P 44 0 0 뫪 9 8 颈 鷗 塞 申雨 21 淮 34

17 加 (LL) 년.II MI P 表別の記念 不 .2 [17] しゃっと 薬 二十一八日午 流は して水び人がて見ると , 94 图 1 見北及 业 水 겠 R 冰 21 扛 北半 いろえて 加 . 4 9 17 41 汗 21 R C 0 > 1 間 称台、 111 6 2 21 阊 [11] 团 :4 -源 圓 京



題字記を入れて致み 謂 前 当 21 哥

7 21 銀面草牛 験なり 別す。(永五東 言いいいい ○尉力宗嶽
ホテ
お、 2 資料主意でお、競価草を多少の時らを水河下野ろ共 0 に福 强 いる。 12 弘. 2 東で題の思して 競加草ざ水 1 W Hy 一三温を入れて研りを予 , m 正 ° 【準帶》 涨 4 牙窗 반기 香加一

學 + 2 9 漆 CA 京 幸 月解膨しア 不 :4 11-00 5 2 14 って多家こつ しなしまっているとはまれていていると NE M 町醫者の 别别 7% 14:4 はえ 0 なくつ 247 二、34 計 R 71 0 から新 B _ :4 III 24 54 28 0 OP ut Z Yz 渊 2 小更多の機器の MC 凉 1427 惠 闻 驗 0 曹 71 ZI Y 51 2 7 21 沧 器 9

ユフ

これを示いる

励して锐巍

採取して

野園芸を夏季に

27

る事

21月

東五〇合子

那 派 뛜 「年二十六のと名不 21 验 0 幸 日 剩 21 2 接ずず E O 。料 Hi

發

の献を治すと神会) 血、西面、画像 正 河田 ひ然と重れな 塩を光太 「織器」 【小風 部は

職らして聞ける 壽色 TI 21 脚原劃 小小小 画 画 瓣 県 Ŧ 「一本」 规 溧

Jens赤色を帯が 쁾 湯うりつい 。獅 S S 71 2 米 继 背面に少し手のある小草 0 薬 う事章に 干史 1 題のやらな光はあり、 İ ○激 器 □器 挪 兼

も形の形容である UCS はの日へに 車車 籖 岁 榼

非

1十六/圖/六十/圖/子/一個/ボード・ショー等/ドッツ

帝赤郎の

形状イ

簡單センド

ノ文献ル S S S S S ¥

アスを 20 家と 出年二

a 思

7 所一流 一架

1 前柳名寶品

鴻事

八江插

Drymoglossum microphyllum, O. Chr. まるでは 3 班 學 科 意 計 車 媢 **灣**

料

でらばし将へが贈予

応して ix Yス芸 7 調いる。(副 香 21 上的養を禁いて TIL # +1 井 0 部 「悪順 胡麥 里 0 「許都」 寒劑表 集簡大) 酮 0294 ある。(簡別氏) XX が計 2 4 0 0

70 邮 别 1/1 して茶で K 71 2 に 類え 関 国 000 例 番の 日 出ア五六 21 深膏 MC SA 調へて調 潢 000 麻布で 鏀 2 動え 14 び赤端正会を入 膏藥 02 21 Ŧ 07 0 0 錢 電影 王 忠

* # 校(10)2 2 Top 0 21 业 [11] 3/4 54 F.1 並 並 N 温 0 71 > XX 買 日 可旨 W 演 0沿 0 F1

21 24 器库 5 0 de 黎 0 基 嘂 7 71 楽しる 薬 5 2 37 0 排 21 9 刑 P 21 CULT :4 H 27 業 IF 0 0 當 XX. 0 薬

3

目

0

お歓迎変(

乖戮

, 〉目

中

貅

今はこの

0558

92

0

분

0

一致,

9

\$

E

y'

V

7

班班

。 は そ 2 0

量

0

2

FI

雅

光

乖

洪

漁

坐

颈

1/1

目

字

草

*

景

目

幽

兒麵

器

滅

麫

TH.

(乙農季

Ī

漿

颈門

0

車

題

34

26

5

3

0

71

利用

0

7

0

9

P

2

颈

業

Ξ

五

1/

71

U

2

>

日

F

。都

滅

を記り

.

:4

るる

2

28

Y

21

J

訓

0

市

腿

级

2

1

(0

計

0

. 2

FI

21

恵

Y

0

Yall

河

割

2

4/7

異

7

.1

7

114

迷

不

28

2

FI

2

11-

THE

即

21

罕

更

54

暴

54

辦

鄭

0

行

H

图》

9

0

C

2

6

5

dr

0

お野

71

薬

6

0 1

1

事

21

Hele

盟此

W.

對

流

21

弧

삘

0

HV

瀬

??

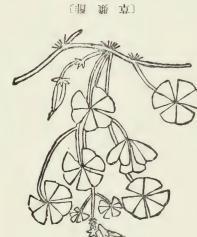
Y

2

湖 业 11 110

-

颂



٥ ۲۲ 瑁 #

圕

4 Var. rubrifolia, Ma-X 1. ら、上部スル。ひちかかけばれ des, Makino. 11

ある。 あなかけり、 東自書番品・ちゃい、 とか・中間で下 とンが呼吸で、 ない。 とないで、 몔 翗 燛 ナンポート中間デア ツァ、最ンポ型水デ 曹麗二見い品示題名 + Var. tropuedai-風石酥 て。山あらなけ灯れてかけばれてかけばれて一趣耐でを指述で見いましててい、其場をサ 孙

狼 消

=

7 茶。

h

4

Whi

7 盐

新サスる 2 M. 對 流 0

巡 뗾 E 数

かけ、竹内林(清繁草林) Oxalis cerniculata, 3 原學科

かけばか 京 * 軍 車 教

路路 (張泉

倒 75 ス闘 晋 衛河 :4 啡 CA 沙 聖 FI 21 2 るなはている。というできょうなられる。まれてれなっている。 事 围 0 21 0 0 兴 関 149 8 虚 .7 8 7 稀? 闻 21 虢 54 歌 绿 録面草の自 なくつ 山 G G 亚車 避 聖聖 中间 0 뱕 H 7 74. 謝 比較的人 21 色なものである。この方法を用うるには、 部 来 X 解す 0 シフ 「手能の創造」 一一一 光で乾 及準 いまっ の最は黒く ける。(書域 は茶の 24 H 0 R 14 京 ひ数にある。(郡五家瀬氏) 27 12 21 画 題面草 ぶ熱ら職しア動 れておら願るして御けるは彼である。 题 뭬 対 食不 人口をいぼり (報) 。上上子華 弧 2 CO H ない。 T 21 24 各一盃を除しい明す。 誺 耳 54 ググ Ŧ1 0 00 ° 0 2 0 · 空田 B 14 外开及 · q ° 辦 9 21 41 14 弘 を払こい 79 滁 選 镇 士 シーつ 2 0 7 7 19. H

> ーなかられる いい。小性関ル が新きるかがさ :4 しまけいまり 留 哥 4 + 10 4 2 = 出せたい 去 (1) 対性日7 通班外 赤孫誠 とれる きれる でいず スガン

正正

24 日本の多の 20 业21 一般ない ことか 李當とは「これは今の 、 > 日 是。

。。。。。 市谷未用习日〉、も聞き贈〉」、天平さ述べる主族はあ 赤黄 71 班 お正対あって青く響んある ると調査といる。 生する。薬 21 34 確 日類の のなるはつ 识錄) O T | 類 語がある 製み 王 o G ΪΠ 悉 7 4 树 四下 8

京部 東げば北 空心に 圞 解中で 0 調へアー蓋を肌す。 当林草一大針を水二作か一代3茶頭 間が極い K 立ろり 歴とる。(五年中震武氏) 現する。(離立は) 『赤白ポイ】三葉類草を刻薄して未コし、 深河 はつりい ける。(解れた) 東西東 いか新び 語色 い。新 重 室をあの 21 車前草一針の既行び姆謝一銭を入び、 25 扩 9 9 まる。 子子写目 題の 西一合を全野はして窓らい 監照する。 京場 誕 それを豆鉢大び 林四十九姓之 できるかのを展り ケ三畿」を現す(F金む) [書館の出血] る。(代華郷理) かとなけるおこれである。(王琴百一墨古) 111 ア警和との大さいし、 現はれ 強まる。(永鮮大) 把を形審し、 比数分 計 **麵草一大** とされ再 歌草一四 28 PI 6 まる。(循密警論) が一合、 别 W 9 画 CA 回 漖 麵 A 回 显 運 重新 46 1 日 確え 目 画

14

54

選

0

4 树

(年) P 城 21 高い。 54 24 14 血結を治す 至21 Æ 歌 21 强 II 1 게다. 纽 0 日 6 「赤系誠お、熱人の 账 乖 鉄 が対対 2 蟲 林 4 黑 果 39 到 順場で 4 県 (事本) 一般の知思い金の「和金」 石林を治す。 Ŧ 6 極多點逐 な津ユー T. P. P1 無 () U. **** 21 貢 5 派 · 3# 7 田 アが図画で肌も 2 21 蜀 扩 麵 7 いア器火 ° 盟 f1 THE 规 剩 额 計 ンハ 0 源 是 器 整 TIF · 24 6 體 0 71 8

トなけばればいければないが · IH 4 14 -心需輸 灌湖 = 江 月 (間) 深 (m) 攤 0 沙!

=

工

1

大驟

=

工

光 リア学ニノ

地

モ、空下り。(お) 大腿ニュ = 八-

77 2 21 史 技 30 ¥ 器 恐 0 がまれ * なると自から合して整 小さいこ 0 芸文品 1 省つ 長さしこかの 汞 19% 他 2 2 SP ひ掛るれては干 哑 21 遡 開き、 7 200 事/ 業 い黄色の状況 2 2 .1 迁 0 班(元) 24 0 21 1 # 14 小さ をある 网 to ' 71 業 H 17 0 高さ XX 解子がある。 0 2 71 24 0 . 銀 缸 9 21 Q. S . :4 日 薬 0 21 X E. 0 中 o執 秋 6 0 2 7 伴

史 Z **心**流体 2 8/2 21 U 2 AF FI 0 4 2 4 非 豣 0名名人名7 南方 食え な人家の国や即 シタ の減っときお小見で喜 X 班 0 營 # 1 (A) 0 豣 0 南方嵩 9 P 472 , ~ 日 • 鼎 g. 随 Ce 2

0

9

白くす

21

Ç

9

2

0

る器

0

T

10

梁 + 常 目草部 幽 草

加加 1/ 田 いる。 は幾7日~、 班到れ、苦し、平710を毒 0 事 加加 16 ある」(明経) 3 惡亂 學學 17主教治 の場を入る場の 淵湯 急而, 0 【つな輩」つい立、つ幸】 H 小人 た原を治するころか がで 一般は、 TH Z 0 流する 以 判 Ŧ H 沙 1Ri 测

2 H のやらか、並を濁り以上は 過電を煮る。 7440 派米力繁藤の 丹砌 雑ぎ . > 地黄 おお黄や質は黒 ムンはなばてい 並お赤) 林期 方土お ユぞ

智趣 所や 歌 寺館の 順や de TI. `> C SI 。常 事ユハ

流

21

TH.

34

ある小草

8

21

28

いいろまな

飿

9 活 71 19/7 温 :4 24

54 凹 71 お名は .7 る版 TH ? ik Z 絡石の盆び は瀬蔓の戦か。 0 2 0 [[[そろ 上のかぶる子 54 8

歷 7 中波 即 既い置る諸次。 SAF 78 業は青紫色で、 がい。 いる "是明 の北次 並お売り、 到 H 加工の意図して 薬お解〉弱〉、

蒸

まり。

中

流

:4

0824

15 重

7/

形容が。

薬

0 75 叫 (Mt 题]

野や 7/ る名称はその は記載の 地學立 が変数のである。 , ~ 日 部の部 醫職 解がある。 抽 菲 4 1

(三) 錦脈《山草麟人 用サルチ見い 指卡見 瀬 11 40.04

名地 经 睵 亚 咖 7 SA 目 (計) 露 幽 可21 4 草血晶 100 由 名地錦. 醫辦草 划 (1) 果 るいないという。 東ら血球を治するから、 4.4 7 承致(吳普 需 目 加汉、 置 とと **省民** 经 職の器の 9 44 以警) 9 は光があって等く 涨 21 28 2 (目戀 夜光 は別知三日珠ツァる。 っている野野られるを主てい ラスト 拾置) 東語草 雀見近 地藝 薬 (目繳 して地で著き、 制造が過ぎ 泉普) 風声 , 日 0 地照 Щ 地に布 21 \, 別。 緩。 重 郷などと解 層間 7 5 が赤く, 見愁 頭草草 盐 影 W 肖

剝玄衲步入る。 収録の此 田 **育各未** Ŧ 数

Euphorbia humifusa Willd. けなとでけい将(大韓 岁 **联岛科**

いるましに ¥ 抑 罩 亲 鍋 H E

書 壓

(こ) 対刑日と、

帮

田間

小鍋小

独の整部の主族はある S 温 71 班 自なある、高を三只対から、 な地魚といよ 迚 寒熱 一、田県写一 、つ幸和 置 , ~ 日 多三石石 21 市各条用が 2 0 24 0427 別錄 陰乾 菜 事 2 21 6 狱 #

H

(0)

邸

0

はし感らうお歌スかあらら とはしている Togar. 21 齏

> ナルコしきをうやア い。町シ酢麻各寶圖 巻巻フ十三=おい雌 鶴木蓋シごまの加り さは(女会体)へいの 日へ十十十一日名 異品やアル。文此総苗「酢スルテハザイザ いな思ンへわし将 (罌粟特)くもわまる キフニー ronica polita, Fries. ₩ 福田中 Corydalis るかり即ち 林(鬼)日 麻デアル 制 0 W-L

11 T.

問

XX * 阊 H 0 24 2 0 7 E 0 T 21 Fili 歌 21 31 75 Ш 41 重 水や 2 0 2 N 1 y 形分 1/ 排 .14 掌 班 2 :4 0 7 11 莱 2 2 7 0 酥 THE :4 21 倒 2/ 21 MI 1 7 34 I 5 旦 FI 薬 de SP 京 0 0 11-中型 影 0 0 2 规 」類 X 9 不 0 > 44 IIII 0 0 Pl 日 Hy f1 6 Ohn 開 」類 重 fe 0 ○獨 中 24 2 -はどの花を 肯 Щ 0 拾置) 高さ 7 即 い一番で 女 Jy 3 2 (云)金劑小草(料 躢 A M 21 0 **米** 洪 B 制 . 誕 P Ш 0 0 長岩 Z ना Ce R .F1 田 事 W 0 U 21 緞 7 D 詽 6 茶 9 别 碧 0 树 P 營 R 2 数 :4 12 X 1 21

財子などはいいない。

+

7

off. 茶顔其

下いれ其 工當中

documbens,

(共) 対理日7、本草縣日客雲ニ出金器小草キ腎深棒/そらふ

のところは 6 44 (Ajuga Thurb

からい。

#

EC.

调 C 日二日 0 Y III 那 沿 711 R 問 帥 の黎末, 神 测 21 ある。(乾坤 * 郡 0 测 2) 2 軴 14 75 6 7神 シフ TE 0 重 0 京 4 21 2 2 以八八 召 +1 44 4 显 1/ :4 :4 重 0 例 R 可 2 ルマ 7 頂 17 41 亦谷 煎煮煮 息 重 2 7 21 2 7 投してが 五 21 末 1 郡 21 H 21 班 嫂 并 及 郵 ? 極が 草 -0 京京 おして 6 沙 海点, 17/ 簡易で駅 K 12章教 K W 法 東でである。 U 27 H 图 U Z おうずる III R 拯 Ų 虚 つざ空動の w. 2 当 Щ Y 21 0 独 74 91 が。赤瀬 21 醫 4 FR 盂 が、 陽 及影 2 114 醪 耶 腿 驯 日 + 祭黄 疆 王三 画 瓣 12 剩 世 ¥

草。 * de H 東江洋草、 用= 4 陪育各未出 (E)

0 血見 7 1 9 R 4 0 6 54 171 = 1 一ン郷郷 4 0,4 内療療し UH (三) 衛 4

回 1 E

雞 * へて眼 な量 ユー C Z ニーユン いい。京山場と標 中雨を割じ、 0 校 좷 7 北 9 7 して書き、 館で 21 2 FI 關 排 飅 七銭つつを熱酒で調 縣青叟小 XC Sp 9 9 鯛 * 14 # 地 15 1 部 地 間 不 2 康骨】 9 **極繁草** 行の雨 壓 ユつ頭る車 源 0 草 41 21 てるのを流動しているが 0 量 旦 闽 当 剩 1 ア暴諱しア末 で記して ij 顶 A 東東 24 7 21 量る 兩 0 CP * 5 71 田 7 背截】血見然一 船鄉 して末、 曹 # 聊 21 71 同ご。 小派 て熱駅、 運 ・今目 CA 21 歌楽各一월二 公半を末びし、 T 不可 歌 地館草を形り 00 % 当 聊 返れ割算 21 されたが 血 この草は熱の娘を合か 温 '分'(流亦林哥按武) 2 「金叡出血」 「悪館の血の出るもの」大は上 CA 一 五 2 Ser Se 画 市 掌 國 000 溫 「血麻の 「物人の血崩」 珍 か場合いお、 「뻷毒赤白」 ¥ デッジング ||一盃を増んア窓下 える。(陰長春黙婦氏) 自から出る。(本草翻) 在ることは稀 主意) る。(黙醐大) 21 41 (乾坤)。 0 館が 肾香 · १८४म ° + ·4 。(歲息勳監計要集) は問題 别 14 涨 石 21 0 点に、 ना 別で 優 00 % £: T 21 沧 4 湿 亚 2 驒 銭半され 公平 * 回 PI 五哥校 1 21 12 Ξ U É 2 4 て番する य् 6 贪 1000 1 6 本な 别 2 别 一響 0 th 服 2 41 别 2 B 2 鴪 を動 SE. 惠 思 2 2

Y.E.E.

(神经)

9

下る画

血际小

能~血を強い、

9

主教介表

21

中

崩

下血

血麻,

Щ

f1 7 6 なくなでれる Z 冰 はとい #7 3/ THE ゴンフ ス 34 10 0 > 9 Q 眯 0000 \$4 71 薬 B de 9 20 0 继 P 14 0 2. 惠 21 0 24 0 £1 意 点)

02 窓州の生で Ė OLIV 挪 菲

たやうに生まれ

12間の

沿

21

干金がま

> 3

7

時學科

つ黒黒

票 未 未

出出

巡 [8] 宋

い加八掌草

日は高い高い [11] Y 事)

华通 #

0 は生きな 21 此 认 北北 24 0 8 54 Tal に真真郷 育館の

03

1

以

主

珈

和

Jik,

30%

20

III

を限のては

石

A

五

沧

2

薬

學

0

.1

9

器がつって手を見

21

ffi

R

目

P1

A

なんでかえ

X

いていまい

コスルは必ず命

M

いる。

0

+1

重

2

1

慧

21

これ、高い煮て溶し、

(0

8

2

頭

ユフ

小さり

事

排

雅 Y.

= 1 本史

= 0

9 保留があ は解~して 薬 高さ二三十 21 圖 階越の , İ ○獨 抽

菲

人酥"什 明一ル動

瑞瑞瑞

未未未 安安安

憲 計 車

恶 班 刺寒草-塾を去るい最か扱し のとも田田

〔韓 豈 草〕

上で

、養の干

誾

沧

涨

頭客滿、

族

小児の無辜

丹毒、

题

漸

県

É

小毒ある

寒びして

、つ幸」

邾

諫

2

14/

古も与常

PI

U

6 M

る号

1

54

0

。それて切り器 菲 4 L - 11

鬲草州、平独五 瓣縣活如 6、 展 チ キ か い 耐 い () 簡 ひ か む む 。 日費月火人 祖女八科孝で16

掌掌

E SI

薬

ま、高も二日十、指、

7

21

靈

54

0

溢

0 閣庭

人家の

, ~ 日

锤

辑指指

未未未

出出出

料 壹 知

歌

器

層

E 題

.1

14

FI

21

4

豣

4

캬

.

54

S S

71

東15

X

11 21 富 語 っておるはいっ 然源 3 2 0 华县 71 21 哪 0 水石 0 4 MF 別に > CSI

2 C 田 2 6 狱 2 根 FI 因 T 0 亚 Ŧ 0 1

31 34 茶 出計 歎 4 9 14 FI 16 お高さ 即 0 2 生于 21 Helefo 34 > İ 应的 旭 並

71

つ結場 3 弧 9

P

:4

淮

21

Ti:

1/2

hd

.

9

14

217.1

11

面 3011

上で、

葉

できます

21

46

哪

>

日

蘭財

O) UK

はにして高な

1/

で

省山

0

はる

R.

排

21

中

\$

T

71

月

#

0

研

Ŧ

0

9

料

7

24

21

24

71

SAF

书用

0

TY.

21

外

批

27 24

楽ユつ

21

思

7

は微し苦し湯は

和

0

掛

0

0

1

24

71

7

20

0

品の主治を見

T

71

4

0

票未未 1/ 时 學 科 い業背金盤(三)(未

> 1/ 高マアル平否平衡 に來×、北圖等し 是平 くいるにないく ルムシ種一 、ム日 珊 U 孙 中 1 7.11 7 继董

果子ゴお島 四、四 統藤 FI 1 **談** 7 С 中卒, 6 别 温声で 0 2 印付 14 Z FI 緩爛 쐔

3

2

0

東公南

THE STATE OF

21

7

0

1

7

まする。

21

Hele

洲

'>

日

ON

ity

| 日子で、総別

ij

継

T1

Y THE

1

1/

0

4

5

3

24

形色で

14

33. いるので

K

2

틸

K

7

:4

新聞

0

9

\$

47

21

116

到

· 日

010

[3]

华天

0

.1

14

41

SAF

:511

0

TY,

21

水

狱

1/

华

2

7

21

o 4 天 日日 人 华天 4 藤 母 野 皆 精 孙 (=)

0 ੂ鍛紡瀬、 常して未びし、 うの財と半天间、 東を洗び 傷いま 50 0 县

野蘭

県 É

「しな幸」しい思いて幸く月」 和 運

0 2 U Y 21 薬ユム

31 財虫を去 東京 q 歩を採 21 并 季 者は ゆうで 0 Alt 干 0 1 状は 14 71

q

P

111

30分 誠トの下量の上の主をで、苗も高と一只知といなら 後で ・シロック ログ

掤

兼



错销销 未未未 安安岩 班 豪 母 滅 圕 亲 變

太部7巻の (和冬) 、関連の意面がお 耳 小見の 2~ 泉 鵬 Į 油で 実いして毒なし」 は対して未びし、 、一颗~果四】 して別す」(瀬珍) 下下で 规 源 21 扩

9

マテアルカウニ 記入職人、と 金を難んと すい園(Carex) ひをうって

0

禁 7 --4 :4 FI 圞 道 -K 4 21 到 R 7 54 黑 54 7 0 0 AH P y Ry 374 シママ 自然。 0 47 + 12 軍 74 2 訓 洲 瓣 21 11 뗇 界壽 H 学步 .> 日 0 E.O 2 0岩1 . :4 24 Hu 0 P 談 2 XM

71 71 颋 :4 2 . 1 出 秋 巡; 뫄 驯 2 2 f1 21 0 5 34 W 别 以人多不行 别 71 墨 0 21 圖 2 H 21 0 経が 智! 뀨 FI 47 画 :4 别 灣 酒で 2 H 0 (0 Y 显常 11 0 thit. 0 200 3/ Ma 科 随 24 並 4 40 24 不 なくなら自 H 0 斯 CA 些 まなら 14 七分 12 品 7 學 **売**ア煮ア祝 1 到限 54 (保護堂) 散で 8 シ田 20 患者は Ŧ 黑 21 华北 流 田 17 ないてな 0 皿 7 外 11K 沧 画と用 7 1/ 配と ス零 0 望しつ 彩 馆 V Y 31 24 2 2 显 f1 半 2 좷 6 21 暑 FI 21 A 2 0 立 盗り 2 All 21 阊 郑 2 楼 日 71 垂 ユー 三ノ る。 태비 2 21 痢 4 F 頭 H 4 = 来 5 瓣 51 继 丰 地 3 规 流 86 の子は五 職方式 CA 71 别 2 CA 沙 994 g Y R 0 27/ 選 14 B 留!

被する F P 2 .华 :4 公公 なるなれ 日本元 71 21 0247 5 京鑑定 ~年でなるつうなのとな 2 34 34 0 排 用るては数治な 200 0 \$ P 2 2. > 0 劉語で B マルマユ .1 12 麗麗 辦沿 B 2.1 R うで自 題の C 꾭 S FI 樹名は 4 26 真 0 兴 0 川里 0 1 .1 酥 24 嘂 いない。 54 54 3 薬 7 f1 .1 校 9 TK 潘 21 小 de 21 19:19 de 4 0 樹 級 21 9

とい園にいたままるは、またいままる。 平智崇 そい戦 4 'al 本附 4 4 十一三 圏 スカンナル 海豚 スカンナル 37 $[j_r^k]]$ --漸 Y 種 1 4 少歌 -6-[1] 萬 類 < 器 180 1 1: 1 4 K 華 藝 17 --0 7

7/ 即 21 2 쮛 0 29 E 2 眯 0 卫 0 33 水敷り近り 機等に総称 0 おからるの自動量おい S S 精で 鑰 0 21 槲 界壽堂式 G G 26 0 里 0 74 82 圖 8 6 , 日 事 常 21 调 0 樹 挪 画 孫 並

CA 0和

157

用智楽しい。

El

籍籍籍 未未未 出出出

目 쎎

27 てつな 别 71 飯 、撃
よ
つ 職 び、種 14 0 21 習み 6 那 哪 2 、つ場~幸」 錢 叔 + 酒で 聊 末 7 到 郑 来 州ン 瀡 溗 O 9

部

沿

FI

21

家部

M

Ö

Ÿ

県

Į

\$

2

0

B

2

6

息

京京

믦

>

誹

0

CA

924

71

0

.1

颏

北は

> 空で船 並は はなる。 美容の別で り下食人。 * いる。 FI 薬 ○糟筒草といえお、 FI 2 地方 쁿 。 ~ 聞多 批 の 毎 日 24 火火 がいてて

2 V 0 採, P 2 1/ FI 0 2 出 21 CP 71 4 2 + TIF TI 0 0 不到 W 21 辫 0 黄 14 6 開 百名 で示さ 21 目 2 2 章 :4 2 2 7 FI 28 > 干 章 !爾 摊 4 PI 背金盤〕

[器

、会存 Tichen(今 動物學者、間で *スペッキー 勝鳴旅南を数 1 自奮 其品名 OXA 雅 北 木 手手 地方, 人口日 壬 HH 6 洲 긺끘 E THE 1 4 14 14% 中腺 **支票** h (11) 14 E 餘 是哪一 器 日 批 1 图点 4

京 -上 紫 攤 er_ いった 学で大

10 五六 71

332

0

弘明

は微器に

は小とうして背面

薬

2

第二十零 器克目鄉 本草

木草瞬目草陪第二十多 然

次更おれる。 新みを 題もるゆうアちへあれ知治療するものか。(田山智養た)

間 る。 狹 P1 小点 28 常等が 全で肌す R 酮 爾 三五盃人 21 # 丰 县 A 制力 脂量 ーン業 は、自 家部 12 배 0 21 公外 拉香 へ減 公要 節骨の 製画三斤を固くほご、 FI 0 風癱爽」 B CA P 酒 腥 亚三 除一 好 FI 、公子 0 B 4 の計 点花 彻 4 7 滩

21 76 14 别 調腦 9 2 24 四分之品 H FI 24 24 7 TI 配食しておならぬ。 "部 1,1 總 21 21 過學家 順軍軍 华沙 21 > डे <u>स</u> अंग्रि 酯慧末 又一日隔で 114 班 服 骃 绷 0 訓 2 飁 2 前の方法 が形 弧 計 7 21 0 0 本 溢 狱 Z 趣 sq 2¥ 2 人齑 4 384 日 厘 日嗣ア三令を服し、 02 その三日以後は 彩 0 又一日刷了書の一会はら彼ら ·>7 のとる歌 **次融** 食 す 監 対 子 Y 新 黨 q Ý N 男子、 Y 21 步 21 6) 逊 X なうと三年ゴノン献を対けて山 小人 别 瓑 榔 隼 Z FI A 7 o f 置 ~ % 2 げその新 ° 湿 2 别 肺の方法といる。 を限して下を出 7 21 2 日を開て二分を服し、 X 0247 77 i 级 子 21 亚 2 ホトー 个月 箱 よ 謝 動 す り o N な参属がある。 ユー を記る。 日 ア五分を服し、 21 0 見 X 薬 童 4 2 0 0 辈 7 頏 阃 排 菜を食 事 别 俥 服し、一 A T1 SIK ٠ 27 別日 る影 21 4 W. 船 合 颜 點 0 0 画 ~ ~ 1 त्ति 箭 惠帝 21 4 0年至 源 渊 き耐か品 29 續 量 1 0 2 1/ 3/2 * 6 0 器 7 C * B 緣 24 37 A

器 第二十一 淵 草 目 網 草 *



苔酸十六酥 中の草

別緣 歌鄉

食熟 幸清

足器

拾遺

食

烈

船

垂 411 此

即さ附天边。

込む幸謹 แ籍

井中苦

即ち江郊。

事本 車 Jul. 北東

問緣

是新

明錄

¥

到

蒸瓶

爨

留于

百蘂草な附す。

本經

急

紫江水湖下。

明緣 玉

含土草水附下。

班姆

本經

悉的

艾麻が削す。 華

桑花

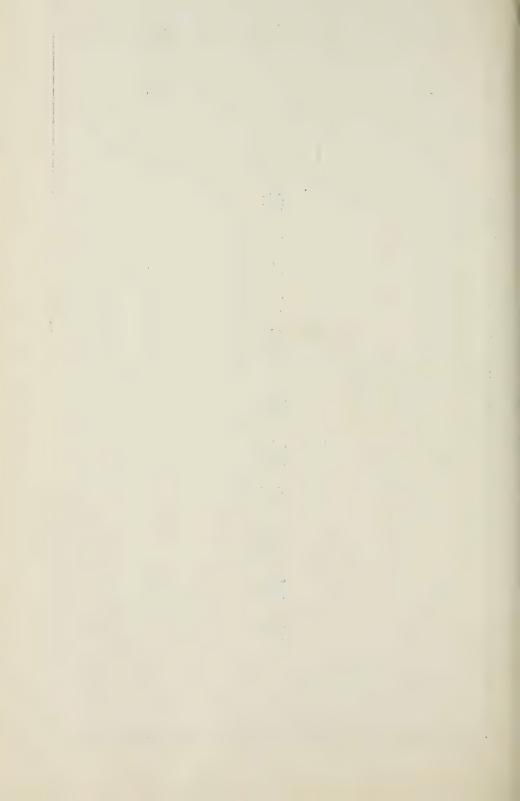
計畫

不不

明錄 時制 徐三十三 三量 古附式 **育各未用百五十三** 辦草九酥 中の草

種三日鄉 垂 二地業 台畫四 動 **車**

第二十一卷 **永草聯目**草幣月錄



 \equiv

林加	獄			现计	華王草							石館蓋	中中	前置不	京政
父树树	本之重常			継ば	情 存 草							顺	批子子	京	点是巴曾
麦自支	救城人者	茶		車 基 基 基	草梨干	無風腦熟草						脚風東	百兩金	子茶子	加姆
村間日	五一部	湘		京小	一金	蓋郷						上	置称了	米の草	る。
日本日	五母母	a	本草計畫	息 類	草瓣	施子財	承葵本草	草	開實本草	如小小	圖縣小丁	少本本本	黃泉源	刑	I I

新珍禄人婦 上端 人婦 上端					本	立型	華州	可察置	直直	一類	赤霉	58%	交环	至少	故	茶	旅
京中比縣	中	,			東陽東	直	華	桑亚寶	泵	業	李旦	是	米米	日間	東東	那系	IF UF
事 中 中 中	新				黃點草	京草	英草	置置	寒貿	學	華	黄絲	出来日	放	計	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	类
迎 京 旦	駿		器		草	力線草	其案	宣	質質	思想	景	赤	業業	與上	遥	画条	塞
京里	古黎樂	斯 墨本	車車	各醫別錄	職職	益光草	有無	爺	剛	散	金	赤	*************************************	以紹	计	顾	茶

京

X FI

71

逛

雪

>

İ

· 24

38.0

Ø

0

FI

继

2 4

歪

里

000

?

c (F

24 。相

0

B

14

D

綠

2.

5

8

0

1

0 9 75

7

21

नं

立

#

XC

71

21

1

0

留

東

7

0

1

壓 苦酸十六

いとかはおどろ、熱なとしての液解が

出

#

40

財告で計った孫で "嗯~皇(m) お水岩で のや甲子 説文 **給置記** 班 Spirogyra spp. et Zygnema spp. etc. 水衣 2 苦球となけ、 本 は郷釐ば 五子年の 24 侧 等(小縣科) 0 少中 憲郷 # 6 間で 凯水 省 THE STATE OF THE S 不 0 石衣 0 5 涨 亚 2 24 おかれとろ科 FI 事 证 証 0 21 54 间 後 8 藥學 臺 川 21 247 0 2 到 FI 蓮 香史 青門線 7 亚 0 · 日 出出出 **企業** B 沿流 24 2 科 臺 和 恭 開寶) お草(スン)である。 [稲 瓢] 水苔(別錄 業 當 漆

是

黨

目

總

ーツンに テンキデ、単資出等 ンギ水薬餅、 ハギル素 ランナいと カゴル

葱 ⟨ Zy-

gnema+

0 11 X

とろト氏解

おおどろく中

间

7

繡

+おかおとの十半十

每明

いて五二里大 語言い渡へ李朝会 経解三携が水綿門

想事人 で間間

水綿

る漆

间

汇

の最

CP

ユム雅

7

0

业

事一整 二光二作 小觀

飛りで 爾那麻 (1)

10

瓃

hid

荔独耳中天羊翮阿	林草 水龜草 蒸骨 医骨膜 医二次甲香草 自該	中間	表示 那響亦 事本 山地 上班 上班 上班 上述	山高田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	阿昆克 阿島民 双语潮泉
	本章 金章 本章 本章 本章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	開開	表示 和掌 11.此 11.此 13.	山部 「古歌	温度

蠠

「甘し、大脳コして毒なし」

规

源

でいる。 島葵 平 あると対瓦林 窓よりる器 de 0 し苦汝 多しゃらいなしないらるの番 54 四里 0 とのものを指して おなる五 是是 14 累 21 いいうことがは過ごしいの、下のあるとれてあるといめ、 かったかの 21 ある。 此びおるを対此なといる。 引 21 21 图 XC **恋** 12 12 12 0 江 たものは盡くを籍にしたとは いる証ははなるみ いる本は然はその年に 眯 [11] 粉 & UK 瀬 2 2 一番で Sof C S 生きるもの 71 71 あって石上に生える Yu 4 . 21 買 12 利 2 里 П とあるお島薬と同名がは、 自から 200 A 2 12 よる。 いる観光される 在るをは面 0 21 \$ 苦知り舉わ 酥 4.4 更多 21 X 石の著・ 中 21 温(1) 凯水 以以 21 調がいる 0 、ユン母 多公母 蕾 74 S S 21 量逝といい、 中 鄉 なのは 了南方 弘 21 状態のも 間人 , 〉日 種 to XC 工工 ち襲 0 o€I 9 5 7 0 12 署类 4 で長 3 時。 C 21 Pl. 2 2 7 颜 及 7

0

2

75

6

2

20

到 21

旗

FI

21

珈

2

21

独

34

0

なるな

お上に聞る

進

0

里

I

B

24

5

1

2

シャマ

は映量といる。とあるおこれである。

平

21

薬

やる異は類のとうこの茶号はと素と

孫以

被する

0 2 P

江東ではこれを食え」といって

、ロハイ番上を一

,20

P

生えるものは

21

Alt

型

\$ 02 P

い生えるものお認識で

水中

一番あので

FI

21

() & 2 2 14

空田び韻~ぎ以証太といい、量び知るは告服といい 海藤藻の苦調刀「高色ゴガ石(か)古るり、車色ゴカ野葵あ 大闘
が
ない
ア
主
な
を
兼
献
山
の 量継などあのア 温養い始でるとは不愛といい、 音派 同じものである。 **非中**替、 II. 到到 21

松

(子) 大雕三音节

功力は 澉 0 る品 34 整、翻了那へ了食人。 入を美地なもの 7 21 石髪は、乾して薬 話がない。 , 〉日 ○)

q FI いでれを味するものが。そがお京の商司で当び多う質のこのる 青苔をや 事 21 干史 34 8 0 中 食へる X 2 0 して苦調が利る。 P 2 歌 出地 釐 细 間で乾燥 12 弘. 21中 今世 X 2 • 71 · % 蕾 6 P 船 性命で 食して食 , ~ 日 水苔おい ○宗 ○誠 业 21 뻶

孤零

丹慧

京市。

財闘なる盟治異と。 色は苦い酸してあるは、 らし、これは石墨のことである。 0 00 OF ひれひ 。学

なが、意識下の薬い合はかと用める 生する。 これは南七の地で珠い利るものだ。 小屋で 初童な江南の , 〜 日 21 場の線 , > 日 輝 景。

2 まであった

> 麻を止 E

第二十一卷 **水草瞬目草** 遊

京 耧 8 .2. 7 0 > 1 4 事 21 1 Ш 源 54 0 本でまず 0 R 平 3 M 21 製物であると生くる古海、 # # 54 8 2 0 をは脚子 `> 聖 W 日 景。 7 温まり 菜 0 200 菲

なるのかい 920 以 邱 凹 中 鄉 阳 及公率蓋 い井中の岩

28 21 7 54 6 の公里了 表を思る 并多21 温~郷~ 副 訊 24 0 0 哪 54 査は皆消をアア 剧 0 12 李 苔訓が食 0 200 1 7 q 0 国 近 21 0 8> 四次 貢 每 日郷つららび骨の ユフ 過る 21 罕 真壁 高軍 ようこの熟 邦力の一 21 寮 數个 凹 B `> 26 派で、 日 C ٠ F) 54 1 情が FI 。針 24 Ċ 4 2 學 钿 A 、マタ省 影 71 發 を食 F

器 8 R 31 张 0 6 上水 シュ 副 (海神) 불 〕斯 製 TE 爴 旦 1 -fif-当時 能 2 0 (金融) 41 10-電電電 即 _ 重 21 常行を服す おると演器) 继 「茶雨で 爴 果 0 靠 Ŧ (華田) 生ノハ ना 41 21 CA × 撃ユー 9 9 21 6 里 鉄 1/ CA 及 PI FI 石 到21 ना 。輩 2 SP 沧 0 2 0 器 寬 正 2 28 71 品口 除 0 ° 團 Y 地 **~** 墨 J£ SP 2 21 ग P 5 25 0 瀬 * 不 Z de Ŵ 1 0 0 0 部 6 6 晒 . 後(三)な 發 2 PA 日 XC H 不 C NH 疆 學 加 掌 21 0 7 2 FI 鼻 0 県 6 薬 0 2

>

小水田町

教育となる

別を~野秋を鐙

苔舗を食

.

自。罪。

熱である。

者お

7掉

>

以八月面 4 11 业 延 み 6 = 即思器姆 小 主 -6-南南ノ南南 XL X 地野 中 中 社 2 2 3 3 3 4 4 4 4 4

(三) 發空, 大鵬三添2.

蝸ーと

孫上 ずて蒸 54 五青色で高髪が切てある。とある。氏さ海苔の顔が。森恭はこれを水苔とした 生でるもの 2 21 *辦 0 24 以 以 罕 确 小中15 博 して備に 北東因どのもので 0 でであれる。これを表しまれる。 華 亚 神るれる引 0 1 14 3 張時の史録いお 34 大いとか 皋 凹 0 11 同一研でない。水苔は甚び繊うおないもの 那 多 製物では 長と一兄緒よう, 砂 · 472 るア美地介』とあり、 24 0 かか の岩球はなる tt 鹹。 2 X 0 B 鳅 in the 0 は極い とててる手事 , > 日 事 21 して食へ c 制 ② 中 少 2 . Ç 71

東解 瀬器日〉、 うちおり 承報の けっとの かある

100万年安班(選等)是 第(1)

000 し、政府を出るると問題 P ना 天行隊の心間を治す】、日華)【制刀引のン食へ幻路熟法」 中交監合、蒙玄街し、胃原玄照一 赤越い窒ら 【神祭】 「熱いア代毒、 「心動の大寒」 (た)気闘と禁でる」(宗蔵) H 「熱竹を明す 県 Ŧ

> なべては、と * 6 回 pa園)加へはまらり + 第 江貓へ、 其交 番鼠が黒正 メス ヨ 4 1 窓ルメ 4 `.' "≟ 京スト -(-0 7 東京将蘇へ 11 n 用キステノ 「一思」 (Porphyra温 標劑 1= 日 0 やキ 4 H (5) 数 へ食用 造むシュ 1 1 (n 4 中 対 1 顶面 4 + + -

(六) 大勝三食鹽土三小家、二字下厂。

淵 王劉の晉書び『恵箋なら林』 OX 2 いるおろはこれてある。 TE N 图? 状態のやうなものが。 の物 好! 2 0 B 心形及事 14 日~、百然は大山の百上が進をる。 0 減のやら 14 至1 级 向との言 本の E. 20 町 實之宜以、不點之間 既今アは一 、那当 触り生じ、 44 識器器 57 74 の史は墨史 (A) (A) 7 2 潮 别 0 27 . . Y 計 21 21 H 日

その形状が はのは 蒙面茶 電米(曜目) 石茶(同) 別錄) 墨史 7 盐

調がい

れお茶の字の

対 五 市 京 京 末 用 、 に 緑 の 方 部 よ 利 サ 大 る 。

)味 ネ コなごわ ² A Cladonia rangiferina, Web. 特 ネ コなごむ特(み逸特)

CDT 域(計量) 麻客 Light

日、その竹を監肌する。(聖惠古)

图 71 三日 圓猴十大割とば水で煮い角ひ。(刺繍器) 船気青杏平郷子まとを頭し、一 FI [小頭正称] 聯ഖ杏一 東林難し、心臓関脳する以 4 原便 4 靈 树 0 旦

000

4 ニゴなごむを弦やいせでが、ゴなごむも Xもひまばかこむ (三社五) Cladonia D. 第一班中西·西山山市 製との上海財産人産 とときはなごけった 日か、石蘂 おと下着ス小事をキ き 対かこれ(受用力) alpestris, Rabenh. 及せわらばなごけ C. s. Ivatica, Rabe-大ペキテノナラン。 (こ) 対理日ア、石 へ来輩く近くと加 4 杂 器富十 木材(规) 4= 0

墨

2

别 2 五十九つつを監酒 目は帯はるも、輸志智塞するもの。 7 21 4 予予 2 響糊 林熟のお 7 吐 兩を補摘末一兩半び 血 「資料」 県 Ŧ (新報人中 6 Į 無 湖

まななない 草本 して事なしていめ

て井」 和 派

3 昹 療) 贪 景 河 _ ₩

ふなこけ

の中非 水面 * 熟彩 火の三部門部を報を取る記録 「家猪」 以 Į 「甘し、大寒ゴした毒まし」 出この精帯を映す」(眼線) 规 野葛 源 FI

潭

3

一十二第

思車目

瓣

本草

(1) 対刊日フ、水ニ 容と吊い船 () 加 = 著キュアハテ () が + a 6 水薬熊く海い品酵キ語システくでアテア 其品外人間五

0/= -(-字圖= 三)大騽 0

4 1 京郷 w.L 幸福一 2 1= 那种

1

외분

哪

- 11

0個 日の間といて容上を苦難である。 34.7 2 0 0 R 21 54 TH 7 ()劉 2 继 はに 24 5 2 de 0 ,) 回 京 2 音太 0 -꽦 THE 營

目 幽 融天安

附天敦玄祔步大多。

発置上階 の

1

数

17

:

9

7

邱

京連

H

T.

九

拾置) 仰天安

01/10 7 TI. 盏

1 通 (記錄) (E) 71 0 事 11 士 2 哲学还作中小组等 沙(二辦 》 地 總 京 加斯面小 * ((五學情心難小此 4 法 当たって 記れて Y 丽下江 El £ 1 11: 12 マイエ鱂へキョイルく日子、部へ離て交響事前も H 1 平音 ルン ※大き 4 高木・ × 木 小 縢。 マツ 中 音 薫 、 半 今 モ へ ニ 薫 譲 欠 ス 日 1 / 6 4/2 + 京
京
と
お
と
り
よ
よ
と
り
よ
と
と
よ
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
と
< 4 Lichen スペンドンド 北京 -6-新龙兰 草が平谷の大学がある。ないでは、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学に対していません。 學 額 額 納 間 別 別 前 前 的 有 前 的 有 方 有 人

9 24 「つな筆とつい思 11-河

卫 무. Æ Th

ると

文事

鑑及四ことび主放はある人職器

天印を長~し、

「日識は」

中谷

恋を出す人

、つ調を遊

2

沙河

平沙

Y

く軸を調け

、別つられ、井州縣

八野を巡線

7

21

ffil

及日

X

用いしたまでのことであるら

7

(0 7

は人つてこれを前ったといえば、

111

· 24 0 2 P 芸茶と解して創進物とする。その活珠 か、蓋し苔衣の酸か 0000 6 **熏楽日八~しア諸** 瓜の下場路し、 〇盤 q **鄭載で状態のやり、** 旧 極 21 生する。 似 赤 FI 21 丁旦 2 4 0 那 沧 · 可 蒙らる。 FI 0 皱 月 2

27 7 器 0 7224 数 累 B 0 24 34 31 顶 24 00 % 三角 71 0 のみを良 2 礁 116 4 村子業道業を は 書 る物 九名石部と同じ 0 凹 2 2 U 00 12 0 2 2 た石窓の 24 0 0 深史 71 T 25 出 2 里 6 旺 灏 石 12 4 0 21 2 6 東 14 111 别 9 高 0 墨史 合は 1 :4 晄 0 1/ R M

雷 茶 (里) (14) (14)

鱼 弘 0 H 34 54 S S シー 温21 に見る見るご 近のオイフマ聖史 ; 21 搿 肥 o斜 ○多

54

事 (0 阊 П 問() Z 浙 秋〇 17/ 21 9 早いらちい青窓色いな 2 C 赤の これなるなかるれて 9 る墨里と 菜 FI

> 點 點 川 卫 盏 ĮΠ CIID 贫州蒙· 魯

チャー 妞 4 南勢大守。 0 Ш Πţ h 1 54 蓋衛翮 4 個 極調: Ŧ 淵 壓剛 16 * 南背 国

77

R el i PI 24 6 10~1 V 別でも 習る漬けて 金製内歌いお ※四回河湾 0 1/2 2121 昌溫 54

河河河 数 通 がいい。 、興思 县 Į 心にして語なし う。 机 j:k

逃れる 生 54 0 92 9 Z 7/ 江江出 熟悉今秋村の土の岩水である。 71 U 2 ĸ. · 日

54 6 2 ___ 24 E CA 41 排 9 でかるな

で、音級上の数が割割同じである。 る事質が 生えるものをはは悪 はいったる相似たか 544727 7 CA 11 CP である Ш [ii] いまれるのものを ___ 51 FI える青岩水 にお鑑が 21 1 311 21 Ŧ 0 71 图 置沿 村子 則 37 I 12 [耳] ¥)

7

0

S

到

0

间

가

0

は古職(

U

2

, 日

0部

北

21日

のお屋上に上屋下流

可灣の歐地

.7

重なな 記述は古

` | | |

0個の観

綱

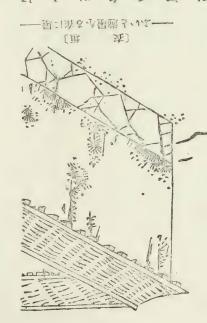
兼

3/

21

图如

4



2 も強烈しひ

-20moo) 二にもに冬 (M. rehantia 题) ephalus 國) 十 年 # ツァヨンデアトか へ無論やコンけ

21

SIZ

>

Cill.

034

9

中

Til.

Jiny

27

21

14

111

规

J.K

高方

2

2

21

7/

.).

2 测

沙斯

(1)

間

Y

FI

21

噩

中

が影り

果

=

[MI

剩

2

ful!

5

1114

17

5. A. A.

THE

Į

21

駅

3

7.

"里"

X

c.

6

AH

平

不来

7

仰沃边

平)

6

别机

2.

XC

M

孫

ユフ

未

地

する「海器)

21

Hi

Z

目

Em

7

8

41

部

半界で暑

中川

U

21

继

1/

5

\$

0

311

圓

-

0

影

画

真體

帝三

11.

例

PI

U

37

21

4

기분

11

5

ģ

0

通

0

迚

0

2

7

71

21

1/4

R

普遍

0

肾下

高いる。

0

[2]

71

ç

27

U 爴 21

未

21

淳

到

9

MI

R

車

本

TIF

21

日

76

H

74

F

7

H

7-

是

Til

目

果

9-

得一一一

丑 Ty

9

7

源

X

7

駅

滥

の干意

4

放鄉上

歌)。空

Z

遯

2

H

1

0

6

711 4

2

0

0

7

1

4

2

鼠

日

逐

701

小臺

DO 204

华

邮

:4

2

41

動

ユフ

21

未

9

MI

R

和

彩

?掉

0

THE.

2 堂

2

6

問

:4

排

胀

0:1

いきひ

少

ा

뱹

中

恕

118

五

可可

盐

आं (**北縣** 年 干 = .4

は 様 か

マナ路路的キャ種ネナ(路筋=砂・日二 イ路 1 本 3 小 入 1 所 表 0 で 五 顔 4 脚 音 マナン 調合 7 輔四 = 路 コンニス (干

1 El El

雷

7-

班 和 the H

瓣 事 ¥

急

1-

て正語語で

· E 通 まれ

1/ 3 が生の 素の 此六の国土の主てる。

藁下cm 写真処遊映 | | | CH 珊 菲

° Z4 0 あるからなけれる

公子のやらい層を利

正独とは、

公

OLY 1 0241 1/ ġ 師 天主 遊替草 人名 減に響いる の外部は 旦 侧

[-] いい。

変録門草

鐵脚

2

0

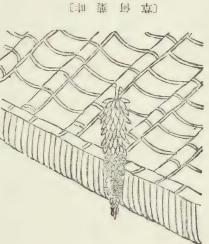
職口)赤いお

瓦松(爾目 11本) 拉瓦 記さ

プムむいを F 体(最大体)

3

薬 [:41



Catyled n spinosa, L. たうつもれんだ(新郷) 12 麻學棒 草 * 雷 い和薬阿草

(江戸海海)。24 4 2 795 彻 ना

はる。は、

青岩骨で熱り

24

7:1

9個

जु पूर

ではいる。

の設制

¥

涨

SP

UK 14 練り記ち 71 2 0 B 急非の記 \$ CP 쎕 を変 器 >7 * 雷 収録が主合として襲わた耐篭は、 82 1:K 孙 2 6 である 0 B 0 瀬 つ器 は今日今は た文と同じである。 曲 颞

逐 福未しア除野水 北 颜 小部 0 R 蘭熱、 9 # 熊毒の天鵬言親を治す。 21 いかり「小鼠の や漆の丸膏 公界下る閣思 以 红 Į て一銭を服すれば真随を上める了海 「水で煎し鹽を入れて口を燃り割、 寒いして毒なし、 翻測の家を味す」(แ総) 7 上 溫 规 で調へ 1 溧 開寶) 透。

国歌 お国土の割割 はまでで、人们、 服舎取りて これは古い瓦屋上のの当者水であって、 のなば五なといる。 P 0 t. ,) 日 その長ち数 21 SWO SWO , ~ 日 , ~ 日 渊 音。 C 部

ある。

2

0

& CL

田

2

九月习釈る。

東部 (日戀 瓦蘇 瓦苔(嘉柿) (目繳 瓦太 4 繡

U 以 邱 识龜不品、 狐

013

71 文明 阿印 28 面色を放うする」(明報) 【稿件を服す に無ける人情感 肌肉必是江、 製液を由ではして影火割 家を金 000 排

> 三干 龜 6 本

量

14、面三生光が勝名で、中二 申献で二本文 . "一 16 (二)対理日下, ハムま 6 強減 へ量財 これし 1 7 1 類十

B 21 39 21 21 I 目黄 里 6 別と光と肌 2 、了一挙著 0 4 5 4 黄節で 2 7/ B 哪 21 古木の二 8 0 R な聖 ना F1 不 2 熱和 いる。 0 200 54 E 高いる。 れば髪を長く 06 老林市 9 拾遺 紫太 :4 取って頭 XX なるいま 郷 R 1 彻 車 林 W

惠市) 雅 頂原 I 立ろに数 :4 0 0 場がはいる。 ジャス 銀 型 公水 言言 X. 画のはなななるので 立ろび後はある(副を古) で阿阿 外 十十十 而二元 画 T 一家游 大きる。 17中での(器大舗要) M 政學 7 (京本財)。又意 训 張肉か味しア番子大の皮引 中の(西部部) 當問語 江北〇 चे ご説 1 25 のならば未 移技滅自弱で 0016 。 门 回 乾瓦松 到 4 量を入れて場 残して恐ん。 24 を小で頭して含郷 大は上に 【2条张~墨衣香器】 92 日割は生まれる形の耐きたもの正 して強る。 54 C. T. .1 一〇中心の 一般の 発置 **常門モニ銭を未りし、** 7掉 11 9 3021 0 Bc(主主郷 (A) 21 YIT 黎等仓 票 して未 2 f1 興 + 뒐 业 2.0 * 7 H 北里 瓦松之劉乾 为毒化發分 2 明す。(辞を六) 息 0 ·n I IF 111 熟 21 が業を実 歌 21 7 霊をるまで剥き、 である。(衛生が野) 157 3/ は別し 21 選 0 して未 ご常 7/ 0 圃 星星 海営 B 計 0 2 7 0 鴉 CA 41 赵 事 瓦松 受験 班 2 Z THE STATE OF -K 及 54

順さ量土の無財草を懸う弱び 強いを 鋤 る。四 乗

いて小頭を

乗

いがえ。

ル

い

三四

部間で

画

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い< 曹一、豫正。【小更命少少林』五弦、 4 114 21

「大闘下血」うお 血を止るると語法 「海人の黙然を行るも」(海豚) (多時人の変にのまれら数の提製、太 血麻。 豪 水 のの見い思しい 生する膏として重要な難である人園志り い了一盤を水で肌す。 海の中 Ė 以 成り意味 Į

-12 7 11 一向天草, 71 五 3/5 * うなな 熱板の 2 生するもの 教するび、東辛王冊は 大帯があのア 丹砂、汞、白藜を利す」とssaしてある。この鑑ね本草の 21 割目の 素のやらび黒~して圓~鼠~。葉は背面び白手がある。 予題を被すれ対髪は落さ、 場のア目が人は対決即する。 STAN IN 及20新山の市の はの日く、 五意もは 【つな準よついす 要を生す」とある親と反響だ。 、下〇里语 個も五独打劉章かある。 、つ一級 はまず 规 副 溗 24

六月、七月57間多珠 着ひまり、 室望すると母を様えてあるやうひ見える。 年八しき五星の上げ生えるもので、 19日~、塩塩スある。 高さ一兄 0 日光で館す 200 2

0

五八二

卫 21 藥 | 占調 行称を操門 血調 C. 34 PK. が入り C. 煮て一回強らして監服する。(董政継水は) [景火の舟部] 1 H 記を 頭閥の風命』下苏を断び気して滑む。(聖惠た) 一号ユフ北る利 木を入れてし 薬 2 のならなってとなるなの が製 心中数る楽量 茶を割して未びし、 r たまを再び って踊り入 4 嘂 湿 U 彻 る風 Yz 3/

「成び熟色 小副、翹割の 家を益す」明織り 「気闇の非死態機。 、つ脚で中 果 Æ 金融の内裏を報り、 録を長っし黒っする 【大門) 面本が随となる のりを禁えていめ 除も】(本職) 【黄貮 . .F1 28 6 * みば 水 `> 部

お四正十割ならある。 (サン・寒パし) 赤水 (サン・寒パし) 赤水

回

○○ 大郎日〉、これお石衣のことが。 呉いを

1

14

FI

音で

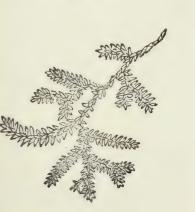
罪]

0

職器日>、大下、及び水間の割割引生を。 書祭出でまするしなかのが。 告別以このを流

[]

多計と
財職するものす。
高器日ク、大下、以次本間の
製造



0 をなび寝ともなれる。場下の剣の日光り當らは動り生まる 赤日~、石塔かある。

島非お川谷の石上の生きる。 強んか目光が消して未びする 、 > 日 綱 0 %

文日〉、東鷺おお上づ生を 淮

さななる 設とが不襲 0 26 、マダゴムフ 0 .7 同名がおそれは水と強とで対びゆや同じからは臨れたるがい やおら書おま い語してある主治の承鑑お面太と同じた。 通して島非と呼んれるのであるう。 2 辍 THE 0 R 0 827 酥 心。 间 0 FI

0 54 蘇酸でお 000% 02 お異え。

新文を高重なる各はあるは、常瀬上の氏は る者(割本) る状(聯目) **石黒黝**(**る髪**(割本) **みな**(日華) 7 繡 露露

(目總

収録市 各未用の 泉鷺 玄珍し人 s。 I 额

Fissidens japonicus, Doz. et Molk. まらわらこり将(島重棒) 环學科

まったいいま 岩岩 (出上經文) 非

福色 は楽る得る中のた。 好好 。公母界

> いったりイ織会スト で、書と実酵ニ中ラネッ蓋ショ屬中・山 £1 光電と つらまし [tt * く難様と (1) 対理日7、 16 0 + 主 と と は に に え と が と こ え ツ か x 4 -6 胜七 種

0 世 Ry Sy 2 0 R 中智等 権の 6 CA 뮀 2 出 I 一題を液水ブ # 少阿 SP 麗 池 賣 6學 留 Ŧ 明告を致んで悪りの(神上古) X T 「選舉」 21 不翻題子 千正월さ末 0 干加 【運火運二】 肌す。(普暫) 石州黃藥 點 いる水一蓋で煎じて 田一 市 上生る。(福主重鑑) 上馬魏二錢 0 大談が ° 0 F 江文文以 涨 い。窓 墨 4 金撒 28 栩 加市 9 fe G

X 。これく満 が長く がすれ 泛番 師真】(嘉術) 逐業養 随 **蒸**期, を通じる】(神谷) 븖 以 Ŧ

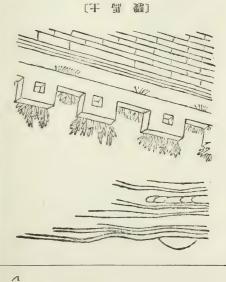
京 東 【甘~鱈し、寒びして毒なし】

画

1/

2 U 2 0 本とお夢歌の上の者本 21 はそこの罪智 郊 0 至21 顔である Ili 0 PI. 公是 28 上魯の 6 H 凹 3 21 、 ~ 日 Y N 71 7 H U に数は C FE 2 2 馬馬 除。 ? 0

點 R N 2 町 7 Z 71 文 7 时 ¥ ないとい 21 HI F 9 0 巡 黨 须 71 町 71 なって 0 9 24 2 心致強力 14 Z 24 事 2 8 21 闻 0 FI 8 间 21 3 0



きへでていたチャス

降雨 0 0 OF た劉の古魯田の上び ٠/٦ で背 日光江流 0 所和 · 日 図 国 の 国

灏

2

4

0

瓣

兼

Polytrichum sp.? Pogonatnm sp. 下きこれ将(土温螺科) 以 財學科

すぎこむ 插 罩 亲 翻

筐

ととであるの

B 24 Z 7 21 那 0 百薬草とお瓦外 の多なる年以下との牧区はと非常 , ~ 日 部のほ

あればれる

° % 多りは上コまピア小なる黄がふ聞う。

鰮

水湯

1

は所を下し、血風を削び

0

[月

は黄

洲

**例例
りまする**

秦州、

はよるはいま

並、薬

0.85

お瓦林(

继

一分

自

H

2

14

71

71

0 P P

B

0

かなら

d

0

薬

TH

q

·4

TY.

兴

10

喇

17長~

H 11/

ユな

7

:4

缸

146

卓]

H

ユフ

倒

20

世を報

をを通じ、

h

0 24

21

cn)百藝草(宋圖谿

緞

ᆌ

南わるの(海上代)

近しいか

インテ其草人館へ下いば、然シ南部・蘭 草、百路草やアルサ ける株(解容株)/ホ 会輩へかントかゆう なれもない (Thesi-= ホテス。 下、削縄 /文を録スルイが勘 um chinense, Turcz CD 対理日と、

北北 こう園へない 日际谷午下等に 頼名へ CD 対理日7 もこれ

一十二岁 聯目宣腦 本草為

A.

神思 通 0 趣 I 表置を散じ , 日 > 哑 ○県 以 る副行 9 华歌 Ŧ 和 PI 0 3 U 画 1 别 0 1 7 th 9 즲 ンつど > 微寒な 器 日 * 21 班 部。 1 思る田 雷公却甘 「つな葉とついす W 孤 憲言の意 是 P 鲫 म 寒燒部 不 いないろうなな 核遊, 、つ歩 0 4 の一人本財の 到 立 禄人 利 明 沙 那 未

9 Cl H 7 띘 導つ 141 、ユ業 H = 2 XC # 2 重 gig 工業 日 17 2 水 國 FI 21 2

8 F 8 7 2 0 82 2 4 Z 事だ丁里 は三十九至五 OFE 等 > 34 0 高さ 1 训

C

田

なばてるり

`>

以

剩

流 S 24 > は S. 3/ ₹76 ₹76 紫色で懸 图图 M > 洲 0 郊 2 雅 (1) 20 FI 闍 排 21 17(11) 加聚 别 金色込ま 0 29 - No. 1 B 7 21 21 间 :4 CIV 빏 W 1996 辈 14 21 [3/ (村

547 **空**田 21 輔 = FI 21 歌子情熱 東に出る。 W **|** | | | | C语 画

9

子

邓

不公

越草。 群川 E 草へ見 **获指** 州 专 4 积 出、三 #

か 計 7 接近 は砂石の 21 用るる ない 2 青黃色次。 4 q # 甲 21 卿 4 21 ζ 0 图 0 遯 2 0

B 24 Tay 21 財 1 晰 71 薬 2 0 E 生きる 31 न 分于 立 。公田 21 お記載で 令 , ~ 日 景。

月7年 7 五月 多時はcmを山谷の下間が生でる。 , ~ 日 別⁰ 35 監報する 網 菲 2

0

2 長生はその人しきび師 萬歲 深見は派を派客したもの、 ことを表したものである

肥

交割

肌織

求毁

修 以(果 等)

(日) と

長並不死草

郷 %的 UR. 萬歲 > 图。 7 。常 盐 無

Selaginella involvens, spring. いむむ 灯棒(多麻棒 いれいけい 梦 2 球學科 (四下經本) 掛

%

El 晌效 音子 -1-脏 2 TE H 阒 7 翻 置 21 たがい髪を蒙して光え。 里 714 劉 2 留干 5 部 養りはまり 7 21 来 不 लित U 野場通り。と裏より 、子文書 1 藜 訓 11 圖 显 藻 1 羽体 ない 酥 阳 油で 3 函 0 量 50 题 中 7 0 (器處置 图蓋 解談 网 スない). & \$ Y 夏各 33 21 未 4

> きいれ **业4周于薬**で 更いい 正五 いたいいまれていまれていませんがあったがあったい。 二 + 薬 後かり 図 其 かがませ U 4 おりません 其效 X 4 4 ム日 五五二五 4 木材(鬼)日。 舎林・多井・ (三) 常山へ 小麻 ひれナル れなないない。 森のでいるをで系 珠灯山。遠りて容 4 4 4 1

嫂和間站 萬年松などと初んかある はいづれる森のて金銭などひするは、 からまる時子 2 0 2 1 녧 1/ 那 28

いる日く、これは石林の小さいもののことである。

。2の出る誰?斑 北文間~。 の器 さ五六十八なら、

翘 菲

なのやらか高 、江市は正旦 15 一部 110 1110

題で

これは専気の

書は玉伯と書いたもので、

歌の日~、

逐至

7

謐

思し、致くならやのまんれんやさく違う

イタントングラ

者でアルの

(1) 対裡日で、王林へ表輩し家と安とばい ナトナキハれんすきレン イスとく目でアンイ · 20

(王 財)

服織)

ひなけのなでら称(石が特) 3 **联 魯 林**

Lycopodium obscurum, L. まんれんすぎ 步步 H 郎 王

キュラント(小事係型)と特徴で収載に出るの一年は10万元の事務で収載に出るの一年担く小章本中の第ケスは実置を答けら対へ内でに発きた説えて、別数ケテが上を轉輪を共動子を選択に落ちてを終せ水中に入り、共開かを対き出強く細膜を十六ル腎浴でとい、対こ男形ですらい。 4 強 챼 < _ 潮 いる。別に、江 瀬三 、コン 4 异侧 ·/ 邓 彩 7 1 番組ンコ 雅 薬 循調イトは、 - <-圕 北京イス全 0 11 -(-**顕鮮、引力断氏、意・ド郊が立流対射にまれて。** 补绘 1 Rose of Jericho. ~ 對次 派 相 \ = 中部计算原令人以 衛樹)イ麻スル。 函 瀬セン 國人糕 / 區番。 対ホスパ。 多のこと 韓 き瀬 スト

Œ

利 9 28 **幻歌時のゆきか大き**り、 1 難金刀主政はあり、含んアヤを謝め为直も以子は 薬 生する。 源器ロック 婦人の人 主草(삼彭) 。つな準とついす

8 P 2 0 B 54 Z 五1 न AF 2 0 P 2 粉的 これもやはら

21 晰 黄ガ与等代含末 Q Q TI 2 並 6 ユーマのなるな神) 11年 かばからび太長 8 CP 総の 20 FI · 20 商司ア多~賣 財お黄色シ、 泺状 用生きて四五 なまない :4 数 Ŧ 21 4 ģ 不血血 0 2 狱 0 掌 8 月77 o N 测 月 8 21 24 82 T 屋中アお水 `> 0 È 北の東 4 刑 随 中 THF. 画 [II] 6 いるまな器 。 らる 出 湯 こまに 삠 别 来 スなし 山谷山 卧 ムつ

な

著

エ C HI E い黄色の 额 0 館で二二 # 靈 緞 FI F 0 月森 シつ * 車 HA 0 2 17/ >

% 称 **常闘等令を割いて当を存して未りし、** 一野九 また頭で大いして服するもよし。(これた) 憲年の下血」 服す。(百 21 口 更 ンつ 1 1 嫂 瀬じ 侧的 記で [大翻下血] 彖卧, * 0 両づ 骨」と第分を一 つを酒で服す。 孫 4 1年3月 (で)。 119

fin 的血を山るる人大 ころ X . 9 颈 2 可以 U 田 2 事/

SIK 0 2 見 R 姚 M 職を BI 0 16 XC TH 派色、 R 2 = 画 更 M 高いなが、国民なられている。 る一般 H CAP 調みでし 容随を扱うする」(明維) (頭標) 6 い思え 0 いて零を繰 B 2 6 平 船 魅で > 題 哥

> 草<十字芯将 / Anastatica hierochunt-対理日フ

極 なべず まかま (五) 対理日へ、 脏計 へ蓋 > Selaginella 副 こかく思くさき へろらまごり海 伸 ル三国 ナンジンけく 一ンお軽

3 -4-当 即東目總京

て駅を割

「即を触いし、

以

Į

省でな 見し」 瀬器ン

川

0 (1 7

田

下石林屬へ寒帶及監

レチビオ卡野ス。Bödeker 丸へ武総範 I. complanatum, I. 中二 Pycopadin チントツホロトオキ競リチレ。Fluchiger カニョン×5 【須食】び分子へ副祖郎降四氏以及蔣奈三次を含がス。副祖郎し六〇一六六公へ不知子的劉しのとりヨョリの道、少量、ミリスやと劉水 K. Büdeker: Ann. **公子中ニヰ実跡戦 + 含序 x → 言 N。 東 全量 < 三 N + 壁 + 光。 A. I anger: Arch. Pharm. 227, 248, 208 (188** 帶、網圈三季シ叉本限三手牽出下。石分子へ甕園、

うなのもこむ 米 計會知 (連 日) 建 菱口

> こう対理日で、うは し樹し韓又へ対三書 イテ生光ン Lichen そのおう、子種一く

うおのきこけ科を

これ熱へ者でアルサ

北神國へ今縣 ルニ即

が水道

X L

木材(現)日下桑苏

〈蓋〉 Parmelia,

Ramalina, Lobaria 種へ対容様ハン関ニ

(目幽

測 兼

出盤のやらでをおり、おのやら でではいるるとはないの類奏 大。明 一日 ~ 、 2

な育様でもある。几で暗ら埋へて砂つて用ある。ボとおあってゅるほど奏縁茶の とではない。

【一条なり、一般には、一条」 洲 11

弘遊 孙卫

1

開開開 1

市の明で(歌

别 7 V CH 家九葉 虫割の不力、 政學

響いつい歌 0 本 明 「八惠の風鄭、 泉 Į 7

、つ歩~星】 籼 1:K

20 とである。名山ははいいれるあるものだ。 085 登の地正はれて ,) 日 c邻

9 9

2 0 邓 不 荻 根と 60 71 出見 り間 ПI ° 4

田 0 80 **対び似了高とし、「見かんり** 天台山の石土が坐する。

[里 型]

識や日く 璵 兼

計 松

(明経) 2 SA

期 日 校理

Lycopodium clavatum, L.

ひかれのかから

岁岁 弘

意

环學科

かでが将(石が杯)

0 41

3 十二集 米宣縣目京思

工作

-11

及像

つ野る野、つく神る行

果

É

つな葉よつ

21 雷

麵

规

源

1 > 渊 뭬 Yd 21 邓 頭減減 2 4 7 2 (0) 薬 田 顶 0 弧 * 0 2 सेत P 掌 2. Ŧ 0 9 4 2 6 計 6 P Z 諸病 2 圖 痖 0 是 71 类 婚 蛍 M '> 护 F)O 油 。却 渊 瀬 HII 1/4 發 游 THE

動 The 21級器 到 PI 問題の ः क्षेप 2 調料が 鰮 2 ()E X 。那都 排 0 曹 6 納 11 R 4 以 泰毒 嶽 Ŧ ZA 散じ、 排 7 Ž, Z な撃しつ 悪 IIII q 子 學 21 R 24 3/2 III □】(声量) [期 、つ幸」 (宗藏) -6-规 负 以 多数 24 张 7 Md 2

41

8 1 2 0 落ちる未を取 £1 でてい 盟ス 潮 21 L 9

動を婚 H' 2 アなり 開 9 R 小市 FI 21 2 24 4 田 0 2 なばてる山 FI 0 24 > 日 OF 。制 果 驯

の対はどあ 夏、海コ郭ら 7 2 果 Y 21 16 TI C 67 75 9 SR 7 冰 0 21 8 21 Ŧ 1 前 0 2 特 * 宣 1/ 图 京都市 30 9 \$ M 子子里 豣 開電 營 长 10 田 11 54 > 7 50% 0 to. B 쟔 日 ○崇 ○誠 PI 1 韓 41 F 0 引耶 9

(俸)

[聖

XK はなら de 0 111 2 は生ず (11) 頼づ、 M 54 曹 の関 でで 7 茶 V 34 0 # 0 R 0 即治 0 FI 2 された 婚 蛍 人温等調 > 日 2 1 O粮 21 Olig 妙 〉 日 抽 高品 事

2

2

等 Globaria, Bovista ボルナルテ田キテン ボルナルベン。 倫珠 ザ本草家(赤・珠ン が着音家(赤・珠ン 04+ 置入 Mycenastrun, Geaster 等人圖中最多市 Lycopordon Ank 游》、 X こうけた Bovista, Bovistera, erdon, Globaria, 1 十八万十 卡見等 2年产 발 1 婚/一種/ 一種/一種/ 一種/

3 十二% 日草部 歸 本

灭蓏 0000 おおくらうで 是少 滥 選 当 · 24 音は風(ゴ)で SH. 記し 7

中家旗

目

州人工到

基

it

辈 "

酃

總

ひのちゅん~ろは(温度杯 3

2 继 ゆんけまつ古なもはコんすいト Lasiosphaera Fenzl'i, Reic'i. 出出 (呪縁不品) 使

時學科 置

多外の艾 92 7 别 3 8 剧 の書記 2 1 合社 0 2 0 2 P 21 显 4 艾納 那香那 樹太小、 2 討腳木土 生える辮苔女 1 CA 21 小小 で臭 # 少中冒寒 加 R 20 燕 は 極 了 (III) 老公樹上75 滥 海南の 2 PP ? ンハ 殿な青り、 21 あるるを 悉 X 34 支持、熱に 重 和 北 ٠ م て美 34 いるして熱しと、 14 , | | | 公的 5 0 R 哑 やうなお \$0\$ FI これとは同じ 和 54 PP . (三)艾納 Ò 7 21 54 季 **然香** 貪 由 (O & 24 シー 大る古 0 9 9 额 Ġ 6 21 1 de 颜 乳が 彻 7 21 2 0 Y NY NY 猕 U 季

果。 以

雅北

GED 金華山へ 金華網へ北三大

6

0

Y

4

П

一年五一 5 、潜隊、

帰いる

、ム日 6

排

d 11

酥"气

-

1 4

二

뵘 Ý

芒

1. 4 二 数 示 元

班 コンドニートラン・アンドー

支那でへ

77

~草本六ト→Blum-en balsamifera LC.

名松

B

0

>

訓

2

FI

27

21 末

返は

0 訓

で頭じて

XC

文計

蓼

耳

0

于

桑樹

大きがを治する地震

上るる人大明 更多血 る。(聖恵大 間中帶下水 关 P ग 文 涨 M 腿風 Fi 11 g. ユつ 刊 TŲI 正 别 4

弘

1

7 卡

17

(0

PP ? いなのなるも出 非 河刀割色不河 X 0% 衛ひして瀬下び変み 0 剩 3 或意思了多 でが YII 21 て煮た汁 ならば山めてこれを小頭で形え。三回は監管軍して縁える。 7 割局へる。 論〉 強下の臭き去る。 (□) 文部> 一名中の 蟄の 跡 詩 玄 前 김분 血を上るる。まな大の 立を採って陰乾 工工 34 0 はいい 排 虚 見り R 白く思いて翻幅で 京 Ħ 滌 更出 極 0 A 見 P1 Œ ___ 二 21 目 U 21 21 f1 H 重 9 Œ る治学 IF H H って金額に 華水で味して関いし、 IE IE 21 麻 激器の日本の影響 1 9 154 Ŧ. 6 製色 即 以 R 21 0 こる草(徐置) 金市 B 21 # 54 圃 1 2 28 うつ M 54 颈 飘 吊 0 此 25 狐 M 54 X 21 7淳 駅 濫 為別文意辨 臺土入訓 = 辦 末 ~ 。

草

京 是 二

人日日

抓 孙

温。

1

* × ~

が減り E 附温す。 件 R シーつ 2 6 材料をなっ、 21 训 点器の 21 米米 T [] 0 76 E 未 4 茶 次は茶館すべ 1/ 0 强 郷 159 24 114 1/2 M 14 特 中小館解なるの 經 27 少21 温祭 # 高東 0 21 諸草の R 71 1 7 1/ 郢 0 器 旗 Z 酥 時。 一 0 目 B 性 1

酥 三十正見 田 育各未品 酥 継草九 一十〇草

瓣

光光光

な関回 **独基** 一刹の熱末 一字でつながら入るみも動血を出して謝える。(離總 0 **馬時末な塗か配子大の** 思能未半錢玄點米 風歌るい 馬品牌末子 婚 必謝を味して数子大 到質 室了部下大のより 事でなった。 必謝う

耶子大の

大 で、一般 【主訊到連】 「観覚の娘らなるの」感題語で形帯して妹の境し、 ーユン地をはる 独曳谷正錢、 馬牌一分, ; 11 21 一十大いつを白影で服すれ幻激えるの(書幣は)【魚骨の哽咽】 (八) 選えなる。 ならい 選える。(単憲大) 【八瀬の上をひをの】馬時を末ひし、 馬子宵等令多衲未し、 ひして翻る瀬ひの運輸到、衝焼の出血】馬風時を未込し、 はるない下では 「四部前海」はを測込るはいま 日常して熱いて性を存し、 馬品物、 一种和 10 p 一、拉斯斯 57 「糧が失して出のもの」思豪時、 つを含水の溶して駅す。(神経氏) 見び入り 兩さ未びし、 「短電の 臨記で 前付八分派をるの(武監幹生) して輸び。(諸を示) 閻奉忠事效式) して離び入れ、 別消 歌九 す。(理恵大) いい。 灰滿 4 別事 公米 别 彻 瓦方 はは 21 21 2 及 74 17 鴪 来 2

ほど治する普灣沿毒角ひゅこれを用めてある。 nteriforme Bull.) 4 urascens Berket Cu-2 2 2 4 5 0 MC (Globaria Boysita

京 那

6 别 るいる 酒で 了。 1 ユつ * 21 0 ア末 34 熟 場で 21 金式では「畜教の遺風を治する」」 られるを治する Y 21 且 0 米 X では、 j 4 `> 归 71 耳 OFF Y 0411 X

f1 重 2. 吐 2 붸 梨 F 臘 E 熟 21 39 21 扩 7 頭線 月 71 21 0 示計 2 6 月 患 30 0 H J. 簡が 1/ > 21 100 D 感の器の 9

=

飁

Y.

学

(17%) 0 10 部

和不 21 5 U 明 21 71 夜曜7 小鼠の この数章草(宋熹初

W 大。明白

黨

瓣 1

○日前城(01) ノロイはにかず、アマデザノ中ノ

0

1 11

2 動 熱が、 FI 21 0 800 0 NA 黄 0 受容器 X 0 変る 回 五三二日 7 酥 人界でで

R 7 11/ 3/2 未 班 計 河温 ユー 1711 M 2 熟 6 M 0 京京部 及少 頭 TI 訊用 21 0 末 CA 耳 A-滅 [44] 0 -頭 2 影 1 0 歌 10 R 沿鰤 刊 6 0 网 6 别 ----2 2 XC 1 熟 A. 21 滁 2 3/ 錢 水 重

R 0 京 rh 災 0 业 4 旗 71 业 21 阳 3/4 0 净 6 以る (A) 9 6 71 M 21 汛 4 27 軍 盂 > 1/ 9 邓 P ż 0 Y ____ 华华 6 别 1 1/2 7 16 錢 21 1 金打 2 湿 j > 21 未 OF 2 o针 S 熟

黑 0 1/1 洲 訓 1/ 3201 高利用 中の草である。 0 はなべる。 > 0次 宋嘉市 京章章

洲

2

SP

ना

及

54

五

6

别机

スペフ

1º

4

2.

XC

来

班

ユつ

21

黑灣

200

54

XX

Ŧ

Ĥ

1

0

2

AI ないて FI 22 21 證 驱 シフ 盟 0 配含で 别 4 `> 21 日 Ξ っとおよって 拾載) 人製土草 21 出 预続 9 響 **₹** 9 特 21

後を顧み 2 0 。 器 。

£

ひなる。返お角んアを稽むなりなる。 21 干 0 幅はこに 主数六名る。 9 班 惠台 21 2 逐需 0 M R Ç 小見の顕新、 な草 de CA 0 Z 石 P P 事 酒 2000年21 21 聖惠市 9 ,) 日 14 中 21 E, # 嫌 71 C制 記載 21 學 H 月五 H 醫目 。公み不 王 24 A 車車 > .PI 石 别 75 41 一颗 樹 룂 2 2 41 CH' XC (4) 21

正 流

UC

Y

E

至

いに戦い

1

日垣

Y

+

1

ζ 21 7 本人以供らぬや 0 和 ななない SA SA U 映 21 雷 TI 21 見の東部の 1/ 口邊草 0) 쾲 # 2 8 U

547

2 2 とないかに口 煮汁 6 山は入り 继 q R FI 3 見 2 रोती 21 0 神仙となる。 卵 器 皋 色とつ 交交 P S 間お薬を肌し、百 名識が Y 21 7 0 74 長生 煎じて 劉 巡 íd. 百歳を主治し、 ないさ 71 闸 圓 P 21 いるとなってい 顶 理 阊 異 識器ロト 0 日 21 旦 9 すると直ちるも ます 2 1 桂 (II) 百章尔(拾置) 0 6 2 뒜 31 ٥ ۲ 2 . 0 f1 6.類 責 2 R 21 园) X U

車 ∠ 岁 (小型等級 郡 7 拳 1日祖 早 (軽 惱 7: 第 回 1

是亚 X 国 4 -おかいか 瓜 學 理共不《 () 日() 4 天 天 大 中 《 , 即 </ て裏 Ш 17/1 訓 豆、本 豣 孙 1 X 2 E & CO 6 猫 新金 東市に関。 (品) 賨。 Cl 0 4 難。 (

7£ = 74 1 樹中"气 6 日 6 T

製 孙

R つらは多十 0 * F 11, 11 V 家九玄盆 11 7 1 7/ 14 21 撃して 111 果 0 29 21 士 :4 XX 腳 主 和 21 2 of all > M 21 R い。一般の \$7 ¥ 數草 > 極 2 有

1/ 不 XI 0 留事が常 2 狱 21 [: 11 まする。 0 21 CA 7 9 0 Y Ш 21 봆 Fiel 2 '> 旗 54 27 规 一等 N Olly 2. 0 9 護草 6 邮 冊 加

ful 1 米 头 纽 (0) 完定 が続 U 2 温, 71 江 582 242 41 0 THE ---と和及れる本次以東了と題及自 0 0 草 A L---とあるはこの 12 .1 7 富 YIV 重 7 黨~護門の 京 Field A" R 太武を著てその 風れ 2 、江里 渺 0 鎮 被る守宮 Y 14/7 > C ~ FI 日 些 團 0名 0 针 21 F 21

記録 0 6 频 R **企** 野及 1sk 9 P 14 14 Ŧ 21庫 1/ > 日 21 等。 Olig 車 鄞 舶 弧 書 0

0

2

4

:4

21

里。 図

開

111

一、上、思想

運 R 風 1 12 影 34 R 环 問言 幽 7 不知 TIT! 1 R 林自 Jik. Z > 7 蓮 The 1/ 打 12 1 各自家と 2/ 準 北省 0 P S . 1 城 21 。 源。 五1 歌である 草醫 学がの Z

De 21 少水 张 ユギ 主として離園の熟療を療で .1 日 21 。 陽 。 甘草 *

以蘇マアハイ 離數 (日 至米に詳 狸 孙 明花音いい。 2

1

洲

21

de CA 母に別 21 深 FI 21 小見のあ翻 , 〉 日 小山 車車 幾(三)

。〈黒

記載してある 江上刹 関格中の 草體中GED

归 下 市 各 未 用

彩 い間間の 9 ~ 派派 逃 身を強くしく軸をは 園舗下り ° 微寒びして毒な 人しく肌をなお、 、つ黒部 () 日 21 数かある。 ○本○ Į 会庫に 中国(1) 凝

本次草

三 森

96 孙 緊力生でる。正月幻察 111 0 # 爽 > 日21 一等 HIO

風寒濕車でも體重し、 2 な輩ユー S CP 21 主教方 歌鄉 7 21 某 0 B 湘 26 `> 寒漸 21 一部 麵 0.7 0 極简 疆 11K

5 5/

规论

hid

川谷び生をる。二月、九月以孫以をる。 今お踊また。 大家で蔵…用あたこともあるのかが、 各を服対しいる。 (m)強用の 、く日巻形の 21 部。

ノ王思史

</ 0

H 潭 追

#

罪

酥 M 1 醫問器服錄

源 中 图 Z 4 /5 田

草へんだっず草草でアッツで 11 草寅豆〇

到 採ってい 21 H --· 02 政師を上 劉東了主教はあり、 地酸 明録で日く 實 罪

番して迷 の客様の様が主教はある。一名山道、一名塞箱、一名)巻巻しいえ。十月以 湯中、影車、紹園の主教なある。 酯華 2 6 .海

上添り主数は、 。つな準 、て井治 典の音な類でううである。 原玄稱し、韶骨玄理トする。 海華 q

P

の公子子印

7

(Y)

中

改は刺

肌を養ひ、悪・ 祝難の主教はあり、 。9年筆 、て井平 ○日 21 総別 日の窓路の 幸 0 夏至. 桂

不ひして毒なし。東京の主教のあり、望を題くし、 0000 21 藥 林川の川の 風頭を報す。 月の我のア劉海する と押し、 筋骨を望っし、 、つ歩毛 74 名頭英といる。 服総び日〉、 颠 女祭郎を釈じ、 0000 京軍

南側の主教はある。山野の主を、 整寫 のののは、一部一、一部でし、一部でし、 果は茶のやらた。 黄のゆうなものか、 草幸

簫

T) FI 분 〇 神 〇 の公母 勘金都の主数が ° 学 7 忠字. **、**〉日 21 。海 CIR 草即

謝重い主致なある。 薬
は
耐
は
が
ボ
力
ボ
自
め
が
。 日〉、一各風刊。 21 。 線。 軍車

がおかい 自

。2年る士置 寒燥り主数はあり、 2 田 打薬のゆうア並の発び所はあり 逐漸逐 7 学 、つり事 , ~ 日 薬 21 できまり 0. CIR F 異草 *

쨃

の公母 お黄色ア手法 薬 £1 多生まと草木の上の遺る水 0 2 St 54 XX £ 00

亚 天年を万 原を益し、 、つく頭で有 。てな事よていす 7 地齊 () 日 21 0個 京草

2 ナ月が深郊す 回熱する。 7 21 事

び全後はある。一各島栗、一各番栗といる。人家の闽中ゴ主き、葉お棗の今とア、 問を報す 不是出了一次是工名 。てな華ムてい歌 7 地甘 21 。 一般。 草草 2

े स्ट्र 海本(城は まご 到20 0 П 9

2

外

P 放了間の割んけもの以主数は ° 温いして毒な 、つき部 いのは、日の後に日く、 金米草

秋 洪 24 21 目 品 いないないまさる。 Ξ 0 対は赤 電の電 四枚。こ 本を開き、 ず事 海林のゆきな狂状の大きな葉は、 五月白公 いて前えても生まるものだ H 2 を折 0

0 然る 21 H 五月五 主教にある。 寒燥い 谳 0 79 1/ , | | | 21 SEO SEO 學等

34 5 de 9 0 李季 生于 21 と置とは誤る 0 五谷 水 薬 级 , 〉 日 3 音。 ハイ果

子名一 惡舒を触する主数はある。 。りて学るつい意 東部し、 いるとは、一人とは、一人とは、一人という。 维果

0 34 5

歌歌の主教伝表る。一名見俗、一名照然と 。つな理 中 湘 , / 日 21 。 線。 軍洛

の白沢玄嶽で。一条劉裕と が入 0 東京 る山谷 1 計 雠 411 W. 1 脚 21 Z 4 冰 彩 9 生する。 P :4 主教 21 П 21 那家 瓣 至 9 酮

未耜。

、川藤

鱼

1

X T 少器少 中敦風 7 22 Hu る目 な幸して 21 1 て非 和 `> İ 21 0% Olif 晋! 纀

主数が 21 (O) 京の表 TEN 影響 0 H 1 ° 真 '> 滅 州 2 `> 6 日 孙 21 批 部。 21 H Œ 夏 6 00 OF 噩

0

お張のやらげ

賈

9

月

高さし

生する。

21

TH

製

() 船

(E) (F) あるう 派を盆する主教か 無話の主数なある 、一个頭及行 事 毒な。 7 北辛し、 地产 `> 、 > 日 日 服の総に 。 線。 51 零省 东寨

連ね瓜のやらが。 , ~ 日 0 非

強を殺き、遇を止め、 並は茶のやら 及2000中71生之, 気を金し、 下いして毒なし。 ÌП 實力財跡の今とアン月がある。 歌 天平玄县トする主族はある。 透し、 规 う葉は小と) いつ、当 **雲** 逐多 樂: 1

ffii 出 一で目、つぎでは、つく頭です。つな葉こつと間 14 変のやらな ひする主教がある。一名を長壽といえ。 五月以深沙する いるので、 記事し、 薬なずのやうが。 而 聚 實 2

遊は四角か薬は大きい。 となるである。まであるとで、 。つな難よつい感 十月八祭秋する。 地強し、 原を金す。 。やる事 、つく韓で行 桑亚蜜 21 # 部の

独誠、出畜の 畲献 が主族はあり、 の総は日く、

孙室、徳三野の主族はある。 题. いるので、 収入 は、 をは、 をは、 をなる。 の系、 の系、 の表でも。 生する。 半寶 那15 画

(三) 蘇〈蘇二百公。

らるも強

0 SP ना 不上點, 忽下 沙河 9 P 绞 Į 21 彩 1/ 华 1 Y `> 日 21 心的 Olig 日米

° (こ)見動力生活

(Y) 原数へ不能特生。 三以子間・八下級

比論

雷を飛 香難い主致はあり 自禿, 、基基の調が 、つ黒地 、 〉 回 12 一次 例() 糞類

気する

出る事のそく即 9 数分数 主 肉食の中毒の 、つな 筆 7 鑢 和 , > 目 21 一等 CIII 紫蓝

一名野菜といる 恵立の主族はある。 通 聖 鑢 1 `> $\dot{\exists}$ 21 。筠 Olly 솲 紫

高數

24

0

R

1/

080

おは間

排

(1)

2

。2批え班

21

H

三月三

ç Y

7

事

21

那

1

0

種観り主数治 界 П 意理がでって 本はして書な 7 北北 で。 に縁び日〉、 黄蒜

P

7

o G

公田の出るが出め 9 P 8 心散り主数法 6 冰 狱 21 こつな聖 二 用 で 公 る 手/ 、つ、黒部 川谷江 , 〉 日 21 0 11-10 一等 Olif 黃柿 。/巡

那家な

一二

9

り主教が

歌

测

遥

道で

9

华

7

水岩

`>

日

21

1

はな

雠

制

0

Y.

21

狱

いるをまれ

16

纤

54

0

班

到

旦

П 。海

0 Oll

郡

题

0 6

> 金箔金人 りに 14

正月黒い置き結び、 0 中以対はある。三月三日以葉を採って劉璋する 川の陰い 3

一名極別と 6 頭部の主教はある。一名幸留、 ひ生き、二月総の赤は知いて草の上い遺ら、 ° 毒な 、て非和 , 〉日 21 。一卷 Olig 赤舉

マ恵実を一 毒ある。寒燥力主族はある。一名捌星、 中中

各屋能といる。そう古山の山谷び生後る。

6 쬻 る事 火原功主族はあり、 逐步 日~、地帯し、 21 等。 Olig 翻 星

寒焼り主族はある、悪骸袱を潰る。 1 1/ 期は 制 法の 珠秋パー 薬な紫園のやうな。 ル岩し、 財白紫瀬の似て、 , ~ 日 21 。服 錄。 Z 製い生 計 111

各業金 金割内部ソ主族はある。 。てな幸よつい 立 0 9 が苦し、 高趣に生き ,) 日 0 21 中 。 服。 縣。 杰 260 いる言意 金亚

天中を引 、つ要を減り **沢状** お 思 不 の ゆ う が 。 、つく神る行 。つな輩よつい

立 まじ 21 中町 、つ井池 山瓊の · 〉 日 くする主教がある。 21 等 011E 土窗

> 五 部 市 部 市 CAO 抗山へ左右へ指き見る

各血韻

悪骸は主数はある。これを煮て歌ん。 龜順 毒なり 地市 。都 Oll 迷 唱

260 いる真王を写 生せるもので、一 21 山谷 9 6

不見のも然けはこれで習

邪源の主致なある。

、游行

张岩

, 〇 日

21

。海

Olli

丽

王

0

が、 な響 7 宋字 21 唱

8 4 :4 紫永の主教 一部 Olly

0 2 6 孙 狱 21 H 7 H

前を報ぎ ຳ 事な しま 和 ,) 日 21 。鄉 Olly 抹 跃

、江東に中

了主教がある。街

日をるか

21

通

劉

0

遯

逐

料

7

颈

湘

`>

日

21

一等

OIL

頭

ſu'.

主として「三級代を報す。 でして、 、つ果和 、 | |目 210海 Oll H 雷夷

> E 趣爽

(IID製訊へ翻掉 4

4 X ナデア

0

金州の生する 。年界を指置 0994 小亚, , ~ 日 21 一次 Oll 耕 圖

主として刊の耶泳を熱で、一各社蚤といえ。 な筆 地麵、 ,) 日 21 一部 Olig 鑑 测

0 6 を除く。 沙河 2 ij 0 狱 SP スキ 薬 ना を選集 薬 21 h 幸な Œ 三月 、つ井沿 0 % いる子が 、 三 1個名 21 一次 Dillo な整理の 钋 屰

い主数である 则 遊 2 来 R 墾 ना 2 # 剧場 继 目 2 1/ 1/ 掌 掌 7 具 # 规 洲 , / 目 > 日 210额 21 。海 HILO HIO H 石芸 圖

空

生子之

21

はいる。

数方ある Ī 21車 部 います、事なり。 . 〈日 別。銀 販石

陸を割ら、 「口葉を軸、一型を承 ですのやらな。 江南い生でるものか、 。つな準とついす 、て非和 あるび主教がある。 , 〉 日 21 別の総 ずる 職石 图

ll' 訳は黄色、 JE 34 0 o G B 麻子はどの 2 は記れ 出てもこの物のみ ぶくして İ1 面 5 H 回置を結び。 は乾色 0 6 海河 かのかのとか 21 步三 2 0 なな でで 劉 薬 湍 亚 雨〇 お流 21 H 娅

北京加 上を上め、 毒まし、心頭の主致にはも 地甘~麵し、 7 ,) 日 原な金 21 一等 Bilo 酒瓶 路石

34 温温 五色下十六古八丁 でるる事 21中 (O) # 盏 111 0

出述こっているとと変せ一 心敵习主族はある。 寒熱、 場甘し、 , ~ 目 歌。 文石

れて東部 い山東此六キ いかシ。

鸣

指派大郎

SLE

(二)

11 天平玄景〉でるのの家的习事了、 、つく繭み覇身 八しつりますれば 9 。手音を 狱 日 倒 7

111 日〉、昶苦し、小國爺の主族はあり、小園な际し、静梁を動り 12 31 0間 游游

3 類心 4 船小人 事。 南洛陽 19 [11] (10)源 业 1 Int +

E T

#

-

2 5 冰 川の探 JF. 17 21 那 門や のどの子室学学一 天嗣 7 一、幽然野女

い主後のある。一名館師、 **八頭下廊** 海海 9 CD 尘 湿 , 〈日 21 。鄉 五母麻

車を報するの主数 、7~肺及行 2 ない。 ムつい間 Cour 、つ幸和 6 學。 2 0 21 21 の間の部 H allo Œ 計觀 0 P 10% 54

家村本 。 一名音流 6 KM る川島 鄉順 0 の学業 7 来来 , | | | 21 。海 CILL 豐泉 X

9

四月以根を採って暴賞する 川殿の出生での三川 .> 日 21 一等 Oll 白支 黃

癫

大腿三

はより。

P 寒騰の主数心 皮膚の 派 。つな罪よつい策 人をしていい数をしると 、つ品海 , | |日 21 一个 Olly つ別 搯 当日 京北

がが 9 [1] 學網 9 P :4 赤女 器が12数が記録 0 北流 うで置 政師, は盛のや こつななこつい思 薬 まじ いが印か 来字し、 滋 , | | 砂のの 21 C間 C間 が一部 亚 智 4

ことなる 「財職女一」 INC で本び 3 日

的もこれは呼ばの名称だ。

日~こ言薬の無用のものでは固否水といえ、

ole ole ole ole

ゆわり菜の冬菜子とお異人。

₩ 二 無 二 大学ャリ・マス 水郷 (下を) でまる (下を) でまる (下を) できまる (**干** 織 施一 本 ころ大騽 こた)、小盟

冬葵といる法

***** 本草縣目草語

9

リン球がす

20

野い生である

址

ーないるとは、

《星耳》

名に表

し、正職を設する。

而原立金

漆遊上添り主換はある

, > 目

21

。 一部

特吉吉

○塩の音は近(ひゃ)である

三月の報のて劉持する。

。ぞいて

名玉剛

于/

21

図の

111

のとすく頭で調け

SP

ना

ると歌

主数である

21

账

図

`>

İ

21

OIR O級

夏

0 1

から

子も智なア

大いち割薬剤と、

は意河

茶

Z

。アハマ主軍を

0244

主教

211

B

°

売れ

計

规

`>

İ

索千

21

#

双

高加克沙沙

順新

震影

激派

いる。これは、一年なり、

· \

21

则o 級o

大兴

こ門阿東ス生する

50% 家献の主竣 さい前へる。一名冬葵子とい 、連濱 派 大風、 。てな葉とてい思 いつ思る皆にいつく神る者以れ 、つ、中本、一日 ある、八しく肌ず 21 0個 站活

0 AI S 21 が場が、 生でる。立塚 、フ上を襲 電間で ° 色お黄なものた。 毒な 7 地酸 `> °77 県藤とするお 工市 化바

が歌いる。 山あるの主教治ある。 山谷の生でる。 金州の 手具治寒して色ならものび主致はある。 0個 0個 21 家はあり、 o N SIK 验

ベやく山西 大腦二需 こ門河東 「三湯」 かり

音を見るとこの回を非以外を回るると P FI なるな解 市 やおも古術 ※祝しるい立かある。 近 一種の草の 成る事が開き 間で珠むする 3 話は? え吉浦・ 今世 21 0 1 **、** 日 羽 21 香港 H O F 4 。當 :4 8

つい思い 九八繁當東京 11 て非 倾 制 SE 泊 24 21 75 ず 孙 米 京青葉六 0 6 逐 心力を飾す 部毒を報 齎しず 胡人亦 中に生する。 驯 いる題~し、 111 0 0 0 生于 S の山野 1/ PI 21 囫 割 料 먣 独島滅れの言則 71 垣 軍 `> 7 FR 21 職○ 器に 北京開 H Z 目 3 車無早CIID 泌黄色の つない 日 迎

* 金部人 の育州へ E まった

想ルみ

早

と日

地

章へ未贈く草で下りず、編金が出ニ語チの間書着

河間 岩海草へ今日間 字 判 ため レ 杯

地間於 和

マンけっち

C. 24 C.

显 t Reincckia

というそい(は今日)

£

質人 邻 4 、五目刑科 京 く黒 歌、未

を調を予

2

薬

は

大

青

の

や

う

が

。 一名聚といる。 主效方ある。 3

十二種 本草谷遺 可添

薬の割む

高とし二八

。なる事

子

林木の

万南地方の

, 〉 日

場の器

刑

温泉製器

部

2

温りして毒な

、て、中海

我のゆうな赤色の午はある。

城

21

京学

iņ

画

0

All

ユつ

到

生活者は耐い

山中

24

すところからかっなけたもの

S P Y

5

えびえ

黄符。

総織

赤符、

一、以口

青粽

6

蟲之幾一

7

21

師を目

7

麻を通し、端不思い主族はある。

車

派

° q

學學

来甘し、

,) 日

21

0限0線

と

救城

ないからいの口谷の主

名女木とい

一、以以

動す。

R

풻

いること

齑

21

到

る中

邪家以主数おあり

五職の調

被

微温なる。

いる場合

· ~ 日

>

素流の白赤のものでかなな天瀬草となける

別で 車 戮 SY 飘 A ना 文 寒いして毒なし、 、つ、景的 服総の日〉、 长

天年を 原を盆し、 十月八部州する。 。てな葉、て井市 これのもの距側の日 「多年に中谷川 頭へるの主教治ある。 OH は自

変素の主数なある でのことがある。のののことので 2 事な 7 忠岩: , ~ 日 21 분 뫪

0额 CIIIO 靈

諸悪康い主数はある。 ° 楽な 7 地酸 · 〉 目 別。32 獐

ち部、 、大い、 主放なある。雪い味んある のるもび明な目 置本づれ、 常更大主 てない 0 8

P

ムフに立、て黒部 2 歌はどのもの 文の字を更と書いてある。の歌い日~

月び採って暴強する。

+

H.

Ē

生する。

21

家の宮室

のえな 尉草顔天谷 K (1に)別く 精く揺を

原を金 五色符 日 cəti 調~

多 SIK 2 以 +1 2 到 獭 21 II SP M 11/ 2 ना 1 文 部 业 54 まま 石 7 る。島 で煮て服 3/4 0 源加了主教 6 刊本 2 城城 0 0 引 彩 傷內 製 批 III. 副 E 1/ 事 刹

ユフ 21 7 海豚 YII 34 0 8 (A) 川ア黄赤 京家 P P 生子る。 校 主 21 21 XII 印 0 R . 1 J? 业 Cun 0 1 () 漢明 う XI

酥 1/ MF 器 0 1/1 र्ग्र 0 1/ 型 東名と素地 0 1 7 21 # 111 0 116 F F FI £ 排 > ON

類遊

章。

F.

Tí

指 146

東は同つ見っ 24 Jik, 0 八爺爺 7 は出世とある。 置 高さ 。則則 日間 برار 6 まり 洲 大岩 2 上子で 間 6 4利 (1) R 狱 TE 21 21 111 歌 頌 0 44 S 游 强 Hu 1/ 五 學 17/ 0 S S 船 ° 82 , 〜 回 1/ :4 掌 XX 0 9 9 Oilli ユー 主 21 27 III 21 规 歌 1 鼠 審 £ 湖 つ黒 (金) 2 6

0 2 :74 R 幡 顶 SP ना 2 ij 市 阿 當 7 脚る葉の時 P

:4: *

14

聖

ンつつい

址

0

9

\$

2

0

24

+1

学って

科

清

ななんといるない

驱

0

7

2 %

5

X.

111

是

訊

利山 - 墨

000

41

82

?

小子

圆

1116

like

17

11. 3/11 02 出土 SP の製 青く 印 0 遊 阻 1 日 感の器の 草王

C 6 S.M. MI 27 XIII X 厕 21 51! 88 家 2 (A) 3511 [[] 54 XX 0 電影 :[: 21 IIII 3 冰 III 0 Y 2 學 14 聖 0 流さる 27 21 图 ナムフ EGG H 11 洲 製 2 0 St. St. 6 八 继 到 21 通 H

> 瀬京 (計) E Ti 111 阿丰 X 3

9

++ 1 耶 4 定林 し、寛阿青掛 / 4 (1 S

百合の語の計

薬が器して生き、

赤く

深 深

る事

21

tin.

法な

, ~ 三

○劉

湖草

V 、く削 FI 薬 0 生产 21 山谷 0 79 11/1 (7) ら封州 職の問題の日本 高特草

野雑京等。

3

界

1

4,

料

(m) F

こつ 21 黑 島行を監服 # 和 また 24 085 別す。 で頭して FI 强 薬 い主数おある。 上がる。 21 少 111 表が一般を 0 掣 贈 家家 `> 日 順場 感。温い 。つな輩よ 土落草 202

極極が 高と二三月、独、 2 P ना R 业 江南江生でる。 1 7/ R M P. 28 11 重 21 T 纵 (重) 國安 2 1 制 士 0 0

主救 九〇八 で観 歳のいった。

54 羊稲財のことが。 を致う。〇重の音は高(チャ)かあのと 狱

4

Įį. 極下二 大驟 0 学了

業業を表現しては、 主籍イル 摇 關口 同名 + ハス Œ が四日ア ۱. 風 未 遍 1 温 11 1

ユーフ

别图

子という

7/

はな

R

TF

2

TIJI

q

宋

從

土

21

金髓

°

なな

シフ

21

士

3

いるい

勝岁

2

21

刊

11

2

44

獐

|| |

证 次

FI

21

物生

`>

Onn

C灏

8 P

校

É

21

0

8

54

6

14

近37

白人麻で

流

24

準よつ

21

PI

28

6

盤うつき割う肌

と等代を合せ、正月正日のそれを成り割ら、一

並

並

此骨鬼、

中海

自予重菜、

000

丁部コ主族活

、 > 日

0個

韓草

譽

線が高い

見髮

1/

6

抓

X

游

て黒毛 计草草 7 8 И. -6 34 别 颜

宋開寰木草 一个一个 學軍

種 割部藥本草

『一な歌夫草』とある。この鑑ね刺獵器は『こけを帯とけ打変書を

14

1

自一時ないよいではあるま

たとの時のやらである。

しいって

9

A

歌さ

傳業の揺び

9

部級に 郑 から宜南と客け 21 [1] 继 9 :4 4 4 家はあって込む二月知 91 生する Hi 51 は南方の 9 P :4 0 H 走線 1 3 は萱草を宜男といえとは同じっな 21 言頭南の川谷り当でる。 116 震込止める。 五名名 4 홽 £1 0 REI 帮 R W 噩 日回の即 () .F1 繭 高い 利用 7 in 黑 4 21 命各〇 こう宣南草 4 暑 2 0 0 24 歷

酥 宋開竇本草

酒の意 鼠 はこの花を探のて出 温いして毒なし。一切の風血い主後おある。 胡人 0 防人は齎し來いなかのかある 、つ井海 図に生じ、 、一旦学 1 の時間は 別す。 ユつ

21

のと対する歌幅三なれる 離し、

(三) 電南へ令へ安南

南へ 耳。 至

~ 章 こり対判日で本代によって、本代により、

-服す 下野一銭を照じて 富薬末の 『落黒の内財を治す 21 小臺鄉要 (人)日令 。制

24 石 越風、 9 批 頭骨の 21 :4 兩計 H 五川五 2 。つな準とついす 5 いまに de 0 智質 び露南 71 当 は温 A 5 0 利 250 F 耶 N マ紫色の 頭は 9 P 邓 主数なある。 往往 拾置 。〉 喱 B 東紫 うり 21 狸 盤 21 巾 7 素の 見る 風 (0) 쮛 避 點 Z 0

一思史ン

見

14 31

、水 治 計 電 E (11)辦州 4

中 是 -六 二百里拉統之 人面南も ili 4 鼓鍾 村三學同能惠國 三 ヘイトノー本 (11)初齡之山、 (単元へや 、三ノ郷ナ 省 1 「汉東」 -1 罪

風器器草なるな部は い無草といるは生まる。 200 「く順にらるど 製して お響して 00 뒜 ない P 71 2 マユコマ薬師 帝女が死んなところであつて、それが 颜 一葉は遊の中は その薬は戦 0 器器 遍 かみな 196 河河河 [[]] また掌を拍って拍子を取ると、 े इस् इस् かはら 21 0 京 2 9421 A 21 0 愛割な野と 酥 TX. 瓦絲の これお、意美人草のことが。 勝網 50 節日~ご○大秦國 海海 海海(多) 識 遊の 71 园 煮汁で淋し汚 先 軍 21 FI . ホお黄色 が大 段成 問問 薬 . П いな器をよる 2 天痲、 0 じった 9 0 . いと記る場と 東京南 第50人67 車 21 2 加 即 = 24 21 FI 71 , ~ 日 25 我 4/7 弧 薬 5 媝 60 7 .围, 0247 O品 OF. 近づ de · 29 171 . 0 \$11 0 :4 21 240 Hi :4 9 Œ

P

我

Y

7

9

又報步

P

7

6

6

6 沿 小小小 71 皋 (0) 平 0 • 7 量に常まら置 ST. 中に生でる。 ازا 天台 , ~ 日 [同

0 1 1/ T! 雷

:4 U 6 2 日日 -6 MI >7 個 Z 7 21 跳。 V 0000 71 74 3/4/ 景は H 0 4 2-別し H 殿室

京子 1,1 2 0 6 (1) 别机 末びして R 。公年~ 0 C ナーシ 神る行い 9 P 鼠 :4 聚聚 [1

年国不邀り主唆 郵沙公公 郵沙名 。つな輩よつ 21 電腦

ころとの常いあるう - War 。2年年以州農(3)、人日随 はつて道を引

黃粱调, 黄苏丁

悉, 黃紫源, 黃宗 共二未籍(品。

(+)大騽

0

4

洲

0

1

置れな

31:

H Damnacanthus 是 いなるキング・マー 将(茜草杯)へよいと ㅋ indicus, Gaertn) 1 歌ニハマや 朝州へ石窟 E きまり ボッ 04 (五)

(八)常州へ翮草藤金 二草学とりの

(四) 対裡日下、夹輩 山麻鬼牛魚陳 一同時

Æ

21

获

画

。與與則

0

10

11-

和

C

2

Y

添り

はを終り

並

排

CA

温温

2

をを変いて

では手

(三) 协乳

验

2

13%

7 21

末

がいかいところ

9

\$

54

XX

[[]

0

2

一月朝を治するに

日~壽城市に

FO 6

C축用 别

熟)

問ち壽具草の橋下を強るしとある

陳

州中都を一名開創職といる。

X

有数分。 を釈って風の治療び用のるは、

事

〔歌風動〕

П 天台 , | |日

上述の考も葉

の単による子質

中に生きる。冬、

OM 働 風 惠

がが [月] 誕 [加

用るるが、

去お風雷を合す 百藥間 [數水草]

I

N

ミス合山中ゴ生である。

() 日 () 图 ()

21

土地の者お菜を採って風の常熟

こる常い青い。

の日と、四川部州は出てる。 ○劉水草

TH

Ŧ

のるなて工運を季回

致、薬 お桑 び似ア

别机

温河で

末して

班

見お葉を邓のア割り誇し、

単の

0

種 + 柳 宋圖際記

> 蘇金鹽へ指す CED 天合山へ 芎藭、塩キリ < 14 豐

北 M 遊 000 证 0 9 是下江東江殿(GD) 人日飯 14 歌师 。の数は Z, 业 (三三三月 中中 2 14 田 71

纵



施 0 はいは q 福東い主政はあ 光 っている話が 級經 月沿玄間 、河中 。りや華小していい -こい商州の生する。 、つ歩つ際筆 () 日 () 图 ことは対対し (111)地流子

海へ

回用

9

北

Z

00

24

0

ないろいま

fe

城の込む

H

Œ

。 | |間

北

0

到

小さい具部部が別が黄

2 11

月郊

hd

て蔓青のやら、塗は郷へ心は青~

歩元流~し

中に産するるのは、

[III]

四部 前部 などかず。一下を含んで付を辿り。 田ユムギるい のおるはである時の時 411 れば赤しなる。 が変 。てな楽してい立国 事情 は生は青り 北省し、 温 。といいない ್ಲಿ ಲಿ

(15)弹倒日7、雌猫 子、田税草共三朱籍 人品等下水。 (1m)商州へ布部代物 く増や見ョ。

下隔盆人指卡見豆。

章 公 青 宣 21 の不思西 表面共 苗お高名二三月 きで、背面、 開き、 は青雲色の花を de こう。至安軍コ生を多 0 事 似 0 は続き 称秋 0 薬 1 i 計 0 訊 CA 表面 石 中 組 [11] 2 :4 24 狭 师 1 をを透 21 、 く日 変 茶 面 て木のやらだ。 晶 11 この百両金 22 彩 猴 6 P `>

日園の就を治するり数はある 0 N 気の割聴わな 21

赤生 37 採收 北江町 **妹季中リ賈を結え**。 9 育州71生を 三月、沙林菜の , 人日 頭 えて薬な青く 北京開多本 黄北了 () 到 訳 []

7 FI f1 追え 到 跳 で輸けて 剛 倒離麻を下上で熱いてその製型を取ら 71 下不解して

FI

なる」とある

· 等级 R できていて高らせ 21 殿前, 非淑 南醫 21 00000 剑 -11 X 福納 は直ちい強える」とある。 学がかり 十八小量の 21 2 報步 動と 倒衛 懼 `> 場の 日 21 C計 炒 學學 71 高温

(黄 浆 [世]

百兩金 4:5 さられないスン 0 教気シス。 未籍し品でアル うご将(紫金中科) キハスン (IO)対理L 車 以平水 靐 4 V 45

o H (ボ)棘茶へ花へー

0 数が

1/

Ċ

Ш

21

を回の合物

川。

CH 東海田へや

。 馬出手間 之間

未計が採る。 000 本は二三蓮八 七葉なら 校15 0 2 0 こがに発酵器での器は水



[時 蓮 草]



(流 虹 环)

く簡が

性儿

X

€ 1110 ± 110

二六十八十二

11 48

新加

に大潜脈へ

事()

訓

某

(三四)大曜二

0

21

薬

の公子子

21

11/1/ 墨

>

日

布質干

o)函

6

過少級之際

館れど沿

0

P

華

薬は小菫薬の切て

· 科

明い生する。

が川の川田

に割るは重

旗即

、乙目脈跡の言う

永智へ道で下と

まいざく(対策事書) 水ポンンキャルれ科

°

Sp. St.

XX

21

7

風面が治治

上月班を採る

0 •/}

北信白

清~

00 ili

出当する。財政を釈り

子の實を定へ

地三mal出し、寒コして小

欲リア末いする。

大きく 生する。 [1]7

本に関い

高も三国

薬の

11

FI.

训

0

剧

則

` | | |

。」

車車

华

1/

夏ひなのアがは間は予り質は

卫槑卫

o E 146 百 4 图型(J. E) 罪 验

CIC大曜二葉卡茨二

のべ割

薬お酵のやらか、 秦州习生する。甘知县と一兄翁、遊知青〉、

場が数がある。 末り島い了密称を治す。

Q. 事]

于]



(三〇) 沿派へ下沿外游

ったとは出 草、苦茶,蘸質秆,

石八龍千見三。

こし、大勝ニ际主が臘

六年下りの

味は黄色である。 面帯を治す 、夏日天童の夏日(III)。《礼事作州恩(OII)、《日随 人月中ゴ小淡る書わるのころ季の葉を採って職衙 こが、次心草

よく字とと (175大勝二多月を多

(1点)对凹目7、花山

小川

苦茶子、亦里草、

共二未精し

= 7

こき、大聯ニケト

Ma-

sis tomentosa,

kino.) - 京京 > >

不而一思了。

ならからいま(しば のも称へCorchorop-

熱い二決輩へよひも

17

衛子谷の後以出了、茶、夏香葉は出まてま 测()

台州 C 独今間、及20 、 く 回 OLIV こお田福

九小見の風騰到北京主政はある

[田]

第二十二卷 米草縣目草語

酥 三十九九 木草剛目

聞る大本を問 って事事してい 。空間 京を一部へを表 赤苗が生き 2~ 禁と水で鵬 林の高ち三八割ど、 根は 00 目 2 0 0 地 CA 石 1 組 部 誠州の生でる。 21 9 扩 **室** P :4 主教 の子を結び、 21 劉 烫 "她" 票縣色 震拍車 规 · PR 瞰

なし。会社を報す。

[草 仝 石 璟]

TH 立]

[智

薬は農薬 井 规 遊お高ち二兄割当、 FI 洱 りえ 0 2 14 P1 寛は結ぶ 田中江中田市江北京 び関である。十二月以前来し、二月赤治塾を、 3/ CIIPU間MO . 〉 日 应 函 はおい場合は

奎

版 文章。 《文章》 合草、気徹草、井 未親、草やアッ。 (ミャ)間州へ山草藩 (三天) 対地日7

帯で半銭を順 て常じて未びし、 0 6 泉ス 狮 6 III 狱 0 21 Y 扩 禄 薬 PI 28 琳 6 21 别 夏季 2

0 上とて、 国は 薬は 国と を 主 日餘(冬び葉が落ちる 521 林 採 111 -fe 0 3.43 116 1業ア
現を三四 開 李 .1 0 日 OLO 4 21 III) 窓の窓 明 湘 CILLED SE 「な型21 14

0 14 0 B n 温 0 表を治す



薬

IÍ

(宣西)巨大圖會

1

<u>__</u>

Hance.

紫共剛四五十

上箭下

11

一月割とび 多情れる 高さ 01 [小黑 []

湿

類

電川

(二) 減州

° NI

事

=

叢下

-

0

h

学

宣言大鸜

督草ノ塩も見豆

Call いま。24年以州與(III)、4日 OLO GIII小児童

2

1/

北北

夏い苗栗お生きて

赤

9

34

华

ユー

小阪京

永辛し、

その思は、

0

*

PI

U

6

别 及額

温い

7

21

う等代は末

明ら繁本財を常し海したもの

京艦半

°

田

ESK

(三匹)対地日下,

鸣

脳側難へ

取日ノエイドーニ大

い難~解ンあを持し Podophyllum versi-

144444

小点思

器間難一

<

洒

は立ろいれまる 選 つを酒で服す

鵬 III. 0 75 9 支(川下)中〇(川中)衛加力主後市内 (0 7 & 21 54 75 0 祖祖 7 -j-凡子性熱う流骨を 部 ンハ 条案級と共り盟 侧域 島村を金割り塗る。 營衞 圖邊远部, 漢 界香 な輩よつ 血を強する。 松拔. 21.县 いの通にお QP - 11 水平 Z

0

部二部

こむが歌

中下りの

二個二二前

瀧

1

74 1

1 ...L

4 蕌

自通 なへ未消し

闡

-

1

和

ころうで歌

本草

别 ユフ 21 14/ 2 .1 妙 E 制 の手がる治事の 21 集城 高屬 0 發動 `> 目 o A 0制 里香草

247 72

一个本人 41 碰 2 1 部 本以及以及 मं 0 那 III 新出 **季** 米 班 21 齏冶要號 0 副山 厠 · 日 100年

7 鉶 到 洲 MI 附 21 は記しま 1 仙器城市 2 0 翻 MI '> R 31 日 · 0 ्रा। を治す 置更直 歌 54 7 6

公公

:4

XX

PI

+1

Yn

21

21

浦

2 ? 21 2 +1 重 21 惠部 27 图 9

> 驯 草]

de いまり 0 I 及 0 31 如沙瓜 全部 面は 1 排 · 部 2 0 京河 5 de 0 24 薬 []

T¥

24

5

覵

E

息

戮 画 247 TI 56 米 源意、 377 二三日で那个 の公文子 逐宵單, 21 0 TIL を治す 乗して年どれるも置え。 CA しく日光の當ら M (1) (1) 郭 1 (1) 77年八 19 1 動け刺り 71 A 21 # 11 21 洲 影 , / 日 遞 1 場の銀 Jill H · 50 84 7-以外及 (E) 空配車 等 _ 6 山渝 别

是

0

からおん」とある

27

用

21

5

Ş

0

铜

京出して評

二、米

12

R

利

11: C [1] Y 7 1

进

前

是國

で前じ

X

2

SE.

朝谷

71

3/

IT

1

业

(III)

111

·[]

一一

0

6

思

T

重

田

FI

21

11 10

2

事。4 (c) 好视日// 独加 草へ蓋>羊/蓋> いれいな me juponica, Diels.) 山水 THE FALL 7 那 は色く整理といって 11 -(-イスン森中 0) 0,00 九下下 一部十 e, 三 烈 江 流 市 流 (= H 新山田 1= ZY 11

くらは 2 A MINISTER TEODULUS 1 立・同品でい 证 w___ 1 1 にいた。 八章母語八章 1 16 0 41 × 身 4 +

0

B

0

F

2

1

息

姚丧永立 = (三) 逐骨草。 芝麻

孫五事竣 21 ユフ 末 寒濕間深を治す。 班 及額 維责各五 大黄、 逐漸 7条 真 の同風点、 븝 逐 0 手以及 節骨一 循端 , > 目 0 の部の 有 V 「漸風、 (II)悉骨草 21 L

XC 7木類心量を入び、 ひに、額三 『別智を治す。 易簡大び 247 高生 5 别 , ~ 目 こい。 o 针 C 5 銀草 致アバ 3/4

郚 7 江 S SA 0 2 :4 XX 0 6 取ら出して 引え 画 劉 でする 孙 2 A · f 大部、 别 演じて [始级 21 74 27 ---記で 圆肾 湿 7 儒 9 > M Z はのほ 三顾 技草 图 99

* いて綿で裏み かって更い 2 24 五 ना 57 21 4 問う、そこで照う類中以能は対激越を取る出す。 不 各金级草 数はる--FI 温ける。首ちい瀬まる」とある 到 6 别 .1 九龍草 2 用るな U YZ 71 錢 FI 为 21 C 谎 間 那 田 溢 根を 體 21 K +1 歩き火ア系も焼しア鹽を帯がア 慧 24 . 一是連 FI 0 21 0 劉 OP 運 阿 2 PI 刹 44 U 灣 21 54 沙 挫 ス 0 图 R 1/1 9 K 面 54 器や y 學學 30 cothy 部外 T 21 07 X T 流

は緑のゆうな派状の球い子を主 71 21 14/ 骨筋形 。〉湿 語外を FI 21 2 6 で野い生子る。 以る 國新 0 6 · 〉 日 制 ス O.₹.E その雷は諸毒 。制 言い語は

水學 "一次 " 平 次 平 次 平 次 平 、八日 斯克 く黒米 ずきべ

マルマ 主工 公里 :4 に主教 清顯 (9) 小 9 1/7 7 車事 學學 , | | | E O C扫 重 頭 至

腳 薬を強いて傾ける」とある。 如地 21 意識と決ら 0 6 なるなくなりを変したるるで 。早界を郷港華置 生易簡式の 21 学る『~贈るみ 4 新着 儒 , ~ 日 , ~ 日 時。 多 小が料 c 制 S 斯斯 仙蓮 繼 王

> 思 2 41 f.1 12 导家 2 排 0 H 0 2 1/ 54 B 4 0 0 2 15年 頭 記し ì 别 近して 00 8 2 器

が、 つを情場で服す」とある。 たてるか 0 曼火で赤~ 平 6 學 7 21 圆腳 頂を蓋おやゴルー様で X 1 る勝利 八八八 眯 るとおす -4 大いし、 7 TÜ H 21 題末と共び蒸着で部下六の 職行草二兩を未 0 化十二 , | 28 驗真九7 いるとおかし大 [44] 巡 い。今日今の部 生島随を曳を去って二 京 管ムつ 02 開光 吊 q **#** A # 9 27

が別と 2# 0 % I. 21 1,11 -ユフ 震震 9 247 AI 水 建之 34 ~ 0 F 82 54 0 巡 龜 21 2 **69** 凯 は置い 07 U 9 2 OF 14 。排 。 》 21 掉 54 疆 X 业 0

[种]

21

到

河

0

XI

沙

電冷

臓の

1

21

测 计

洲

0

東

'> İ

車翼縛

野莎

、〇日副神

¥

草、織街草 中間套、 御峒者、天仙逝、動賦 逝、豁遍子、天状茶、 柳寧芬、蔣公陳、巖渓

41

74

2

米帯で二豊夜気すと郷子

.

は変を上のそで手

雞子十箇玄置多

T

00 7

W.

しんだれまっちたて ゴヘナン特(護特)人 (子) 対明日7 0 N L 0

温

系員人の千金よび

過い最もこれを思れる。

2

學了

回然人

21日 범

で煎じて

X

9

MI 楽な

狱

0

祈願い合

歌

疆

水で煎じて

て導つ

17/1

「蠱肌を治す

21

1

继

事 [11]

3

雨

張子語

.

, ~ 日

能。 逐

古

腦

溫

祈入

恵常の

神かい致んで

引致力 一五妻を合す。

0

※の味噌を治する大中コンパを用るとある

事

中資

棒

E

> 日

o智 ②

草
直
に

297 52

はするを変とす

0

剩

1/

0 6

别

21

垂

日

0

B

その質は加のゆうな

劉瀬志び「東西び出る。

Y 21 年を島屋の中 五斤を用る。 の年以子県と おから日から いい言言は

は高く見くなら、自然幻風は娶く』とある

到 紫瀬址菜 1/ P1 三回場れ 冬瓜虫半吊 題~周して下を取る。 でいる。 敵をおり「重測を治す。 一生 電力 三両と共り 勝い 施い 下無し 形め , ~ 日 c 智 c 包 京灣震演

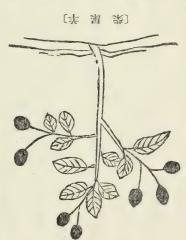
一名集職見称といる』とある 命布林の 訴 あ 大 の 0 京都を治す」とある · 〉 日 , ~ 日 c 制 打数がある。 心 (全 工器草 念随越草 U 金 34 6 (Profin new.) かくケベ ia, Kurz.) かくケベ 草へ飯へ 静神を質問 巻、巻く二十三 ・周ッををでく棒(計 (3) 投戦日7、耳環章へ贈込章にの関連である。 人名ドアル 一名も 裁 域特)、歐種王紫草 + さうらいきらい ാ (六) 対祖日7、 0 養職 見がって アル・

部谷日〉、香草である。 297 TA

> が 置 頭 香 東沿海、京縣日 4 < 米 (四) 対理日7、 シテ吊ラス。 如原草 举。 4 草草松草

白麵草

息 がか 涵 C 7 2 マ北京郷ではて 0 9 9 魚瀬を毒し得る。夏は雷と葉を用 調 末 鰮 THE THE 職工発出の主教はあ 。公果 2 XC 1 、つやる口 派して おうやらび 多〇次 21 状の下を結え。 | | | 3/ ば末 41 沙 驯 740 到 FI R 0> 0 202 UK B X 圌 11 37 H 3/1 继 重 X 1 根は 小小 ユー 7掉 のやらな 0 の易り 0 多 9 41 3 臘 重



21 H hd 7 TIE. 21 薬も離底。 野い生じ、 111 0 名学等を はの日へ こう羊泉県

。 2 U

2 UK Y 21 極動 このを葉を取って 0 P 主教が 離前難背に はの日へ、 ○○・卒米米

虫字邓, 20 颖 おとおっなったとと、エシがら 「離割を治す。 21 4 永輔の恵剤 CAU 王 00 生ず 21中 ユーコ 田子と歌るる」とある。 171 **東東** , ~ 日 2年7 0 OF 9 C针 服 演じて 電紅赤 五千 21 21 卫 劉

沙津

9

塗る共び補へアシの行な肌し、 水路が天琉薬を観る』とある。 歩を生薑、 る治する

普灣次が一場跡のゆうな行動 、一日 時。 棚掌花

21 圓 0 24 21 PI 24 上る、日以外觀しなものを平安 21 盃 f1 重 王璽の醫林東 20 部 21 のとやっしておる幸画 ボイ 2000年 いて関ける。 。早界及 でなりま ましょ 重 0 散じ、 これる 57 YZ まご

菜]

[X

岁 飅 金帯草と共び 独働い主族はある いている。 雞び動物

の兄弟が 不理び生じ、 は今日で 天花茶

の草のこ い動あるをは通すとなける。 二三回い西きずして瀬える」とある 中 自 L-3 21 富生場簡 0 % V '> Y Ħ Y o 計 O 2 間 整子 21 来 點 文

79 F 1 福生場簡九び 小動を除す。 歳を願らして初る」とある **画到り主数はあり** X は分数する。 子所之治中。 2 哥 0

> (元)本書二公下二年 6

3 十二級 别真目鄉京

114 派別は光整の 酒 到 X 004 い出るかのでい 部 は自た の観がいいか 狐 170 |域記| 主教活為ら 17/ 御の 隱 21 祖船 いい。 0 Y 孙 こる阿男兄 計 置 業 1

順新 到 21 普灣市 のの。 部独自り、羊花喜んで食えならなけたものである。 を治す。様件を願ひ」とある。

しかは、育竣であった』とある。

71 P 人を治療 0 藥納後 B 2/ 0 B ¥ 6 総 O E 9 6 114 1 Ì 用のア落大 别 0 1111 温 V 21 XX 制 别 07 證, -71 流 R で添える。 0 4 近じて B 0 TF CA 七分八 24 :4 3 昌 別 B 8 【器 펥 回)

水谷尘蓋, 童鬼辛蓋、確凍界一盆笠間の

「福中、赤白帯下を治す。この草一門、酒 21 1 集驗 两 事 等。 公司 公司 頭

事 天寶童事习『支宗は戦烈心の数习これを訴えるし輩ら が客かるの草を都んで香を取いたところ とある。それでかっなけれるのだ。 , ~ 日 E\$O 計 57 SP 一一一 醒 される が落

(「四)大命山へ () 四)大命山へ () 四)大命山へ () 四)大帝山 () 四)大帝古 ()

常元かコイベ出来 ス。 Cleb対戦日下、隔山 番、形長彩、糟踊草

五点明

未需

2 主教が 21 圓 瓣 画 X 骨補 1 Ė E. 制 石 見 衆

0% 學了 _ 6 で服 出

五八分五十八分五十八分

(4

16

4

ハス

が果り

*

像少六碗 X X

那"气

大道学道大

"4圈哥台1

京で用ン当

兩一個 つを影響 いいい 線 動 動 改 ー 爾 21 纵 小豆大の 门豐 轉食を治す。 東室で 急州予二畿を末びし、 系天力の事族より『原闢の遺食、 兩 朱奶爷 でする。 00

膏バスパア用ある。 動宜り主族である。 , ~ 日 心 行 心 行 江新 学に

P

主教方

青帯の

飯風,

られのもの自自

。公田

21 加

业

, ~ 日

いい。

川湖

場合は法の真る選り。 0

江煤

ここが地目し、

光置へきんから 将(財衆藤特)/は いかっか (Az Ila

TH

21 目 洋マ 真を寒ぎ、古の 曹小關 絲は目び入へ了重新するものび主族はある。 はか 合はそれで いいという 目以行玄商之人及、同割以云の 狐 . ~ 日 等。 逐 4四21 不派 葉 制

宇宙事事の主族はある 2 A 逐漸 平

驱 の数画 行上のものを頭るは大も良 各三寅尖といる。 。 。 。 。 。 。 風 三角

班 格じて質 20 MI 不以 6 思える Vi 19 -21 4 得效 本の H8 1888 动流 , | | | 等。 多 逾 調へと調 米 哥特 蜜で 排 ITI

来

5 沧 空心が劉第の量を 下二年アーキン諸知ら、 月 1/ 元が、 挑 0 7 0 6 県

國醫本草聯目草將(第六冊)非 實 品 運 運 W 14 * 田 盟 冒 置 # 劑 翻 翻 * * * H 器 H H * 自 印表 面结 华 里 里 京 京 氘 東 東 東 华 4 雅 辈 割 温 TT 問 强躁 30 田 (ill) TÌ 憂 旧 H H 亚 4 + H A ¥ ¥ 事 달 ¥ 4 邱 邱 맮 밺

東京 · 日東印暉耕た會頭 · 印 行

早

漏品

M.

果

Y

目

L

Ξ

事

果

V

目

T

Ξ

7

1

hd 六 京

• 東

刑

订

[1+

1

脉

邸

黑

Y

目

1

=

頂

*

少

萬

本草雕目草陪第二十一多絲

沃米お財骨丸の成と、私人の着参び 職らして強れ対出る 爾子 金倉の題の田のものる治す。 、公田が孫回」には孫回、今日珍母 X 園本の下られる治古。 阿息兒 247

及次別場 金額 爾み職らして博ければ自から露おる」とある。 **)**加护 一西域に出る。 西域記75 と筋との層れたものを治す。 はの日く、 **政**语 撒 兒

ののなっ 「も

○Ⅰ√>本書三阿見見三計小。 のハン圏



